現　場　説　明　事　項

工事名称　　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
担当部署　　総務部　営繕課

「説明事項」
１．工事目的
　本工事は、富士見市民文化会館キラリふじみの中長期保全計画書における下記の改修のための建築工事を行う。（電気設備工事・機械設備工事は別途発注）

（建築工事）
・金属屋根（金属屋根修繕・竪樋の更新・シーリングの更新）
・屋上防水改修（床・立上りの更新・笠木の更新）
・外壁塗装改修（補修部分のアスベスト撤去工事を含む）
・内部壁タイル浮き部分補修
・外部シーリング改修
・特定天井改修（メインホール・メインホールホワイエ・マルチホール）
・太陽光パネル撤去（建材一体型、現況 30kW）
・外部建具シャッター更新（SS-1, SS-2, SS-4, SS-6, メイン搬入口）
・カスケード漏水修繕
・ラグーン汚泥引抜清掃、修繕

（電気設備工事）
・メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井改修（建築工事）に伴う電気設備工事
（舞台音響設備、舞台照明設備、放送設備、火災報知設備等）
・空調設備用電源工事
・太陽光発電設備更新
・柱上高圧交流負荷開閉器（ＧＲ付ＰＡＳ）更新
（機械設備工事）
・メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井改修（建築工事）に伴う機械設備工事（ダクト・スプリンクラー等撤去、新設）
・空調熱源機器更新（冷温水発生機、チリングユニット、空調ポンプ、熱交換器、冷却塔、薬注装置等）
・ラグーン井戸ポンプ更新

２．工事概要

特記仕様書、設計図書による。

３．工事範囲

本工事の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

４．特記事項

１）本工事は、週休２日制モデル工事の試行対象工事である。

試行の実施は、富士見市週休２日制モデル工事施行要領（現場閉所型・通期）によるものとする。

２）本工事は、当施設事務所内で施設管理者が常駐する執務並行改修工事とする。

３）令和 7 年 12 月 2 日～令和 8 年 11 月 30 日のうち、毎月 1 日と 16 日は休工とすること。ただし、1 月は、令和 8 年 1 月 5 日と令和 8 年 1 月 16 日が休工とする。

４）契約後速やかに、設計図製本３部（見開きＡ３版）を提出すること。

５）関係各署への申請や届出は、提出期限を厳守すること。

６）仮設については、施設管理者に十分配慮し安全を確保すること。また、現場事務所については、施設管理者と協議し設置し、電気設備工事、機械設備工事を含めた全体定例会議を開催できるスペースを含むこと。

７）工事中の騒音・振動等の防止に努めると共に指定場所以外に車両等を駐車しないこと。

８）工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。

９）富士見市民文化会館キラリふじみの周辺環境を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。また、執務環境に支障となる騒音、振動、異臭等が伴う工事は、施設管理者及び監督員に相談の上、行うこと。

１０）現場施工期間は関連工事（電気設備工事、機械設備工事）を含め　令和 7 年 12 月 2 日から令和 9 年 5 月 31 日とする。また、下記①～③の事項に留意し、工事を進めること。

①施工にあたっての調査・準備は施設管理者及び監督員と協議の上、施工期間前に可能とする。

②Ⅰ工区（主にマルチホール関連工事）は、令和 8 年 11 月 30 日までに、各種検査を終え、施設管理者へ引き渡すこと。

③Ⅱ工区は、令和 9 年 5 月 31 日までに、各種検査を終え施設管理者へ引き渡すこと。

１１）例年同様の降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。

１２）ホルムアルデヒド等の有害化学物質の発生材は、SDS（安全データシート）を確認した上で監督員に提出し、厚生労働省及び文部科学省の室内濃度指針値以下に抑えること。

１３）竣工図の原図は、監督員と協議の上、CAD データから作成すること。

１４）提出書類については、富士見市様式にて遅滞無く提出すること。
１５）同施設において、「富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修電気設備工事」「富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修機械設備工事」を予定しているため、当該工事受注者と十分協議し、工事を進めること。
１６）メインホール・メインホールホワイエ・マルチホールにおける既設 WiFi については下記のとおりとすること。※配置図・詳細図等は受注後提供（電気設備工事）

①AP

・撤去および再設置作業は、以下の 6 台を対象とする。
AP15（メインホールホワイエ）、AP16（メインホールホワイエ 2F）、AP19、AP20、AP21（メインホール天井裏）、AP22（マルチホールキャットウォーク）
・AP は本体と台座に分かれているが、AP 本体のみの取外しを行う。（塗装作業は行わない前提。）
・工事期間中、台座は、粉塵等の付着防止のため、養生等でカバーする。
・取外し後に、監督員立会いのもと AP 本体の通電確認を行う。
・AP 本体は、取外し後から再設置までの期間中、ICT 推進課内で保管する。
・AP の再設置位置は、取外し前の位置から、約 1m以内とする。
・再設置位置が取外し前の位置から変わる場合、台座の取外しと再設置も併せて行う。
・AP の設置方向については、取外し前と同じ方向とする。
・再設置位置や方向について、再設置作業前に、ICT 推進課と事前に協議を行うものとする。
・再設置後の電波強度調査は、別業者が行う。

②HUBBOX（壁面取付）

・取外しは行わず、電源を切り、養生でカバーした状態で、残置する。
なお、養生作業の対象は以下の機器。
PoEHUB03（マルチホール別室）
PoEHUB04（マルチホール楽屋付近）
PoEHUB07（メインホールホワイエ）
PoEHUB08（舞台キャットウォーク）
PoEHUB09（メインホール天井裏）
・工事期間中、HUBBOX は電源を切った状態で残置する。なお電源の入切は市で行う。

③配線

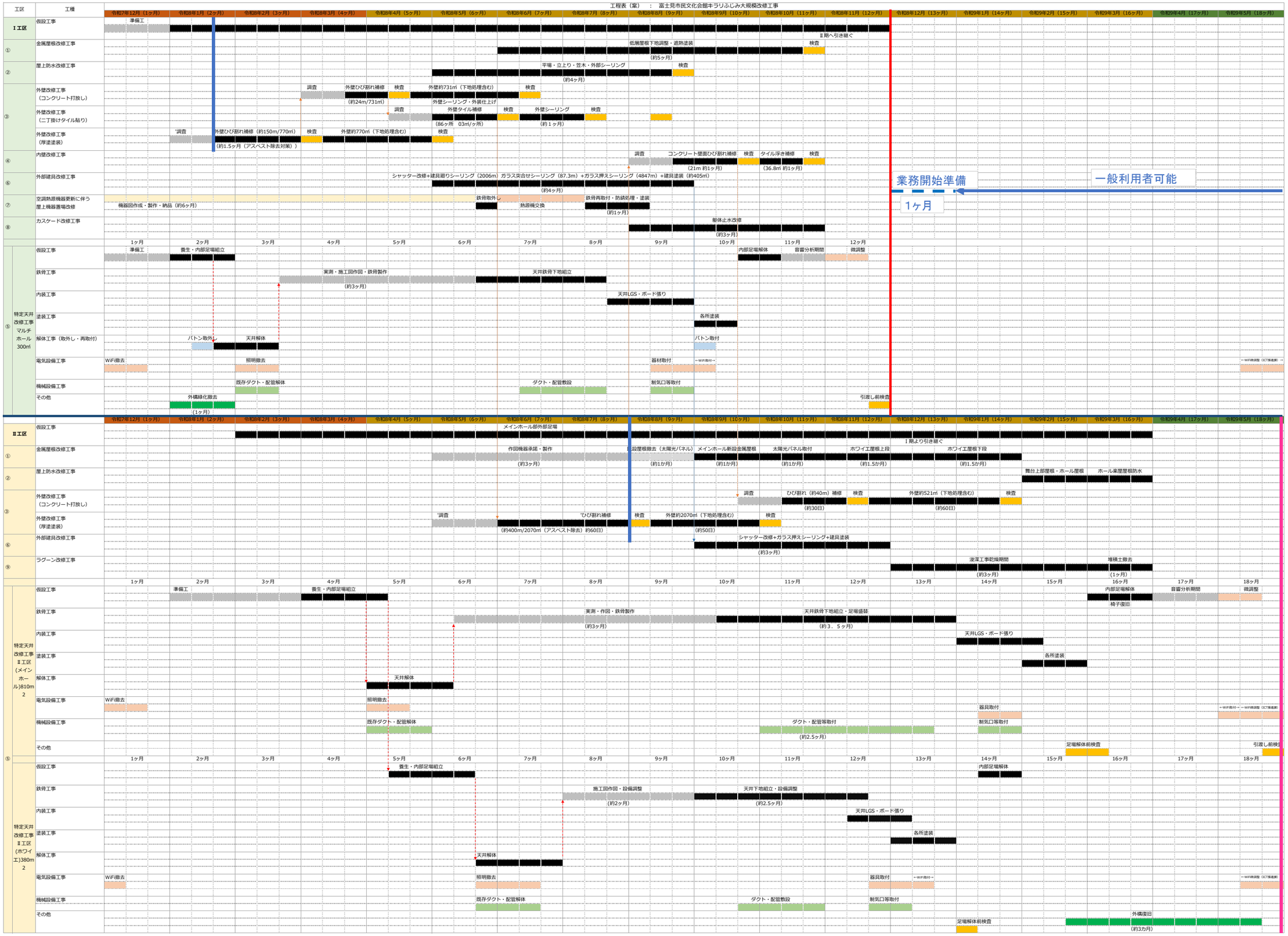
・光ケーブルについては、残置する。

１７）全体停電（工事、電気設備点検等）時に必要な仮設電源は各社で対応をすること。

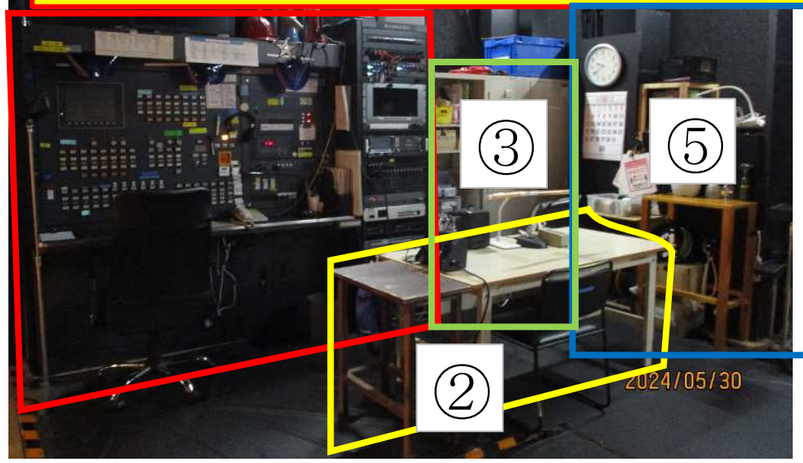
工程表（案）　：　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事

富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事設計業務委託

作成日	2025/3/7

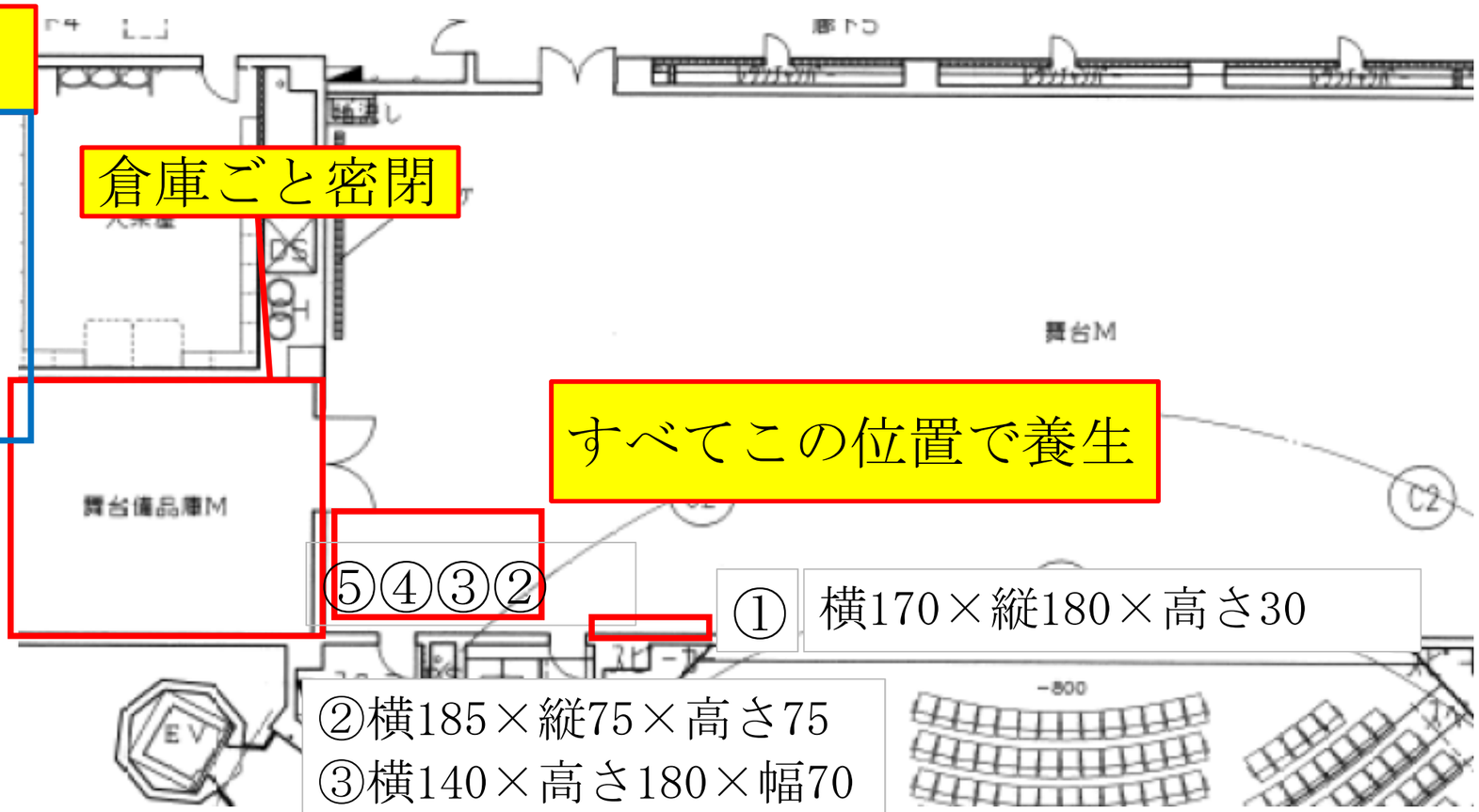


操作盤・ITV架なども養生（電気工事）





④横115×縦35×高さ95



① 横170×縦180×高さ30

②横185×縦75×高さ75
③横140×高さ180×幅70
⑤横225×高さ220×幅70

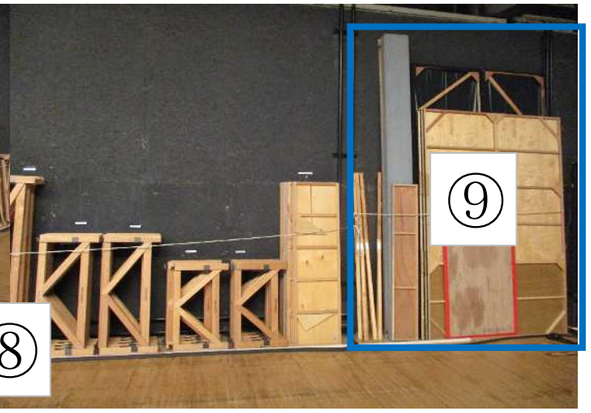
メインホール　下手　袖

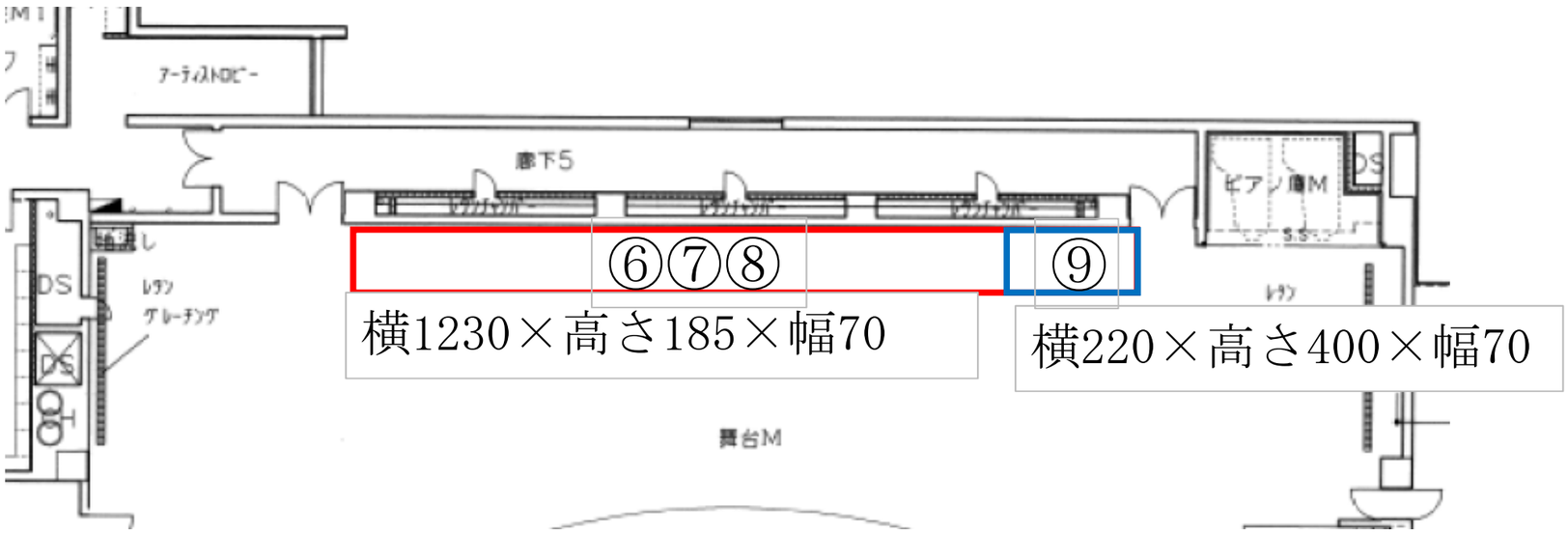
すべてこの位置で養生











メインホール　舞台　奥

⑫横1990×高さ140×幅80



横530×高さ450×幅500

倉庫ごと密閉

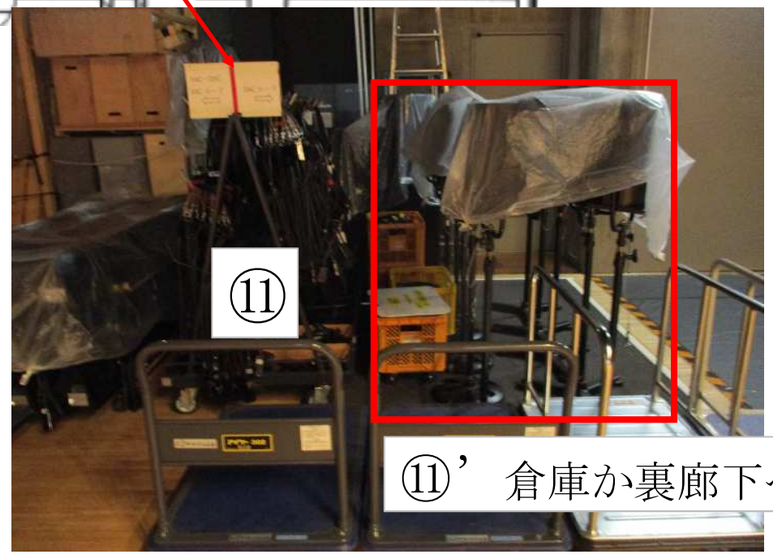
⑩

盤あり個別養生（電気工事）
横230×高さ120×幅50

⑪

盤あり個別養生（電気工事）
横250×高さ170×幅40

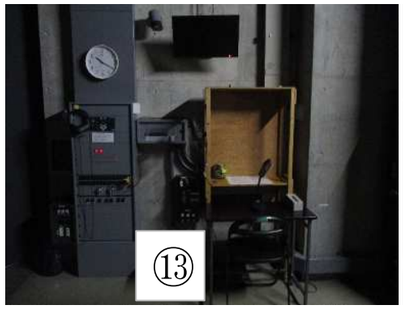
⑪照明コード掛けは上手倉庫かその場で養生
照明コードザルは上手倉庫へ



⑪’ 倉庫か裏廊下へ移動



メインホール　舞台上手


⑬


⑭


⑮



⑯横320×高さ180×幅80

すべてこの位置で養生

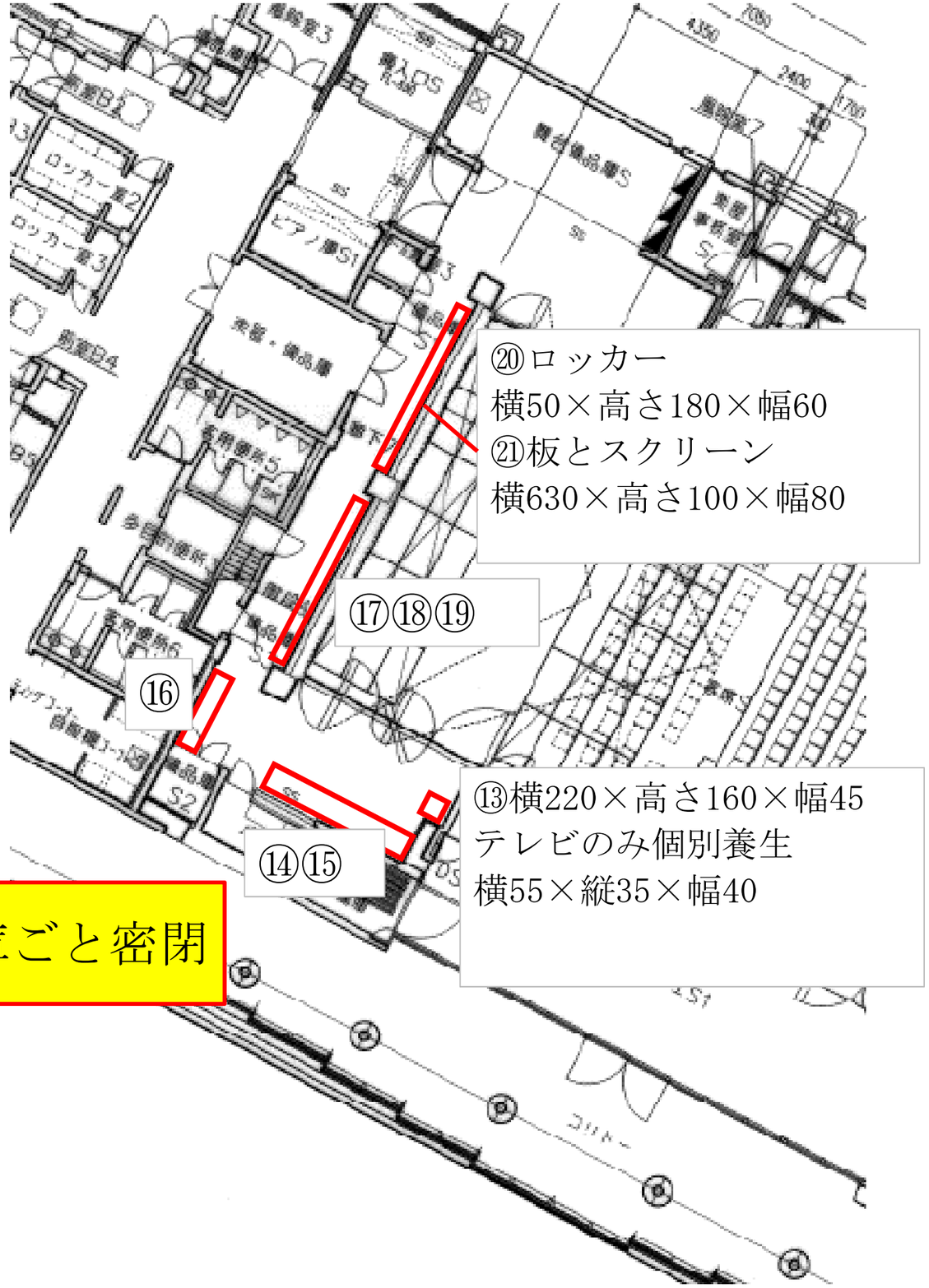

⑰


⑱


⑲

⑰横140×高さ200×幅40
⑱横350×高さ210×幅80
⑲横160×高さ110×幅35

各倉庫ごと密閉



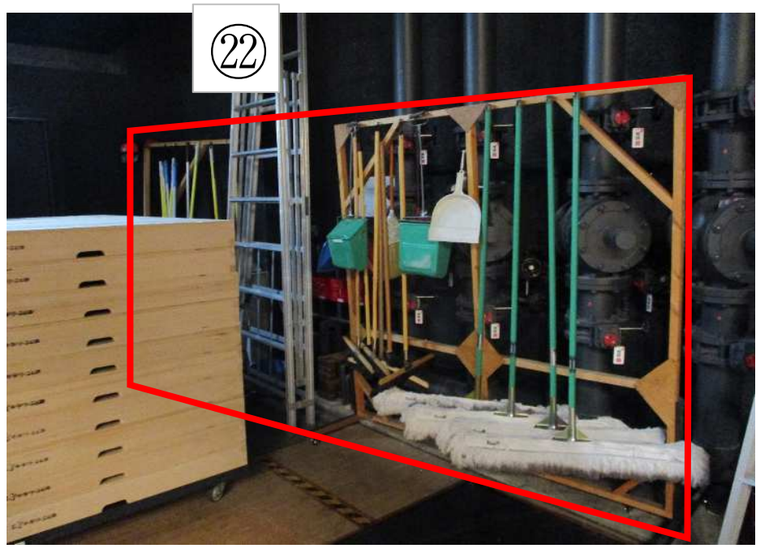
マルチホール　舞台　上・下・裏

すべてこの位置で養生



㉓





㉒

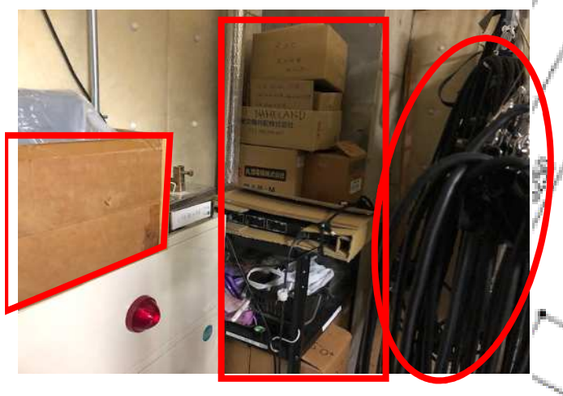


㉒ 横430×高さ200×幅70

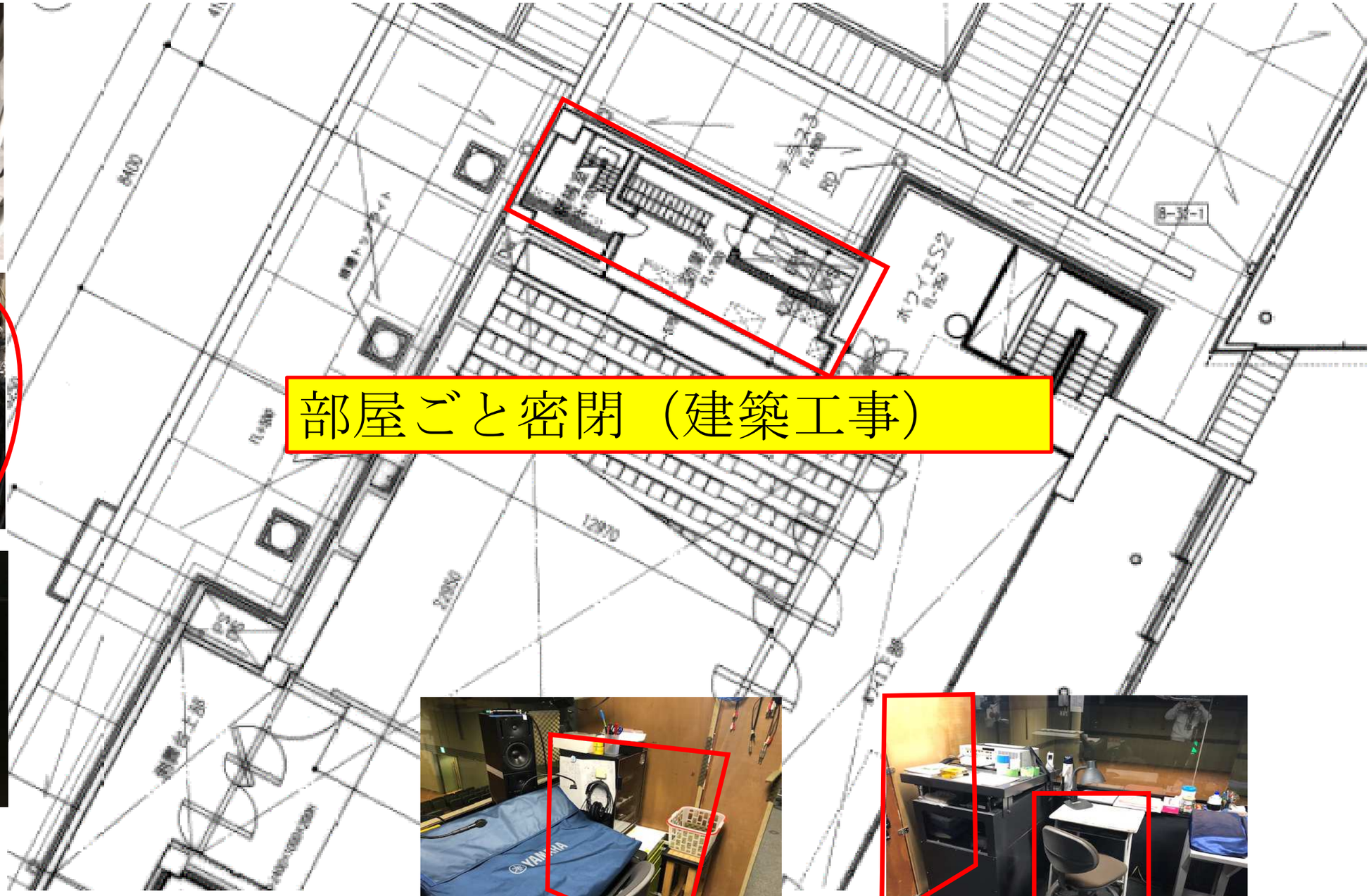
㉓横820×縦400×高さ210

メインホール　下手　奥









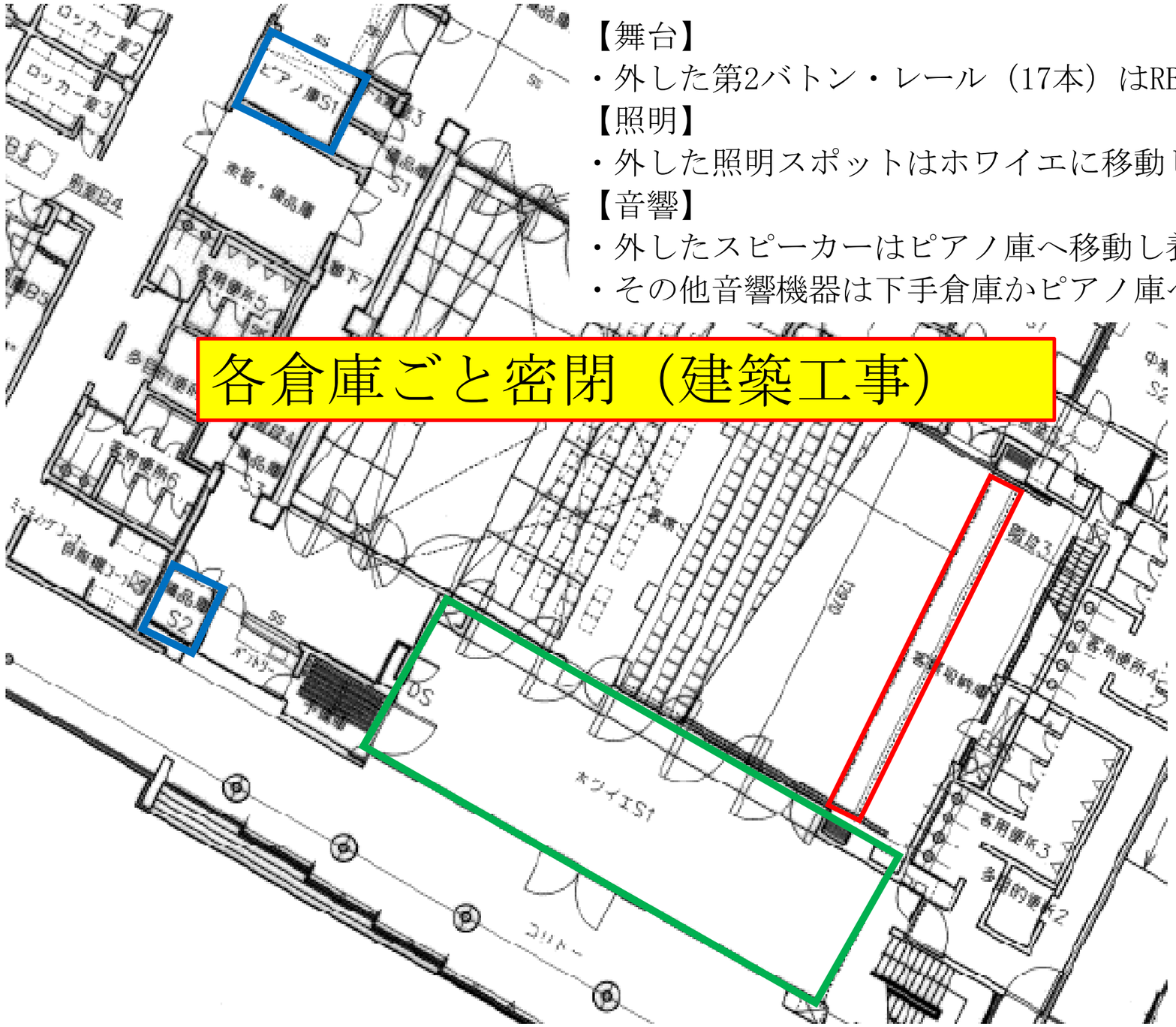
部屋ごと密閉（建築工事）



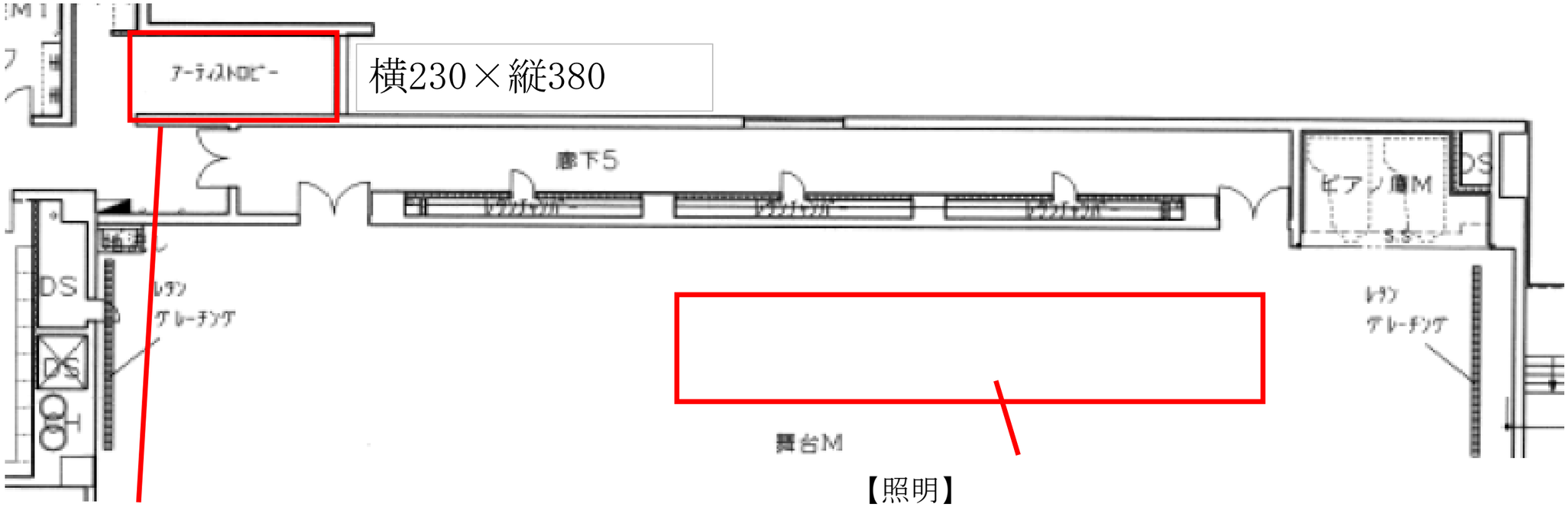


マルチホール　調整室

【舞台】
・外した第2バトン・レール（17本）はRBC収納スペースへ入れる（建築工事）
【照明】
・外した照明スポットはホワイエに移動し養生（電気工事）
【音響】
・外したスピーカーはピアノ庫へ移動し養生（電気工事）
・その他音響機器は下手倉庫かピアノ庫へ移動し養生（電気工事）



マルチホール　舞台・音響・照明



【音響】
・取り外したスピーカー類（プロセニアム、カラムなど）はアーティストロビーへ移動しそこで養生（電気工事）

【照明】
・サスペンションライト、アッパーライトは吊ったまま養生（電気工事）
・ボーダーライトは吊ったまま養生（電気工事）
・反響板は吊ったまま養生（建築工事A-083参照）
・階段内の各部屋も部屋ごと密閉（建築工事）

メインホール　音響・照明

設　計　仕　様　書

工事名称　　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

工事場所　　富士見市　大字鶴馬　地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事				
請負工事費					
工事概要	特定天井改修工事 金属屋根修繕・屋上防水改修 外壁塗装改修・外部シーリング改修			太陽光パネル撤去・外部シャッター更新 カスケード漏水修繕 ラグーン汚泥引抜清掃	

総括表

上段　設計変更
下段　原　設計

名称	摘要	数量	単位	金額	備考
建築工事		1	式		
計		1	式		
共通仮設費		1	式		
純工事費		1	式		
現場経費		1	式		
工事原価		1	式		
一般管理費		1	式		
工事価格		1	式		
改め		1	式		
消費税相当額		1	式		10%
請負工事費		1	式		

富士見市 総務部 営繕課

積算用紙

上段	変更設計
下段	原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	工事共通仮設費						
	準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
		現場事務所、倉庫、下小屋、					
	仮設建物費	作業員施設等の費用	1.0	式			
		場内通信設備等の工事用施設に					
	工事施設費	要する費用	1.0	式			
		安全標識、消火設備等の施設の設置					
	環境安全費	隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
		工事用電気設備及び工事用給排水設備					(共通仮設費率)+
	動力用水光熱費	とその料金に要する費用	支給				(積上げ)
		屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の					
	屋外整理清掃費	整理清掃に要する費用	1.0	式			
	機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
	その他	材料試験等に要する費用	1.0	式			
	計						

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
0	共通仮設費(積上げ)	1工区					
	仮囲い	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ H1.8 存置12か月 運搬費共 柱脚固定具共	684	m			
	ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ	W6.0m×H2.0m 存置12か月	2	か所			
	交通誘導員		480	人			
	ｶｽｹｰﾄﾞｳｯﾄﾞﾃﾞｯｷ上						
	外部足場下耐水合板	t12	106.0	㎡			
	外部足場下砕石敷	H800	279.0	㎡			
	外部足場下土間ｽﾗﾌﾞ	厚150 ﾜｲﾔﾒｯｼｭ共	279.0	㎡			代価-1
	楊重機損料		1	式			
	化学物質濃度測定	前後(ﾏﾙﾁﾎｰﾙ3)	6	か所			
	鉄板敷	存置12か月 運搬共	279.0	㎡			
	計						

(　　)

(　　)

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
		2工区					
	仮囲い	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ H1.8 継続・損料5か月 運搬費共 柱脚固定具共	272.0	m			
	仮囲い	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ H1.8 盛替・損料5か月 運搬費共 柱脚固定具共	139.0	m			
	キャスターゲート	W6.0m×H2.0m 継続・損料5か月	2	か所			
	キャスターゲート	W3.6m×H2.0m 5か月	1	か所			
	交通誘導員		200	人			
	楊重機損料		1.0	式			
	鉄板敷	存置2か月 運搬共	162.0	㎡			
	化学物質濃度測定	前後（ﾒｲﾝﾎｰﾙ4・ﾒｲﾝﾎｰﾙﾎﾜｲｴ3）	14	か所			

（　　）

（　　）

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	高木剪定	H15m	3.0	本			代価-2
	外部足場下植栽撤去植替え	低木8.4㎡	1.0	式			代価-3
	金属屋根立葺部足場下						
	ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ敷込み	厚40	60.2	㎡			
	備品移動	取外し･再設置共	1.0	式			代価-7
	鉄板敷	継続　存置5か月 運搬共	279.0	㎡			
	計						

(　　)

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A	-1建築工事	【天井工事】					
1	直接仮設工事		1	式			
2	特定天井改修	1.撤去	1	式			
		2.鉄骨天井下地	1	式			
		3.内装仕上げ	1	式			
		4.塗装	1	式			
3	発生材処理		1	式			
	小計						

（　　）

（　　）

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
A	-2建築工事						
1	直接仮設		1	式			
2	金属屋根改修		1	式			
3	屋上防水改修		1	式			
4	外壁等改修		1	式			
5	内壁等改修		1	式			
6	外部建具等改修		1	式			
7	屋上機械置場改修		1	式			
8	塗装改修		1	式			
9	カスケード改修		1	式			
10	ラグーン改修		1	式			

（　　）

（　　）

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
11	その他改修		1	式			
12	発生材処理		1	式			
	小計						
	計						

（　　）

（　　）

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部個別改修	1,292.0	㎡			
	養生	内部個別改修	1,292.0	㎡			
	開口部養生	合板張養生	158.0	㎡			
	整理清掃あと片付け	内部個別改修	1,292.0	㎡			
	ﾒｲﾝﾎｰﾙﾎﾜｲｴ 内部仕上げ足場(手すり先行型)	くさび緊結式棚足場　H6450　9ヶ月　運搬共	268.0	㎡			
	ﾏﾙﾁﾎｰﾙ 内部仕上げ足場(手すり先行型)	くさび緊結式棚足場　H7520～10750　9ヶ月　運搬費共	298.0	㎡			
	ﾒｲﾝﾎｰﾙ 内部仕上げ足場(手すり先行型)	くさび緊結式棚足場　H11850～15850　13ヶ月　運搬費共	727.0	㎡			
	内部足場(ﾒｲﾝﾎｰﾙﾎﾜｲｴ) 安全手摺	手摺先行	79.8	m			
	内部足場(ﾒｲﾝﾎｰﾙ) 安全手摺	手摺先行	105.9	m			
	内部足場(ﾏﾙﾁﾎｰﾙ) 安全手摺	手摺先行	71.8	m			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	仮設材運搬	安全手摺	257.5	m			
	ﾒｲﾝﾎｰﾙ舞台上						
	養生ｼｰﾄ	防炎性能　JIS　A8952　Ⅰ類	158.4	㎡			
	1工区						
	仮設間仕切	B種　LGS+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	4.5	㎡			
	2工区						
	仮設間仕切	B種　LGS+石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	162.0	㎡			
	1工区						
	開口部養生	密封処理共	86.6	㎡			
	2工区						
	開口部養生	密封処理共	37.4	㎡			
	2工区						
	天井部養生	防炎性能　ｼｰﾄ養生	146.0	㎡			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	備品養生	客席廻り	1.0	式			代価-4
	備品養生	舞台廻り(緞帳・スクリーン等)	1.0	式			代価-5
	計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2	特定天井等改修						
	1.撤去						
	＜ ﾒｲﾝﾎｰﾙ特定天井 ＞						
	天井下地材撤去	集積共	801.0	㎡			
	天井仕上げ撤去	ﾎﾞｰﾄﾞ2重張り DR 集積共	126.0	㎡			
	天井仕上げ撤去	ﾎﾞｰﾄﾞ2重張り FGﾎﾞｰﾄﾞ 集積共	675.0	㎡			
	下り壁下地撤去	H350 集積共	129.0	m			
	下り壁下地撤去	H170 集積共	7.4	m			
	下り壁仕上げ撤去	ﾎﾞｰﾄﾞ2重張り 集積共	46.5	㎡			
	ｷｬｯﾄｳｫｰｸ既設手摺切断	φ40程度 L400 ｶﾞｽ切断	78.0	か所			

(　　)
(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	天井木製見切り撤去	曲線 30×215	19.1	m			
	天井木製見切り撤去	曲線 30×190	16.8	m			
	天井木製見切り撤去	30×300	12.1	m			
	天井木製見切り撤去	30×120	16.1	m			
	天井木製見切り撤去	30×100	281.0	m			
	天井木製見切り撤去	30×150	129.0	m			
	小計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	＜ ﾒｲﾝﾎｰﾙﾎﾜｲｴ特定天井 ＞						
	天井下地材撤去	集積共	268.0	㎡			
	天井仕上げ撤去	ﾎﾞｰﾄﾞ2重張り　集積共	268.0	㎡			
	下り壁下地撤去	H350　集積共	84.1	m			
	下り壁仕上げ撤去	ﾎﾞｰﾄﾞ2重張り　集積共	29.4	㎡			
	天井見切縁撤去	30×120	84.1	m			
	天井見切縁撤去	30×75	76.3	m			
	小計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	＜ ﾏﾙﾁﾎｰﾙ特定天井 ＞						
	天井下地材撤去	集積共	167.0	㎡			
	天井下地材撤去	ｼｽﾃﾑ天井下地　集積共	131.0	㎡			
	天井仕上げ撤去	ﾎﾞｰﾄﾞ2重張り　集積共	167.0	㎡			
	天井仕上げ撤去	GWﾎﾞｰﾄﾞ1重張り　集積共	131.0	㎡			
	廻り縁撤去	塩ビ製	82.0	m			
	小計						
	計						

（　　）

（　　）

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2	2.改修	鉄骨天井下地					
	＜ ﾒｲﾝﾎｰﾙ特定天井 下地 ＞						
	P1 H形鋼	H-100×50×5×7	9.0	t			
	P2 H形鋼	H-150×75×5×7	3.0	t			
	P1 H形鋼	H-300×150×6.5×9	4.3	t			
	壁つなぎ材 溝形鋼	ｺ-150×75×6.5×10	0.8	t			
	水平ﾌﾞﾚｰｽa材 軽量形鋼	C-120×60×3.2	9.1	t			
	壁つなぎ材 軽量形鋼	C-60×30×2	0.3	t			
	野縁縁受 軽量形鋼	C-40×20×1.6	1.0	t			
	鋼板	PL6.0	1.2	t			
	ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2	0.9	t			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	鉄骨加工組立		16.7	t			
	軽量鉄骨加工組立		10.7	t			
	工場溶接	6mm換算	182.0	m			
	鉄骨運搬費		27.4	t			
	鉄骨建て方		27.4	t			
	錆止め塗装	鉄骨	682.0	㎡			
	高力ﾎﾞﾙﾄ	M-12　L41	1,736.0	本			
	高力ﾎﾞﾙﾄ本締め		1,686.0	本			
	現場溶接	6mm換算	31.3	m			
	水平ﾌﾞﾚｰｽ	L3000 M-16	98.0	本			
	鉛直ﾌﾞﾚｰｽ	L3000 M-22	70.0	本			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	鉛直ﾌﾞﾚｰｽ	L6000 M-22	4.0	本			
	鉛直ﾌﾞﾚｰｽ	L5000 M-22	8.0	本			
	鉛直ﾌﾞﾚｰｽ	L4000 M-22	52.0	本			
	壁つなぎ材鉄骨あと施工ｱﾝｶｰ	M12　横向き 金属系	46.0	本			
	超音波探傷試験	第3社　現場	141.0	か所			
		準構造天井工法 25形Wﾊﾞｰ@303					
	耐震天井下地	野縁受;C-40×20×1.6@910	801.0	㎡			
		H350準構造天井工法					
	耐震下り壁下地	25形Wﾊﾞｰ@303 野縁受;C-40×20×1.6@910	128.0	m			
		H170準構造天井工法					
	耐震下り壁下地	25形Wﾊﾞｰ@303 野縁受;C-40×20×1.6@910	7.4	m			
	準構造天井						
	天井開口補強	φ50 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	38.0	か所			
	準構造天井						
	天井開口補強	φ100 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	57.0	か所			
	準構造天井						
	天井開口補強	φ150 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	36.0	か所			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	準構造天井						
	天井開口補強	φ250 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	20.0	か所			
	準構造天井						
	天井開口補強	200×500 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	12.0	か所			
	準構造天井						
	天井開口補強	2000×400 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	4.0	か所			
	3Dｽｷｬﾝ調査	施工前ﾎｰﾙ形状調査	1.0	式			
	小計						
						( )	
						( )	

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	＜ ﾎﾜｲｴ特定天井 下地 ＞	鉄骨天井下地					
	鋼板	PL6.0	0.2	t			
	野縁縁受鉄骨軽量形鋼	C-40×20×1.6	0.1	t			
	ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2	0.1	t			
	鉄骨加工組立		0.2	t			
	軽量鉄骨加工組立		0.1	t			
	鉄骨運搬費		0.3	t			
	鉄骨建て方		0.3	t			
	現場溶接	6mm換算	56.3	m			
	超音波探傷試験	第3社　現場	141.0	か所			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	錆止め塗装	鉄骨	9.2	㎡			
	ﾋﾞｽ	M4	460.0	本			
		準構造天井工法 25形Wﾊﾞｰ@303					
	耐震天井下地	野縁受;C-40×20×1.6@910	58.9	㎡			
	小計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	＜ ﾏﾙﾁﾎｰﾙ特定天井 下地 ＞	鉄骨天井下地					
	P1鉄骨H形鋼	H-100×50×5×7	1.7	t			
	野縁受b材鉄骨H形鋼	H-100×50×5×7	2.5	t			
	水平ﾌﾞﾚｰｽa材鉄骨軽量形鋼	C-100×50×20×3.2	1.3	t			
	野縁縁受鉄骨軽量形鋼	C-40×20×1.6	0.4	t			
	鋼板	PL6.0	0.9	t			
	ｽｸﾗｯﾌﾟ控除	H2	0.2	t			
	鉄骨加工組立		2.4	t			
	軽量鉄骨加工組立		4.1	t			
	工場溶接	6mm換算	107.0	m			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	鉄骨運搬費		6.5	t			
	鉄骨建て方		6.5	t			
	現場溶接	6mm換算	18.9	m			
	高力ﾎﾞﾙﾄ	M-12 L41	953.0	本			
	高力ﾎﾞﾙﾄ本締め		926.0	本			
	錆止め塗装	鉄骨	202.0	㎡			
	水平ﾌﾞﾚｰｽ	L2400 M-16	48.0	本			
	水平ﾌﾞﾚｰｽ	L3000 M-16	42.0	本			
	鉛直ﾌﾞﾚｰｽ	L2000 M-16	71.0	本			
	鉛直ﾌﾞﾚｰｽ	L3000 M-16	40.0	本			
	鉛直ﾌﾞﾚｰｽ	L2400 M-16	7.0	本			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	超音波探傷試験	第3社　現場	85.0	か所			
		準構造天井工法 25形Wﾊﾞｰ@303					
	耐震天井下地	野縁受;C-40×20×1.6@910	298.0	㎡			
	小計						
	計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2	3.改修	内装仕上げ					
	＜ ﾒｲﾝﾎｰﾙ特定天井 ＞						
	耐震用ｽﾘｯﾄ	ｼｰﾘﾝｸﾞｱﾝｸﾞﾙ ｼﾙﾊﾞｰt1.4	82.0	m			代価-25
	天井ﾎﾞｰﾄﾞ切込み	φ50	38.0	か所			
	天井ﾎﾞｰﾄﾞ切込み	φ100	57.0	か所			
	天井ﾎﾞｰﾄﾞ切込み	φ150	36.0	か所			
	天井ﾎﾞｰﾄﾞ切込み	φ250	20.0	か所			
	天井ﾎﾞｰﾄﾞ切込み	200×500	12.0	か所			
	天井ﾎﾞｰﾄﾞ切込み	2000×400 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	4.0	か所			
	ｷｬｯﾄｳｫｰｸ既設手摺手摺切断あと補修		78.0	か所			
	ｷｬｯﾄｳｫｰｸ既設手摺歩支柱新設	FB-6×40 L1100手摺溶接3か所共	26.0	か所			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	岩綿吸音板	DR9.0+GB-NC9.5	126.00	㎡			
	繊維混入石膏板	FGﾎﾞｰﾄ8+8	675.0	㎡			代価-6
	下り壁 繊維混入石膏板	FGﾎﾞｰﾄ8+8曲面	45.1	㎡			代価-6
	木製見切り縁	米栂集成材 30×215　曲線	19.1	m			
	木製見切り縁	米栂集成材 30×190　曲線	16.8	m			
	木製見切り縁	米栂集成材 30×100	281.0	m			
	木製見切り縁	米栂集成材 30×300	12.1	m			
	木製見切り縁	米栂集成材 30×120	16.1	m			
	木製見切り縁	米栂集成材 30×150	129.0	m			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	昇降ﾀﾗｯﾌﾟ①	L1100+190	2.0	か所			
	昇降ﾀﾗｯﾌﾟ②	L1100+1940	2.0	か所			
	昇降ﾀﾗｯﾌﾟ③	L1100+1490	2.0	か所			
	昇降ﾀﾗｯﾌﾟ④	L1100+1640	2.0	か所			
	昇降ﾀﾗｯﾌﾟ⑤	L1100+1190	2.0	か所			
	昇降ﾀﾗｯﾌﾟ⑥	L1100+740	2.0	か所			
	昇降ﾀﾗｯﾌﾟ⑦	L1100+290	2.0	か所			
	天井点検口取外し再取付	W500･700×H210･324	73.0	か所			
	小計						
						( )	
						( )	

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	< ﾒｲﾝﾎｰﾙﾎﾜｲｴ特定天井 >						
	耐震天井下地		268.0	㎡			
	天井見切りｱﾝｸﾞﾙ	L-75 ｱﾙﾐ製	84.1	m			
	耐震天井下地開口補強	φ50 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	69.0	か所			
	耐震天井下地開口補強	φ100 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	144.0	か所			
	耐震天井下地開口補強	φ300 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	17.0	か所			
	耐震天井下地開口補強	300角 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	1.0	か所			
	耐震天井下地開口補強	500×200 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	2.0	か所			
	耐震天井下地開口補強	750×200 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	21.0	か所			
	耐震天井下地開口補強	1000×200 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	6.0	か所			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	耐震天井下地開口補強	1300×200 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	4.0	か所			
	耐震天井下地開口補強	1500×200 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	2.0	か所			
	耐震天井下地開口補強	2300×200 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	1.0	か所			
	耐震天井下地開口補強	3000×200 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	3.0	か所			
	耐震天井下地開口補強	450角 ﾎﾞｰﾄﾞ切込み共	3.0	か所			
	天井点検口	450角　内外枠共額縁	9.0	か所			
	岩綿吸音板	Dr9.0	326.0	㎡			
	下り壁 岩綿吸音板	Dr9.0 曲面	27.6	㎡			
	天井現場発泡ｳﾚﾀﾝ吹付	厚25	329.0	㎡			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	木製見切り縁	米栂集成材 30×70　曲線	69.3	m			
	木製見切り縁	米栂集成材 30×70	7.0	m			
	木製見切り縁	米栂集成材 30×120　曲線	84.1	m			
	間接照明ﾎﾞｯｸｽ	米栂集成材 W200×H120	67.6	m			
	小計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	＜ マルチホール特定天井 ＞						
	繊維強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	厚8.0+8.0 継目処理	167.0	㎡			代価-6
	GWﾎﾞｰﾄﾞ	厚50 32kg品ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾝﾄ目地共	131.0	㎡			
	耐震用ｽﾘｯﾄ	ｼｰﾘﾝｸﾞｱﾝｸﾞﾙ ｼﾙﾊﾞｰt1.4	71.8	m			代価-25
	第2ﾊﾞﾄﾝ吊下吸音板取外し再取付	W11.0m×H1.7m	1.0	か所			代価-8
	吊りﾊﾞﾄﾝﾚｰﾙ取外し再取付	L11.0m　保管場所:RBC収納庫	17.0	本			代価-9
	小計						
	計						

（　　）

（　　）

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
2	4.改修	塗装					
	＜ ﾒｲﾝﾎｰﾙ ＞						
	EP	ボード面 見上げ 素地B種	847.0	㎡			
	EP-G	木部細幅	265.0	m			
	ｷｬｯﾄｳｫｰｸSOP塗替え	鉄面RB種･錆止め共	317.0	㎡			
	昇降ﾀﾗｯﾌﾟ錆止め塗装		14.0	か所			
	＜ ﾒｲﾝﾎｰﾙﾎﾜｲｴ ＞						
	EP	ボード面 見上げ 素地B種	297.0	㎡			
	EP	木部細幅	160.0	m			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	＜ マルチホール＞						
	EP	ボード面 見上げ 素地B種	167.0	㎡			
	ｷｬｯﾄｳｫｰｸSOP塗替え	鉄面RB種･錆止め共	287.0	㎡			
	計						

（　　）

（　　）

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
3	発生材処理						
	発生材積込み	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	20.6	m3			
	発生材積込み	混合廃棄物	8.9	m3			
	発生材積込み	混合廃棄物(金属くず)	27.6	m3			
	発生材積込み	木くず	1.9	m3			
	発生材運搬	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	20.6	m3			
	発生材運搬	混合廃棄物	8.9	m3			
	発生材運搬	混合廃棄物(金属くず)	27.6	m3			
	発生材運搬	木くず	1.9	m3			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	発生材処分	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	20.6	m3			
	発生材処分	混合廃棄物	8.9	m3			
	発生材処分	混合廃棄物(金属くず)	27.6	m3			
	発生材処分	木くず	1.9	m3			
	計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
1	直接仮設工事						
	養生	防水改修	5,312.0	㎡			
	養生	外壁改修	801.0	㎡			
	整理清掃あと片付け	防水改修	5,312.0	㎡			
	整理清掃あと片付け	外壁改修	801.0	㎡			
	くさび緊結式足場	W900 12m未満 運搬共	5,863.0	㎡			
	くさび緊結式足場	W900 20m未満 運搬共	1,100.0	㎡			
	くさび緊結式足場	W900 20m以上 運搬共	40.40	㎡			
	高所作業車	800kg	2.0	か所			

(　　)

(　　)

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	養生ｼｰﾄ	防炎性能　JIS　A8952　Ⅰ類	7,004.0	㎡			
	小幅ﾈｯﾄ		1,848.0	m			
	仮設材運搬	養生ｼｰﾄ	7,004.0	㎡			
	仮設材運搬	小幅ﾈｯﾄ	1,848.0	m			
	内部枠組足場	W600　3か月　運搬共	145.8	㎡			
	脚立足場		150.0	㎡			
	計						

（　　）

（　　）

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
2	金属屋根改修						
	1撤去						
	1-2金属屋根撤去	下地ﾎﾞｰﾄﾞ･ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ共	524.0	㎡			代価-26
	小計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	2.改修						
		厚0.5 立馳葺き ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ					
	1-2金属屋根葺き	遮熱仕様	524.0	㎡			
		ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞt1.0					
		硬質ｲｿｼｱ ﾇﾚｰﾄﾎﾞｰﾄﾞt25					
	1-2金属屋根下地	ﾊｯﾄ型	524.0	㎡			
	1-2金属屋根頂部片棟包み	厚0.5 ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ	30.0	m			
	1-2金属屋根ｴﾌﾟﾛﾝ	厚0.5 ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ	30.0	m			
	1-2金属屋根棟水切り	厚0.5 ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ	30.0	m			
	1-2金属屋根軒先唐草	厚0.8 ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ	30.0	m			
	1-2金属屋根止め面戸	厚0.5 ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ	30.0	m			
	1-2金属屋根ｹﾗﾊﾞ水切り	厚0.5 ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ	34.7	m			

(　　)
(　　)

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	1-1遮熱塗装	ｹﾚﾝ清掃の上	1,919.0	㎡			
	小計						
	計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
3	屋上防水改修						
	1.撤去						
	既存防水層撤去	露出ｱｽ防　立上り	758.0	㎡			
	防水押え金物撤去		1,320.0	m			代価-10
	内樋内 FRP防水撤去		81.7	㎡			
	ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ撤去	ｽﾄﾚｰﾅｰ　竪引き	30.0	か所			
	ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ撤去	ｽﾄﾚｰﾅｰ　横引き	2.0	か所			
	既存防水層撤去	露出ｱｽ防　立上り	246.0	㎡			
	ﾄﾞﾚﾝ廻り防水層･上皿撤去		9.0	か所			
	伸縮目地撤去		193.0	m			

(　　)
(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	太陽光パネル撤去	厚18　集積共	448.0	㎡			

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	2.改修						
	屋根防水調査	ｱｽ防	2,893.0	㎡			
	屋根防水調査	塗膜防水	1,209.0	㎡			
	高圧水洗		2,893.0	㎡			
	既存防水面下地調整	露出ｱｽ防下　平面 下地調整材	2,381.0	㎡			
	既存防水面下地調整	露出ｱｽ防下　立上り部 仮防水+下地調整材	512.0	㎡			
	ｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水	C-1　かぶせ工法 平面	2,381.0	㎡			
	ｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水	C-1　かぶせ工法 立上り	512.0	㎡			
	防水押え金物		600.0	m			
	膨れ処理		240.0	㎡			
	FRP防水撤去後下地処理		81.7	㎡			

(　　)
(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	ﾄﾞﾚﾝ廻りﾓﾙﾀﾙ補修		32.0	か所			
	改修用ﾄﾞﾚﾝ	竪引き	30.0	か所			
	改修用ﾄﾞﾚﾝ	横引き	2.0	か所			
	高圧水洗	塗膜防水下	1,209.0	㎡			
	既存下地調整	塗膜防水下　平面部	962.0	㎡			
	既存下地調整	塗膜防下　立上り部	246.0	㎡			
	ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-1　平面	962.0	㎡			
	ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2　立上り	246.0	㎡			
	脱気筒	ｽﾃﾝﾚｽ	15.0	か所			
	伸縮目地　ｱﾙﾐ目地ｷｬｯﾌﾟ		193.0	m			
	ﾄﾞﾚﾝ廻りﾓﾙﾀﾙ補修		9.0	か所			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	笠木既存下地調整	塗膜防水下	651.0	㎡			
	笠木ｳﾚﾀﾝ塗膜防水	X-2	651.0	㎡			
	改修用ﾄﾞﾚﾝ	竪引き	9.0	か所			
	小計						
	計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
4	外壁等改修						
	1.撤去						
	ﾀｲﾙ面ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去		242.0	m			
	打放面ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去		2,267.0	m			
	ﾏﾙﾁﾎｰﾙ外壁ひび割れ補修部 ｱｽﾍﾞｽﾄ含有下地調整材除去		150.0	m			
	ﾒｲﾝﾎｰﾙ外壁ひび割れ補修部 ｱｽﾍﾞｽﾄ含有下地調整材除去		400.0	m			
	ﾏﾙﾁﾎｰﾙ外壁 隔離養生	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	666.0	㎡			
	ﾒｲﾝﾎｰﾙ外壁 隔離養生	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	1,609.0	㎡			
	小計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	2.改修						
	外壁施工調査	ｺﾝｸﾘｰﾄ面	1,251.0	㎡			
	外壁施工調査	ｺﾝｸﾘｰﾄ面厚塗部	1,961.0	㎡			
	外壁施工調査	ﾀｲﾙ面	861.0	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放面ひび割れ補修	0.2mm以上ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	19.2	m			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放面ひび割れ補修	0.15～0.2mm未満ﾊﾟﾃ状ｴﾎﾟｷｼ樹脂ｼｰﾙ工法	1.6	m			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放面 遊離石灰を伴うひび割れ補修		3.3	m			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放面亀甲状ひび割れ補修	ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ充填	0.7	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放面剥離補修		0.1	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放面厚塗材剥離補修		0.4	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放面厚塗材ひび割れ補修	ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	550.0	m			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放面						
	厚塗材亀甲状ひび割れ補修		7.90	㎡			
	ﾀｲﾙ面ひび割れ補修	ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	1.8	m			
	ﾀｲﾙ面遊離石灰を伴うひび割れ補修		0.2	m			
	ﾀｲﾙ面浮き補修	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞｴﾎﾟｷｼ樹脂注入	30.8	㎡			
	ﾀｲﾙ面遊離石灰補修		1.3	m			
	ﾀｲﾙ面ｼｰﾘﾝｸﾞ	PU-2 15×10打継目地	121.0	m			
	ﾀｲﾙ面ｼｰﾘﾝｸﾞ	PU-2 10×5打継目地	112.0	m			
	ﾀｲﾙ面ｼｰﾘﾝｸﾞ	PU-2 10×5誘発目地	8.6	m			
	打放面ｼｰﾘﾝｸﾞ	PU-2 10×15打継目地	646.0	m			
	打放面ｼｰﾘﾝｸﾞ	PU-2 10×15誘発目地	564.0	m			

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	打放面ｼｰﾘﾝｸﾞ	PU-2 10×15ｺﾝｸﾘｰﾄ取合い	6.00	m			
	打放面ｼｰﾘﾝｸﾞ	PU-2 10×25化粧目地	773.0	m			
	打放面ｼｰﾘﾝｸﾞ	PU-2 10×25水切り取合い	278.0	m			
	C 改FC下地調整	水洗い工法	1,251.0	㎡			
	B 厚塗部下地調整	水洗い工法	1,961.0	㎡			
	C軒天 改FC下地調整	水洗い工法	19.7	㎡			
	C 改FCフッ素樹脂ｸﾘｱｰ塗装	ﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝﾛｰﾗｰ工法(SK化研)同等	1,251.0	㎡			
	B 厚塗材A可とう形改修用仕上塗材	上塗り材:フッ素樹脂	1,961.0	㎡			
	C軒 改FCフッ素樹脂ｸﾘｱｰ塗装	ﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝﾛｰﾗｰ工法(SK化研)同等	19.7	㎡			
	ﾀｲﾙ水洗い		861.0	㎡			

(　　)

(　　)

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	小計						
	計						

（　　）

（　　）

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
5	内壁改修						
	内壁施工調査	ﾀｲﾙ面	96.0	㎡			
	④-1打放面ひび割れ補修		21.0	m			
	④-2 ﾀｲﾙ面浮き部･ひび割れ補修		37.0	㎡			
	計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
6	外部建具改修						
	1撤去						
	SS-7ｼｬｯﾀｰ撤去		20.9	㎡			
	ｶﾞﾗｽ押えｼｰﾘﾝｸﾞ撤去		4,847.0	m			
	ｶﾞﾗｽ突合せｼｰﾘﾝｸﾞ撤去		87.3	m			
	小計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	2.改修						
	SS7電動軽量シャッター	外付けﾎﾞｯｸｽ･無線信号装置1式W4400×H4750	1.0	か所			
	SS1 無線信号装置取替	発信･受光･受信機　点検調整共	1.0	か所			
	SS2 無線信号装置取替	発信･受光･受信機　点検調整共	1.0	か所			
	SS3 無線信号装置取替	発信･受光･受信機　点検調整共	1.0	か所			
	SS4 無線信号装置取替	発信･受光･受信機　点検調整共	1.0	か所			
	SS6 無線信号装置取替	発信･受光･受信機　点検調整共	1.0	か所			
	窓清掃		403.0	㎡			
	日射調整ﾌｨﾙﾑ		185.0	㎡			
	ｶﾞﾗｽ押えｼｰﾘﾝｸﾞ	5×5	4,847.00	m			

(　　)
(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	ｶﾞﾗｽ突合せｼｰﾘﾝｸﾞ	8+8 180°	2.00	m			
	ｶﾞﾗｽ突合せｼｰﾘﾝｸﾞ	10+10 90°	2.6	m			
	ｶﾞﾗｽ突合せｼｰﾘﾝｸﾞ	10+10 130°	5.1	m			
	ｶﾞﾗｽ突合せｼｰﾘﾝｸﾞ	10+10 150°	17.0	m			
	ｶﾞﾗｽ突合せｼｰﾘﾝｸﾞ	10+10 157.5°	21.7	m			
	ｶﾞﾗｽ突合せｼｰﾘﾝｸﾞ	15+15 90°	8.1	m			
	ｶﾞﾗｽ突合せｼｰﾘﾝｸﾞ	15+15 150°	26.6	m			
	ｶﾞﾗｽ突合せｼｰﾘﾝｸﾞ	15+15 180°	2.8	m			
	ｶﾞﾗｽ突合せｼｰﾘﾝｸﾞ	複層8+8(ﾀﾞﾌﾞﾙ) 90°	1.4	m			
	小計						
	計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
7	屋上機械置場改修						
	屋上機械置場						
	ルーバー取外し・再取付		252.0	㎡			代価-27
	計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
8	塗装改修						
	＜ 外部 ＞						
	EP 塗替え	ｹｲｶﾙ面 RB種共	68.4	㎡			
	DP塗替え	鉄部細幅　RB種・錆止め共	150.0	m			
	③-3手摺DP塗替え	H1100　鉄面RB種・錆止め塗料E種 錆止め塗料塗C種 塗料A種	79.9	m			
	DP塗替え	鋼建面 RB種共	112.0	㎡			
	ﾄﾞﾗｲｴﾘｱ落下防止取外し・再取付 DP塗替え	W8860×D2020(6分割)　錆止め共	1.0	か所			代価-11
	SOP	ｼｬｯﾀｰ面	77.3	㎡			
	計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
9	カスケード改修						
	1.撤去						
	豆砂利洗い出し撤去	厚100 ｺﾝｸﾘﾄﾌﾞﾚｰｶｰ併用	823.0	㎡			
	小計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	2.改修						
	既存下地調整	塗膜防水下　高圧洗浄　平場	823.0	㎡			
	塗膜防水	ｳﾚﾀﾝ系　X-2 平場	823.0	㎡			
	豆砂利洗い出し		823.0	㎡			代価-12
	排水溝A　清掃	W200×H800　SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ取外し再取付	18.0	m			代価-13
	排水溝B　清掃	W300×H610　SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ取外し再取付	45.0	m			代価-14
	排水管　清掃	VP250	95.0	m			代価-15
	小計						
	計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
10	ラグーン改修						
	1.撤去						
	乾燥汚泥撤去	厚500	319.0	m3			
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋受枠撤去		12.6	m			代価-16
	土工機械運搬	埋戻し	11.0	往復			
	小計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
	【改修】						
	(ﾗｸﾞｰﾝ)						
		750角 H300嵩上げ					
	泥為ﾋﾟｯﾄ嵩上げ	鉄筋･ｺﾝｸﾘｰﾄ･あと施工ｱﾝｶｰ共	1.0	か所			代価-17
		750角 H470嵩上げ					
	泥為ﾋﾟｯﾄ嵩上げ	鉄筋･ｺﾝｸﾘｰﾄ･あと施工ｱﾝｶｰ共	1.0	か所			代価-18
		750角 H600嵩上げ					
	泥為ﾋﾟｯﾄ嵩上げ	鉄筋･ｺﾝｸﾘｰﾄ･あと施工ｱﾝｶｰ共	1.0	か所			代価-19
		900角 H600嵩上げ					
	泥為ﾋﾟｯﾄ嵩上げ	鉄筋･ｺﾝｸﾘｰﾄ･あと施工ｱﾝｶｰ共	1.0	か所			代価-20
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋取外し再取付	750角　受枠新設共	3.0	か所			代価-21
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋取外し再取付	900角　受枠新設共	1.0	か所			代価-22
	小計						
	計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
11	その他改修						
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装補修		400.0	㎡			代価-23
	計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
12	発生材処理						
	発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ 機械	82.3	m3			
	発生材積込み	廃ﾌﾟﾗ 人力	0.5	m3			
	発生材積込み	混合廃棄物 人力	18.1	m3			
	発生材積込み	混合廃棄物(金属くず) 人力	2.1	m3			
	発生土積込み	汚泥	313.1	m3			
	発生材積込み	ｱｽｺﾝ	1.4	m3			
	発生土積込み	砕石	2.9	m3			
	発生材運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ	82.3	m3			
	発生材運搬	廃ﾌﾟﾗ	0.5	m3			
	発生材運搬	混合廃棄物	18.1	m3			

(　　)

(　　)

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	発生材運搬	混合廃棄物(金属くず)	2.1	m3			
	発生材運搬	汚泥	313.1	m3			
	発生材運搬	ｱｽｺﾝ	1.4	m3			
	発生材運搬	砕石	2.9	m3			
	発生材積込み	太陽光パネル　人力	8.1	m3			
	発生材運搬	太陽光パネル	8.1	m3			

(　　)

(　　)

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ	82.30	m3			
	発生材処分	廃ﾌﾟﾗ	0.5	m3			
	発生材処分	混合廃棄物	18.1	m3			
	発生材処分	混合廃棄物(金属くず)	2.1	m3			
	発生材処理	汚泥	313.1	m3			
	発生材処分	ｱｽｺﾝ	1.40	m3			
	発生材処分	砕石	2.90	m3			
	発生材処分	太陽光パネル	8.10	m3			
	計						

(　　)

(　　)

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-1						
	外部足場下土間ｽﾗﾌﾞ	厚150 ﾜｲﾔﾒｯｼｭ共　66.6㎡当り					
	普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc18N S15	10.0	m3			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間		10.0	m3			
	ﾎﾟﾝﾌﾟ車基本料金		1.0	回			
	溶接金網敷き込み	φ6 @100	66.6	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し		66.6	㎡			
	小計		66.6	㎡			
	改め計		1.0	㎡			

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-2						
	高木剪定	H15m					
	造園工		0.76	人			
	普通作業員		0.23	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

(　　)

(　　)

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-3						
	外部足場下植栽撤去植替え	低木8.4㎡					
	低木堀取	樹高50cm未満	100.0	本			
	低木植付	樹高50cm未満	100.0	本			
	場内運搬用ﾄﾗｯｸ損料	2t　ｸﾚｰﾝ装置付	2.0	日			
	小計						
	改め計						

（　　）

（　　）

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-4						
	備品養生						
	養生ｼｰﾄ		1,284.0	㎡			
	仮設材運搬	養生ｼｰﾄ	1,284.0	㎡			
	小計						
	改め計						

（　　）

（　　）

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-5						
	備品養生(舞台廻り)						
	緞帳･ｽｸﾘｰﾝ･反射板養生		1.0	式			
	幕類取外し、梱包		1.0	式			
	緞帳表地ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ、防炎材塗布		1.0	式			
	舞台幕再吊り込み･調整		1.0	式			
	客席ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝﾗｲﾄ昇降装置撤去･復旧		1.0	式			
	小計						
	改め計						

(　　)

(　　)

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-6						
	繊維混入石膏板	FGﾎﾞｰﾄ8+8					
	繊維混入石膏板		2.10	㎡			
	ｽﾃｰﾌﾞﾙ		0.02	kg			
	接着剤	ﾎﾞｰﾄﾞ用	0.22	kg			
	内装工		0.075	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

（　　）

（　　）

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-7						
	備品移動						
	普通作業員	取外し･移動	5.0	人			
	普通作業員	移動･設置	5.0	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

（　　）

（　　）

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-8						
	第2ﾊﾞﾄﾝ吊下吸音板取外し再取付	W11.0m×H1.7m					
	内装工	取外し	0.56	人			
	内装工	取付け	1.12	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

（　　）

（　　）

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-9						
	吊りﾊﾞﾄﾝﾚｰﾙ取外し再取付	L11.0m　保管場所:RBC収納庫					
	内装工	取外し・移動	0.116	人			
	内装工	移動・取付け	0.231	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

（　　）

（　　）

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-10						
	防水押え金物撤去						
	普通作業員		0.017	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

(　　)

(　　)

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-11						
	ﾄﾞﾗｲｴﾘｱ落下防止取外し･再取付	W8860×D2020(6分割) 錆止め共					
	普通作業員	取外し	0.250	人			
	普通作業員	再設置	0.250	人			
	その他		1.0	式			
	DP塗替え	鉄部 RB種･錆止め共	17.90	㎡			
	小計						
	改め計						

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-12						
	豆砂利洗い出し						
	玉砂利		20.0	kg			
	ｾﾒﾝﾄ		12.5	kg			
	白ｾﾒﾝﾄ		10.0	kg			
	砂		0.028	m3			
	左官		0.224	人			
	普通作業員		0.220	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-13						
	排水溝A　清掃	W200×H800　SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ取外し再取付					
	特殊作業員		0.15	人			
	左官		0.06	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

(　　)

(　　)

富士見市　総務部　営繕課

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-14						
	排水溝B　清掃	W300×H610　SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ取外し再取付					
	特殊作業員		0.15	人			
	左官		0.06	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

（　　）

（　　）

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-15						
	排水管　清掃	VP250					
	高圧水洗洗浄	水圧30Mpa	0.79	㎡			
	小計						
	改め計						

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-16						
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋受枠撤去						
	特殊作業員		0.042	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

(　　)

(　　)

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	代価-17	750角 H300嵩上げ					
	泥為ﾋﾟｯﾄ嵩上げ	鉄筋･ｺﾝｸﾘｰﾄ･あと施工ｱﾝｶｰ共					
	ｺﾝｸﾘﾄ目荒し	壁天端	0.54	㎡			
	あと施工ｱﾝｶｰ	D10 下向き　金属系	8.0	本			
	あと施工ｱﾝｶｰ	D13 下向き　金属系	4.0	本			
	異形鉄筋	SD295 D10	3.0	kg			
	異形鉄筋	SD295 D13	4.2	kg			
	鉄筋加工組立	運搬共	7.2	kg			
	普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	FC18　S15　材工共	0.16	m3			
	普通型枠	小型構造物　材工共	2.16	㎡			
	小計						
	改め計						

(　　)

(　　)

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-18	750角 H470嵩上げ					
	泥為ﾋﾟｯﾄ嵩上げ	鉄筋･ｺﾝｸﾘｰﾄ･あと施工ｱﾝｶｰ共					
	ｺﾝｸﾘﾄ目荒し	壁天端	0.54	㎡			
	あと施工ｱﾝｶｰ	D10 下向き　金属系	8.0	本			
	あと施工ｱﾝｶｰ	D13 下向き　金属系	4.0	本			
	異形鉄筋	SD295 D10	5.5	kg			
	異形鉄筋	SD295 D13	4.9	kg			
	鉄筋加工組立	運搬共	10.4	kg			
	普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	FC18　S15　材工共	0.25	m3			
	普通型枠	小型構造物　材工共	3.38	㎡			
	小計						
	改め計						

（　　）

（　　）

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-19	750角 H600嵩上げ					
	泥為ﾋﾟｯﾄ嵩上げ	鉄筋･ｺﾝｸﾘｰﾄ･あと施工ｱﾝｶｰ共					
	ｺﾝｸﾘﾄ目荒し	壁天端	0.54	㎡			
	あと施工ｱﾝｶｰ	D10 下向き　金属系	8.0	本			
	あと施工ｱﾝｶｰ	D13 下向き　金属系	4.0	本			
	異形鉄筋	SD295 D10	7.7	kg			
	異形鉄筋	SD295 D13	5.4	kg			
	鉄筋加工組立	運搬共	13.1	kg			
	普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	FC18　S15　材工共	0.32	m3			
	普通型枠	小型構造物　材工共	4.32	㎡			
	小計						
	改め計						

（　　）

（　　）

							上段　変更設計 下段　原　設計
	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
	代価-20 泥為ﾋﾟｯﾄ嵩上げ	900角 H600嵩上げ 鉄筋･ｺﾝｸﾘｰﾄ･あと施工ｱﾝｶｰ共					
	ｺﾝｸﾘﾄ目荒し	壁天端	0.63	㎡			
	あと施工ｱﾝｶｰ	D10 下向き　金属系	12.0	本			
	あと施工ｱﾝｶｰ	D13 下向き　金属系	4.0	本			
	異形鉄筋	SD295 D10	10.1	kg			
	異形鉄筋	SD295 D13	6.0	kg			
	鉄筋加工組立	運搬共	16.1	kg			
	普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	FC18　S15　材工共	0.38	m3			
	普通型枠	小型構造物　材工共	5.04	㎡			
	小計						
	改め計						

(　　)

(　　)

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-21						
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋取外し再取付	750角　受枠新設共					
	普通作業員	撤去	0.063	人			
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋受枠	750角	1.0	か所			
	特殊作業員		0.15	人			
	左官		0.060	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

（＿＿＿＿＿＿＿＿）

（＿＿＿＿＿＿＿＿）

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-22						
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋取外し再取付	900角　受枠新設共					
	普通作業員	撤去	0.076	人			
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋受枠	900角	1.00	か所			
	特殊作業員		0.18	人			
	左官		0.072	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

（　　）

（　　）

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-23						
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装補修	400㎡当り					
	ｱｽﾌｧﾙﾄｶｯﾀｰ入れ	15cm以下	384.0	m			
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装取壊し		28.8	㎡			
	路盤面整正	特に狭い場所	28.8	㎡			
	ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ	車道用	28.8	㎡			
	ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ散布	手間	28.8	㎡			
	ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物敷均し	厚50 特に狭い場所	28.8	㎡			
	ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物締固め	特に狭い場所	28.8	㎡			
	改修範囲清掃		400.0	㎡			
	小計		400.0	㎡			
	改め計		1.0	㎡			

(　　)

(　　)

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-25						
	耐震用ｽﾘｯﾄ	ｼｰﾘﾝｸﾞｱﾝｸﾞﾙ ｼﾙﾊﾞｰt1.4					
	ｼｰﾘﾝｸﾞｱﾝｸﾞﾙ	ACL-100	1.0	m			
	内装工		0.03	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

（＿＿＿＿＿＿）

（＿＿＿＿＿＿）

	上段　変更設計
	下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-26						
	1-2金属屋根撤去	下地ﾎﾞｰﾄﾞ･ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ共					
	板金工	屋根材撤去	0.050	人			
	普通作業員	屋根材+下地材撤去	0.015	人			
	その他		1.0	式			
	小計						
	改め計	1㎡当り					

（　　）

（　　）

上段　変更設計
下段　原　設計

	名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
	代価-27						
	ﾙｰﾊﾞｰ取外し･再取付	252㎡当り					
	特殊作業員	取外し･取付	5.0	人			
	普通作業員	移動保管、取外し･取付補助	5.0	人			
	左官	根回り	1.0	人			
	その他		1.0	式			
	小計		252.0	㎡			
	改め計	1㎡当り	1.0	㎡			

（　　）

（　　）

建　築

通番	図面番号	図面名称
1	ー	表紙
2	A-001	図面リスト
3	A-002	特記仕様書（1）
4	A-003	特記仕様書（2）
5	A-004	特記仕様書（3）
6	A-005	特記仕様書（4）
7	A-006	特記仕様書（5）
8	A-007	特記仕様書（6）
9	A-008	特記仕様書（7）
10	A-009	特記仕様書（8）
11	A-010	特記仕様書（9）（音響関係工事）
12	A-011	改修工事特記事項
	A-012	欠番
	A-013	欠番
	A-014	欠番
	A-015	欠番
	A-016	欠番
	A-017	欠番
13	A-018	案内図・配置図
14	A-019	外部仕上表（既存／改修）
15	A-020	内部仕上表（既存／改修）
16	A-021	平面図（1）B1F
17	A-022	平面図（2）1F
18	A-023	平面図（3）2F
19	A-024	平面図（4）3F
20	A-025	平面図（5）RF
21	A-026	立面図（1）メインホール南西側・北東側_外壁改修項目・集計表
22	A-027	立面図（2）メインホール南東側_外壁改修項目・集計表
23	A-028	立面図（3）エントランスホール西側・マルチホール西側・南側_外壁改修項目・集計表
24	A-029	立面図（4）マルチホール東側・北側_外壁改修項目・集計表
25	A-030	立面図（5）文化支援施設東側・西側、創造支援施設_外壁改修項目・集計表
26	A-031	断面図（1）メインホール
27	A-032	断面図（2）マルチホール・文化支援施設・創造支援施設
28	A-033	金属屋根・防水改修（1）屋根・防水区分
29	A-034	金属屋根・防水改修（2）メインホール（既存／改修）
30	A-035	金属屋根・防水改修（3）メインホール屋根詳細図（撤去・改修）
31	A-036	金属屋根・防水改修（4）メインホール断面詳細図（既存／改修）
32	A-037	金属屋根・防水改修（5）ホワイエ矩計図１（既存）
33	A-038	金属屋根・防水改修（6）ホワイエ矩計図２（改修）
34	A-039	金属屋根・防水改修（7）マルチホール断面詳細図１（既存／改修）
35	A-040	金属屋根・防水改修（8）マルチホール断面詳細図２（既存／改修）
36	A-041	金属屋根・防水改修（9）エントランスロビー断面詳細図１（既存／改修）
37	A-042	金属屋根・防水改修（10）エントランスロビー断面詳細図２（既存／改修）
38	A-043	金属屋根・防水改修（11）エントランスホール断面詳細図（既存／改修）
39	A-044	金属屋根・防水改修（12）展示・会議室断面詳細図（既存／改修）
40	A-045	金属屋根・防水改修（13）展示室断面詳細図１（既存／改修）
41	A-046	金属屋根・防水改修（14）展示室断面詳細図２（既存／改修）
42	A-047	金属屋根・防水改修（15）スタジオＡ～Ｄ断面詳細図１（既存／改修）
43	A-048	金属屋根・防水改修（16）スタジオＡ～Ｄ断面詳細図２（既存／改修）
44	A-049	金属屋根・防水改修（17）アトリエ断面詳細図（既存）
45	A-050	金属屋根・防水改修（18）アトリエ断面詳細図（改修）
46	A-051	金属屋根・防水改修（19）外部改修詳細図１
47	A-052	金属屋根・防水改修（20）外部改修詳細図２

建　築

通番	図面番号	図面名称
48	A-053	金属屋根・防水改修（21）外部改修詳細図３
49	A-054	金属屋根・防水改修（22）外部改修詳細図４
50	A-055	金属屋根・防水改修（23）外部改修詳細図５
51	A-056	金属屋根・防水改修（24）シーリング配置図
52	A-057	金属屋根・防水改修（25）屋根廻りシーリング１
53	A-058	金属屋根・防水改修（26）屋根廻りシーリング２
54	A-059	金属屋根・防水改修（27）トップライト廻りシーリング
55	A-060	金属屋根・防水改修（28）軒天井廻りシーリング
56	A-061	外壁改修（1）外壁詳細図（既存／改修）
57	A-062	外壁改修（2）シーリング配置図
58	A-063	外壁改修（3）外壁廻りシーリング
59	A-064	外壁改修（4）その他シーリング
60	A-065	特定天井改修（1）天井伏図_1F
61	A-066	特定天井改修（2）天井伏図_2F
62	A-067	特定天井改修（3）天井伏図_3F
63	A-068	特定天井改修（4）メインホール天井伏図（既存／改修）
64	A-069	特定天井改修（5）メインホール天井伏図　既存壁補強図（改修）
65	A-070	特定天井改修（6）メインホール断面詳細図１（既存／改修）
66	A-071	特定天井改修（7）メインホール断面詳細図２（既存／改修）
67	A-072	特定天井改修（8）メインホール屋内階段断面図（既存／改修）
68	A-073	特定天井改修（9）新設キャットウォーク・昇降タラップ伏図
69	A-074	特定天井改修（10）マルチホール天井伏図（改修）
70	A-075	特定天井改修（11）マルチホール断面詳細図１（既存／改修）
71	A-076	特定天井改修（12）マルチホール断面詳細図２（既存／改修）
72	A-077	特定天井改修（13）ホワイエ耐震ブレース配置図
73	A-078	特定天井改修（14）ホワイエ改修平面図・断面図・断面詳細図
74	A-079	特定天井改修（15）耐震天井標準詳細図
75	A-080	特定天井改修（16）部分詳細図１
76	A-081	特定天井改修（17）部分詳細図２
77	A-082	特定天井改修（18）部分詳細図３
78	A-083	特定天井改修（19）舞台機構・幕取外し・再取付リスト
79	A-084	外部建具改修（1）建具配置図１（改修）
80	A-085	外部建具改修（2）建具配置図２（改修）
81	A-086	外部建具改修（3）建具配置図３（改修）
82	A-087	外部建具改修（4）建具表１（改修）
83	A-088	外部建具改修（5）建具表２（改修）
84	A-089	外部建具改修（6）建具表３（改修）
85	A-090	外部建具改修（7）建具表４（改修）
86	A-091	外部建具改修（8）建具表５（改修）
87	A-092	外部建具改修（9）シーリング配置図
88	A-093	外部建具改修（10）カーテンウォール廻りシーリング１
89	A-094	外部建具改修（11）カーテンウォール廻りシーリング２
90	A-095	外部建具改修（12）カーテンウォール廻りシーリング３
91	A-096	空調熱源機更新に伴う屋上機械置場改修_改修詳細図
92	A-097	カスケード・ラグーン改修（1）外構平面図
93	A-098	カスケード・ラグーン改修（2）外構詳細図
	参考図	仮設計画概要書
	参考図	全体仮設計画図（1）_Ⅰ工区
	参考図	全体仮設計画図（2）_Ⅱ工区
	参考図	室内仮設計画図（1階）
	参考図	室内仮設計画図（2階～シーリングレベル）

構　造

通番	図面番号	図面名称
94	S-00-1	標準図１
95	S-00-2	標準図２
96	S-00-3	標準図３
97	S-001	メインホール　天井レベル図
98	S-002	メインホール　補強伏図（野縁野縁受け図１）
99	S-003	メインホール　補強伏図（野縁野縁受け図２）
100	S-004	メインホール　補強伏図（野縁野縁受け図３）
101	S-005	メインホール　補強伏図（野縁野縁受け図４）
102	S-006	メインホール　補強伏図（野縁野縁受け図５）
103	S-007	メインホール　補強伏図（野縁野縁受け図６）
104	S-008	メインホール　補強伏図（野縁野縁受け図７）
105	S-009	メインホール　補強伏図（野縁野縁受け図８）
106	S-010	メインホール　補強伏図（補強材）
107	S-011	メインホール　補強伏図（補強鉛直材）
108	S-012	メインホール　補強軸組図（1）
109	S-013	メインホール　補強軸組図（2）
110	S-014	メインホール　補強軸組図（3）
111	S-015	メインホール　補強軸組図（4）
112	S-016	メインホール　補強軸組図（5）
113	S-017	メインホール　補強軸組図（6）
114	S-018	メインホール　補強軸組図（7）
115	S-019	メインホール　補強軸組図（8）
116	S-020	メインホール　詳細図（1）
117	S-021	メインホール　詳細図（2）
118	S-022	メインホール　詳細図（3）
119	S-023	メインホール　詳細図（4）
120	S-031	マルチホール　天井レベル図
121	S-032	マルチホール　補強伏図
122	S-033	マルチホール　補強軸組図（1）
123	S-034	マルチホール　補強軸組図（2）
124	S-035	マルチホール　詳細図
125	S-041	ホワイエ天井補強図

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

図面名称：図面リスト

縮尺：A1:1/ー　A3:1/ー

図面番号：A-001

工事名	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　埼玉県富士見市大字鶴馬地内

2．敷地面積　19，255.69㎡

3．工事種目　文化会館　（ホール、文化施設）
（建物概要）　建築面積：5，581.10㎡
延床面積：7，358.58㎡
構　　造：ＳＲＣ造、一部ＲＣ造、Ｓ造
階　　数：地下１階、地上３階、塔屋２階建て

4．工事内容
1．金属屋根改修
2．屋上防水改修
3．外壁等改修
4．内壁改修
5．特定天井等改修
6．外部建具改修
7．屋上機械置場改修
8．カスケード改修
9．ラグーン改修

5．工　期

契約工期	契　約　　日から令和9年6月30日まで
共通仮設費率の算定に用いる工期	令和7年11月1日から令和9年5月31日まで
主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	現場施工に着手するまで
現場代理人の現場への常駐を要しない期間	現場施工に着手するまで
現場施工期間	令和7年12月2日から令和9年5月31日まで ただし、仮設工事等は施設との協議による

6．工事範囲
※「3．工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3．工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

工事項目＼工事種目	該当する工事			
2　仮設工事	○			
3　防水改修工事	○			
4　外壁改修工事	○			
-1　コンクリート打放し仕上げ外壁	○			
-2 モルタル塗り仕上げ外壁	―			
-3 タイル張り仕上げ外壁	○			
-4 塗り仕上げ外壁	○			
-5 外壁用塗膜防水塗り	―			
5　建具改修工事	○			
6　内装改修工事	○			
7　塗装改修工事	○			
8　耐震改修工事	―			
9　環境配慮改修工事	○			
10　鉄筋工事	―			
11　コンクリート工事	―			

Ⅱ　建築改修工事仕様

（１）質問回答書、本特記仕様書（改修）及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）(令和４年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）(令和４年版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
（２）改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
（３）本特記仕様書の表記
１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
２）特記事項は、○印の付いたものを適用する。　◯印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。　○ 印と ※の場合は、○のみを適用する。
３）特記事項に記載の｛　．　．｝内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
４）特記事項に記載の［　．　．］内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
５）特記事項に記載の（　．　．）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
６）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、（　）内は製品名を示す。
７）本工事において、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針（最新版）」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等（以下「特定調達物品等」という）を選択するよう努めるものとする。
なお、Ⓖ 印は設計図書で定めのある品目を示す。
８）注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	① 適用基準等	※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等 ※建築工事監理指針（国土交通省監修）（参考図書） ※建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　令和４年版） なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
	2　条件明示事項	保険の種類　[1.1.3] ※法定外の労災保険（工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの） ※建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの） ※請負業者賠償責任保険等　・ 保険の期間　※工事完成期日後１４日を含む期間　・
	③ 工事実績情報の登録	※行う（請負代金額500万円以上、10日以内に登録）　・行わない　[1.1.4] [1.1.8]
	④ 適用区分	建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力　風速（Vo=　m/s）　地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ） ・積雪荷重　H12.5.31告示第1455号における区域　別表（　） ・大地震時の非構造部材の変形追従性能を確認する場合の層間変形角 ・1/200　・1/150　・1/120　・　・図示（　） 確認箇所（　）
	⑤ 別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体ととらえ、主導的に調整する。[1.1.7] ◯監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。
	6　施工に注意を要する区域等	本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。[1.1.12、13] ・周知の埋蔵文化財包蔵地　・史跡名勝天然記念物 ・　・
	⑦ 工事の記録	埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。[1.2.4] [1.6.6] 埼玉県電子納品運用ガイドライン　※適用する（CD-R又はDVD-Rで１部提出） ・適用しない
	⑧ 電気保安技術者	適用する　[1.3.3] [1.3.1]
	9　施工条件	施工時間　[1.3.5] ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・以下の期間を除いた現場閉所日数の割合が28.5%(8日/28日)以上であること。 年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間 指定期間（　） 施工時間以外の施工条件 ・図示による　・
	10　施工中の安全確保	本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全衛生管理義務者）とする。[1.3.7]
	⑪ 環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。　[1.3.11]
	⑫ 発生材の処理等	引渡しを要するもの　[1.3.12] [1.1.13] ※無し（全て構外搬出適正処理）　◯有り（※図示　・　） 注 a）発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。 b）産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c）引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。
	⑬ 県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は[1.4.2]埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。
	⑭ 環境への配慮	建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び[1.4.1] [1.4.3]性能を有するとともに、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	⑮ 材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。[1.4.2] ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」（林野庁 H18.2.15）に準拠した証明書を監督員に提出する。
	16 石綿含有建材の調査	調査　[1.5.1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料（　） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法

材料名	定性分析方法 JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	定量分析方法 JIS A 1481-3または JIS A 1481-4
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取箇所　・図示　・

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	⑰ 技能士	[1.6.2] [1.3.3]

工事種別	適用技能士
仮設工事	・とび作業
防水改修工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　◯ｶﾙﾍﾞﾅｲﾄ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系シート防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系シート防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・FRP防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・左官作業　・内外装板金作業
外壁改修工事	◯左官作業　・タイル張り作業 ◯建築塗装作業　◯樹脂接着剤注入工事作業
建具改修工事	・ビル用サッシ工施工作業　・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業　◯建築フィルム作業
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業 ・木質系床仕上げ工事作業　・鋼製下地工事作業 ・ボード仕上げ工事作業　・タイル張り作業 ・吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業　・保温保冷工事作業 ・壁装作業
塗装改修工事	・木工塗装作業　◯建築塗装作業
耐震改修工事	・鉄筋組立て作業　・型枠工事作業 ・とび作業　・構造物鉄工作業
その他	・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業

⑱ 化学物質の濃度測定　(1.5.9) [1.7.9]

対象化学物質	判定基準	備考
ホルムアルデヒド	100μg／m³（0.08ppm）以下	※厚生労働省が定める指針値、量単位の換算は２５℃
トルエン	260μg／m³（0.07ppm）以下	
キシレン	200μg／m³（0.05ppm）以下	
エチルベンゼン	3,800μg／m³（0.88ppm）以下	
スチレン	220μg／m³（0.05ppm）以下	
パラジクロロベンゼン	240μg／m³（0.04ppm）以下	

測定方法
採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。
①検体の採取方法　※吸引方式（アクティブ法）又は拡散方式（パッシブ法）
・吸引方式（アクティブ法）・拡散方式（パッシブ法）

②アクティブ法
ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法（以下ＨＰＬＣ）により行う。
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ／質量分析法（以下ＧＣ／ＭＳ）により行う。
③パッシブ法
ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、ＨＰＬＣ又はガスクロマトグラフ法（以下ＧＣ）あるいはＡＨＭＴ－吸光光度法のうち採取機器に適応した分析法による。
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取しＧＣまたはＧＣ／ＭＳのうち採取機器に適応した分析法による。
測定対象室　・監督員の指定する室（ﾏﾙﾁﾎｰﾙ・ﾒｲﾝﾎｰﾙ・ﾒｲﾝﾎｰﾙﾎﾜｲｴﾛ）　・図示
測定箇所数　※（ﾏﾙﾁﾎｰﾙ3・ﾒｲﾝﾎｰﾙ4・ﾒｲﾝﾎｰﾙﾎﾜｲｴﾛ3）　・図示
測定時期　※工事着手前及び完了後
報告書　※２部　・

19 中間検査　中間検査　※行う（埼玉県建設工事検査要綱第４条）・行わない　[1.7.2] [1.5.1]
中間検査実施回数（　）　実施段階（　）監督員の指示による
中間検査成績評定　※対象外　・対象（埼玉県建築工事成績評定要領第２）

⑳ 完成図等　監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱別表第１に示す書類を原則電子データで提出する。　[1.8.1～3] [1.6.1～3]

完成図等の種類及び記入内容
完成(竣工)図（※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの）
図面情報電子化媒体　※CD-R又はDVD-R、１部　◯A1　2つ折り1部、A3　2つ折り2部
CADデータの形式　※SXF(sfc)　・DXF　◯JWW
（埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。CADﾃﾞｰﾀのﾚｲﾔ･ｼｰﾄは監督員と協議する）
保全に関する資料　※１部　・　部（通常取扱いに注意を要するものの使用方法を解説する）
完成写真（埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する）
埼玉県電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ　※適用する（CD-R又はDVD-Rで1部提出）・適用しない
撮影者　※監督員の承諾する撮影者　・
撮影箇所　※外部（　）内部（　）
・着工時と完成時の状況を比較できるように撮影する
・埼玉県建築工事写真作成要領別表５
原本及びアルバムを各1部提出
原本（電子媒体：撮影時のJPEG）及びアルバム（紙媒体又は電子媒体）を各1部提出
パネル入り（外部全景）完成写真　・要　・不要
施設CADデータ　◯更新して提出　・更新しない

㉑ 保証書　防水工事　※屋上防水　・外壁防水　・金属屋根　・　[1.6.4]
建物引渡し日から10年間、受注者、施工者、材料ﾒｰｶｰの3者連名とし2部提出する。
上記以外　・１部提出

㉒ その他　◯予備材料　※監督員の指示による　・
・下請契約　※全体及び県内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。

章	項　目	特　記　事　項
2 仮設工事	① 騒音・粉じん等の対策	・防音パネル　・防音シート　◯コンクリートひび割れ改修養生隔離シート [2.1.3] 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲　※図示　・
	② 足場等	[2.2.1] [表2.2.1] 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり掛置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場　◯設置する（設置範囲　・図示　・　）・設置しない 防護シート　◯設置する（設置範囲　・図示　・　）・設置しない 内部足場　◯設置する（※脚立、足場板等　◯棚足場　）・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別（・A種　・B種　・C種　・D種　◯E種） C種：利用可能なエレベーター（・図示　・　） D種：利用可能な階段　（・図示　・　） 墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」（厚生労働省 H30.6.22）による。 ・フルハーネス型墜落制止用器具を用いる。
	③ 既存部分の養生	[2.3.1] 既存部分　養生の方法（※ビニルシート、合板等　・　） 既存家具、既存設備等　養生の方法（※ビニルシート等　・　） 既存ブラインド、カーテン　養生の方法（・ビニルシート等　・　） 保管場所（・図示　・　） 固定された備品、机、ロッカー等の移動　・図示　・ 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
	④ 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　◯図示　・　[2.3.1] [表2.3.1] 仮設間仕切りの種別と材質等

種別	下地	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填材
・A種	・木	◯せっこうボード（9.5mm）	◯無し	※有り
	◯軽量鉄骨	種類（　）	・片面	
◯B種		・合板（9.0mm）		
		材種（　）		
※C種	単管	防炎シート		

充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上）

章	項　目	特　記　事　項
2 仮設工事	⑤ 現場事務所	仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材
※木製	※合板張り程度	・無し	※図示　・　か所	・有り
・	・	・片面		・無し

充填材：グラスウール32k（厚：50mm以上）

規模　・既存建物内の一部を使用　[2.4.1]
◯構内に新設　定例が行える規模（約30名程度）とする㎡
※設置しない（下記備品のみ用意する）
備品（　名分相当）
・机　・椅子　・書棚　・黒板　・掛時計　・寒暖計　・長靴　・雨合羽
・保護帽　・懐中電灯　・簡易トイレ用品　・救急箱　・担架　・ヘルメット
・冷暖房機器　※消火器　・湯沸器　・茶器　・捕除用具　・電話機
・ＦＡＸ　・電子メール通信機器　・スキャナー　・プリンター

⑥ 現場表示板　※設置する（[1.1.12]による表示　・要　・不要）　・設置しない　[2.4.1] [1.1.12]

⑦ 工事用水　構内既存の施設　※利用できない　◯利用できる（※有償　◯無償）

⑧ 工事用電力　※その仮設については、受注者負担とする
構内既存の施設　※利用できない　◯利用できる（別途施設調整を行うこと）
※その仮設については、受注者負担とする

⑨ 工事用搬入路　※図示　・

⑩ 仮囲い　※設置位置等は監督員の指示による　・図示

⑪ 交通誘導員　必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。
配置箇所　※監督員の指示による　・図示

12 快適トイレ　仕様　※図示　・

章	項　目	特　記　事　項
3 防水改修工事	① 施工数量調査	調査箇所　◯図示の範囲　・　[1.6.2、3] 調査方法　・図示　・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・ 調査報告書　提出部数　・２部　・
	② 降雨等に対する養生方法（とい共）	※[3.1.3](5)(ｱ)～(ｳ)による　・　[3.1.3]
	③ 既存防水の処理	[3.1.4] [3.2.3、4、6] 既存保護層の撤去　・行う（範囲　・図示　・　）◯行わない 既存防水層の撤去　◯行う（範囲　・図示　◯立上り　）・行わない 既存露出防水層表面の仕上塗装除去 ◯行う（・M4AS　・M4AS1　◯M4C　・M4D1）　・行わない 既存塗膜防水層表面の仕上塗装除去　・行う（L4X）　・行わない
	④ 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　◯図示　・　[3.2.6] POS工法及びPOSI工法（機械式固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理　※[3.2.6](4)(ｳ)(g)①～③による　・ 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理　・図示　・
	⑤ アスファルト防水	[3.3.2～5] 屋根保護防水 防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 Ⓖ [9.2.1～3]	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3	A1		※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ厚さ0.15mm以上（ｽﾄﾚｯﾁﾀｰﾝｸﾛｽ70g/m²程度　・	・乾式保護材 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え ・れんが押え ※JIS R 1250　・ ・ﾓﾙﾀﾙ押え（屋内）
・P1B	・B-1 ・B-2				
・P2AⅠ	・AⅠ-1 ・AⅠ-2 ・AⅠ-3		（材質） ※JIS A 9521に基づく押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA（ｽﾀﾝﾄﾞ層付き） ・ （厚さ）・　mm・	※ｽﾄﾚｯﾁﾀｰﾝｸﾛｽ70g/m²程度　・	
・P1BⅠ ・T1BⅠ	・BⅠ-1 ・BⅠ-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
床タイル張り　※水下　60mm以上　・
・乾式保護材
窯業系パネルⅠ類（厚さ　mm、幅　mm）

屋根露出防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 Ⓖ	仕上塗料	備考
◯M4C	◯C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4	屋上		（種類・使用量） ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様　・	
・M3D ・P0D	・D-1 ・D-2			（種類・使用量） ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様　・	（脱気装置） ・設ける ・設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ・設ける ・設けない
・P0DⅠ ・M3DⅠ ・M4DⅠ	・DⅠ-1 ・DⅠ-2		[3.3.2(9)] （種類） ・ （厚さ） ・　mm・	（種類・使用量） ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様　・	（脱気装置） ・設ける ・設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ・設ける ・設けない

高日射反射率防水の適用 Ⓖ　※適用する　・適用しない
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※[表3.3.3]から[表3.3.9]による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　・　（個）

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録（４）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印　・　・	工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事 図面名称：特記仕様書（１） 縮尺：A1：1/ー　A3：1/ー 設計年月：令和6年6月 図面番号：A-002

6 改質アスファルトシート防水

屋内防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	備考
・ＰＩＥ ・Ｐ２Ｅ	・E-1 ・E-2		保護層　・設ける ・設けない

・E-1の工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位　・　　）
押え金物の材質及び形状
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・
屋根排水溝　　※図示　　・

屋根露出防水（既存）　[3.4.2、3]
新設防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 Ⓖ [9.2.1～3]	仕上塗料	備考
・Ｍ４ＡＳ	・AS-T1			（種類・使用量） ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様	
	・AS-T2				
	・AS-J2				
・Ｍ３ＡＳ ・Ｐ０ＡＳ	・AS-T3			（種類・使用量） ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様	（脱気装置） ・設ける ・設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ・設ける ・設けない
	・AS-T4				
	・AS-J1				
	・AS-J3 （P0ASのみ）				
・Ｍ３ＡＳＩ ・Ｍ４ＡＳＩ ・Ｐ０ＡＳＩ	・AS1-T1		（材質） ※JIS A 9521による発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ ・ （厚さ）・　・	（種類・使用量） ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様	（脱気装置） ・設ける ・設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ・設ける ・設けない
	・AS1-J1				

高日射反射率防水の適用 Ⓖ　※適用する　・適用しない
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※[表3.4.1]から[表3.4.3]による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
脱気装置の種類及び設置数量
※改質アスファルトシートの製造所の指定による
・種類（　　）、設置数量（　　）個／㎡
押え金物
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　　※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定　・
設置数量　※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定　・　（個）
絶縁断熱工法の防湿用シート　・設置する　・設置しない

7 合成高分子系ルーフィングシート防水

新設防水層の種別　[3.5.2～4][表3.5.1～3]

工法	種別	施工箇所	断熱材 Ⓖ	仕上塗料	備考
・P0S ・S4S	・S-F1			（種類・使用量） ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	（脱気装置） ・設ける ・設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ・設ける ・設けない
	・S-F2				
	・S-M1				
	・S-M2				
	・S-M3				
・S3S	・S-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地		（種類・使用量） ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	（脱気装置） ・設ける ・設けない
	・S-F2	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地			
・M4S	・S-M1			（種類・使用量） ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	（脱気装置） ・設ける ・設けない
	・S-M2				
	・S-M3				
・P0S1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地	（材質） ※JIS A 9521による発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ ・ （厚さ）・25mm　・50mm	（種類・使用量） ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	（脱気装置） ・設ける ・設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ・設ける ・設けない
	・S1-F2	・			
	・S1-M1				
	・S1-M2				

高日射反射率防水の適用 Ⓖ　※適用する　・適用しない
・S-M2で立上り面を接着工法とする場合
立上り面のシート厚（※1.5mm　・　　）
・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の使用
※非歩行使用　・軽歩行仕様
・S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム（・設置する　・設置しない）

屋内防水
防水層の種別

改修工法	種別	施工箇所	保護層	
			平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚
・P1S	・S-C1		・	※7mm以下 ・

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合
厚さ　（　　）mm
目地割り　（※2㎡程度　最大目地間隔3m程度　・　　）
目地の種類（※押し目地　・　　）
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による　・
JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
絶縁用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート　・
固定金具の材質及び寸法形状
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
脱気装置の種類及び設置数量
※ルーフィングシートの製造所の指定による
・種類（　　）、設置数量（　　）個／㎡

接着工法の目地処理
・ＰＣコンクリート下地の場合（　　）
ＰＣコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、S1-F1の場合）
・行う（・図示　・　　）　・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑧ 塗膜防水

※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする　[3.6.2、3]

ウレタンゴム系塗膜防水工法

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考
○P0X	・X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・	屋上	（種類・使用量） ※主材料の製造所の仕様 ・	（脱気装置） ・設ける　○設けない （改修用ﾄﾞﾚﾝ） ○設ける　・設けない
・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・		（種類・使用量） ※主材料の製造所の仕様 ・	（脱気装置） ・設ける　・設けない

高日射反射率防水の適用 Ⓖ　※適用する　・適用しない
脱気装置の種類及び設置数量
※主材料の製造所の指定による
・種類（　　）、設置数量（　　）個／㎡

ゴムアスファルト系塗膜防水工法

工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける　・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける　・設けない

9 シーリング

[3.1.4][3.7.2、3、7、8]

シーリング改修工法の種類
・シーリング充填工法
・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り　・適用する　・適用しない
エッジング材張り　・適用する　・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

仕上げを行わない施工箇所
・図示による　・
シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による　・
接着性試験
※簡易接着性試験　・引張接着性試験

注　練り混ぜた２成分形シーリング材は、１組の作業班が１日に行った施工箇所を１ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。

⑩ とい

[3.8.2、3]

といその材種等
※配管用鋼管　・硬質ポリ塩化ビニル管　・ルーフドレン
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類・　　）
・
とい受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）　・
形状
※市販品　　・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による　・
多雪地域　・適用する　・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※☆☆☆☆　・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　・図示　・
鋼管製といの防露巻き　※[表3.8.4]による　・

ルーフドレンの種別及び呼び

種別		呼び				施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80	・100	・125	・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80	・100	・125	・150	
・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50	・80	・100		
	・差し込み式	・50	・75	・100		
・バルコニー用	※ねじ込み式	・50	・80	・100		
	・差し込み式	・50	・75	・100		

たてどい受金物の取付　※図示　・
ルーフドレンの取付　※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填

11 アルミニウム製笠木

[3.9.2、3]

種類　・オーブン形式（・押出250形　・押出300形　・押出350形　）
・板材折曲げ形（・オーブン形式　・シール形式　）
本体幅：（　　）mm、板厚（※2.0mm　・　　mm）
表面処理　種別　・
着色　・標準色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　・ステンカラー）
・特注色（　　）
既存笠木等の撤去　・行う（範囲　・図示　・　　）　・行わない
下地補修の工法　※図示　・
板材折曲げ形の笠木の取付方法　※図示　・
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

12 防水工事施工票

[2.1.2]

※設置する（　　ヶ所）（施工年月日は防水工事施工完了日（手直しは除く）を記入）
・設置しない

4 外壁改修工事

① 施工数量調査

調査範囲　・外壁改修範囲　　○図示の範囲　[1.6.2、3]
調査時期　○外壁仕上げ等除去前　・外壁仕上げ等除去後
調査方法
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・
調査報告書の部数　・２部　・

4-1 コンクリート打放し仕上げ外壁

① ひび割れ部改修工法

○樹脂注入工法　[4.1.4][4.2.4～7]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満　低	※200～300　・	・130　・
	0.5以上～1.0以下　中	※200～300　・	・130　・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満　低	・50～100　・	・40　・
	0.3以上～0.5未満　低	・100～200　・	・70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下　中	・150～250　・	・130　・
			・

※エポキシ樹脂　低：低粘度形　中：中粘度形

コア抜取り検査　・行う　・行わない
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　※図示　・

・Ｕカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料　※１成分形又は２成分形ポリウレタン系　・
ポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

○シール工法
○パテ状エポキシ樹脂　　・可とう性エポキシ樹脂

4-2 モルタル塗り仕上げ外壁

② 欠損部改修工法

※充填工法　[4.1.4][4.2.4、7]
○エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

1 既存モルタル塗りの撤去

※全面　・図示の範囲　・

2 ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　[4.1.4][4.3.5～8]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満　低	※200～300　・	・130　・
	0.5以上～1.0以下　中	※200～300　・	・130　・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満　低	・50～100　・	・40　・
	0.3以上～0.5未満　低	・100～200　・	・70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下　中	・150～250　・	・130　・
			・

※エポキシ樹脂　低：低粘度形　中：中粘度形

コア抜取り検査　・行う　・行わない
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　※図示　・
・Ｌカットシール材充填工法
・シーリング材
・充填材料　※１成分形又は２成分形ポリウレタン系　・
ポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

3 欠損部改修工法

・充填工法　[4.1.4][4.3.9、10]
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法
・現場調合材料
セメントの種類　※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 Ⓖ
・フライアッシュセメントB種 Ⓖ
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。
・既調合材料（　　）
既製目地材　・使用する（形状　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　※図示　・

4 浮き部改修工法

[4.1.4][4.3.11～16]

工法の種類	アンカーピンの本数（本/㎡）		注入口の箇所数（箇所/㎡）		注入量（ml/箇所）
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	―	―	※25 ・
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	―	―	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・充填工法	―	―	―	―	―
・モルタル塗替え工法	―	―	―	―	―

アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm
・
注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化量（収縮）(%)	引張接着性（材齢28日）(N/mm²)	曲げ性能（材齢28日）(N/mm²)	吸水性（72時間）(%)	耐久性（劣化曲げ強さ）(N/mm²)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

充填工法
※３ 欠損部改修方法の「充填工法」による

モルタル塗替え工法
※３ 欠損部改修方法の「モルタル塗替え工法」による
・

4-3 タイル張り仕上げ外壁

1 既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面　・図示の範囲
撤去範囲　※下地モルタルまで　・張付けモルタルまで

2 タイルの形状、寸法等

タイルの形状、寸法等　[4.4.5、8]

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 Ⓖ	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐汚性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な由がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う（施工箇所：　　）　・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない

③ ひび割れ部改修工法

改修箇所　※既存タイル張り面　[4.1.4][4.4.5、6]
・既存タイル撤去面（・コンクリート面　・モルタル面）

○樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満　低	※200～300	・130　・
	0.5以上～1.0以下　中	※200～300	・130　・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満　低	・50～100	・40　・
	0.3以上～0.5未満　低	・100～200	・70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下　中	・150～250	・130　・
			・

※エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形

コア抜取り検査　・行う　・行わない
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき１個　・
抜取り部の補修方法　・図示　・

4 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法　[4.1.4][4.4.5、7、8]
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557 による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・タイル張替え工法
張替え用材料
・JIS A 5557 による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル（・現場調合材料　・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置　※改修標準仕様書表4.4.2による　・
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験
・行う　・行わない
・セメントモルタルによるタイル張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒しエ法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイルの種類及び工法
・外装タイル（・密着張り　・改良圧着張り　）
・ユニットタイル（・マスク張り　・モザイクタイル張り）
シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。
・有機系接着剤によるタイル張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒しエ法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
シーリング材の種類
・打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地（※ポリウレタン系　・　　）
・伸縮調整目地その他の目地　（※変成シリコーン系　・　　）

シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

⑤ 浮き部改修工法

[4.1.4][4.4.5、9～15][4.5.9～15]

工法の種類	アンカーピンの本数（本/㎡）		注入口の箇所数（箇所/㎡）		注入量（ml/箇所）
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	―	―	※25 ・
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	―	―	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	―	―	※25 ・
・タイル部分張替え工法	―	―	―	―	―
・タイル張替え工法	―	―	―	―	―

アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの
・
注入口付アンカーピン
※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm
・
タイル部分張替え工法
※４ 欠損部改修方法の「タイル部分張替え工法」による
・
タイル張替え工法
※４ 欠損部改修方法の「タイル張替え工法」による

⑥ 目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法　[4.1.4][4.4.5、16]
○伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法　○図示　・
シーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

4-4 塗り仕上げ外壁等

① 既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

[4.5.4]

工法	処理範囲	下地の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体　・図示	○ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法 加圧力　※30MPa程度以上	※既存仕上げ面全体　・図示 （既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする）	○浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体　・図示 ・	○欠損部改修工法
○水洗い工法	※上記以外の既存仕上げ面全体　・図示	

下地調整　※下地調整塗材　・ポリマーセメントモルタル　[4.5.2]

・その他特殊な工法等（既存塗膜等に含有する石綿の除去を行う場合など。下地調整含む。）
※図示による　・

② 仕上塗材仕上げ

[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]

新規仕上塗材の種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗塗材Ｓｉ	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗塗材Ｓｉ	・	・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り）
	・外装薄塗塗材Ｅ	・	・さざ波状　・平たん状
	・可とう形外装薄塗塗材Ｅ	・	・凹凸状（・吹付け・こて塗り）
	・防水形外装薄塗塗材Ｅ	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り）
	・外装薄塗塗材Ｓ	・	・砂壁状じゅらく　・京壁状じゅらく
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗塗材Ｃ	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗塗材Ｓｉ	・	・凹凸状　・ひき起こし・かき落とし
	・外装厚塗塗材Ｅ	・	上塗材　・適用する　・適用しない
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
	・可とう形複層塗材ＣＥ	・	
	・複層塗材Ｓｉ	・	耐候性　※耐候形３種　・
	・複層塗材Ｅ	・	上塗材
	・複層塗材ＲＥ	・	溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
	・防水形複層塗材ＣＥ	・	樹脂　※アクリル系　・
	・防水形複層塗材Ｅ	・	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材ＲＥ	・	・メタリック
		・	
○可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材Ｅ	・	・平たん状　・さざ波状　・ゆず肌状
	・可とう形改修塗材ＲＥ	・	耐候性　※耐候形1種　・
	・可とう形改修塗材ＣＥ	・	上塗材
			溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
			樹脂　※アクリル系　○ふっ素樹脂
			外観　※つやあり(3分)　・つやなし

③ マスチック塗材塗り

種別　・Ａ種　・Ｂ種　[4.1.5][4.6.2][表4.6.1]

4-5 外壁用塗膜防水材塗り

1 外壁用塗膜防水材塗り

[4.1.5][4.7.2、3][表4.7.1]

仕上げの形状（　　）工法（　　）
外壁用仕上塗料の耐候性　※JIS A 6909 の耐候形１種相当
・
下地挙動緩衝材の適用　・する　・しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
・　（・所要量　(kg/㎡)）
外壁用仕上塗料の種類
・　（・所要量　(kg/㎡)）
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉

印　・　・

工事名称	設計年月
富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事	令和6年6月
図面名称：特記仕様書（２）	縮尺：A1：1/－　A3：1/－
	図面番号：A－003

5 建具改修工事

1 改修工法 [5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による ・
・樹脂製建具	―	・	・建具表による ・
・鋼製建具 ・外部	・	・	・建具表による ・
・内部	・	・	・建具表による ・
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による ・
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による ・
・木製建具	・	・	・建具表による ・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方 ※図示 ・
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 ・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

2 防火戸 [5.1.4]

適用箇所 ※建具表による ・
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・行う（※建具表による ・ ） ・行わない

3 見本の製作等 [5.1.5]

建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） ・行わない
建具見本製作の目的等：（ ）
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ） ・行わない

4 防犯建物部品 [5.1.7]

適用箇所（・建具表による ・ ）

5 アルミニウム製建具 [5.2.2～5][表5.2.1、2]

性能値等
耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
気密性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
水密性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	A-3	W-4	・ 70	※図示による
・B種	S-5			・ 100	※図示による
・C種	S-6	A-4	W-5	・	※図示による

防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ G
断熱性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 ・
着色 ・標準色 ・特注色
屋内の建具 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 ・
着色 ・標準色 ・特注色
結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式
工法
水切り板、ぜん板等 ※図示 ・

6 網戸等 [5.2.3][5.3.3]

種類	材種	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

7 樹脂製建具 [5.2.2][5.3.2～5]

性能値等
耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
気密性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
水密性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	A-4	W-4	・	※図示による
・B種	S-5		W-5	・	※図示による
・C種	S-6			・	※図示による

防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級 ・T-1 ・T-2（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ G
断熱性の等級 ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8
（適用する建具 ※建具表による）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・
枠の見込み寸法 ※建具表による
材料
ガラス ※複層ガラス ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
表面色 ・標準色 ・特注色
工法
水切り板、ぜん板 ※図示 ・

8 鋼製建具 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による ・ ）・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ G
断熱性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ）
（適用する建具 ※建具表による）
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
大型建具（1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの）
※建具表による ・
上記以外の鋼製建具 ※[表5.4.2]による ・建具表による ・
標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・

9 鋼製軽量建具 [5.2.2][5.5.2～4]

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による ・ ）・適用しない
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ G
断熱性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ）
（適用する建具 ※建具表による）
材料
鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ﾋﾞﾆﾙ被膜鋼板 ・ｶﾗｰ鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
大型建具（1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの）
※建具表による ・
上記以外の鋼製軽量建具 ※[表5.5.1]による ・建具表による ・
標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・

10 ステンレス製建具 [5.2.2][5.4.2][5.6.2～5]

性能値等
簡易気密型ドアセット
・適用する（※建具表による ・ ）・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
防音ドア、防音サッシ
遮音性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
断熱ドア、断熱サッシ G
断熱性の等級（ ）（適用する建具 ※建具表による）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・D-1:1/300 ・D-2:1/120 ・D-3:1/100 ）
（適用する建具 ※建具表による）
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※ＨＬ ・
形状及び仕上げ
表面仕上げ ※ＨＬ ・鏡面仕上げ ・
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

11 木製建具 [5.7.2～4]

建具材の加工、組立時の含水率 ※Ａ種 ・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)による ・

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 G	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（・１類 ・２類）	
・天然木化粧合板 G	樹種名（ ） 接着の程度（・１類 ・２類）	
・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・１類 ・２類）	
・MDF G		

表面板の厚さ ※[表5.7.6]による ・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない ・適用する

・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・

・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型）
上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙種度
縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・

・戸ぶすま
表面板の仕上 ・建具表による ・
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・

・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・

枠及びくつずりの材料 ・建具表による ・

12 建具用金物 [5.8.1～3]

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※[表5.8.1]及び適用は建具表による ・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5.8.2]による ・建具表による ・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5.8.3]による ・建具表による ・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※[表5.8.4]による ・建具表による ・
木製建具に使用する戸車及びレール
※[表5.8.5]による ・建具表による ・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置
・建具表による ・図示 ・
錠前類
シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠
クローザ類

13 鍵 [5.8.4]

マスターキー ・製作する(・新規 ・既存マスター合わせ) ・製作しない
その他の鍵 ※各室３本１組（室名札付き） ・
鍵箱 ・無 ・有

14 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]

戸の開閉方式 ・建具表による ・
・引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書5.9.1による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・種類・開閉方式（ ） ・耐電圧（ ）
・温度上昇（ ） ・耐久性(サイクル)（ ）
・防錆（ ） ・電源（ ）
・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.2による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・耐電圧（ ） ・温度上昇（ ）
・耐久性(サイクル)（ ） ・防錆（ ）
・電源（ ）
・引き戸用検出装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.3による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・耐電圧（ ） ・防錆（ ）
・防滴（ ） ・電源（ ）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による ・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ
凍結防止措置 ・行う ・行わない

15 自閉式上吊り引戸装置 [5.10.3]

性能 ※[表5.10.1]による ・

⑯ 重量シャッター [5.11.2、3]

シャッターの種類
Ⓒ管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・両用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）Pa
開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）

⑰ 軽量シャッター [5.12.2～4]

管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない
スラットおよびシャッターケース用鋼板の材質
種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・
ガイドレール、まぐさ、雨排りに用いる座板及び座板のカバー、雨排りに用いる
スイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI

開閉形式の種類 Ⓒ電動式（手動併用） ※手動式
耐風圧強度（ ）Pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置 （設置箇所 Ⓒ建具表による ・ ）
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっき付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状 Ⓒインターロッキング形 ・オーバーラッピング形

18 オーバーヘッドドア [5.13.2、3]

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）

19 ガラス [3.7][5.14.2～4]

適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。
・フロート板ガラス

フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類	※建具表による ・

・型板ガラス

型板ガラスの厚さによる種類	※建具表による ・

・網入板ガラス

網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類	※建具表による ・

・合わせガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ	※建具表による ・
形状による種類	・平面合わせｶﾞﾗｽ・曲面合わせｶﾞﾗｽ
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

・強化ガラス

形状による種類、材料板ガラスの種類による名称	※建具表による ・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	・Ⅰ類 ・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス

板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・
性能による種類	・１種 ・２種

・複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	※建具表による ・
断熱性による区分	・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分	・G ・S
乾燥気体の種類	・空気 ・アルゴン

・熱線反射ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・
日射熱遮へい性による区分	・１種 ・２種 ・３種
耐久性による区分（日射熱遮へい性が２種の場合）	・Ａ種 ・Ｂ種

・倍強度ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類	※建具表による ・

・ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
樹脂製	・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による

20 ガラスブロック [5.14.5]

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 ・
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・
寸法 ※径5.5mm ・
形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・
化粧目地モルタルの色 ・白 ・グレー
シーリングの種類 ・SR-1 ・PS-1
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ※図示 ・
形状 ※図示 ・
目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

21 ガラス用フィルム

※施工箇所は建具表による

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
Ⓒ日射調整フィルム G	※SC-1	・SC-2	可視光線透過率：65%以上
・低放射フィルム	・LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-2	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

品質 JIS A 5759 による

熱割れ計算書 ※要 ・不要
第3者機関による性能測定データ ※要 ・不要

6 内装改修工事

1 改修範囲 [6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま ・図示

2 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示の範囲 ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「４章 外壁改修工事」による。
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・

3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※[4.3.10]によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示）
・図示 ・

4 施工一般 [6.5.2]

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)(b)による

5 製材 G [6.5.2]

・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・

・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・B種 ・		・
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種 ・B種 ・		・
			※A種 ・B種 ・		・

・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・		・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		（ ） 造作材の場合 （※A種・B種）	※A種 ・B種 ・	・する ・しない	・
		（ ） 造作材の場合 （※A種・B種）	※A種 ・B種 ・	・する ・しない	・

6 造作用集成材 G [6.5.2]

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※１等 ・２等	・
					※１等 ・２等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
							※１等 ・２等	・
							※１等 ・２等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下 ・	・
						※15%以下 ・	・

7 造作用単板積層材 G [6.5.2]

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
				・する ・しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			※14%以下 ・	・する ・しない	・
			※14%以下 ・	・する ・しない	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・

記事

株式会社 綜企画設計 埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉

印 ・ ・

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

図面名称：特記仕様書（３）

縮尺：A1:1/ー A3:1/ー

図面番号：A-004

8 合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板 G [6.5.2]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5 ・		・1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2級以上 ・1級		・1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	・適用する (　　) ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード G

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法 (mm)

・MDF G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

9 接合具等　造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]
※隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（改修標準仕様書6.5.3～5に示す程度の市販品　表8.20.1のF種程度）
・　(形状：　寸法：　材質：　)

10 接着剤　接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・ [6.5.3、4]

11 防腐・防蟻処理　・薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理 [6.5.5]

適用部材	保存処理性能区分
	・K2　・K3　・K4

・薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（　　）
・合板等の加圧注入処理等の適用
適用部位（　　）

12 内部間仕切軸組及び床組み　間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） [6.5.6]
※杉又は松　・　・
床組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松　・　・

13 窓、出入口その他　窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） [6.5.7]
吊元枠、水掛りの下枠及び敷居　※ひのき　・
その他　※松又は杉　・

14 軽量鉄骨天井下地　野縁等の種類　屋外（※25形　・19形）　屋内（※19形　・25形） [6.6.2～4]
屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示　・
周辺部の端からの間隔　・図示　・
野縁の間隔　・図示　・
既存の埋込みインサート　・使用する　・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数　※屋内の場合、当該階において3箇所　・（　）箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
（　　）N
・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法　※図示　・
・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法　※図示　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強　補強箇所　※図示　・
補強方法　※図示　・

15 軽量鉄骨壁下地　スタッド、ランナーの種類 [6.7.3、4][表6.7.1]
※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類　・図示　・
スタッドの高さが5mを超える場合　※図示　・
出入口及びこれに準じる開口部の補強　※[6.7.4](5)による　・

16 ビニル床シート G [6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	・無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ・柄物	※2.0 ・	

接合部の処理　※熱溶接工法　・

17 ビニル床タイル G [6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
※KT(ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・3.0	
・TT(単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・FT(複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FOA(置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0 ・	
・FOB(薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・	・	

18 特殊機能床材　・帯電防止床シート [6.8.2]
種類（　　）性能（　　）厚さ(mm)（　　）
・帯電防止床タイル
種類（　　）性能（　　）寸法(mm)（　×　）厚さ(mm)（　）
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類（　　）形状（　　）
・耐動荷重性床シート
種類（　　）厚さ(mm)（　　）
・防滑性床シート
種類（　　）厚さ(mm)（　　）
・防滑性床タイル
種類（　　）寸法(mm)（　×　）厚さ(mm)（　　）

19 ビニル幅木　材質の種類　・軟質　・硬質　・床シート巻上げ(端部の処理は図示による) [6.8.2]
高さ(mm)　※60　・75　・100
厚さ(mm)　※1.5以上　・

20 ゴム床タイル　種類　・単層品　・積層品 [6.8.2]
色柄　(　　)
厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（　　）×（　　）

21 カーペット敷き G [6.9.2、3][表6.9.1]
・織じゅうたん

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル

色柄　※模様のない無地　・
パイル糸の繊維種等　※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
帯電性　・適用する　・適用しない
織じゅうたんの接合方法　※ヒートボンド工法　・つづり縫い
下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7　・	・全面接着工法	・適用する	
・ループパイル	・4～6　・	・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用しない	
・カット、ループ併用				

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

・タイルカーペット

パイル形状	種　別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方　平場　※市松敷き　・模様流し　・
階段部分　※模様流し　・市松敷き　・
見切り、押え金物
材質（　　）種類（　　）形状等（※図示　・　）

22 合成樹脂塗床 [6.10.2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 (弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 (ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床)		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材 (ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ
・ｱｸﾘﾙ樹脂塗床 (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	表面仕上げ　※平滑 溶剤　※水性

塗床材のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

23 フローリング張り G [6.11.2～6]
フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※改修標準仕様書6.11.2.(2)による　・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・
単層フローリング（フローリングボード1等）
工法　・釘止め工法（・根太張り　・直張り）　・接着工法
樹種　※なら　・
間伐材等の適用　・する　・しない
単層フローリング（フローリングブロック1等）
樹種　・　・
厚さ(mm)　・　・
大きさ　・　・
間伐材等の適用　・する　・しない
複合フローリング
工法　・釘止め工法（・根太張り　・直張り）　・接着工法
樹種　※なら　・
種別　・A種　・B種　・C種
間伐材等の適用　・する　・しない
接着工法の場合の不陸緩和材　※合成樹脂発泡シート　・
・現場塗装仕上げ　※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

24 畳敷き [6.12.2]
種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）
下地の種類　・標準仕様書 表12.6.1による床組
・
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G）
・
畳表及び畳床にホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳（畳表：　・C1　・C2　）

25 せっこうボード その他のボード張り　ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2、3]
※Ｆ☆☆☆☆　・
合板ののホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・

木質系セメント板G

種類	厚さ(mm)、規格等
・硬質(HW)	・15　・20　・25　・
・中質(MW)	・15　・20　・25　・
・普通(MW)	・15　・20　・25　・

木片セメント板G

種類	厚さ(mm)、規格等
・硬質(HF)	・12　・15　・18　・21　・
・普通(NF)	・30　・

繊維強化セメント板

種類	厚さ(mm)、規格等
・けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK タイプ 2（無石綿）　・6　・8
・化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK タイプ 2（無石綿）　・6　・8 表面への化粧張り等の加工　・アクリル樹脂系焼付け

火山性ガラス質複層板

種類	厚さ(mm)、規格等
・火山性ガラス質複層板	・図示による

繊維板

種類	厚さ(mm)、規格等
ハードボード（素地） スタンダードボード（無処理）	・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（未研磨板(RN)・研磨板(RS)） ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DI) 厚さ　・2.5　・3.5　・5　・7
テンパードボード（処理）	・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（未研磨板(RN)・研磨板(RS)） ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DE) 厚さ　・2.5　・3.5　・5　・7
・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF) G	厚さ　・3　・7　・9　・12
・インシュレーションボード G	A級（・天井仕上げ　・内装仕上げ　・　） ・9　・12　・15　・18
⊙繊維混入石膏板	・4　・5　・6　⊙8　・10

パーティクルボード G

種類	厚さ(mm)、規格等
・単板張りパーティクルボード	・無研磨板（VN）　・研磨板（VS） ・10　・12　・15　・18
・化粧パーティクルボード	・単板ｽﾊﾟｰﾊﾞｰﾚｲ(DV) ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DO) ・塗装(DC) ・10（難燃）・12（難燃）・

吸音材料

種類	厚さ(mm)、規格等
⊙ロックウール化粧吸音板(DR)	⊙フラットタイプ（カラー） (⊙9(不燃)　・12(不燃)　・　) ・凹凸タイプ (・12(不燃)　・15(不燃)　・　)
・ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	・25　・
⊙グラスウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K	・25(ガラスクロス包)　⊙50（ガラスクロス包）

せっこうボード製品

種類	厚さ(mm)、規格等
⊙せっこうボード(GB-R)	⊙12.5（不燃）　・15（不燃）
・不燃積層せっこうボード(GB-NC)	9.5（不燃）・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード(GB-S)	12.5　(※ 不燃　・ 準不燃)
・強化せっこうボード(GB-F)	・12.5（不燃）　・15（不燃）
・せっこうラスボード(GB-L)	9.5
・化粧せっこうボード（GB-D）	・木目12.5（不燃）幅 440mm 程度 模様（・柾目　・板目）専用下地材有り ・ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様　9.5（準不燃）

合板G

種類	厚さ(mm)、規格等
・普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り（※ラワン合板程度　・　） 不透明塗料塗り（※しな合板程度　・　） 板面の品質　・ 厚さ(mm)　※図示による　・ 防虫処理　・行う　・行わない
・天然木化粧合板	化粧板の樹種名　・ 厚さ(mm)　※図示による　・ 防虫処理　・行う　・行わない
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法　・ﾊﾞｰﾊﾞｰﾚｲ・ﾌﾟﾘﾝﾄ・塗装 表面性能　・　(タイプ) 厚さ(mm)　※図示による　・ 防虫処理　・行う　・行わない

化粧板

・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による　(※ 1.2　・　)
・ポリエステル樹脂化粧板	

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合　※図示による
合板類の張付け　・A種　・B種　・
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類　※仕上表による

突付け工法及び目透し工法のエッジの種類

突付け工法のエッジの種類	・ベベルエッジ　・スクェアエッジ
目透かし工法のエッジの種類	・ベベルエッジ　・スクェアエッジ

化粧加工の方法（・オーバーレイ　・プリント　・塗装　・　）

26 壁紙張り　壁紙のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・ [6.14.2、3]

施工箇所	壁紙の種類						防火種別	備考
	紙	織物	塩化ﾋﾞﾆﾙﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他			
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別　※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別　※B種　・A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別　※B種　・A種

27 モルタル塗り　モルタル　・現場調合材料　・既調合材料 [6.15.3、5、6]
既製目地材　・設けない　施工箇所（　　）形状（※図示　・　）
床目地　・設ける　目地割り　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）　・
種類　※押し目地　・
・設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理　※図示による　・

28 タイル張り　伸縮調整目地の位置 [6.16.2～4]
床タイル　(※縦、横ともｍ以内ごと　・図示　・　)
床タイル以外　(・図示　・　)

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改特記仕様書第３章による
試験張り　・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない
見本焼き　・行う（施工箇所：　）　・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り

タイルの形状・寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材

壁タイル張りの工法
内装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状・寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用 G	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・

29 セルフレベリング材塗り　塗厚(mm)　・ [6.17.2、3]

30 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上げ材	備考
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

フリーアクセスフロアスフロアの試験方法
※標準仕様書20.2.2(2)(イ)(a)～(d)による　・
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による　・
・以下による
パネルの長さの寸法精度（　　）
パネルの平面形状（角度）の寸法精度（　　）
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度（　　）
帯電防止性能
・評価値（U）≧0.6以上
・評価値（U）≧1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗（R）≧1×10⁷ Ω

31 可動間仕切　パネル材料のホルムアルデヒド放出量　※F☆☆☆☆　・ (20.2.3)

構造形式	構成基材の種類 ｽﾁｯﾄﾞ	パネル	パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500HZ)	防火性能
・スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式			・メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示　・　）　・なし
パネル内に取付ける建具のドアクローザ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。

32 移動間仕切　(20.2.4)

構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材 材質	仕上げ	遮音性(dB/500Hz)
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

33 トイレブース　パネル材料のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・ (20.2.5)

表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	※製造所の標準仕様 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	・標準 ・Rタイプ

34 手すり　材料の種類及び仕上げ (20.2.6)
・SUS304　表面処理　※HL程度　・
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき（※標準仕様書 表14.2.2による種別（　　種））
・アルミニウム 表面処理（※標準仕様書 表14.2.1による種別（　　種））
色合等　・標準色（　　）　・特注色（　　）
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材(材種：　)	・ｸﾘｱﾗｯｶｰ　・	・30程度・35程度　・45程度		
・ﾋﾞﾆﾙ製ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ	・	・30程度・35程度　・45程度		
・樹脂被膜ﾀｲﾌﾟ	・	・34φ		

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉

印　・　・

工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月　令和6年6月

図面名称　特記仕様書（４）

縮尺　A1:1/ー　A3:1/ー

図面番号　A-005

35 階段滑り止め
材種 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 (20.2.7)
・アルミニウム製押出型材 ・
形状 ※ダイヤ型（ダイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等） ・タイヤレス製
端部の形状 フラットエンド ・あり ・なし
寸法（幅） ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度
取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法 ・

36 黒板及び
ホワイトボード Ⓖ (20.2.9)
・黒板 区分 ※焼き付け ・
種類 ・ほうろう ・鋼製 ・
色 ※緑 ・
・ホワイトボード（ ）

37 表示 (20.2.11)
衝突防止表示
・設置場所 ※図示による
形状・寸法（・30Φ ・ ）
材質 （・ステンレス製 ・塩ビシート ）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 ・
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、
取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による

38 タラップ 材質及び仕上げ (20.2.12)
・SUS304（スリップ止め加工 ※あり ・なし ）
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表 14.2.2による種別（※C種 ・ 種））

39 ブラインド (20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの材種	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 Ⓖ ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	ー				
・縦形	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・アルミスラット ・クロススラット ・	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	ー				

縦型ブラインドのスラットの材質
アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 Ⓖ とする

40 ロールスクリーン 操作方法 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 (20.2.15)
幅、高さ、取付箇所 ・図示 ・
材種 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製
品質等 ・
その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による ・
スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は Ⓖ とする

41 カーテン (20.2.16)

形式		開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ		・図示 ・	
						(暗幕)

生地の仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、Ⓖ とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・

42 カーテンレール 材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 (20.2.16)
・ステンレス製
強さによる区分 ※10-90 ・
仕上げ ※アルマイト ・
形状 ※角形 ・

43 ブラインドボックス及びカーテンボックス 溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材種 ・集成材（仕上げ： ）
・アルミニウム製 押出し型材（市販品）
種別（標準仕様書表14.2.1） ・BC-1種 ・BC-2種
色合い ・標準色（ ） ・特注色（ ）
・鋼製（仕上げ： ）

44 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ・目地タイプ
		・気密形			

45 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

46 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製 ・	・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・	

47 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	ー	ー	市販品 ステンレス製 ・1段式 ・

品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1 による。
構成材は、JIS A 4420の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。
形状 ※図示 ・

48 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JIS による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種 ・

49 屋内掲示板 枠の材質 ※アルミニウム製 ・
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・

50 洗面カウンター 材種 ・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材） ・人工大理石
奥行き(mm) ・約450 ・約600

51 防煙垂れ壁
・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

52 収納家具 材質、形状、寸法 ※図示 ・
材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

7 塗装改修工事

① 材料
屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ [7.1.3]
防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）

② 下地調整 塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1～7]
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・図示 ・

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	ー
鉄鋼面	・RA種(注) ※RB種 ・	ー
亜鉛めっき面	・RA種(注) ※RB種 ・	ー
亜鉛めっき面(鋼製建具)	・RA種 ※RB種 ・	ー
ﾓﾙﾀﾙ、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面	・RA種 ※RB種 ・	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外) ＡＬＣパネル面	・RA種 ※RB種 ・	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種(注) ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP)	・RA種(注) ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	・RA種 ※RB種 ・	ー

(注)DP以外からDPへ塗替える場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。

③ 素地ごしらえ [7.3.2～7]

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※Ａ種 ・Ｂ種
	透明塗料塗りの場合	・Ａ種 ※Ｂ種
鉄鋼面（DP以外）		・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種
鉄鋼面（DP）		・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種
亜鉛めっき鋼面		・Ａ種 ・Ｂ種
モルタル面及びせっこうプラスター面		・Ａ種 ※Ｂ種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		・Ａ種 ※Ｂ種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・Ａ種 ・Ｂ種
コンクリート面（DPのみ）		・Ａ種 ※Ｂ種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	※Ａ種 ・Ｂ種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	・Ａ種 ※Ｂ種

④ 錆止め塗料塗り 錆止め塗料塗りの種別 [7.4.2、3]

素地面	塗装の種類	塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP (工程の種別は[表7.4.3])	塗替え 新規見え掛り 新規見え隠れ	Ａ種 Ａ種 Ａ種	※Ｃ種 ・ ※Ａ種 ・ ※Ｂ種 ・
	EP-G (工程の種別は[表7.4.3])	塗替え 新規見え掛り 新規見え隠れ	・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ａ種 ※Ｂ種	※Ｃ種 ・ ※Ａ種 ・ ※Ｂ種 ・
	DP (工程の種別は[表7.4.4])	塗替え 7.4.2(1)(イ)(b)による 新規 7.4.2(1)(イ)(a)による	Ａ種	・Ａ種(下地調整RA種) ・Ｂ種(下地調整RB種) ・Ｃ種(下地調整RC種) Ａ種
亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は[表7.4.5])	塗替え 新規鋼製建具等 新規その他	※Ａ種 ・Ｂ種 ※Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｂ種 ・	※Ｃ種 ・ ※Ａ種 ・ ※Ｂ種 ・
	EP-G (工程の種別は[表7.4.5])	塗替え 新規鋼製建具等 新規その他	Ｃ種 ・ Ｃ種 ・ Ｃ種 ・	※Ｃ種 ・ ※Ａ種 ・ ※Ｂ種 ・
	DP (工程の種別は[表7.4.6])	塗替え 新規	Ｂ種 ・ Ｂ種 ・	ー ー

⑤ 塗装 Ⓖ [7.5.2～7.12.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	新規
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料の種別 ※1種 ・2種	木部屋外	※Ｂ種 ・	※Ａ種 ・
	木部屋内	※Ｂ種 ・	※Ｂ種 ・
	鉄鋼面	※Ｂ種 ・	※Ｂ種 ・Ａ種
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※Ａ種 ・	※Ｂ種 ・
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※Ｂ種 ・	※Ｂ種 ・
・クリヤラッカー塗り(CL)		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種
○耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（１）級	ー	ー
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（１）級	ー	ー
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・	・
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※Ｂ種 ・	※Ｂ種 ・Ａ種
	屋内の木部	※Ｂ種 ・	※Ａ種 ・
	屋内の鉄鋼面	※Ｂ種 ・	※Ｂ種 ・Ａ種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※Ａ種 ・	・Ｂ種 ※Ａ種
○合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※Ｂ種 ・	・Ａ種 ※Ｂ種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	
・木材保護塗料塗り(WP)		※Ｂ種 ・Ａ種	※Ｂ種 ・Ａ種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は[表7.9.1]の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする ・

合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は[表7.10.1]の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする ・

注）DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種別に注意すること。

・高日射反射塗料塗り Ⓖ
下地調整 [7.2.2] ・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量(kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りＡ種のエ程2の適用
・適用しない ・
・適用する(着色剤：・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する ・適用しない
オイルステン塗りの工程等
・製造所の仕様による

8 耐震改修工事
特記仕様書（６～８）による

9 環境配慮改修工事

1 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 [9.1.1]

適用 レﾍﾞﾙ1	レﾍﾞﾙ2	レﾍﾞﾙ3	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(処理作業室ごと)
※	※	・	測定１	処理作業前	処理作業室内	・各2点 ・（ ）点
※	※	・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点 ・（ ）点
・	・	・	測定３	処理作業中	処理作業室内	・各2点 ・（ ）点
※	・	・	測定４		ｾｷｭﾘﾃｨｰﾌﾟｰｽ入口	・各1点 ・（ ）点
※	・	・	測定５		集じん・排気装置の装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・各1点 ・（ ）点
※	・	・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点 ・（ ）点
※	※	※	測定７	処理作業後(隔離シート撤去前)	処理作業室内	・各2点(ﾚﾍﾞﾙ3は各1点) ・（ ）点
※	※	・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点
・	・	・	測定９	処理作業後(ｼｰﾄ撤去後1週間以降)	処理作業室内	・（ ）点
・	・	・	測定10		施工区画周辺又は敷地境界	・（ ）点

さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。

測定方法
測定５のみ ※ﾊﾟｰﾃｨｸﾙｶｳﾝﾀｰ、粉じん相対濃度計（ﾃﾞｼﾞﾀﾙ粉じん計）、繊維状粒子自動計測器（ﾘｱﾙﾀｲﾑﾌｧｲﾊﾞｰﾓﾆﾀｰ）等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定

測定５以外は下表による

	測定3	測定1,4,7,9	測定2,6,8,10
ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀの直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	※1 ・	※5 ・	※5 ・
試料の吸引時間(min)	※5 ・	※120 ・	※240 ・

2 石綿含有吹付け材の除去（レベル１） 除去対象範囲 ・図示 ・ [9.1.3]
除去工法 ※[9.1.3](2)(ｱ)による ・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※密封処理 ※湿潤化 ・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

3 石綿含有保温材等の除去（レベル２） 除去工法 [9.1.4]
※[9.1.4](2)による（原形のまま、手ばらしが可能な場合）
除去対象範囲 ・図示 ・
・[9.1.3](2)による（損傷、劣化等で石綿粉塵を発散するおそれがある場合）
除去対象範囲 ・図示 ・
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
※密封処理 ※湿潤化 ・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

4 石綿含有成形板の除去（レベル３） 除去対象範囲 ・図示 ・ [9.1.5]
石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生（負圧不要）方法
・ビニールシート等による養生を行う ・
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

⑤ 石綿含有建築用仕上塗材等の除去（レベル３相当） 除去対象範囲 ○図示 ・ [9.1.6]
漏工前の試験施工 ・行う ・行わない
除去工法（ＡＧバルブ工法）
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止
※密封処理 ※湿潤化 ・固形化
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分
○埋立処分（安定型最終処分場）
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

6 PCB含有シーリング材処分

種類	採取する部位・箇所数	備考
・ＰＣＢ含有シーリング分析調査（第一次判定）	部位 ・図示 ・ 箇所数： 箇所	
・ＰＣＢ含有シーリング分析調査（第二次判定）	部位 ・図示 ・ 箇所数： 箇所	

詳細は監督員との協議による

7 外断熱改修工事 Ⓖ 断熱材 [9.2.1～4]
種類（ ）厚さ（ mm）施工箇所（・図示 ・ ）
ホルムアルデヒド放射量 ※F☆☆☆☆ ・

外装材

種類	防火性能	備考

鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。
笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による。
既存外壁の処置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない
下地面の清掃 ・行う ・行わない
欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による ・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整 ・
断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による ・
外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・
通気層の有無 ・あり（ mm） ・なし
外装材の外壁への取付け ・図示 ・
笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による

⑧ 断熱・防露改修工事Ⓖ フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2～4]
※F☆☆☆☆ ・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
工法
・断熱材打込み工法
断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
種類 ・
厚さ(mm) ・
施工箇所 ・
○断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H
厚さ(mm) ○25 ・30 ・
施工箇所 ○図示 ・
・断熱材後張り工法
断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
種類 ・ 厚さ(mm) ・
・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用
材質 ・ 厚さ(mm) ・
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法 ・
断熱材へのボードの張付け工法 ・

9 屋上緑化改修工事 Ⓖ 植栽基盤及び材料 [9.4.2～4]
屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 ・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
かん水装置 ・設置する（種類 ）
既存保護層の撤去 ・行う ・行わない
新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引き渡しの日から1年 ・

10 透水性アスファルト舗装改修工事 適用範囲：歩道 [9.5.2～5、9]
既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土 Ⓖ	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン Ⓖ ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂（改修標準仕様書表9.5.1による） ・	・図示 ・
・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ｳ)による ・	・図示 ・

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)
・行う ・行わない

・路床安定処理 ・適用する ・適用しない
安定処理の方法 ・置き換え工法（・ ） ・安定処理工法
路床安定処理用添加材料
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 Ⓖ
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号 ・1号） ・消石灰（・特号 ・1号）
添加量 （ ）kg/m³ （目標CBR ※3以上 ・ ）
目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBD試験 ・
・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/㎡以上 ・
厚さ(mm) ・0.5～1.0 ・
引張強さ ・98N/5cm（10kgf/5cm）以上 ・
透水係数 ・1.5×10⁻¹cm/sec以上 ・

試験
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験 ・行う ・行わない
現場ＣＢＲ試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験 ・行う ・行わない
六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・図示 ・
路盤材料（改修標準仕様書表9.7.3による種別）
・クラッシャラン
・粒度調整砕石
・再生クラッシャラン Ⓖ
・再生粒度調整砕石 Ⓖ
・クラッシャラン鉄鋼スラグ Ⓖ
・粒度調整鉄鋼スラグ Ⓖ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ Ⓖ
舗装の構成 ・図示 ・
舗装の平たん性 ※著しく不陸がないもの ・
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない

11 舗装版切断時に発生する濁水の処理（舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書）
濁水の処理
１）受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
種類及び処理量 ・図示による
処理方法
・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却含まず）
・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入（処理に焼却含む）
２）受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。
共通事項
１）受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
２）受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
３）受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
４）受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。
提出書類等
１）受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
２）受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。
その他
１）濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
２）受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
３）疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

記事

株式会社 綜企画設計	埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印 ・ ・

工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月
図面名称	特記仕様書（５）	縮尺 A1:1/ー A3:1/ー
		図面番号 A-006

10 鉄筋工事

1 鉄筋

鉄筋の種類 (5.2.1)

種類の記号	呼び径(mm)	備考
・SD295	※ D16以下	
・SD345	※ D19以上	
・		
・		

2 溶接金網

形状等 (5.2.2)

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の経(mm)	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

3 鉄筋の継手

鉄筋の継手方法等 (5.3.4)

部位	継手方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	※ D19以上
耐力壁の鉄筋	・重ね継手 ・	
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接	
その他の鉄筋(　　)	・重ね継手 ・	

継手位置
・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1)
基礎梁主筋の継手位置 ・図5.2 ・図5.3 ・図5.4
・図示による(　　) ・
柱及び梁の重ね継手の長さ
・図示による(　　) ・
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ
※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(ｳ))
・図示による(　　) ・
柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に設ける部分の位置及び施工方法等
・図示による(　　) ・

4 鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ (5.3.4)
・図示による(　　)

機械式定着工法
運用場所
・図示による(　　) ・
種類
・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト固定
・鋲合グラウト固定 ・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

鉄筋の余長の長さ
構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)

最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5)
※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1)
・図示による(　　) ・

柱及び梁の主筋にD29以上の使用
・あり 適用箇所(　　)
主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する
耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・あり 適用箇所(　　)
・最小かぶり厚さに加える厚さ (　　)mm
・

6 各部配筋

※図示による (5.3.7)

7 ガス圧接

圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)
外観試験
※行う(全ての圧接部)
抜取試験
※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(ｲ)(a)による)
・引張試験
試験方法 ※標準仕様書5.4.10(ｲ)(b)による
・

8 機械式継手

適用箇所 (5.5.3、5)
・図示による(　　) ・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象 ※全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・１組の作業班が１日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする
・
試験の箇所数
・１ロットに対して(　　)箇所
・全数
試験項目 ※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による
不合格となった場合の措置
・

9 溶接継手

適用箇所 (5.5.3、5)
・図示による(　　) ・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級 ・
溶接継手の工法
・図示による(　　) ・
鉄筋相互のあき
・標準仕様書5.3.5(4)による
・評定等の評価内容による
・図示による(　　)

施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象 ※全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・１組の作業班が１日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする
・
試験の箇所数
・１ロットに対して(　　)箇所
・全数
試験項目 ※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による
不合格となった場合の措置
・

11 コンクリート工事

1 コンクリートの種類等

類別 (6.2.1)
※Ⅰ類(JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート)
・Ⅱ類(JIS A 5308 に適合したコンクリート)

普通コンクリート (6.2.1～6.2.4)

設計基準強度(N/mm²)	気乾単位容積質量(t/m³)	スランプ	適用箇所
・24	2.3程度	・15又は18 ・18	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

構造体強度補正値(S) (6.3.2)
※標準仕様書 表6.3.2による
補正値S＝3(　月　日～　月　日、　月　日～　月　日)
S＝6(　月　日～　月　日、　月　日～　月　日)
・

2 セメント

種類 (6.3.1)
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
適用箇所(※下記以外全て ・)
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352Ｊ/ｇ以下、かつ28日目で 402Ｊ/ｇ以下のものとする。
・高炉セメントB種 G
適用箇所(・1FLより下部(立上り部含む) ・)
・フライアッシュセメントB種 G
適用箇所(・)
・

3 骨材

アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)
※A ・B(コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m³ 以下)

4 混和材料

・混和剤 (6.3.1)
混和剤の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ・

5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地

打継ぎの位置 (6.6.4)
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による(　　) ・
柱及び壁
※スラブ、壁梁又は基礎の上端
・図示による(　　) ・

目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
・標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による ・
※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する
・図示による(　　) ・

ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1)
・図示による(　　) ・

6 湿潤養生

湿潤養生の期間 (6.7.2)
・セメントの種類が普通エコセメントの場合 (　　)日

7 コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2)

種別	適用箇所
・A種	※図示による(　　)
・B種	※図示による(　　)
・C種	※図示による(　　)

コンクリートの仕上りの平たんさ

種別	適用箇所
・a種	※図示による(　　)
・b種	※図示による(　　)
・c種	※図示による(　　)

8 打増し厚さ(打放し仕上げ部)

打増し厚さ (6.8.1)
・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・20mm
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm ・20mm ・
・外装タイル後張り面の打増し処理
・20mm ・
打増し範囲
・図示による(　　) ・

9 型枠

せき板の材料及び厚さ (6.8.2)
・合板(※12mm ・) G
コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。
・断熱材を兼用した型枠の使用
適用箇所 ・図示による(　　) ・
・MCR工法用シートの使用
適用箇所 ・図示による(　　) ・
打増し厚さ ・20mm ・
打増し範囲 ・図示による(　　) ・
スリーブの材種・規格等
・図示による(　　) ・

存置期間及び取外し (6.8.4)
※標準仕様書6.8.4による
・普通エコセメントの場合(※図示による(　　) ・　　)

10 軽量コンクリート

適用箇所 (6.10.1、2)
・図示による(　　) ・
種類
・1種 ・2種
気乾単位容積質量
・標準仕様書 表6.10.1による ・
スランプ
※21cm ・

11 寒中コンクリート

適用期間(　月　日～　月　日) (6.11.1、2)
構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合
・図示による(　　)、S＝(　)・

(6.12.2)

12 暑中コンクリート

適用期間(　月　日～　月　日)
構造体強度補正値(S)
※6N/mm² ・図示による(　　)、S＝(　)・

13 マスコンクリート

適用箇所 (6.13.1、2)
・図示による(　　) ・
セメントの種類
・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・中庸熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ
・高炉セメントB種 ・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種 ・シリカセメント
混和材料の適用
・あり(・標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による ・標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による
・)
スランプ
※15cm ・
構造体強度補正値(S)
※標準仕様書6.13.1による ・

14 無筋コンクリート

コンクリートの種類 (6.14.1)
※普通コンクリート ・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G
設計基準強度 ※18(N/mm²) ・
スランプ ※15cm又は18cm ・
適用箇所
※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による(　　)

15 コンクリートの単位水量測定

実施要領
(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³ 以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³/以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、ｴｱﾒｰﾀ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

記事

株式会社 綜企画設計 埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (4) 第９５２４号
一級建築士(大臣) 第289686号 管理建築士 樋口 勉

印 ・ ・

工事名称: 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
設計年月: 令和6年6月
図面名称: 特記仕様書(６)
縮尺: A1:1/— A3:1/—
図面番号: A-007

8 耐震改修工事

〈一般事項〉
1 適用範囲
・改修標準仕様書　第８章　耐震改修工事
・改修標準仕様書における第８章耐震改修工事以外の改修工事で第８章を引用している部分
・
・

工事内容
・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事　・鉄骨ブレースの設置工事
・柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
・柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き工法）
・柱補強工事（連続繊維補強工法）　・耐震スリット新設工事
・免震改修工事　・制振改修工事
・土工事及び地業工事　・

2 既存部分の処理等
既存構造体の撤去　[8.21.2][8.22.2][8.24.4][8.25.2]
撤去範囲
・図示による（　　）・
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
・図示による（　　）・
[8.21.3][8.22.3][8.23.3][8.26.6][8.27.3]
既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲
・既存柱、梁面　・打継ぎ面の15～30%程度に、平均深さ2～5mm（最大7mm）程度の凹面を全体にわたんってつける　・
・既存壁　・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ2～5mm（最大7mm）程度の凹面を全体にわたんってつける　・

3 撤去工事の施工内容
※耐震壁等の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構面内既存仕上げ・躯体の撤去と土間等の一部を撤去する。
※増設部材と接する既存コンクリート面は充分に目荒らしを行う。
※塗り仕上げ又はこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。なお、躯体を撤去する場合は、両面からカッター切込みを付けてから撤去する。
※撤去に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。

4 撤去工事における注意事項
※コンクリート及び塗り仕上げを部分的に撤去する場合は、既存部分の仕上げに損傷を与えないよう充分注意する。特に塗り仕上げ、増設部材設置構面内の壁コンクリート及び土間コンクリート等の撤去に際しては、カッター等で切込みを付け、既存部分の保護を図る。
※増設する部材に接する既存コンクリートは、充分に目荒らしを行い増設部材との一体化を図る。なお、目荒らしは、深さ6mm程度の凹凸で全体を荒らすようにする。はつり工事は構造躯体に悪影響を与えない方法で工事に行うこと。（電気ピックを用いる等）
※コンクリート打設前に殺塵、はつりがら等を清掃し、数日前から充分に水湿めを行う。
※既存の躯体状態の確認及び補修
・石膏ボードについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に従い、原形のまま運搬し管理型最終処分場で処分すること。
・石綿スレート、フレキシブルボード等石綿製品の撤去にあたっては、関係法令に従い、部材が破損しないように手はずしで行い、原形のまま運搬処分すること。
・以下の天井材の撤去にあたっては、ボードが破損しないように、手はずしで行うこと。
・床：ビニアス系タイルの撤去にあたっては、関係法令に従い部材が破損しないように湿潤後、手はずしで行い、原形のまま飛散防止をし運搬処分すること。

〈鉄筋〉
1 鉄筋
種類　[8.2.1]

種類の記号	呼び径（mm）	備　考
・SD295	※D16以下	
・SD345	※D19以上	
・		
・		

2 溶接金網
形状等　[8.2.2]

種　類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

3 継手及び定着
継手方法等　[8.3.4][8.4.2～3]

部　位	継手の方法	呼び径（mm）
・柱、梁の主筋	・ガス圧接　・機械式継手 ・溶接継手	※D19以上
耐力壁の鉄筋	・重ね継手　・	・
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・ガス圧接　・重ね継手	・
上記以外（　　）	・重ね継手　・	・

継手位置
・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）
・（基礎梁主筋の継手位置　・図5.2　・図5.3　・図5.4）
・図示による（　　）
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ
・図示による（　　）
耐力壁の重ね継手の長さ
・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）3(1)(ｳ)）
・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）表3.1）
・図示による（　　）
鉄筋の定着長さ
※図示による
・

4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）
最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）　[8.3.5]
・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）表4.1）
・
・耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等）
適用箇所（　　）、最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm

5 ガス圧接完了後の試験
外観試験は全ての圧接部で行う。　[8.3.8]
圧接部の確認試験　※超音波探傷試験　・

6 圧接完了後の試験
外観試験　※行う（全ての圧接部）　[8.3.8]
超音波探傷試験　※行う（全ての圧接部）

7 割裂補強筋
形状　・スパイラル筋　・　[8.21.6][8.22.7]
種類の記号　・SR235またはSWM-P　・
呼び径、曲げ直径、ピッチ　・図示による　・

〈コンクリート〉
1 コンクリートの種類等
コンクリートの類別　[8.1.3、4][8.2.5]
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）
※普通コンクリート

設計基準強度（N/mm²）	気乾単位容積質量（t/m³）	スランプ	適　用　箇　所
・24	2.3程度	・15又は18　・18	
・		・	
・		・	
・		・	
・		・	

構造体強度補正値
※[表8.2.4]による　・

2 セメント
種　類　[8.2.5]
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種
適用箇所（※下記以外全て　・　）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352Ｊ/ｇ以下、かつ28日目で402Ｊ/ｇ以下のものとする
・高炉セメントＢ種 G
適用箇所（・1Fより下部（立ち上がり部含む）　・　）
・フライアッシュセメントＢ種 G
適用箇所（　　）
・

3 骨材
アルカリシリカ反応性による区分　[8.2.5]
※Ａ　・Ｂ（コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³以下）

4 混和材料
・混和剤　種類　※[8.2.5](4)(a)による　・　[8.2.5]
・混和材　種類　※[8.2.5](4)(b)による　・

5 構造体用モルタル
圧縮強度（　　）、フロー値（　　）　[8.2.6]

6 ひび割れ誘発目地、打継目地
目地寸法　(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
・標準仕様書9.7.3(1)(7)～(ｹ)による　・
※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する
・図示による（　　）・
ひび割れ誘発目地の位置
・図示による（　　）・

7 コンクリートの仕上り
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　[8.1.4][8.2.7]

種　別	適　用　箇　所
・Ａ種	※図示による（　　）
・Ｂ種	※図示による（　　）
・Ｃ種	※図示による（　　）

コンクリートの仕上りの平たんさ

種　別	適　用　箇　所
・ａ種	※図示による（　　）
・ｂ種	※図示による（　　）
・ｃ種	※図示による（　　）

8 打増し厚さ（打放し仕上げ部）
打増し厚さ　[8.7.8]
・打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）
・20mm　・
・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
・10mm　・20mm　・
打増し範囲
・図示による　・（　　）

9 型枠
せき板の材料及び厚さ　(6.8.2)[8.2.7]
・合板（※12mm　・　）G
コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、寒形等について、事前に監督員と協議する。
・断熱材を兼用した型枠の使用
適用箇所　・図示による（　　）・
・ＭＣＲ工法用シートの使用
適用箇所　・図示による（　　）・
打増し厚さ　・20mm　・
打増し範囲　・図示による（　　）・
スリーブの材種・規格等
・図示による（　　）

10 型枠の加工及び組立
シアコネクタをセパレーターとして使用　[8.7.8]
適用箇所　・図示による（　　）・

11 無筋コンクリート
コンクリートの種類　[8.11.1]
※普通コンクリート　・
セメントの種類　[8.2.5]
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種
・高炉セメントＢ種 G
・フライアッシュセメントＢ種 G
適用箇所　(6.14.1)
※標準仕様書6.14.1(4)による箇所　・図示による（　　）
設計基準強度　※18（N/mm²）・　[8.11.1]
スランプ　※15cm又は18cm　・

12 コンクリートの打込み工法等
コンクリートの打設工法の種類　[8.21.8][8.23.5]

補強工事	工法の種類	適用箇所
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁　・図示による（　）
	・流込み工法8.21.8(1)(7)、(2)	・全ての増設壁　・図示による（　）
	・圧入工法　8.21.8(1)(4)、(3)	・全ての増設壁　・図示による（　）
	・	・図示による（　　）・
・柱補強工事（溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法）	・工法指定なし	・全ての柱補強部分 ・図示による（　　）・
	・流込み工法8.21.8(1)(7)、(2)	・全ての柱補強部分 ・図示による（　　）・
	・圧入工法　8.21.8(1)(4)、(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による（　　）・ ・図示による（　　）・
・	・工法指定なし ・流込み工法8.21.8(1)(7)、(2) ・圧入工法　8.21.8(1)(4)、(3)	

〈鉄骨〉
1 鉄骨製作工場
鉄骨製作工場の加工能力　[8.1.5]
※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び（株）全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鐵構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の能力のある工場
評価の区分　※（　　）グレード　・指定しない
・監督員の承諾する工場（標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る）

2 鉄骨製作工場における施工管理技術者
配置する　[8.1.6]

3 鋼材
種類等　[8.2.8]

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規　格
		※JIS規格による　・
		※JIS規格による　・
		※JIS規格による　・

溶融亜鉛めっき工法の適用箇所　・

4 高力ボルト
ボルトの種類　[8.2.9]
・トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト
・溶融亜鉛めっき高力ボルト
・
ボルトのねじの呼び　・図示による（　　）・　[8.13.2]
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による（構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔）

摩擦面の処理方法等　[8.14.2][8.20.5]
溶融亜鉛めっき以外
※[8.14.2](1)による　・
溶融亜鉛めっき面
・ブラスト処理（表面粗度50μm Rz以上）
・ブラスト処理以外の特別な処理方法
・図示による（　　）・
すべり試験
・行う（※すべり係数試験　・すべり耐力試験）
試験の方法等　・図示による（　　）・

5 普通ボルト
ボルト及びナットの材料　(7.2.3)
・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による
ボルトの規格は JIS B 1180 とする。
（ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。）
・
ボルトのねじの呼び　・図示による（　　）・
座金　※ JIS B 1256 による　・
戻り止め　※二重ナット　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　[8.13.2]
・図示による（構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

6 アンカーボルト
・構造用アンカーボルト（JIS B 1220）　(7.2.4)(7.10.3)
種類　・ABR400　・ABR490　・
・建方用アンカーボルト（JIS G 3101）
種類　・SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書7.2.3による　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　[8.13.2]
・図示による（構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

7 溶接材料
・[8.2.10](1)、(2)による　[8.2.10]
・[8.2.10](1)、(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所　・図示による（　　）

8 ターンバックル
種類　(7.2.6)
建築用ターンバックル
※羽子板ボルト　・
建築用ターンバックル胴
※割枠式　・
ねじの呼び
・図示による（　　）・

9 スタッド
頭付きスタッド（JIS B 1198）の種類等　[8.2.11][8.16.6]

呼　び　名	呼び長さ（mm）	適　用　箇　所
・16		
・19		
・22		

スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃曲げ試験を行う。

10 製作精度
鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6.鉄骨精度検査基準に加えて、次による。　[8.13.3]
通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(2)による　・
アンダーカットの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(3)による　・
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・

11 溶接作業者の技量付加試験
試験の要領　[8.15.3]
・図示による（　　）・

12 溶接接合
開先の形状　[8.15.4]
・図示による（構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準）
・
エンドタブの切除する部分　[8.15.7]
切断する場所　・図示による（　　）・
切断範囲
・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以下残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。
・
切断面の仕上げ
・[8.15.7](1)(ｱ)(b)(2)による　・
スカラップの形状
・図示による（構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4(4)改良型スカラップ）
・

13 入熱、パス間温度の管理
適用箇所
・図示による（　　）
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

14 溶接部の試験
H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等　[8.15.12]
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査①
※抜き取り検査②
・
JASS 6 付則6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する確認方法等
・JASS 6/10.4【受入検査】e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
・
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
・工場溶接の場合
※全数　・
・工事現場溶接の場合
※全数　・

15 錆止め塗装
塗装の範囲　[8.17.2]
・耐火被覆材の接着する面
・図示による（　　）・
耐火被覆材の接着する面以外
※[8.17.2](1)(7)～(ｵ)以外の範囲　・図示による（　　）・
塗料の種別　[7.4.3][8.17.4]
・鉄鋼面の錆止め塗料
屋外
・[表7.4.1] A種　・
屋内
・[表7.4.1]（　）種　・
・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料
・[表7.4.2]（　）種　・
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る）
※[表7.4.1] A種　・
・耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の錆止め塗料
・[表7.4.1]（　）種　・[表7.4.2]（　）種　・

16 耐火被覆
種類、材料、工法等　[8.18.2～8]

種　類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹ｲﾛｯｸｸｰﾙ		
	・湿式ロックウール		
	・半乾式吹付ｲﾛｯｸｸｰﾙ		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	―		
・耐火塗料			

材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする

17 建方精度
※JASS6 付則6[鉄骨精度検査基準]付表5[工事現場]による　(7.10.2)

18 アンカーボルト等の設置
構造用アンカーボルトの形状及び寸法　(7.10.3)
・図示による（　　）・
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
・図示による（　　）・
建方（及び付属鉄骨）用アンカーボルトの保持及び埋込み工法（表7.10.1）
種別　・Ａ種　・Ｂ種
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別（表7.10.2）
厚さ　・
種別　※Ａ種　・Ｂ種

19 溶融亜鉛めっき（基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る。）
種別等　[8.20.4][表8.20.1]

亜鉛めっきの種別	材　料	適用部位
・Ａ種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	
・Ｂ種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
・Ｃ種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

外観検査　※行う　・行わない

〈あと施工アンカー〉
1 あと施工アンカー
仕様等　[8.2.4]
・金属系アンカー（耐震補強用）
引張耐力　※図示による（　　）・
せん断耐力　※図示による（　　）・
アンカー本体の径及び埋込み長さ
・図示による（　　）・
セット方式　※本体打込み式改良型　・
接合筋の種類、径、長さ
・図示による（　　）・
・接着系アンカー
引張耐力　※図示による（　　）・
せん断耐力　※図示による（　　）・
アンカーの種類　※カプセル方式回転・打撃式　・カプセル方式打込み型
・
接着剤の品質　※有機系　・無機系
アンカー筋の径及び埋込み深さ
・図示による（「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項）
・
アンカー筋の種類　・[表8.2.1]の異形棒鋼　・全ねじボルト　・
アンカー筋の新設壁内への定着の長さ
・図示による（「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項）
・
性能確認試験
試験方法及び試験数　・図示による（　　）・

2 あと施工アンカー工事
穿孔機械（金属検知により電源供給が停止出来る付属装置等を使用する）　[8.12.4、7]
※ハンマードリル　・コアドリル
穿孔前の埋込み配管等の探査方法
・JASS 11.10.に規定された非破壊検査を行う
・鉄筋探知器（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う
探査方式
・電磁波ﾚｰﾀﾞｰ法（3D表示対応型）　・電磁波ﾚｰﾀﾞｰ法又は電磁波誘導法
鉄筋探査器の性能
・CD管及び非金属類の探査が可能である機器とする
・はつり出しによる
・
施工確認試験
試験方法　※引張試験機による引張試験　・
確認強度　・図示による（　　）・

〈グラウト工事〉
1 柱底均しモルタル及びグラウト材
・柱底均しモルタル　[8.2.12]
※無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料及び調合
※[8.2.12](1)(7)から(ｴ)による　・
・
・グラウト材
無収縮グラウト材の材質等

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。

無収縮グラウト材の品質及び試験方法

コンシステンシー	Ｊロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値　：　8±2秒
ブリーディング	練り混ぜ2時間後のブリーディング率　：　2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間　：　1時間以上　終結時間　：　10時間以内
無収縮性	材齢　7日　収縮しない
圧縮強度	材齢　3日　25.0N/mm²　以上　材齢 28日　45.0N/mm²　以上
塩化物量	0.30kg/m³ 以下
試験方法	1）NEXCO試験方法　試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形とみなす。 2）塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

〈連続繊維補強工事〉
1 連続繊維シート巻き
連続繊維シート　[8.2.13]
材料　・図示による（　　）・
工法　※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法　・
引張強度（含浸硬化後）
・2500N/mm²　以上　・3000N/mm²　以上　・
ヤング係数（含浸硬化後）
・2.35×10⁵ N/mm²程度　・2.00×10⁵ N/mm²以上　・
下地調整　[8.24.6]
ひび割れ部の改修工法の種類
・樹脂注入工法　・Ｕカットシール材充填工法　・シール工法
柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ　※工法の評価内容による　・
連続繊維補強材の強度試験
引張強度試験
※JIS A 1191（コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法）による
・
試験数量　・図示による（　　）・
付着強度試験
※JIS A 6909（建築用仕上塗材）による　・
試験数量　・図示による（　　）・
補強後の仕上げ　・図示による（　　）・　[8.24.7]

〈耐震ｽﾘｯﾄ新設工事〉
1 施工前埋込み配管等の探査
既存撤去部の埋込み配管等の探査方法　[8.12.4]
・鉄筋探知器（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う
探査方式　・電磁波ﾚｰﾀﾞｰ法（3D表示対応型）　・電磁波ﾚｰﾀﾞｰ法又は電磁波誘導法
・はつり出しによる
・

2 耐震スリット
幅及び深さ　・図示による（　　）・　[8.25.2]
設置箇所　・図示による（　　）・

3 充填材の挿入及び周囲補修等
・耐火材　使用箇所及び仕様　・図示による（　　）　[8.25.2]
・遮音材　使用箇所及び仕様　・図示による（　　）
撤去部の補修　※撤去材と同一材で補修　・

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（４）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉　印　・　・

工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
設計年月　令和6年6月
図面名称　特記仕様書（７）
縮尺　A1:1/－　A3:1/－
図面番号　A-008

〈免震改修工事〉　・別添の免震工事特記仕様書による

〈制振改修工事〉　・別添の制振工事特記仕様書による

〈土工事及び地業工事〉

1 既存杭の撤去等

撤去範囲及び撤去方法　・図示による（　　）　・　[8.28.2]
・杭頭部等の処理　・図示による（　　）　・
・既存杭の補強　・図示による（　　）　・
・健全性の確認試験　・図示による（　　）　・

2 土工事

埋戻し及び盛土の種別　[8.28.3]
・Ａ種　適用場所（　　）
・Ｂ種　適用場所（　　）
・Ｃ種　適用場所（　　）　土質（　　）　受渡場所（　　）
・Ｄ種　適用場所（　　）
品質　細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。

六価クロム溶出試験　・行う
建設発生土の処理　・構内指示の場所に堆積　・構内指示の場所に敷均し

鋼矢板等の抜き跡の処理　※※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる
山留め壁等の存置　・行う（存置範囲　※図示　・　）

3 地業工事

・杭地業　[8.2.15][8.28.4]
支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端の位置含む）
・図示による（　　）　・
杭の材料、工法、寸法、施工方法等
・図示による（　　）　・
試験杭の位置、本数、寸法、施工方法
・図示による（　　）　・
杭の載荷試験　・適用（・鉛直　・水平）
試験杭(位置、本数、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示)
地盤の載荷試験　・適用（※平板　　）
試験位置、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項　※図示
杭の溶接継手　・あり（継手の箇所数、材料、広法等　※図示）
技能資格者の技量及び溶接部の確認　※図示　・
杭頭の処理等　・する（処理方法(切断にともなう補強方法含む)※図示・　）
記録する施工状況等　・図示による（　　）　・

・砂利地業　[8.2.15][8.28.4]
材料　・再生クラッシャラン Ⓖ　・切込砂利又は切込砕石　・
施工範囲　・図示による（　　）　・
厚さ　※60mm　・

・砂地業　[8.2.15][8.28.4]
材料　・シルト　・有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂
施工範囲　・図示による（　　）　・
厚さ　※60mm　・

・捨コンクリート地業　[8.11.1～3][8.28.4]
材料　※普通コンクリート　・
設計基準強度　※18N/mm²　・
スランプ　※15cm又は18cm　・
施工範囲　・図示による（　　）　・
厚さ　※50mm（※平たん仕上げ　・　）　・

4 その他

設計参考材料メーカーリスト

□金属屋根改修
・新設部：立馳葺　ガルバリウム鋼板ｔ＝0.5（遮熱仕様）
・メーカー：三晃金属工業株式会社　SX-40※340　H=38.8　同等品以上とする。
・改修部：既設存置（立馳葺、フラットタイプ葺、平葺）仕上げ塗装改修
・仕上げ塗装は遮熱塗装とする。
・遮熱塗装：遮熱型弱溶剤フッ素樹脂塗装
・メーカー：三晃金属工業株式会社　三晃クリーンガードＦ弱溶剤（2回塗）
同等品以上とする。

□屋上防水改修
・露出断熱アスファルト防水：国交省仕様Ｃ－１同等以上
加熱型改質アス塗膜防水改修専用工法繊維補強面材ルーフィング仕上げ
立上り具：加熱型改質アス塗膜納め
・田島応用ルーフィング株式会社：プライムアス工法RHFC-015・TH（技術審査証明取得仕様）同等品以上とする。
・保護アスファルト防水：ウレタン塗膜通気緩衝工法
立上り部　高靭性ウレタン塗膜防水密着工法併用　同等
シリコーン系高耐久高反射保護塗装仕上げ
・田島応用ルーフィング株式会社：ＧＯ-ＪＩＮ　ＧＯ-３ＶＡ立上り仕様（技術審査証明取得仕様）同等品以上とする。
・ウレタン塗膜防水：高靭性ウレタン塗膜防水
・田島応用ルーフィング株式会社：ＧＯ-ＪＩＮ　同等品以上とする。

□外部シーリング改修
・２成分形ポリサルファイド系シーリング（タイル・建具廻り目地等の露出される部位）再充てん工法
・メーカー：コニシ株式会社　ボンドＰＳシール同等品以上とする。
・２成分形変成シリコーン系シーリング（笠木・金属パネル・建具廻り目地等の露出される部位）再充てん工法
・メーカー：コニシ株式会社　ボンドＭＳシール同等品以上とする。
・２成分形アクリルウレタン系シーリング（打継・誘発・建具廻り目地等の塗装される部位）再充てん工法
・メーカー：コニシ株式会社　ボンドＡＵシール同等品以上とする。
・２成分形ポリウレタン系シーリング（打継・誘発・建具廻り目地等の塗装される部位）再充てん工法
・メーカー：コニシ株式会社　ボンドビユーシール6909同等品以上とする。

□日射調整フイルム改修
・日射調整フイルム：NANO80S　スリーエムジャパン株式会社同等品以上とする。

□メインホールホワイエ特定天井改修
・耐震天井ブレース工法：水平震度法　仕上材：岩綿吸音板　ワイド直張　9mm
使用ブレース材：C-40×25×10×1.4（1スパンブレース）
部材：ＤＨメイン、ＤＨクロス
天井と壁のクリアランス：60mm以上、上下10mm以上
天井面積：267.54㎡
ブレース負担面積：30㎡/耐震ブレース1組
必要耐震ブレース組数＝267.54㎡/30㎡/組＝8.918→9組（バランス良く配置）
天井材：ダイロートン　ワイド直張　9mm
メーカー：大建工業株式会社　同等品以上とする。

□外壁塗改修
・コンクリート打放し部位：ファンデーションローラー工法　エスケー化研株式会社同等品以上とする。
・厚塗塗材部位　下塗：アンダーサーフＤＳ　エスケー化研株式会社同等品以上とする。
上塗：超低汚染・超耐久型ふっ素樹脂塗装　水性弾性セラタイトＦ　エスケー化研株式会社同等品以上とする。

□建具シャッター改修
・建具ＳＳ：三和シャッター工業株式会社同等品以上とする。
・連絡先：三和シャッター工業株式会社　首都圏・中日本事業本部　首都圏営業開発グループ　首都圏市場開発課　小島様　03-4333-0571

□外壁厚塗塗材下地調整部位クラック改修
・工法：ＡＧバブル工法
メーカー：株式会社コンステック　同等品以上とする。

□３Ｄ測量調査による既存形状データー作成
・工法：３次元測量
・内容：3Dレザースキャナー計測により構造物のの３次元座標を取得する
点群から各天井部材を抽出し、図面作成用データー（モデリング有り）作成までとする
測量会社：株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング

□舞台機構に関する改修
・メインホール：緞帳・幕・バトン等の取外し、再取付・保管

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印　・　・

工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事

設計年月　令和6年6月

図面名称　特記仕様書（８）

縮尺　A1:1/－　A3:1/－

図面番号　A-009

富士見市民会館キラリふじみメインホールおよびマルチホール
音響関係工事特記仕様書

＜特記事項＞
各工事関係施工者は、下記に示す音響性能目標値の実現に努める
＊メインホールの残響時間目標値　（舞台音響反射板設置時）
約１．5秒程度　（中音域、満席状態）
＊マルチホールの残響時間目標値　（舞台音響反射板設置時）
約１秒程度　　（中音域、満席状態）

＜特記仕様＞
本特記仕様書は、メインホールおよびマルチホールに関して、所期の音響性能を実現するために
必要な遮音、吸音構造の材料の選定、施工等、音響関係工事について規定するものである。
※工事発注区分による
建築以外の工事担当者において区分がわかれているとき、本仕様書に従い建築工事担当者と
十分に検討協議して施工方法を決定し、監理者に承諾を得て施工すること。

1. 共通事項
1. 1. 音響性能目標値の実現について
各工事関係施工者は、特記事項および本特記仕様書に示す音響性能目標値の実現に努める。
本ホールは音響性能が重要であるため、音響に関わる施工検討会を適宜一定期間継続して実施する。
・施工検討会メンバーについては基本は下記の通りとする。（内容に応じて招集する。）
・監理者・建築施工業者・音響専門機関・電気施工業者・機械設備施工業者

1. 2. 設計・仕様変更の報告と承諾について
施工段階において、音響性能上重要な部分の詳細ディテールについては、
図面を作成し設計監理者に施工方法を確認し承諾を得ること。
種々の理由から設計図書に指示されていることと異なった施工を行わざるを得なかった場合、
その理由について文書をもって報告し、監督員及び監理者（or音響設計部門）の
指示、承諾を受ける。

1. 3. 施工図の承諾について
遮音構造、吸音構造、防振構造等、音響に関係した建築施工図および空調設備、電気音響設備等の
建築設備施工図については、施工前に音響上のチェックを受ける。

1. 4. 音響関連材料等の音響性能および調査
次のような音響関連材料のうち特殊なものについては、音響性能試験（ＪＩＳ等による）の
データーの提出を求めることがある。音響特性データがない材料については測定を実施する。
(1) 防音建具（枠含む）の遮音性能（JIS A 1416に基づく）　・あり　☉なし
(2) 客席椅子の吸音力（既存客席椅子および新規客席椅子）　・あり　☉なし
(3) 消音器等の消音性能　・あり　☉なし
(4) その他特に必要と認められるもの

1. 5. 施工上における音響関連工事に関わる確認、検討について
音響関連工事に関わる確認、検討については、音響専門機関が監理者に協力し、
、技術協力・指導を行う。
音響専門機関は監督員及び監理者の承諾を得た専門機関とする。
この音響関連工事に関わる技術協力、指導費用は施工者の負担とする。

1. 6. 検査・測定について
設計で意図した音響性能が得られているかどうか、施工中及び完工時において、
音響専門機関において検査・測定をおこなう。検査・測定の費用は施工者の負担とする。
その結果、設計で意図した音響性能が得られていない場合には、
原因を明らかにし改善対策についての検討をおこなう。
(1) 施工中に検査・測定を実施する場合、各工事関係者は随時、工事途中の開口や隙間に
ついてはこれをふさぐ等の協力に努める。
・施工中検査　　・あり　　☉なし
(2) 完工時の検査・測定の際、備品納入者は、必要な備品類が備え付けられた状態で

2. 建築工事　検査・測定が実施できるように、備品納入時期の調整をおこなう。
2. 1. 遮音・防振構造
遮音工事にあたり、隙間処理、気密性の確保、ブリッジ回避等、細心の注意を払って施工する。

(1) 材料
a. 指定のものを必ず使用する。不明な場合は、設計監理者（必要に応じて音響専門機関を含む、
以下同様）に見本を提出し承諾を受ける。
b. グラスウール、ロックウール等の吸音材については、用途種別、厚さ、密度について
指定のものを使用する。

(2) 隙間の防止と気密性の確保
a. コンクリート躯体の"豆板""す"等は、はつったあとモルタルで補修をおこなう。
b. 配電盤、非常用設備等の設置により、遮音壁の厚さに変化が生じた場合は、
必ず背面に遮音層を追加する。
c. コンクリートブロックと躯体間、ボード間の隙間、ALCの目地等、遮音壁の取り合い部の隙間に
対しては、構成材料のもつ遮音性能が十分に得られるよう隙間を処理する。隙間の処理は、
（油性）コーキング材充填、モルタル充填、石膏ボード増貼、鉛シート貼等により
入念におこなう。
d. 遮音層を貫通する吊りボルト、支持金物等との隙間に対しては同様にコーキング又は
グラスウール充填等遮音種別の仕様にあわせて施工する。
e. ダクト、パイプの遮音層貫通部は、隙間がないよう施工する。
f. 防音扉の扉枠と躯体、サッシと躯体の間の隙間に対しては、モルタル詰めをおこなう。
g. 防音扉周辺のゴムパッキンの調整、エアタイト及びグレモンハンドルの引き寄せの調整は、
特に念入りに行い気密性を保つようにする。

(3) 浮き構造の施工(必要に応じて)
h. 防音扉の戸当り、召し合せの調整は、責任を持っておこなう。
a. 防振層と躯体との間には、ブリッジがないようにする。
b. 浮き構造をダクト、パイプ等が貫通する場合には、ブリッジが生じないようにする。
c. 防振ゴムは、均等に正規の加重がかかるように調整する。
d. 詳細図とともに計算書を提出する。

2. 2. 吸音構造及びビリツキの防止
(1) 吸音構造
a. 必ず指定のものを使用する。不明の場合には、必ず監理者に見本を提出し承諾を受ける。
b. とくに間違いやすい材料は、つぎのとおりである。
イ） グラスウール、ロックウール
ロ） 有孔板（孔径、ピッチ）
ハ） 岩綿成形板（メーカ、施工法により吸音特性が異なる）
ニ） 木毛セメント板と木片セメント板（普通級と硬質級）
ホ） 吹付材
c. グラスウール、ロックウール等の吸音材は、必ずJIS A 6301の吸音材料に規定された
製品を使用する。　厚さ、密度についても指定のものを使用する。
d. 有孔板の孔径、孔中心間隔、リブの寸法、ピッチは必ず指定されたものを使用する。
e. 有孔板の裏打ち原紙については、特に指示のない限り、取りはずしてから施工する。
f. 吸音材、有孔板等の表面の塗料及び塗装方法については、予め設計監理者の承諾を得る。
g. 有孔板、無孔板等の背後の空気層については、指示どおり吸音材と躯体との間に設ける。
特に厚さを確保することに留意する。
h. 有孔板、グラスウール、空気層の組み合わせによる吸音構造については、
特にお互いの位置関係に注意し、これについては詳細図を作成し、予め監理者の承諾を得る。
i. 木毛セメント板、木片セメント板については、厚さや製品の違いにより特性に差が
生じやすいため、予め監理者の承諾を得る。

(2) ビリツキの防止
内装およびその下地は、ビリついて音が生じない施工とする。
また、置忘れたビス等の廃材がビリツキを誘引することがあるので置忘れがないよう留意する。

3. 建築設備工事
3. 1. 室内許容騒音目標値
本体工事特記仕様書と齟齬がある場合、本音響特記仕様書が優先する。
室内許容騒音は、既存同等とする。
既存の空調設備騒音の実測値(令和5年9月調査時)は以下の通りである。
メインホール　NC-19
(改修事前測定時において舞台客席中央にて舞台幕、調光器盤及び機構操作卓用分電盤停止時)
マルチホール　NC-20(客席中央)　NC-21(舞台中央)

3. 2. 機器の選定と騒音・振動データの提出(必要に応じて)
a. 空調、給排水衛生、電気、昇降設備等の機器類は、できるだけ騒音及び振動の少ない
機器を選定する。なお、必要に応じて運転時の騒音、振動のデータの提出を求めることがある。
b. 送風機、ポンプ、冷凍機、エレベータ、エスカレータなどの主要な設備機器については、
騒音、振動についてのデータを提出する。
特に送風機については、発生騒音のパワーレベル資料を提出する。
その結果異常が認められた場合には変更をするか、
あるいはメーカ側においてしかるべき対策をおこなう。
c. 音響用回線、特にマイクロホン回線へは電源幹線系統、調光系統、インバータ系統、
スピーカ系統などから、ノイズ等が混入しないように注意する。ノイズ等を発生する機器に
ついては、電源側にノイズカットトランスの設置等の対策を施す。

3. 3. 工場検査(必要に応じて)
送風機など主要な機器については、工場検査時に設計監理者立会いのもと発生騒音、
振動の検査・測定をおこなう。

3. 4. 機器、ダクト、パイプの防振工事
a. 騒音及び振動となり得るホール周辺の機器、ダクト、パイプ、変圧器、昇降設備機器等は
原則として防振をおこなう。その範囲については、監理者の指示に従う。
b. 各防振材については、できるだけ所定の荷重が均等にかかるように調整する。
c. 機器の防振支持構造については、詳細図とともに計算書を提出する。

3. 5. ダクト、パイプの躯体及び遮音構造の貫通
a. 原則として、遮音構造への貫通は行わないものとする。
b. 躯体への振動伝達の防止、隙間よりの音洩れの防止を図る。
c. 浮き構造貫通部については、ブリッジが生じない構造とする。

3. 6. 空調、換気設備
(1)ダクト
a. 風速の過大、風量のアンバランス等によって、渦流音が発生しないようなダクト配置、
ダクトサイズを選定する。
b. ＳＡダクトは、ＳＡエルボまたは吸音チャンバとし、必要に応じて消音器、内張ダクト等を用いる。
ＳＡダクトの内貼り材料は、とくに指示がない限り、厚さ50㎜以上、密度32kg/m3以上の
グラスウールまたはロックウールとする。
c. ホール系統の空調用ＳＡダクトの板圧は共仕記載の適用表示厚さの１サイズアップとし、
下記を適用する。

ダクト長辺長さ	適用表示厚さ
450以下	0.6
450を超え750以下	0.8
750を超え1,500以下	1.0
1,500以上	1.2

(2)風量調節施工後は風量を調節し、その結果を監理者に報告する。

(3) 施工上の注意点a. 送風機騒音は、設計目標値を満足するものでなければならない。
b. ＳＡダクトからの音洩れによる障害があってはならない。そのおそれがある場合には、
ＳＡダクトの設置、機器やダクトの遮音をおこなう。
c. ダクトを通してのクロストークのおそれがある個所には、吸音ダクトを設置する。
d. 排煙ダクトを通して外部騒音侵入、風音の発生があると考えられる場所には、
吸音ダクト又はガラリチャンバー内に遮蔽板を設ける。
e. 室外機、クーリングタワー、外気取り入れ口、排気口からの騒音は境界線において
環境基準を満足するものでなければならない。

4. 舞台設備工事
4. 1. 室内許容騒音目標値本体工事特記仕様書と齟齬がある場合、本音響特記仕様書が優先する。
ホールの室内許容騒音は前項3.1.を参照のこと。

4. 2. 舞台機構・舞台照明設備
a. 舞台機構、舞台照明設備に関連する機器は、できるだけ騒音及び振動の少ない機器を選定する。
b. それ等の機器については必要に応じて騒音及び振動データの提出を求めることがある。
その結果異常が認められた場合はしかるべき対策を講じる。
c. 吊り物、昇降装置の作動時に異常騒音の発生がないことを確認する。
d. 照明、調光器の動作時に異常騒音の発生がないことを確認する。
e. 音響用回線、特にマイクロホン回線へは電源幹線系統、調光系統、インバータ系統、スピーカ
系統などから、ノイズ等が混入しないように注意する。ノイズ等を発生する機器については、
電源側にノイズカットトランスの設置等の対策を施す。

4. 3. 舞台音響設備
(1)電気音響設備動作特性の目標値公共ホールでの電気音響設備動作特性の標準目標値を以下に示す。
改修後の復元時もこの性能を標準とする。このときの動作スピーカは固定設備における
拡声用スピーカとする。舞台幕は設置時、状態（式典、講演会形式）にて実施する。
a. 伝送周波数特性
ばらつき１０dB以内
（ピンクノイズ信号にて、１６０～５ｋＨｚ内の1/3
b. 音圧レベル分布
ばらつき６dB以内
（中心周波数４ｋＨｚオクターブバンドノイズ信号にて）
c. 安全拡声利得
－１０dB以上
（舞台中央・司会者位置を擬似音源とし、ピンクノイズ信号にて）
d. 最大再生音圧レベル
95dB(c)以上
（ピンクノイズ信号にて）
e. 残留雑音
ＮＣ－２０以下　（現状同等以下）
（最大再生音圧レベル１００dB(c)を得られる状態にて、
調整卓チャンネルフェーダを絞り切った状態）

4. 4. 機器取り付け及び調整
(1) スピーカ取り付けにあたっての注意点
a. スピーカ本体、吊り装置等が建物躯体、内装などに接触しないようにする。
b. 内装開口面との取り合いについては、十分に打ち合せを行って施工する。
c. ホーンスピーカは角度の調整が容易にできるよう余裕を十分にとって取付ける。
d. 設置方法によっては防振支持をおこなう。

(2) 各機器及び据付け工事
a. 各機器の選定については設計監理者の承諾を得る。音響機器はモデルチェンジのサイクルが
短いため、竣工時に出来る限り新しい機器を納入できるよう柔軟に対応する。
b. とくに調整室内各機器間、操作盤および端子盤の接続については、使用材料、施工方法等、
施工詳細図を提出し、設計監理者の承諾を得る。
c. 各機器類は完工までにほこり、過度の湿気、熱気等により損傷が与えられないように対策する。

(3) ノイズの防止
a. 音響用回線、特にマイクロホン回線へは電源幹線系統、調光系統、インバータ系統、
スピーカ系統などから、ノイズ等が混入しないように注意する。ノイズ等を発生する機器
については、電源側にノイズカットトランスの設置等の対策を施す。
b. 音響回線シールド、各線間の離隔、ボンディングアース等の必要な対策を確実におこなう。
音響用回線と他の回線を平行して配線する場合は特に注意し、必要な離隔距離をとる。

(4) 調整
機器間を接続し正常動作を確認した後、各機器の入出力レベルの設定、音量や音質を調整し、
設計で意図した性能を満足させること。場合によってはスピーカの向きや位置を変更することも
あるので、余裕をもった工程とすること。
調整は、物理特性の確認とともに、聴感によっても判断する。

4. 5. 検査、調整および設備取扱い説明
a. 製作機器について、現場搬入前に所定の性能に調整した後、監理者立会いのもとに
検査測定をおこなう。各機器の調整後の検査、測定結果報告書は立会い検査時に提出する。
b. 機器設置工事完了後、仕様書・調整基準に従って総合的なテストをおこない、
正常なる動作を確認する。
c. 本工事完了引渡し後、操作マニュアルを作成し、担当者に対して設備機器の取扱い及び
操作方法、その他説明を要する場合は、協議の上、一定期間説明をおこなう。

＜音響検査・測定仕様＞

1. 完工時の検査・測定
施工中および完工後、下記の要領にて前述1.5に指定する音響専門機関（1.6項参照）により
音響検査測定をおこない、その結果を監督員・監理者に報告をする。

2. 検査・測定計画書の作成
検査・測定実施者は、事前に検査・測定計画書の作成を行い監理者に提出し、
その承諾を得てから検査および測定を実施するものとする。

3. 備品納入時期と測定時期の調整
完工時の検査・測定の際、備品納入者は、必要な備品類が備え付けられた状態で検査・測定が
実施できるように、備品納入時期の調整をおこなう。
☉施工前音響残響時間測定時と同じ備品を設置する事。（同じ条件とする。）

4. 対象室および検査・測定項目

		検査・測定項目									
		室内音響性能		建築音響性能		電気音響設備動作特性					
		残響時間	エコータイムパターン	空間の遮音性能（対ホール間）	防音建具の遮音性能（改修した箇所）	空調設備騒音（ＮＣ値）	伝送周波数特性	音圧レベル分布	安全拡声利得	最大再生音圧レベル	残留雑音	試聴試験
対象室	メインホール	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○
	マルチホール	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○

※△は参考程度に確認する。

5. 検査・測定方法
(1) 室内音響性能の測定
a. 残響時間　舞台中央に設置した無指向性音源スピーカ（１２面体スピーカ）を使用し、
客席代表点（３箇所以上）にて１２５～８kHzのオクターブバンド周波数毎に求めた
残響波形から残響時間を読み取る。
b. エコータイムパターン　舞台中央に設置した無指向性音源スピーカ（１２面体スピーカ）を
使用し、客席代表点（３箇所以上）にて短音残響波形（エコータイムパターン）を観測する。

(2) 建築音響性能の測定
a. 室間の遮音性能 JIS A 1417 「建築物の空気音遮断性能の測定方法」に準ずる。
音源側でスピーカから中心周波数６３～４kHzのオクターブバンドノイズを発生させ、
音源側および受音側の代表点（原則３箇所、室規模に準じて増減）でオクターブバンドレベルを
測定し、その差から室間平均音圧レベル差として遮音性能を求める。
b. 防音建具の遮音性能　JIS A 1417「建築物の空気音遮断性能の測定方法」に準ずる。
音源側でスピーカから中心周波数６３～４kHzのオクターブバンドノイズを発生させ、
音源側および受音側の代表点（原則２箇所、室および建具規模に準じて増減）で
オクターブバンドレベルを測定し、その差から特定場所間音圧レベル差として遮音性能を求める。
c. 空調設備騒音（NC値）　空調機運転状態における各室のオクターブバンドレベルを
代表点数点で測定し、その値からＮＣ値を求める。

(3) 電気音響設備動作特性の測定
動作スピーカは、固定設備における拡声用スピーカとする。（その他、）a.ｄ.の項目に
ついては拡声用に加えて効果音用スピーカを個別に動作させた状態に於いても実施する。
a. 伝送周波数特性
各スピーカからピンクノイズ信号を再生させ、舞台上代表点（２箇所以上、拡声音用および
効果音用スピーカを動作時）および客席代表点（６箇所以上）において、31.5～20,000Hzの
1/3オクターブ毎に中心周波数の音圧レベルを読み取り伝送周波数特性を求める。
b. 音圧レベル分布
拡声用スピーカから中心周波数４kHzのオクターブバンドノイズを再生させ、
客席各点（１列、１席おき）における音圧レベルを読み取る。
c. 安全拡声利得
舞台中央・司会者位置において拡声用マイクロホンを使用し、ハウリングを生ずるレベルより
利得を６ｄＢ小さくした状態で、擬似音源スピーカからピンクノイズ信号を発生させる。
この状態でマイク面の音圧レベルと、ホール内拡声状態における客席代表点（室中央）の
音圧レベルとの差を求める。
d. 最大再生音圧レベル(参考)
各スピーカからピンクノイズ信号を、歪なく再生できる最大レベルで再生させ、
客席代表点（室中央）における音圧レベルを読み取る。
e. 残留雑音(参考)
最大再生音圧レベルを確認後、調整卓チャンネルフェーダを絞りきり、客席における音圧レベル
分布で最大の席において（１箇所以上)のオクターブバンドレベル（ｄＢ)を読み取り、
ＮＣ値を求める。暗騒音も同席に於いて測定する。
f. 試聴試験
拡声用マイクによる拡声音および再生音が、正常であることに加え、良好な音質や充分な
音量であることを確認する。

6. 検査・測定報告書の作成
測定完了後4週間以内に音響検査・測定報告書を5部作成し監理者に提出する。

＜備考＞
※設計監理者とは必要に応じて音響専門機関を含む

記事
（１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（２）特記事項は ☉ 印の付いたものを適用する。

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印　．　．

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
設計年月：令和6年6月
図面名称：特記仕様書（９）（音響関係工事）
縮尺：A1:1/－ A3:1/－
図面番号：A-010

■改修特記事項

最初にこの改修工事は「居ながら改修工事」となるため、管理団体従事者の安全を最優先を計って施工を行う事とする。

・全体改修工事期間は18か月、工区はⅠ工区：12か月、Ⅱ工区：18か月に分けて施工とする。（Ⅰ工区とⅡ工区は重複する工程となる。）

・Ⅰ工区の改修内容：①金属屋根、②屋上防水、③外壁、④内壁、⑤マルチホール特定天井、⑥外部建具、⑦屋上機械置場、⑧カスケード改修

・Ⅱ工区の改修内容：①金属屋根、②屋上防水、③外壁、⑤メインホール・ホワイエ特定天井、⑥外部建具、⑨ラグーン改修

・工事車両は北側側道より入場し、ララポート側より出場の一方向通行とする。工事エリア・敷地内は時速15ｋｍ以下とし、歩行者・利用者・一般車両の安全を最優先とする。

・Ⅰ工区改修工事完了引き渡し後、敷地・施設内を利用者が利用する為、Ⅱ工区工事はより一層安全を計る。

①.金属屋根改修

①-1 金属屋根改修

・既存屋根調査を施工前に実施、報告書・実施計画書提出の上、改修方法・内容を決定する。

・メインホール最頂部既存金属屋根はアスファルトルーフィング940、硬質発泡ウレタンボードｔ＝20、カラーガルバリウム鋼板厚0.4、既存ケラバ水切（両側）、頂部水切、軒先水切は撤去する。

・撤去部には金属垂木ﾊｯﾄ型下地の上、ゴムアスファルトルーフィングｔ＝1.0、断熱材：硬質イソシアヌレートボードｔ＝25、カラーガルバリウム鋼板ｔ＝0.5　立馳葺遮熱仕様　（三晃金属工業（株）SX-40同等品）を新設する。　（電気工事にて太陽光パネル設置（取付金物共））

・最頂部屋根の除く既存折れ屋根部位は存置とし、下地調整（ケレン）高圧洗浄、錆部タッチアップ塗装の上遮熱塗装とする。

・メインホールホワイエ外各施設の既存金属屋根は存置とし、下地調整（ケレン）高圧洗浄、錆部タッチアップ塗装の上遮熱塗装とする。

①-2 竪樋改修

・竪樋は調査の上、外部竪樋Φ100を更新しＤＰ塗装とする。

②.屋上防水改修

②-1 屋上平場防水層、立上り防水層の改修

・既存屋根防水調査を実施、報告書提出の上、改修工法・材料を決定する。

・既存露出アスファルト防水部はかぶせ改修とする。（既存平場防水層残置、立上り防水層撤去）

・露出アスファルト防水　国交省仕様Ｃ－１同等　（田島ルーフィング（株）プライムアスエ法ＲＨＦＣ-015・ＴＨ同等品）

・既存保護アスファルト防水部はかぶせ改修とする。（既存保護防水層残置、立上り防水層撤去）

・ウレタン塗膜防水通気緩衝工法　国交省仕様Ｘ－１同等　（田島ルーフィング（株）ＧＯ-ＪＩＮ同等品）

・既存ＦＲＰ防水部を撤去し、高靭性ウレタン塗膜防水にて改修する。

②-2 笠木の改修

・高靭性ウレタン系塗膜防水（田島ルーフィング（株）ＧＯ-JIN 同等品）　にて改修とする。

②-3 トップライト用基礎・設備用基礎・鉄骨基礎の改修

・高靭性ウレタン系塗膜防水（田島ルーフィング（株）ＧＯ-JIN 同等品）　にて改修とする。

②-4 外部シーリング改修

・既存外部シーリング調査を実施、報告書提出の上、材料等を決定する。

・既存打継目地、化粧目地・誘発目地、建具枠回り、金属工事納まり部の外部シーリングは全て更新する。

③.外壁等改修

「③-1、③-2は実施する前に設計図書を参考に施工前に現地調査を行い、実施数量を算出、計画書作成・提出　報告し、監督員及び監理者の承諾得て実施する事とする。」

③-1 コンクリート打放し（A）部、厚塗材部のひび割れ部の補修並びに仕上げの改修は下記の通りとする。

・コンクリート打放し（A）部のひび割れの補修は下記の改修とする。

・ひび割れ幅0.20ｍｍ以上の場合注入工法とし、0.15ｍｍ以上～0.20ｍｍ未満はシール工法とする。

・コンクリート打放し部の仕上は下地調整の上、ファンデーションローラー工法改修とする。

・コンクリート打放し（A）部厚塗塗材のひび割れの補修は下記の改修する。

・ひび割れ幅0.20ｍｍ以上の場合注入工法とし、0.15ｍｍ以上～0.20ｍｍ未満はシール工法とする。

・下地補修の上、厚塗塗材トップコート塗装改修とする。（外部仕上げ表参照）

③-2 タイル張り仕上外壁の浮き部・ひび割れ部の改修を行う。

・タイル張り仕上外壁の浮き部改修は樹脂注入工法とする。

・タイル張り仕上外壁のひび割れ部改修は下記の通りとする。

タイル張替えの場合は「現文化会館キラリふじみ」にて保管されているタイルを使用して張替える（現物支給）事とし、仮に改修数量が保管数量より上回る場合は、監督員・監理者と協議し、既存タイル形状に近いタイルを使用する。

③-3 外部金属手摺塗替え改修

・ 外部鋼製建具（枠共）下地調整の上、錆止め塗料・耐候性塗料塗り替え改修とする。

・ 下地調整：ＲＢ種、錆止め塗料種別：Ｅ種、錆止め塗料塗り：Ｃ種、耐候性塗料：Ａ種

④.内壁改修

「④-1、④-2は実施する前に設計図書を参考に施工前に現地調査を行い、実施数量を算出、施工計画書作成・提出、監督員及び監理者の承諾得て実施する事とする。」

④-1 コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の補修

・コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の補修改修（仕上げは施さない。）

・ひび割れ幅0.20ｍｍ以上の場合注入工法とし、0.15ｍｍ以上～0.20ｍｍ未満はシール工法とする。

④-2 タイル張り仕上内壁の改修

・タイル張り仕上内壁の浮き部改修を樹脂注入工法とする。

⑤.特定天井等改修

⑤-1 メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールにおける特定天井改修を行う。

・メインホール、マルチホールの２箇所は準構造による特定天井改修とする。

・メインホールは既存天井を全撤去する為、デザインを引き継ぐために「３次元測量」にて現場調査・実測し形状を担保する。

同メインホールキャットウォークの増設を準構造材の上に追加増設する。

※推奨工法「３次元測量」：（株）アサノ大成基礎エンジニアリング　連絡先：南関東事務所　所長　間島様

・マルチホールは天井下部のキャットウォーク存置し、既存天井を全撤去し、既存と同じ様な材料で天井を改修する。

同マルチホールのバトン吊鋼材は存置する。（バトンの支持は吊支持から準構造材に支持を盛りかえる事とする。）

・メインホールホワイエの特定天井は一般天井は耐震天井工法とし、外部開口部際の上り天井部は準構造天井工法とする。

・同上天井形状は既存形状とし、又天井材は軽量化を計る為、捨貼りなしカラーＤＲｔ＝9貼りとする。

・メインホール、マルチホールの２箇所は音響残響音測定を行い、既設音響性能目標値の実現に務める事とする。

⑥.外部建具改修

⑥-1 シャッター　ＳＳ-１、ＳＳ－２、ＳＳ－３、ＳＳ－４、ＳＳ－６：５基は点検調整・無線信号装置取替、ＳＳ－７：取替改修

・改修シャッターの点検工事を行い、オイル注油、スラット調整を行う。

・外部建具ガラス押えの外部側のみシーリングの更新改修とする。

・外部建具のジョイントシーリングの更新改修とする。

・ 外部鋼製建具（枠共）下地調整の上、錆止め塗料・耐候性塗料（ＤＰ）塗り替え改修とする。

・ 下地調整：ＲＢ種、錆止め塗料種別：Ｅ種、錆止め塗料塗り：Ｃ種、耐候性塗料：Ａ種

⑦.空調熱源機器更新に伴う屋上機械置場改修

⑦-1 屋上機械置場目隠し部の鉄骨取外し、再取付改修

・ 機器置場の上部水平ブレース等を一時的に取外し、機器更新後再取付とする。

・ 既存鉄骨（柱・梁・小梁・ブレース等）は下地調整：ＲＢ種、錆止め塗料種別：Ｅ種、錆止め塗料塗り：Ｃ種、耐候性塗料：Ａ種

・ アルミルーバーを一時的に取外し、鉄骨下地塗装後再取付とする。

・ 既存ブレース等取外す場合、施工安全性と第一に考慮し、設備施工業者と綿密に協議検討一度に外さない事とする。

⑧.カスケード改修

⑧-1 漏水改修

・カスケード1段～4段を既存洗出し仕上コンリート撤去し、スラブ・立上りのひび割れ調査を行い、ひび割れ等の防水処置を行い、ウレタン系塗膜防水施工の上、既存洗出し仕上コンリート同仕様にて復旧する。

・排水溝内部・排水管の清掃とする。

⑨.ラグーン改修

⑨-1 堆積汚泥撤去

・ラグーンの水抜き後3ヶ月乾燥放置する。

・乾燥後、重機にて汚泥を撤去、ダンプカーに積込・運搬する。

・堆積汚泥の運搬先は市指定場所に荷下ろしとする。

・荷下ろし終了後ビニールシートで固定し被う事とする。

⑨-2 池排水口、吐出口、排水管Φ200清掃

・ラグーン内池排水口、吐出口、ラグーン内池排水口～ポンプピット間の配管清掃を行う。

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

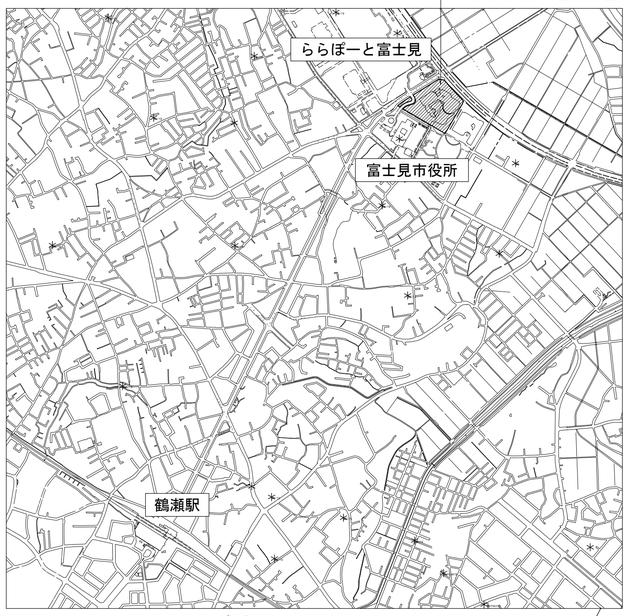
設計年月：令和6年6月

図面名称：改修特記事項

縮尺：A1:1/ー　A3:1/ー

図面番号：A-011

地名地番：埼玉県富士見市大字鶴馬字山室前1803-1外31筆



案内図　S=1:10,000

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称 案内・配置図	縮尺 A1：1/300・1000 A3：1/600・2000	図面番号 A-018

既存外部仕上表

仕上・下地材撤去　仕上材撤去　ひび割れ・タイル浮き補修　下地調整

	部位		仕上げ
屋根	フライタワー	屋根	太陽光パネル屋根：コンクリート下地の上均しモルタル敷、アスファルトルーフィング９４０、バックアップ材：硬質発泡ウレタンボード厚20、カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４
			妻側屋根・上裏：鉄骨下地、硬質木片セメント板厚18、アスファルトルーフィング９４０、バックアップ材：硬質発泡ウレタンボード厚20、カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４、ステンレス製タラップ
			頂部水切・ケラバ・軒先唐草・軒先水切り：出隅カバー・特殊軒付役物：カラーガルバリウム鋼板　厚0.４　防水テープ貼り
	舞台・ホール屋根	平場	コンクリート金コテ押えの上 アスファルト防水（露出断熱工法）錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ撤去）
		立上り	アスファルト防水、押え金物の上シーリング（設備基礎含む）
		パラペット天端	コンクリート金コテ押えの上 ウレタン系塗膜防水X-2（設備基礎含む）
	メインホールバルコニー床		コンクリート金コテ押えの上 アスファルト防水（断熱工法）A1-2　錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ撤去）
		立上り	アスファルト露出防水、押え金物の上シーリング
		パラペット天端	コンクリート金コテ押えの上 ウレタン系塗膜防水X-2、手摺：スチール製　Ｚｎ　ＦＰ
	メインホールホワイエ屋根		上段：コンクリート下地の上均しモルタル敷、アスファルトルーフィング９４０、バックアップ材：硬質発泡ウレタンボード厚20、カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４
			下段：鉄骨下地の上、硬質木片セメント板厚18、アスファルトルーフィング９４０、バックアップ材：硬質発泡ウレタンボード厚20、カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４
		内樋	ＦＲＰ防水撤去、錆鉄製ルーフドレイン：150Φ（シート防水用）（ストレーナー）
		軒天井	見切り金物：SL-100×50　R加工　Ｚｎの上ＦＰ、鋼製下地、アルミ曲げ加工厚2.０
	メインホールスロープ屋根		鉄骨下地の上、硬質木片セメント板厚18、アスファルトルーフィング９４０、バックアップ材：硬質発泡ウレタンボード厚20、カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４
	エレベーター	屋根	コンクリート下地の上均しモルタル敷、アスファルトルーフィング９４０、バックアップ材：硬質発泡ウレタンボード厚20、カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４
	搬入口	屋根	鉄骨下地の上、硬質木片セメント板厚18、アスファルトルーフィング９４０、カラーガルバリウム鋼板フラットルーフ厚0.４、軒樋：ステンレス厚0.６
	楽屋等	屋根	コンクリート金コテ押えの上 アスファルト防水AI-2（外断熱工法）、押えコンクリート厚80押え、伸縮目地（既製品）錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ撤去）
		立上り	アスファルト防水、押え金物の上シーリング（設備基礎含む）
		パラペット天端	コンクリート金コテ押えの上 ウレタン系塗膜防水X-2（設備基礎含む）
	屋外機械置場	平場	楽屋等屋根に同じ、目隠し鉄骨下地：Ｚｎ、目隠しアルミルーバー、設備基礎：パラペット天端に同じ・ハト小屋：エレベーター屋根に同じ、煙突
		立上り	アスファルト防水、押え金物の上シーリング（設備基礎含む）
		パラペット天端	コンクリート金コテ押えの上 ウレタン系塗膜防水X-2（設備基礎含む）
	エントランスホール	屋根	コンクリート金コテ押えの上 アスファルト防水　DI-2（露出断熱工法）錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ撤去）
		立上り	アスファルト防水、押え金物の上シーリング（設備基礎含む）
		パラペット天端	コンクリート金コテ押えの上 ウレタン系塗膜防水X-2（設備基礎含む）
	マルチホール、		
	マルチホールホワイエ屋根		コンクリート金コテ押えの上 アスファルト防水　DI-2（露出断熱工法）錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ撤去）
		立上り	アスファルト防水、押え金物の上シーリング（設備基礎含む）
		パラペット天端	コンクリート金コテ押えの上 ウレタン系塗膜防水X-2（設備基礎含む）
	空調機械室等	屋根	コンクリート金コテ押えの上 アスファルト防水　DI-2（露出断熱工法）錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ撤去）
		立上り	アスファルト防水、押え金物の上シーリング（設備基礎含む）
	マルチ楽屋等	屋根	マルチホール屋根に同じ、排煙トップライト：900角　３か所
		立上り	同上（トップライト基礎含む）
		パラペット天端	同上
	マルチホール階段室	屋根	コンクリート下地の上均しモルタル敷、アスファルトルーフィング９４０、バックアップ材：硬質発泡ウレタンボード厚20、カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４
	コリドー・スタジオ・展示室		
	アトリエ	屋根	コンクリート下地の上均しモルタル敷、アスファルトルーフィング９４０、バックアップ材：硬質発泡ウレタンボード厚20、カラーガルバリウム鋼板平葺厚0.４
		立上り	アスファルト防水、押え金物の上シーリング（トップライト基礎含む）
		パラペット天端	コンクリート金コテ押えの上 ウレタン系塗膜防水X-2（トップライト基礎含む）
	コリドー・ラウンジ	屋根	コンクリート金コテ押えの上 アスファルト防水　DI-2（露出断熱工法）錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ撤去）
	市民ラウンジ・風除室2	屋根	鉄骨下地の上、硬質木片セメント板厚18、アスファルトルーフィング９４０、カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４
		立上り	アスファルト防水、押え金物の上シーリング（設備基礎含む）
		パラペット天端	コンクリート金コテ押えの上 ウレタン系塗膜防水X-2（設備基礎含む）
外壁	メインホール低層	北東側	タイルG、窓四周コンクリート打放し（A）ＦＣ、アルミ製建具・鋼製建具：枠廻り・ガラス押え（外部側のみ）シーリング、鋼製軽量シャッター
	高層	北東側	厚塗塗材、化粧目地A（４段）、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）ＦＣ、打継目地、誘発目地、水切り金物：アルミ3×6
	低層	南東側	丸柱：セラミック系硬質耐火被覆材の上ＦＰ、コンクリート打放し（A）ＦＰ、アルミカーテンウォール（1F～2F）・鋼製建具：枠廻り・ガラス押え（外側のみ）シーリング、鋼製建具
	高層	南東側	コンクリート打放し（A）ＦＣ、厚塗塗材、化粧目地A（４段）、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）ＦＣ、打継目地、誘発目地、手摺：スチール　Ｚｎの上ＦＰ
	高層	南西側	コンクリート打放し（A）ＦＣ、厚塗塗材、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）ＦＣ、打継目地、誘発目地、手摺：スチール　Ｚｎの上ＦＰ、アルミ製建具・鋼製建具：枠廻りシーリング
			鋼製建具
	低層	南西側	丸柱：セラミック系硬質耐火被覆材の上ＦＰ、コンクリート打放し(A)ＦＰ、アルミカーテンウォール（1F～2F）・鋼製建具：枠廻り・ガラス押え（外側のみ）シーリング、ステンレス製建具
	高層	北西側	コンクリート打放し（A）ＦＣ、厚塗塗材、化粧目地A、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）ＦＣ、打継目地、誘発目地、手摺：スチール　Ｚｎの上ＦＰ、アルミカーテンウォール（1F～2F）
	低層	北西側	丸柱：セラミック系硬質耐火被覆材の上ＦＰ、コンクリート打放し（A）ＦＰ、アルミカーテンウォール（1F～2F）枠廻り・ガラス押え（外側のみ）シーリング
	マルチホール低層	西側	コンクリート打放し（A）ＦＣ、厚塗塗材、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地、ステンレスタラップ
		南側	コンクリート打放し（A）ＦＣ、厚塗塗材、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地、アルミカーテンウォール：枠廻り・ガラス押え（外側のみ）シーリング
		東側	タイルG、コンクリート打放し（A）ＦＣ、厚塗塗材、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地（3段）、アルミ製建具：枠廻り・ガラス押え（外側のみ）シーリング
		北側	タイルG、コンクリート打放し（A）ＦＣ、厚塗塗材、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地（3段）
	文化支援施設棟	東側	コンクリート打放し（A）ＦＣ、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地、アルミカーテンウォール：枠廻り・ガラス押え・ジョイントシーリング
	文化支援施設棟	西側	コンクリート打放し（A）ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地、アルミ製建具・鋼製建具：枠廻り・ガラス押え（外側のみ）・ジョイントシーリング
	文化支援施設棟	南側	コンクリート打放し（A）ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地、アルミ製建具・鋼製建具：枠廻り・ガラス押え（外側のみ）・ジョイントシーリング
	車寄せ	屋根	鉄骨造、鋼製下地、カラーガルバリウム鋼板　立馳葺（曲面）、軒先金物：スチール厚6加工　Ｚｎ　ＦＰ、軒天井：アルミ製スパンドレル
		柱	鉄骨　190.7φ　Ｚｎ　ＦＰ
外構	カスケード		第1段～第４段　豆砂利コンクリート厚80、コンクリートスラブ、縁：御影石
	ラグーン		池排水口：1か所、吐出口：4か所
			堆積汚泥

改修外部仕上表

下表において　　は、改修部分を示す。表記の無い項目は既存のままとする。

	部位		仕上げ
屋根	フライタワー	屋根	太陽光パネル屋根：防湿材：ゴムアスファルトルーフィングｔ＝1.０、断熱材：硬質イソシアヌレートボードｔ＝25、カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.５　（遮熱仕様）
			妻側屋根・上裏：カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４　遮熱塗装
			頂部水切・ケラバ・軒先唐草・軒先水切り　遮熱塗装　・特殊軒付役物：カラーガルバリウム鋼板　厚0.４　遮熱塗装
	舞台・ホール屋根	平場	加熱型アスファルト塗膜防水改修専用工法　補強面材仕上げ　錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ設置）
		立上り	加熱型アスファルト塗膜防水改修専用工法　補強面材仕上げ
		パラペット天端	ウレタン系塗膜防水X-2（設備基礎含む）
	メインホールバルコニー床		かぶせ改修　ウレタン塗膜防水通気緩衝工法（国交省仕様X-１）シリコーン系高反射高耐久仕上げ　錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ設置）
		立上り	高靭性ウレタン塗膜防水密着工法（X-2）、仕上平場に同じ
		パラペット天端	ウレタン系塗膜防水X-2、手摺：スチール製　Ｚｎ　ＤＰ
	メインホールホワイエ屋根		上段：カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４　遮熱塗装
			上段：カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４　遮熱塗装
		内樋	ウレタン系塗膜防水X-2、錆鉄製ルーフドレイン：150Φ（シート防水用）（ストレーナーのみ設置）
		軒天井	見切り金物：SL-100×50　R加工　Ｚｎの上ＤＰ
	メインホールスロープ屋根		カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４　遮熱塗料
	エレベーター	屋根	カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４　遮熱塗料
	搬入口	屋根	カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４　遮熱塗料
	楽屋等	屋根	かぶせ改修　ウレタン塗膜防水通気緩衝工法（国交省仕様X-１）シリコーン系高反射高耐久仕上げ　錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ設置）
		立上り	平場に同じ（設備基礎含む）
		パラペット天端	ウレタン系塗膜防水X-2（設備基礎含む）
	屋外機械置場	平場	楽屋等屋根に同じ、目隠し鉄骨下地：Ｚｎ、目隠しアルミルーバー、設備基礎：パラペット天端に同じ・ハト小屋：エレベーター屋根に同じ、煙突
		立上り	アスファルト防水、押え金物の上シーリング（設備基礎含む）
		パラペット天端	ウレタン系塗膜防水X-2（設備基礎含む）
	エントランスホール	屋根	加熱型アスファルト塗膜防水改修専用工法　補強面材仕上げ　錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ設置）
		立上り	屋根に同じ（設備基礎含む）
		パラペット天端	ウレタン系塗膜防水X-2（設備基礎含む）
	マルチホール、		
	マルチホールホワイエ屋根		加熱型アスファルト塗膜防水改修専用工法　補強面材仕上げ　錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ設置）
		立上り	屋根に同じ（設備基礎含む）
		パラペット天端	ウレタン系塗膜防水X-2（設備基礎含む）
	空調機械室等	屋根	加熱型アスファルト塗膜防水改修専用工法　補強面材仕上げ　錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ設置）
		立上り	屋根に同じ（設備基礎含む）
	マルチ楽屋等	屋根	マルチホール屋根に同じ
		立上り	同上（トップライト基礎含む）
		パラペット天端	同上
	マルチホール階段室	屋根	カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４　遮熱塗料
	コリドー・スタジオ・展示室		
	アトリエ	屋根	カラーガルバリウム鋼板平葺厚0.４　遮熱塗料
		立上り	エントランスホール立上りに同じ
		パラペット天端	ウレタン系塗膜防水X-2
	コリドー・ラウンジ	屋根	加熱型アスファルト塗膜防水改修専用工法　補強面材仕上げ　錆鉄製ルーフドレインΦ150（ストレーナーのみ設置）
	市民ラウンジ・風除室2	屋根	カラーガルバリウム鋼板立馳葺厚0.４　遮熱塗料
		立上り	屋根材に同じ
		パラペット天端	ウレタン系塗膜防水X-2
外壁	メインホール低層	北東側	タイルG、窓四周コンクリート打放し（A）改ＦＣ、アルミ製建具・鋼製建具　ＤＰ：枠廻り・ガラス押え（外部側のみ）シー鋼製軽量シャッター（SS－7）更新
	高層	北東側	厚塗塗材、化粧目地Ａ（４段）、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）改ＦＣ、打継目地、誘発目地、水切り金物：アルミ3×6
	低層	南東側	丸柱：セラミック系硬質耐火被覆材の上ＤＰ、コンクリート打放し（A）改ＦＰ、アルミカーテンウォール（1F～2F）・鋼製建具　ＤＰ：枠廻り・ガラス押え（外側のみ）シーリング更新
	高層	南東側	コンクリート打放し（A）改ＦＣ、厚塗塗材、化粧目地Ａ（４段）、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）改ＦＣ、打継目地、誘発目地、手摺：スチール　Ｚｎの上ＤＰ
	高層	南西側	コンクリート打放し（A）改ＦＣ、厚塗塗材、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）改ＦＣ、打継目地、誘発目地、手摺：スチール　Ｚｎの上ＤＰ、アルミ製建具・鋼製建具：枠廻りシーリング更新
			鋼製建具ＤＰ
	低層	南西側	丸柱：セラミック系硬質耐火被覆材の上ＤＰ、コンクリート打放し(A)改ＦＰ、アルミカーテンウォール（1F～2F）・鋼製建具　ＤＰ：枠廻り・ガラス押え（外側のみ）シーリング、ステンレス製建具
	高層	北西側	コンクリート打放し（A）改ＦＣ、厚塗塗材、化粧目地Ａ、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）改ＦＣ、打継目地、誘発目地、手摺：スチール　Ｚｎの上ＤＰ、アルミカーテンウォール（1F～2F）
	低層	北西側	丸柱：セラミック系硬質耐火被覆材の上ＤＰ、コンクリート打放し(A)改ＣＲアルミカーテンウォール（1F～2F）枠廻り・ガラス押え（外側のみ）シーリング更新
	マルチホール低層	西側	コンクリート打放し（A）改ＦＣ、厚塗塗材、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）改ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地、ステンレスタラップ
		南側	コンクリート打放し（A）改ＦＣ、厚塗塗材、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）改ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地、アルミカーテンウォール：枠廻り・ガラス押え（外側のみ）シーリング更新
		東側	タイルG、コンクリート打放し（A）改ＦＣ、厚塗塗材、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）改ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地（3段）、アルミ製建具：枠廻り・ガラス押え（外側のみ）シーリング更新
		北側	タイルG、コンクリート打放し（A）改ＦＣ、厚塗塗材、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）改ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地（3段）
	文化支援施設棟	東側	コンクリート打放し（A）改ＦＣ、パラペット天端下：コンクリート打放し（A）改ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地、アルミカーテンウォール：枠廻り・ガラス押え・ジョイントシーリング更新
	文化支援施設棟	西側	コンクリート打放し（A）改ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地、アルミ製建具・鋼製建具：枠廻り・ガラス押え（外側のみ）・ジョイントシーリング更新
	文化支援施設棟	南側	コンクリート打放し（A）改ＦＣ、打継目地、誘発目地、化粧目地、アルミ製建具・鋼製建具：枠廻り・ガラス押え（外側のみ）・ジョイントシーリング更新
	車寄せ	屋根	鉄骨造、鋼製下地、カラーガルバリウム鋼板　立馳葺（曲面）、軒先金物：スチール厚6加工　Ｚｎ　ＤＰ、軒天井：アルミ製スパンドレル
		柱	鉄骨　190.7φ　Ｚｎ　ＤＰ
外構	カスケード		第1段～第４段：豆砂利コンクリート厚80
	ラグーン		池排水口：1か所、吐出口：4か所　内部清掃、増し打ち嵩上
			堆積汚泥撤去・処分

略語凡例

略語	仕上げ材等
ＲＣ	コンクリート打放し
ＣＢ	コンクリートブロック積み
ＬＧＳ	軽量鉄骨壁下地・軽量鉄骨天井下地
ＳＵＳ	ステンレス鋼(SUS304)
ＦＰ	フッ素樹脂ペイント塗り
ＦＣ	フッ素樹脂ペイント・クリア塗り
ＤＰ	耐候性塗料塗り（A種）
ＥＰ	合成樹脂エマルションペイント塗り

略語	仕上げ材等
改ＦＣ	コンクリート打放し
	ファンデーションローラー工法
	エスケー化研（株）同等品
厚塗塗材	下塗材：厚幕仕上塗材改修専用下地
	エスケー化研（株）アンダーサーフＤＳ同等品
	上塗材：超低汚染・超耐久型ふっ素樹脂塗装
	エスケー化研（株）水性強弾性セラタイトＦ同等品
遮熱塗装	クリーンガードＦ弱溶剤（2回塗）
	三晃金属工業㈱　同等品

略語	仕上げ材等
ＧＢ－Ｒ	せっこうボード
ＧＢ－Ｄ	化粧せっこうボード
ＧＢ－Ｓ	シージングせっこうボード
ＧＢ－Ｆ	強化せっこうボード
ＧＢ－Ｒ－Ｈ	普通硬質せっこうボード
ＦＫ	けい酸カルシウム板
ＤＲ	ロックウール化粧吸音板（フラットタイプ）

略語	仕上げ材等
ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント塗り
ＥＰ	合成樹脂エマルションペイント塗り
ＥＰ－Ｇ	艶あり水性エマルジョンペイント（半艶）
ＵＣ	ウレタン樹脂ワニス塗り
ＣＬ	クリヤラッカー塗り
ＯＳ	油性ステイン塗り
ＶＥ	塩化ビニル樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝ塗
ＶＰ	塩化ビニル樹脂塗

下地の区分	略語	仕上げ材等
下地の区分欄の略号	Ｃ	コンクリート下地、コンクリートブロック下地、
		ＡＬＣ下地、押出成形セメント板下地
	Ｓ	軽量鉄骨下地
	Ｗ	木下地
	Ｍ	モルタル下地
	Ｂ	ボード類

防火等認定材料表

略語	材料名	厚さ	認定番号
ＧＢ－Ｒ	せっこうボード	9.５	ＱＭ－９８２８
	せっこうボード	12.５	ＮＭ－８６１９
ＧＢ－ＮＣ	不燃積層せっこうボード	9.５	ＮＭ－０４４１
ＧＢ－ＮＣ（Ｔ）	不燃積層せっこうボード	9.５	ＮＭ－０４４１
	化粧せっこうボード	9.５	ＱＭ－９８２４
ＧＢ－Ｓ	シージングせっこうボード	9.５ 12.５	ＱＭ－９８２６
	シージングせっこうボード	12.５	ＮＭ－９６３９
ＧＢ－Ｆ	強化せっこうボード	12.５～	ＮＭ－８６１５
ＧＢ－Ｒ－Ｈ	普通硬質せっこうボード	9.５	ＮＭ－９６４５

改修内容凡例

既存		改修	
Ａ：仕上げ撤去		ａ：仕上げ新設	
Ｂ：仕上げ撤去の上、下地調整		ｂ：図示の仕上げ新設	
Ｃ：下地共撤去		ｃ：下地共新設	
Ｄ：図示の下地共撤去		ｄ：クリーニング	
Ｅ：下地の調整		ｅ：塗装の塗り替え	
Ｆ：既存のまま		ｆ：既存のまま	

記事
特記事項
既設外壁厚塗塗材部位の下地調整材にはアスベスト含有されております。

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（４）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

図面名称：外部仕上表（既存／改修）

設計年月：令和6年6月

縮尺：A1：1/—　A3：1/—

図面番号：A-019

内 部 仕 上 表（既 存）

ひび割れ・タイル浮き補修

階	室 名	内装制限	F.L	天井高	床 下地	床 仕上げ	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 高さ	幅木 改修内容	腰・壁・柱 下地	腰・壁・柱 仕上げ	腰・壁・柱 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	天井 廻り縁	天井 改修内容	備 考
1階	エントランスロビー	不	±0	2,300 ～ 3,800	M	B：大理石本磨き フローリングA	F	C	—			C	タイルG 打放し（A）	G	S	DRt19	塩ビ製	F	・手摺：存置 ・天井間接照明：存置
	メインホール 客席M1	不	±0	13,200	M	カーペットD	F	C	WB	60	F	C	薄塗材B	F	S	FGRボードt8+8 EP	塩ビ製	C	・手摺・客席椅子、天井裏CW：存置 ・舞台鼻グリル：存置 ・プロセニアム：撤去 ・照明吊バトン：一時取外し
	メインホール 客席M2	不	3FL ±0	3,750	M	同上	F	C	同上	60	F	C	同上	F	S	FGRボードt8+8 EP DR(B) EP	塩ビ製	C	・スピーカーグリル：存置 ・手摺・客席椅子：存置 ・天井裏CW：存置 ・化粧通し壁：存置
	舞台 M	難	±0		W	檜B	F	C	—			C	木織セメント板 厚50 EP 打放し	F	S	ストロングボードt50 EP	—	F	・すのこ：存置
	搬入口 M	—	-550		C	金コテ押え	F	C	—			C	—	—	S	木片セメント板t20	—	F	・SS-7：シャッター部分撤去 ・SS-1・2：障害物検知装置撤去
	マルチホール 客席S	難	±0	8,200	M	フローリングA	F	M	WB	60	F	S	GB－Rt9.5+FKt8 EP	A	S	GWボードt50 着色 GB-R 二重貼 EP	塩ビ製	C	・移動観覧席：存置 ・CW：存置 ・照明吊バトン：存置 （同吊材共存置）
	搬入口S	難	-50	2,650	M	金コテ押え	E	M	ビニル巾木	60	A	M	EP－G	F	S	EP	塩ビ製	C	・SS-4・6：障害物検知装置撤去
	コリドー ラウンジ	不	±0	2,600	M	ビニル床シート	A	M	ビニル巾木	60	B	M	タイルG 打放し（A）	G	S	EP	塩ビ製	C	
	風除室3	不	±0	2,600	C	ゴムタイルB	F	M					タイルG	G	C	FKt6 EP	塩ビ製	F	
	風除室7	準	±0	2,600	C	ゴムタイルB	F	M					タイルG	G	C	DRt12	塩ビ製	F	
	メインホール ホワイエM1	不	±0	8,650	C	カーペットD	F	–	W	60	F	C	薄塗材B	F	S	GB-R 二重張 EP	塩ビ製	F	・天井点検口：存置 ・手摺C：存置
2階	メインホール ホワイエM2	不	±0	5,250	C	カーペットD	F	–	W	60	F	C	薄塗材B	F	S	GB-R 二重張 EP	塩ビ製	C	・天井点検口：撤去(8ヶ所) ・手摺C：存置

内 部 仕 上 表（改 修）

：改修部分を示す。

階	室 名	内装制限	F.L	天井高	床 下地	床 仕上げ	床 改修内容	幅木 下地	幅木 仕上げ	幅木 高さ	幅木 改修内容	腰・壁・柱 下地	腰・壁・柱 仕上げ	腰・壁・柱 改修内容	天井 下地	天井 仕上げ	天井 廻り縁	天井 改修内容	備 考
1階	エントランスロビー	不	±0	2,300 ～ 3,800	M	B：大理石本磨き フローリングA	f	C	—		f	C	タイルG 打放し（A）	f	S	DRt19	塩ビ製	f	
	メインホール 客席M1	不	±0	13,200	M	カーペットD	f	C	WB	60	f	C	薄塗材B	c	S	FGRボードt8+8 EP	スリット	c	・プロセニアム：同形状更新 ・天井裏CW：存置+増設 ・照明吊バトン：再取付
	メインホール 客席M2	不	3FL ±0	3,750	M	同上	f	C	同上	60	f	C	同上	c	S	FGRボードt8+8 EP DR(B) EP	スリット	c	・天井裏CW：存置+増設
	舞台 M	難	±0		W	檜B	f		—		f	C	ストロングボードt50 打放し	f	S	ストロングボードt50 EP		f	
	搬入口 M	—	-550		C	コテ押え	f				f	C	木片セメント板t20	f	S	木片セメント板t20	—	f	・SS-7：シャッター部分新設 ・SS-1・2：障害物検知装置更新
	マルチホール 客席S	難	±0	8,200	M	フローリングA	f	M	WB	60	f	S	GB－Rt9.5+FKt8 EP	f	S	GWボードt50 着色 FGRボードt8+8 EP	スリット	c	
	搬入口S	難	-50	2,650	M	金コテ押え	f	M	ビニル巾木	75	f	M	EP－G	f	S	EP		f	・SS-4・6：障害物検知装置更新
	コリドー ラウンジ	不	±0	2,600	M	ビニル床シート	f	M	ビニル巾木	60	f	M	タイルG 打放し（A）	f	S	EP		f	
	風除室3	不	±0	2,600	C	ゴムタイルB	f	M	—				タイルG	f	S	FKt6 EP		f	
	風除室7	準	±0	2,600	C	ゴムタイルB	f	M	—				タイルG	f	S	DRt12		f	
	メインホール ホワイエM1	不	±0	8,650	C	カーペットD	f	–	W	60	f	C	薄塗材B	f	S	GB-R 二重張 EP	塩ビ製	f	
2階	メインホール ホワイエM2	不	±0	5,250	C	カーペットD	f	–	W	60	f	C	薄塗材B	f	S	DRt9（カラー）	スリット	c	・天井点検口：新設 8ヶ所

略 語 凡 例

略 語	仕上げ材等
RC	コンクリート打放し
CB	コンクリートブロック積み
LGS	軽量鉄骨壁下地・軽量鉄骨天井下地
SUS	ステンレス鋼(SUS304)
FS	ビニル床シート
FT	ビニル床タイル（複層）
FW	フローリング

略 語	仕上げ材等
VB	ビニル幅木
WB	木製幅木
MB	モルタル幅木
VP	硬質塩化ビニル管
VU	カラー硬質塩化ビニル管

略 語	仕上げ材等
GB－R	せっこうボード
GB－D	化粧せっこうボード
GB－S	シージングせっこうボード
GB－F	強化せっこうボード
GB－R－H	普通硬質せっこうボード
FK	けい酸カルシウム板
DR（B）	不燃ロックウール化粧吸音板t9（捨て貼工法）
DR（D）	リブ付不燃ロックウール化粧吸音板t19（捨て貼工法）
GWボード	グラスウールボードt50
ストロングボード	木繊セメント板
FRGボード	繊維混入石膏板

略 語	仕上げ材等
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
EP－G	艶あり水性エマルジョンペイント（半艶）
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
CL	クリヤラッカー塗り
OS	油性ステイン塗り
CL	塩化ビニル樹脂ｴﾅﾒﾙ塗
VP	塩化ビニル樹脂塗
DP	耐候性塗料塗
ZN	溶融亜鉛めっき仕上
FC	フッ素樹脂ペイント・クリア塗り
厚付け仕上塗材	外装厚塗材E
薄付け仕上塗材	内装薄塗材C

下地の区分欄の略号

略 語	仕上げ材等
C	コンクリート下地、コンクリートブロック下地、 ALC下地、押出成形セメント板下地
S	軽量鉄骨下地
W	木下地
M	モルタル下地
B	ボード類
OA	OAフロア

防火等認定材料表

略 語	材 料 名	厚さ	認定番号
GB－R	せっこうボード	9.5	QM－9828
	せっこうボード	12.5	NM－8619
GB－NC	不燃積層せっこうボード	9.5	NM－0441
GB－NC（T）	不燃積層せっこうボード	9.5	NM－0441
	化粧せっこうボード	9.5	QM－9824
GB－S	シージングせっこうボード	9.5 12.5	QM－9826
	シージングせっこうボード	12.5	NM－9639
GB－F	強化せっこうボード	12.5～	NM－8615
GB－R－H	普通硬質せっこうボード	9.5	NM－9645
FRGボード	繊維混入石膏板	8	NM－2967

改修内容凡例

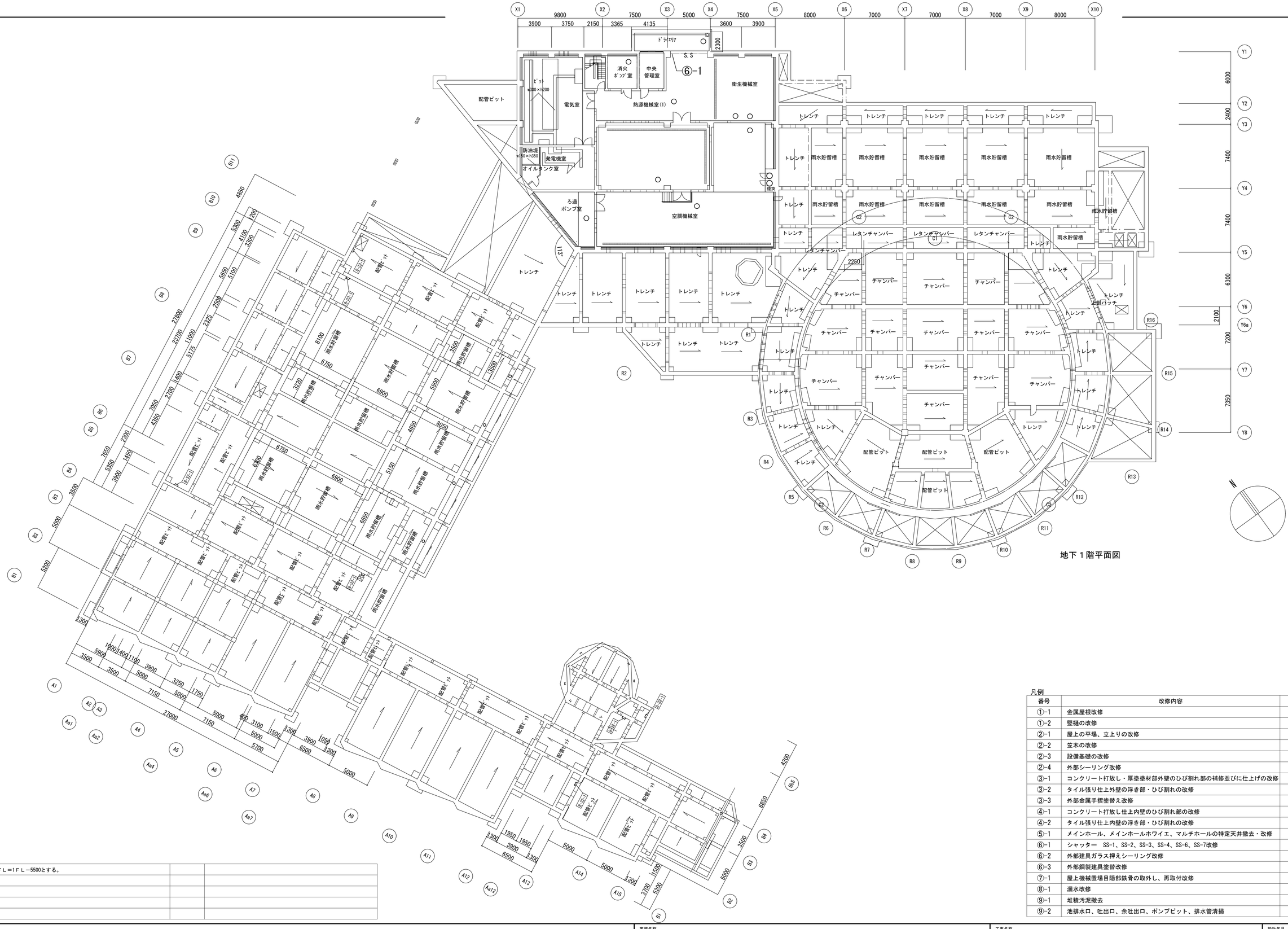
既存	改修
A：仕上げ撤去	a：仕上げ新設
B：仕上げ撤去の上、下地調整	b：図示の仕上げ新設
C：下地共撤去	c：下地共新設
D：図示の下地共撤去	d：クリーニング
E：下地の調整	e：塗装の塗り替え
F：既存のまま	f：既存のまま
G：ひび割れ・浮き改修	

記事

特記事項

既設メインホール・ホワイエ内壁（砂壁状じゅらく）にはアスベスト含有されており、今回工事対象外ですが、施工注意願います。。

業務名称	
工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
設計年月	令和6年6月
株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉
印	・ ・
図面名称	内部仕上表（既存／改修）
縮尺	A1：1/— A3：1/—
図面番号	A-020



地下１階平面図

凡例

番号	改修内容	数量
①-1	金属屋根改修	—
①-2	竪樋の改修	—
②-1	屋上の平場、立上りの改修	—
②-2	笠木の改修	—
②-3	設備基礎の改修	—
②-4	外部シーリング改修	—
③-1	コンクリート打放し・厚塗塗材部外壁のひび割れ部の補修並びに仕上げの改修	—
③-2	タイル張り仕上外壁の浮き部・ひび割れの改修	—
③-3	外部金属手摺塗替え改修	—
④-1	コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の改修	—
④-2	タイル張り仕上内壁の浮き部・ひび割れの改修	—
⑤-1	メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井撤去・改修	—
⑥-1	シャッター　SS-1、SS-2、SS-3、SS-4、SS-6、SS-7改修	1 箇所
⑥-2	外部建具ガラス押えシーリング改修	—
⑥-3	外部鋼製建具塗替改修	—
⑦-1	屋上機械置場目隠部鉄骨の取外し、再取付改修	—
⑧-1	漏水改修	—
⑨-1	堆積汚泥撤去	—
⑨-2	池排水口、吐出口、余吐出口、ポンプピット、排水管清掃	—

※基準Ｂ１ＦＬ＝ＩＦＬ−5500とする。		

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

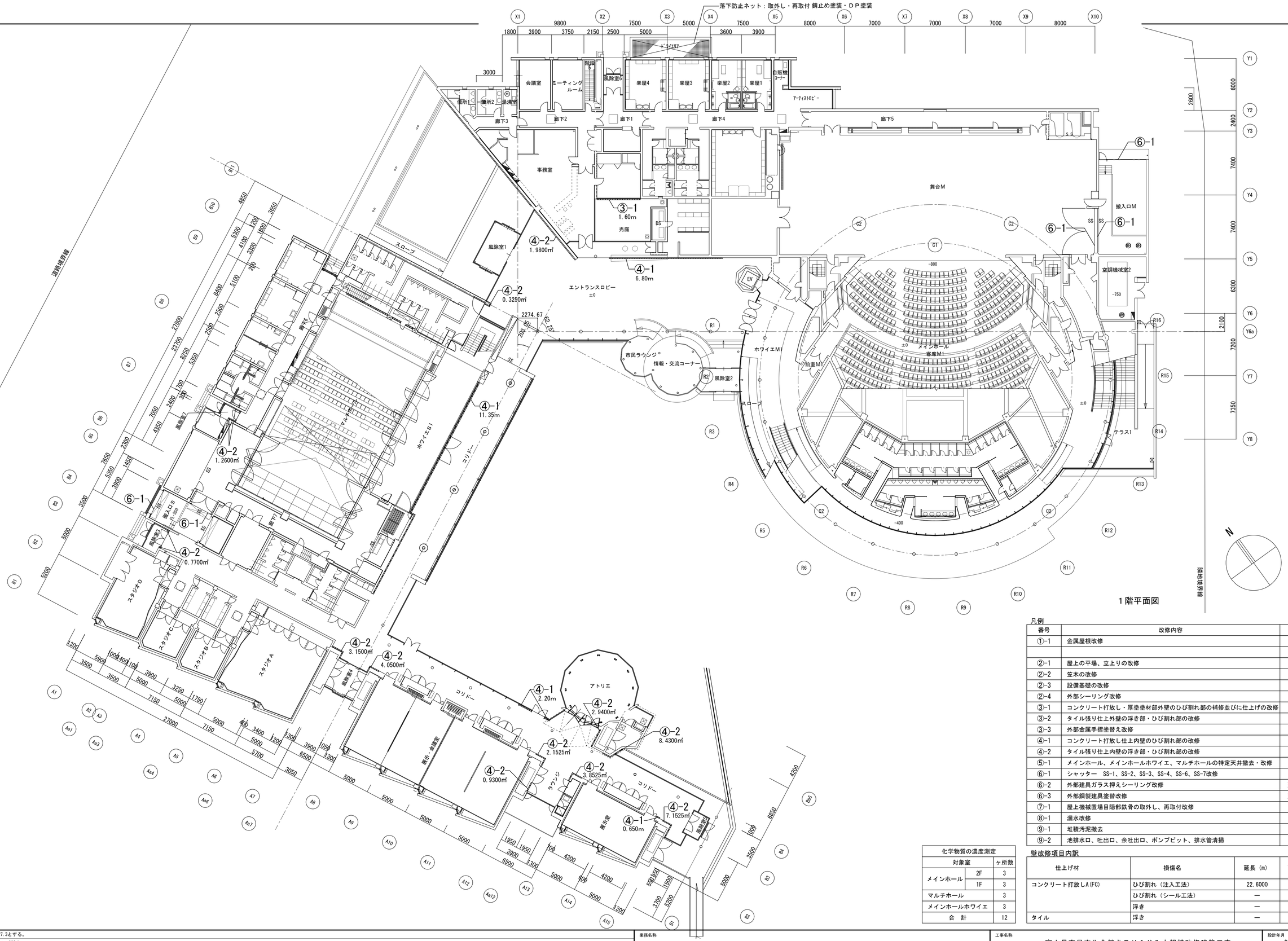
設計年月：令和6年6月

図面名称：平面図（1）B1F

縮尺：A1:1/200　A3:1/400

図面番号：A-021

落下防止ネット：取外し・再取付 錆止め塗装・ＤＰ塗装



1階平面図

凡例

番号	改修内容	数量
①-1	金属屋根改修	—
		—
②-1	屋上の平場、立上りの改修	—
②-2	笠木の改修	—
②-3	設備基礎の改修	—
②-4	外部シーリング改修	—
③-1	コンクリート打放し・厚塗塗材部外壁のひび割れ部の補修並びに仕上げの改修	1.60 m
③-2	タイル張り仕上外壁の浮き部・ひび割れ部の改修	—
③-3	外部金属手摺塗替え改修	—
④-1	コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の改修	21.00 m
④-2	タイル張り仕上内壁の浮き部・ひび割れ部の改修	36.9925 ㎡
⑤-1	メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井撤去・改修	—
⑥-1	シャッター　SS-1、SS-2、SS-3、SS-4、SS-6、SS-7改修	5 箇所
⑥-2	外部建具ガラス押えシーリング改修	建具表参照
⑥-3	外部鋼製建具塗替改修	建具表参照
⑦-1	屋上機械置場目隠部鉄骨の取外し、再取付改修	—
⑧-1	漏水改修	—
⑨-1	堆積汚泥撤去	—
⑨-2	池排水口、吐出口、余吐出口、ボンプピット、排水管清掃	—

壁改修項目内訳

仕上げ材	損傷名	延長（m）	面積（㎡）
コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ（注入工法）	22.6000	—
	ひび割れ（シール工法）	—	—
	浮き	—	—
タイル	浮き	—	36.9925

化学物質の濃度測定		
対象室		ヶ所数
メインホール	2F	3
	1F	3
マルチホール		3
メインホールホワイエ		3
合　計		12

記事
基準1FL＝TP7.3とする。
◎ マンホール 600Φ

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

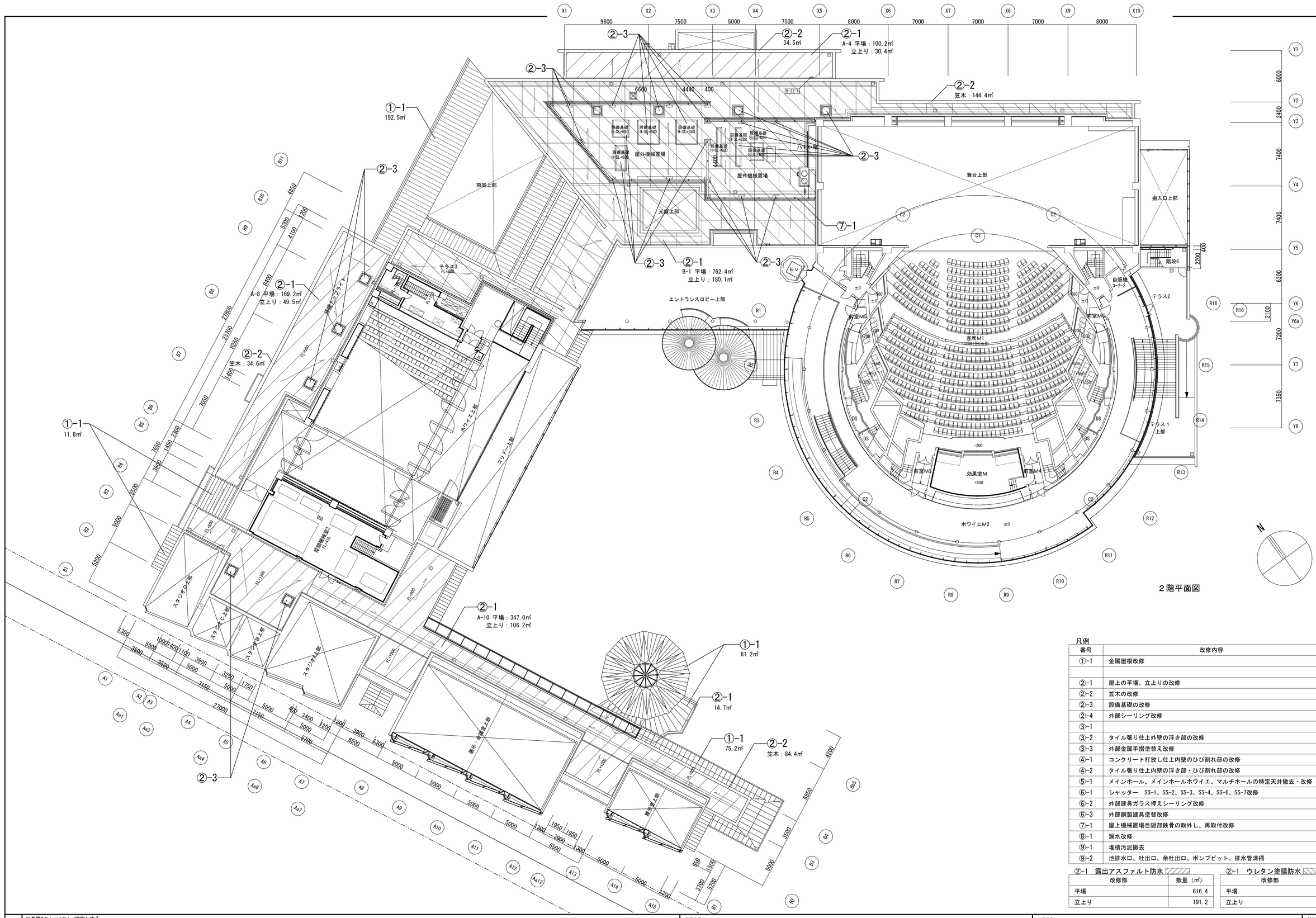
図面名称　平面図（2）1F

縮尺　A1:1/200　A3:1/400

設計年月　令和6年6月

図面番号　A-022

S=1:200



2階平面図

凡例

番号	改修内容	数量
①-1	金属屋根改修	340.7 ㎡
		—
②-1	屋上の平場、立上りの改修	下記別表参照
②-2	笠木の改修	297.9㎡
②-3	設備基礎の改修	②-1に含む
②-4	外部シーリング改修	平面図(4)参照
③-1		—
③-2	タイル張り仕上外壁の浮き部の改修	—
③-3	外部金属手摺塗替え改修	—
④-1	コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の改修	—
④-2	タイル張り仕上内壁の浮き部・ひび割れ部の改修	—
⑤-1	メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井撤去・改修	—
⑥-1	シャッター SS-1、SS-2、SS-3、SS-4、SS-6、SS-7改修	—
⑥-2	外部建具ガラス押えシーリング改修	—
⑥-3	外部鋼製建具塗替改修	—
⑦-1	屋上機械置場目隠部鉄骨の取外し、再取付改修	
⑧-1	漏水改修	—
⑨-1	堆積汚泥撤去	—
⑨-2	池排水口、吐出口、余吐出口、ポンプピット、排水管清掃	—

②-1 露出アスファルト防水

改修部	数量（㎡）
平場	616.4
立上り	191.2

②-1 ウレタン塗膜防水

改修部	数量（㎡）
平場	777.1
立上り	180.1

記事
※基準2ＦＬ＝ＩＦＬ+3200とする。

業務名称

株式会社 綜企画設計 埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉

印

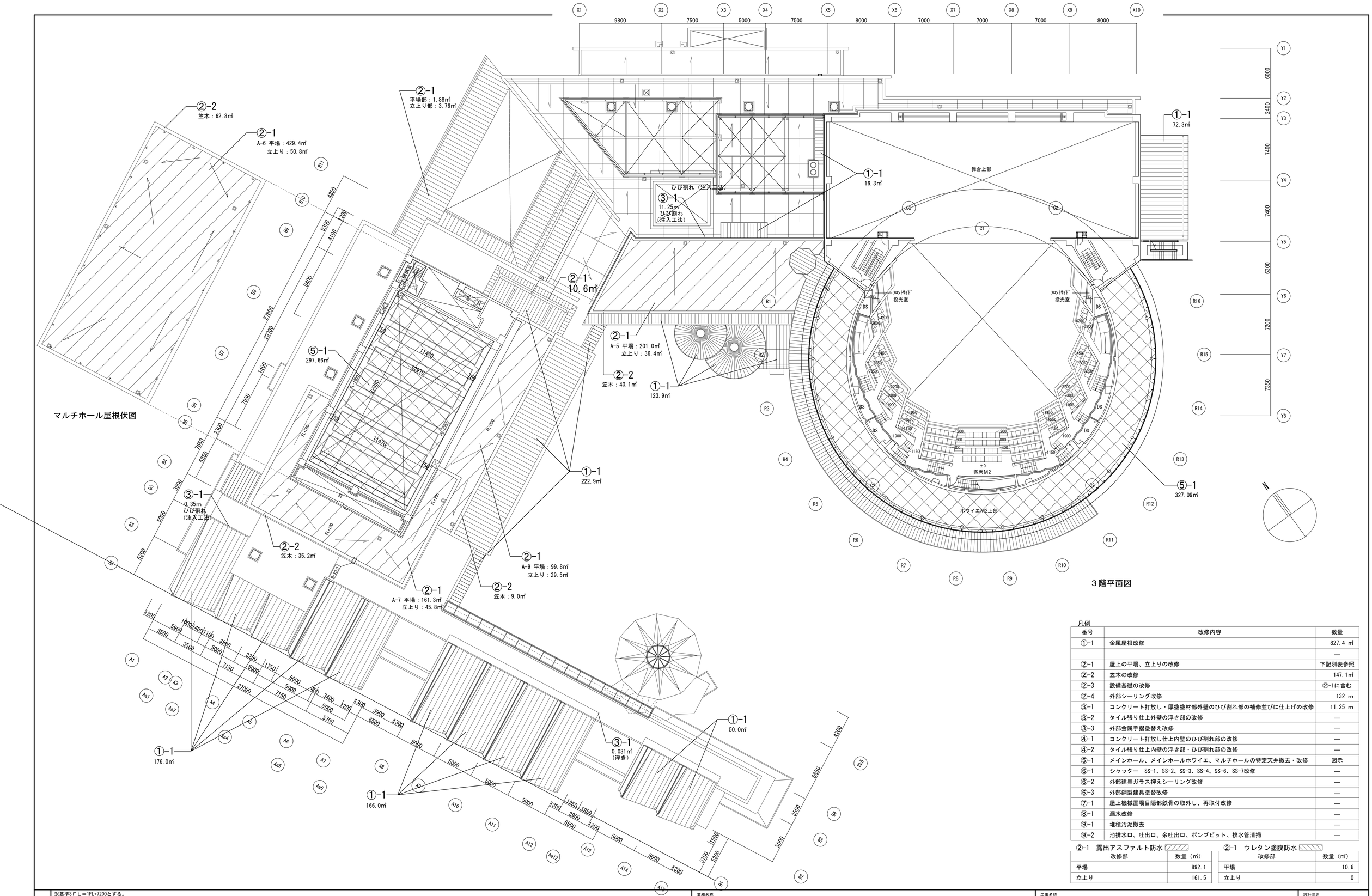
工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事

設計年月：令和6年6月

図面名称：平面図（3）2F

縮尺：A1:1/200 A3:1/400

図面番号：A-023



3階平面図

凡例

番号	改修内容	数量
①-1	金属屋根改修	827.4 ㎡
		—
②-1	屋上の平場、立上りの改修	下記別表参照
②-2	笠木の改修	147.1㎡
②-3	設備基礎の改修	②-1に含む
②-4	外部シーリング改修	132 m
③-1	コンクリート打放し・厚塗塗材部外壁のひび割れ部の補修並びに仕上げの改修	11.25 m
③-2	タイル張り仕上外壁の浮き部の改修	—
③-3	外部金属手摺塗替え改修	—
④-1	コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の改修	—
④-2	タイル張り仕上内壁の浮き部・ひび割れ部の改修	—
⑤-1	メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井撤去・改修	図示
⑥-1	シャッター　SS-1、SS-2、SS-3、SS-4、SS-6、SS-7改修	—
⑥-2	外部建具ガラス押えシーリング改修	—
⑥-3	外部鋼製建具塗替改修	—
⑦-1	屋上機械置場目隠部鉄骨の取外し、再取付改修	—
⑧-1	漏水改修	—
⑨-1	堆積汚泥撤去	—
⑨-2	池排水口、吐出口、余吐出口、ポンプピット、排水管清掃	—

②-1　露出アスファルト防水

改修部	数量（㎡）
平場	892.1
立上り	161.5

②-1　ウレタン塗膜防水

改修部	数量（㎡）
平場	10.6
立上り	0

記事
※基準3ＦＬ＝1FL+7200とする。

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉

印

工事名称
富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月
令和6年6月

図面名称
平面図（4）3F

縮尺
A1:1/200
A3:1/400

図面番号
A-024

凡例

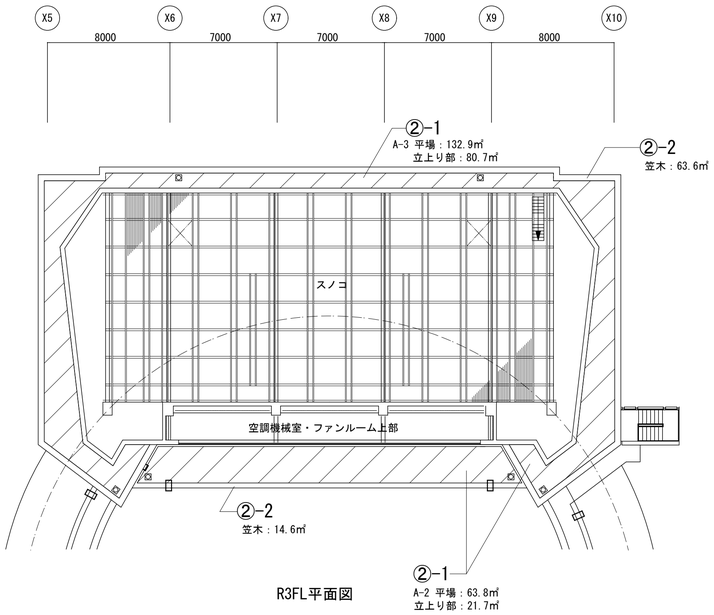
番号	改修内容	数量
①-1	金属屋根竪葺き改修	872.4 ㎡
①-2	金属屋根竪葺き撤去・新設	523.8 ㎡
②-1	屋上防水の平場、防水立上りの改修	下記別表参照
②-2	笠木天端防水の改修	206.4 ㎡
②-3	設備基礎の改修	—
②-4	外部シーリング改修	平面図(4)参照
③-1	コンクリート打放し・厚塗塗材部外壁のひび割れ部の補修並びに仕上げの改修	—
③-2	タイル張り仕上外壁の浮き部・ひび割れ部の改修	—
③-3	外部金属手摺塗替え改修	79.9 m
④-1	コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の改修	—
④-2	タイル張り仕上内壁の浮き部・ひび割れ部の改修	—
⑤-1	メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井撤去・改修	図示
⑥-1	シャッター　SS-1、SS-2、SS-3、SS-4、SS-6、SS-7改修	—
⑥-2	外部建具ガラス押えシーリング改修	—
⑥-3	外部鋼製建具塗替改修	—
⑦-1	屋上機械置場目隠部鉄骨の取外し、再取付改修	—
⑧-1	漏水改修	—
⑨-1	堆積汚泥撤去	—
⑨-2	池排水口、吐出口、余吐出口、ポンプピット、排水管清掃	—

②-1　露出アスファルト防水

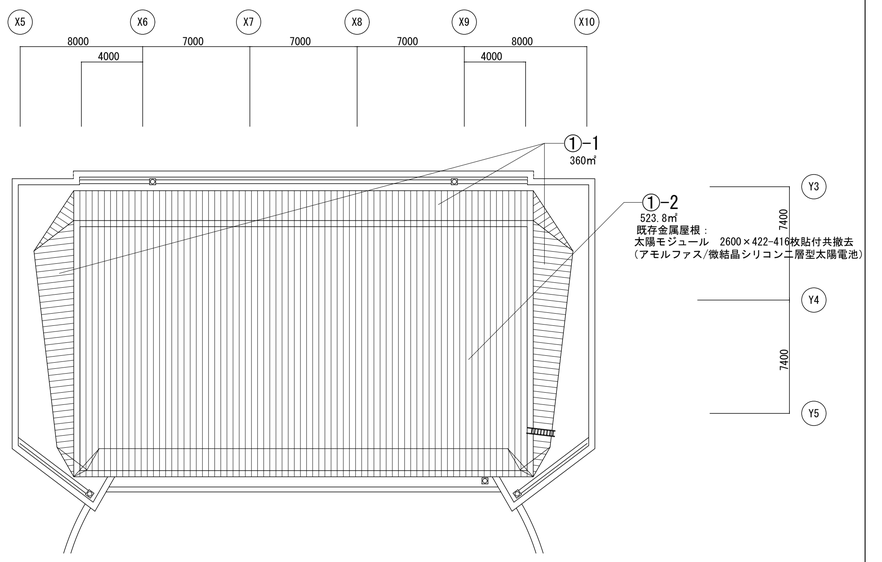
改修部	数量（㎡）
平場	872.4
立上り	158.9

②-1　ウレタン塗膜防水

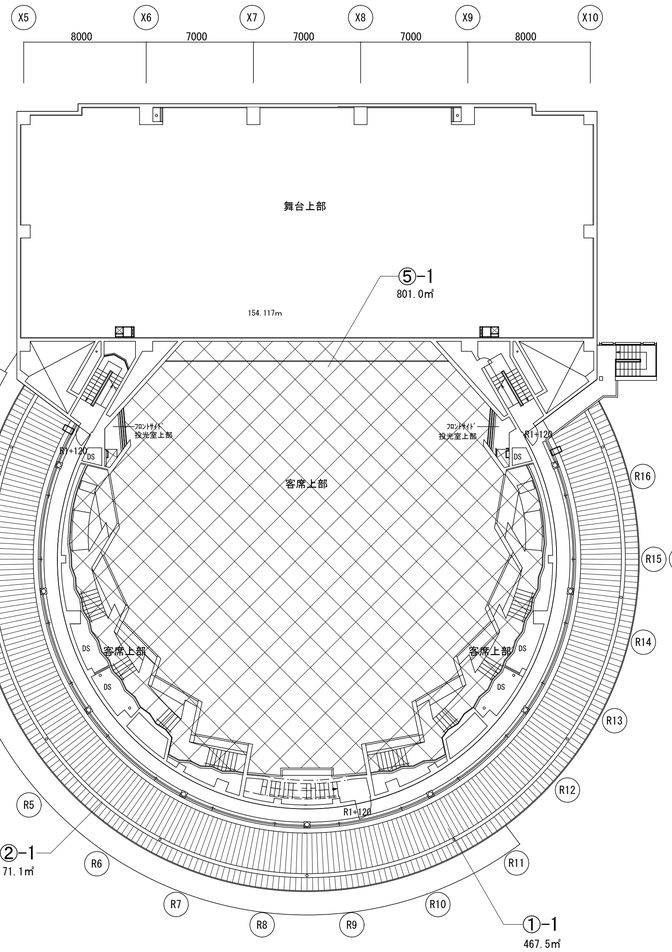
改修部	数量（㎡）
平場	175.2
立上り	66.1



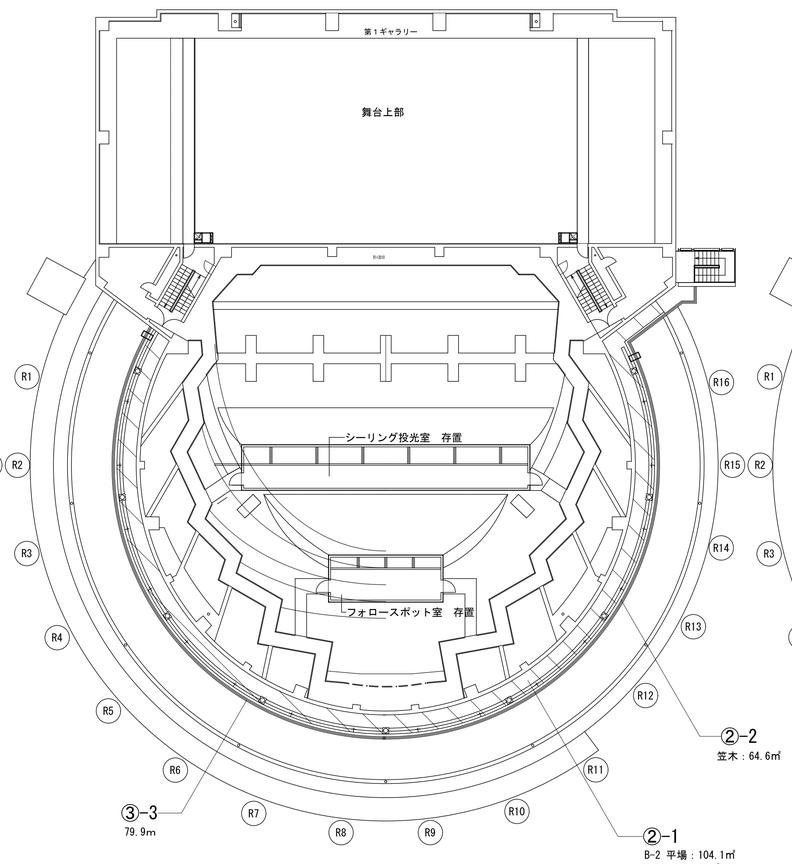
R3FL平面図



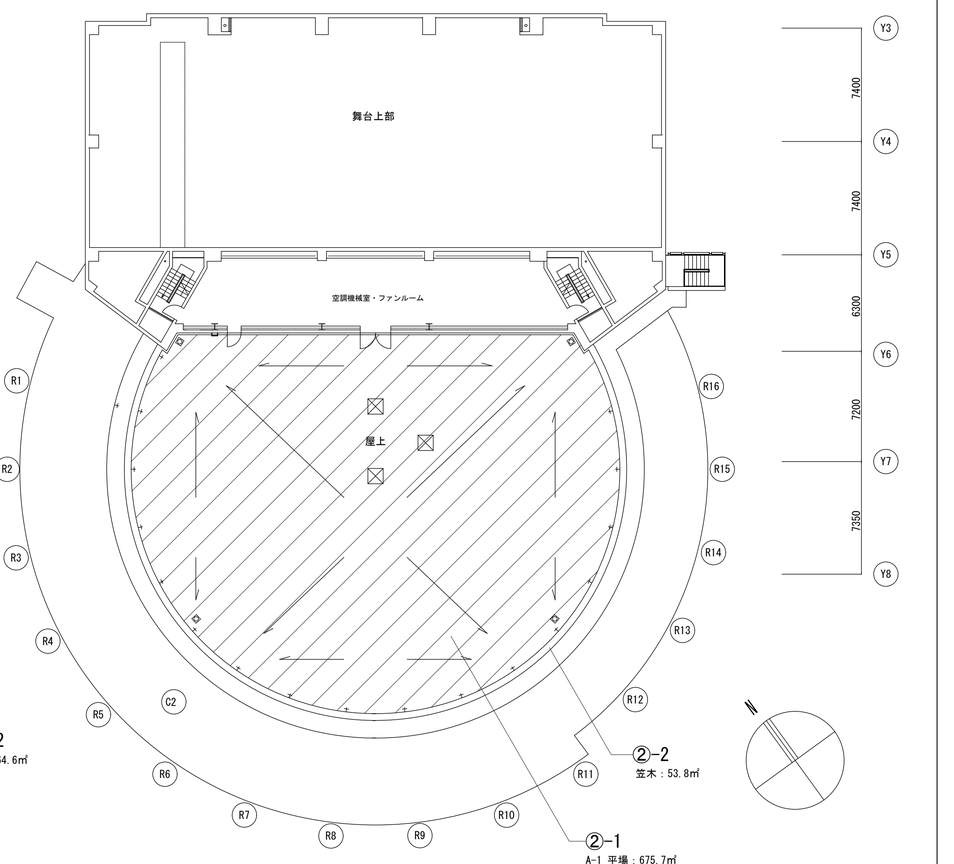
フライタワー屋根伏図



R1FL平面図



客席シーリングレベル平面図



R2FL平面図

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

図面名称：平面図(5)RF

縮尺：A1：1/200　A3：1/400

図面番号：A-025

□金物廻りシーリング既存・改修数量

部位	仕上名称	数量(m)	仕様・形状
壁	金物廻りシーリング	83.20	MS-2 10×15
天井	〃	525.68	MS-2 10×15
雑	〃	24.00	MS-2 10×15
屋根	〃	1284.40	MS-2 10×15
屋根立上り	〃	3206.24	
屋根立上り天端	〃	26.59	MS-2 10×15
屋根立下り	〃	56.10	MS-2 10×15
計		5206.21	

□建具廻りシーリング既存・改修数量

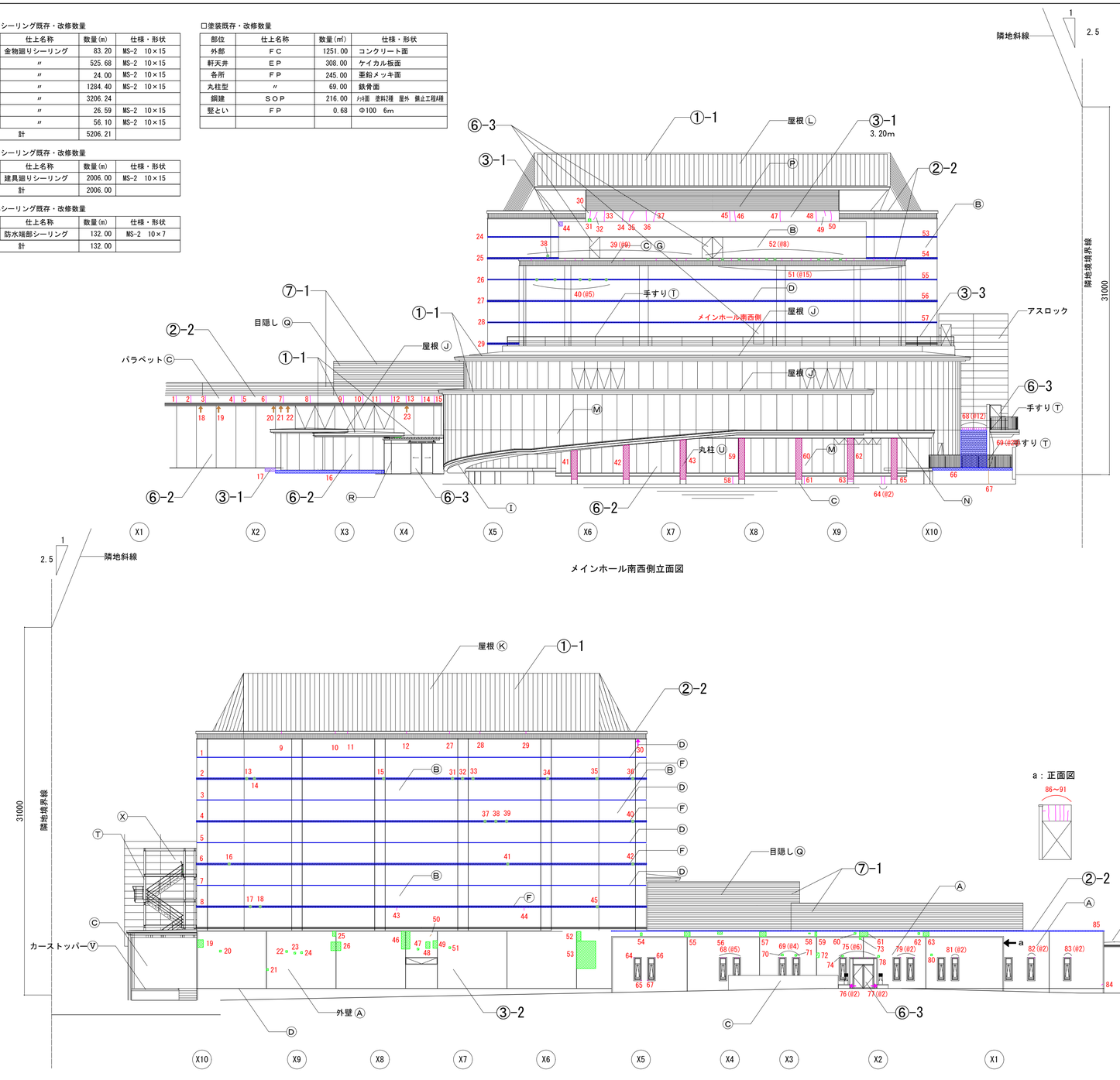
部位	仕上名称	数量(m)	仕様・形状
外壁	建具廻りシーリング	2006.00	MS-2 10×15
計		2006.00	

□防水端部シーリング既存・改修数量

部位	仕上名称	数量(m)	仕様・形状
屋根立上り	防水端部シーリング	132.00	MS-2 10×7
計		132.00	

□塗装既存・改修数量

部位	仕上名称	数量(㎡)	仕様・形状
外部	ＦＣ	1251.00	コンクリート面
軒天井	ＥＰ	308.00	ケイカル板面
各所	ＦＰ	245.00	亜鉛メッキ面
丸柱型	〃	69.00	鉄骨面
鋼建	ＳＯＰ	216.00	ﾊﾅ面 塗料2種 屋外 錆止工程1種
竪とい	ＦＰ	0.68	Φ100 6m



メインホール南西側立面図

メインホール北東側立面図

□シーリング既存・改修数量

部位	名 称	数量(m)	仕様・形状
壁	打継目地シーリング	112.00	タイル張り PU-2 10×5
	〃	646.00	コンクリート打放し PU-2 10×15
	誘発目地シーリング	8.60	タイル張り PU-2 10×5
	〃	564.00	コンクリート打放し PU-2 10×15
	ｺﾝｸﾘｰﾄ取合いシーリング	6.00	PU-2 10×15
	化粧目地Ａシーリング	772.60	PU-2 15×25
	アルミ水切取合シーリング	278.00	PU-2 15×25
合 計		2,387.20	

□外壁タイル既存・改修数量

部位	名 称	数 量	仕様・形状
外壁	せっ器質二丁掛けタイル	861.0㎡	釉（改良圧着貼）
	〃	197.0㎡	標準曲
	〃	10.2㎡	鈍角
	〃	101.0㎡	屏風曲
内壁	〃	96.0㎡	
	〃	40.0㎡	標準曲

凡例

表示	損傷の種類
	ひび割れ
	遊離石灰を伴うひび割れ
	微細ひび割れ
	亀甲状ひび割れ
	浮き
	剥離
	塗装劣化
	Pコン脱落
	シーリング材劣化

外壁改修項目

仕上げ材	損傷名	延長（m）	面積（㎡）	仕上げ材	損傷名	延長（m）	面積（㎡）
コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ（注入工法）	1.6000	—	厚塗材	剥離	—	0.3850
	ひび割れ（シール工法）	1.6000	—	※石綿撤去工事は、ひび割れ補修部分のみとする。	ひび割れ マルチホール外壁	150	—
	遊離石灰を伴うひび割れ	—	—		メインホール外壁	400	—
	亀甲状ひび割れ	—	—	タイル	ひび割れ	0.0500	—
	剥離	—	0.0100		遊離石灰を伴うひび割れ	0.1500	—
	浮き	—	—		浮き	—	12.0675
					遊離石灰	—	—

メインホール南西側立面　外壁損傷集計表

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅(mm)縦(m)	延長(m)横(m)	箇所数(箇所)	面積(㎡)箇所数(箇所)延長(m)
1	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
2	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
3	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
4	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
5	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
6	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
7	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
8	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
9	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
10	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
11	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
12	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
13	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
14	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
15	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
16	コンクリート打放しA(FC)	微細ひび割れ	0.30	11.50	–	3.4500
17	薄塗材A	剥離	0.35	1.10	–	0.3850
18	コンクリート打放しA(FC)	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
19	コンクリート打放しA(FC)	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
20	コンクリート打放しA(FC)	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
21	コンクリート打放しA(FC)	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
22	コンクリート打放しA(FC)	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
23	コンクリート打放しA(FC)	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
24	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	7.50	–	0.7500
25	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	7.50	–	1.1250
26	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	7.50	–	0.7500
27	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	7.50	–	1.1250
28	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	7.50	–	0.7500
29	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	7.50	–	1.1250
30	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.75	–	0.7500
31	コンクリート打放しA(FC)	浮き	0.05	0.20	–	0.0100
32	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	–	0.7000
33	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.80	–	0.8000
34	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.80	–	0.8000
35	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.80	–	0.8000
36	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.80	–	0.8000
37	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.80	–	0.8000
38	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
39	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.35	–	1.3500
40	誘発目地	Pコン脱落	–	–	5	5.0000
41	セラミックス系硬質耐火被覆材(FP)	塗装劣化	–	–	–	–
42	セラミックス系硬質耐火被覆材(FP)	塗装劣化	–	–	–	–
43	セラミックス系硬質耐火被覆材(FP)	塗装劣化	–	–	–	–
44	コンクリート打放しA(FC)	剥離	0.20	0.05	–	0.0100
45	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.15	0.80	–	0.8000
46	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.15	0.80	–	0.8000
47	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.20	0.80	–	0.8000
48	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.20	0.80	–	0.8000
49	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	–	0.4000
50	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.80	–	0.8000

メインホール北東側立面　外壁損傷集計表

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅(mm)縦(m)	延長(m)横(m)	箇所数(箇所)	面積(㎡)箇所数(箇所)延長(m)
1	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	47.50	–	4.7500
2	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	47.50	–	7.1250
3	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	47.50	–	4.7500
4	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	47.50	–	7.1250
5	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	47.50	–	4.7500
6	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	47.50	–	7.1250
7	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	47.50	–	4.7500
8	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	47.50	–	7.1250
9	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	–	0.1500
10	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	–	0.1500
11	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	–	0.1500
12	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
13	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
14	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
15	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
16	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
17	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
18	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
19	タイル6	浮き	0.80	0.60	–	0.4800
20	タイル6	浮き	0.05	0.05	–	0.0025
21	タイル6	浮き	0.05	0.10	–	0.0050
22	タイル6	浮き	0.15	0.15	–	0.0225
23	タイル6	浮き	0.05	0.05	–	0.0025
24	タイル6	浮き	0.15	0.20	–	0.0300
25	タイル6	浮き	0.50	0.35	–	0.1750
26	タイル6	浮き	0.90	1.05	–	0.9450
27	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	–	0.1500
28	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	–	0.1500
29	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	–	0.1500
30	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	–	0.1500
31	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
32	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
33	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
34	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
35	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
36	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
37	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
38	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
39	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
40	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
41	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
42	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
43	薄塗材A	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.2000
44	薄塗材A	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.2000
45	化粧目地A	Pコン脱落	–	–	1	1.0000
46	タイル6	浮き	1.85	0.90	–	1.6650
47	タイル6	浮き	0.05	0.10	–	0.0050
48	タイル6	浮き	0.70	0.45	–	0.3150
49	タイル6	浮き	0.80	0.45	–	0.3600
50	タイル6	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	0.15	–	0.1500

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅(mm)縦(m)	延長(m)横(m)	箇所数(箇所)	面積(㎡)箇所数(箇所)延長(m)
51	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	2.25	–	2.2500
52	コンクリート打放しA(FC)	Pコン脱落	–	–	8	8.0000
53	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	7.50	–	0.7500
54	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	7.50	–	1.1250
55	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	7.50	–	0.7500
56	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	7.50	–	1.1250
57	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	7.50	–	0.7500
58	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.10	–	1.1000
59	セラミックス系硬質耐火被覆材(FP)	塗装劣化	–	–	–	–
60	セラミックス系硬質耐火被覆材(FP)	塗装劣化	–	–	–	–
61	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.10	–	1.1000
62	セラミックス系硬質耐火被覆材(FP)	塗装劣化	–	–	–	–
63	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.00	–	1.0000
64	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	2.20	–	2.2000
65	セラミックス系硬質耐火被覆材(FP)	塗装劣化	–	–	–	–
66	コンクリート打放しA(FC)	微細ひび割れ	0.30	8.50	–	2.5500
67	コンクリート打放しA(FC)	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	1.10	–	1.1000
68	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	3.00	–	3.0000
69	コンクリート打放しA(FC)	微細ひび割れ	3.00	2.10	–	6.3000

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅(mm)縦(m)	延長(m)横(m)	箇所数(箇所)	面積(㎡)箇所数(箇所)延長(m)
51	タイル6	浮き	0.10	0.20	–	0.0200
52	タイル6	浮き	1.00	0.45	–	0.4500
53	タイル6	浮き	2.90	2.00	–	5.8000
54	タイル6	浮き	0.30	0.20	–	0.0600
55	タイル6	浮き	0.50	0.60	–	0.3000
56	タイル6	浮き	0.30	0.50	–	0.1500
57	タイル6	浮き	0.50	0.70	–	0.3500
58	タイル6	浮き	0.10	0.20	–	0.0200
59	タイル6	浮き	0.50	0.02	–	0.0100
60	タイル6	浮き	0.10	0.20	–	0.0200
61	タイル6	浮き	0.50	0.90	–	0.4500
62	タイル6	浮き	0.05	0.20	–	0.0100
63	タイル6	浮き	0.50	0.60	–	0.3000
64	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	–	0.0600
65	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	–	0.0600
66	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	–	0.0600
67	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	–	0.0600
68	モルタル	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.3000
69	モルタル	浮き	0.10	0.24	–	0.2400
70	タイル6	浮き	0.05	0.20	–	0.0100
71	タイル6	浮き	0.05	0.20	–	0.0100
72	タイル6	浮き	0.30	0.20	–	0.0600
73	タイル6	浮き	0.05	0.20	–	0.0100
74	タイル6	浮き	0.05	0.20	–	0.0100
75	モルタル	ひび割れ	0.10	0.36	–	0.3600
76	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.2000
77	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.2000
78	タイル6	浮き	0.05	0.20	–	0.0100
79	モルタル	ひび割れ	0.10	0.12	–	0.1200
80	タイル6	浮き	0.05	0.20	–	0.0100
81	モルタル	ひび割れ	0.10	0.12	–	0.1200
82	モルタル	ひび割れ	0.10	0.12	–	0.1200
83	モルタル	ひび割れ	0.10	0.12	–	0.1200
84	タイル6	ひび割れ	0.10	0.05	–	0.0500
85	コンクリート打放しA(FC)	微細ひび割れ	0.07	52.00	–	3.6400
86	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.2000
87	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.20	–	1.2000
88	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.20	–	1.2000
89	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.20	–	1.2000
90	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.20	–	1.2000
91	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	–	0.7000

改修内容　凡例

番号	改修内容	数量
①-1	金属屋根改修	平面図参照
①-2	竪樋の改修	—
②-1	屋上の平場、立上りの改修	—
②-2	笠木の改修	平面図参照
②-3	設備基礎の改修	—
②-4	外部シーリング改修	9,731.4m
③-1	コンクリート打放し・厚塗材部外壁のひび割れ部の補修並びに仕上げの改修	外壁改修項目参照
③-2	タイル張り仕上外壁の浮き部の改修	外壁改修項目参照
③-3	外部金属手摺塗替え改修	平面図参照
④-1	コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の改修	平面図参照
④-2	タイル張り仕上内壁の浮き部・ひび割れ部の改修	平面図参照
⑤-1	メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井撤去・改修	—
⑥-1	シャッター SS-1、SS-2、SS-3、SS-4、SS-6、SS-7改修	—
⑥-2	外部建具ガラス押えシーリング改修	建具配置図参照
⑥-3	外部鋼製建具塗替改修	建具表参照
⑦-1	屋上機械置場目隠部鉄骨の取外し、再取付改修	平面図参照
⑧-1	漏水改修	—
⑨-1	堆積汚泥撤去	—
⑨-2	池排水口、吐出口、余吐出口、ボンプピット、排水管清掃	—

凡例

A	タイルG	F	化粧目地A	K	カラーガルバリウム鋼板 立はぜ葺	P	アルミガラリ	U	セラミックス系硬質耐火被覆材の上 FP
B	厚塗材A（下地調整材：アスベスト含有）	G	化粧目地B	L	カラーガルバリウム鋼板 一体型太陽電池（別途工事）	Q	アルミルーバー	V	合成ゴム
C	コンクリート打放し（A）ＦＣ	H	成形セメント板A	M	アルミカーテンウォール	R	ステンレス建具	W	ステンレスワイヤー
D	打継ぎ目地	I	ＦＫ ＥＰ	N	アルミパネル	S	スチール建具	X	樹脂製グレーチング
E	誘発目地	J	カラーガルバリウム鋼板 立てハゼ	O	アルミ建具	T	スチール Ｚｎの上ＦＰ		

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉

印

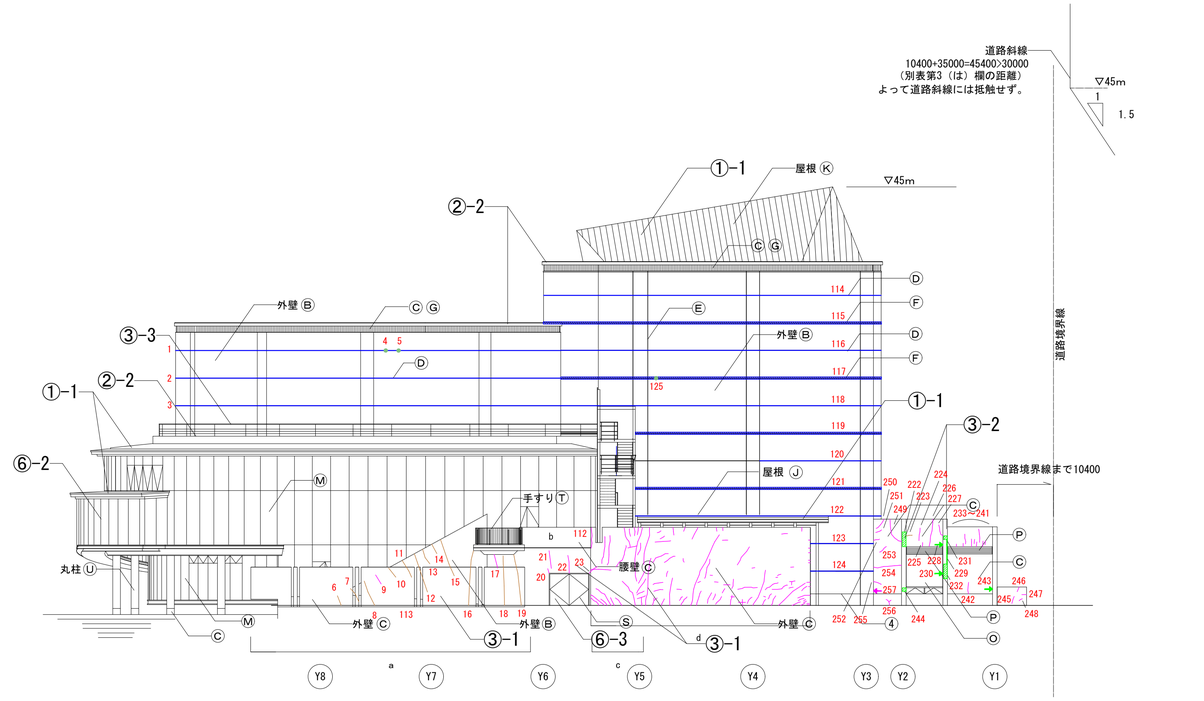
工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

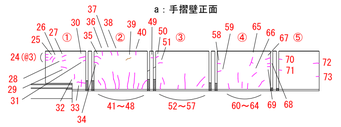
図面名称：立面図（1）
メインホール南西側・北東側_外壁改修項目・集計表

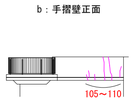
縮尺：A1:1/200 A3:1/400

図面番号：A-026

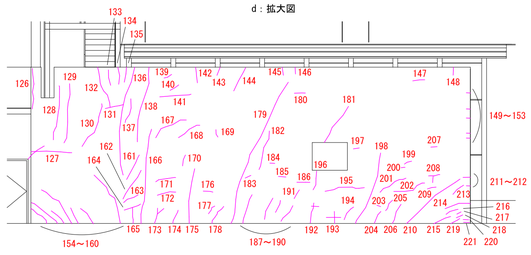


メインホール南東側立面図









メインホール南東側立面　外壁損傷集計表

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅（mm）/縦（m）	サイズ 延長（a）/横（m）	サイズ 箇所数（箇所）	面積（㎡）/箇所数（箇所）/延長（m）
1	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	72.50	－	7.2500
2	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	72.50	－	7.2500
3	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	72.50	－	7.2500
4	誘発目地	Pコン剥離	－	－	1	1.0000
5	誘発目地	Pコン剥離	－	－	1	1.0000
6	薄塗材A	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	0.90	－	0.9000
7	薄塗材A	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	0.90	－	0.9000
8	薄塗材A	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	2.25	－	2.2500
9	薄塗材A	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
10	薄塗材A	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	1.30	－	1.3000
11	薄塗材A	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	1.50	－	1.5000
12	薄塗材A	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	3.00	－	3.0000
13	薄塗材A	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	0.80	－	0.8000
14	薄塗材A	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	1.30	－	1.3000
15	薄塗材A	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	3.10	－	3.1000
16	薄塗材A	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	3.40	－	3.4000
17	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.90	－	0.9000
18	コンクリート打放しA(FC)	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	3.30	－	3.3000
19	コンクリート打放しA(FC)	遊離石灰を伴うひび割れ	0.15	3.30	－	3.3000
20	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
21	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.20	－	1.2000
22	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.20	－	1.2000
23	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.80	－	0.8000
24	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
25	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
26	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
27	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
28	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
29	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
30	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
31	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
32	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
33	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.10	－	1.1000
34	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
35	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
36	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
37	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
38	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
39	コンクリート打放しA(FC)	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
40	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
41	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
42	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	－	0.7000
43	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.10	－	1.1000
44	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.90	－	0.9000
45	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.10	－	1.1000
46	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.05	－	1.0500
47	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
48	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.75	－	0.7500
49	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.10	－	0.1000
50	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	－	0.1500
51	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
52	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
53	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
54	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
55	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.00	－	1.0000
56	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.80	－	0.8000
57	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
58	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
59	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
60	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.45	－	0.4500
61	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	－	0.7000
62	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
63	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
64	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.65	－	0.6500
65	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	－	0.7000
66	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
67	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
68	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
69	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
70	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
71	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
72	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
73	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	－	0.1500
74	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
75	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
76	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
77	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
78	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
79	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
80	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
81	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
82	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.35	－	0.3500
83	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
84	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.00	－	1.0000
85	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
86	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.45	－	0.4500
87	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.45	－	0.4500
88	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
89	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
90	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	－	0.1500
91	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
92	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.40	－	1.4000
93	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
94	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
95	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
96	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
97	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
98	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
99	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
100	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
101	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.00	－	1.0000
102	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.00	－	1.0000
103	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
104	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
105	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.45	－	0.4500
106	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.45	－	0.4500
107	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
108	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	2.35	－	2.3500
109	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	2.35	－	2.3500
110	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.05	－	1.0500
111	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.35	－	1.3500
112	－	補修跡	－	－	－	－
113	－	補修跡	－	－	－	－
114	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	23.10	－	2.3100
115	化粧目地A	微細ひび割れ	0.10	23.10	－	2.3100
116	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	23.10	－	2.3100
117	化粧目地A	微細ひび割れ	0.10	23.10	－	2.3100
118	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	23.10	－	2.3100
119	化粧目地A	微細ひび割れ	0.10	23.10	－	2.3100
120	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	10.00	－	1.0000
121	化粧目地A	微細ひび割れ	0.10	23.10	－	2.3100
122	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	23.10	－	2.3100
123	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	5.15	－	0.5150
124	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	5.15	－	0.5150
125	化粧目地A	Pコン脱落	－	－	1	1.0000
126	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.20	－	1.2000
127	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.40	－	1.4000
128	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	2.00	－	2.0000
129	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	2.10	－	2.1000
130	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.50	－	1.5000
131	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
132	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.40	－	1.4000
133	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
134	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
135	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
136	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	3.70	－	3.7000
137	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.75	－	0.7500
138	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	2.60	－	2.6000
139	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
140	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
141	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.20	－	1.2000
142	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
143	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
144	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.85	－	0.8500
145	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.10	－	0.1000
146	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.10	－	0.1000
147	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
148	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
149	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	－	0.1500
150	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	－	0.1500
151	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	－	0.1500
152	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	－	0.1500
153	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	－	0.1500
154	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.80	－	0.8000
155	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.00	－	1.0000
156	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	－	0.7000
157	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.60	－	1.6000
158	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
159	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	－	0.7000
160	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.70	－	1.7000
161	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.75	－	0.7500
162	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.90	－	0.9000
163	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
164	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
165	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
166	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	3.10	－	3.1000
167	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.90	－	0.9000
168	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	－	0.7000
169	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
170	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
171	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	－	0.7000
172	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	－	0.7000
173	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.90	－	0.9000
174	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
175	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.80	－	1.8000
176	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
177	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
178	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	－	0.7000
179	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.20	5.10	－	5.1000
180	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
181	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.20	－	1.2000
182	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.30	－	1.3000
183	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	－	0.1500
184	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.10	－	0.1000
185	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
186	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.45	－	0.4500
187	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.00	－	1.0000
188	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.90	－	0.9000
189	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
190	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.80	－	0.8000
191	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.35	－	0.3500
192	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.00	－	1.0000
193	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.65	－	0.6500
194	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
195	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.05	－	1.0500
196	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.20	0.45	－	0.4500
197	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.10	－	0.1000
198	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	2.70	－	2.7000
199	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
200	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.10	－	0.1000
201	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.05	－	1.0500
202	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.30	－	1.3000
203	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
204	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
205	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.45	－	0.4500
206	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.45	－	0.4500
207	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.90	－	0.9000
208	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
209	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
210	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.20	2.40	－	2.4000
211	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
212	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	－	0.1500
213	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
214	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.95	－	0.9500
215	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
216	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
217	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.10	－	0.1000
218	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
219	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.35	－	0.3500
220	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
221	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
222	タイル6	浮き	1.20	0.30	－	0.3600
223	コンクリート打放しA(FC)	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
224	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.00	－	1.0000
225	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
226	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.80	－	1.8000
227	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.90	－	0.9000
228	タイル6	浮き	0.50	0.35	－	0.1750
229	タイル6	浮き	2.00	0.05	－	0.1000
230	タイル6	浮き	2.90	0.80	－	2.3200
231	タイル6	浮き	0.30	0.30	－	0.0900
232	タイル6	浮き	1.20	0.30	－	0.3600
233	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
234	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
235	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
236	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	－	0.7000
237	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
238	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.80	－	0.8000
239	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
240	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
241	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
242	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.80	－	0.8000
243	タイル6	浮き	0.60	0.60	－	0.3600
244	タイル6	浮き	0.30	0.30	－	0.0900
245	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
246	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
247	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
248	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
249	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.70	－	1.7000
250	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	－	0.7000
251	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
252	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
253	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
254	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.75	－	1.7500
255	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
256	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.45	－	0.4500
257	厚塗材A	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
258	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.22	－	0.2200
259	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.22	－	0.2200
260	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.22	－	0.2200
261	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.22	－	0.2200
262	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	－	0.1500
263	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
264	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
265	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	－	0.5000
266	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.70	－	0.7000
267	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500

改修内容　凡例

番号	改修内容	数量
①-1	金属屋根改修	平面図参照
①-2	竪樋の改修	—
②-1	屋上の平場、立上りの改修	—
②-2	笠木の改修	平面図参照
②-3	設備基礎の改修	—
②-4	外部シーリング改修	立面図(1)参照
③-1	コンクリート打放し・厚塗材部外壁のひび割れ部の補修並びに仕上げの改修	外壁改修項目参照
③-2	タイル張り仕上外壁の浮き部の改修	外壁改修項目参照
③-3	外部金属手摺塗替え改修	平面図参照
④-1	コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の改修	—
④-2	タイル張り仕上内壁の浮き部・ひび割れ部の改修	—
⑤-1	メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井撤去・改修	—
⑥-1	シャッター　SS-1、SS-2、SS-3、SS-4、SS-6、SS-7改修	—
⑥-2	外部建具ガラス押えシーリング改修	立面図(1)参照
⑥-3	外部鋼製建具塗替改修	建具表参照
⑦-1	屋上機械置場目隠部鉄骨の取外し、再取付改修	—
⑧-1	漏水改修	—
⑨-1	堆積汚泥撤去	—
⑨-2	池排水口、吐出口、余吐出口、ポンプピット、排水管清掃	—

凡例

表示	損傷の種類
	ひび割れ
	遊離石灰を伴うひび割れ
	微細ひび割れ
	亀甲状ひび割れ
	浮き
	剥離
	塗装劣化
	Pコン脱落
	シーリング材劣化

外壁改修項目

仕上げ材	損傷名	延長（m）	面積（㎡）	仕上げ材	損傷名	延長（m）	面積（㎡）
コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ（注入工法）	7.9500	—	厚塗材	剥離	—	—
	ひび割れ（シール工法）	—	—		亀甲状ひび割れ	—	—
	遊離石灰を伴うひび割れ	3.3000	—	タイル	ひび割れ	—	—
	亀甲状ひび割れ	—	—		遊離石灰を伴うひび割れ	—	—
	剥離	—	—		浮き	—	3.8550
	浮き	—	—		遊離石灰	—	—

凡例									
Ⓐ	タイルG	Ⓕ	化粧目地A	Ⓚ	カラーガルバリウム鋼板　立はぜ葺	Ⓟ	アルミガラリ	Ⓤ	セラミックス系硬質耐火被覆材の上 FP
Ⓑ	厚塗材A（下地調整材：アスベスト含有）	Ⓖ	化粧目地B	Ⓛ	カラーガルバリウム鋼板 一体型太陽電池（別途工事）	Ⓠ	アルミルーバー	Ⓥ	合成ゴム
Ⓒ	コンクリート打放し（A）FC	Ⓗ	成形セメント板A	Ⓜ	アルミカーテンウォール	Ⓡ	ステンレス建具	Ⓦ	ステンレスワイヤー
Ⓓ	打継ぎ目地	Ⓘ	FK　EP	Ⓝ	アルミパネル	Ⓢ	スチール建具	Ⓧ	樹脂製グレーチング
Ⓔ	誘発目地	Ⓙ	カラーガルバリウム鋼板　立てハゼ	Ⓞ	アルミ建具	Ⓣ	スチール　Znの上FP		

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

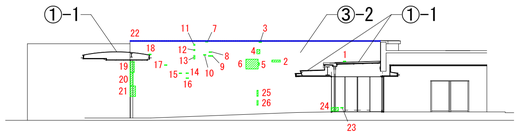
工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

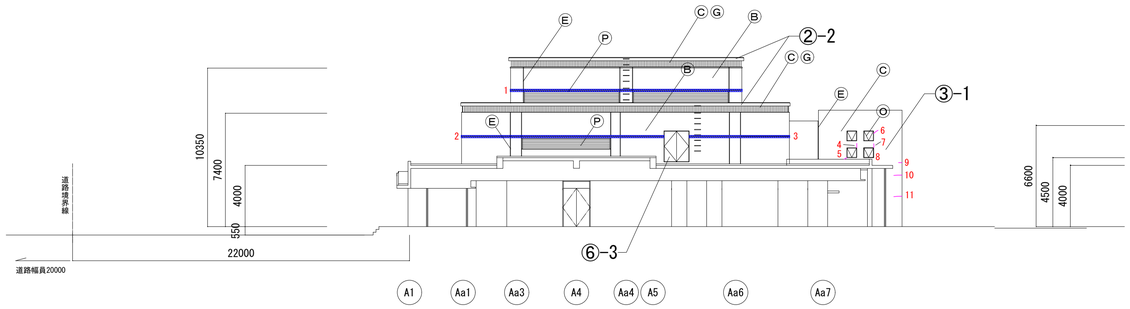
図面名称：立面図（2）　メインホール南東側_外壁改修項目・集計表

縮尺：A1：1/200　A3：1/400

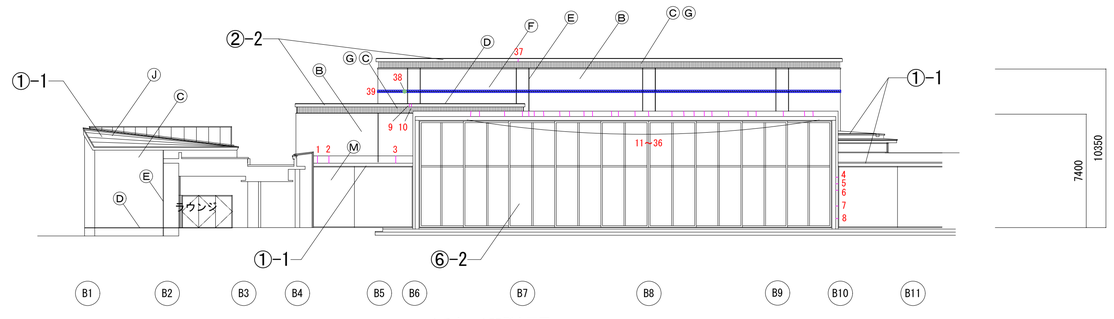
図面番号：A-027



エントランスホール西側



マルチホール西側立面図



マルチホール南側立面図

エントランスホール西側　外壁損傷集計表

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅（mm）厳（m）	サイズ 延長（m）積（㎡）	箇所数（箇所）	面積（㎡）箇所数（箇所）延長（m）
1	タイル6	浮き	0.05	0.20	－	0.0100
2	タイル6	浮き	0.15	0.70	－	0.1050
3	タイル6	浮き	0.05	0.20	－	0.0100
4	タイル6	浮き	0.35	0.25	－	0.0875
5	タイル6	浮き	0.20	0.10	－	0.0200
6	タイル6	浮き	0.80	1.00	－	0.8000
7	タイル6	浮き	0.05	0.20	－	0.0100
8	タイル6	浮き	0.05	0.20	－	0.0100
9	タイル6	浮き	0.05	0.35	－	0.0175
10	タイル6	浮き	0.05	0.20	－	0.0100
11	タイル6	浮き	0.10	0.10	－	0.0100
12	タイル6	浮き	0.10	0.10	－	0.0100
13	タイル6	浮き	0.30	0.10	－	0.0300
14	タイル6	浮き	0.05	0.20	－	0.0100
15	タイル6	浮き	0.05	0.20	－	0.0100
16	タイル6	浮き	0.05	0.20	－	0.0100
17	タイル6	浮き	0.05	0.20	－	0.0100
18	タイル6	浮き	0.05	0.20	－	0.0100
19	タイル6	浮き	0.90	0.35	－	0.3150
20	タイル6	浮き	1.15	0.25	－	0.2875
21	タイル6	浮き	0.85	0.45	－	0.3825
22	コンクリート打放しA(FC)	微細ひび割れ	0.07	18.00	－	1.2600
23	タイル6	浮き	0.05	0.20	－	0.0100
24	タイル6	浮き	0.30	0.60	－	0.1800
25	タイル6	浮き	0.50	0.10	－	0.0500
26	タイル6	浮き	0.40	0.10	－	0.0400

マルチホール西側立面　外壁損傷集計表

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅（mm）厳（m）	サイズ 延長（m）積（㎡）	箇所数（箇所）	面積（㎡）箇所数（箇所）延長（m）
1	化粧目地A	微細ひび割れ	0.18	19.00	－	3.4200
2	化粧目地A	微細ひび割れ	0.18	16.50	－	2.9700
3	化粧目地A	微細ひび割れ	0.18	8.20	－	1.4760
4	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.20	0.25	－	0.2500
5	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.20	0.25	－	0.2500
6	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.20	0.40	－	0.4000
7	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.20	0.25	－	0.2500
8	シーリング材	劣化	－	－	－	－
9	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.20	0.15	－	0.1500
10	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.20	0.65	－	0.6500
11	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.20	0.65	－	0.6500

マルチホール南側立面　外壁損傷集計表

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅（mm）厳（m）	サイズ 延長（m）積（㎡）	箇所数（箇所）	面積（㎡）箇所数（箇所）延長（m）
1	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
2	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
3	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
4	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
5	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
6	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
7	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
8	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	－	0.2500
9	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
10	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
11	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
12	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
13	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
14	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
15	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
16	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
17	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
18	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
19	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
20	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
21	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
22	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
23	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
24	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
25	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
26	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
27	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
28	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
29	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
30	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
31	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
32	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
33	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
34	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
35	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
36	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
37	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	－	0.1500
38	化粧目地A	Pコン脱落	－	－	1	1.0000
39	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	37.80	－	5.6700

凡例

表示	損傷の種類
	ひび割れ
	遊離石灰を伴うひび割れ
	微細ひび割れ
	亀甲状ひび割れ
	浮き
	剥離
	塗装劣化
	Pコン脱落
	シーリング材劣化

外壁改修項目

仕上げ材	損傷名	延長（m）	面積（㎡）	仕上げ材	損傷名	延長（m）	面積（㎡）
コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ（注入工法）	2.6000	－	厚塗材	剥離	－	－
	ひび割れ（シール工法）	－	－		亀甲状ひび割れ	－	－
	遊離石灰を伴うひび割れ	－	－	タイル	ひび割れ	－	－
	亀甲状ひび割れ	－	－		遊離石灰を伴うひび割れ	－	－
	剥離	－	－		浮き	－	2.4450
	浮き	－	－		遊離石灰	－	－

凡例

番号	改修内容	数量
①-1	金属屋根改修	平面図参照
①-2	竪樋の改修	—
②-1	屋上の平場、立上りの改修	—
②-2	笠木の改修	平面図参照
②-3	設備基礎の改修	—
②-4	外部シーリング改修	立面図(1)参照
③-1	コンクリート打放し・厚塗材部外壁のひび割れ部の補修並びに仕上げの改修	左図参照
③-2	タイル張り仕上外壁の浮き部の改修	左図参照
③-3	外部金属手摺塗替え改修	—
④-1	コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の改修	—
④-2	タイル張り仕上内壁の浮き部・ひび割れ部の改修	—
⑤-1	メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井改修	—
⑥-1	シャッター　SS-1、SS-2、SS-3、SS-4、SS-6、SS-7改修	
⑥-2	外部建具ガラス押えシーリング改修	立面図(1)参照
⑥-3	外部鋼製建具塗替改修	建具表参照
⑦-1	屋上機械置場目隠部鉄骨の取外し、再取付改修	—
⑧-1	漏水改修	—
⑨-1	堆積汚泥撤去	—
⑨-2	池排水口、吐出口、余吐出口、ボンプピット、排水管清掃	—

凡例

	Ⓐ	タイルG	Ⓕ	化粧目地A	Ⓚ	カラーガルバリウム鋼板　立はぜ葺	Ⓟ	アルミガラリ	Ⓤ	セラミックス系硬質耐火被覆材の上 FP
	Ⓑ	厚塗材A（下地調整材：アスベスト含有）	Ⓖ	化粧目地B	Ⓛ	カラーガルバリウム鋼板 一体型太陽電池（別途工事）	Ⓠ	アルミルーバー	Ⓥ	合成ゴム
	Ⓒ	コンクリート打放し（A）FC	Ⓗ	成形セメント板A	Ⓜ	アルミカーテンウォール	Ⓡ	ステンレス建具	Ⓦ	ステンレスワイヤー
	Ⓓ	打継ぎ目地	Ⓘ	FK　EP	Ⓝ	アルミパネル	Ⓢ	スチール建具	Ⓧ	樹脂製グレーチング
	Ⓔ	誘発目地	Ⓙ	カラーガルバリウム鋼板　立てハゼ	Ⓞ	アルミ建具	Ⓣ	スチール　Znの上FP		

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

図面名称：立面図（3）
エントランスホール西側・マルチホール西側・南側_外壁改修項目・集計表

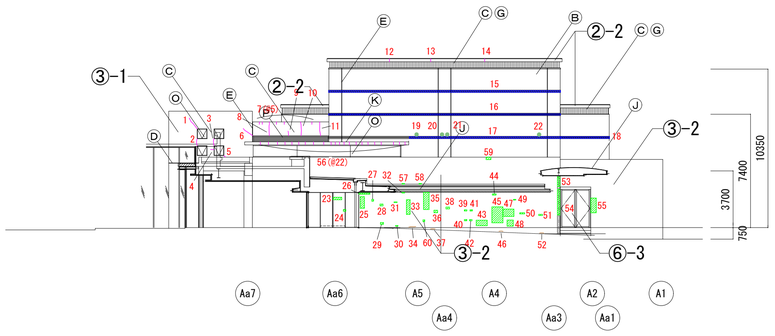
縮尺：A1:1/200　A3:1/400

図面番号：A-028

マルチホール東側立面　外壁損傷集計表

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅（mm）縦（m）	サイズ 延長（m）積（㎡）	サイズ 箇所数（箇所）	面積（㎡）箇所数（箇所）延長（m）
1	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.2	1	－	1.0000
2	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.2	0.2	－	0.2000
3	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.2	0.2	－	0.2000
4	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.1	0.2	－	0.2000
5	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.1	0.3	－	0.3000
6	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.2	0.85	－	0.8500
7	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.1	0.75	－	0.7500
8	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.1	0.9	－	0.9000
9	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.1	0.3	－	0.3000
10	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.1	0.9	－	0.9000
11	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.1	0.9	－	0.9000
12	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.1	0.3	－	0.3000
13	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.1	0.3	－	0.3000
14	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.1	0.3	－	0.3000
15	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	18.9	－	2.8350
16	誘発目地	微細ひび割れ	0.1	18.9	－	1.8900
17	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	10.85	－	1.6275
18	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	3.3	－	0.4950
19	化粧目地A	Pコン脱落	－	－	1	1.0000
20	化粧目地A	Pコン脱落	－	－	1	1.0000
21	化粧目地A	Pコン脱落	－	－	1	1.0000
22	化粧目地A	Pコン脱落	－	－	1	1.0000
23	タイルG	浮き	0.2	0.7	－	0.1400
24	タイルG	浮き	0.15	0.2	－	0.0300
25	タイルG	浮き	0.95	0.35	－	0.3325
26	タイルG	浮き	0.1	0.9	－	0.0900
27	タイルG	浮き	0.15	0.15	－	0.0225
28	タイルG	浮き	0.15	0.25	－	0.0375
29	タイルG	浮き	0.15	0.25	－	0.0375
30	タイルG	浮き	0.05	0.2	－	0.0100
31	タイルG	浮き	0.05	0.25	－	0.0125
32	タイルG	浮き	0.05	0.2	－	0.0100
33	タイルG	浮き	1.2	0.3	－	0.3600
34	タイルG	遊離石灰	－	0.4	－	0.4000
35	タイルG	浮き	1.4	0.45	－	0.6300
36	タイルG	浮き	0.2	0.3	－	0.0600
37	タイルG	遊離石灰	－	0.3	－	0.3000
38	タイルG	浮き	0.15	0.3	－	0.0450
39	タイルG	浮き	0.1	0.2	－	0.0200
40	タイルG	浮き	0.1	0.2	－	0.0200
41	タイルG	浮き	0.1	0.2	－	0.0200
42	タイルG	浮き	0.1	0.2	－	0.0200
43	タイルG	浮き	0.45	0.9	－	0.4050
44	タイルG	浮き	0.1	0.3	－	0.0300
45	タイルG	浮き	1.3	0.9	－	1.1700
46	タイルG	遊離石灰	－	0.25	－	0.2500
47	タイルG	浮き	0.6	0.9	－	0.5400
48	タイルG	浮き	0.5	0.5	－	0.2500
49	タイルG	浮き	0.05	0.2	－	0.0100
50	タイルG	浮き	0.1	0.4	－	0.0400

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅（mm）縦（m）	サイズ 延長（m）積（㎡）	サイズ 箇所数（箇所）	面積（㎡）箇所数（箇所）延長（m）
51	タイルG	浮き	0.1	0.3	－	0.0300
52	タイルG	遊離石灰	－	0.3	－	0.3000
53	タイルG	浮き	0.8	0.25	－	0.2000
54	タイルG	浮き	2.1	0.2	－	0.4200
55	タイルG	浮き	1.2	0.45	－	0.5400
56	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.1	4.84	－	4.8400
57	タイルG	浮き	0.05	0.2	－	0.0100
58	タイルG	浮き	0.05	0.2	－	0.0100
59	タイルG	浮き	0.2	0.4	－	0.0800
60	タイルG	浮き	0.15	0.15	－	0.0225

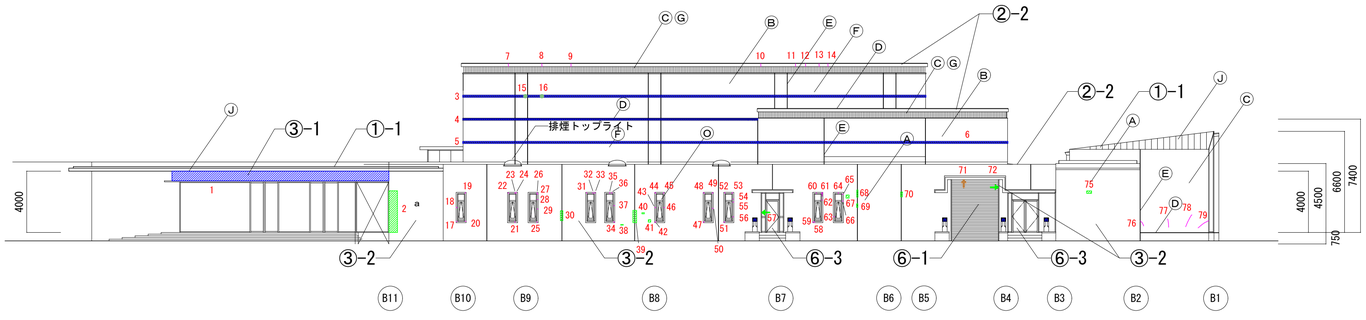


マルチホール東側立面図

マルチホール北側立面　外壁損傷集計表

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅（mm）縦（m）	サイズ 延長（m）積（㎡）	サイズ 箇所数（箇所）	面積（㎡）箇所数（箇所）延長（m）
1	コンクリート打放しA(FC)	微細ひび割れ	0.80	12.00	－	9.6000
2	タイルG	浮き	3.40	0.70	－	2.3800
3	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	37.80	－	5.6700
4	誘発目地	微細ひび割れ	0.10	24.00	－	2.4000
5	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	24.00	－	3.6000
6	化粧目地A	微細ひび割れ	0.15	20.40	－	3.0600
7	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
8	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
9	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
10	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
11	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
12	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
13	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
14	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	－	0.3000
15	化粧目地A	Pコン脱落	－	－	1	1.0000
16	化粧目地A	Pコン脱落	－	－	1	1.0000
17	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
18	モルタル	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
19	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
20	モルタル	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
21	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
22	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
23	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
24	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
25	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
26	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
27	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
28	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
29	モルタル	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
30	タイルG	浮き	0.80	0.20	－	0.1600
31	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
32	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
33	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
34	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
35	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
36	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
37	モルタル	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
38	タイルG	浮き	0.05	0.20	－	0.0100
39	タイルG	浮き	1.00	0.30	－	0.3000
40	タイルG	浮き	0.10	0.20	－	0.0200
41	タイルG	浮き	0.20	0.20	－	0.0400
42	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
43	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
44	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
45	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
46	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
47	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
48	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
49	モルタル	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
50	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅（mm）縦（m）	サイズ 延長（m）積（㎡）	サイズ 箇所数（箇所）	面積（㎡）箇所数（箇所）延長（m）
51	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
52	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
53	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
54	モルタル	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
55	モルタル	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
56	モルタル	ひび割れ	0.10	0.20	－	0.2000
57	タイルG	浮き	1.90	0.45	－	0.8550
58	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
59	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
60	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
61	モルタル	ひび割れ	0.10	0.35	－	0.3500
62	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
63	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
64	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
65	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
66	モルタル	ひび割れ	0.10	0.06	－	0.0600
67	タイルG	浮き	0.25	0.25	－	0.0625
68	タイルG	浮き	0.60	0.10	－	0.0600
69	タイルG	浮き	0.30	0.10	－	0.0300
70	タイルG	浮き	0.40	0.15	－	0.0600
71	モルタル	遊離石灰を伴うひび割れ	0.10	0.80	－	0.8000
72	タイルG	浮き	0.40	0.15	－	0.0600
73	タイルG	浮き	2.90	0.25	－	0.7250
74	タイルG	浮き	0.15	0.50	－	0.0750
75	タイルG	浮き	0.20	0.40	－	0.0800
76	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	－	0.4000
77	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	－	0.6000
78	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.10	－	1.1000
79	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.00	－	1.0000



マルチホール北側立面図



凡例

表示	損傷の種類
	ひび割れ
	遊離石灰を伴うひび割れ
	微細ひび割れ
	亀甲状ひび割れ
	浮き
	剥離
	塗装劣化
	Pコン脱落
	シーリング材劣化

外壁改修項目

仕上げ材	損傷名	延長（m）	面積（㎡）	仕上げ材	損傷名	延長（m）	面積（㎡）
コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ（注入工法）	2.2500	－	厚塗材	剥離	－	－
	ひび割れ（シール工法）	－	－		亀甲状ひび割れ	－	－
	遊離石灰を伴うひび割れ	－	－	タイル	ひび割れ	－	－
	亀甲状ひび割れ	－	－		遊離石灰を伴うひび割れ	－	－
	剥離	－	－		浮き	－	10.5725
	浮き	－	－		遊離石灰	1.2500	－

凡例

番号	改修内容	数量
①-1	金属屋根改修	平面図参照
①-2	竪樋の改修	—
②-1	屋上の平場、立上りの改修	—
②-2	笠木の改修	平面図参照
②-3	設備基礎の改修	—
②-4	外部シーリング改修	立面図(1)参照
③-1	コンクリート打放し・厚塗材部外壁のひび割れ部の補修並びに仕上げの改修	外壁改修項目参照
③-2	タイル張り仕上外壁の浮き部の補修及び欠損部の張替改修	外壁改修項目参照
③-3	外部金属手摺塗替え改修	—
④-1	コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の補修並びに仕上げの改修	—
④-2	タイル張り仕上内壁のひび割れ部、欠損部の張替改修	—
⑤-1	メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井撤去・改修	—
⑥-1	シャッター　SS-1、SS-2、SS-3、SS-4、SS-6、SS-7改修	建具表参照
⑥-2	外部建具ガラス押えシーリング改修	—
⑥-3	外部鋼製建具塗替改修	建具表参照
⑦-1	屋上機械置場目隠部鉄骨の取外し、再取付改修	—
⑧-1	漏水改修	—
⑨-1	堆積汚泥撤去	—
⑨-2	池排水口、吐出口、余吐出口、ボンプピット、排水管清掃	—

凡例

Ⓐ	タイルG	Ⓕ	化粧目地A	Ⓚ	カラーガルバリウム鋼板　立はぜ葺	Ⓟ	アルミガラリ	Ⓤ	セラミックス系硬質耐火被覆材の上 FP
Ⓑ	厚塗材A（下地調整材：アスベスト含有）	Ⓖ	化粧目地B	Ⓛ	カラーガルバリウム鋼板 一体型太陽電池（別途工事）	Ⓠ	アルミルーバー	Ⓥ	合成ゴム
Ⓒ	コンクリート打放し（A）FC	Ⓗ	成形セメント板A	Ⓜ	アルミカーテンウォール	Ⓡ	ステンレス建具	Ⓦ	ステンレスワイヤー
Ⓓ	打継ぎ目地	Ⓘ	FK　EP	Ⓝ	アルミパネル	Ⓢ	スチール建具	Ⓧ	樹脂製グレーチング
Ⓔ	誘発目地	Ⓙ	カラーガルバリウム鋼板　立てハゼ	Ⓞ	アルミ建具	Ⓣ	スチール　Znの上FP		

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉

印

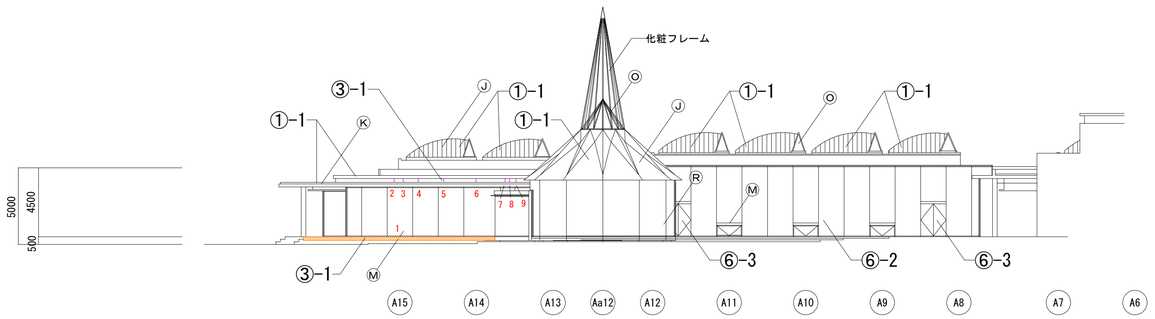
工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

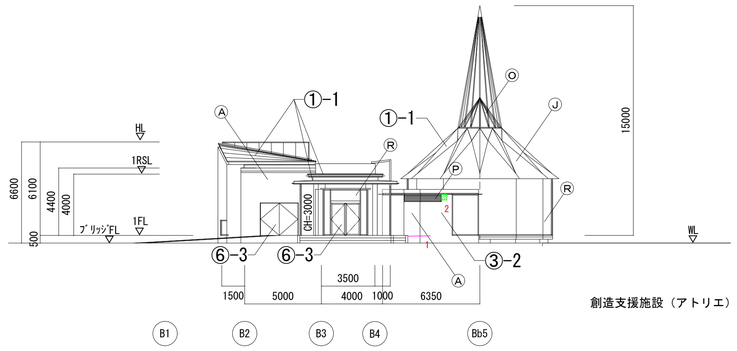
図面名称：立面図（4）マルチホール東側・北側_外壁改修項目・集計表

縮尺：A1:1/200 A3:1/400

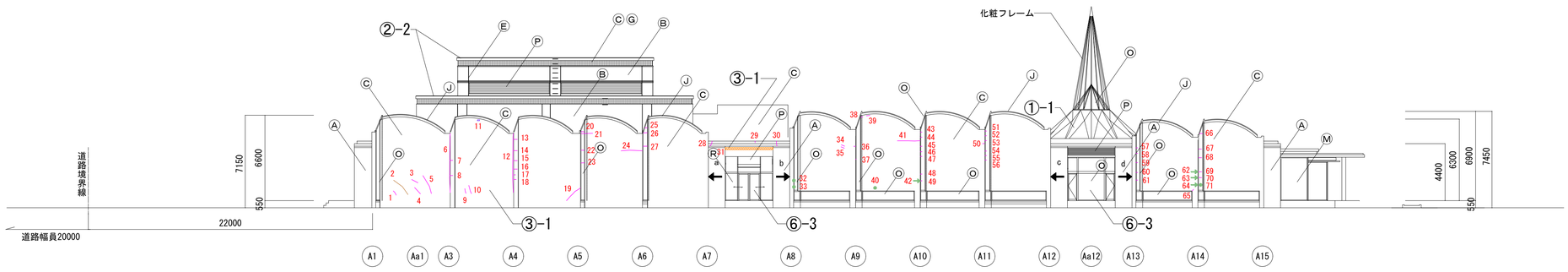
図面番号：A-029



文化支援施設棟東側立面図

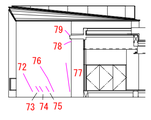


創造支援施設（アトリエ）断面図

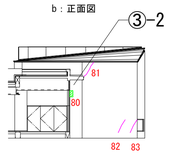


文化支援施設棟西側立面図

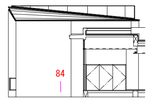
a：正面図



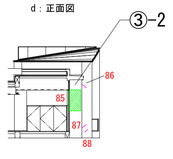
b：正面図



c：正面図



d：正面図



凡例

表示	損傷の種類
	ひび割れ
	遊離石灰を伴うひび割れ
	微細ひび割れ
	亀甲状ひび割れ
	浮き
	剥離
	塗装劣化
	Pコン脱落
	シーリング材劣化

外壁改修項目

仕上げ材	損傷名	延長（m）	面積（㎡）	仕上げ材	損傷名	延長（m）	面積（㎡）
コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ（注入工法）	4.8000	—	厚塗材	剥離	—	—
	ひび割れ（シール工法）	—	—		亀甲状ひび割れ	—	3.9600
	遊離石灰を伴うひび割れ	—	—	タイル	ひび割れ	1.7000	—
	亀甲状ひび割れ	—	0.7200		遊離石灰を伴うひび割れ	—	—
	剥離	—	0.0050		浮き	—	1.8575
	浮き	—	—		遊離石灰	—	—

※石綿撤去工事はひび割れ補修部分のみとする。

凡例

	Ⓐ	タイルG	Ⓕ	化粧目地A	Ⓚ	カラーガルバリウム鋼板　立はぜ葺	Ⓟ	アルミガラリ	Ⓤ	セラミックス系硬質耐火被覆材の上 FP	
	Ⓑ	厚塗材A（下地調整材：アスベスト含有）	Ⓖ	化粧目地B	Ⓛ	カラーガルバリウム鋼板 一体型太陽電池（別途工事）	Ⓠ	アルミルーバー	Ⓥ	合成ゴム	
凡	Ⓒ	コンクリート打放し（A）FC	Ⓗ	成形セメント板A	Ⓜ	アルミカーテンウォール	Ⓡ	ステンレス建具	Ⓦ	ステンレスワイヤー	
例	Ⓓ	打継ぎ目地	Ⓘ	FK　EP	Ⓝ	アルミパネル	Ⓢ	スチール建具	Ⓧ	樹脂製グレーチング	
	Ⓔ	誘発目地	Ⓙ	カラーガルバリウム鋼板　立てハゼ	Ⓞ	アルミ建具	Ⓣ	スチール　Znの上FP			

文化支援施設棟東側立面　外壁損傷集計表

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅（mm）厚（m）	サイズ 延長（m）面積（m）	箇所数（箇所）	面積（㎡）箇所数（箇所）延長（m）
1	薄塗材A	亀甲状ひび割れ	0.3	13.2	–	3.960000
2	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.2	0.6	–	0.600000
3	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.2	0.6	–	0.600000
4	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.2	0.6	–	0.600000
5	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.2	0.6	–	0.600000
6	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.2	0.6	–	0.600000
7	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.2	0.6	–	0.600000
8	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.2	0.6	–	0.600000
9	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.2	0.6	–	0.600000

創造支援施設（アトリエ）　外壁損傷集計表

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅（mm）厚（m）	サイズ 延長（m）面積（m）	箇所数（箇所）	面積（㎡）箇所数（箇所）延長（m）
1	タイルG	ひび割れ	0.20	1.70	–	1.700000
2	タイルG	浮き	0.45	0.45	–	0.202500

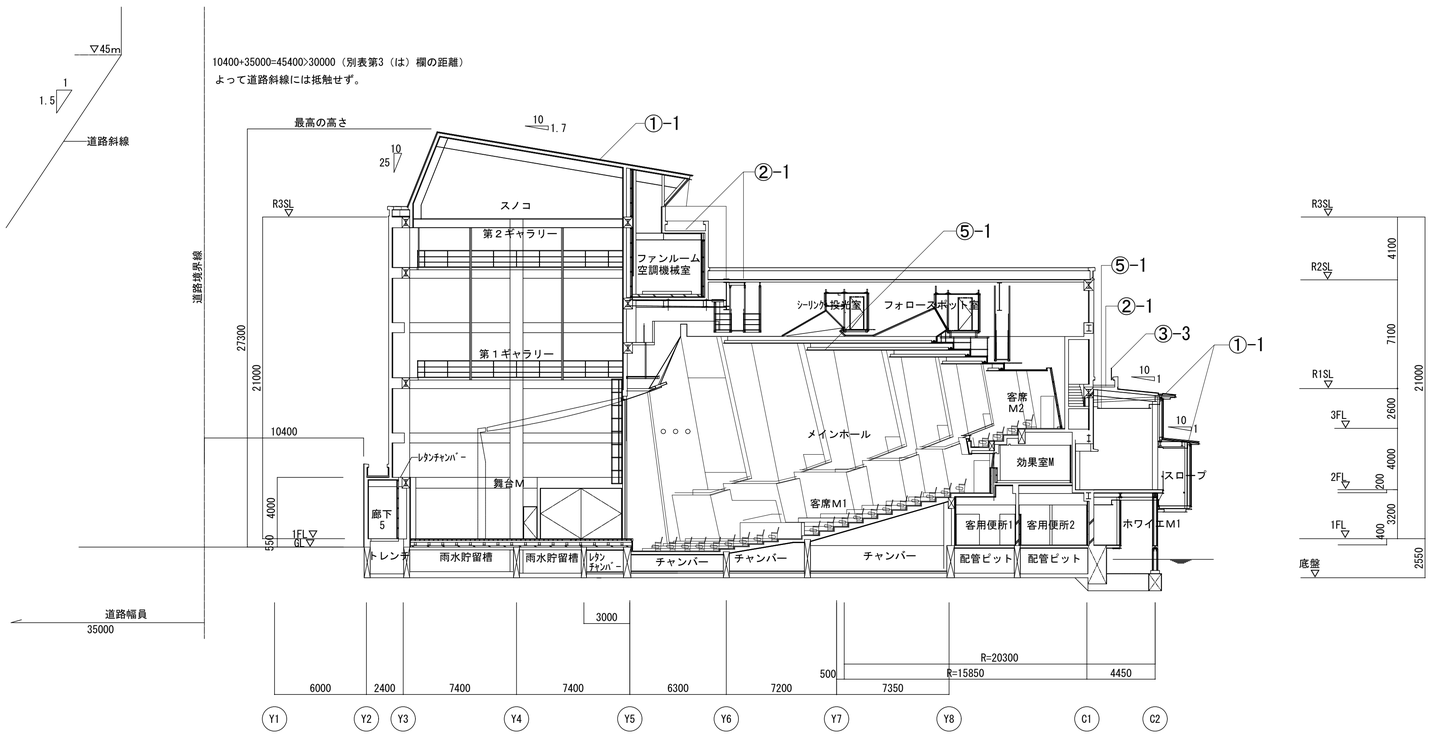
文化支援施設棟西側立面　外壁損傷集計表

No.	仕上げ材	損傷名	サイズ 幅（mm）厚（m）	サイズ 延長（m）面積（m）	箇所数（箇所）	面積（㎡）箇所数（箇所）延長（m）
1	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	–	0.400000
2	コンクリート打放しA(FC)	追着石灰を伴うひび割れ	0.10	1.90	–	1.900000
3	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	–	0.600000
4	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	–	0.600000
5	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.80	–	1.800000
6	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	5.50	–	5.500000
7	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.200000
8	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.200000
9	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	–	0.400000
10	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	–	0.600000
11	コンクリート打放しA(FC)	剥離	0.05	0.10	–	0.005000
12	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	5.50	–	5.500000
13	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000
14	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000
15	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000
16	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000
17	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	–	0.150000
18	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.200000
19	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.70	–	1.700000
20	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000
21	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.00	–	1.000000
22	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000
23	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	–	0.400000
24	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	2.00	–	2.000000
25	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	–	0.400000
26	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	–	0.500000
27	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	–	0.400000
28	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	–	0.500000
29	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.10	–	0.100000
30	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	–	0.500000
31	コンクリート打放しA(FC)	亀甲状ひび割れ	0.20	3.60	–	0.720000
32	コンクリート打放しA(FC)	Pコン脱落	–	–	1	1.000000
33	コンクリート打放しA(FC)	Pコン脱落	–	–	1	1.000000
34	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000
35	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000
36	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	–	0.150000
37	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.200000
38	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000
39	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000
40	コンクリート打放しA(FC)	Pコン脱落	–	–	1	1.000000
41	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	2.10	–	2.100000
42	コンクリート打放しA(FC)	Pコン脱落	–	–	1	1.000000
43	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.35	–	0.350000
44	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	–	0.250000
45	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	–	0.250000
46	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.25	–	0.250000
47	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.200000
48	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.200000
49	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.200000
50	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	–	0.150000
51	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.35	–	0.350000
52	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.35	–	0.350000
53	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.35	–	0.350000
54	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.200000
55	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.200000
56	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.35	–	0.350000
57	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.200000
58	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.200000
59	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000
60	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000
61	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000
62	コンクリート打放しA(FC)	Pコン脱落	–	–	1	1.000000
63	コンクリート打放しA(FC)	Pコン脱落	–	–	1	1.000000
64	コンクリート打放しA(FC)	Pコン脱落	–	–	1	1.000000
65	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.15	–	0.150000
66	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.35	–	0.350000
67	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.35	–	0.350000
68	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.35	–	0.350000
69	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.200000
70	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.20	–	0.200000
71	コンクリート打放しA(FC)	Pコン脱落	–	–	1	1.000000
72	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.50	–	1.500000
73	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	–	0.400000
74	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	–	0.400000
75	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	–	0.400000
76	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	2.30	–	2.300000
77	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	2.25	–	2.250000
78	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.50	–	0.500000
79	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	–	0.400000
80	タイルG	浮き	0.50	0.25	–	0.125000
81	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.20	–	1.200000
82	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.20	–	1.200000
83	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	1.20	–	1.200000
84	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.60	–	0.600000
85	タイルG	浮き	1.70	0.90	–	1.530000
86	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	–	0.400000
87	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.40	–	0.400000
88	コンクリート打放しA(FC)	ひび割れ	0.10	0.30	–	0.300000

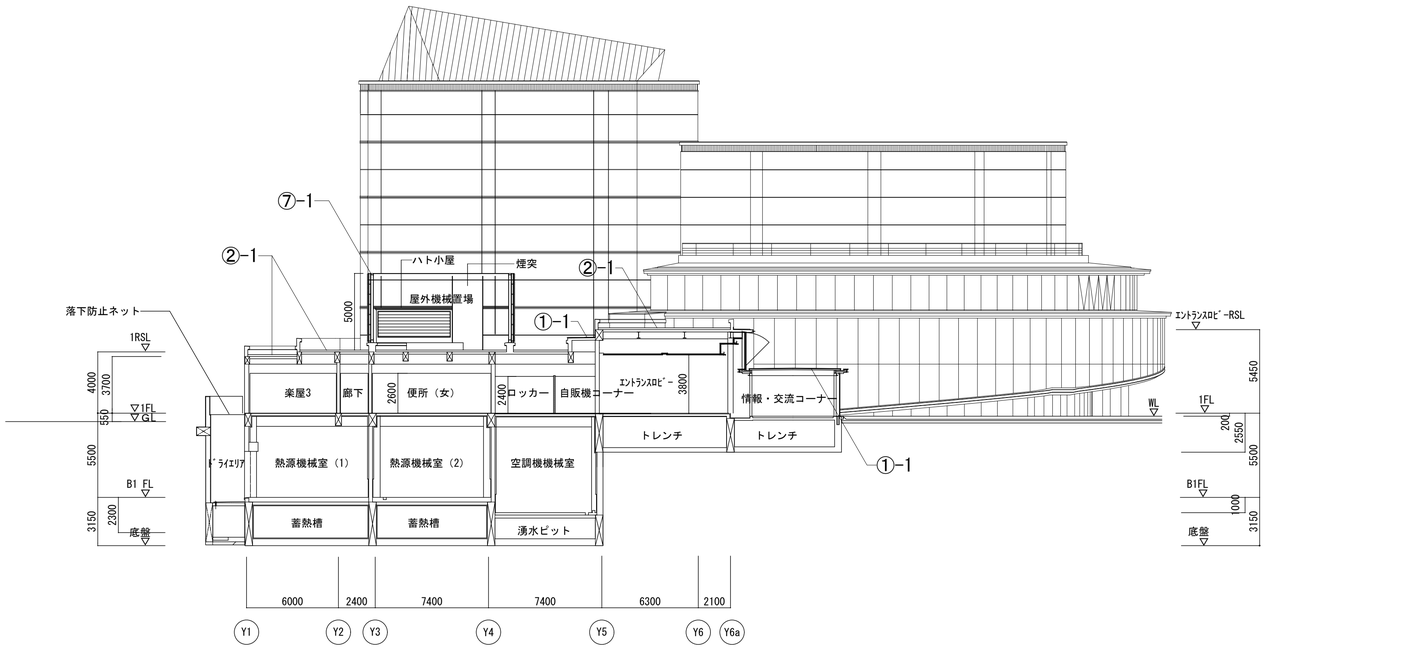
凡例

番号	改修内容	数量
①-1	金属屋根改修	平面図参照
①-2	竪樋の改修	—
②-1	屋上の平場、立上りの改修	—
②-2	笠木の改修	平面図参照
②-3	設備基礎の改修	—
②-4	外部シーリング改修	立面図(1)参照
③-1	コンクリート打放し・厚塗材部外壁のひび割れ部の補修並びに仕上げの改修	外壁改修項目参照
③-2	タイル張り仕上外壁の浮き部の改修	外壁改修項目参照
③-3	外部金属手摺塗替え改修	—
④-1	コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の改修	—
④-2	タイル張り仕上内壁の浮き部・ひび割れ部の改修	—
⑤-1	メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井撤去・改修	—
⑥-1	シャッター　SS-1、SS-2、SS-3、SS-4、SS-6、SS-7改修	
⑥-2	外部建具ガラス押えシーリング改修	立面図(1)参照
⑥-3	外部鋼製建具塗替改修	建具表参照
⑦-1	屋上機械置場目隠部鉄骨の取外し、再取付改修	—
⑧-1	漏水改修	—
⑨-1	堆積汚泥撤去	—
⑨-2	池排水口、吐出口、余吐出口、ボンプピット、排水管清掃	—

業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
株式会社 綜企画設計	埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣） 第289686号　管理建築士　樋口　勉	印
図面名称	立 面 図（5） 文化支援施設棟東側・西側、創造支援施設_外壁改修項目・集計表	縮尺	A1：1/200 A3：1/400
設計年月	令和6年6月	図面番号	A-030



メインホール断面図



メインホール楽屋廻り断面図

凡例

番号	改修内容	数量
①-1	金属屋根改修	平面図・立面図参照
①-2	竪樋の改修	
②-1	屋上の平場、立上りの改修	
②-2	笠木の改修	
②-3	設備基礎の改修	
②-4	外部シーリング改修	
③-1	コンクリート打放し・厚塗塗材部外壁のひび割れ部の補修並びに仕上げの改修	
③-2	タイル張り仕上外壁の浮き部の改修	
③-3	外部金属手摺塗替え改修	
④-1	コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の改修	
④-2	タイル張り仕上内壁の浮き部・ひび割れ部の改修	
⑤-1	メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井撤去・改修	
⑥-1	シャッター　SS-1、SS-2、SS-3、SS-4、SS-6、SS-7改修	
⑥-2	外部建具ガラス押えシーリング改修	
⑥-3	外部鋼製建具塗替改修	
⑦-1	屋上機械置場目隠部鉄骨の取外し、再取付改修	
⑧-1	漏水改修	
⑨-1	堆積汚泥撤去	
⑨-2	池排水口、吐出口、余吐出口、ポンプピット、排水管清掃	

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

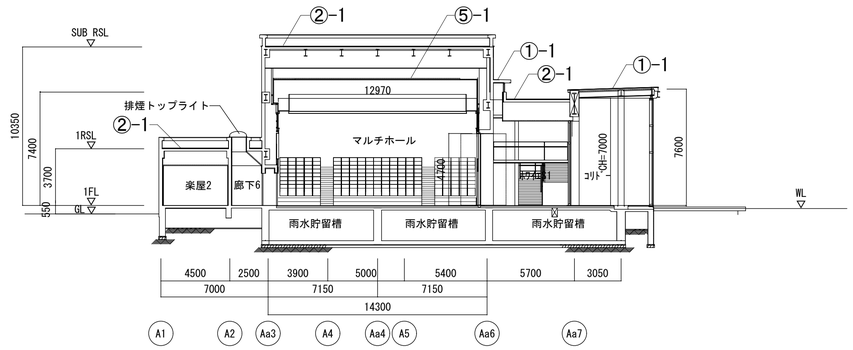
工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

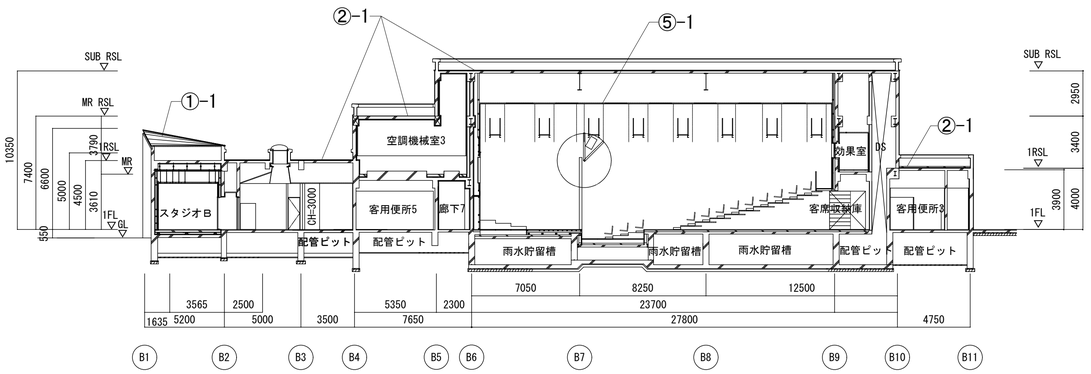
図面名称：断面図（1）メインホール

縮尺：A1:1/200 A3:1/400

図面番号：A-031



マルチホール客席断面図

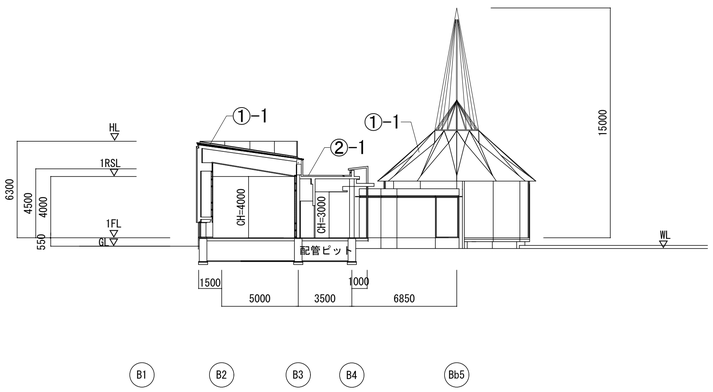


マルチホール・文化支援施設断面図

マルチホール舞台部断面図

文化支援施設廊下・アトリエ断面図

マルチホール舞台部断面図



創造支援施設（展示室）断面図

凡例

番号	改修内容	数量
①-1	金属屋根改修	平面図・立面図参照
①-2	竪樋の改修	
②-1	屋上の平場、立上りの改修	
②-2	笠木の改修	
②-3	設備基礎の改修	
②-4	外部シーリング改修	
③-1	コンクリート打放し・薄塗材部外壁のひび割れ部の補修並びに仕上げの改修	
③-2	タイル張り仕上外壁の浮き部の改修	
③-3	外部金属手摺塗替え改修	
④-1	コンクリート打放し仕上内壁のひび割れ部の改修	
④-2	タイル張り仕上内壁の浮き部・ひび割れ部の改修	
⑤-1	メインホール、メインホールホワイエ、マルチホールの特定天井撤去・改修	
⑥-1	シャッター　SS-1、SS-2、SS-3、SS-4、SS-6、SS-7改修	
⑥-2	外部建具ガラス押えシーリング改修	
⑥-3	外部鋼製建具塗替改修	
⑦-1	屋上機械置場目隠部鉄骨の取外し、再取付改修	
⑧-1	漏水改修	
⑨-1	堆積汚泥撤去	
⑨-2	池排水口、吐出口、余吐出口、ポンプピット、排水管清掃	

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉

印

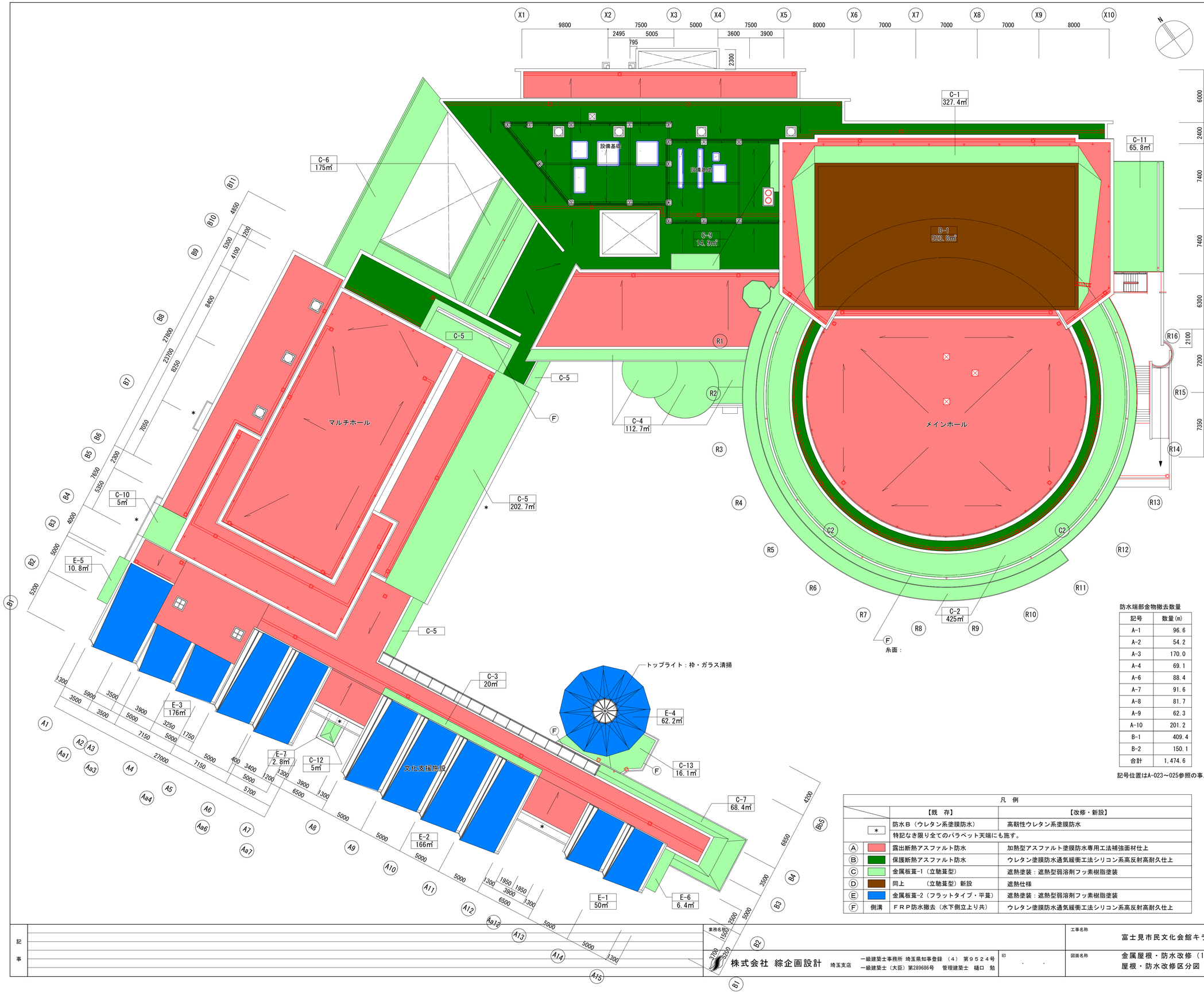
工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

図面名称：断面図（2）ﾏﾙﾁﾎｰﾙ・文化支援施設・創造支援施設

縮尺：A1:1/200 A3:1/400

図面番号：A-032



防水端部金物撤去数量

記号	数量(m)
A-1	96.6
A-2	54.2
A-3	170.0
A-4	69.1
A-6	88.4
A-7	91.6
A-8	81.7
A-9	62.3
A-10	201.2
B-1	409.4
B-2	150.1
合計	1,474.6

記号位置はA-023～025参照の事。

凡　例

		【既　存】	【改修・新設】
	*	防水Ｂ（ウレタン系塗膜防水）	高靭性ウレタン系塗膜防水
		特記なき限り全てのパラペット天端にも施す。	
Ⓐ		露出断熱アスファルト防水	加熱型アスファルト塗膜防水専用工法補強面材仕上
Ⓑ		保護断熱アスファルト防水	ウレタン塗膜防水通気緩衝工法シリコン系高反射高耐久仕上
Ⓒ		金属板葺−1（立馳葺型）	遮熱塗装：遮熱型弱溶剤フッ素樹脂塗装
Ⓓ		同上　（立馳葺型）新設	遮熱仕様
Ⓔ		金属板葺−2（フラットタイプ・平葺）	遮熱塗装：遮熱型弱溶剤フッ素樹脂塗装
Ⓕ	側溝	ＦＲＰ防水撤去（水下側立上り共）	ウレタン塗膜防水通気緩衝工法シリコン系高反射高耐久仕上

防水Ｂ（塗膜防水）	654.4㎡
改修内容	1. 下地処理
	2. 伸介プライマーの塗布
	3. ウレタン塗膜防水塗布
	高靭性ウレタンゴム系塗膜防水塗布（ﾒｯｼｭﾌﾘｰ）1回目
	高靭性ウレタンゴム系塗膜防水塗布（ﾒｯｼｭﾌﾘｰ）2回目
	シリコーン系高耐久高反射保護塗料塗布
Ⓐ 露出断熱アスファルト防水	防水合計面積 2,380.9㎡
改修内容	1. 下地処理
	既存防水層のフクレは切開、乾燥後貼り戻し高圧水洗
	平面部は加熱型改質ｱｽﾌｧﾙﾄ塗膜材で平滑処理を行う。
	立上り部・ドレイン周辺部は既存防水を撤去、仮防水兼平滑処理材にて行う。
	2. 改修用ドレイン部の施工
	既存ドレインの上皿まで撤去・平面処理
	既存ドレイン部周辺はﾃﾄﾛﾒｯｼｭ2号を溶融した改質ｱｽﾌｧﾙﾄ塗膜材にて防水層を形成。
	高耐久高反射保護塗料塗布（2回塗り）
	3. 立上り部の施工　＜塗膜仕上げ＞
	①立上り部から平面部にかけて、改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞを加熱型改質ｱｽﾌｧﾙﾄ塗膜材で張り付ける
	②加熱型改質ｱｽﾌｧﾙﾄ塗膜材にて上塗り
	③高耐久高反射保護塗料塗布
	4. 平面部の施工
	①繊維補強面材ﾙｰﾌｨﾝｸﾞを加熱型改質ｱｽﾌｧﾙﾄ塗膜材にて流し張り
	②保護塗料を下塗り
	③高耐久高反射保護塗料塗布
Ⓑ 保護断熱アスファルト防水	防水合計面積 762.4㎡
改修内容	1. 下地処理
	伸縮目地撤去
	平面部は高圧水洗・樹脂モルタルノロ引きによる平滑処理
	立上り部は既存防水層撤去・清掃後に仮防水兼平滑処理を塗布
	2. プライマーの塗布（既存ウレタン部は仲介プライマー）
	3. アルミ製目地キヤップ鋼板新設
	4. 平面部（通期緩衝）
	①通気緩衝シートの剥離紙を剥がし裏面の粘着層にて張り付ける
	②ウレタンゴム系塗膜防水塗布　1回目
	③ウレタンゴム系塗膜防水塗布　2回目
	④シリコーン系高耐久高反射保護塗料塗布
	5. 立上り（密着）
	高靭性ウレタンゴム系塗膜防水塗布（ﾒｯｼｭﾌﾘｰ）1回目
	高靭性ウレタンゴム系塗膜防水塗布（ﾒｯｼｭﾌﾘｰ）2回目
	シリコーン系高耐久高反射保護塗料塗布
Ⓒ 金属板葺−1（立馳葺型）	屋根合計面積 1,438㎡
改修内容	1. 既存屋根調査
	2. 下地調整（ケレン）
	3. 高圧洗浄
	4. 錆部タッチアップ塗装
	5. 遮熱塗装（下塗り）
	6. 遮熱塗装（上塗り）
Ⓓ 同上　（立馳葺型）	屋根合計面積 526.8㎡
新設内容	1. 既存屋根撤去（下地・断熱材共）
	2. モルタル下地調整
	3. 断熱材：硬質イソシアヌレートボードｔ25敷
	4. 防湿材：ゴムアスファルトルーフィングｔ=1.0
	5. カラーバルバリウム鋼板ｔ0.5（遮熱仕様）
Ⓔ 金属板葺−2 フラットタイプ平葺	480.6㎡
改修内容	1. 既存屋根調査
	2. 下地調整（ケレン）
	3. 高圧洗浄
	4. 錆部タッチアップ塗装
	5. 遮熱塗装（下塗り）
	6. 遮熱塗装（上塗り）

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

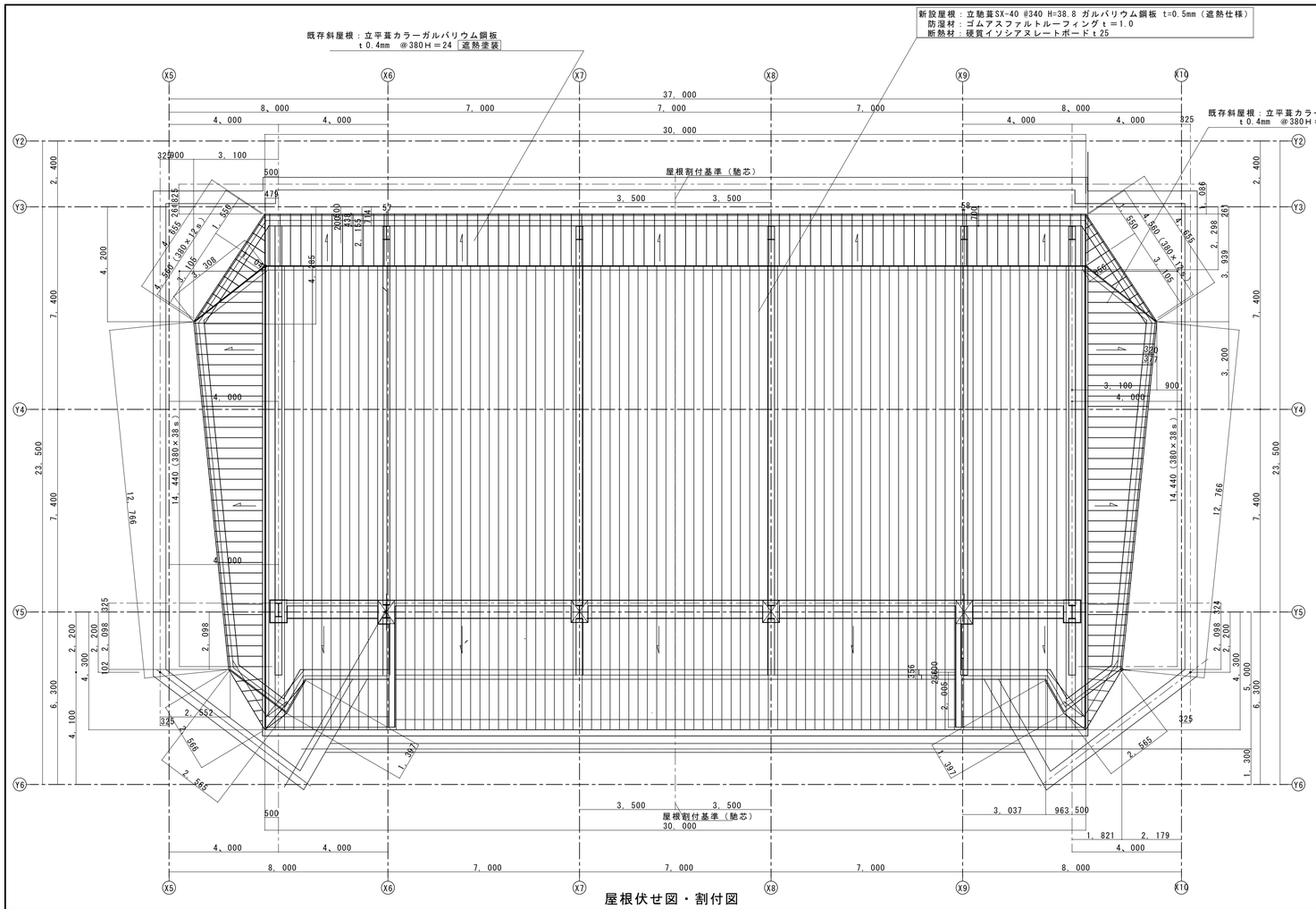
工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月　令和6年6月

図面名称　金属屋根・防水改修（1）　屋根・防水改修区分図

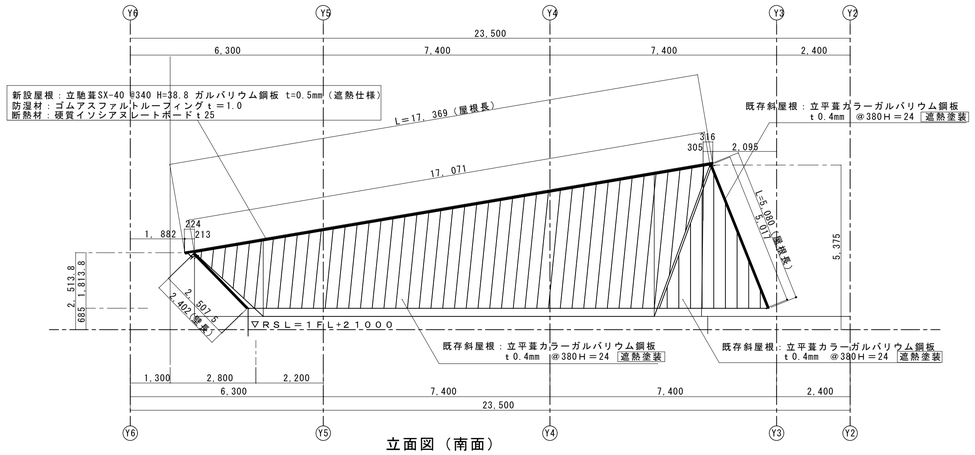
縮尺　A1:1/200　A3:1/400

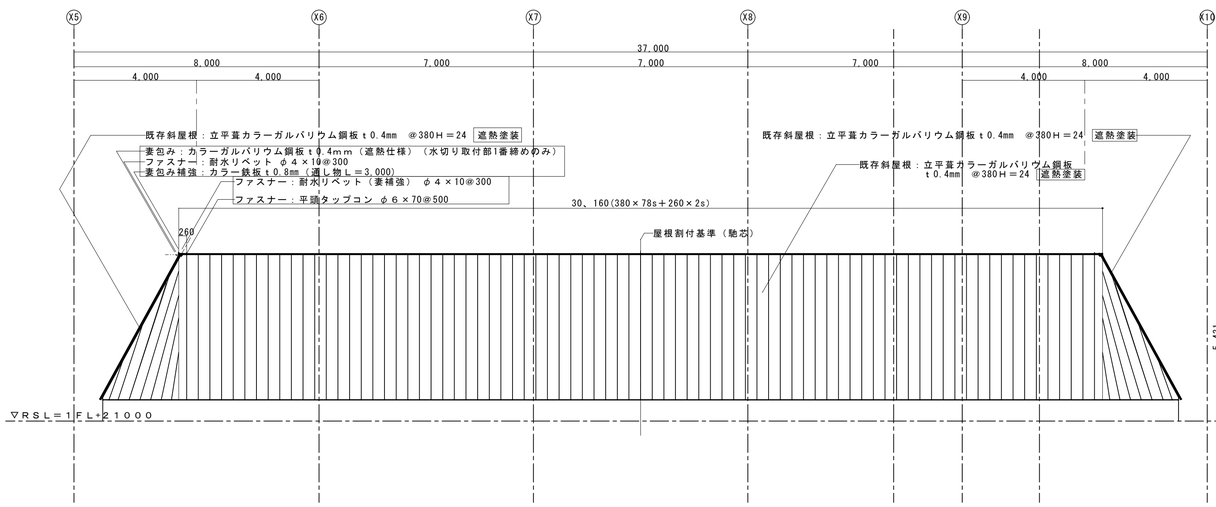
図面番号　A-033

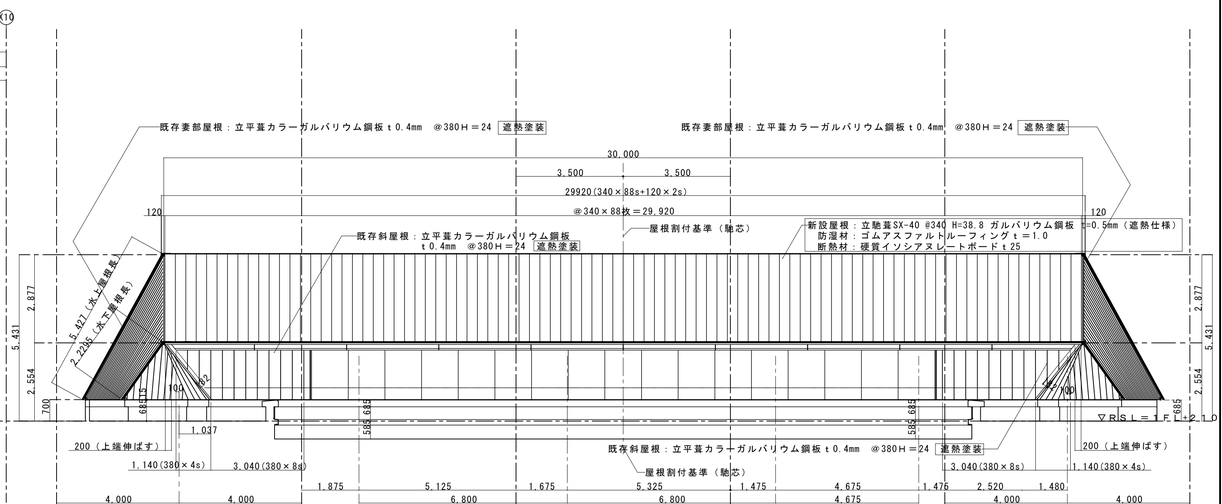


凡　例

□ は改修部を示す。







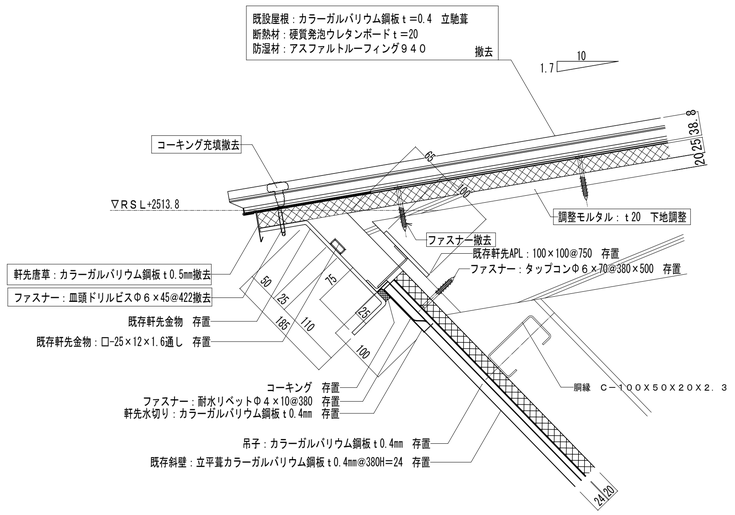
記事	
特記事項	遮熱塗装：遮熱型弱溶剤フッ素樹脂塗装とする。 避雷針　錐去・再取付、太陽光パネル設置：電気工事（別発注）とする。

業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
			設計年月 令和6年6月
株式会社 綜企画設計	埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	図面名称	金属屋根・防水改修（2） メインホール（既存／改修）
印	・　・	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
		図面番号	A－034

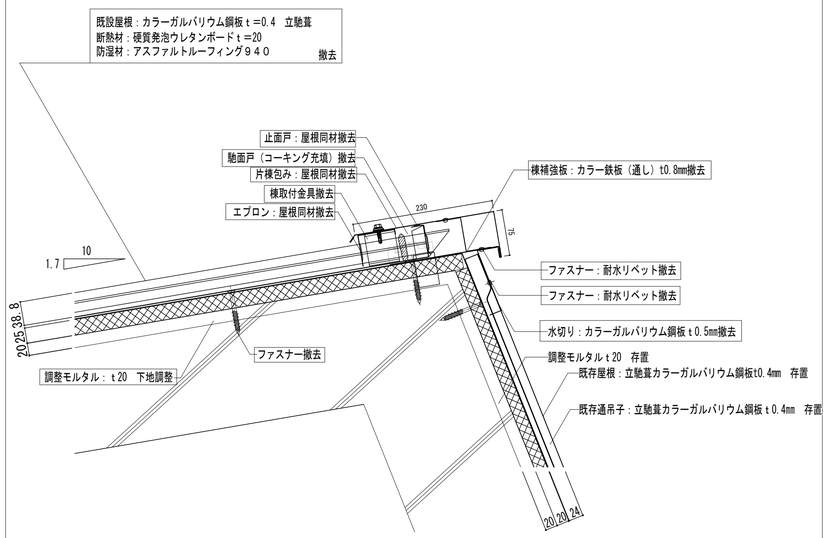
既存軒先断面図　1／5

凡　例

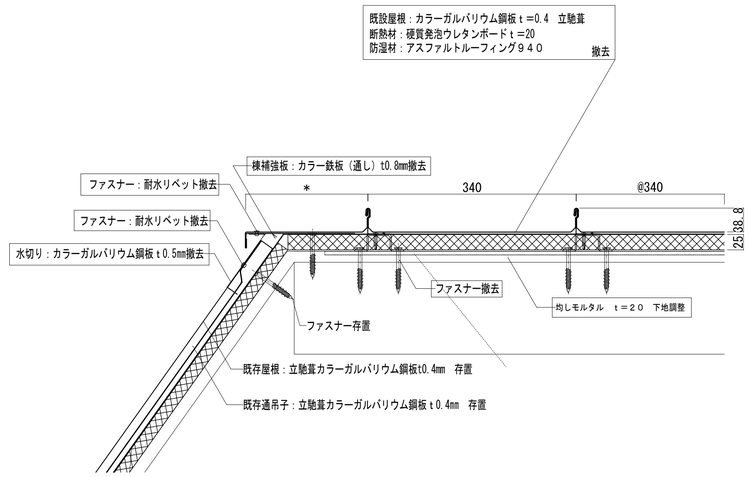
は撤去部分を示す。



既存水上断面図　1／5



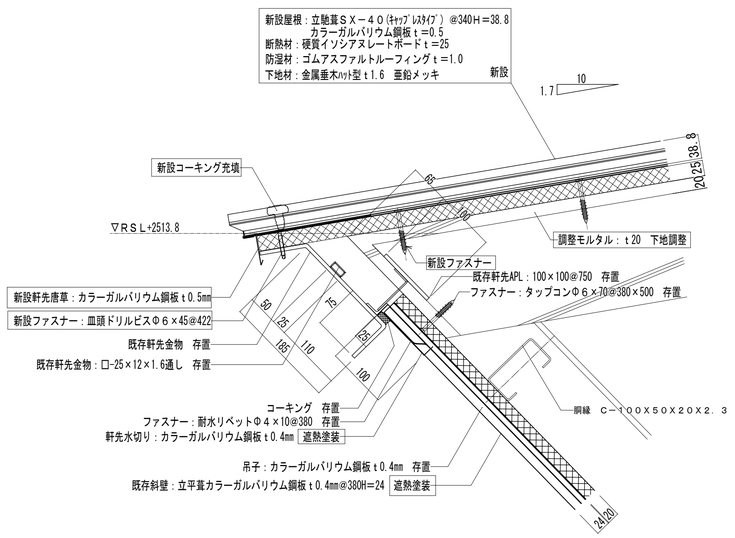
既存ケラバ断面図　1／5



改修軒先断面図　1／5

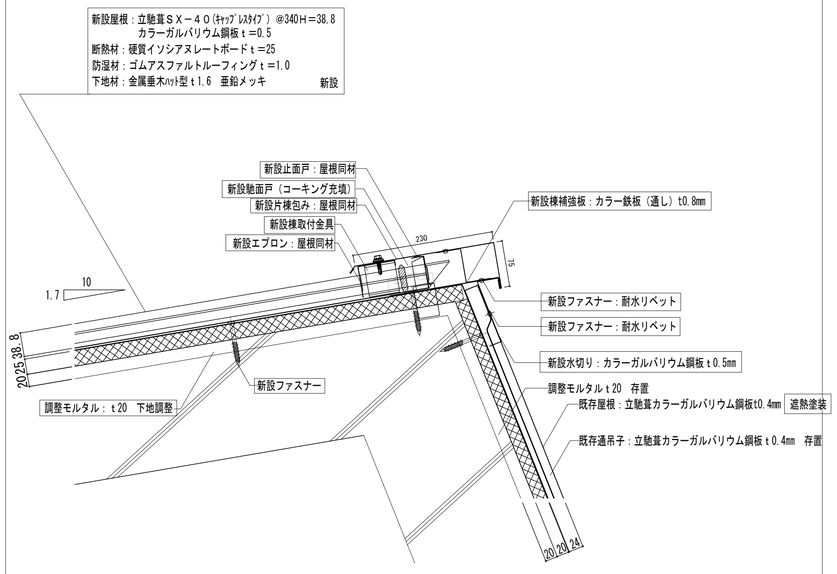
凡　例

は改修・新設部分を示す。



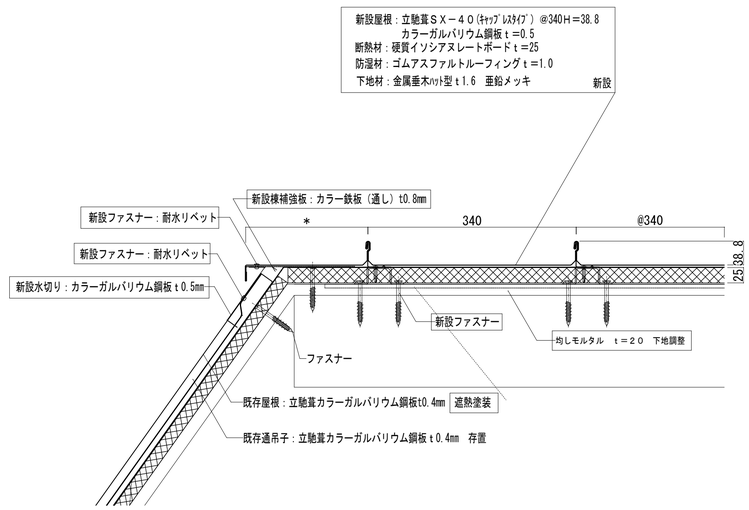
軒先唐草（キャップレス）補強下地板ｔ0.8共　W=300：30m

改修水上断面図　1／5



新設片棟包み　屋根同材ｔ＝0.5　W=300：30m
新設エプロン　屋根同材ｔ＝0.5：30m
新設止面戸　屋根同材ｔ＝0.5：30m
新設棟補強板　カラー鉄板（通し）t=0.8：30m
新設棟水切り　カラーガルバリウム鋼板ｔ＝0.5　W=200：30m

改修ケラバ断面図　1／5

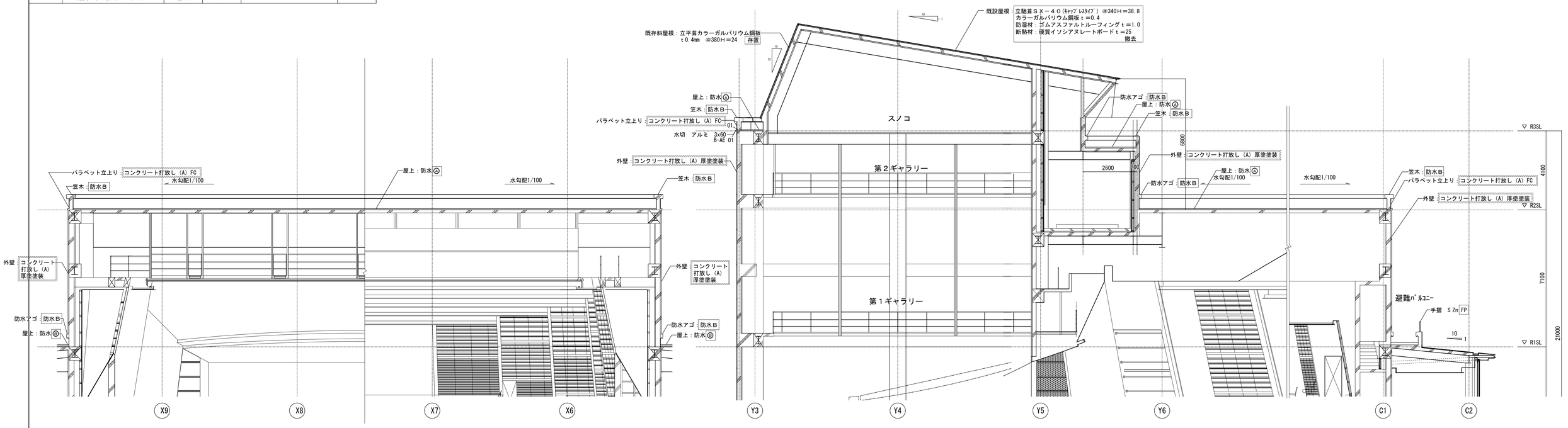


新設水切り　カラーガルバリウム鋼板ｔ＝0.5　W=200：34.7m

記事		業務名称		工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印　・　・	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	令和6年6月
				図面名称：金属屋根・防水改修（3）　メインホール屋根詳細図（撤去・改修）	縮尺：A1：1/5　A3：1/10
					図面番号：A-035

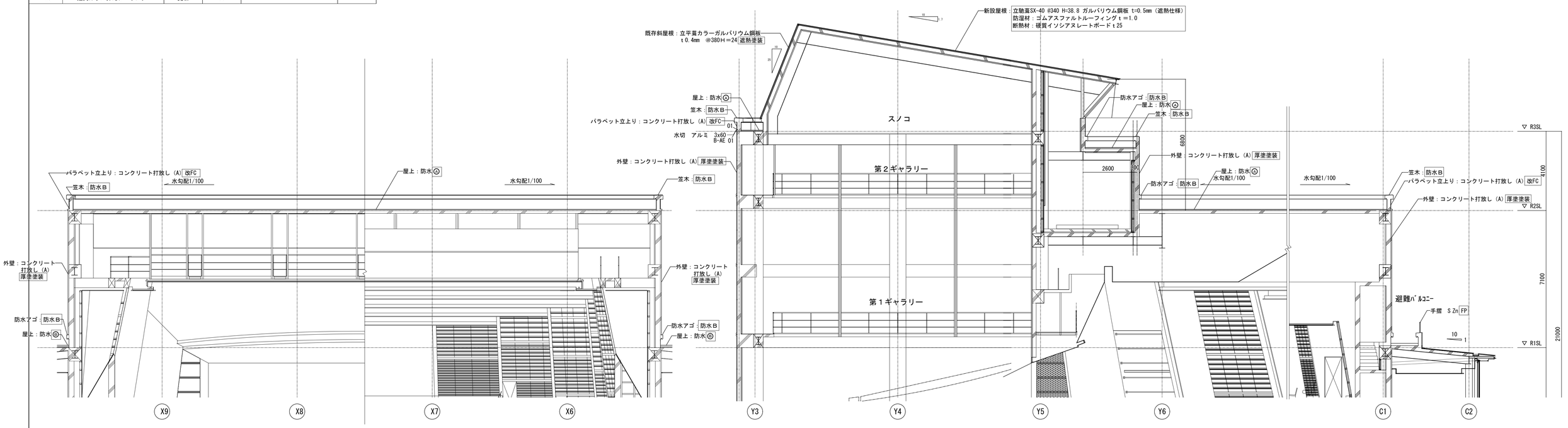
2　メインホール矩計詳細図２（既存）　1/100

01	金属工事廻りシーリング	撤去	04	金属屋根廻りシーリング	撤去
02	アルミ建具枠廻りシーチング	撤去	05	防水工事シーリング	撤去
03	建具ガラス押えシーリング	撤去	06		



2　メインホール矩計詳細図２（改修）　1/100

01	金属工事廻りシーリング	更新	04	金属屋根廻りシーリング	更新
02	アルミ建具枠廻りシーチング	更新	05	防水工事シーリング	更新
03	建具ガラス押えシーリング	更新	06		



記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

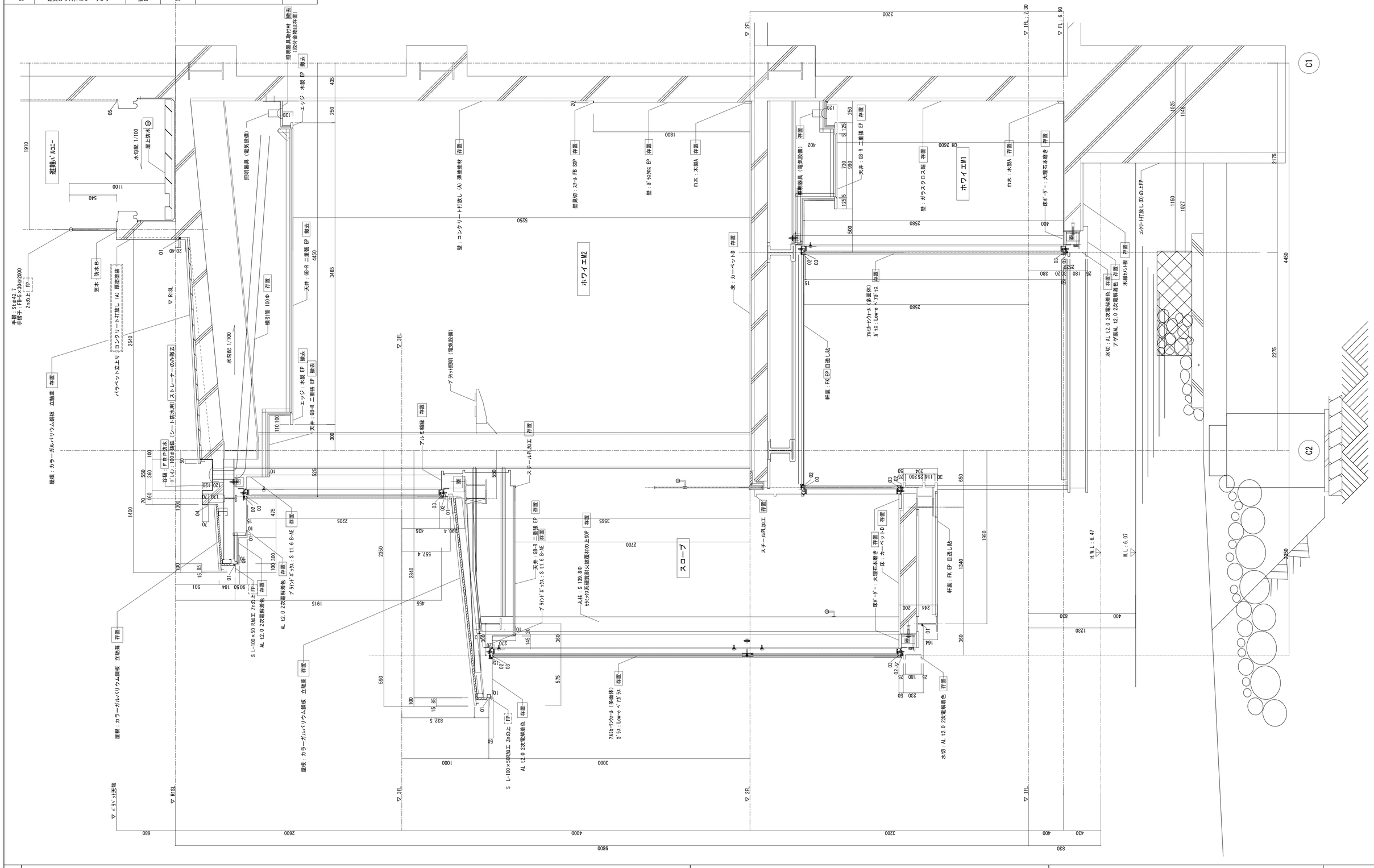
図面名称：金属屋根・防水改修（4）　メインホール断面詳細図（既存／改修）

縮尺：A1:1/100　A3:1/200

図面番号：A-036

1 メインホール矩計詳細図１（既存） 1/20

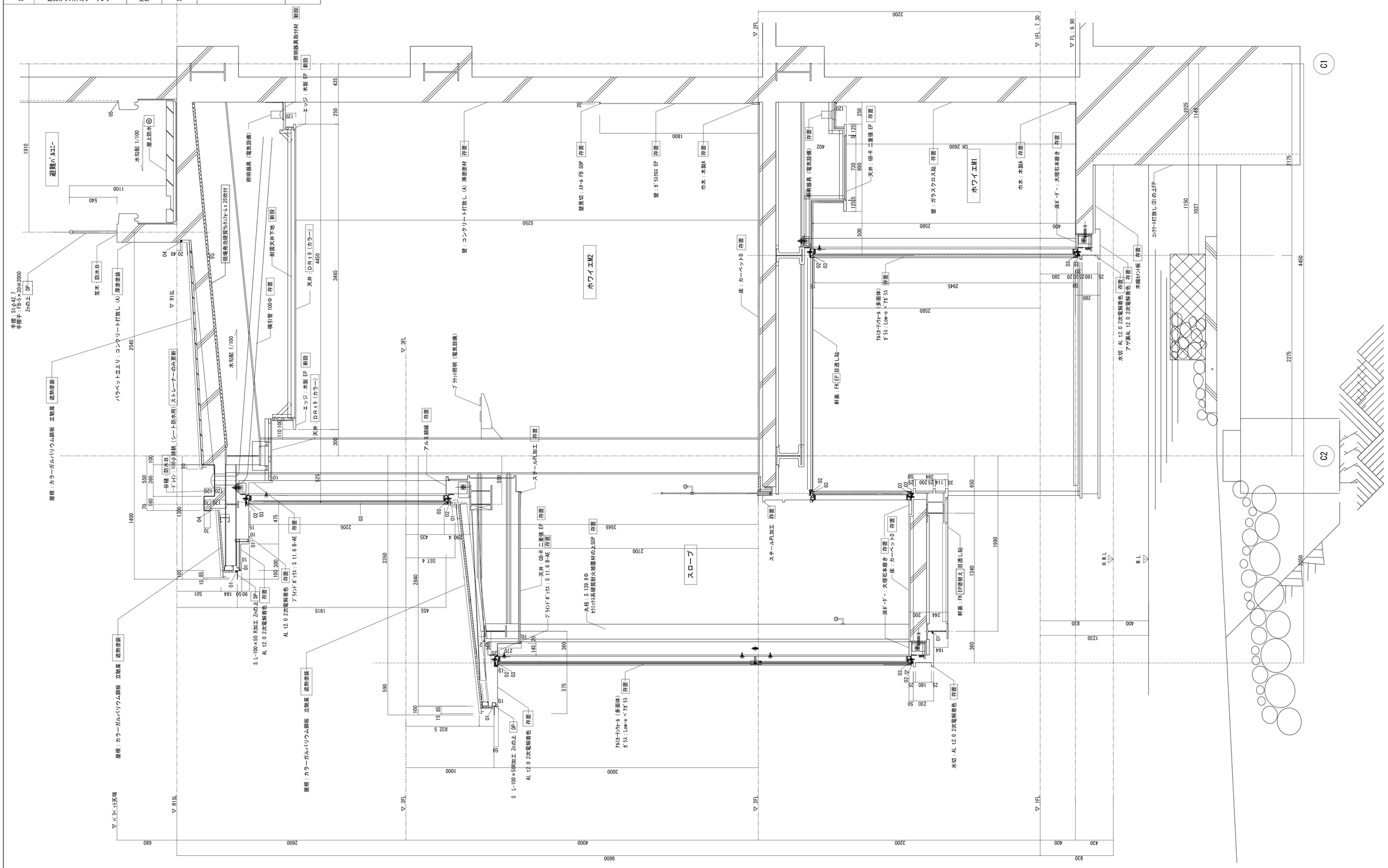
01	金属工事廻りシーリング	撤去	04	金属屋根廻りシーリング	撤去
02	アルミ建具枠廻りシーチング	撤去	05	防水工事シーリング	撤去
03	建具ガラス押えシーリング	撤去	06		



記事		業務名称	工事名称	設計年月
			富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 金属屋根・防水改修（5） ホワイエ断面詳細図１（既存）	縮尺 A1:1/20 A3:1/40
				図面番号 A-037

1　メインホール矩計詳細図１（改修）

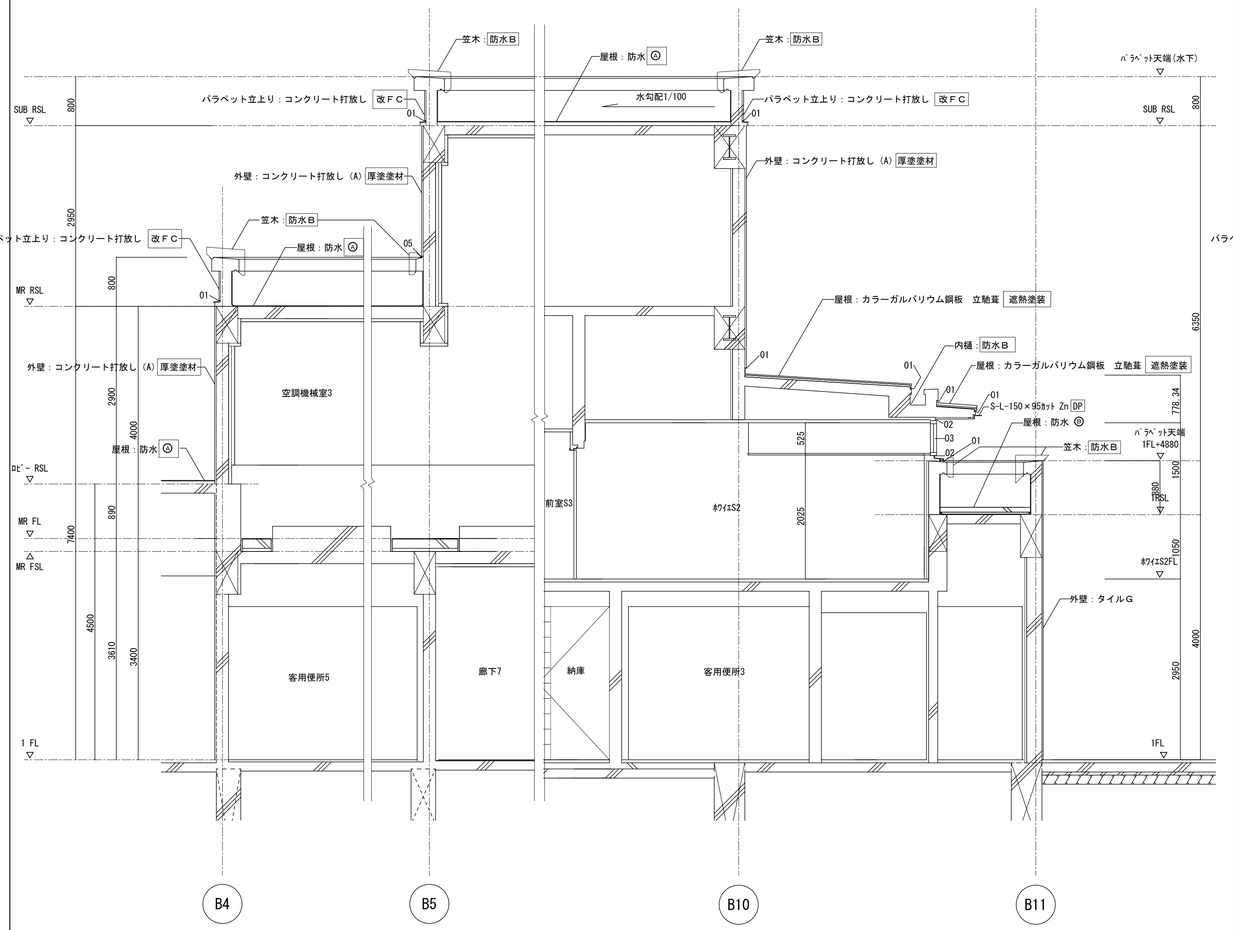
01	金属工事廻りシーリング	更新	04	金属屋根廻りシーリング	更新
02	アルミ建具枠廻りシーチング	更新	05	防水工事シーリング	更新
03	建具ガラス押えシーリング	更新	06		



記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
		株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称	金属屋根・防水改修（6） ホワイエ断面詳細図２（改修）
				縮尺	A1:1/20 A3:1/40
				設計年月	令和6年6月
				図面番号	A-038

1　マルチホール廻り断面詳細図（改修）

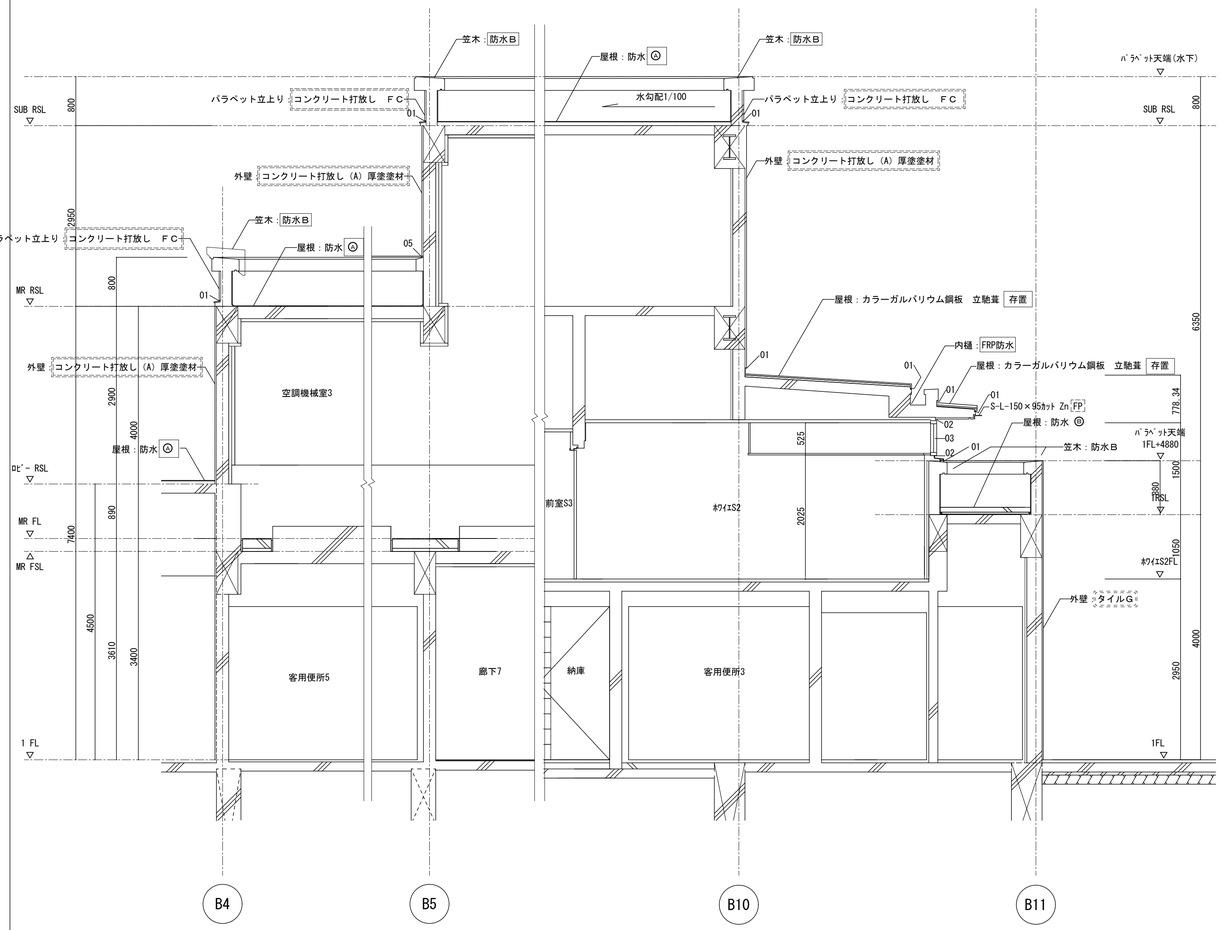
01	金属工事廻りシーリング	更新	04	金属屋根廻りシーリング	更新
02	アルミ建具枠廻りシーチング	更新	05	防水工事	更新
03	建具ガラス押えシーリング	更新	06		



1　マルチホール廻り断面詳細図（既存）

1／50

01	金属工事廻りシーリング	撤去	04	金属屋根廻りシーリング	撤去
02	アルミ建具枠廻りシーチング	撤去	05	防水工事	撤去
03	建具ガラス押えシーリング	撤去	06		



記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

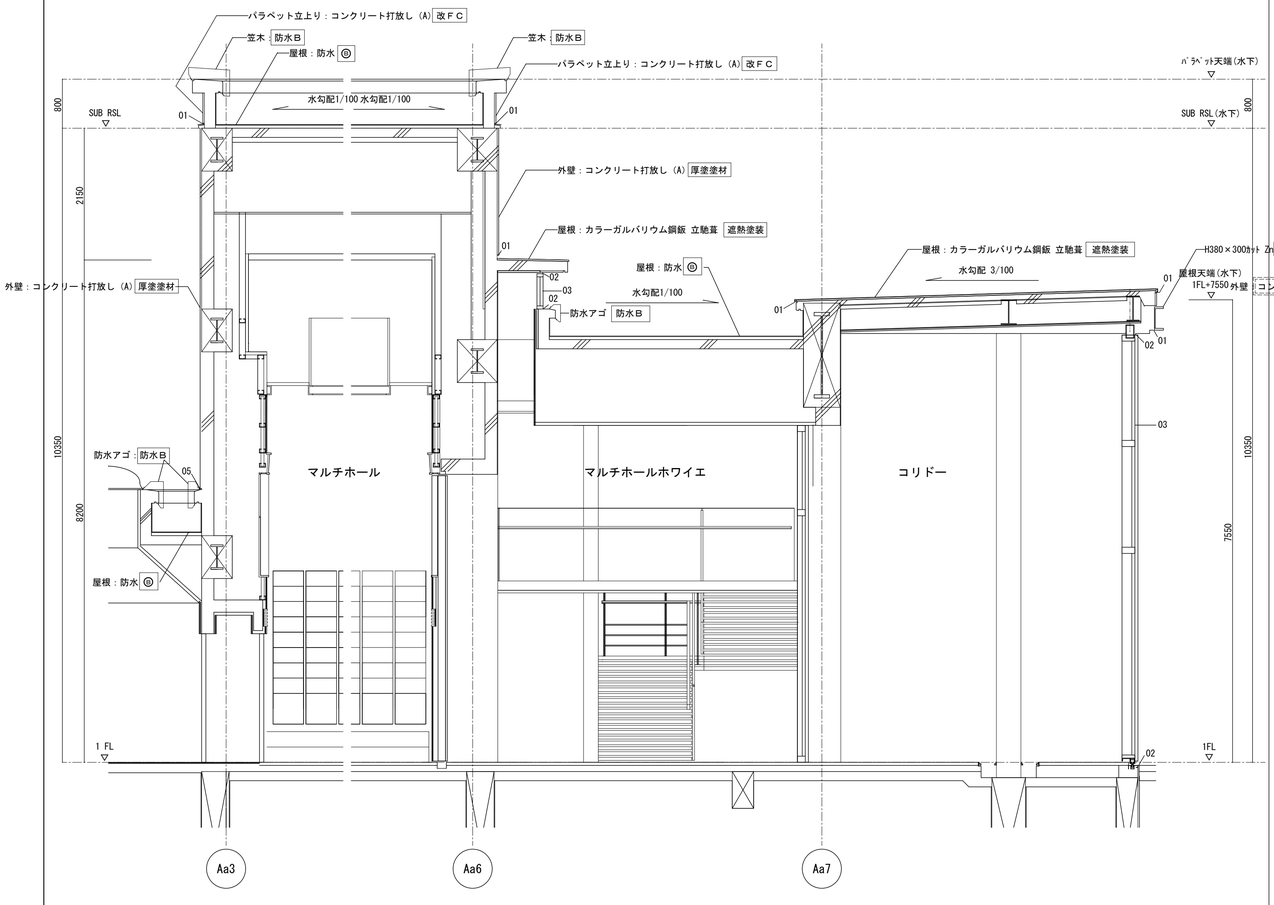
図面名称：金属屋根・防水改修（7）
マルチホール廻り断面詳細図１（既存／改修）

縮尺：A1:1/50
A3:1/100

図面番号：A-039

2　マルチホール廻り断面詳細図（改修）

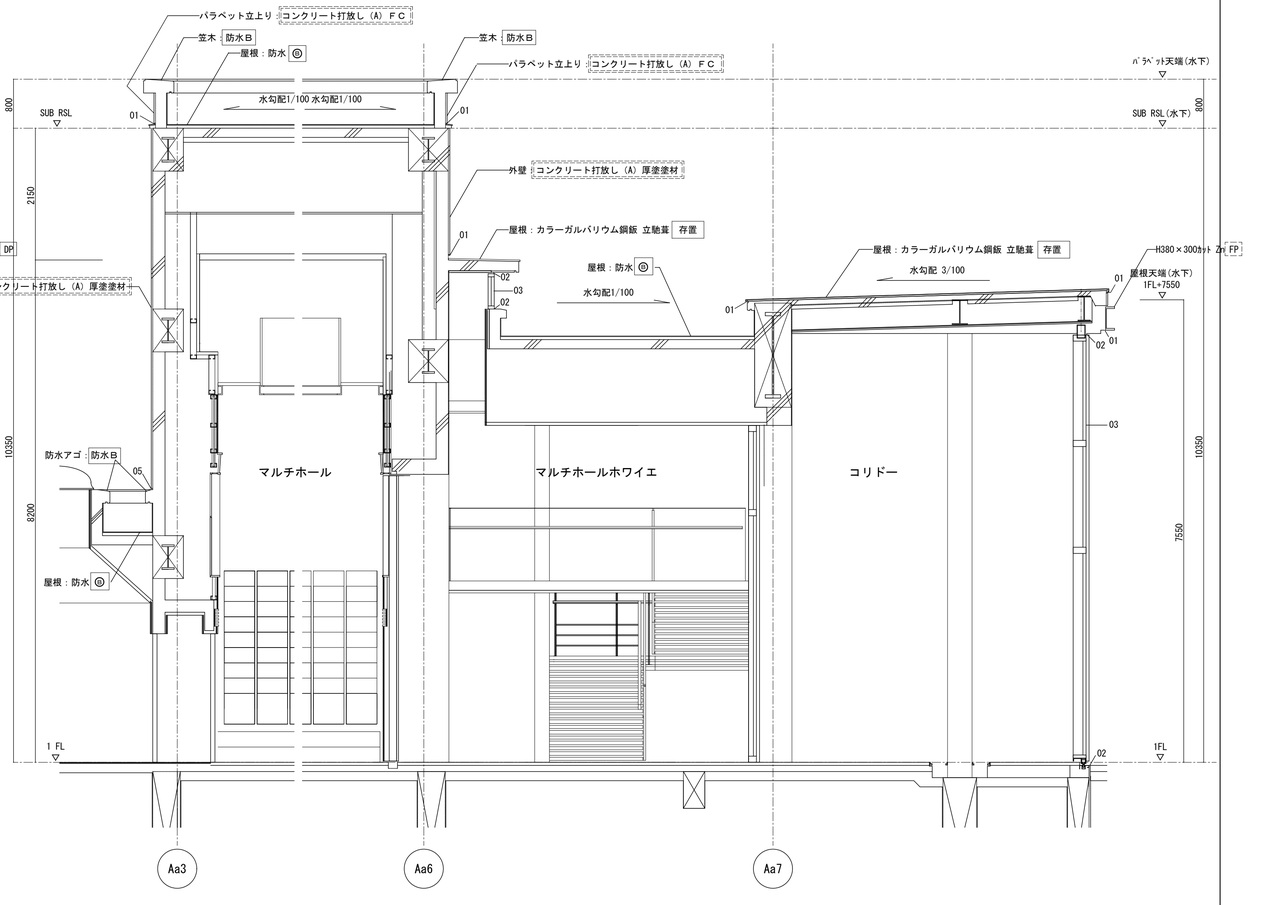
01	金属工事廻りシーリング	更新	04	金属屋根廻りシーリング	更新
02	アルミ建具枠廻りシーチング	更新	05	防水工事シーリング	更新
03	建具ガラス押えシーリング	更新	06		



2　マルチホール廻り断面詳細図（既存）

1／50

01	金属工事廻りシーリング	撤去	04	金属屋根廻りシーリング	撤去
02	アルミ建具枠廻りシーチング	撤去	05	防水工事シーリング	撤去
03	建具ガラス押えシーリング	撤去	06		



記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

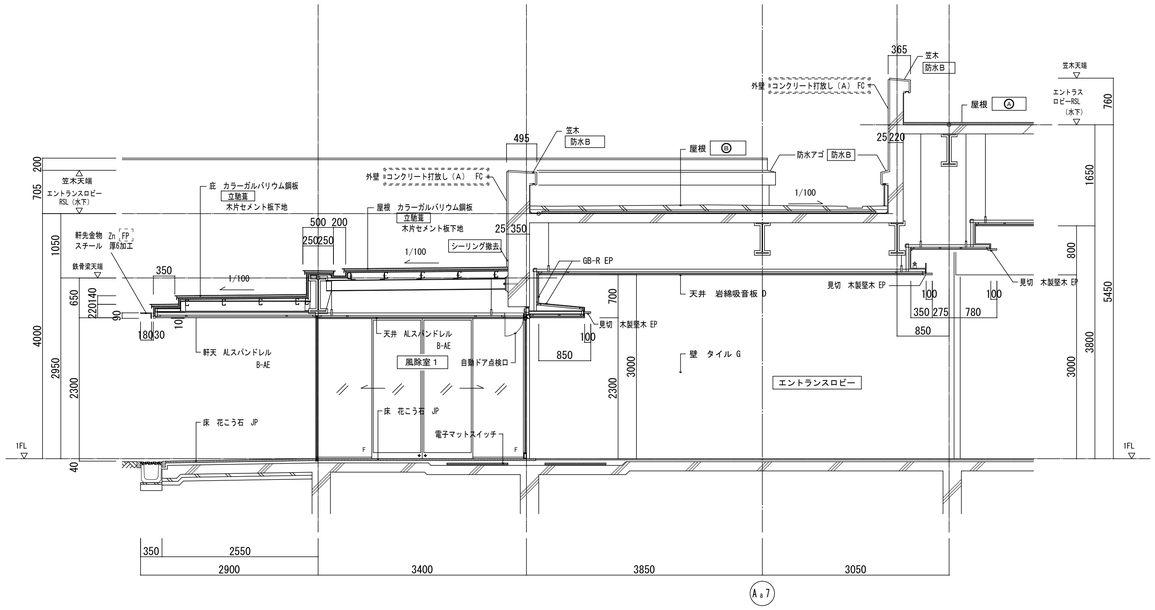
図面名称　金属屋根・防水改修（8）　マルチホール廻り断面詳細図２（既存／改修）

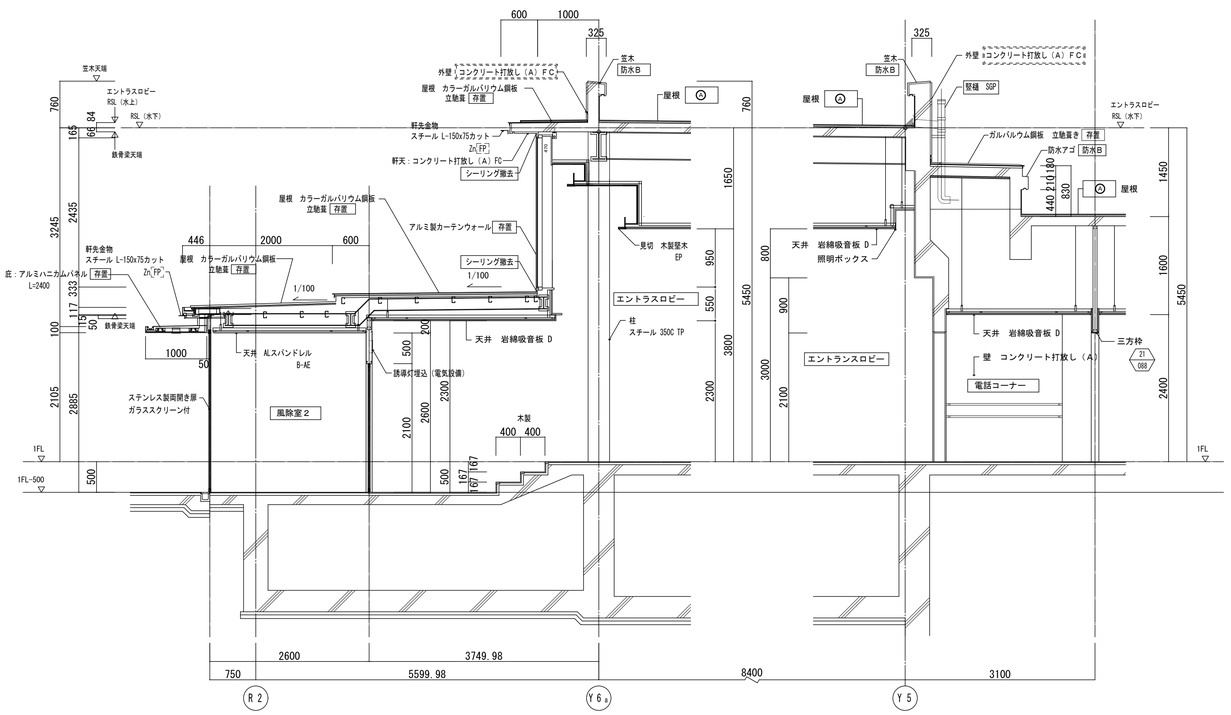
縮尺　A1:1/50　A3:1/100

設計年月　令和6年6月

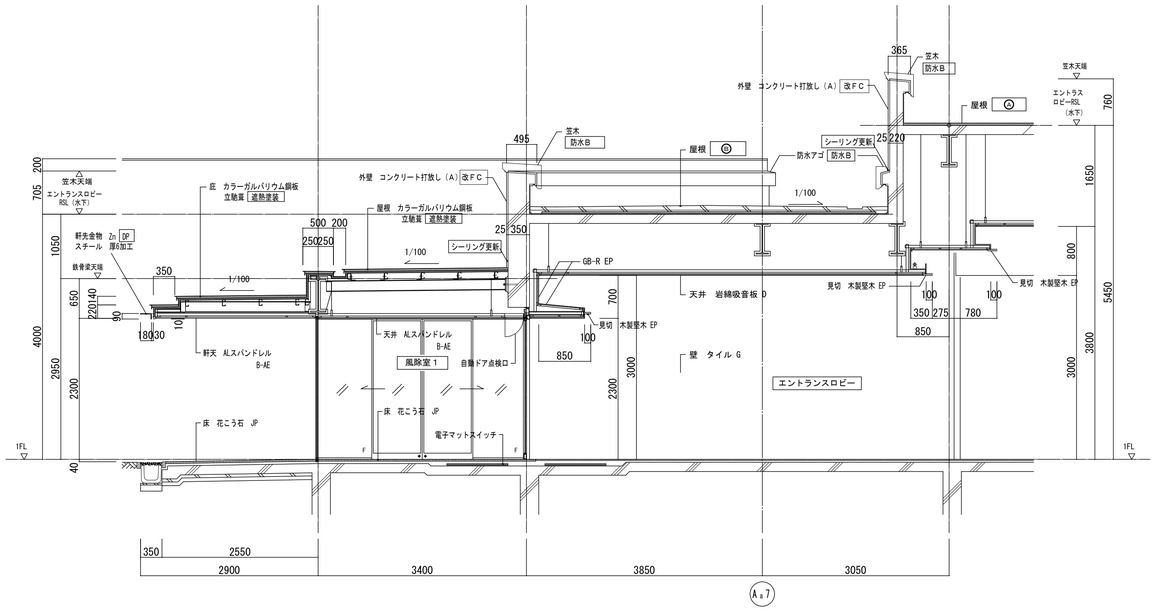
図面番号　A-040

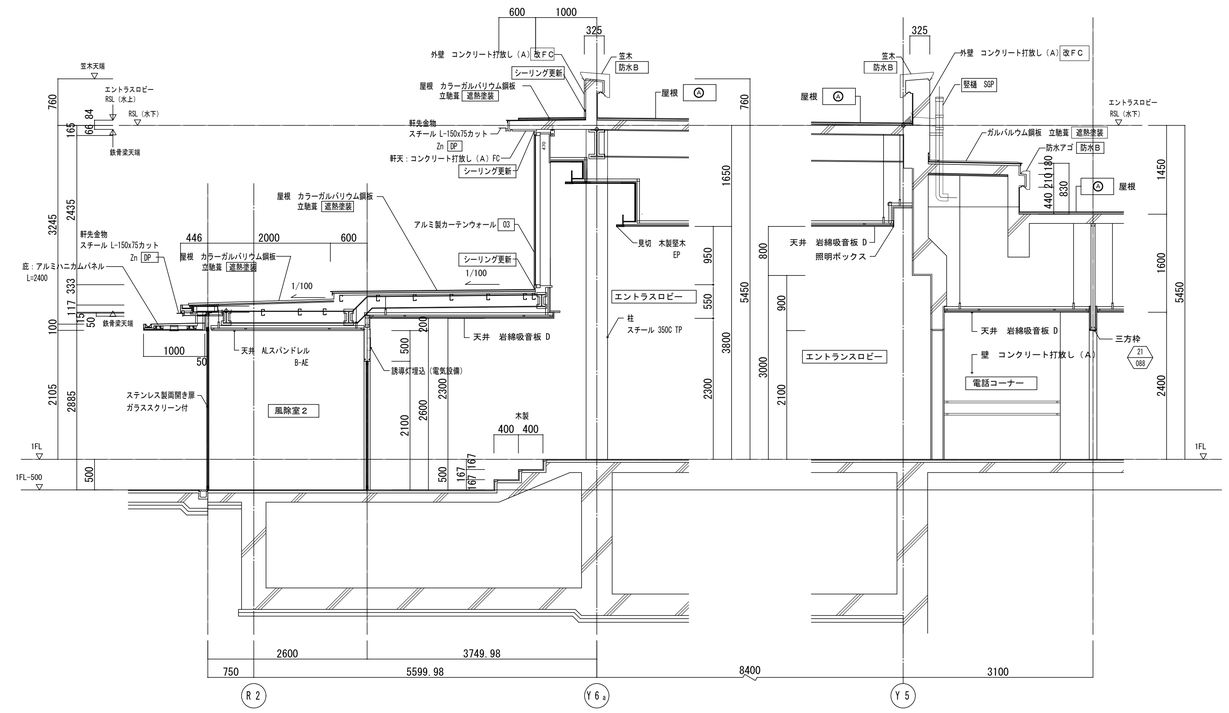
1 風除室１・２断面詳細図（既存） 1/50





1 風除室１・２断面詳細図（改修） 1/20 1/50

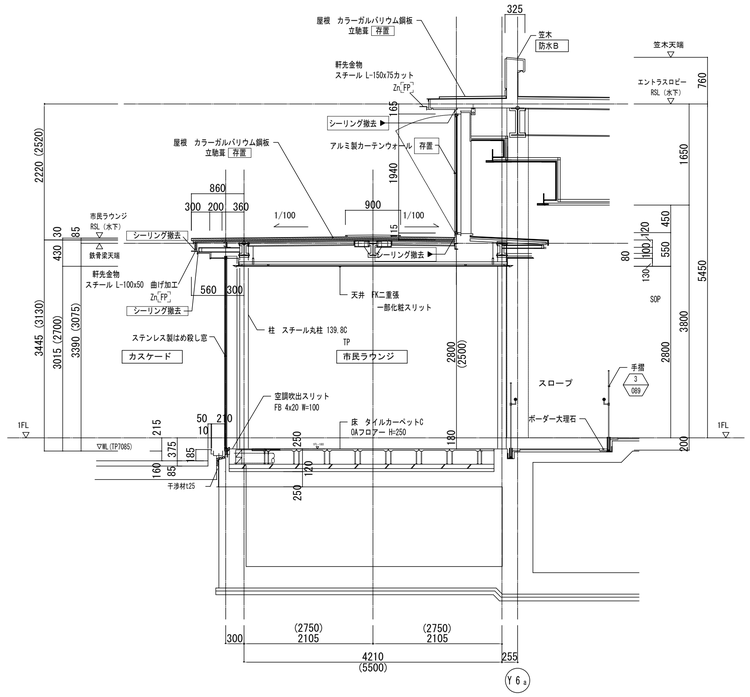


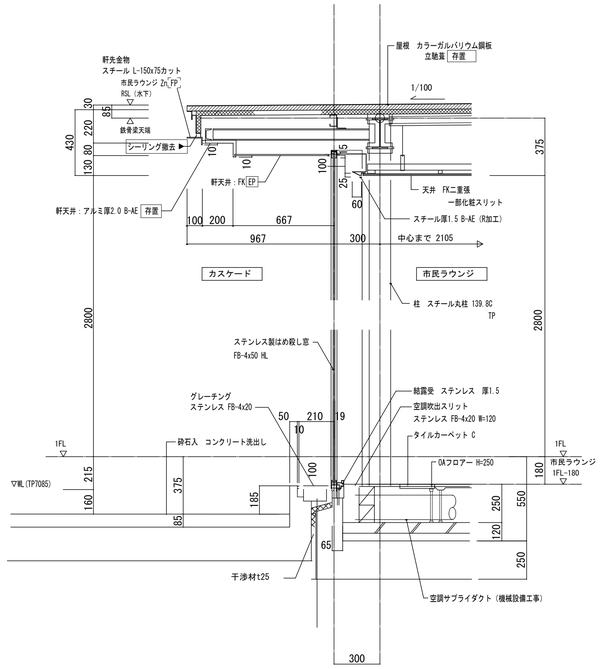


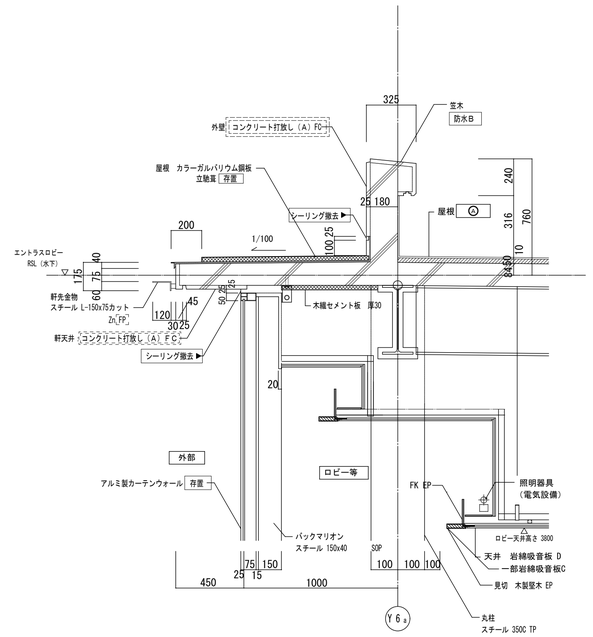
記事	業務名称	工事名称	設計年月
		富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称：金属屋根・防水改修（9） エントランスロビー１（既存／改修）	縮尺：A1:1/50 A3:1/100
			図面番号：A-041

2　市民ラウンジ廻り断面詳細図（既存）

1/20
1/50

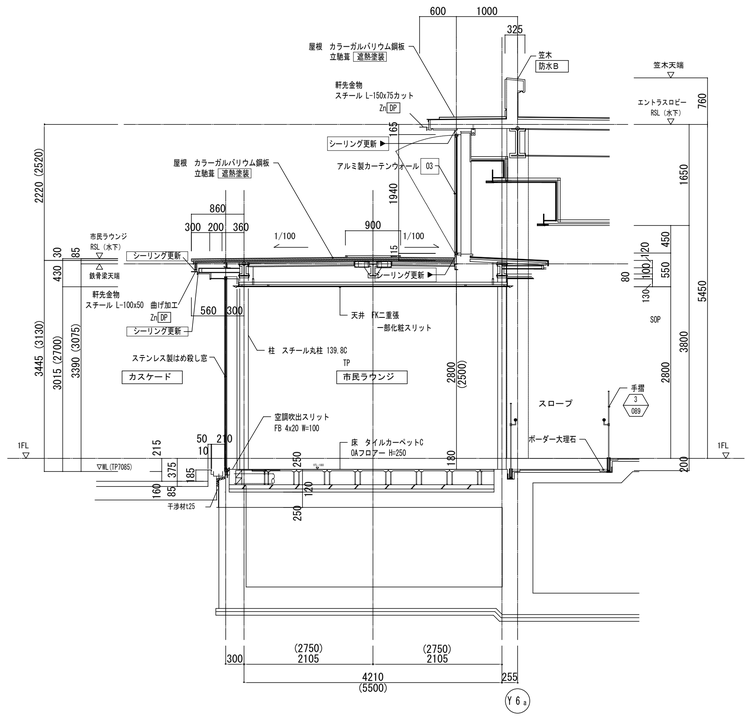


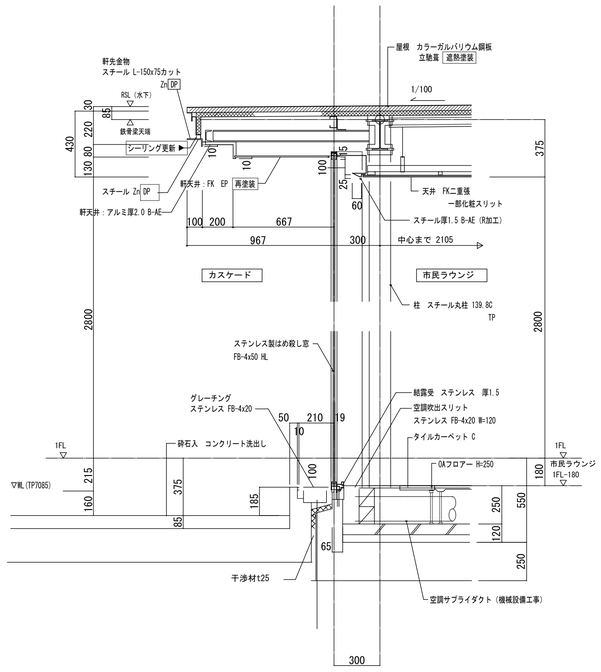


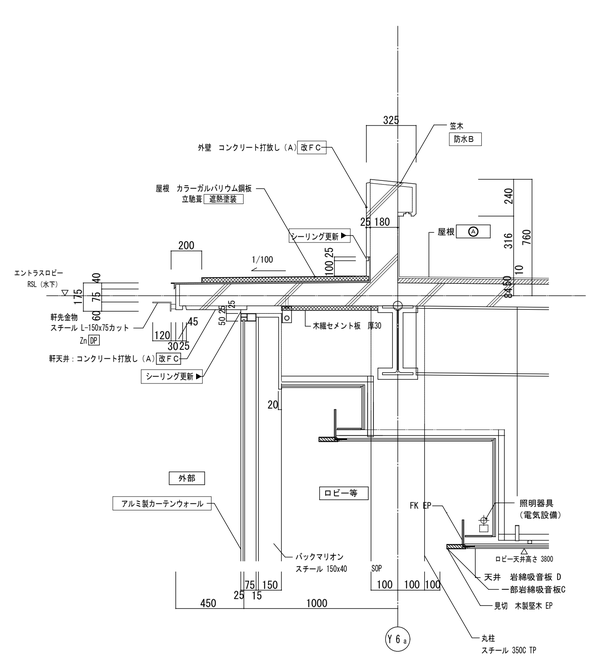


2　市民ラウンジ廻り断面詳細図（改修）

1/20
1/50

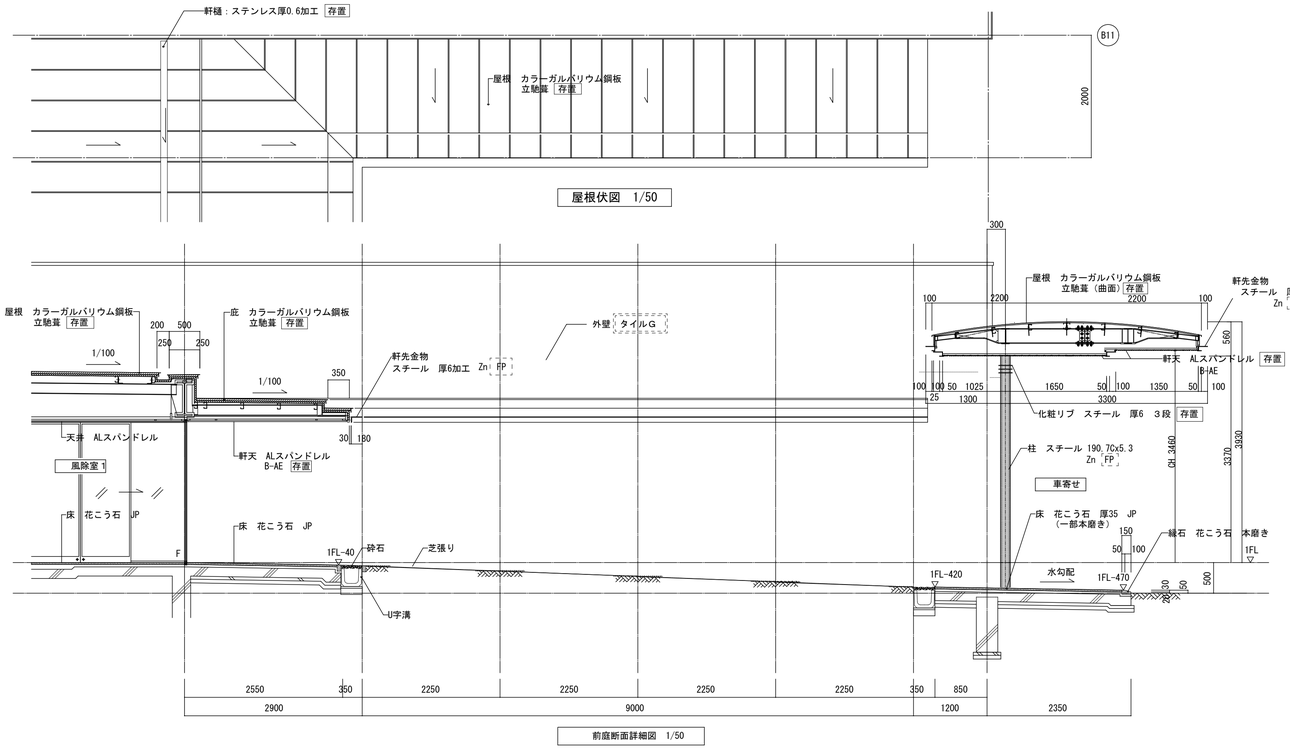




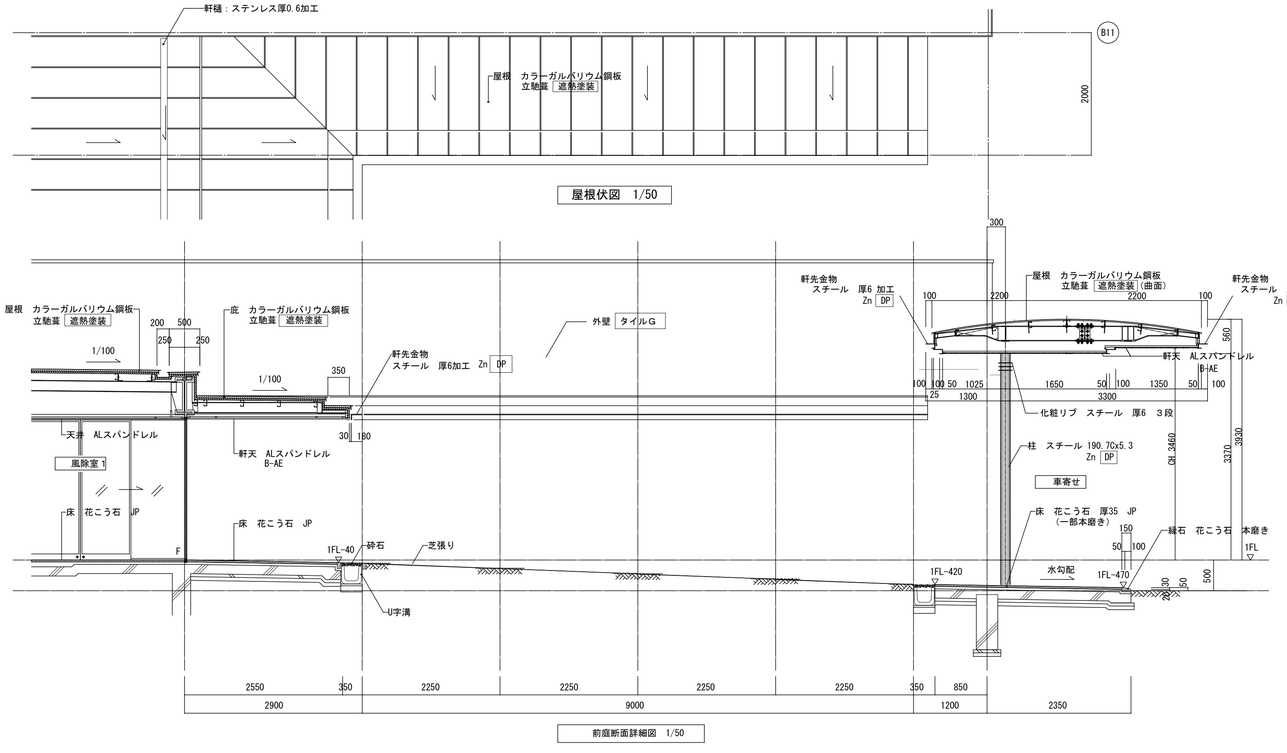


記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月	令和6年6月
		株式会社 綜企画設計　埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	図面名称	金属屋根・防水改修（10） エントランスロビー２（既存／改修）	縮尺	A1:1/20・50 A3:1/40/100
		印				図面番号	A-042

1　エントランスロビー前庭部分詳細図（既存）　　1／20　1／50



1　エントランスロビー前庭部分詳細図（改修）　　1／20　1／50



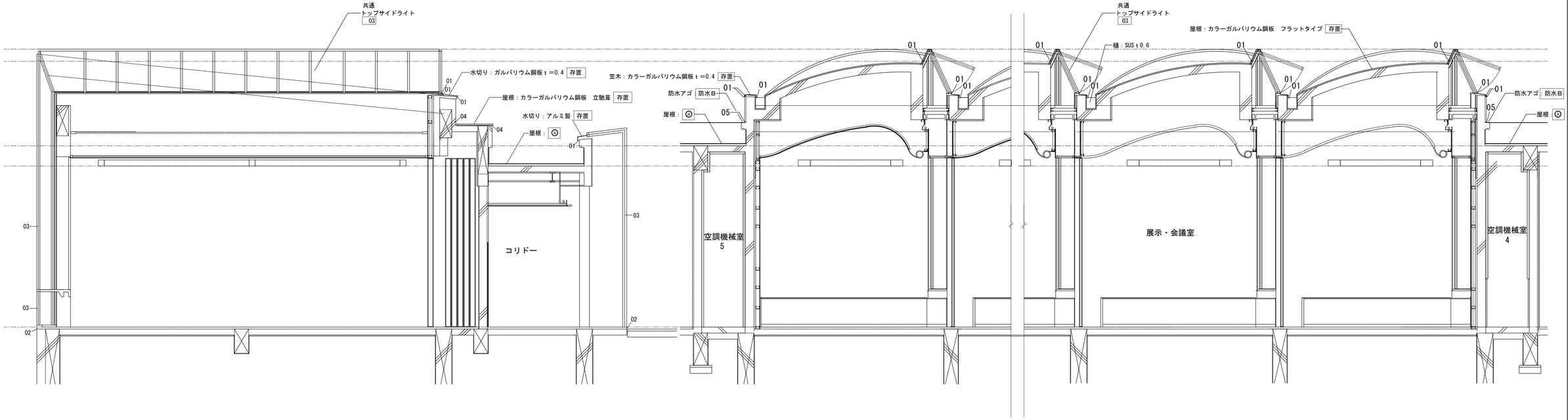
記事

業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称	金属屋根・防水改修（11） 車寄せ・風除室（既存／改修）
		縮尺	A1:1/20・50 A3:1/40・100
		設計年月	令和6年6月
		図面番号	A-043

1　展示・会議室断面詳細図（既存）

1／50

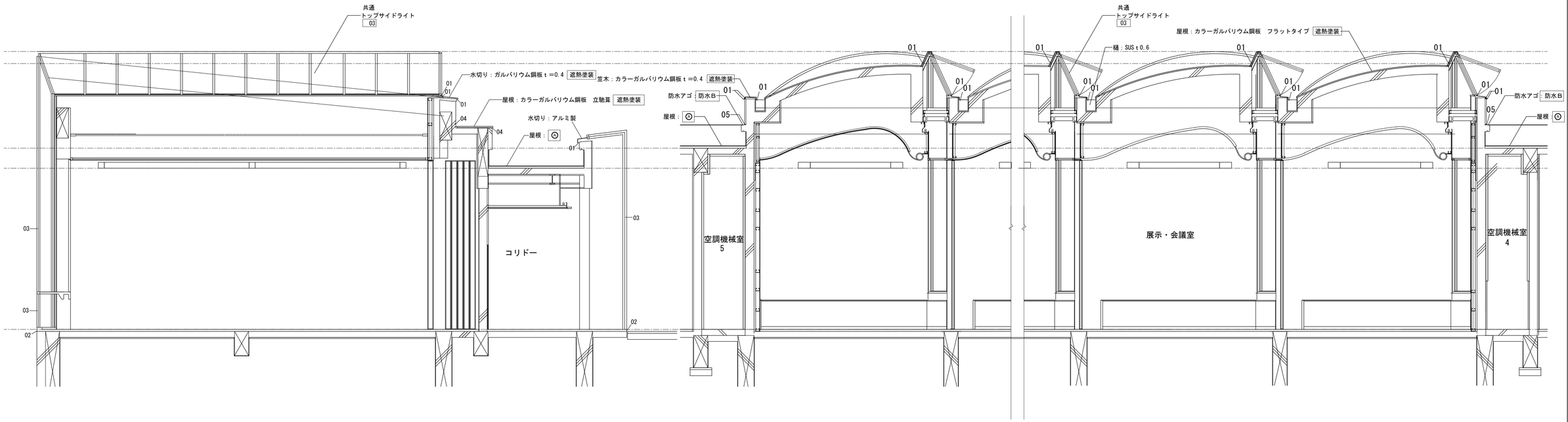
01	金属工事廻りシーリング	撤去	04	金属屋根廻りシーリング	撤去
02	アルミ建具枠廻りシーチング	撤去	05	防水工事シーリング	撤去
03	建具ガラス押えシーリング	撤去	06		



1　展示・会議室断面詳細図（改修）

1／50

01	金属工事廻りシーリング	更新	04	金属屋根廻りシーリング	更新
02	アルミ建具枠廻りシーチング	更新	05	防水工事シーリング	更新
03	建具ガラス押えシーリング	更新	06		



記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

図面名称：金属屋根・防水改修（12）
展示・会議室（既存／改修）

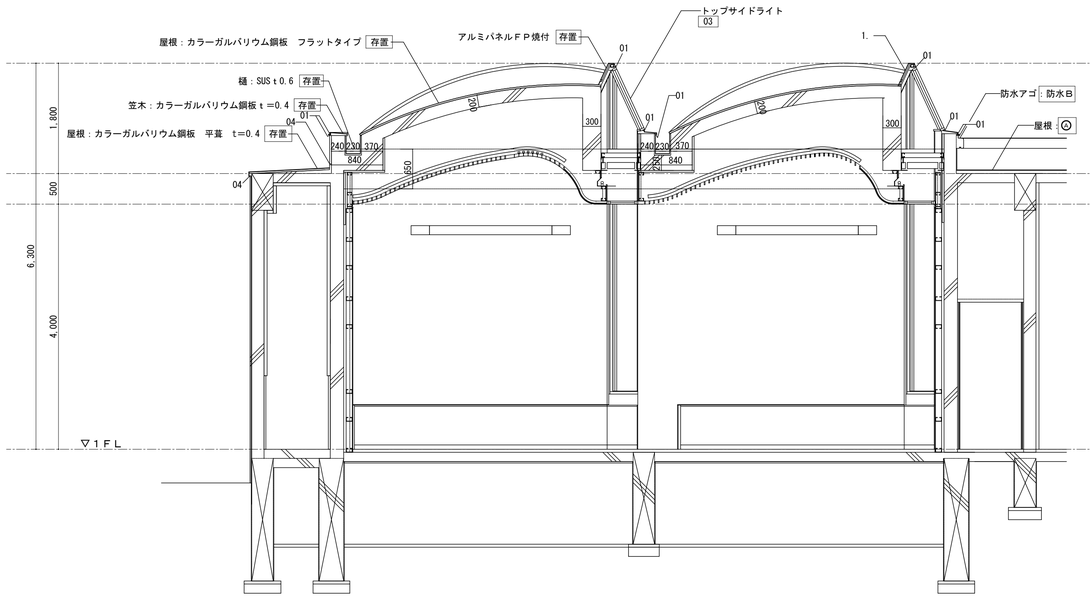
縮尺：A1:1/50
A3:1/100

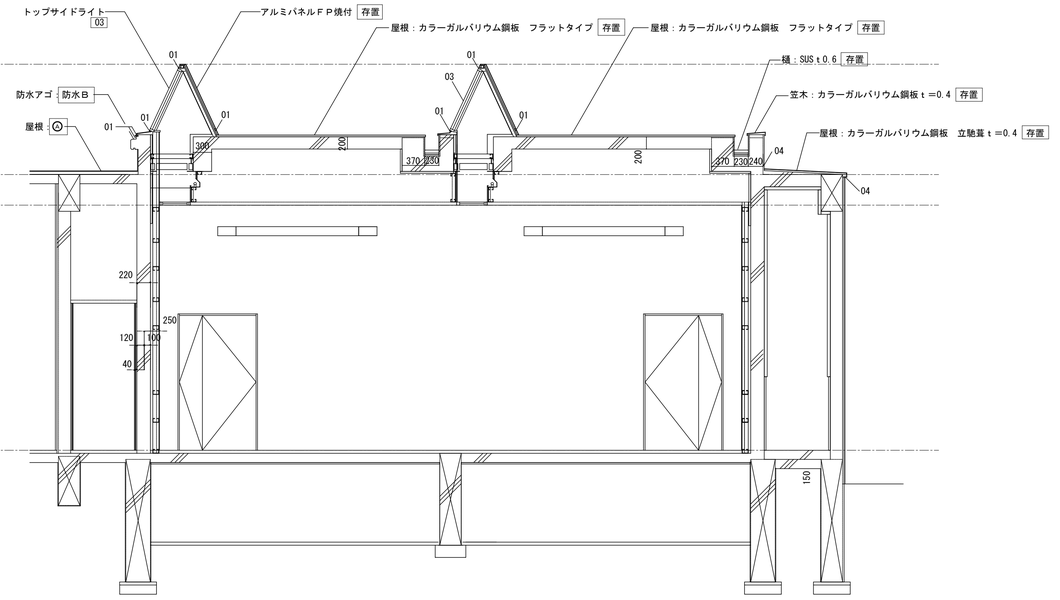
図面番号：A-044

1　展示室廻り断面詳細図（既存）

1／50

01	金属工事廻りシーリング	撤去	04	金属屋根廻りシーリング	撤去
02	アルミ建具枠廻りシーチング	撤去	05		
03	建具ガラス押えシーリング	撤去	06		

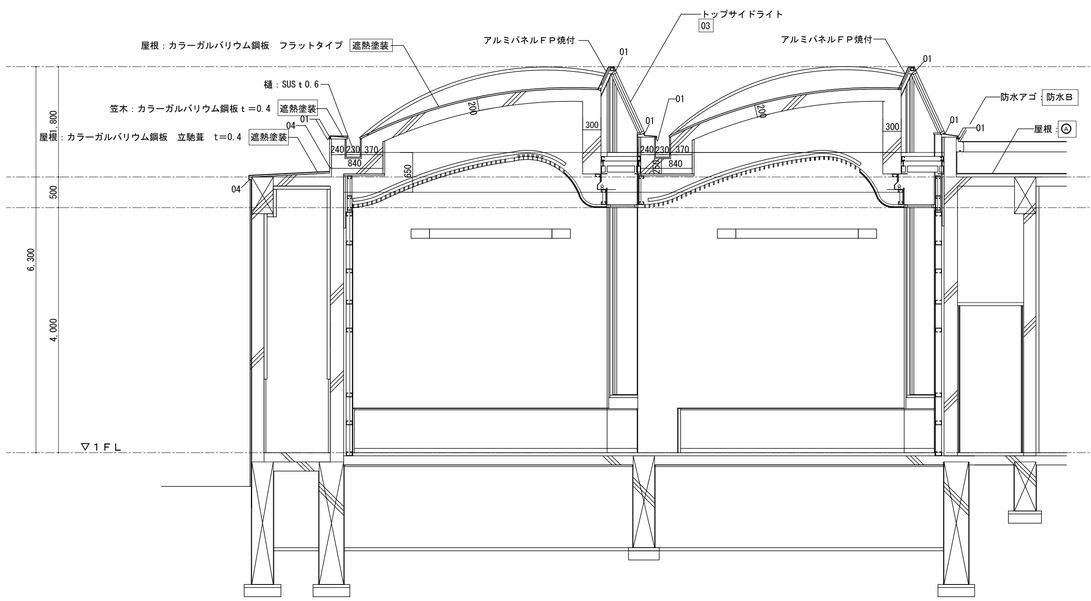


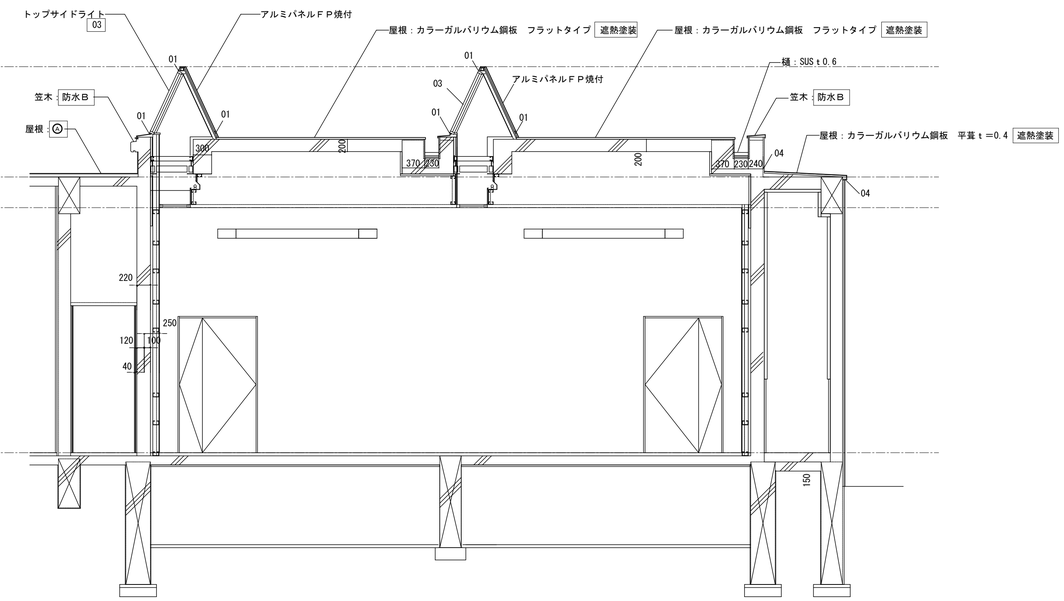


1　展示室廻り断面詳細図（改修）

1／50

01	金属工事廻りシーリング	更新	04	金属屋根廻りシーリング	更新
02	アルミ建具枠廻りシーチング	更新	05		
03	建具ガラス押えシーリング	更新	06		





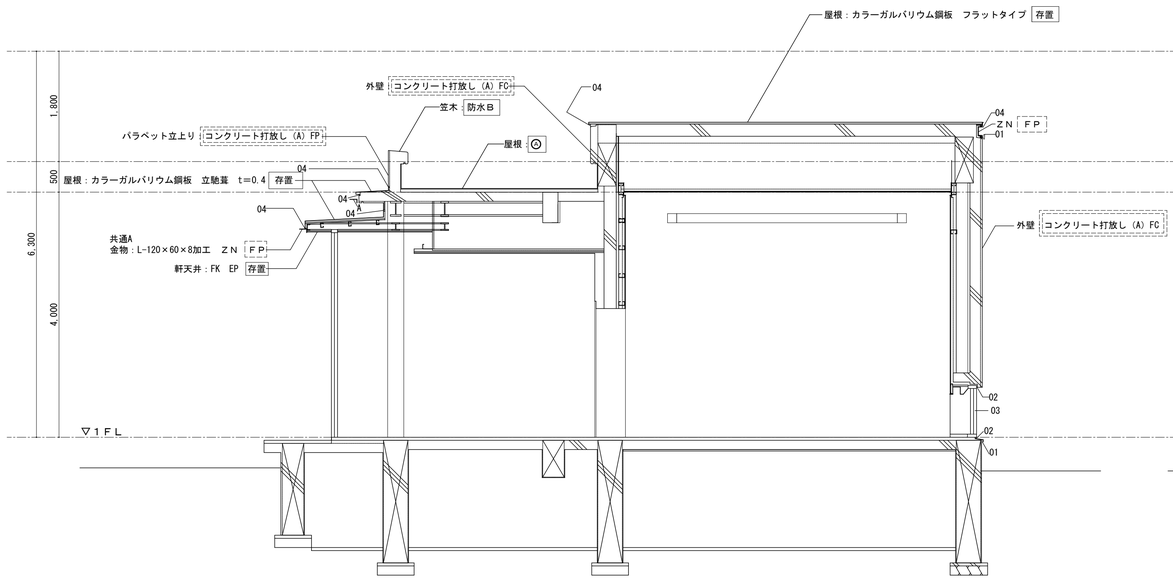
記事

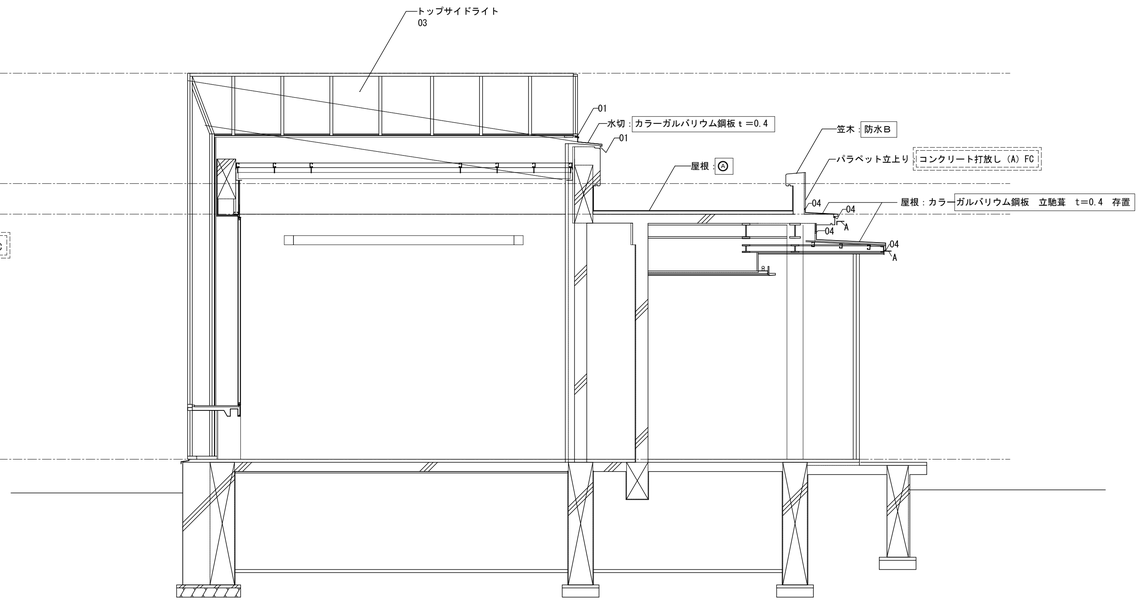
業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
			設計年月　令和6年6月
株式会社 綜企画設計　埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称　金属屋根・防水改修（13） 展示室断面詳細図１（既存／改修）
			縮尺　A1:1/50 A3:1/100
			図面番号　A-045

2　展示室廻り断面詳細図（既存）

1／50

01	金属工事廻りシーリング	撤去	04	金属屋根廻りシーリング	撤去
02	アルミ建具枠廻りシーチング	撤去	05		
03	建具ガラス押えシーリング	撤去	06		

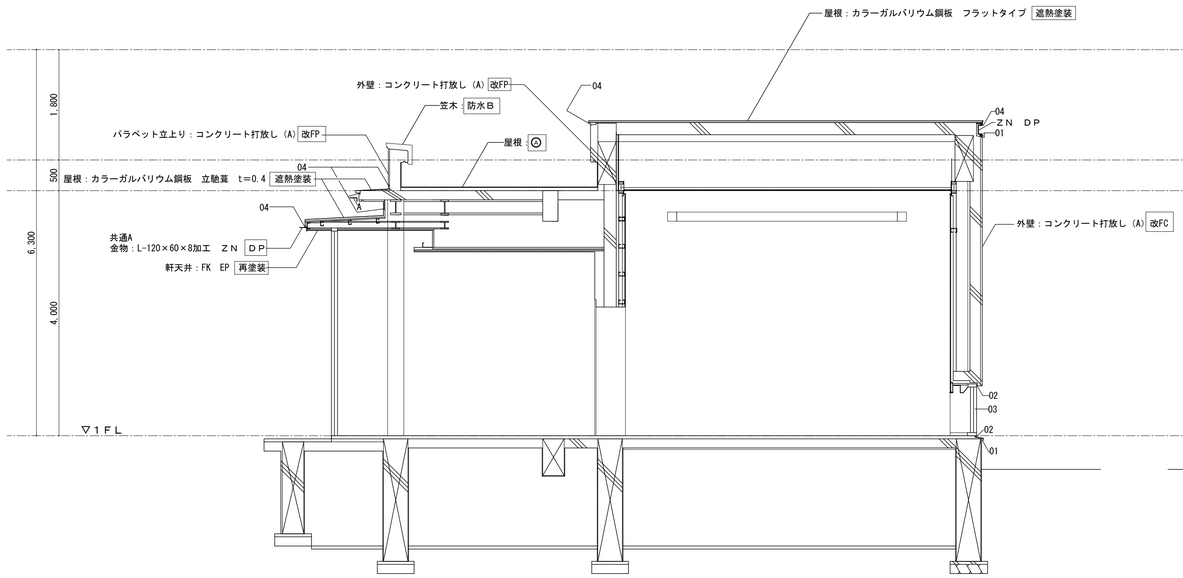


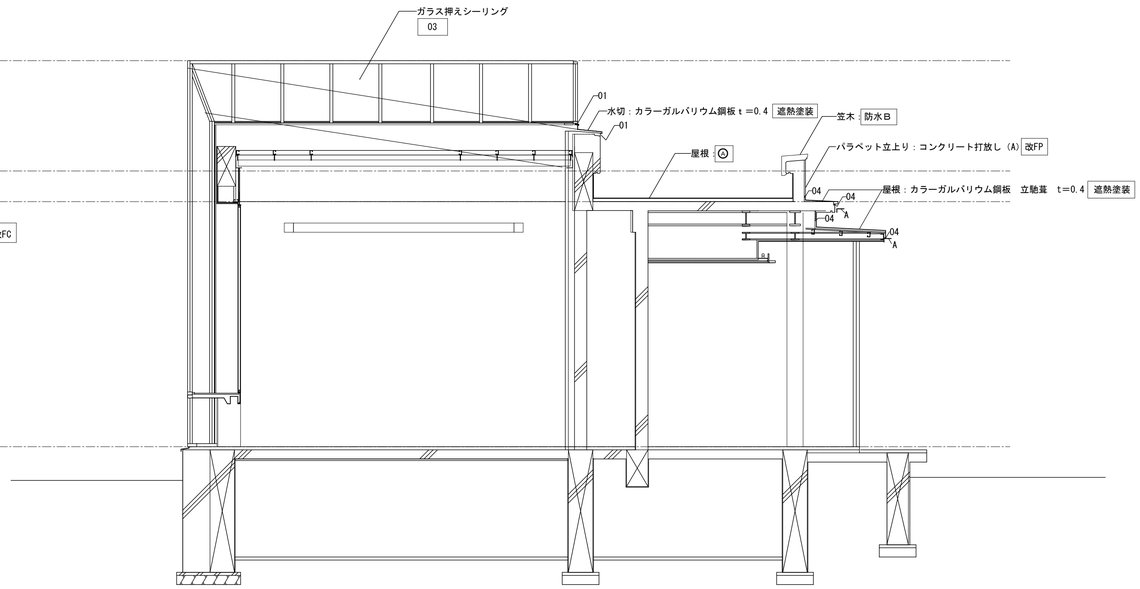


2　展示室廻り断面詳細図（改修）

1／50

01	金属工事廻りシーリング	更新	04	金属屋根廻りシーリング	更新
02	アルミ建具枠廻りシーチング	更新	05		
03	建具ガラス押えシーリング	更新	06		





記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

図面名称：金属屋根・防水改修（14）
展示室断面詳細図２（既存／改修）

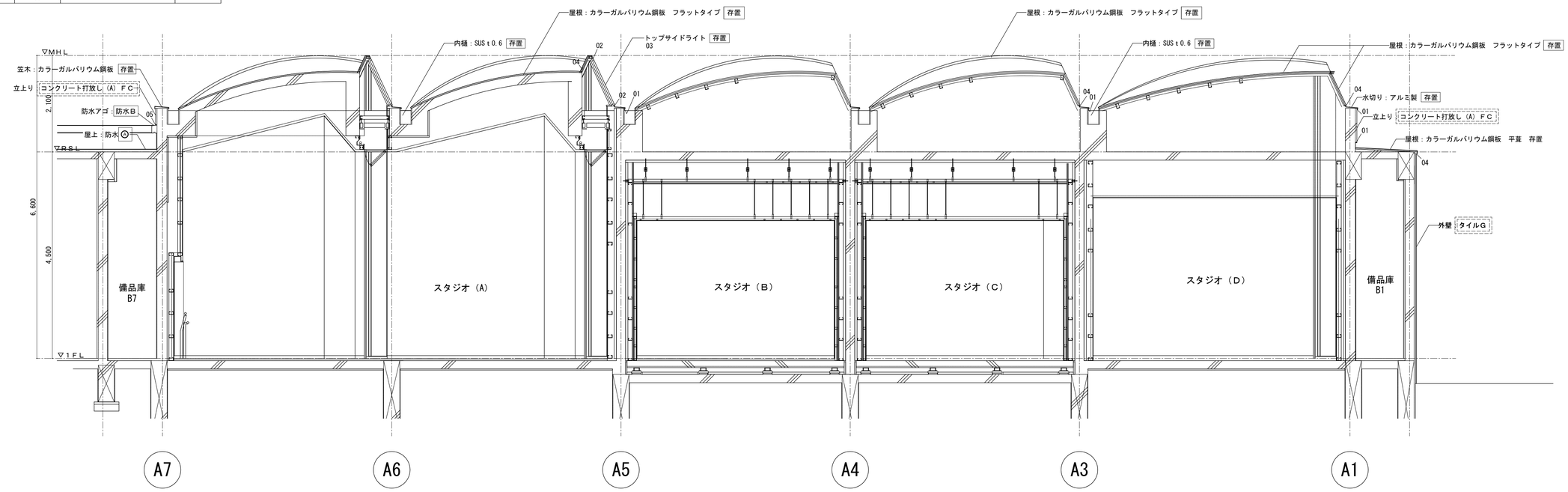
縮尺：A1:1/50　A3:1/100

図面番号：A-046

1　スタジオＡ～Ｄ断面詳細図（既存）

1／５０

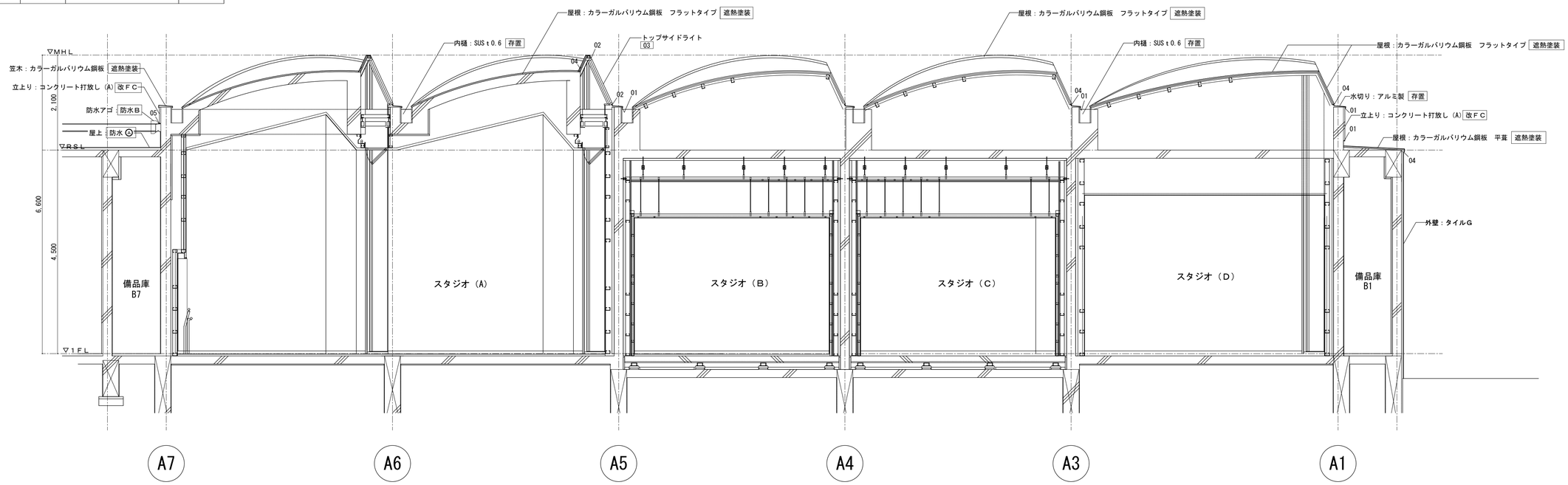
01	金属工事廻りシーリング	撤去	04	金属屋根廻りシーリング	撤去
02	アルミ建具枠廻りシーチング	撤去	05	防水工事シーリング	撤去
03	建具ガラス押えシーリング	撤去	06		



1　スタジオＡ～Ｄ断面詳細図（改修）

1／５０

01	金属工事廻りシーリング	更新	04	金属屋根廻りシーリング	更新
02	アルミ建具枠廻りシーチング	更新	05	防水工事シーリング	更新
03	建具ガラス押えシーリング	更新	06		



記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

図面名称：金属屋根・防水改修（15）
スタジオＡ～Ｄ断面詳細図１（既存／改修）

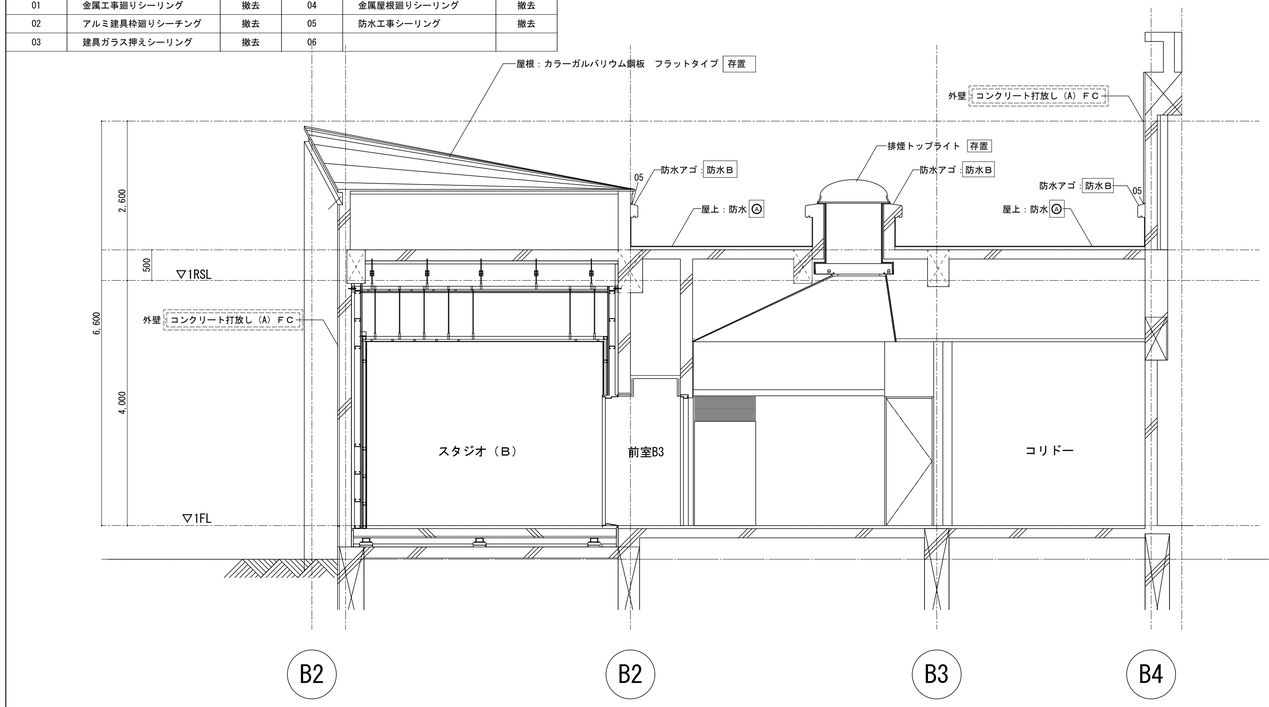
縮尺：A1:1/50
A3:1/100

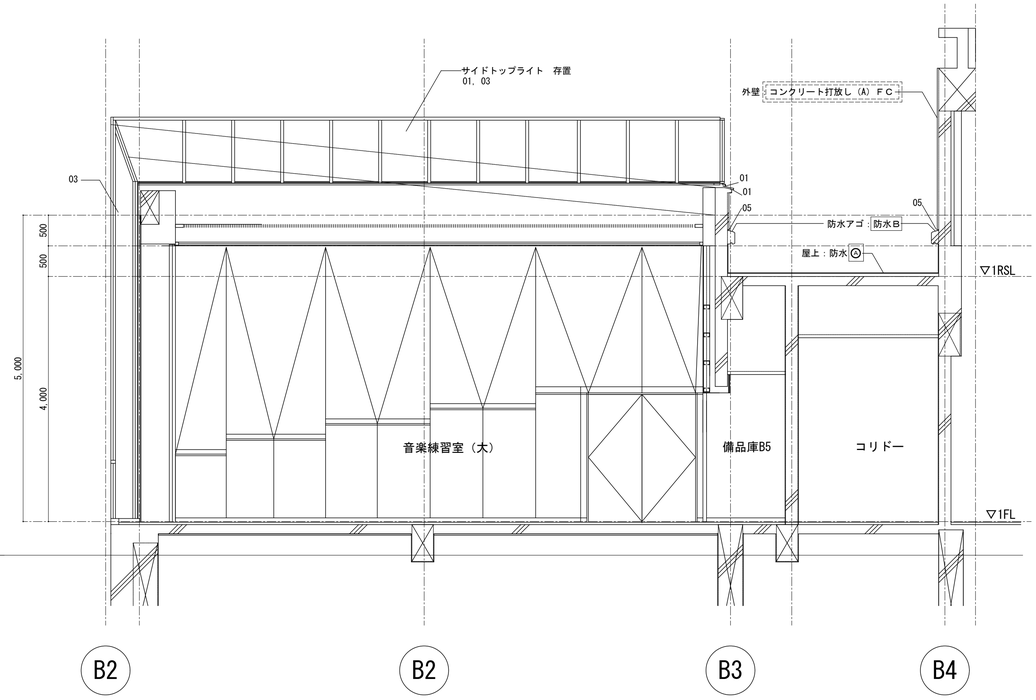
図面番号：A-047

2　スタジオＡ・Ｂ断面詳細図（既存）

1／50

01	金属工事廻りシーリング	撤去	04	金属屋根廻りシーリング	撤去
02	アルミ建具枠廻りシーチング	撤去	05	防水工事シーリング	撤去
03	建具ガラス押えシーリング	撤去	06		

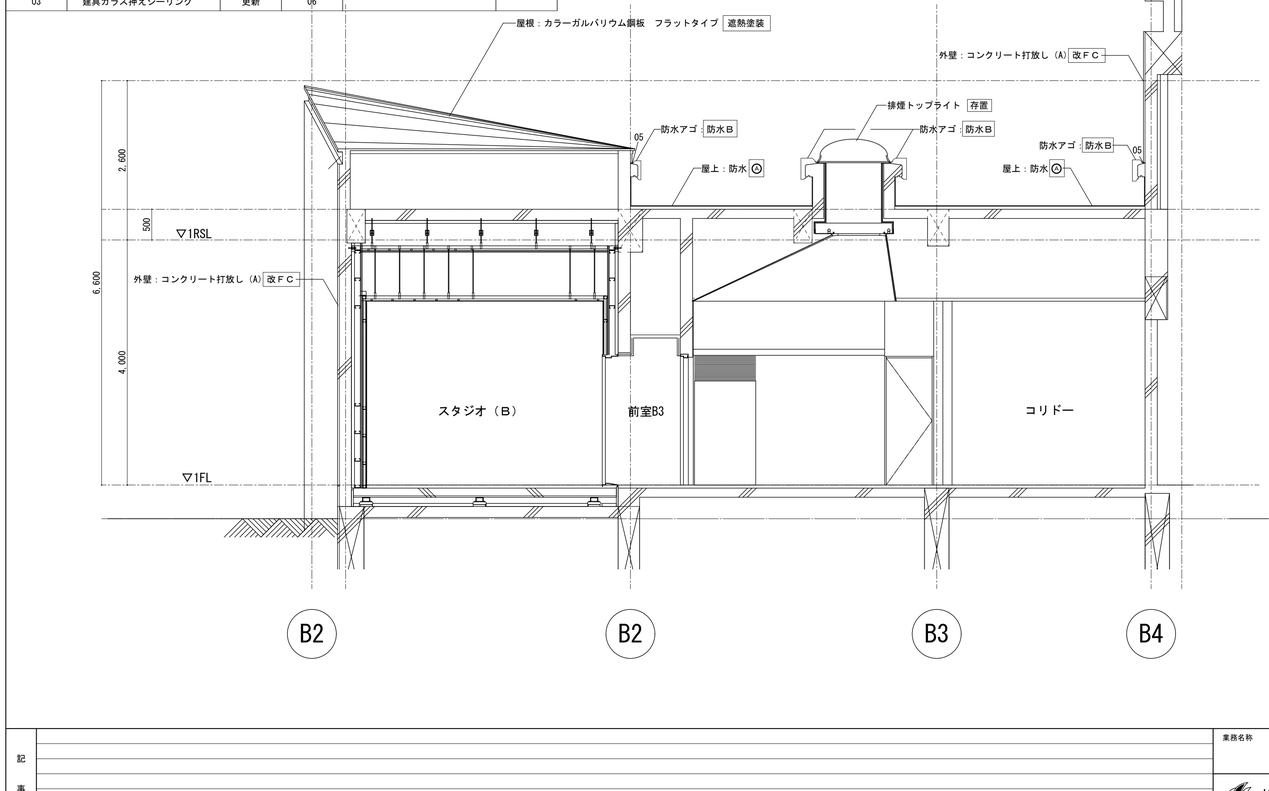


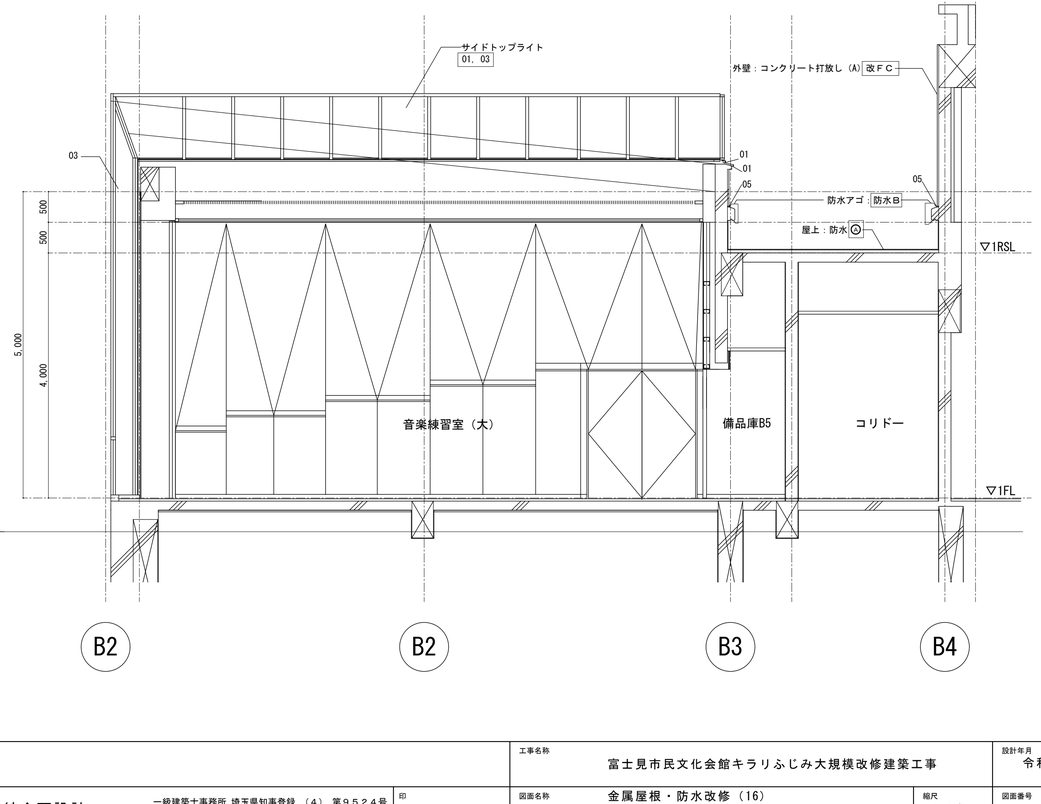


2　スタジオＡ・Ｂ断面詳細図（改修）

1／50

01	金属工事廻りシーリング	更新	04	金属屋根廻りシーリング	更新
02	アルミ建具枠廻りシーチング	更新	05	防水工事シーリング	更新
03	建具ガラス押えシーリング	更新	06		





記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉

印

工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月　令和6年6月

図面名称　金属屋根・防水改修（16）
スタジオＡ～Ｄ断面詳細図２（既存／改修）

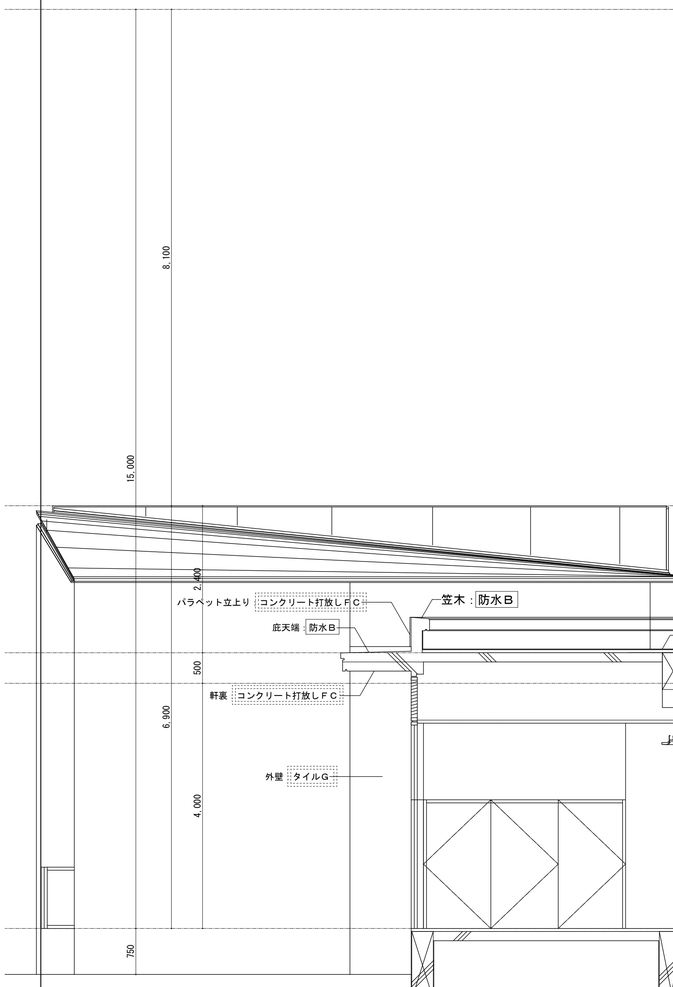
縮尺　A1：1/50　A3：1/100

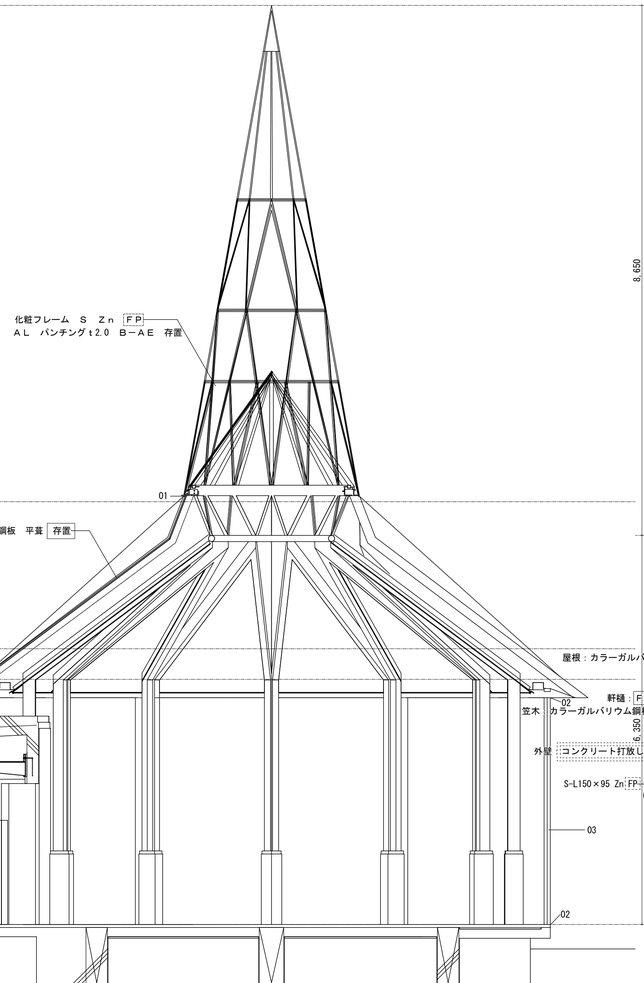
図面番号　A-048

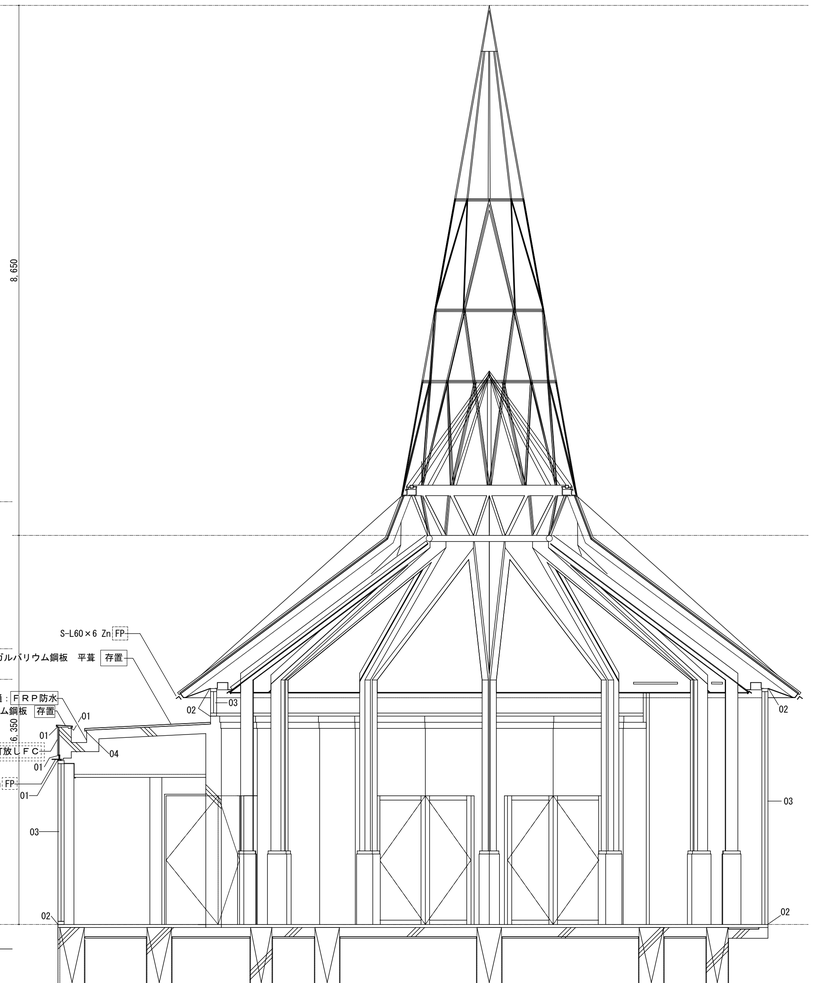
1　展示室廻り断面詳細図（既存）

1／50

01	金属工事廻りシーリング	撤去	04	金属屋根廻りシーリング	撤去
02	アルミ建具枠廻りシーチング	撤去	05		
03	建具ガラス押えシーリング	撤去	06		





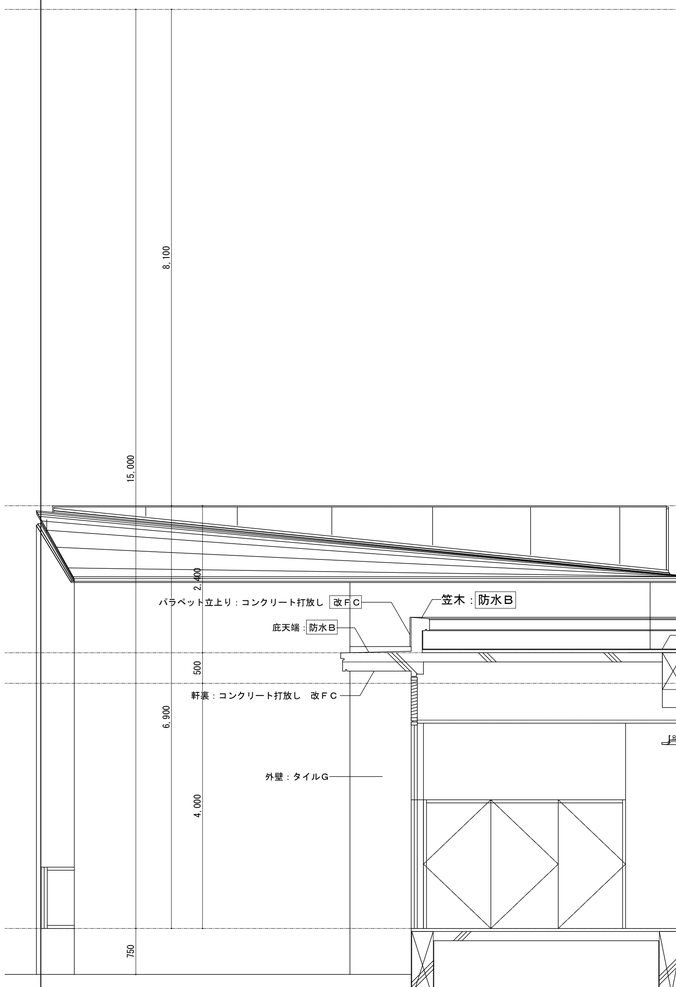


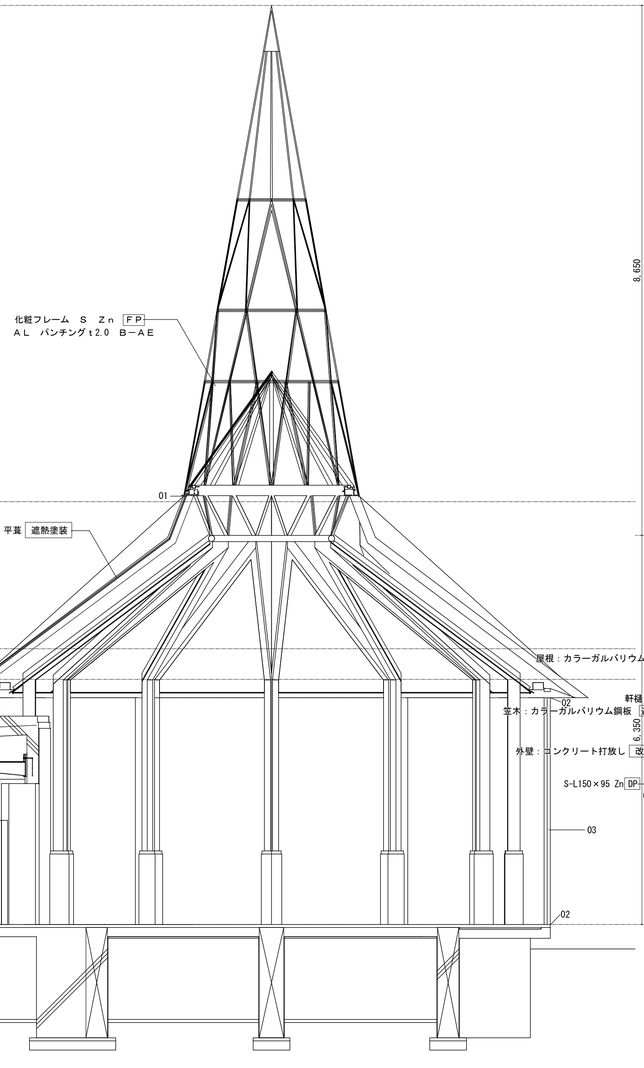
記事		業務名称		工事名称		設計年月
				富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		令和6年6月
		株式会社 綜企画設計　埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	図面名称	縮尺	図面番号
			印	アトリエ断面詳細図（既存）	A1:1/50 A3:1/100	A-049

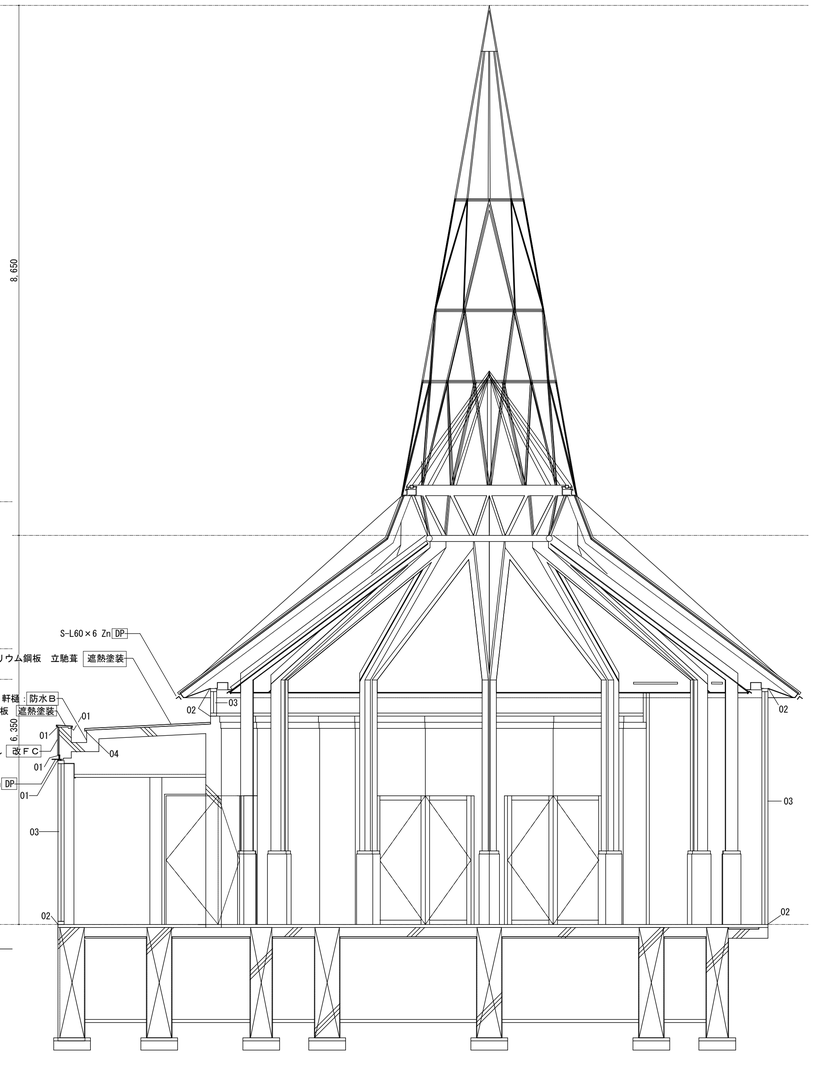
1	展示室廻り断面詳細図（改修）				

01	金属工事廻りシーリング	更新	04	金属屋根廻りシーリング	更新
02	アルミ建具枠廻りシーチング	更新	05		
03	建具ガラス押えシーリング	更新	06		

1／50



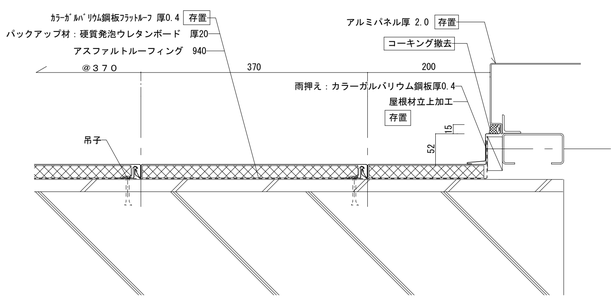




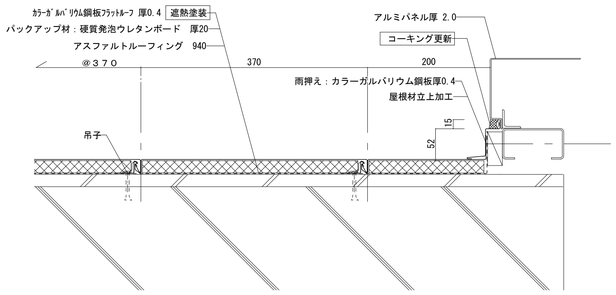
記事		業務名称	工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	令和6年6月
		印	図面名称 アトリエ２断面詳細図（改修）	縮尺 A1：1/50 A3：1/100
				図面番号 A-050

1 捨谷パネル取合い　納め断面詳細図　1／5

既　存

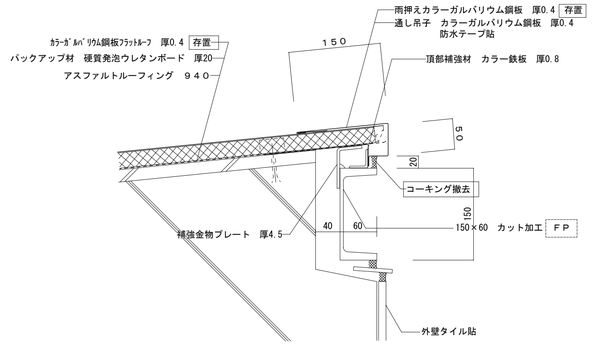


改　修

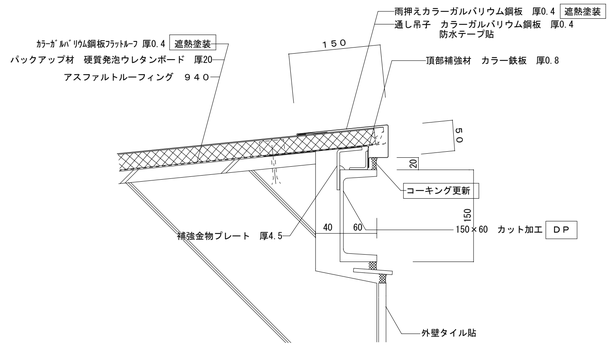


2 水上頂部　納め断面詳細図　1／5

既　存

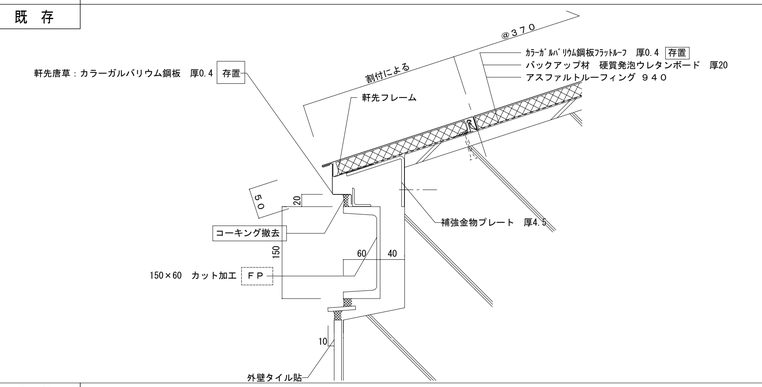


改　修

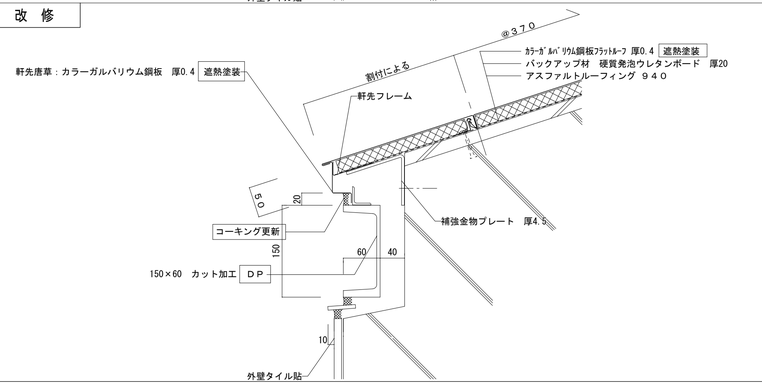


3 妻側　納め断面詳細図　1／5

既　存

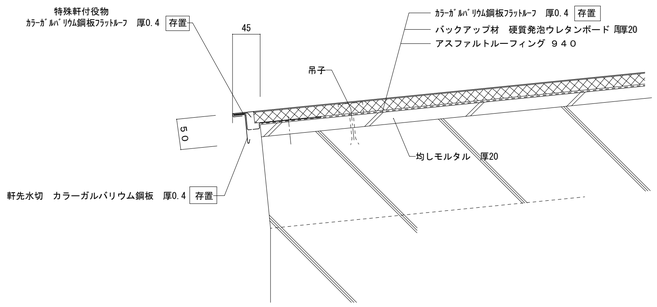


改　修

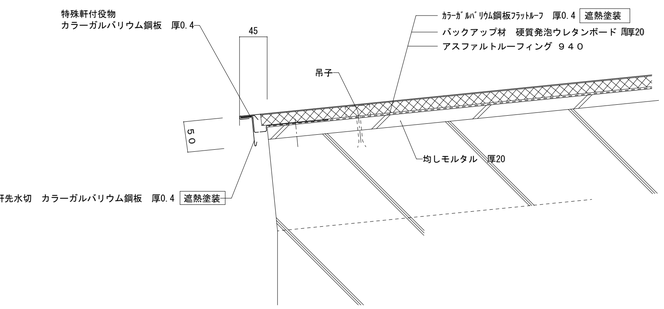


4 軒先　納め断面詳細図　1／5

既　存

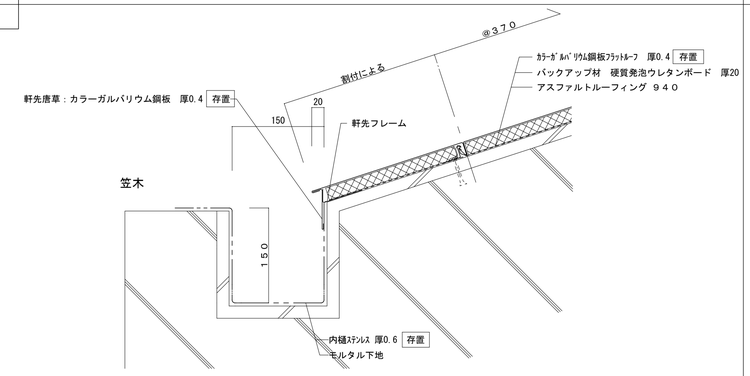


改　修

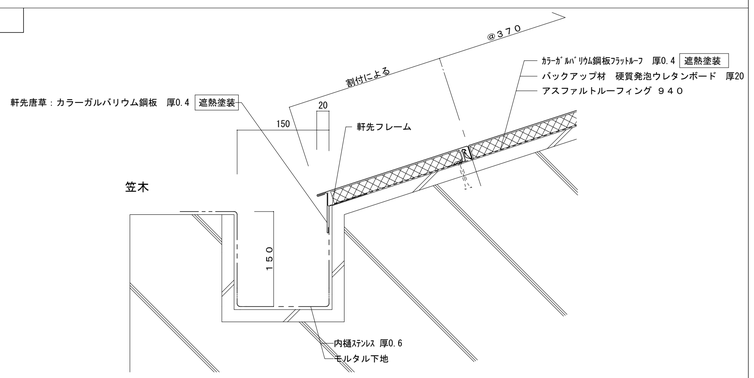


5 軒先内樋　納め断面詳細図　1／5

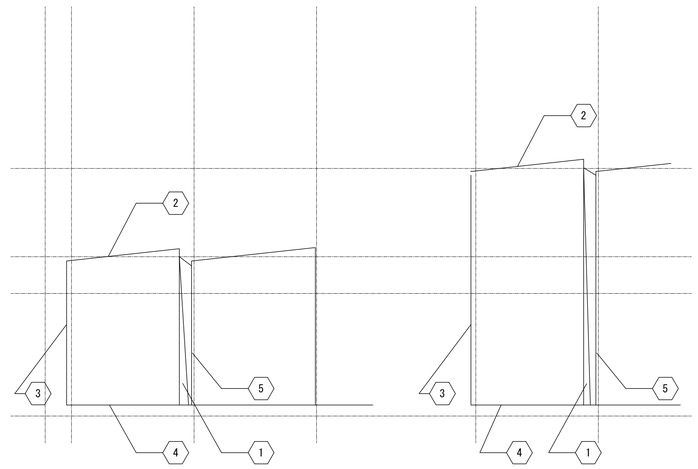
既　存



改　修



スタジオＡ・Ｂ・Ｃ　キープラン　1／200



記事

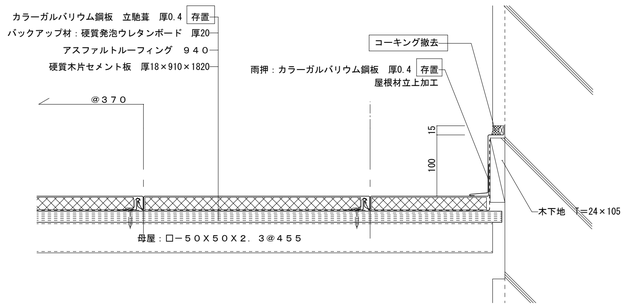
業務名称	
工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
設計年月	令和6年6月
図面名称	金属屋根・防水改修（19） 外部改修詳細図１
縮尺	A1：1/5 A3：1/10
図面番号	A-051

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

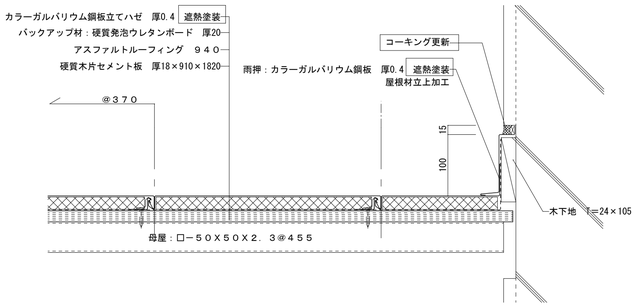
印

1 捨谷　納め断面詳細図　1／5

既　存

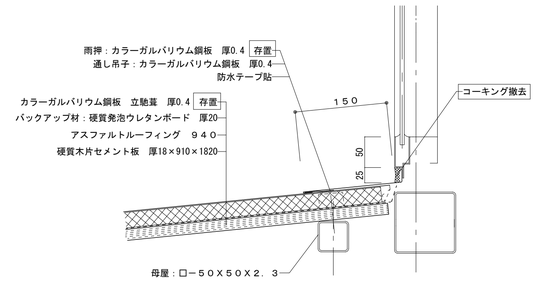


改　修

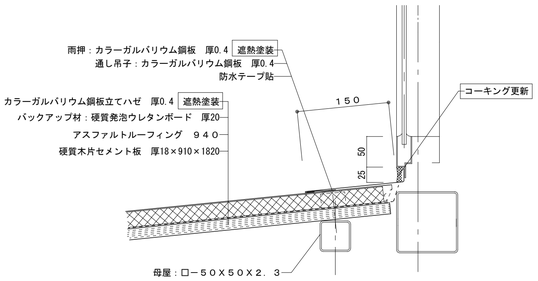


2 水上サッシ取合い　納め断面詳細図　1／5

既　存

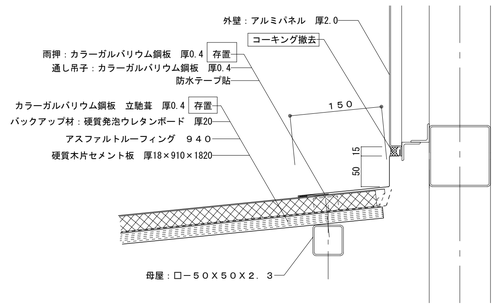


改　修

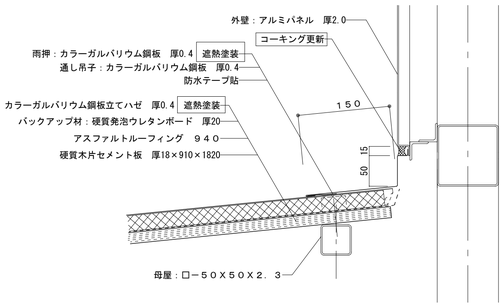


3 水上パネル取合い　納め断面詳細図　1／5

既　存

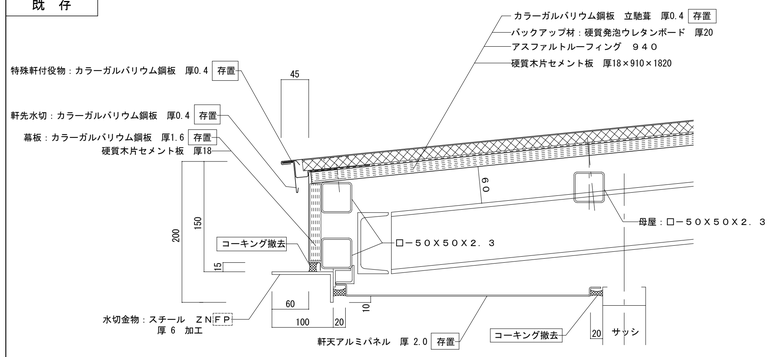


改　修

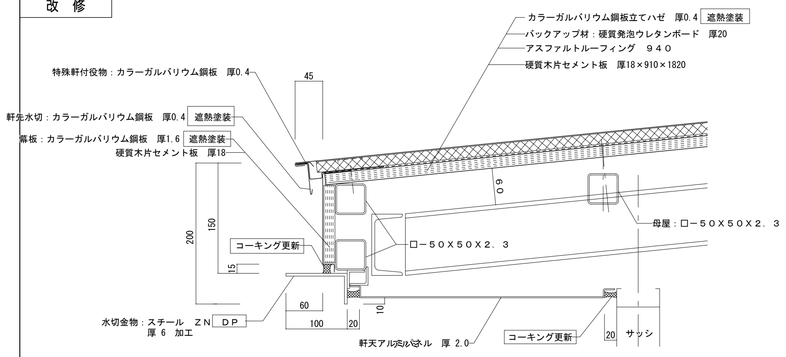


4 軒先　納め断面詳細図　1／5

既　存

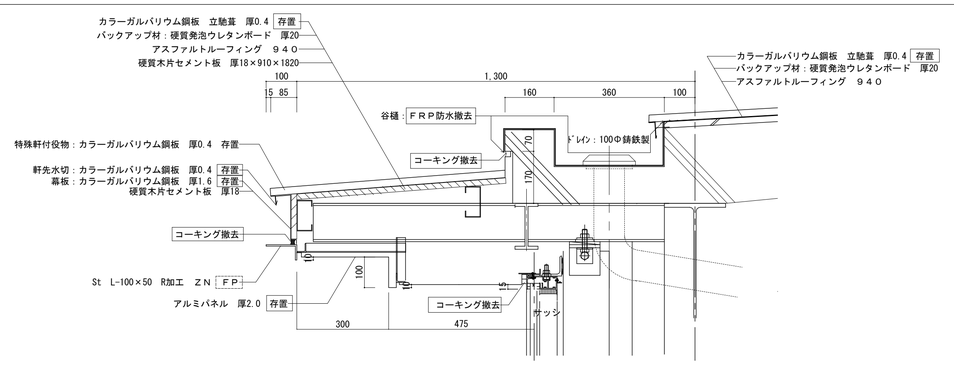


改　修

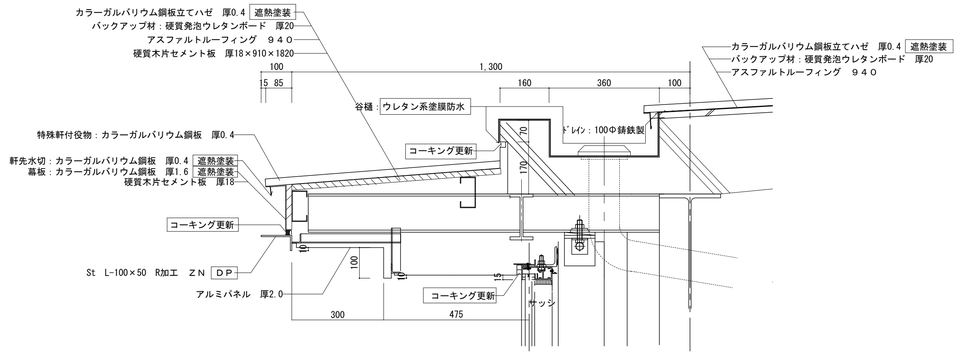


5 軒先内樋　納め断面詳細図　1／5

既　存



改　修



記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

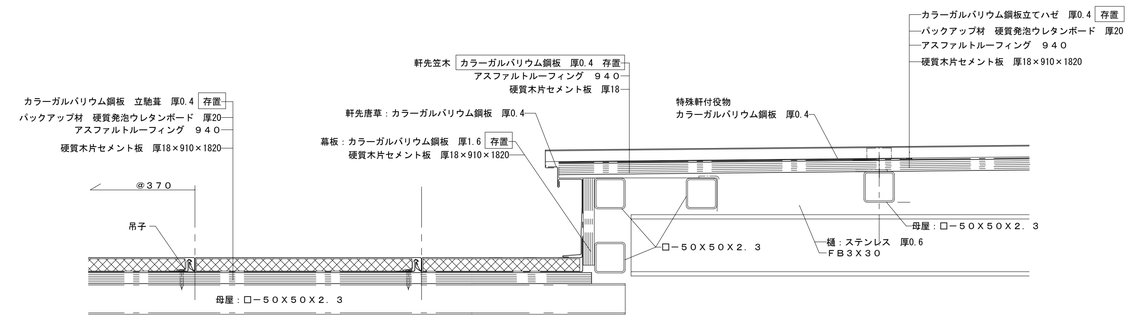
図面名称：金属屋根・防水改修（20）
外部改修詳細図２

縮尺：A1:1/5,10
A3:1/10,20

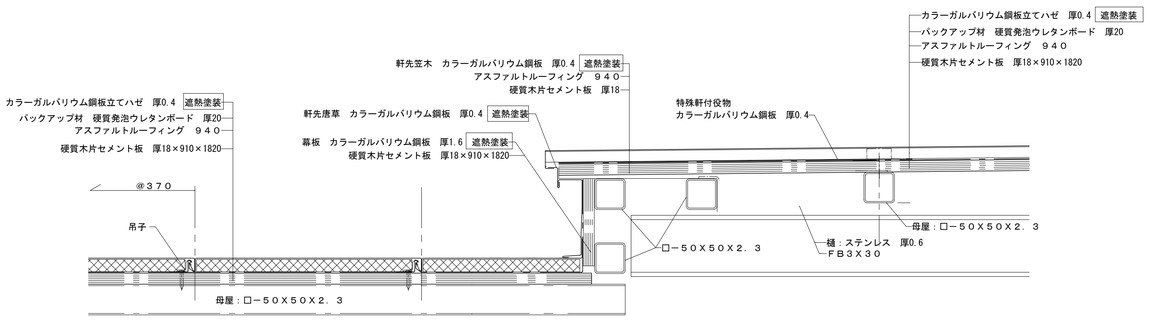
図面番号：A-052

1 段差部　納め断面詳細図　1／5

既　存

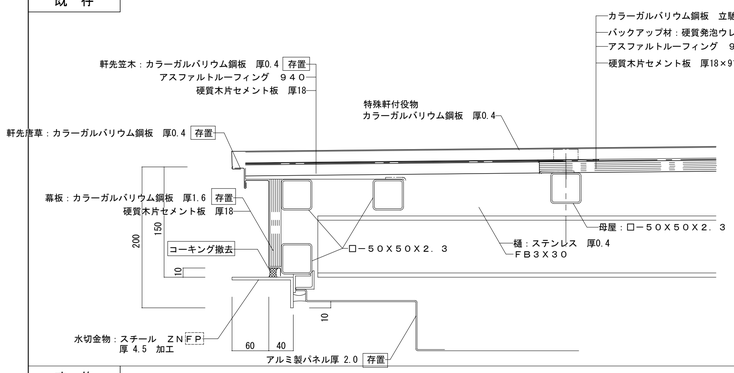


改　修

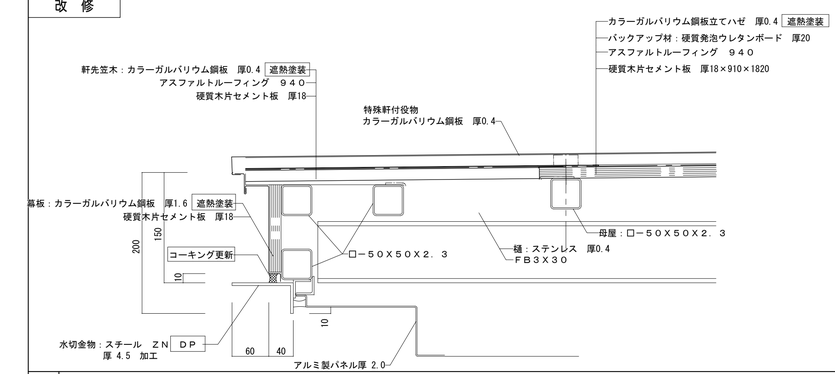


2 軒先部　納め断面詳細図　1／5

既　存

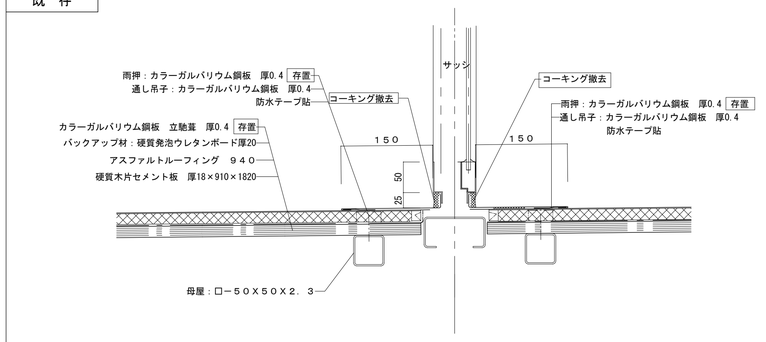


改　修

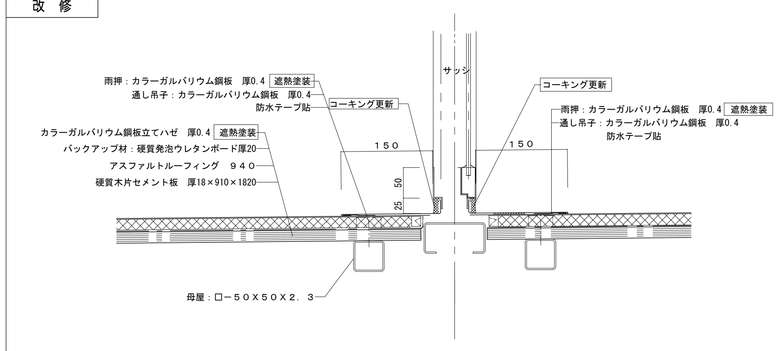


3 カーテンウォール取合納め断面詳細図　1／5

既　存

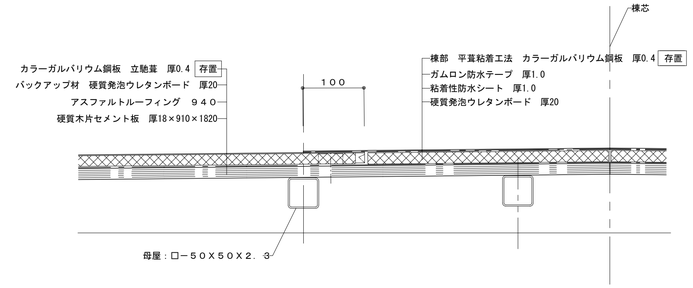


改　修

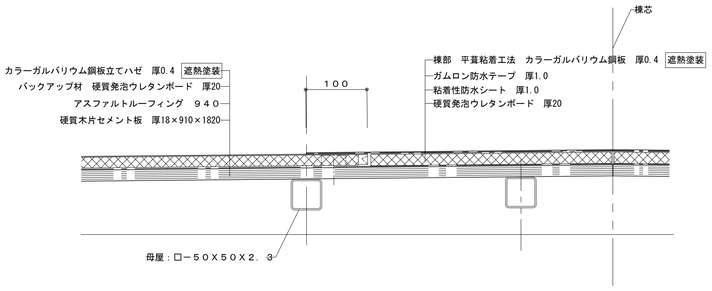


4 棟部　納め断面詳細図　1／5

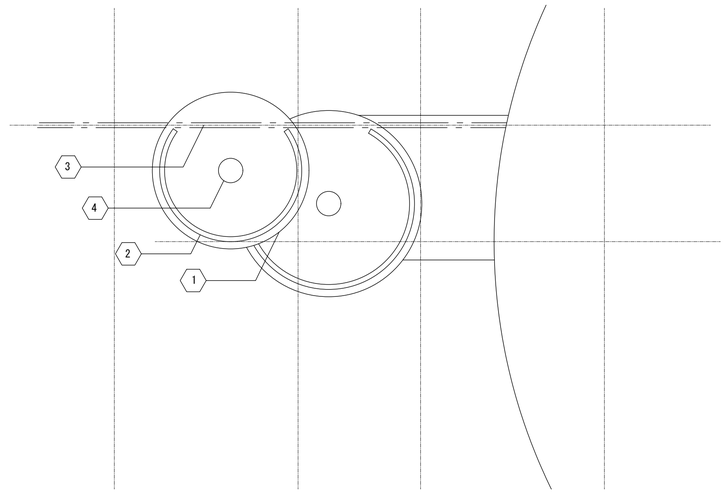
既　存



改　修



市民ラウンジ・情報・交流コーナー風除室　キープラン　1／200

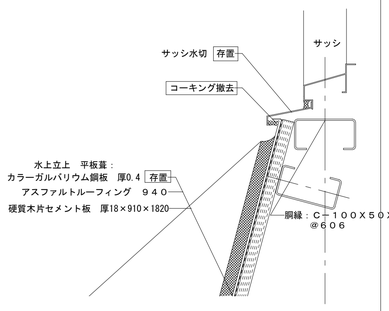


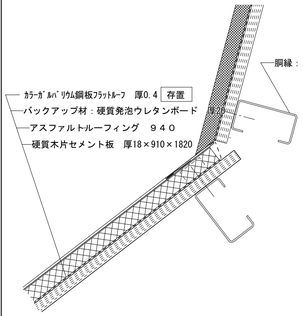
記事

業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称	金属屋根・防水改修（21） 外部改修詳細図３	縮尺 A1:1/5 A3:1/10	図面番号 A-053

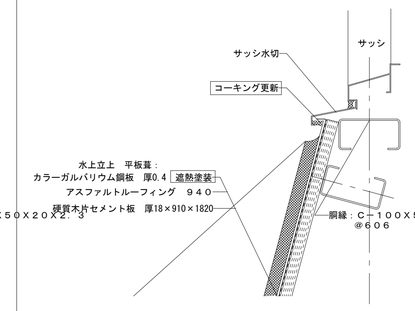
① 水上部　納め断面詳細図　1／5

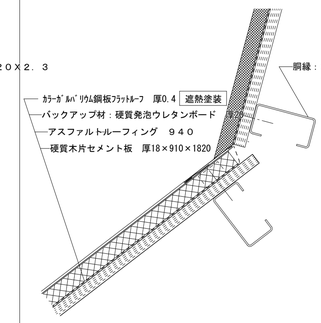
既　存





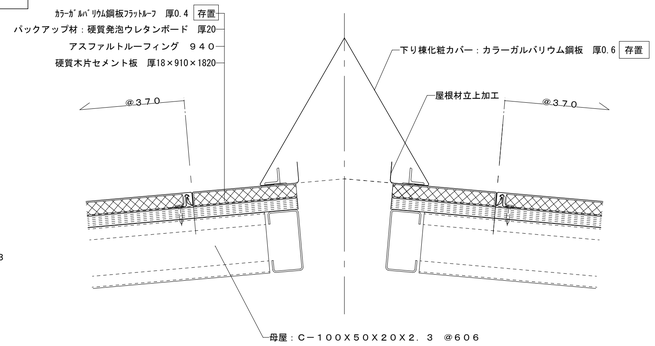
改　修



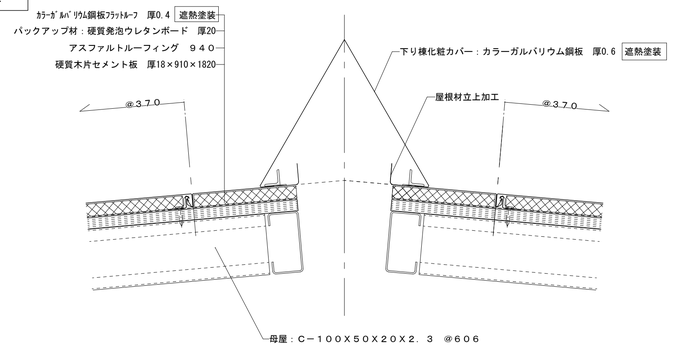


② 下り棟化粧カバー　納め断面詳細図　1／5

既　存

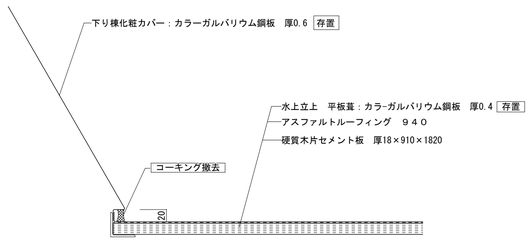


改　修

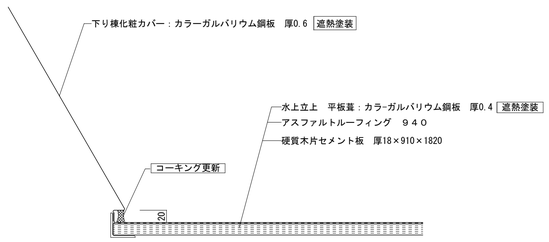


③ 立上部下り棟カバー取合い　納め断面詳細図　1／5

既　存

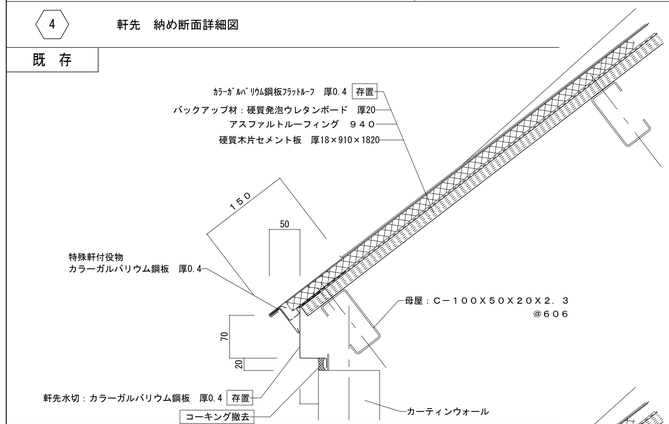


改　修

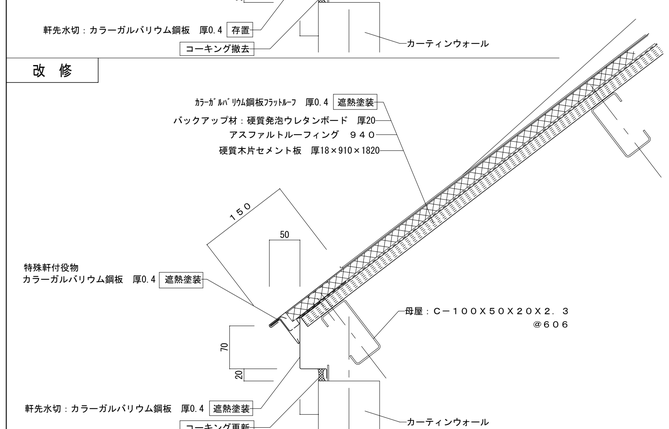


④ 軒先　納め断面詳細図　1／5

既　存

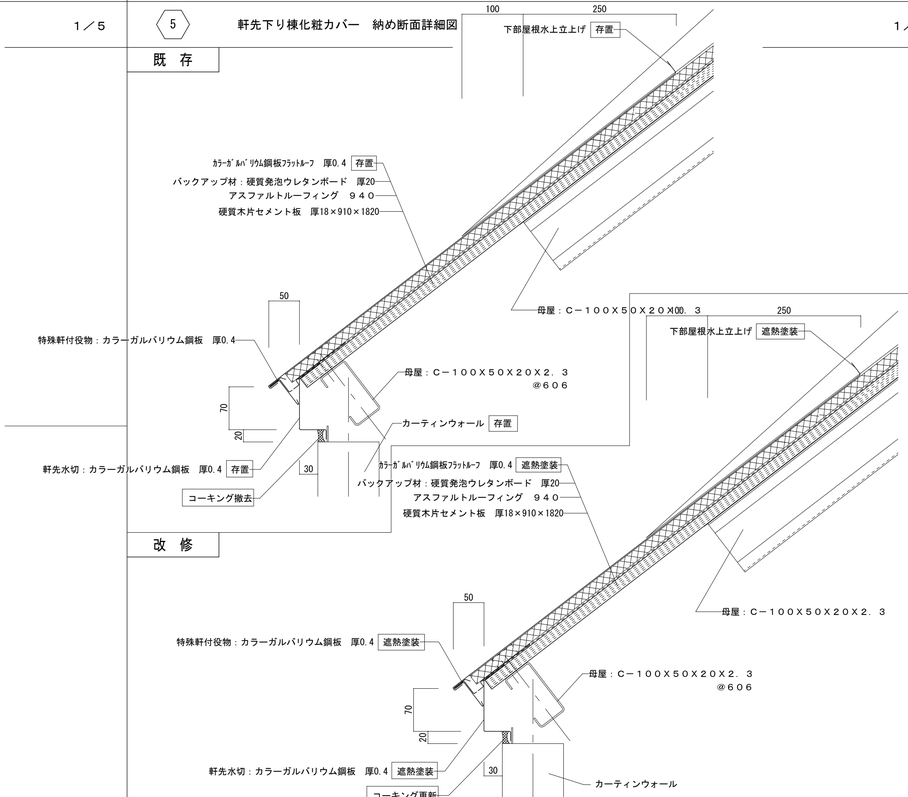


改　修

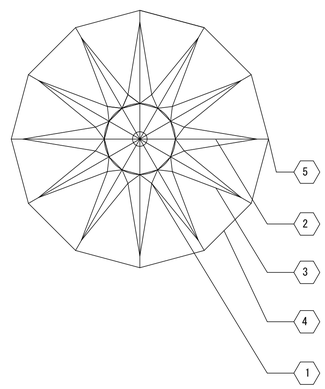


⑤ 軒先下り棟化粧カバー　納め断面詳細図　1／5

既　存



アトリエ　キープラン　1／200



記事

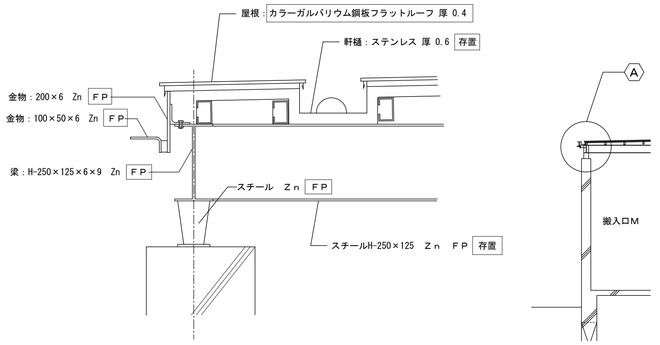
業務名称	
工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
設計年月	令和6年6月
図面名称	金属屋根・防水改修（22） 外部改修詳細図４
縮尺	A1:1/5 A3:1/10
図面番号	A-054

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉

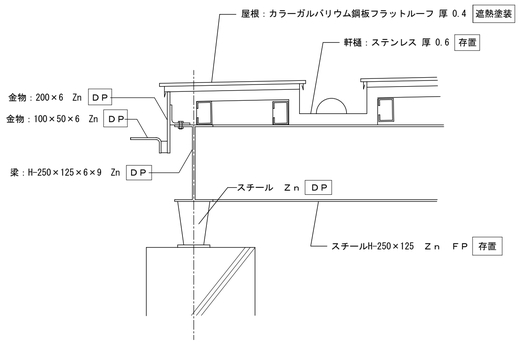
印

A　搬入口M屋根　1／10

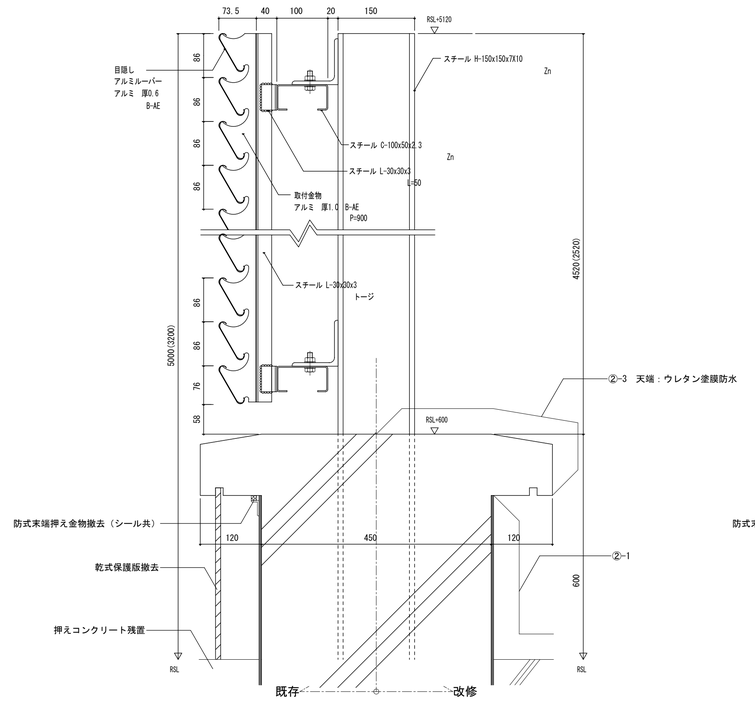
既　存



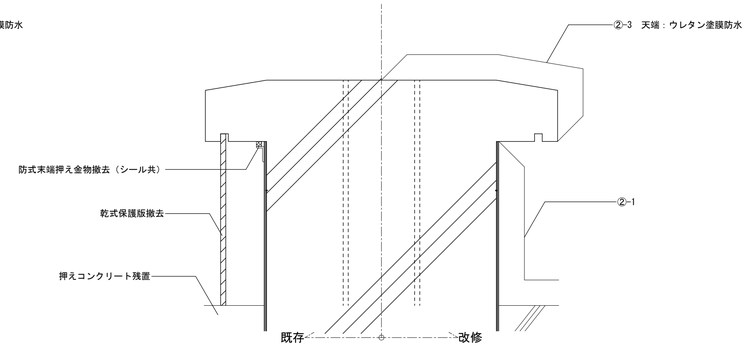
改　修



B　目隠しルーバー基礎・設備基礎　1／6



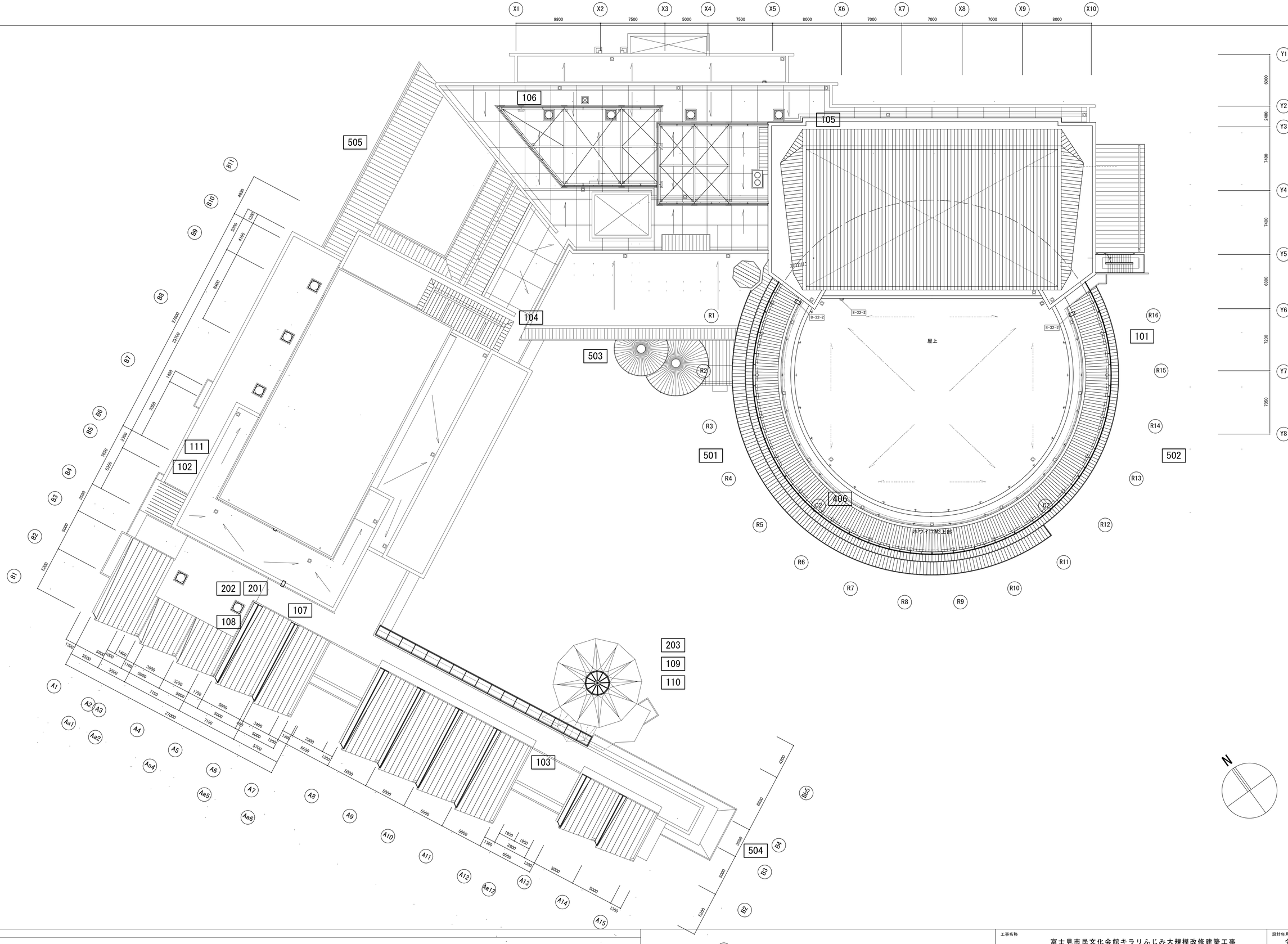
目隠しルーバー基礎断面詳細図　1/6



設備基礎断面詳細図　1/6

記事

業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月
株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 金属屋根・防水改修（23） 外部改修詳細図５	縮尺 A1:1/5 A3:1/10
			図面番号 A-055

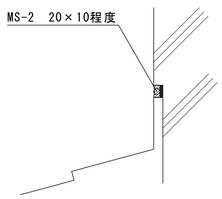


記事		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月	令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印			
		図面名称	金属屋根・防水改修 （24） シーリング配置図（参考写真 配置図）	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
				図面番号	A－056

■参考写真：101　（R1FL　R16附近）



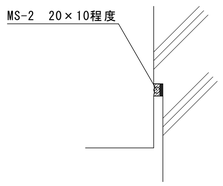
■屋根板金水切り立上り+躯体部



■参考写真：102　（2階屋根　B5　付近）



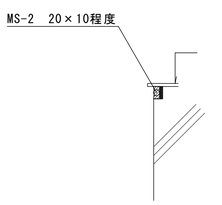
■屋根板金水切り立上り+躯体部



■参考写真：103　（2階屋根　A15通　附近）



■屋根パラペット金物取合い部



■参考写真：104　（2階屋根　B11通　附近）



■参考写真：105　（舞台屋根　X6　×　Y3　付近）　■パラペット目地



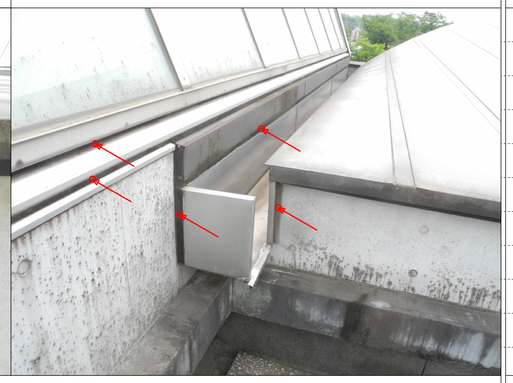
■参考写真：106　（2階屋根　X1　付近）　■パラペット目地



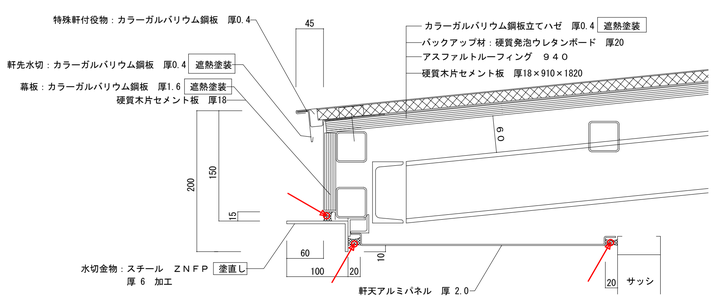
■参考写真：107　（2階屋根　A10　付近）　■ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ + 樋 + 板金屋根

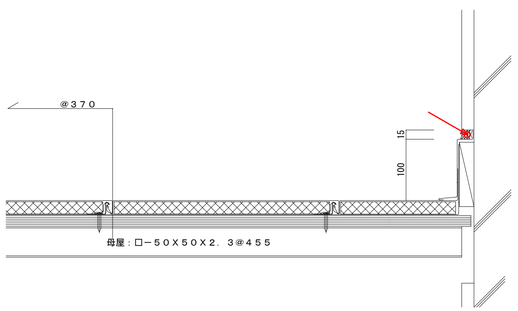


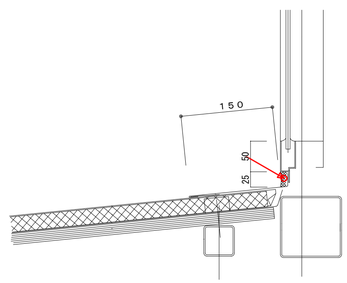
■参考写真：108　（2階屋根　A5　付近）　■ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ + 樋 + 板金屋根



■板金屋根　標準納まり図







■ 特 記 事 項

①工法はシーリング再充填工法とする

②打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地はPU-2

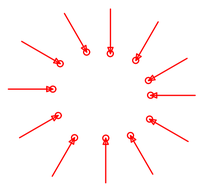
③伸縮調整目地、その他の目地はMS-2

④タイル目地はPS-2

⑤ガラスシーリングはSR-1

■ 凡　例

：シーリング箇所を示す



100-屋根系

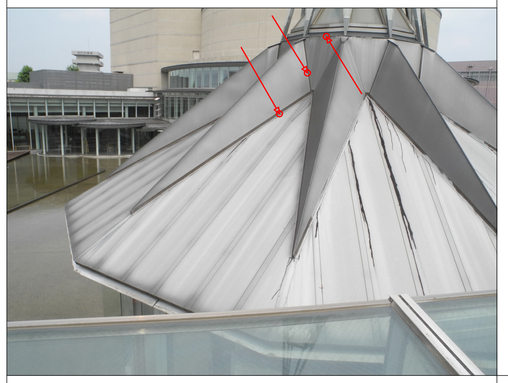
記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉　印 ・ ・	工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月
	図面名称	金属屋根・防水改修（25） 屋根廻りシーリング１	縮尺 A1:1/5 A3:1/10
			図面番号 A-057

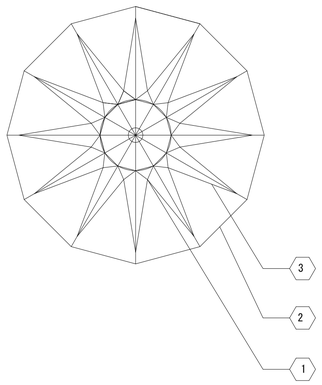
■参考写真：109　（アトリエトップライト）



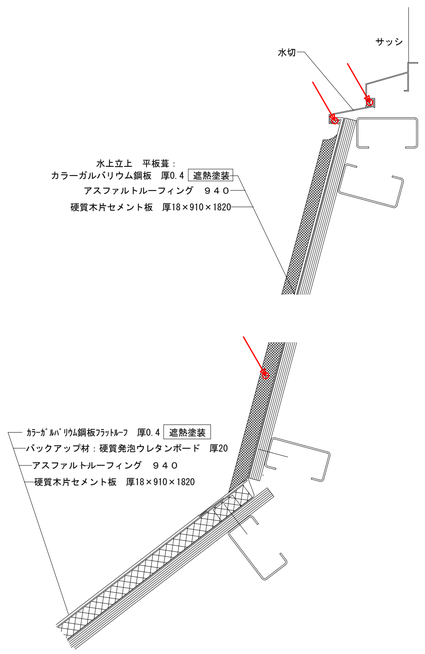
■参考写真：110　（アトリエ屋根）



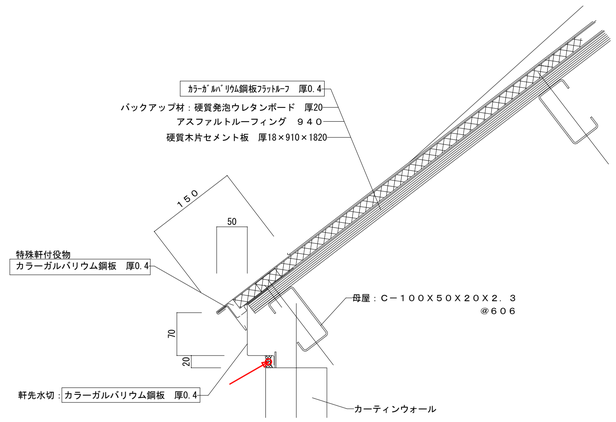
■アトリエ屋根　キープラン　　（アトリエ屋根）



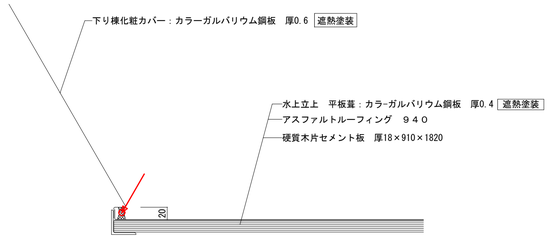
1



2

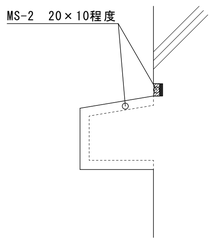


3



■参考写真：111　（2階屋根　B6　付近）





■ 特 記 事 項

①工法はシーリング再充填工法とする

②打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地はPU-2

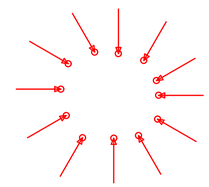
③伸縮調整目地、その他の目地はMS-2

④タイル目地はPS-2

⑤ガラスシーリングはSR-1

■ 凡　例

：シーリング箇所を示す



100-屋根系

記事

株式会社 綜企画設計	埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印

工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
図面名称	金属屋根・防水改修（25） 屋根廻りシーリング２	縮尺 A1:1/5 A3:1/10	図面番号 A-058

■参考写真：201　（ｽﾀｼﾞｵA上部　トップライト）



■参考写真：202　（ｽﾀｼﾞｵA上部　トップライト）



■参考写真：203　（アトリエ上部　トップライト）



■ 特 記 事 項

①工法はシーリング再充填工法とする

②打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地はPU-2

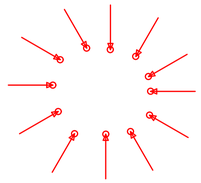
③伸縮調整目地、その他の目地はMS-2

④タイル目地はPS-2

⑤ガラスシーリングはSR-1

■ 凡　例

：シーリング箇所を示す



200-TR系

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

図面名称：金属屋根・防水改修（27）
トップライト廻りシーリング

縮尺：A1:1/5
A3:1/10

図面番号：A-059

■参考写真：501　ホワイエ　R3附近



■参考写真：502　ホワイエ　R14附近



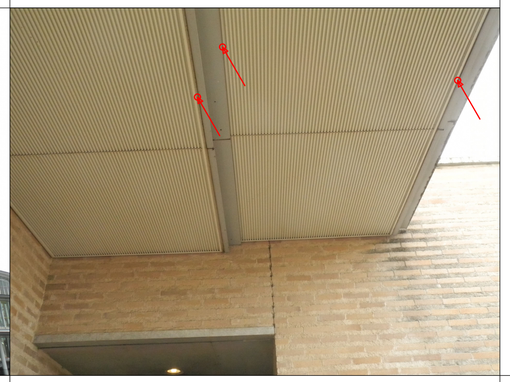
■参考写真：503　（市民ラウンジ廻り　スチールサッシュウオール　SSW-2）



■参考写真：504　（展示室側　玄関付近）



■参考写真：505　（正面玄関付近）



■ 特 記 事 項

①工法はシーリング再充填工法とする

②打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地はPU-2

③伸縮調整目地、その他の目地はMS-2

④タイル目地はPS-2

⑤ガラスシーリングはSR-1

■ 凡　例

：シーリング箇所を示す

500-軒天系

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

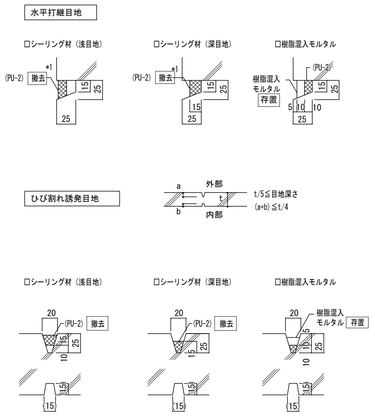
図面名称：金属屋根・防水改修（28）　軒天井廻りシーリング

縮尺：A1:1/5　A3:1/10

図面番号：A-060

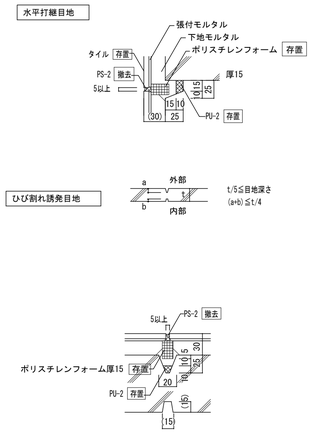
① 外壁目地Ａ（コンクリート打放し） 1／4

既 存



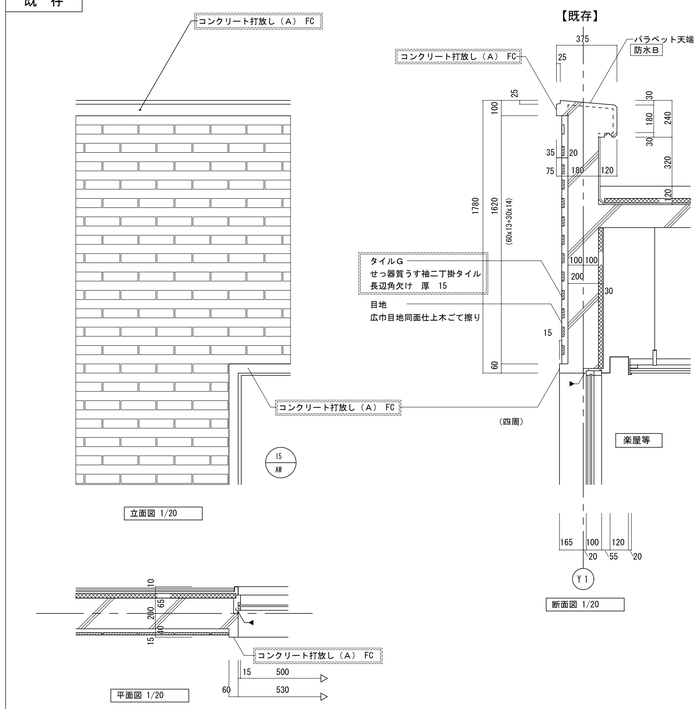
② 外壁目地Ｂ（タイル張り） 1／4

既 存



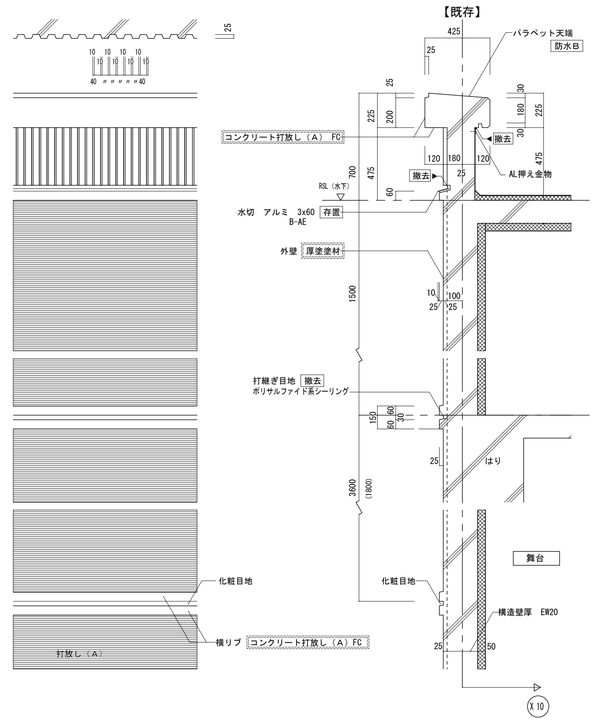
③ 外壁仕上 タイルＧ 1／20

既 存



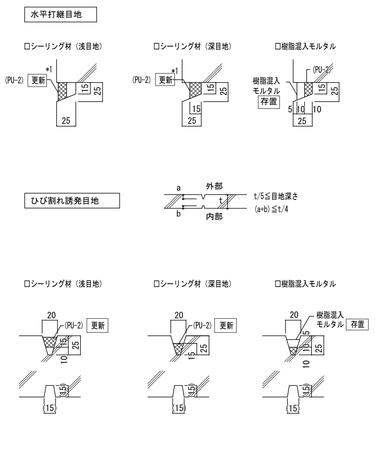
④ フライタワー化粧目地詳細図 1／20

既 存



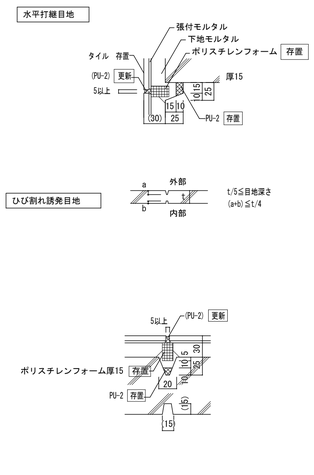
① 外壁目地Ａ（コンクリート打放し） 1／4

改 修



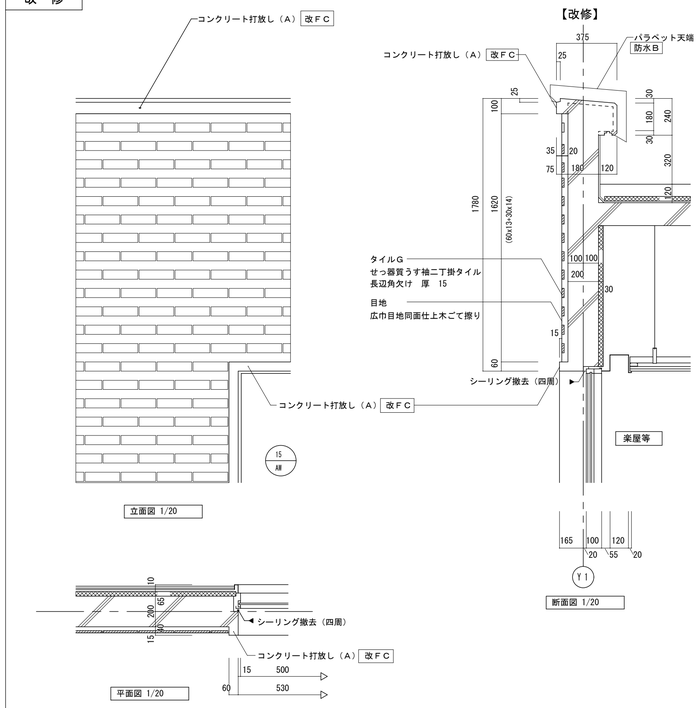
② 外壁目地Ｂ（タイル張り） 1／4

既 存



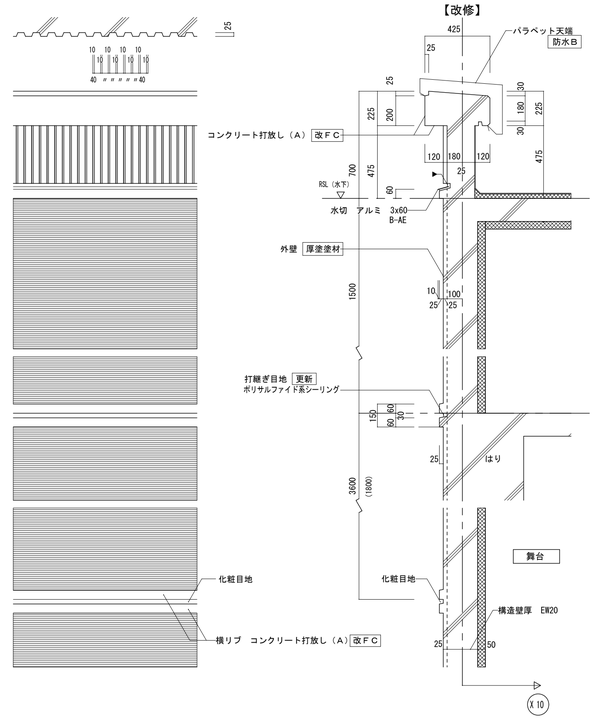
③ 外壁仕上 タイルＧ 1／20

改 修



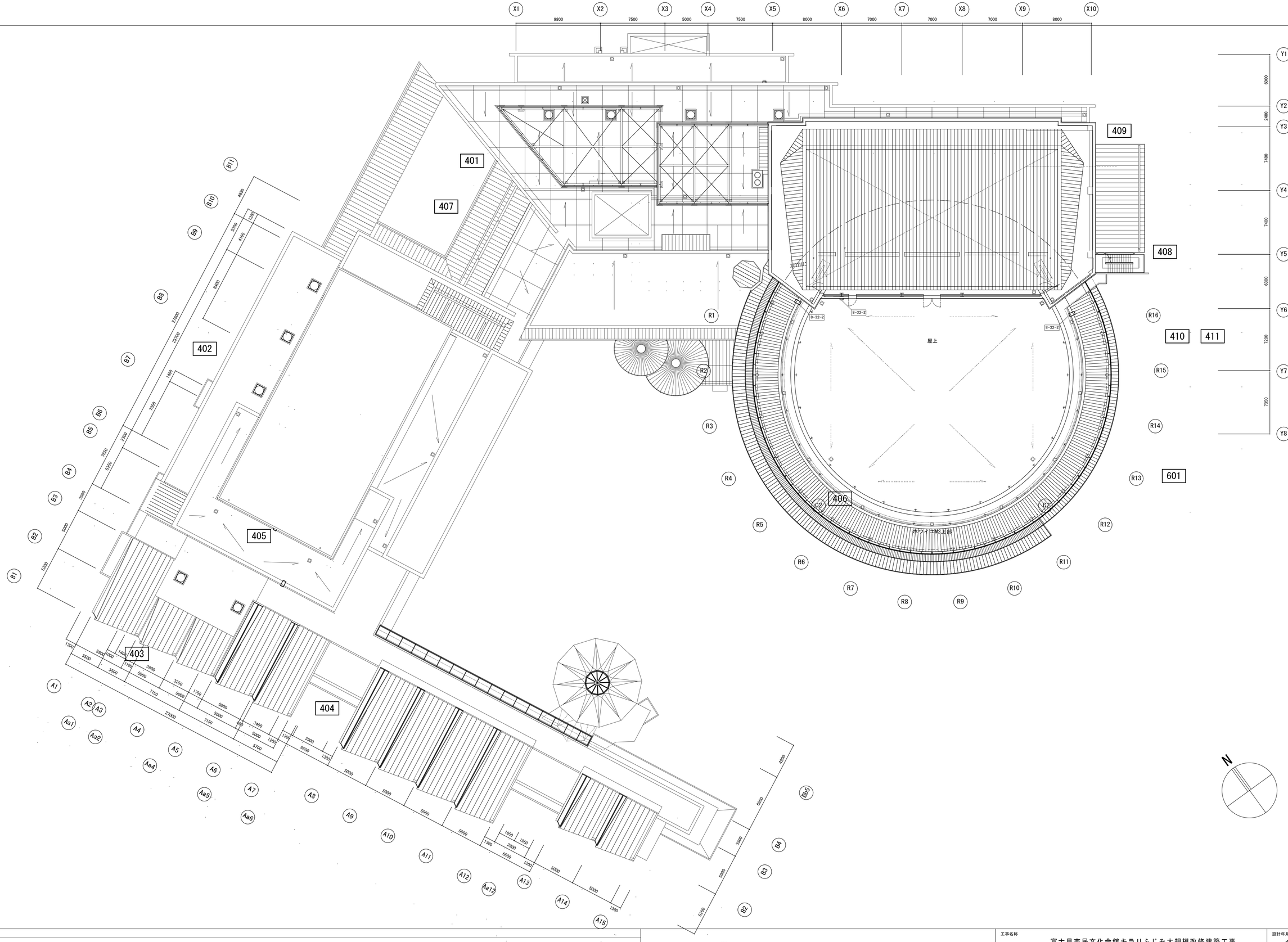
④ フライタワー化粧目地詳細図 1／20

改 修



記事

業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称	外壁改修（1）外部詳細図（既存／改修）
		縮尺	A1:1/5 A3:1/10
		設計年月	令和6年6月
		図面番号	A-061



記事		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月	令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称	外壁改修（2） シーリング配置図（参考写真 配置図）	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
				図面番号	A－062

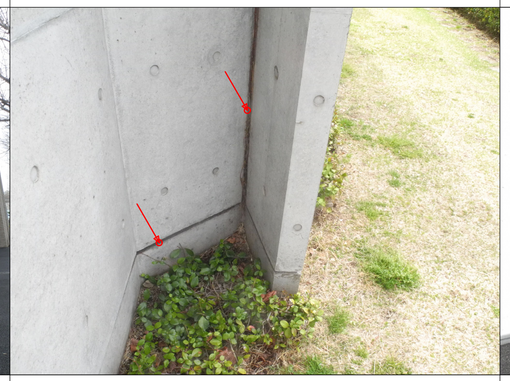
■参考写真：401　（正面玄関　付近　　外壁タイル目地）



■参考写真：402　（B7 付近　　外壁タイル目地　小庇取合い部）



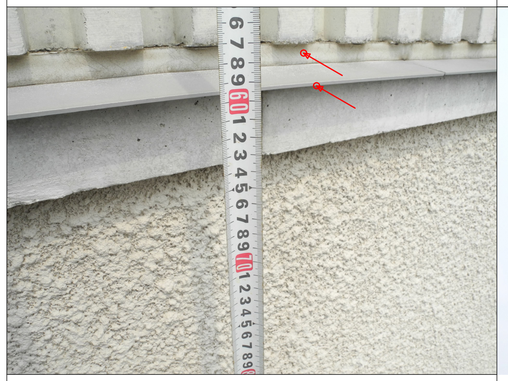
■参考写真：403　（A3 付近　　外壁目地　）



■参考写真：404　（A7 玄関付近　　掲示箱廻り　）



■参考写真：405



■参考写真：406



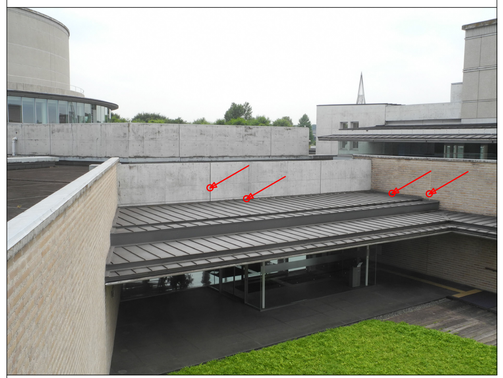
■参考写真：408　（Y5 付近　　パネル目地　）

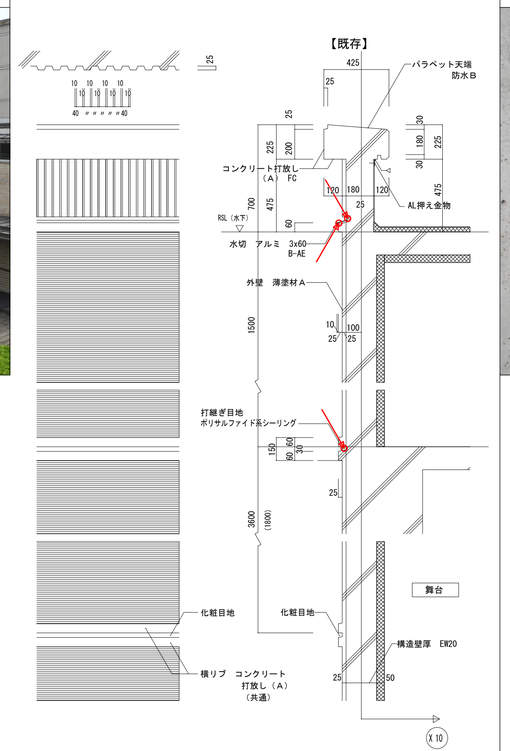


■参考写真：409　（X10 付近　　パネル目地　）



■参考写真：407





■参考写真：410　（Y6 付近）



■参考写真：411　（R16 付近）



■ 特 記 事 項

①工法はシーリング再充填工法とする

②打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地はPU-2

③伸縮調整目地、その他の目地はMS-2

④タイル目地はPS-2

⑤ガラスシーリングはSR-1

：シーリング箇所を示す

400-外壁系

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月　令和6年6月

図面名称　外壁改修（3）　外壁廻りシーリング

縮尺　A1:1/5　A3:1/10

図面番号　A－063

■参考写真：601　(Y8　付近　　床)



■ 特 記 事 項

①工法はシーリング再充填工法とする

②打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地はPU-2

③伸縮調整目地、その他の目地はMS-2

④タイル目地はPS-2

⑤ガラスシーリングはSR-1

■ 凡　例

：シーリング箇所を示す

600-他系

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

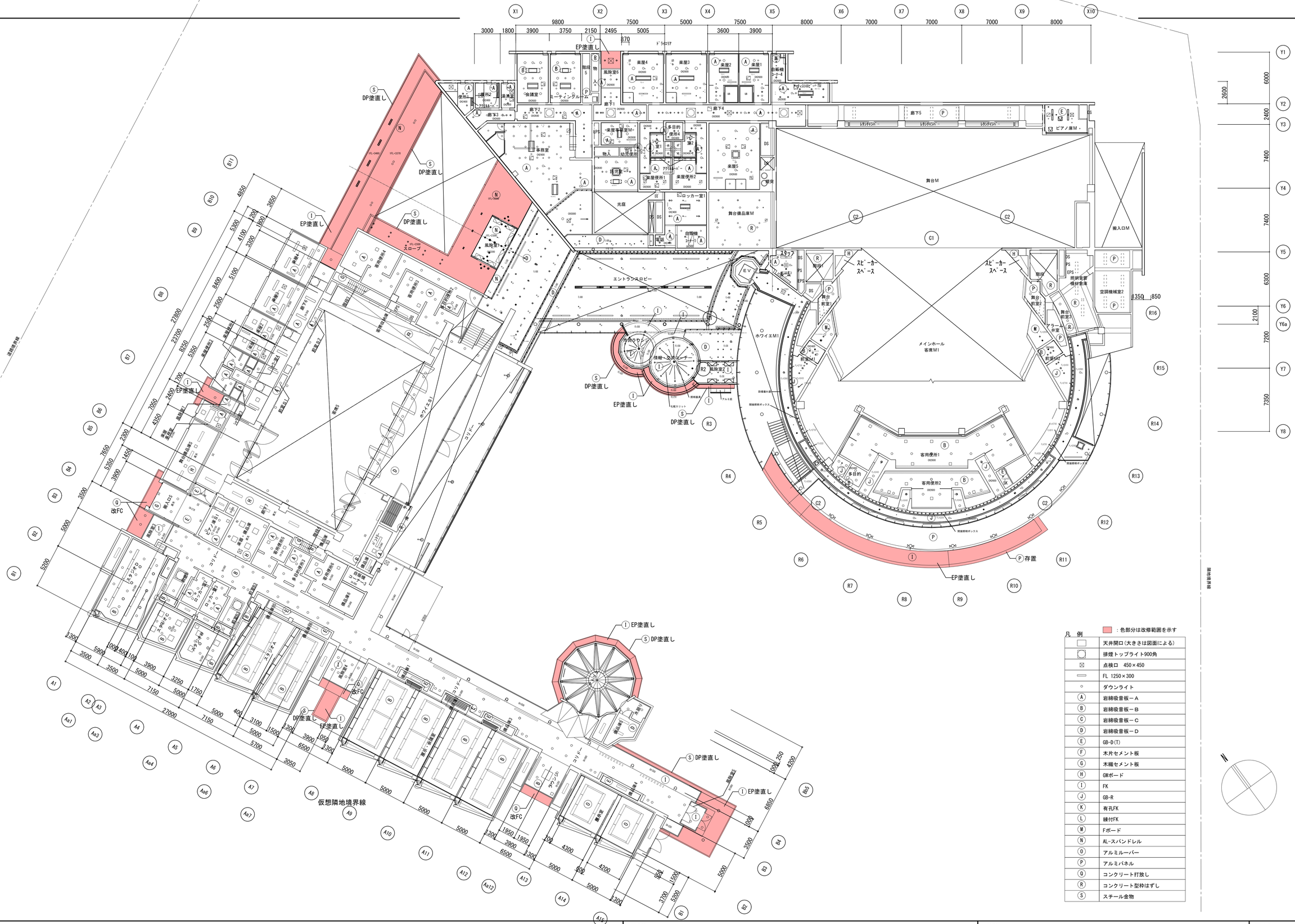
工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

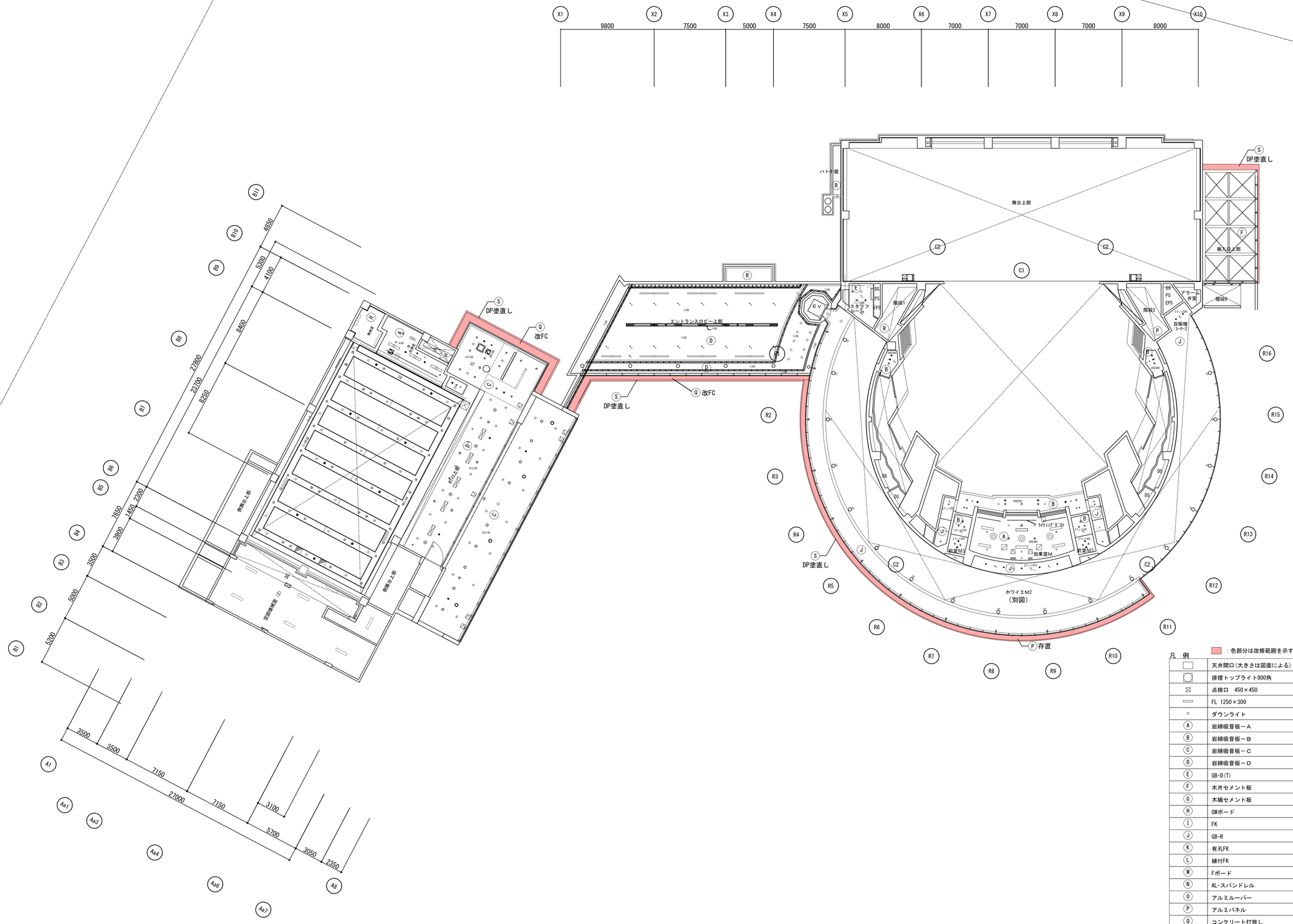
図面名称：外壁改修（4）
その他シーリング

縮尺：A1:1/5
A3:1/10

図面番号：Ａ－064



記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月	令和6年6月
		株式会社 綜企画設計	埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	・ ・	図面名称	特定天井改修 （1） 天井伏図_1F（軒天図）
				縮尺	A1:1/200 A3:1/400	図面番号	A-065

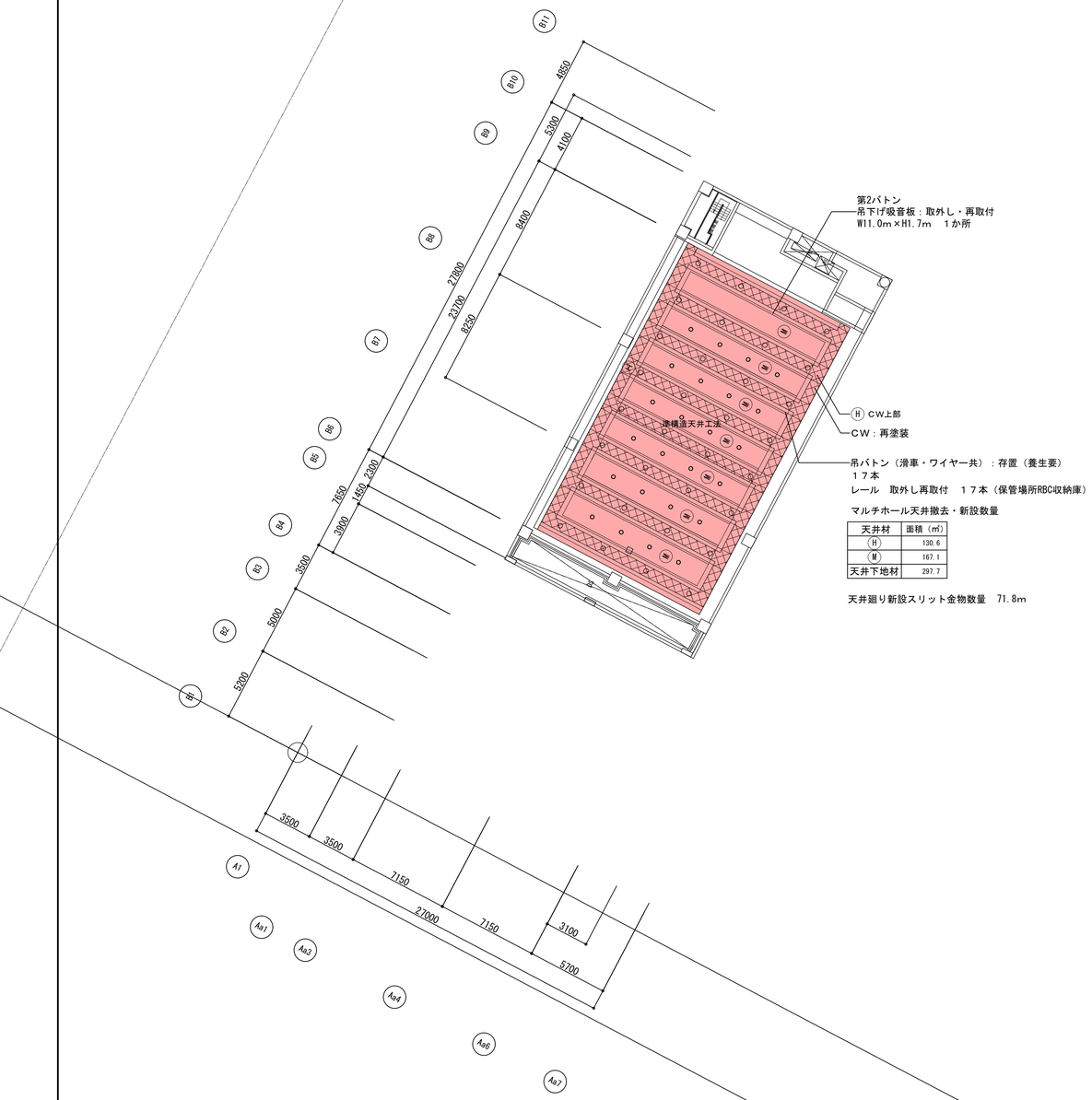


凡　例　：色部分は改修範囲を示す

	天井開口（大きさは図面による）
	排煙トップライト900角
⊠	点検口　450×450
	FL 1250×300
○	ダウンライト
A	岩綿吸音板－A
B	岩綿吸音板－B
C	岩綿吸音板－C
D	岩綿吸音板－D
E	GB-D(T)
F	木片セメント板
G	木繊セメント板
H	GWボード
I	FK
J	GB-R
K	有孔FK
L	練付FK
M	Fボード
N	AL-スパンドレル
O	アルミルーバー
P	アルミパネル
Q	コンクリート打放し
R	コンクリート型枠はずし
S	スチール金物

2階天井伏図

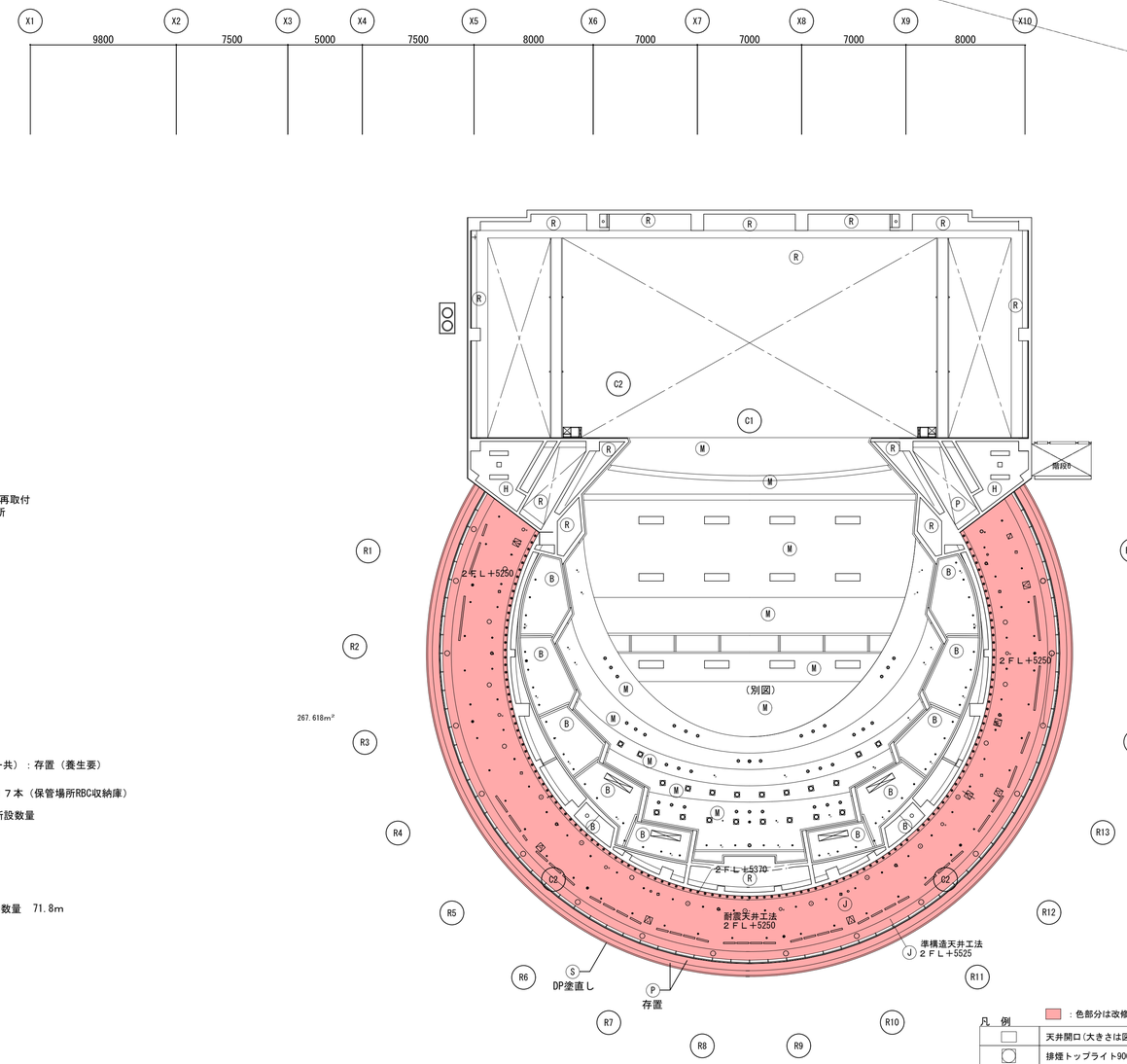
記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	・　・
		図面名称	特定天井改修（2）天井伏図_2F	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
		設計年月	令和6年6月	図面番号	A-066



マルチホール天井撤去・新設数量

天井材	面積（㎡）
H	130.6
M	167.1
天井下地材	297.7

天井廻り新設スリット金物数量　71.8m



メインホール天井材撤去・新設数量

天井材	面積（㎡）
B	126.0
M	675.0
天井下地材	801.0

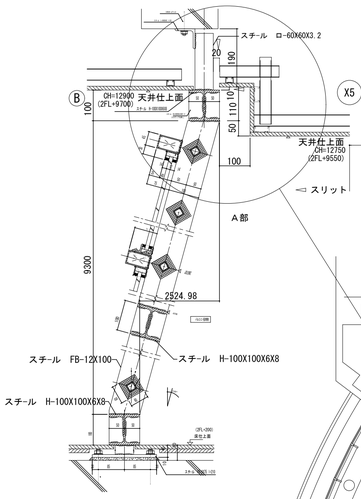
ホワイエ天井材撤去・新設数量

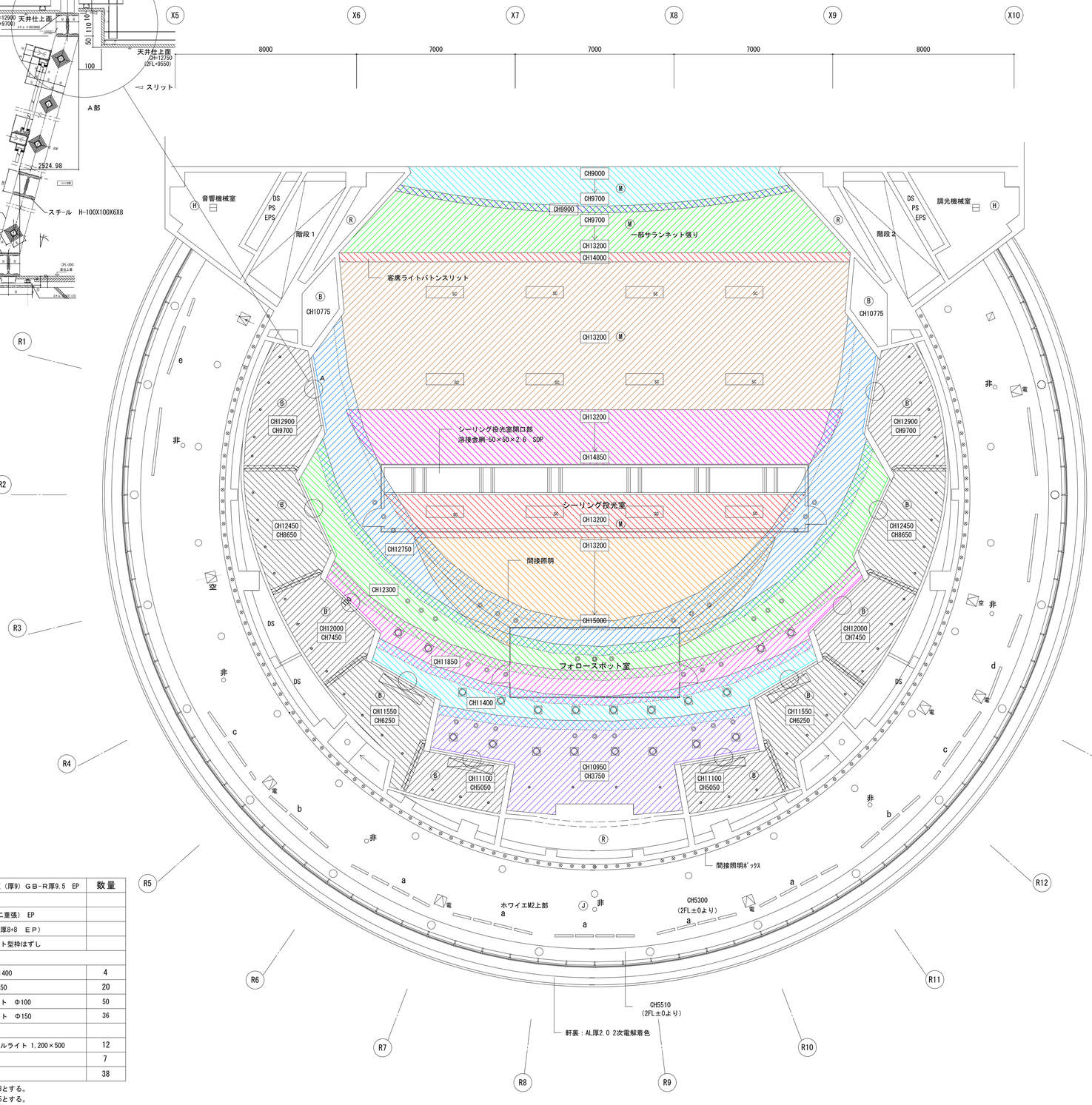
天井材	面積（㎡）
J	306.4
J	50.2
天井下地材	356.6

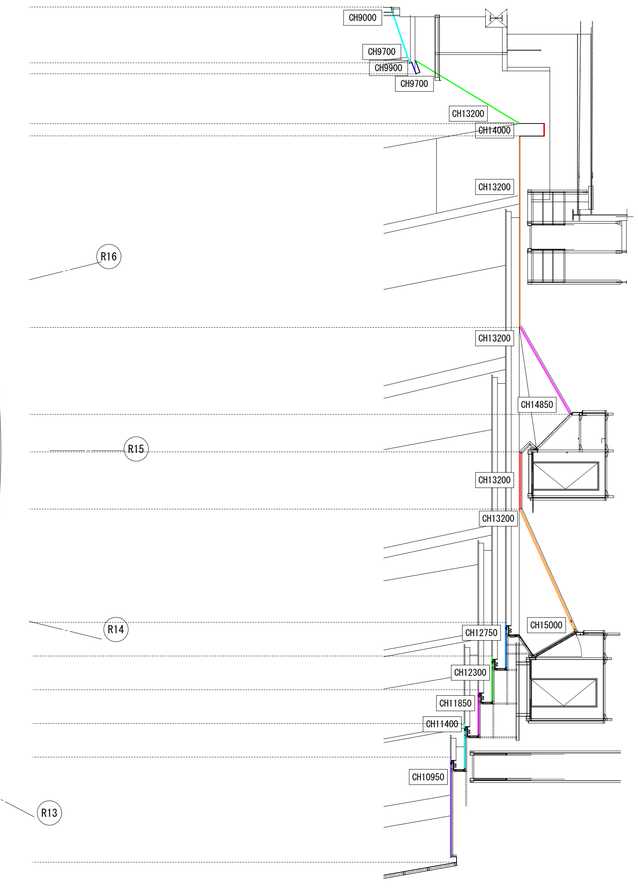
凡　例　：色部分は改修範囲を示す

	天井開口（大きさは図面による）
	排煙トップライト900角
	点検口　450×450
	FL 1250×300
○	ダウンライト
A	岩綿吸音板－A
B	ＤＲ（Ｂ）　ＥＰ
C	岩綿吸音板－C
D	岩綿吸音板－D
E	GB-D(T)
F	木片セメント板
G	木繊セメント板
H	GWボード t 50
I	FK
J	DR t 9（カラー）
K	有孔FK
L	練付FK
M	FRGボード(8+8)　ＥＰ
N	AL-スパンドレル
O	アルミルーバー
P	アルミパネル
Q	コンクリート打放し
R	コンクリート型枠はずし
S	スチール金物

記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
		株式会社 綜企画設計　埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	・　・
		図面名称	特定天井改修（3）天井伏図_3F	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
		設計年月	令和6年6月	図面番号	A-067







メインホール

		数量
Ⓑ	岩綿吸音板（厚9）ＧＢ-Ｒ厚9.5　EP	
Ⓗ	ＧＷボード	
Ⓙ	ＧＢ-Ｒ（二重張）　EP	
Ⓜ	Ｆボード（厚8+8　ＥＰ）	
Ⓡ	コンクリート型枠はずし	
天井開口表		
	ＨＳ　2000×400	4
	ノズル　Φ250	20
○	ダウンライト　Φ100	50
◎	ダウンライト　Φ150	36
SC	スポットセルライト 1,200×500	12
非○	Φ100	7
SP	Φ50	38

※基準１ＦＬ＝ＴＰ+7.3とする。
※基準2ＦＬ＝ＴＰ+10.5とする。

※斜線ハッチ部を準構造該当部とする。
※特記無き限り天井高さは１ＦＬ±0を基準として表記する。
※客席階段天井高さは下記の通りとする。

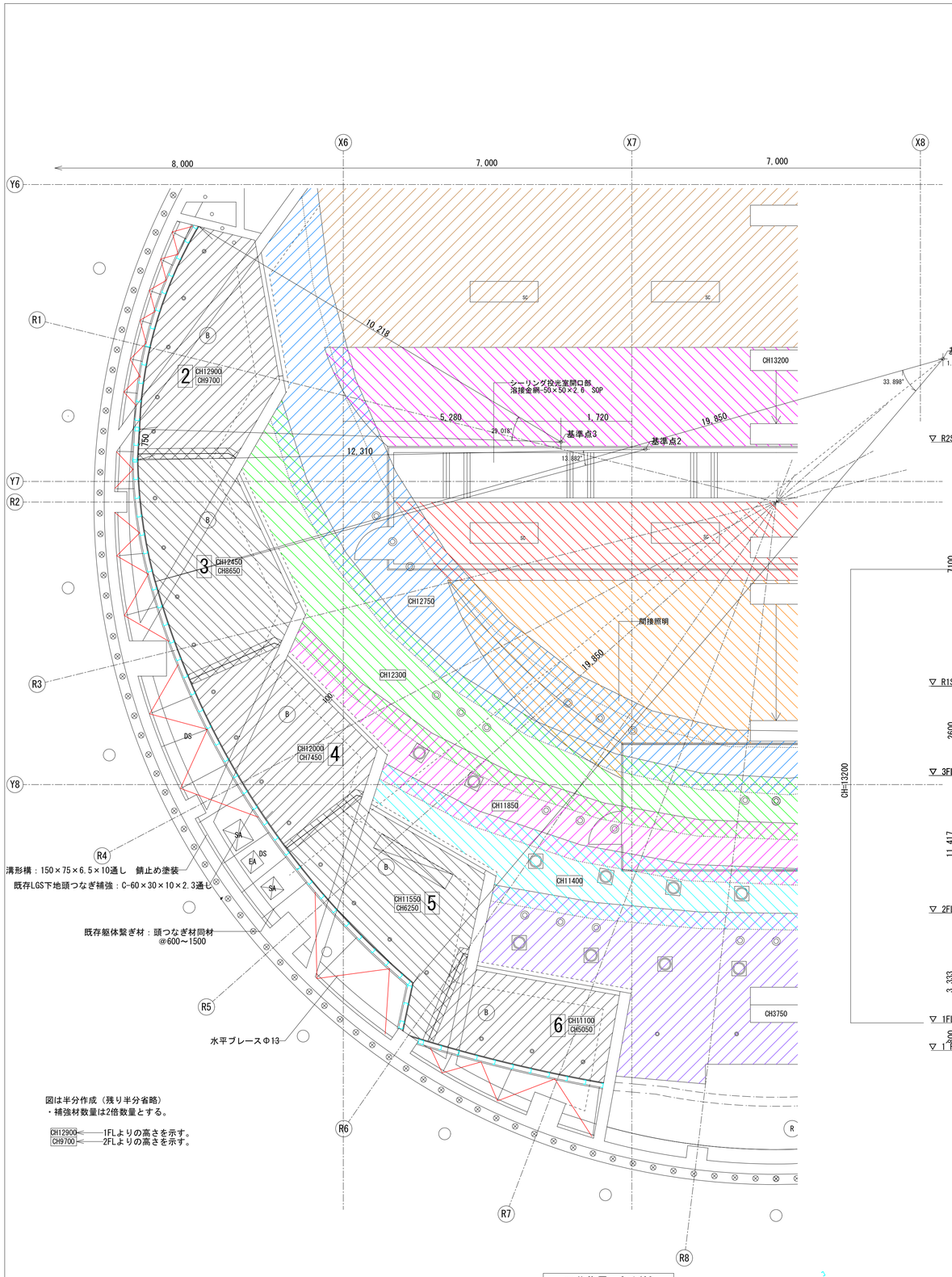
凡例

1FL±0を基準とした高さ
実際の床面からの高さ

ホワイエ天井開口表

※	DL　Φ100	137
	天井点検口　450角　（電気・機械）	9
	ブリーズライン	
a	L=750×4	5
b	L=1000×3	2
c	L=1300×2+500	2
d	L=1500×2	1
e	L=2300+750	1
	L=3000	3
○	ノズルΦ300	17
	排気口　300角	1
非○	Φ100	7
SP	Φ50	69

記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月
		株式会社 綜企画設計	埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称 特定天井改修（4） メインホール天井伏図（既存／改修）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 A-068

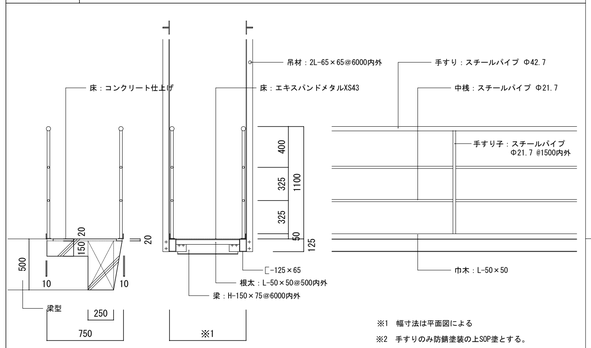


図は半分作成（残り半分省略）
・補強材数量は2倍数量とする。

CH12900 ―― 1FLよりの高さを示す。
CH9700 ―― 2FLよりの高さを示す。

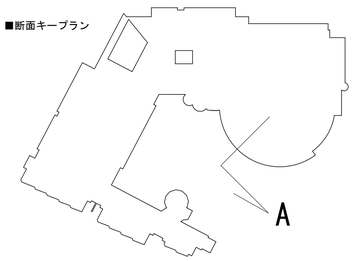
天井伏図　S:1/60

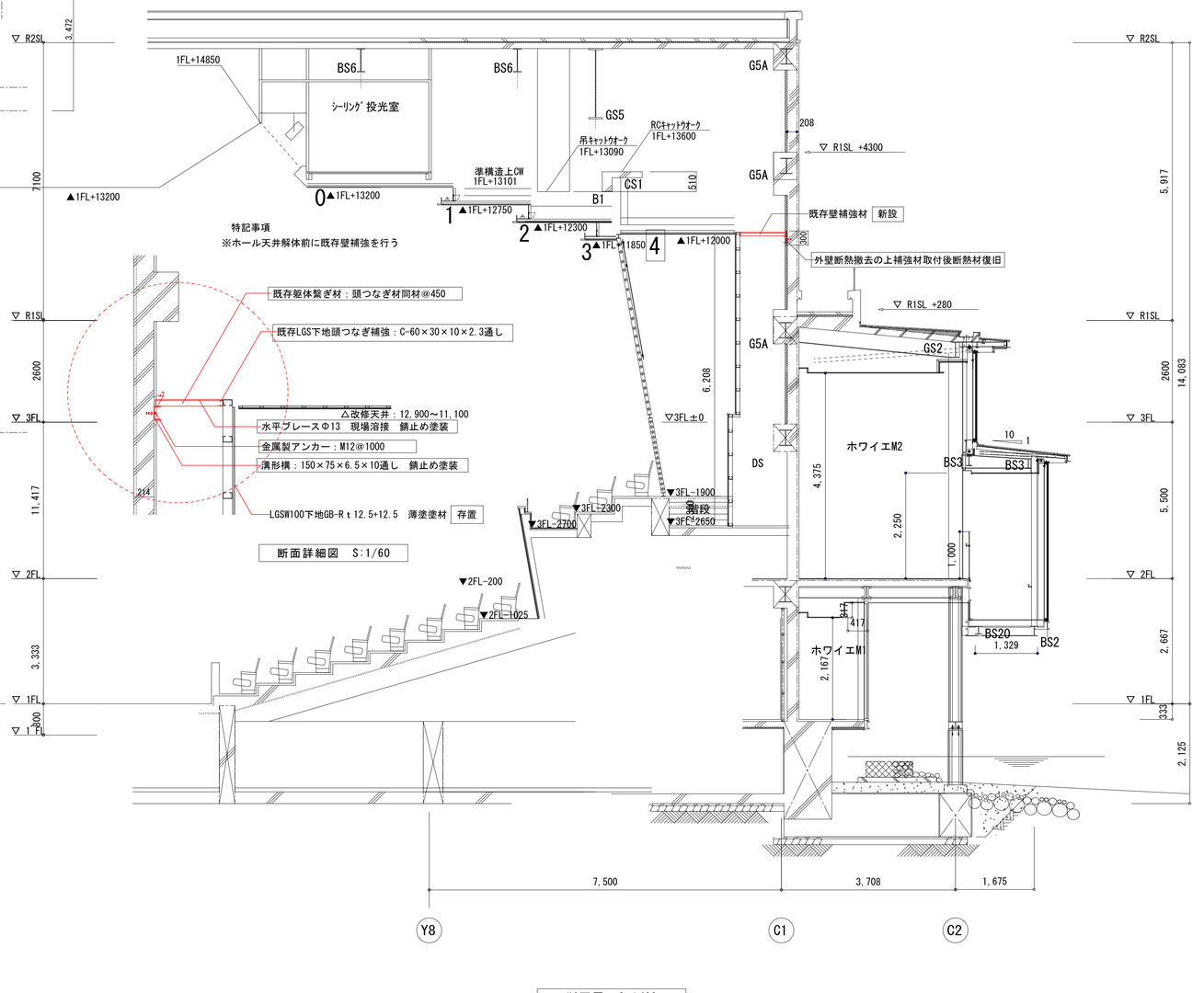
2　キャットウォーク　1/30



※1　幅寸法は平面図による
※2　手すりのみ防錆塗装の上SOP塗とする。

■断面キープラン



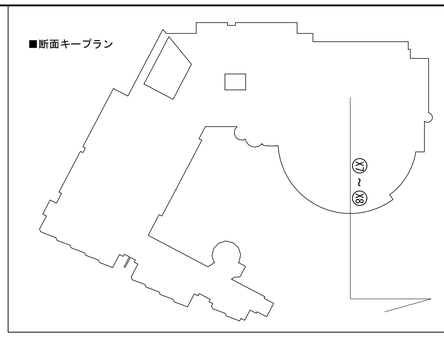


断面詳細図　S:1/60

断面図　S:1/60

記事		業務名称		工事名称		設計年月
		株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		令和6年6月
				図面名称	縮尺	図面番号
				特定天井改修（5） メインホール天井伏図　既存壁補強図（改修）	A1:1/30・60 A3:1/60・120	A-069

■断面キープラン



凡例リスト

記号	仕上材	改修内容
(A)	岩綿吸音板 － A	—
(B)	岩綿吸音板 － B	—
(C)	岩綿吸音板 － C	—
(D)	岩綿吸音板 － D	—
(E)	GB-D(T)	—
(F)	木片セメント板	—
(G)	木繊セメント板	—
(H)	GWボード t 50　32kg品(ｱﾙﾐ製ｼﾞｮｲﾝﾄ目地)	下地とも撤去・新設
(I)	FK	—
(J)	GB-R　2重張　EP塗	下地とも撤去・新設
(K)	有孔FK	—
(L)	練り付FK	—
(M)	Fボード t 8+8　EP塗(一部R加工)	下地とも撤去・新設
(N)	アルミスパンドレル	—
(O)	アルミルーバー	—

凡例リスト

記号	仕上材	改修内容
(P)	アルミパネル	—
(Q)	コンクリート打放し	—
(R)	コンクリート型枠外し	—
(S)	壁：練付ﾘﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ染色 UC	—
(T)	壁：練付有孔部下地合板	—
(U)	壁：一部練付有孔合板染色 UC塩ﾋﾞｼｰﾄ	—
(V)	壁：コンクリート打放し　薄塗材B	既存のまま
(W)	壁：一部練付有孔合板染色 UC	〃
(X)	壁：一部GB-R 二重貼り EP	〃
(Y)	壁：サランネット押え	〃
(Z)	壁：化粧透し壁	〃
(ア)	見切縁-1(木製　竪木 EP)	撤去・新設
(イ)	見切縁-1(ｽﾁｰﾙt 1.6　SOP)	下地とも撤去、新設
(ウ)	見切縁-1(ｽﾁｰﾙt 1.6　SOP)	〃
(エ)	点検口W=700・500×H=324・210ｽﾁｰﾙt 1.6曲加工SOP	取外し、再取付

凡　例

特　記

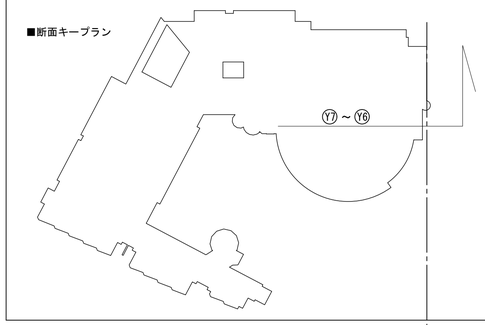
(H)：マルチホール壁GWボード t 50　32kg品は既存のまま

(Y)：プロセニアム部分のサランネット押えは下地とも撤去、新設

※壁と天井の取合い箇所は部分詳細図参照

記事		業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月
		株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称 特定天井改修（6）メインホール断面詳細図１（既存／改修）	縮尺 A1:1/60 A3:1/120
					図面番号 A-070

■断面キープラン



凡例リスト

記号	仕上材	改修内容
A	岩綿吸音板 － A	—
B	岩綿吸音板 － B	—
C	岩綿吸音板 － C	—
D	岩綿吸音板 － D	—
E	GB-D(T)	—
F	木片セメント板	—
G	木繊セメント板	—
H	GWボードｔ50　32kg品(ｱﾙﾐ製ｼﾞｮｲﾝﾄ目地)	下地とも撤去・新設
I	FK	—
J	GB-R　2重張　EP塗	下地とも撤去・新設
K	有孔FK	—
L	練り付FK	—
M	Fボードｔ8+8　EP塗(一部R加工)	下地とも撤去・新設
N	アルミスバンドレル	—
O	アルミルーバー	—

凡例リスト

記号	仕上材	改修内容
P	アルミパネル	—
Q	コンクリート打放し	—
R	コンクリート型枠外し	—
S	壁：練付ﾘﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ染色 UC	—
T	壁：練付有孔部下地合板	—
U	壁：一部練付有孔合板染色 UC塩ﾋﾞｼｰﾄ	—
V	壁：コンクリート打放し　薄塗材B	既存のまま
W	壁：一部練付有孔合板染色 UC	〃
X	壁：一部GB-R 二重貼り EP	〃
Y	壁：サランネット押え	〃
Z	壁：化粧透し壁	〃
ｱ	見切縁-1(木製　竪木 EP)	撤去・新設
ｲ	見切縁-1(ｽﾁｰﾙｔ1.6　SOP)	下地とも撤去、新設
ｳ	見切縁-1(ｽﾁｰﾙｔ1.6　SOP)	〃
ｴ	点検口W=700・500×H=324・210ｽﾁｰﾙｔ1.6曲加工SOP	取外し、再取付

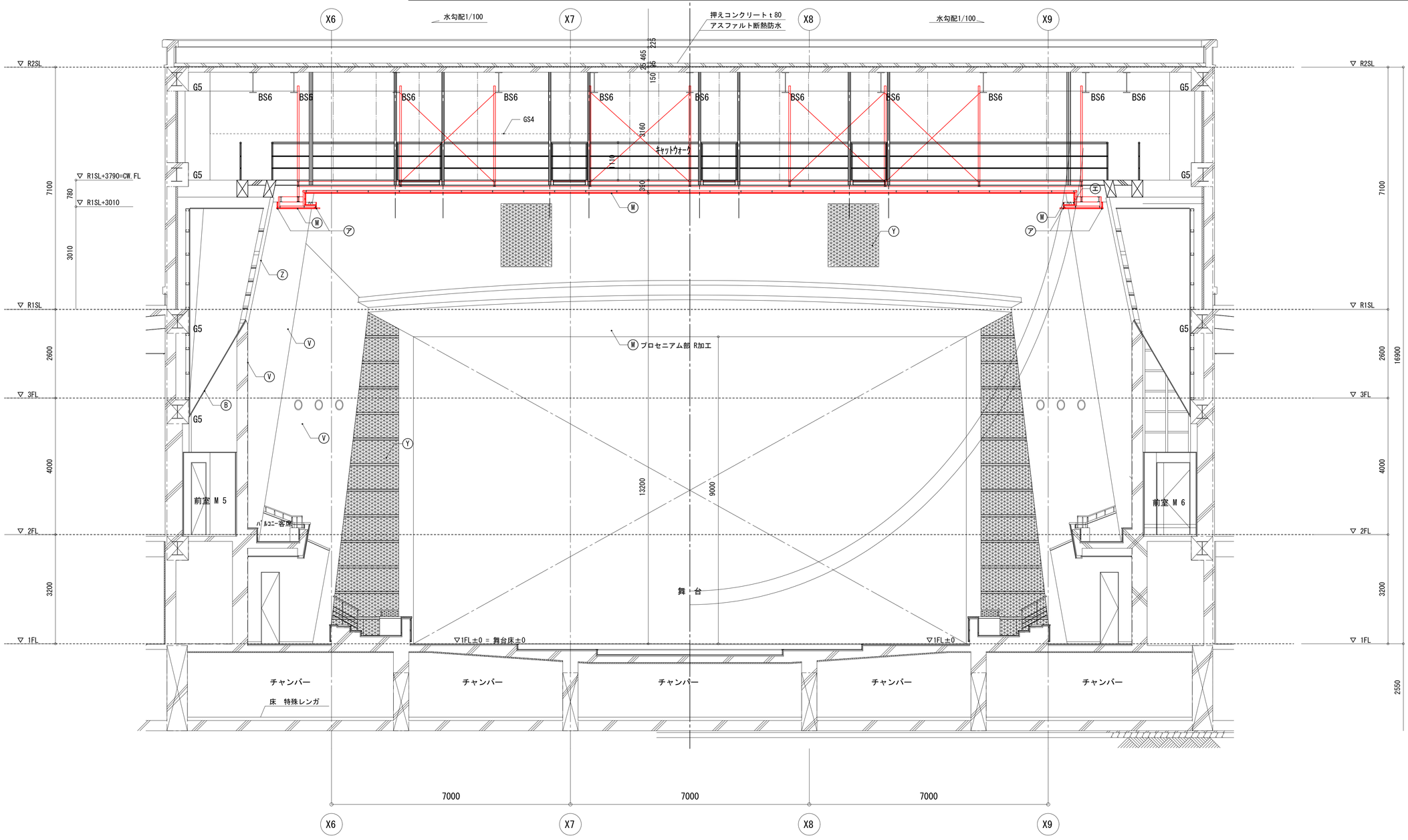
凡　例

特　記

Ⓗ：マルチホール壁GWボードｔ50　32kg品は既存のまま

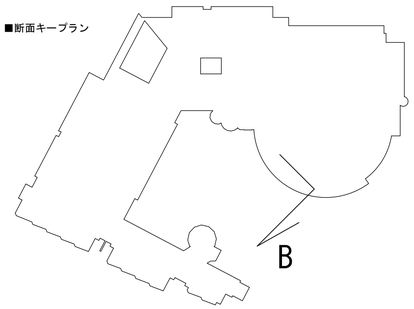
Ⓨ：プロセニアム部分のサランネット押えは下地とも撤去、新設

※壁と天井の取合い箇所は部分詳細図参照

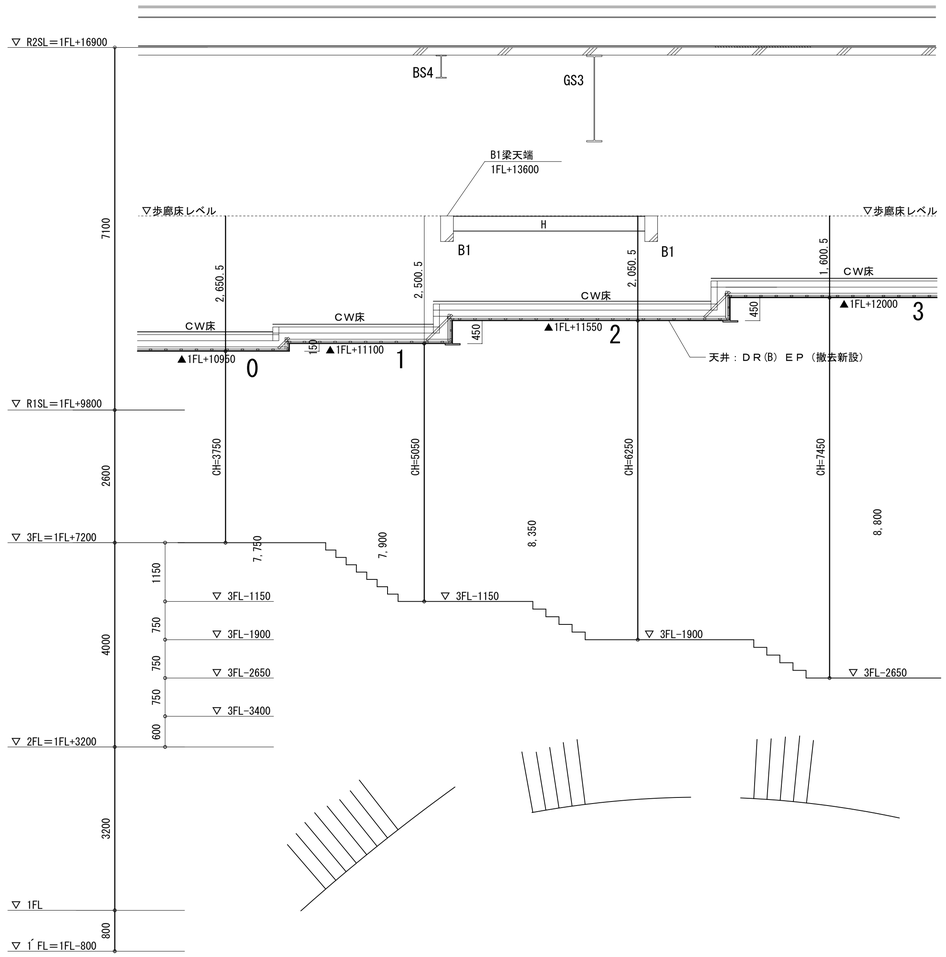


記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月	令和6年6月
		株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称	特定天井改修（7） メインホール断面詳細図２（既存／改修）	縮尺	A1:1/60 A3:1/120
						図面番号	A-071

■断面キープラン



-B断面-

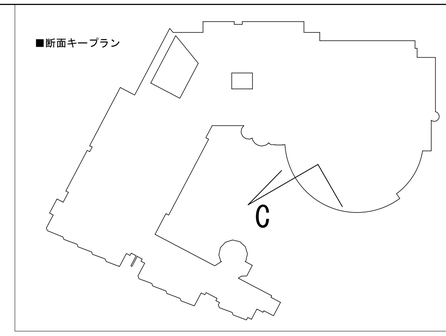


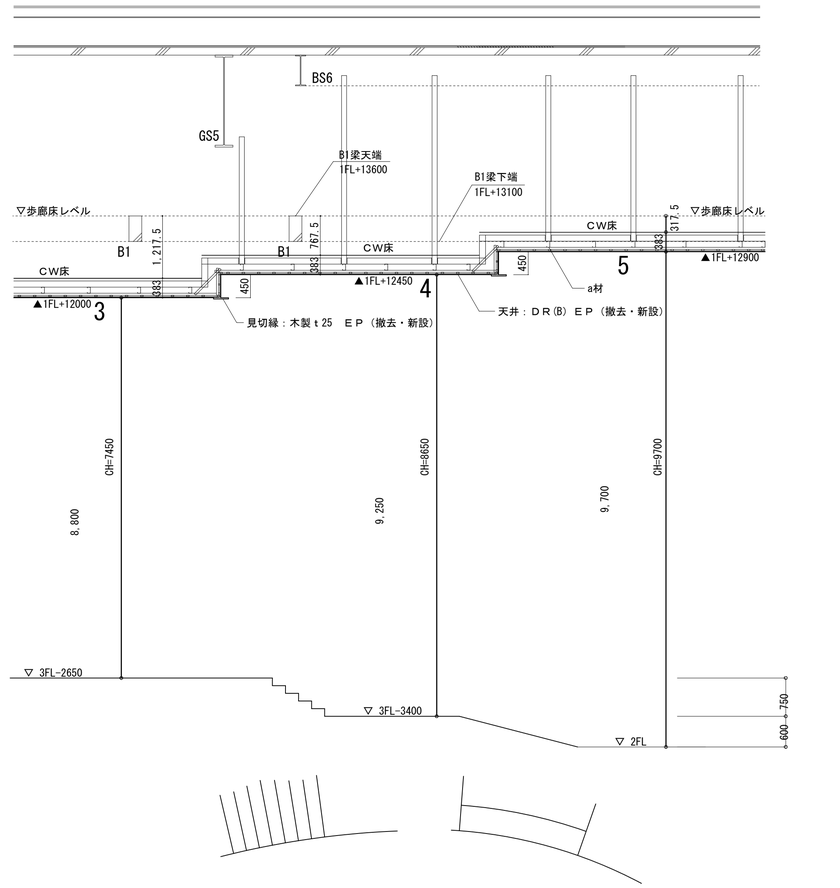
特記事項

改修内容：既存天井下地共撤去の上、準構造天井耐震補強を行う。
原則既存レベル・形状を更新する。

-C断面-

■断面キープラン



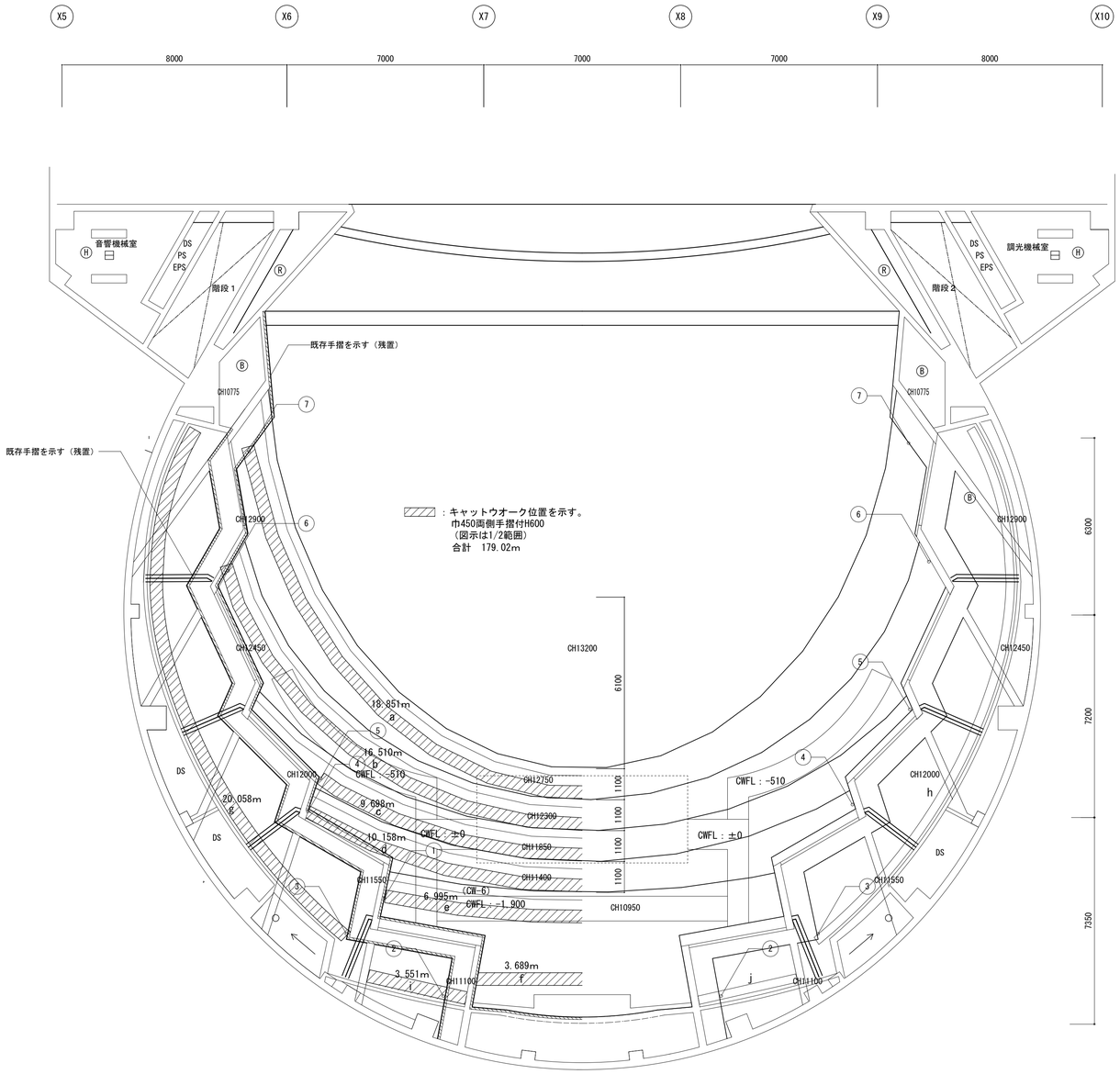


記事		業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	図面名称 特定天井改修（8） メインホール屋内階段断面図（既存／改修）	縮尺 A1:1/*** A3:1/***
		印			図面番号 A-072

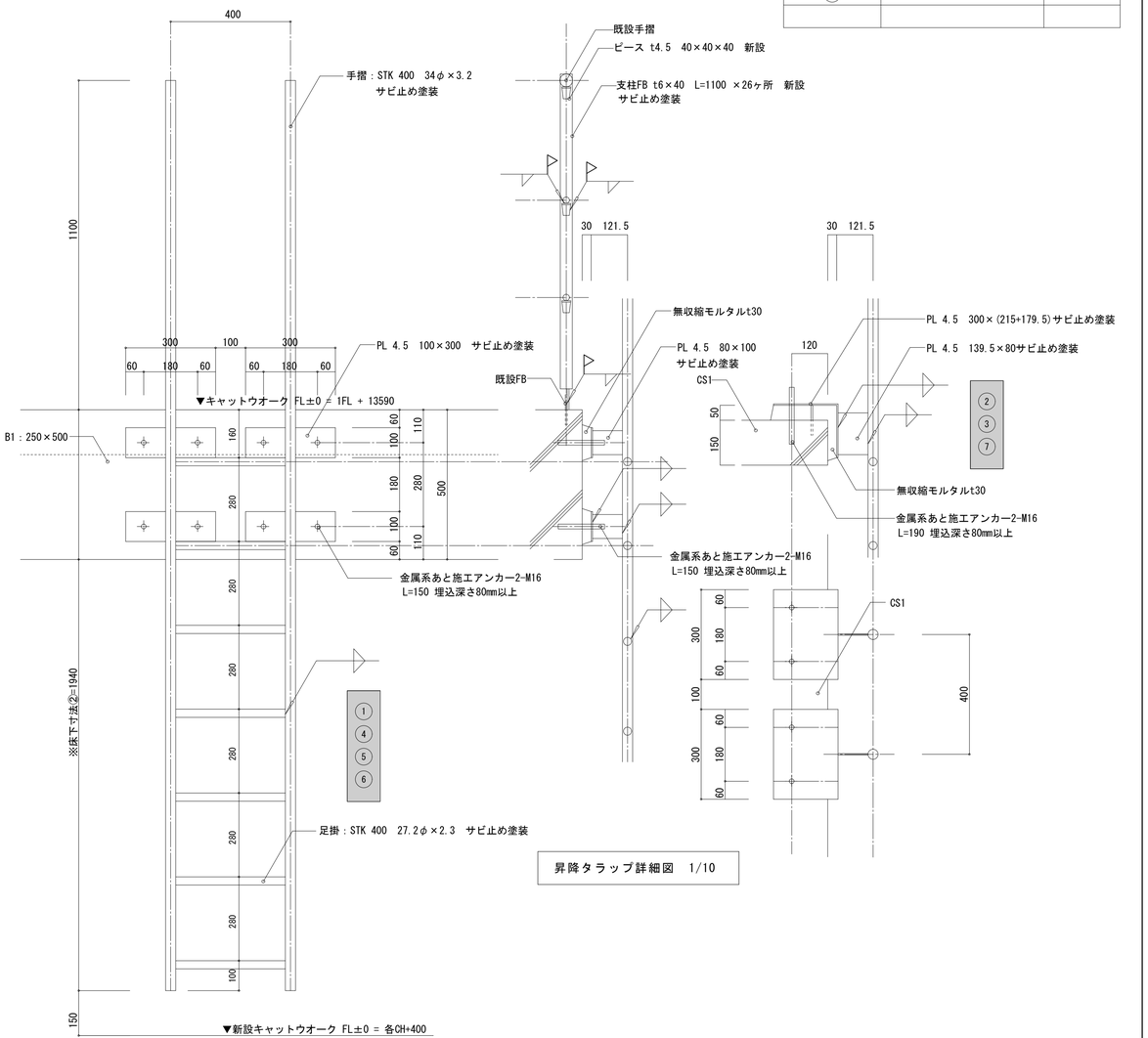
特　記
■サビ止め塗装 ：鉄鋼面素地調整　C種 ：サビ止め塗料　B種(JIS K 5674　屋内) ：塗装工程　B種
■既設手摺処理 ：新設昇降タラップ箇所は既設手摺部を78ヶ所　ガス切断 ：支柱FB t6×40　L=1100 ×26ヶ所　新設

凡　例	
	昇降タラップの位置を示す
	新設キャットウオークW=450を示す

記　号	床上寸法		床下寸法	数　量
①	L = 1100	+	190	2
②	L = 1100	+	1940	2
③	L = 1100	+	1490	2
④	L = 1100	+	1640	2
⑤	L = 1100	+	1190	2
⑥	L = 1100	+	740	2
⑦	L = 1100	+	290	2



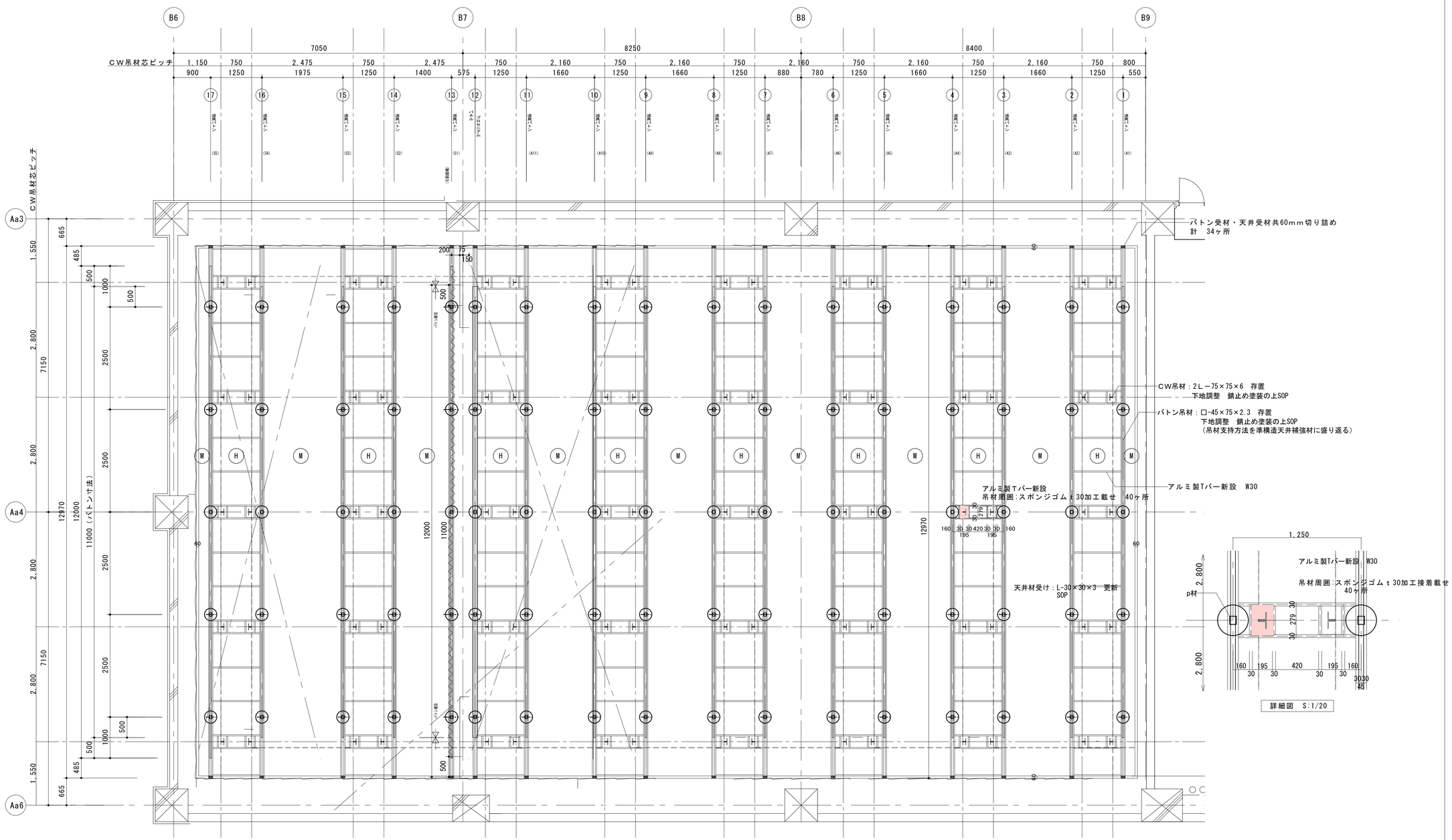
新設CW・昇降タラップ配置図　1/100



昇降タラップ詳細図　1/10

記事		業務名称	工事名称	設計年月
			富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	令和6年6月

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称	縮尺	図面番号
		特定天井改修（9） 新設キャットウオーク・昇降タラップ伏図	A1:1/100 A3:1/200	A-073



マルチホール天井開口表

名称	仕様・大きさ	数量
ノズル	Φ250	24
SP	Φ50	31
排煙口	650×650	2
照明器具	CW上部天井直付け	28
照明器具	CW下部吊下げ	28
非常照明	Φ100	12

マルチホール天井伏図

仕上げ凡例

Ⓜ：ＦＲＧボード（8+8）ＥＰ

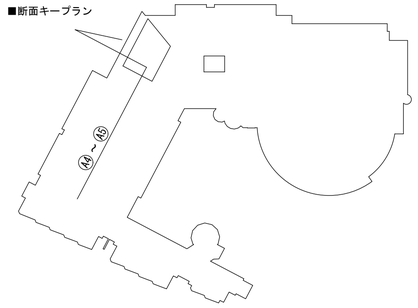
Ⓗ：ＧＷボードｔ50

Ⓑ：ワイヤロープ吊点　存置
【バトン・ワイヤロープ存置】

記事

業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
			設計年月 令和6年6月
株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称	特定天井改修（10） マルチホール天井伏図（改修）
		縮尺	A1:1/20・50 A3:1/40・100
		図面番号	A-074

■断面キープラン



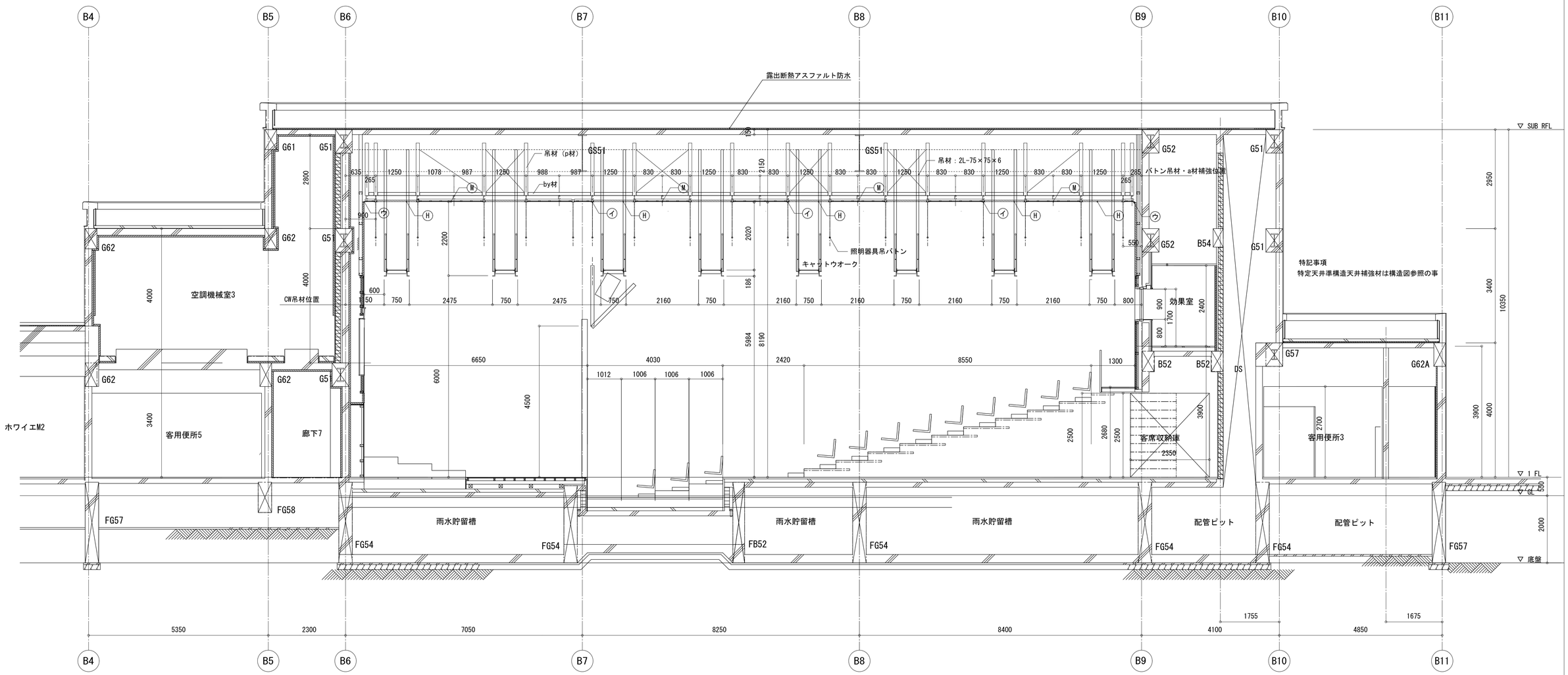
凡例リスト		
記号	仕上材	改修内容
(A)	岩綿吸音板 － A	―
(B)	岩綿吸音板 － B	―
(C)	岩綿吸音板 － C	―
(D)	岩綿吸音板 － D	―
(E)	GB-D(T)	―
(F)	木片セメント板	―
(G)	木繊セメント板	―
(H)	GWボード t 50　32kg品(ｱﾙﾐ製ｼﾞｮｲﾝﾄ目地)	撤去・新設
(I)	FK	―
(J)	GB-R　2重張　EP塗	下地とも撤去・新設
(K)	有孔FK	―
(L)	練り付FK	―
(M)	Fボード t 8+8　EP塗(一部R加工)	下地とも撤去・新設
(N)	アルミスパンドレル	―
(O)	アルミルーバー	―

凡例リスト		
記号	仕上材	改修内容
(P)	アルミパネル	―
(Q)	コンクリート打放し	―
(R)	コンクリート型枠外し	―
(S)	壁：練付ﾘﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ染色 UC	―
(T)	壁：練付有孔部下地合板	―
(U)	壁：一部練付有孔合板染色 UC塩ﾋﾞｼｰﾄ	―
(V)	壁：コンクリート打放し　薄塗材B	既存のまま
(W)	壁：一部練付有孔合板染色 UC	〃
(X)	壁：一部GB-R 二重貼り EP	〃
(Y)	壁：サランネット押え	〃
(Z)	壁：化粧透し壁	〃
(ア)	見切縁-1(木製　竪木 EP)	取外し、再取付
(イ)	見切縁-1(ｽﾁｰﾙ t 1.6　SOP)	既存のまま
(ウ)	見切縁-1(ｽﾁｰﾙ t 1.6　SOP)	撤去
(エ)	点検口W=700・500×H=324・210ｽﾁｰﾙ t 1.6曲加工SOP	取外し、再取付

凡　例

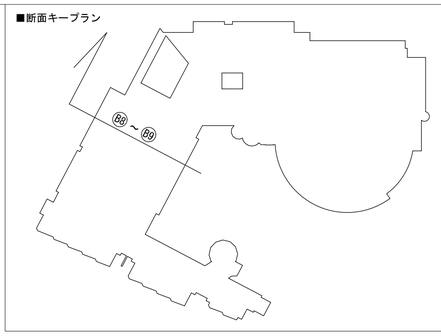
特　記

(H)：マルチホール壁GWボード t 50　32kg品は既存のまま
(Y)：プロセニアム部分のサランネット押えは下地とも撤去、新設
※壁と天井の取合い箇所は部分詳細図参照
※キャットウオーク及びバトン吊材は既存のまま
※照明器具吊バトンは上巻の上養生し存置



記事					
業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月	令和6年6月
株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称	特定天井改修（11） マルチホール断面詳細図１（改修）	縮尺	A1:1/60 A3:1/120
				図面番号	A-075

■断面キープラン



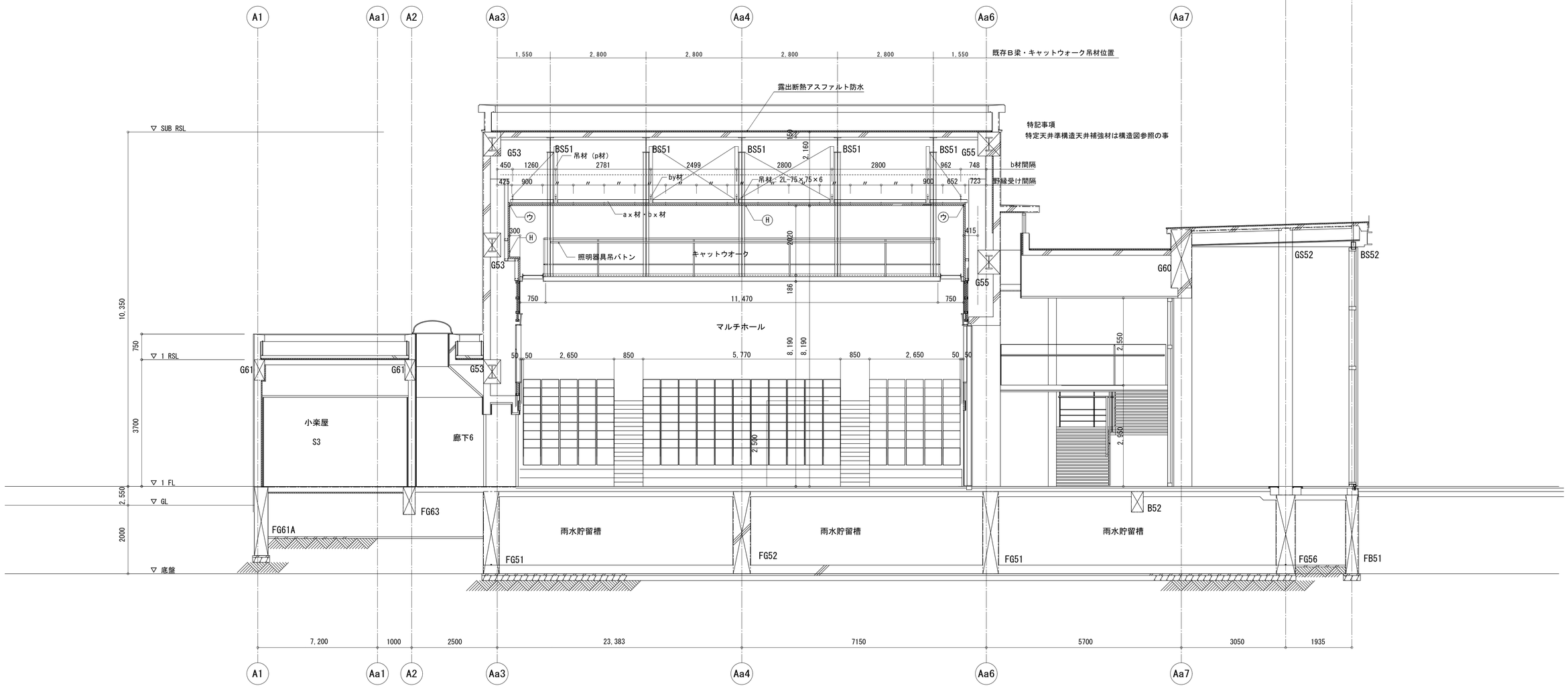
凡例リスト		
記号	仕上材	改修内容
(A)	岩綿吸音板 － A	―
(B)	岩綿吸音板 － B	―
(C)	岩綿吸音板 － C	―
(D)	岩綿吸音板 － D	―
(E)	GB-D(T)	―
(F)	木片セメント板	―
(G)	木繊セメント板	―
(H)	GWボード t 50　32kg品(ｱﾙﾐ製ｼﾞｮｲﾝﾄ目地)	撤去・新設
(I)	FK	―
(J)	GB-R　2重張　EP塗	下地とも撤去・新設
(K)	有孔FK	―
(L)	練り付FK	―
(M)	Fボード t 8+8　EP塗(一部R加工)	下地とも撤去・新設
(N)	アルミスパンドレル	―
(O)	アルミルーバー	―

凡例リスト		
記号	仕上材	改修内容
(P)	アルミパネル	―
(Q)	コンクリート打放し	―
(R)	コンクリート型枠外し	―
(S)	壁：練付ﾘﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞ染色 UC	―
(T)	壁：練付有孔部下地合板	―
(U)	壁：一部練付有孔合板染色 UC塩ﾋﾞｼｰﾄ	―
(V)	壁：コンクリート打放し　薄塗材B	既存のまま
(W)	壁：一部練付有孔合板染色 UC	〃
(X)	壁：一部GB-R 二重貼り EP	〃
(Y)	壁：サランネット押え	〃
(Z)	壁：化粧透し壁	〃
(ア)	見切縁-1(木製　竪木 EP)	取外し、再取付
(イ)	見切縁-1(ｽﾁｰﾙ t 1.6　SOP)	既存のまま
(ウ)	見切縁-1(ｽﾁｰﾙ t 1.6　SOP)	撤去
(エ)	点検口W=700・500×H=324・210ｽﾁｰﾙ t 1.6曲加工SOP	取外し、再取付

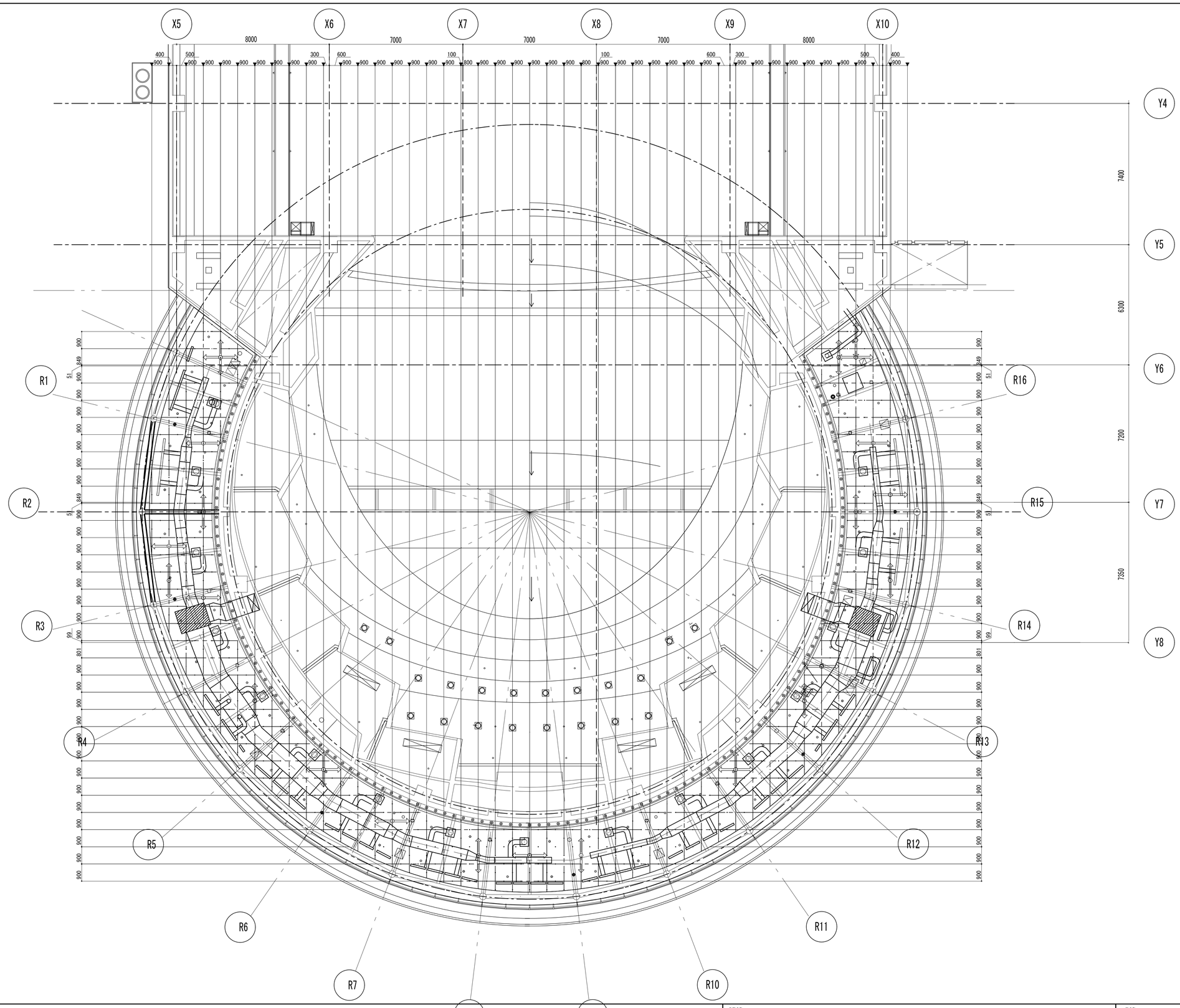
凡　例

特　記

(H)：マルチホール壁GWボード t 50　32kg品は既存のまま
(Y)：プロセニアム部分のサランネット押えは下地とも撤去、新設
※壁と天井の取合い箇所は部分詳細図参照
※キャットウオーク及びバトン吊材は既存のまま
※照明器具吊バトンは上巻の上養生し存置



記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月	令和6年6月
		株式会社 綜企画設計	埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印		図面名称	特定天井改修（12） マルチホール断面詳細図２（改修）
						縮尺	A1:1/60 A3:1/120
						図面番号	A－076



▼ DHメインバー位置

⟺ 耐震ブレース

耐震ブレース設置数量

天井面積：267.54 m2
耐震ブレース負担面積：30 m2/組

耐震ブレース設置数量 = 天井面積 ÷ 耐震ブレース負担面積
= 267.54 ÷ 30
= 8.92
≒ 9 組

よって、耐震ブレースはX方向、Y方向ともに9組以上設置することとする

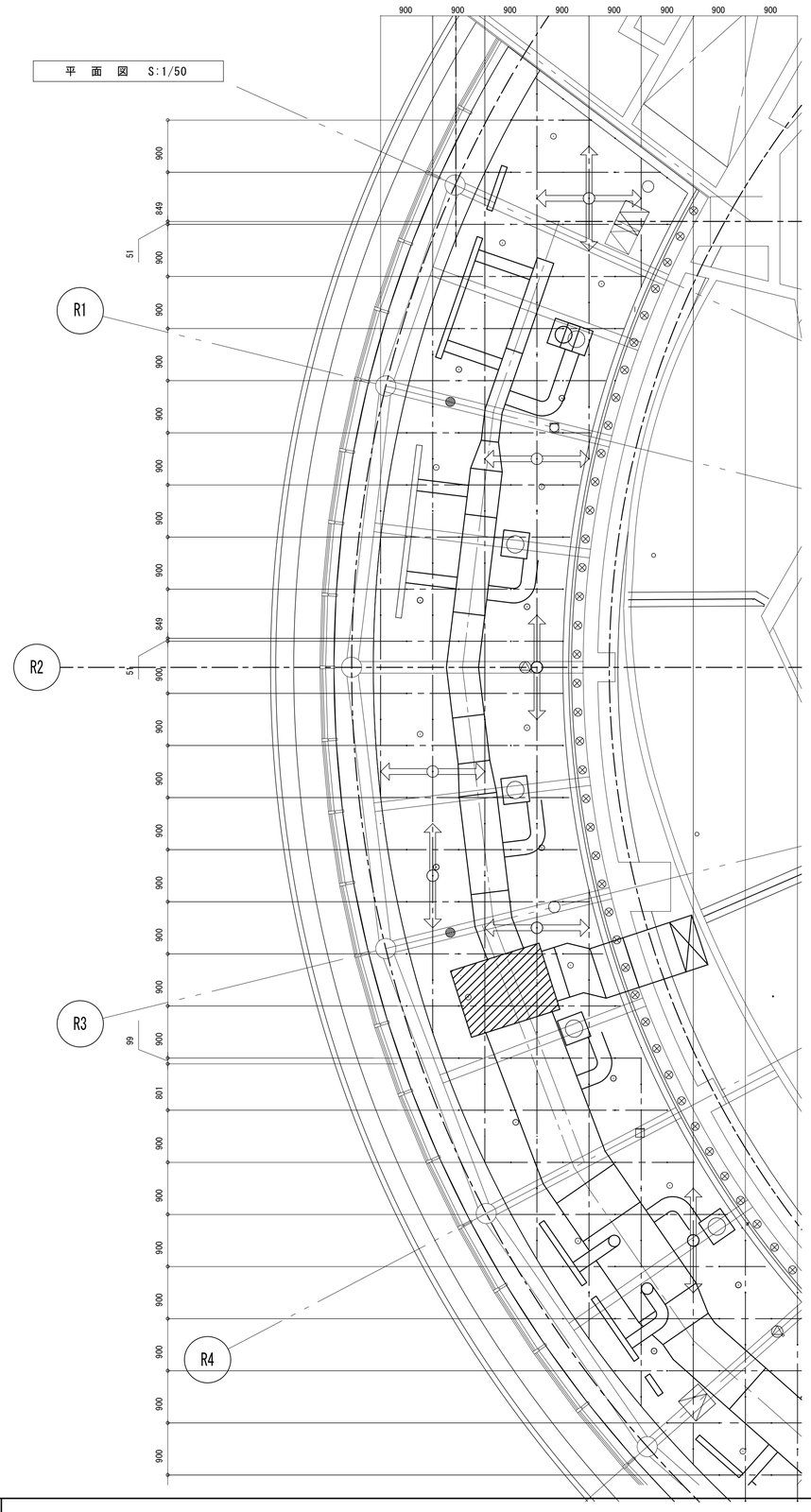
耐震ブレース配置数量

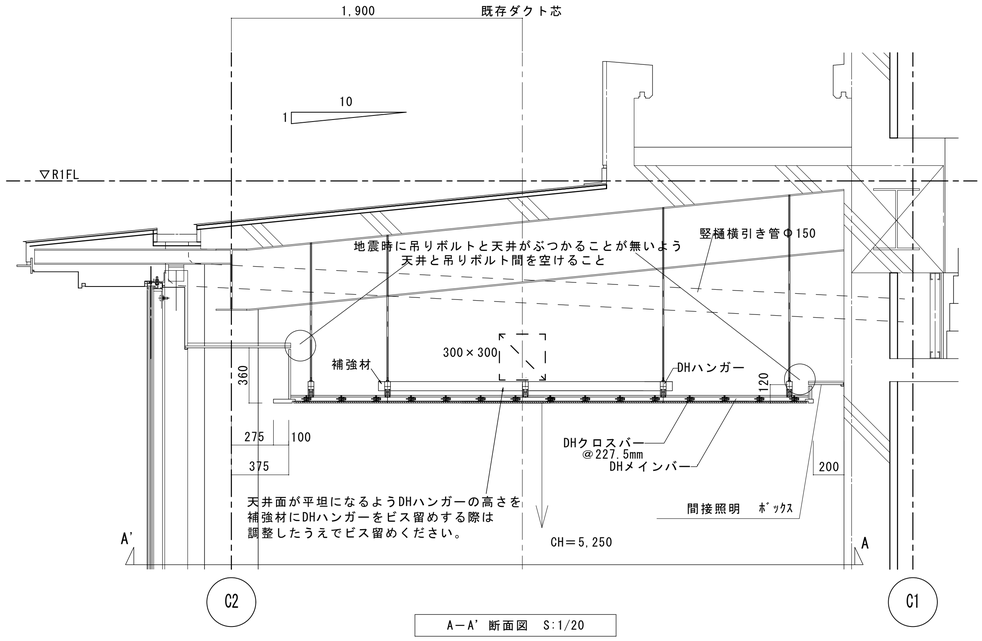
：13組

：12組

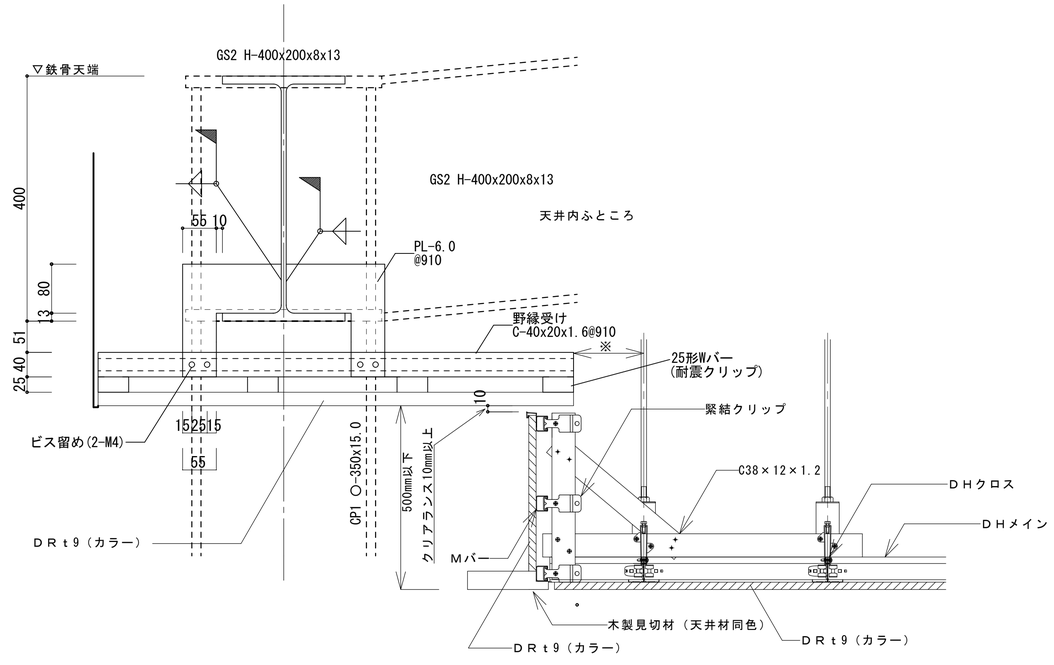
記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 特定天井改修（13）ホワイエ耐震ブレース配置図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 A－077

平　面　図　S:1/50





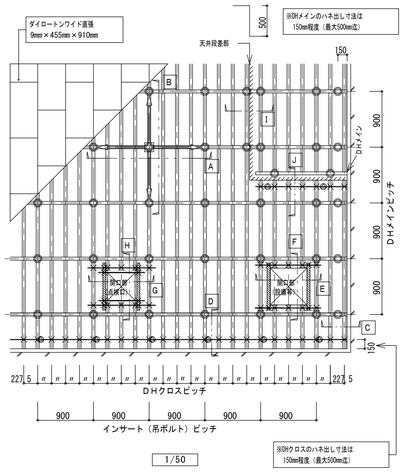
A－A' 断面図　S:1/20



A－A' 断面詳細図　S:1/5

記事	業務名称	工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月	令和6年6月
	株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称 特定天井改修（14） ホワイエ改修平面図・断面図・断面詳細図	縮尺 A1:1/5,20,50 A3:1/10,40,100	図面番号 A-078

基本軸組図

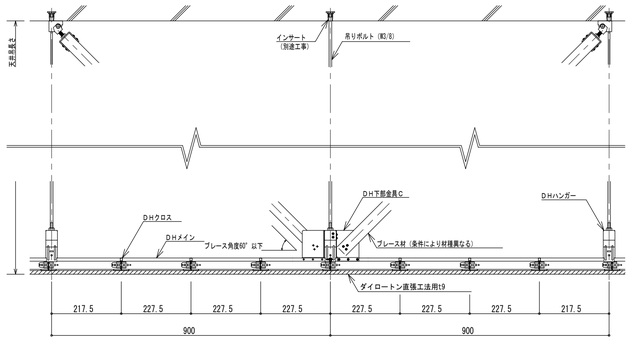


※設備との干渉などで所定の位置にインサートが配置できない
場合、DHメイン方向のインサート（吊ボルト）ピッチは
最大1600mmまで飛ばす事が可能

【凡例】

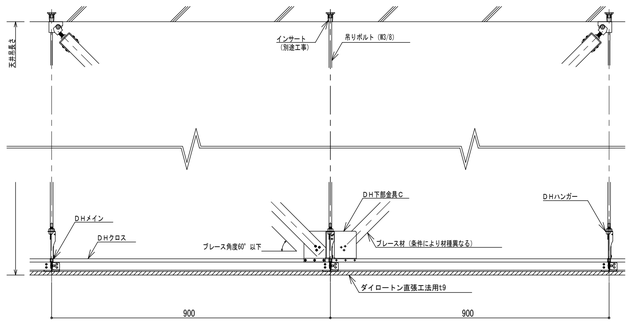
◎	DHハンガー	———	補助チャンネル（C38×12×1.2）
◎	調整ハンガー（C38用）	⟸	耐震ブレース（矢印方向：上向き）
×	DHクリップ	▬▬	補強バー（DHクロス又はDHメイン）

インサート吊元仕様　※コンクリートスラブ、デッキプレート等下地



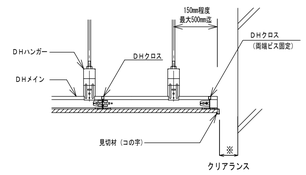
A 部分断面図

インサート吊元仕様　※コンクリートスラブ、デッキプレート等下地



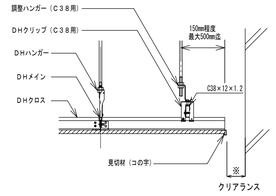
B 部分断面図

C 部分断面図



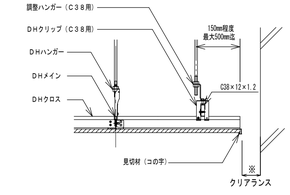
DHメイン直交方向　壁際断面図

D 部分断面図



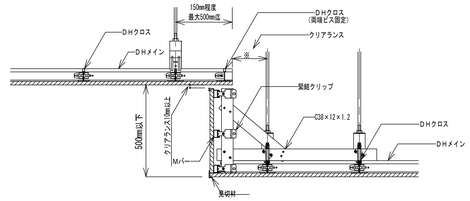
DHクロス直交方向　壁際断面図

D 部分断面図

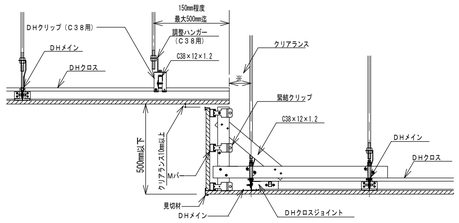


DHクロス直交方向　壁際断面図

I 部分断面図

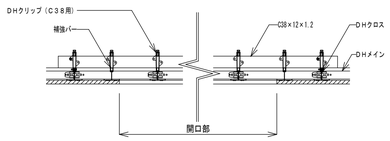


J 部分断面図

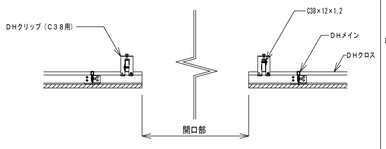


E 部分断面図

（DHクロス又はDHメイン）

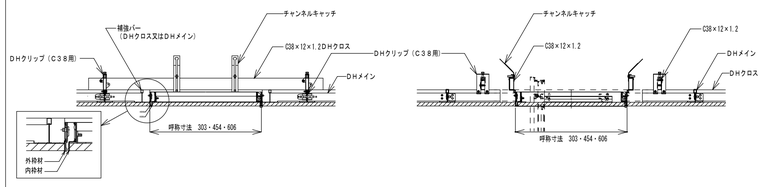


F 部分断面図



G 部分断面図

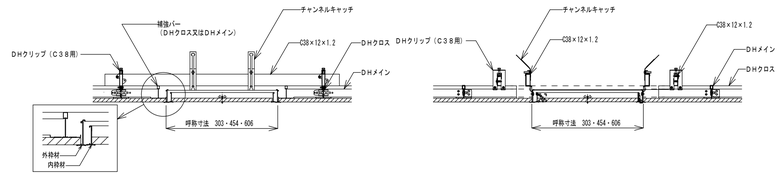
H 部分断面図



目地タイプ点検口

G 部分断面図

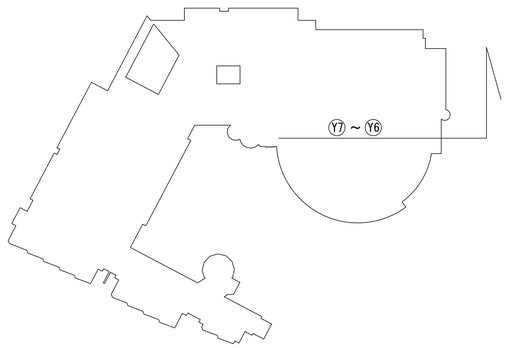
H 部分断面図

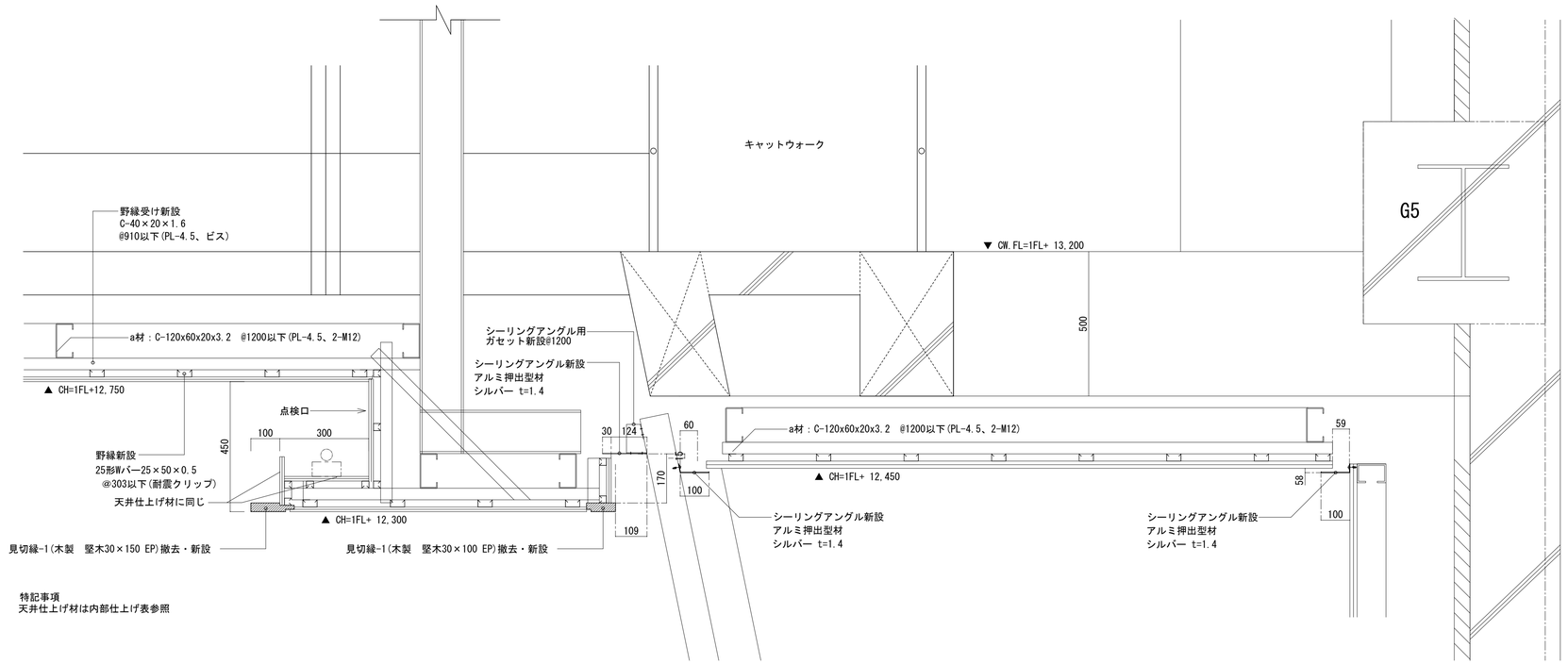


額縁タイプ点検口

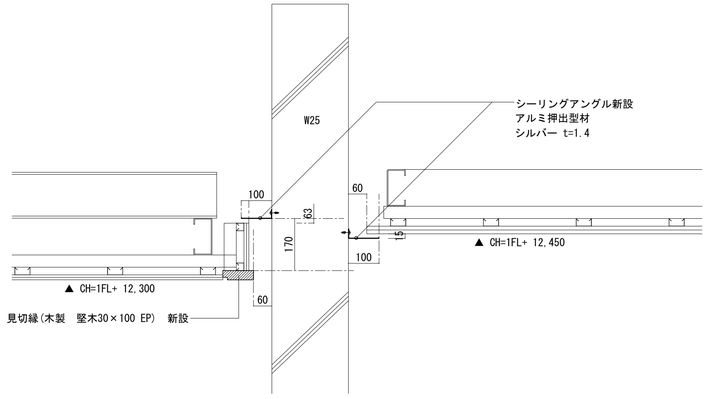
記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月	令和6年6月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	図面名称	特定天井改修（15）耐震天井標準詳細図	縮尺	A1:1/10,50 A3:1/20,100
		印	・　・			図面番号	A-079

■断面キープラン





特記事項
天井仕上げ材は内部仕上げ表参照



記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月	
	株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉　印	図面名称 特定天井改修（16）部分詳細図１	縮尺 A1:1/10 A3:1/20	図面番号 A-080

壁・天井スリット詳細図 － 2

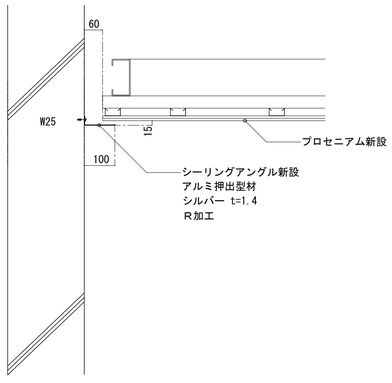
１／１０



プロセニアム参考写真

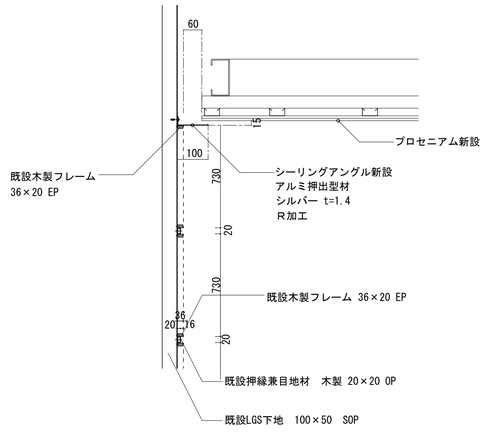
壁・天井スリット詳細図 － 2：Ａ部

１／１０



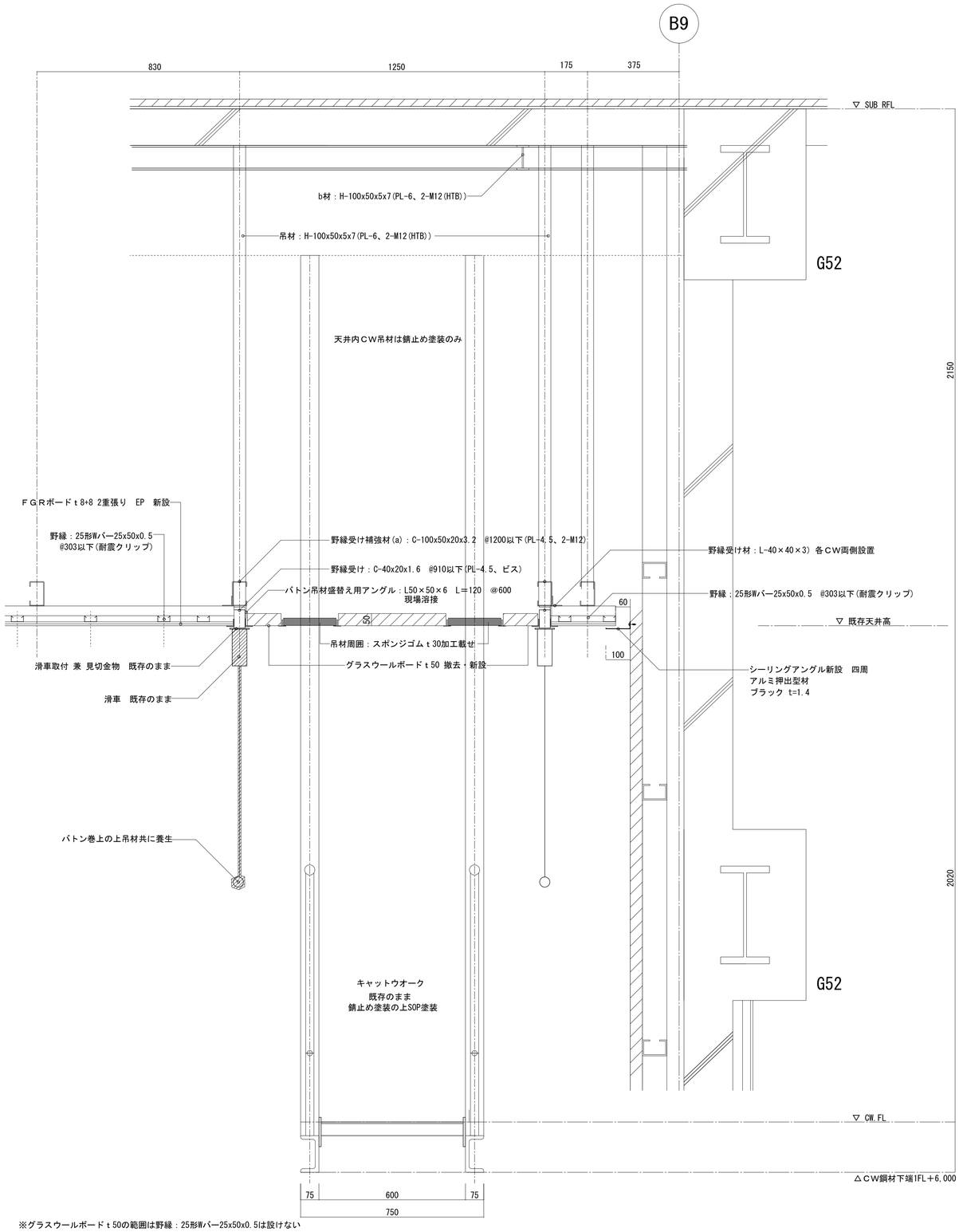
壁・天井スリット詳細図 － 3：Ｂ部

１／１０



壁・天井スリット詳細図 － 3(マルチホールスパン方向)

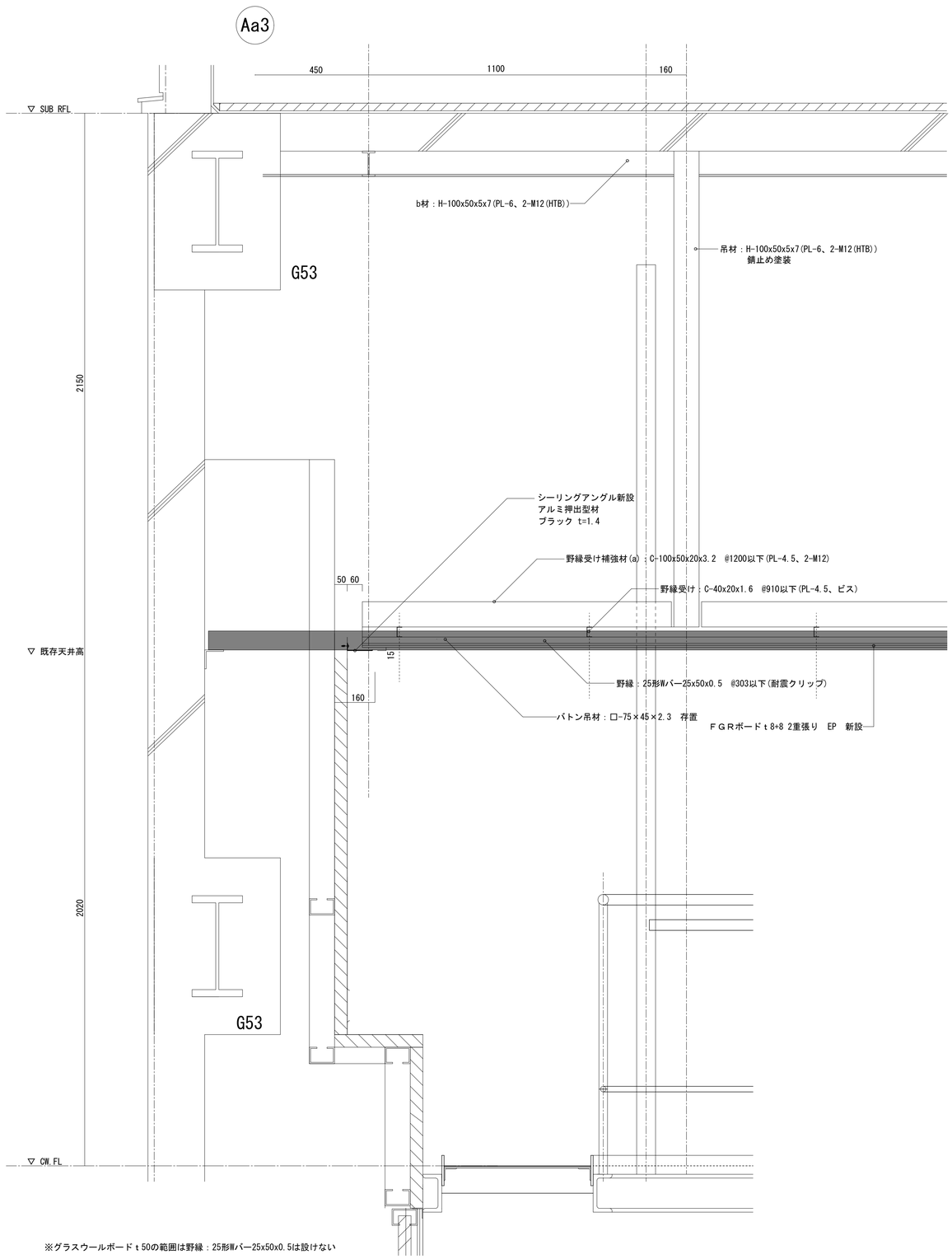
１／１０



※グラスウールボードｔ50の範囲は野縁：25形Wバー25x50x0.5は設けない

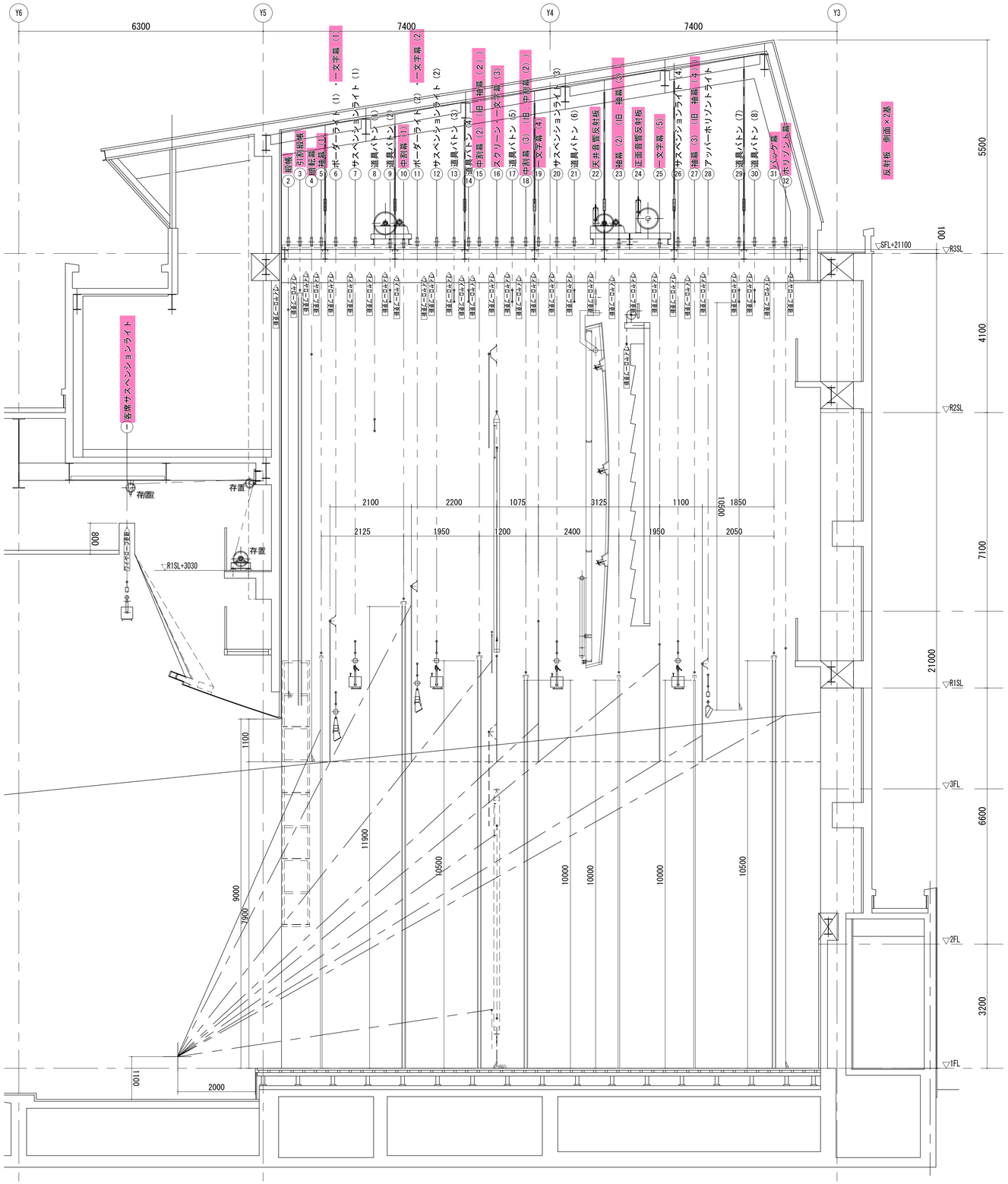
記事

業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
			設計年月 令和6年6月
株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	図面名称	特定天井改修（2）部分詳細図２
印	・ ・	縮尺	A1:1/10 A3:1/20
		図面番号	A-081

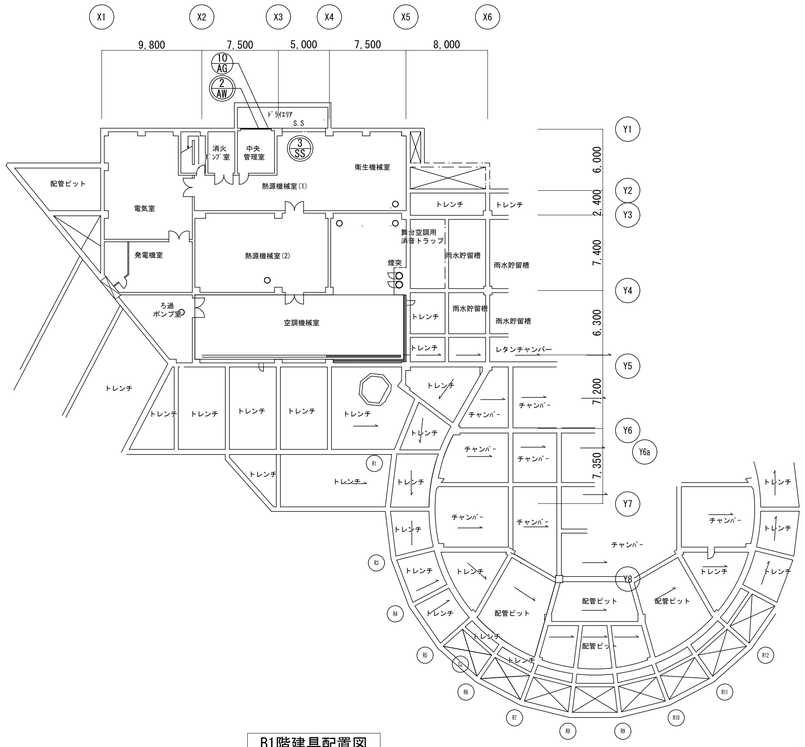


記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	図面名称 特定天井改修（18）部分詳細図３	縮尺 A1:1/10 A3:1/20 / 図面番号 A-082

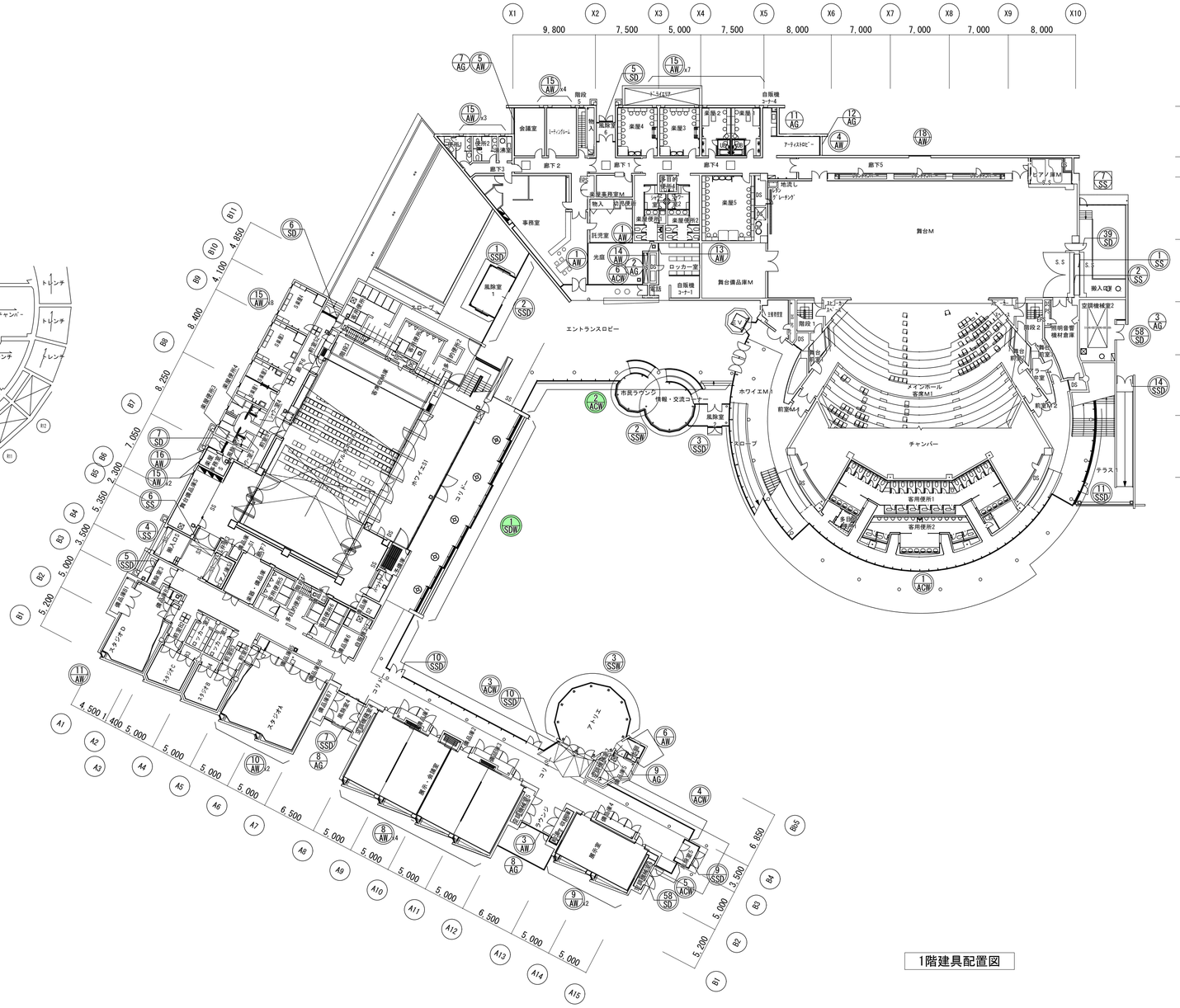
品名	数量	単位
1） 緞帳、スクリーン、反射板への養生	1	式
作業費、仮設・養生費、運搬費等		
作業予定日数：5日間		
養生対象装置：緞帳、スクリーン、反射板（天井、正面、側面×2基）		
主な作業内容：		
各装置を下限位置まで降ろし、装置を吊ったままブルーシートで覆った後、		
上限位置まで飛ばして現地保管（吊りっぱなし）		
〃		
緞帳、スクリーン、反射板への養生　小計		
2） 幕類取外し、梱包	1	式
作業費、仮設梱包材、運搬費等		
作業予定日数：2日間		
取外し対象幕：		
引割緞帳、暗転幕、袖幕1～3、一文字幕1～5、中割幕1～3、バック幕、ホリゾント幕、PVC、松羽目		
主な作業内容：		
各幕を吊物装置から取外して畳んで梱包後、控室等に現地保管		
〃		
幕類取外し・梱包　小計		
3） 緞帳表地クリーニング、防炎剤塗布	1	式
クリーニング・防炎塗布作業、吊降ろし・再吊り込み、仮設養生、運搬費等		
現地作業予定日数：4日間		
対象装置：緞帳		
主な作業内容：		
緞帳を昇降装置から吊降ろして舞台面に敷いたのち、		
表面のクリーニング及び防炎剤を塗布。乾燥後に昇降装置に再吊り込み及び調整		
〃		
緞帳クリーニング・再防炎加工　小計		
4） 舞台幕再吊り込み・調整	1	式
作業費、仮設養生、運搬費等		
現地作業予定日数：2日間		
主な作業内容：		
2）で取外し保管してあった幕の再吊り込み作業及び調整		
〃		
舞台幕再吊り込み・調整　小計		
5） 客席サスペンションライト昇降装置　撤去・復旧	1	式
バトン撤去・復旧（取り外し、復旧）作業費、仮設養生、運搬費等		
現地作業予定日数：撤去2日間、復旧3日間		
主な作業内容：		
バトンパイプの撤去、天井工事後に枝滑車とワイヤロープの更新及び復旧・調整		
※巻上機（シャフト含む）、方向変車は撤去・更新の対象外		
撤去したバトンパイプは再利用の為、現地保管（照明灯体等の取外し、復旧は含まず）		
〃		
舞台幕再吊り込み・調整　小計客席サスペンションライト昇降装置　撤去・復旧　小計		



記事		業務名称		工事名称		設計年月
			株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	令和6年6月
					図面名称：特定天井改修（19） 舞台機構・幕取外し・再取付リスト	縮尺：A1:1/60 A3:1/120
						図面番号：A-083



B1階建具配置図



1階建具配置図

名　所	数量(m)	備　考	
ガラス留めシーリング	4,847.0	シリコン1成分形　SR-1	外部面のみ更新
ガラス突合せシーリング	2.0	8+8 180°	
〃	2.6	10+10　90°	
〃	5.1	10+10　130°	
〃	17.0	10+10　150°	
〃	21.7	10+10　157.5°	
〃	8.1	15+15　90°	
〃	26.6	15+15　150°	
〃	2.8	15+15　180°	
〃	1.4	複層8+8 ダブル　90°	
合計	4,934.3		

凡　例

：外部枠部シーリングのみ更新する建具を示す。

：改修+外部枠部シーリング更新する建具を示す。

：撤去・新設+外部枠部シーリング更新する建具を示す。

：日射調整フイルム（内貼り）付き建具を示す。

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉

印

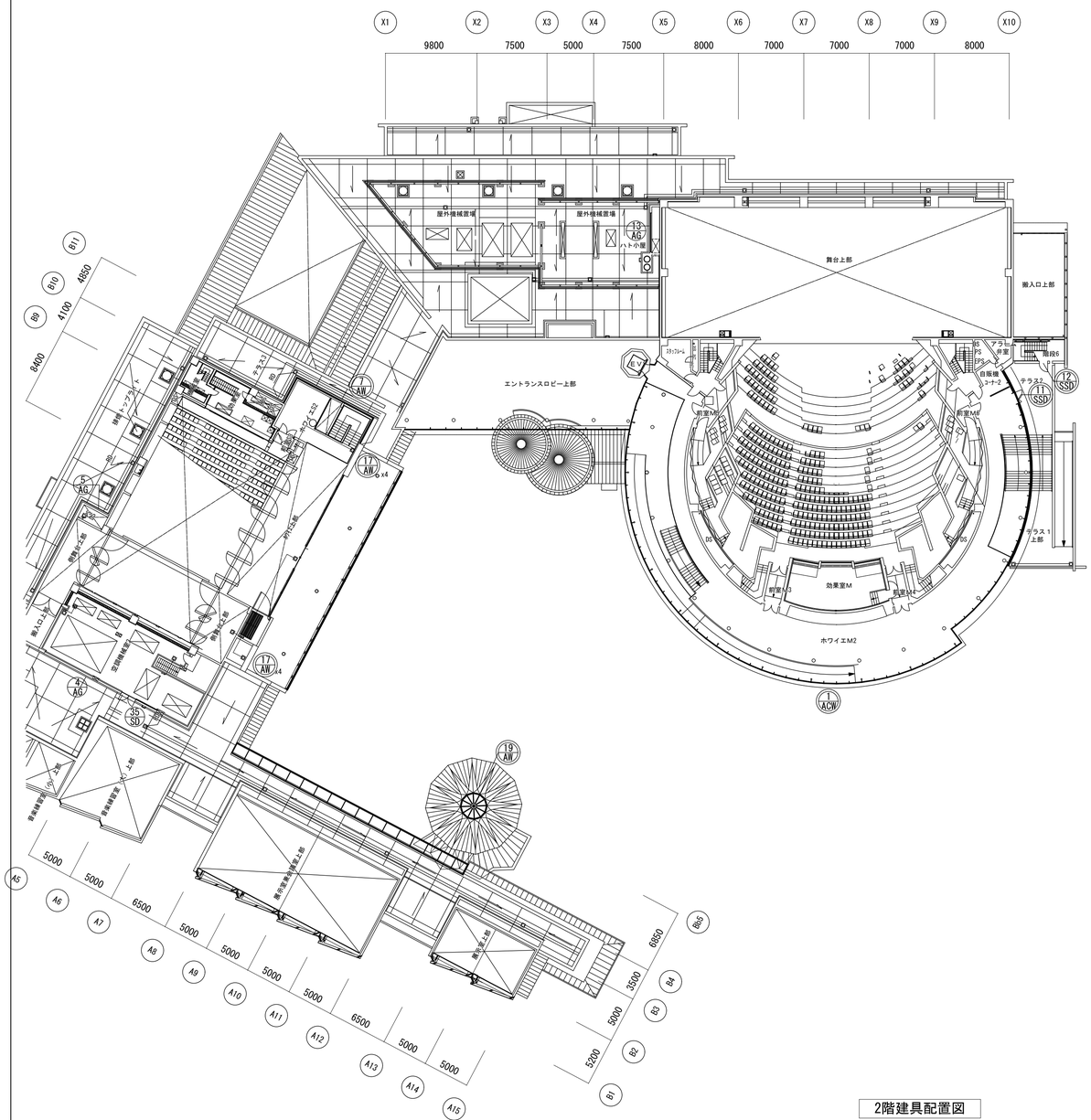
工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月　令和6年6月

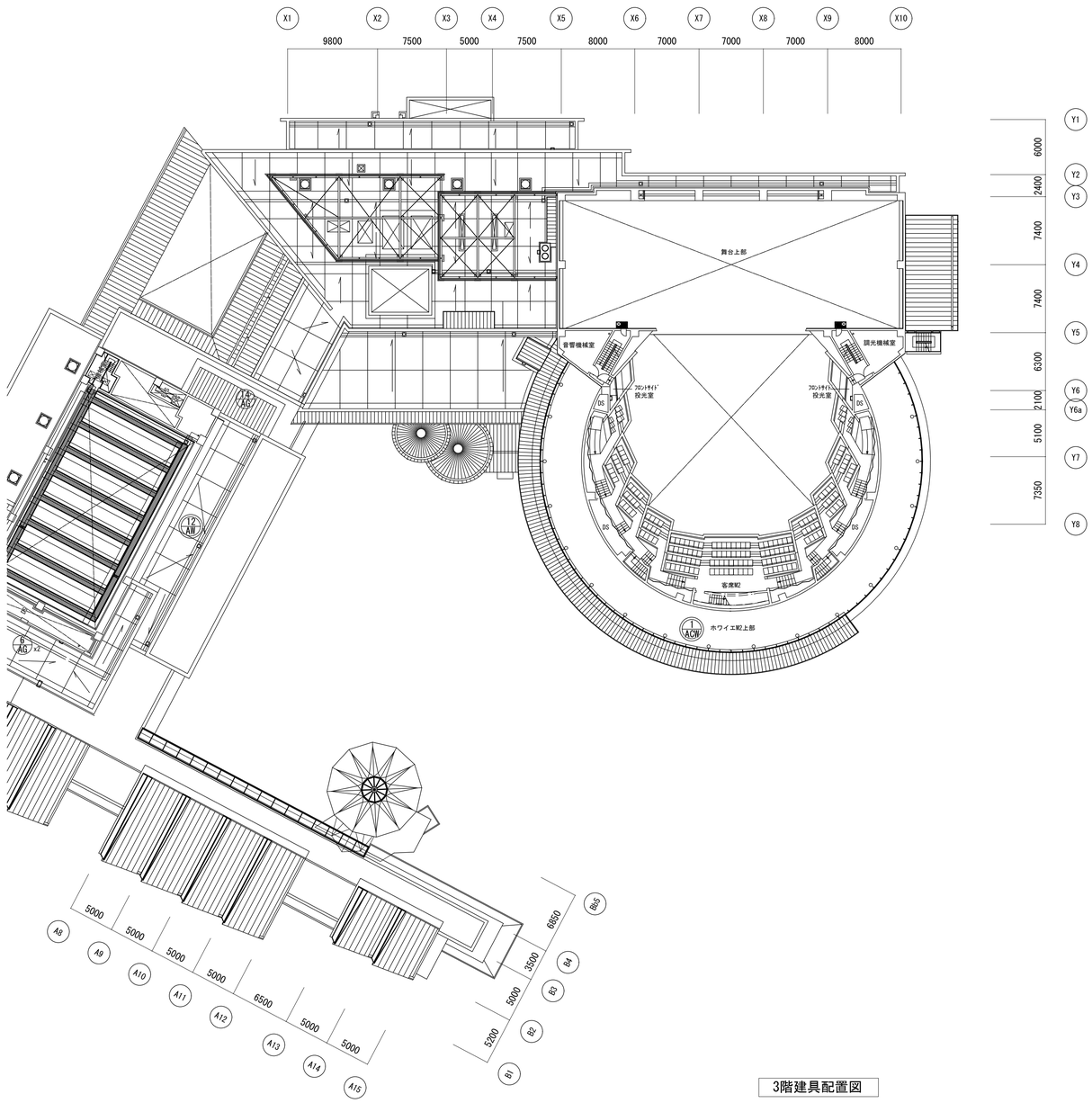
図面名称　外部建具改修（1）　建具配置図１（改修）

縮尺　A1:1/300　A3:1/600

図面番号　A-084



2階建具配置図

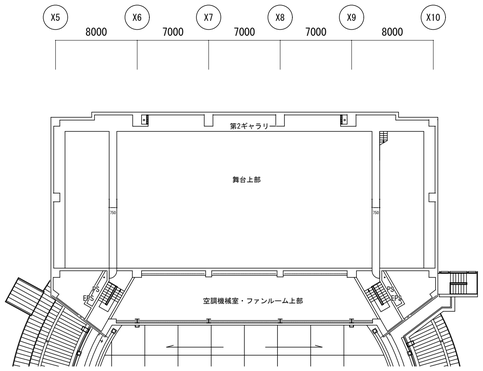


3階建具配置図

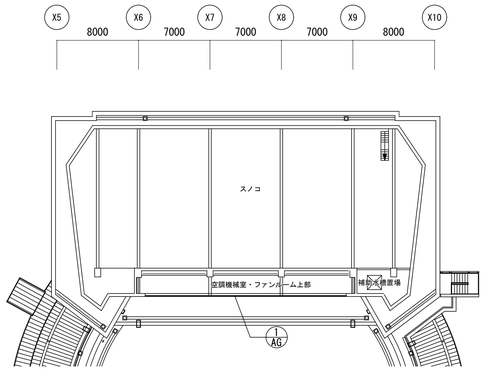
凡　例

- ：外部枠部シーリングのみ更新する建具を示す。
- ：改修+外部枠部シーリング更新する建具を示す。
- ：撤去・新設+外部枠部シーリング更新する建具を示す。
- ：日射調整フイルム付き建具を示す。

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和６年６月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 外部建具改修（2） 建具配置図２（改修）	縮尺 A1:1/300 A3:1/600
				図面番号 A-085



第２ギャラリーレベル建具配置図



R3FL建具配置図

R1FL建具配置図

客席シーリングレベル建具配置図

R2FL建具配置図

凡　例

：外部枠部シーリングのみ更新する建具を示す。

：改修+外部枠部シーリング更新する建具を示す。

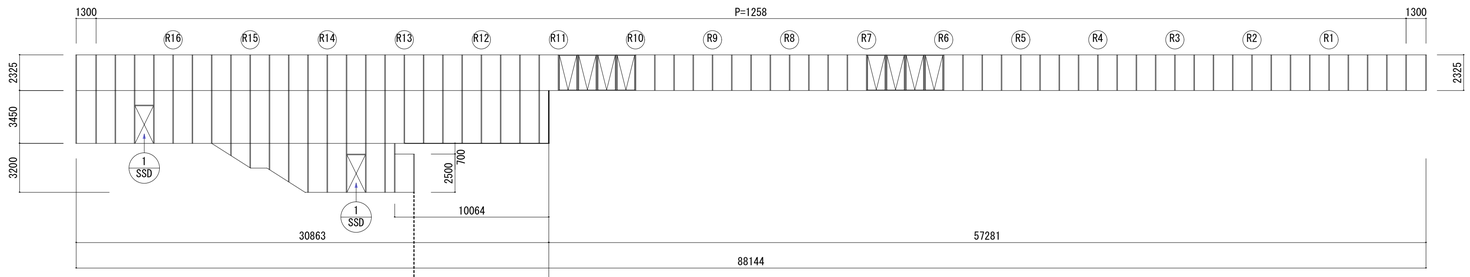
：撤去・新設+外部枠部シーリング更新する建具を示す。

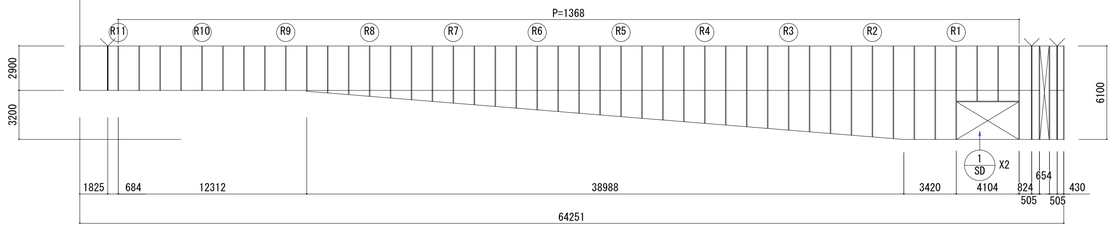
記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和６年６月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 外部建具改修（3） 建具配置図３（改修） / 縮尺 A1:1/300 A3:1/600 / 図面番号 A-086

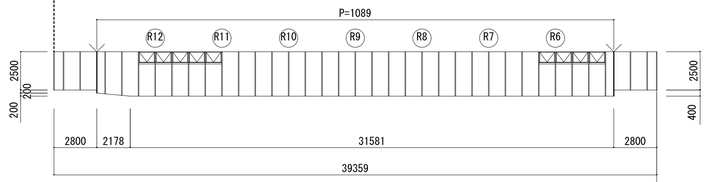
1 ACW	階	1・2	室名	ホワイエM1・M2	数量	1

形式	・片開き	・両開き	・引違い	・片引き	○1の吊し	・内倒し
	○外倒し	・外倒し	・突出し			
	・複軸回転	・複軸回転	・親子開き	・すべり出し	・防火シャッター	・防火防煙シャッター
	・リングシャッター	・2枚折扉	・その他（	）		
仕上	・鋼製	・軽量鉄製	・ステンレス	○アルミ	・木製（	）
	・電解着色	・H L	・鏡面			
	・S O P	・B－A E	・塩ビシート貼り	○脱臭電着	・その他（	）
	○ガラス種別（ Low-E LEG 厚8+A6+FL5合厚8（探打ちペア）	・日射調整フイルム				
法規制	・甲防	・乙防	・不燃（防煙）	・常時閉鎖	・感震常開	・熱感常開
	・常時施錠					
扉厚	mm	枠見込	100 mm	特殊枠	・フラットバー（・スチール	・ステンレス）
把手	・握玉	・レバーハンドル	・ケースハンドル	・引手棒板	・押棒※	・グレモン締り
	・その他※					
	※・特注品	・（	）同等品			
鍵形式	・ケースロック	・本締錠	・空錠	・表示錠	・電気錠	・クレセント
	・その他（	）				
	・シリンダー	・サムターン	・空錠	・サムターン（キャップ）	・点検口錠	・その他（
	）					
開閉	・ドアクローザー（ストップなし）	・ドアクローザー（ストップ付）	・ドアクローザー（コンシールドタイプ）			
	・ピボットヒンジ	・フロアヒンジ	・オートヒンジ	・丁番	・フランス丁番	・連結丁番※
	・その他※					
	※（	）同等品				
遮音仕様	・A T ・S A T ・その他（-タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ-タイプⅤ）					
くつずり	・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G					
付属金物	・フランス落し ・�position調整器 ・ドアガラリ（ -A ・B ・C ）（-ヒューズあり）					
	○排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ○その他（ 附属金物一式 ）					
その他	・幕板踏卓灯組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（	）				
形状図	A1：S=1/200	A3：S=1/400				

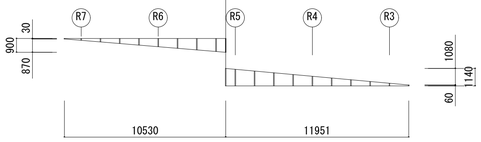
右図（室内より観る）







1 ACW 展開図（内観）

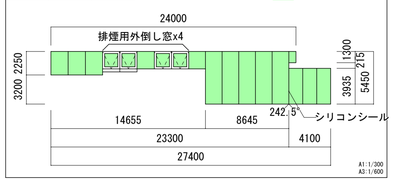


A1:1/200
A3:1/400

2 ACW	階	1	室名	エントランス・ロビー	数量	1

形式	・片開き	・両開き	・引違い	・片引き	○1の吊し	・内倒し
	○外倒し	・外倒し	・突出し			
	・複軸回転	・複軸回転	・親子開き	・すべり出し	・防火シャッター	・防火防煙シャッター
	・リングシャッター	・2枚折扉	・その他（	）		
仕上	・鋼製	・軽量鉄製	・ステンレス	○アルミ	・木製（	）
	・電解着色	・H L	・鏡面			
	・S O P	・B－A E	・塩ビシート貼り	○脱臭電着	・その他（	）
	○ガラス種別（ FL厚10 ）	○日射調整フイルム				
法規制	・甲防	・乙防	・不燃（防煙）	・常時閉鎖	・感震常開	・熱感常開
	・常時施錠					
扉厚	mm	枠見込	100 mm	特殊枠	・フラットバー（・スチール	・ステンレス）
把手	・握玉	・レバーハンドル	・ケースハンドル	・引手棒板	・押棒※	・グレモン締り
	・その他※					
	※・特注品	・（	）同等品			
鍵形式	・ケースロック	・本締錠	・空錠	・表示錠	・電気錠	・クレセント
	・その他（	）				
	・シリンダー	・サムターン	・空錠	・サムターン（キャップ）	・点検口錠	・その他（
	）					
開閉	・ドアクローザー（ストップなし）	・ドアクローザー（ストップ付）	・ドアクローザー（コンシールドタイプ）			
	・ピボットヒンジ	・フロアヒンジ	・オートヒンジ	・丁番	・フランス丁番	・連結丁番※
	・その他※					
	※（	）同等品				
遮音仕様	・A T ・S A T ・その他（-タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ-タイプⅤ）					
くつずり	・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G					
付属金物	・フランス落し ・錠position調整器 ・ドアガラリ（ -A ・B ・C ）（-ヒューズあり）					
	○排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ○その他（ 附属金物一式 ）					
その他	・幕板踏卓灯組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（	）				
形状図	A1：S=1/200	A3：S=1/600				

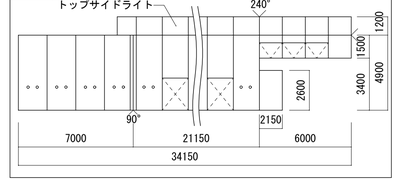
：日射調整フイルム



A1:1/200
A3:1/600

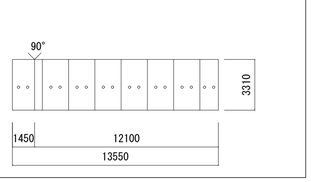
3 ACW	階	1	室名	コリドー	数量	1

形式	・片開き	・両開き	・引違い	・片引き	○1の吊し	・内倒し
	・外倒し	・突出し				
	・複軸回転	・複軸回転	・親子開き	・すべり出し	・防火シャッター	・防火防煙シャッター
	・リングシャッター	・2枚折扉	・その他（	）		
仕上	・鋼製	・軽量鉄製	・ステンレス	○アルミ	・木製（	）
	・電解着色	・H L	・鏡面			
	・S O P	・B－A E	・塩ビシート貼り	○脱臭電着	・その他（	）
	○ガラス種別（ FL厚12・FL8+A6+MP10 ）					
法規制	・甲防	・乙防	・不燃（防煙）	・常時閉鎖	・感震常開	・熱感常開
	・常時施錠					
扉厚	mm	枠見込	100 mm	特殊枠	・フラットバー（・スチール	・ステンレス）
把手	・握玉	・レバーハンドル	・ケースハンドル	・引手棒板	・押棒※	・グレモン締り
	・その他※					
	※・特注品	・（	）同等品			
鍵形式	・ケースロック	・本締錠	・空錠	・表示錠	・電気錠	・クレセント
	・その他（	）				
	・シリンダー	・サムターン	・空錠	・サムターン（キャップ）	・点検口錠	・その他（
	）					
開閉	・ドアクローザー（ストップなし）	・ドアクローザー（ストップ付）	・ドアクローザー（コンシールドタイプ）			
	・ピボットヒンジ	・フロアヒンジ	・オートヒンジ	・丁番	・フランス丁番	・連結丁番※
	・その他※					
	※（	）同等品				
遮音仕様	・A T ・S A T ・その他（-タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ-タイプⅤ）					
くつずり	・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G					
付属金物	・フランス落し ・錠position調整器 ・ドアガラリ（ -A ・B ・C ）（-ヒューズあり）					
	○排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ○その他（ 附属金物一式 ）					
その他	・幕板踏卓灯組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（	）				
形状図	A1:S=1/200	A3：S=1/400				



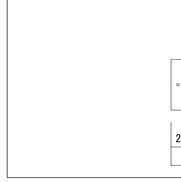
4 ACW	階	1	室名	コリドー	数量	1

形式	・片開き	・両開き	・引違い	・片引き	○1の吊し	・内倒し
	・外倒し	・突出し				
	・複軸回転	・複軸回転	・親子開き	・すべり出し	・防火シャッター	・防火防煙シャッター
	・リングシャッター	・2枚折扉	・その他（	）		
仕上	・鋼製	・軽量鉄製	・ステンレス	○アルミ	・木製（	）
	・電解着色	・H L	・鏡面			
	・S O P	・B－A E	・塩ビシート貼り	○脱臭電着	・その他（	）
	○ガラス種別（ FL厚12 ）					
法規制	・甲防	・乙防	・不燃（防煙）	・常時閉鎖	・感震常開	・熱感常開
	・常時施錠					
扉厚	mm	枠見込	100 mm	特殊枠	・フラットバー（・スチール	・ステンレス）
把手	・握玉	・レバーハンドル	・ケースハンドル	・引手棒板	・押棒※	・グレモン締り
	・その他※					
	※・特注品	・（	）同等品			
鍵形式	・ケースロック	・本締錠	・空錠	・表示錠	・電気錠	・クレセント
	・その他（	）				
	・シリンダー	・サムターン	・空錠	・サムターン（キャップ）	・点検口錠	・その他（
	）					
開閉	・ドアクローザー（ストップなし）	・ドアクローザー（ストップ付）	・ドアクローザー（コンシールドタイプ）			
	・ピボットヒンジ	・フロアヒンジ	・オートヒンジ	・丁番	・フランス丁番	・連結丁番※
	・その他※					
	※（	）同等品				
遮音仕様	・A T ・S A T ・その他（-タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ-タイプⅤ）					
くつずり	・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G					
付属金物	・フランス落し ・錠position調整器 ・ドアガラリ（ -A ・B ・C ）（-ヒューズあり）					
	・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（	）				
その他	・幕板踏卓灯組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（	）				
形状図	A1:S=1/200	A3：S=1/400				



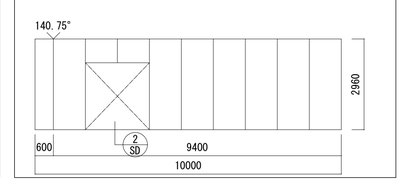
5 ACW	階	1	室名	コリドー	数量	1

形式	・片開き	・両開き	・引違い	・片引き	○1の吊し	・内倒し
	・外倒し	・突出し				
	・複軸回転	・複軸回転	・親子開き	・すべり出し	・防火シャッター	・防火防煙シャッター
	・リングシャッター	・2枚折扉	・その他（	）		
仕上	・鋼製	・軽量鉄製	・ステンレス	○アルミ	・木製（	）
	・電解着色	・H L	・鏡面			
	・S O P	・B－A E	・塩ビシート貼り	○脱臭電着	・その他（	）
	○ガラス種別（ FL厚12 ）					
法規制	・甲防	・乙防	・不燃（防煙）	・常時閉鎖	・感震常開	・熱感常開
	・常時施錠					
扉厚	mm	枠見込	100 mm	特殊枠	・フラットバー（・スチール	・ステンレス）
把手	・握玉	・レバーハンドル	・ケースハンドル	・引手棒板	・押棒※	・グレモン締り
	・その他※					
	※・特注品	・（	）同等品			
鍵形式	・ケースロック	・本締錠	・空錠	・表示錠	・電気錠	・クレセント
	・その他（	）				
	・シリンダー	・サムターン	・空錠	・サムターン（キャップ）	・点検口錠	・その他（
	）					
開閉	・ドアクローザー（ストップなし）	・ドアクローザー（ストップ付）	・ドアクローザー（コンシールドタイプ）			
	・ピボットヒンジ	・フロアヒンジ	・オートヒンジ	・丁番	・フランス丁番	・連結丁番※
	・その他※					
	※（	）同等品				
遮音仕様	・A T ・S A T ・その他（-タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ-タイプⅤ）					
くつずり	・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G					
付属金物	・フランス落し ・錠position調整器 ・ドアガラリ（ -A ・B ・C ）（-ヒューズあり）					
	・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（	）				
その他	・幕板踏卓灯組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（	）				
形状図	A1:S=1/200	A3：S=1/400				



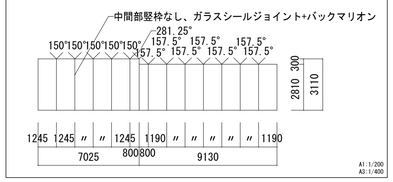
6 ACW	階	1	室名	エントランス・ロビー	数量	1

形式	・片開き	・両開き	・引違い	・片引き	○1の吊し	・内倒し
	・外倒し	・突出し				
	・複軸回転	・複軸回転	・親子開き	・すべり出し	・防火シャッター	・防火防煙シャッター
	・リングシャッター	・2枚折扉	・その他（	）		
仕上	・鋼製	・軽量鉄製	・ステンレス	○アルミ	・木製（	）
	・電解着色	・H L	・鏡面			
	・S O P	・B－A E	・塩ビシート貼り	○脱臭電着	・その他（	）
	○ガラス種別（ 合せガラス(FL厚8・アクリル板(脂厚2)FL厚8 ）					
法規制	・甲防	・乙防	・不燃（防煙）	・常時閉鎖	・感震常開	・熱感常開
	・常時施錠					
扉厚	mm	枠見込	100 mm	特殊枠	・フラットバー（・スチール	・ステンレス）
把手	・握玉	・レバーハンドル	・ケースハンドル	・引手棒板	・押棒※	・グレモン締り
	・その他※					
	※・特注品	・（	）同等品			
鍵形式	・ケースロック	・本締錠	・空錠	・表示錠	・電気錠	・クレセント
	・その他（	）				
	・シリンダー	・サムターン	・空錠	・サムターン（キャップ）	・点検口錠	・その他（
	）					
開閉	・ドアクローザー（ストップなし）	・ドアクローザー（ストップ付）	・ドアクローザー（コンシールドタイプ）			
	・ピボットヒンジ	・フロアヒンジ	・オートヒンジ	・丁番	・フランス丁番	・連結丁番※
	・その他※					
	※（	）同等品				
遮音仕様	・A T ・S A T ・その他（-タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ-タイプⅤ）					
くつずり	・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G					
付属金物	・フランス落し ・錠position調整器 ・ドアガラリ（ -A ・B ・C ）（-ヒューズあり）					
	・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（	）				
その他	・幕板踏卓灯組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（	）				
形状図	A1:S=1/100	A3：S=1/200				



2 SSW	階	1	室名	市民ラウンジ・情報コーナー	数量	1

形式	・片開き	・両開き	・引違い	・片引き	○1の吊し	・内倒し
	・外倒し	・突出し				
	・複軸回転	・複軸回転	・親子開き	・すべり出し	・防火シャッター	・防火防煙シャッター
	・リングシャッター	・2枚折扉	・その他（	）		
仕上	・鋼製	・軽量鉄製	○ステンレス	・アルミ	・木製（	）
	・電解着色	・H L	・鏡面			
	・S O P	・B－A E	・塩ビシート貼り	・脱臭電着	・その他（	）
	○ガラス種別（ FL厚12 ）	○日射調整フイルム				
法規制	・甲防	・乙防	・不燃（防煙）	・常時閉鎖	・感震常開	・熱感常開
	・常時施錠					
扉厚	mm	枠見込	30 mm	特殊枠	○フラットバー（・スチール	○ステンレス）
把手	・握玉	・レバーハンドル	・ケースハンドル	・引手棒板	・押棒※	・グレモン締り
	・その他※					
	※・特注品	・（	）同等品			
鍵形式	・ケースロック	・本締錠	・空錠	・表示錠	・電気錠	・クレセント
	・その他（	）				
	・シリンダー	・サムターン	・空錠	・サムターン（キャップ）	・点検口錠	・その他（
	）					
開閉	・ドアクローザー（ストップなし）	・ドアクローザー（ストップ付）	・ドアクローザー（コンシールドタイプ）			
	・ピボットヒンジ	・フロアヒンジ	・オートヒンジ	・丁番	・フランス丁番	・連結丁番※
	・その他※					
	※（	）同等品				
遮音仕様	・A T ・S A T ・その他（-タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ-タイプⅤ）					
くつずり	・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G					
付属金物	・フランス落し ・錠position調整器 ・ドアガラリ（ -A ・B ・C ）（-ヒューズあり）					
	・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（	）				
その他	・幕板踏卓灯組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（	）				
形状図	S= 1/200	A3：S=1/400				



A1:1/200
A3:1/400

凡例

外部	：外部枠部シーリングのみ更新する建具を示す。
外部 内部	：改修+外部枠部シーリング更新する建具を示す。
外部 内部	：撤去・新設+外部枠部シーリング更新する建具を示す。

※ [ ] は改修内容とする。

記事

業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
株式会社 綜企画設計	埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	設計年月 令和６年６月
		図面名称	外部建具改修（4） 建具表１（改修）
		縮尺	A1:1/図示 A3:1/図示
		図面番号	A-087

3 SSW 階 1 室名 アトリエ 数量 1

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ○ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚15 ・合わせ厚ガイルム ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 38 ═ 特殊枠 ○フラットバー（ステール ○ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

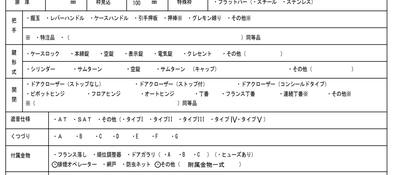
遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/400 A3:S=1/800



3 SW 階 1 室名 事務室・託児室 数量 2

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ○片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚10 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 100 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

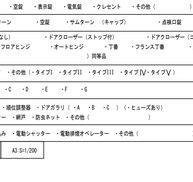
遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/100 A3:S=1/200



2 AW 階 B1 室名 中央監視室 数量 1

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ○片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚10 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 100 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

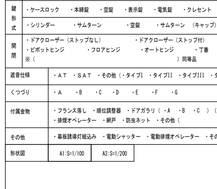
遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/100 A3:S=1/200



3 AW 階 1 室名 ラウンジ 数量 1

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚10・FL厚10・FL厚6 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 100 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ○本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ○クレセント ・その他（ ）

○シリンダー ○サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ○ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

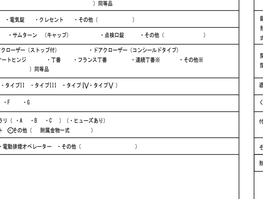
遮音仕様 ・A-T ○SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/100 A3:S=1/200



4 AW 階 1 室名 アーティストロビー 数量 1

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ○すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚10 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 70 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

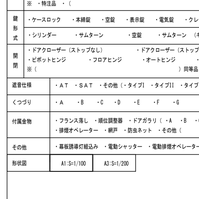
遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/100 A3:S=1/200



5 AW 階 1 室名 会議室 数量 1

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚10 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 70 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

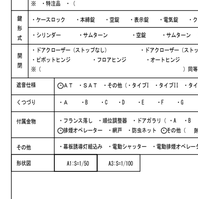
遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/100 A3:S=1/200



6 AW 階 1 室名 アトリエ水屋 数量 1

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚10 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 70 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/200 A3:S=1/400



7 AW 階 1 室名 ホワイエ S2 数量 1

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚8+6, FL厚8+6, FL厚10+6 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 70 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

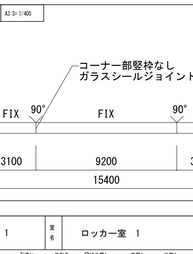
遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/100 A3:S=1/200



8 AW 階 1 室名 展示・会議室 数量 4

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ○突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚10, FL厚8+AS+NP厚6, 8 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 100 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

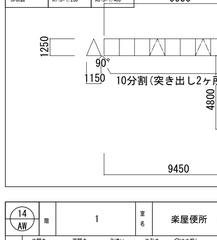
遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/100 A3:S=1/200



9 AW 階 1 室名 展示室 数量 2

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚10, FL厚8+AS+NP厚6, 8 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 100 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

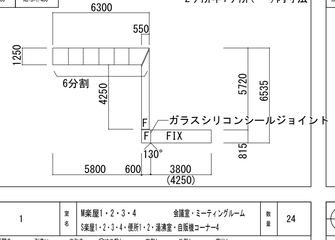
遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/200 A3:S=1/400



10 AW 階 1 室名 スタジオA 数量 2

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚10, FL厚8+AS+NP厚6, 8 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 100 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

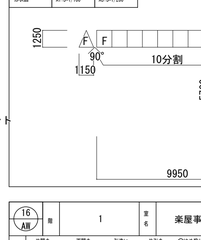
遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/100 A3:S=1/200



11 AW 階 1 室名 スタジオD 数量 1

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚12. ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 100 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

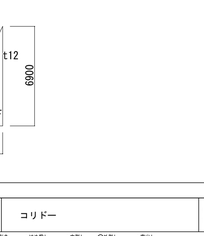
遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/50 A3:S=1/100



12 AW 階 3 室名 ホワイエ S1 数量 1

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ○突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚8+6 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 100 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/200 A3:S=1/400

13 AW 階 1 室名 ロッカー室 1 数量 1

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚5 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 70 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/100 A3:S=1/200

14 AW 階 1 室名 楽屋便所 1 数量 1

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚8 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 70 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図 A1:S=1/100 A3:S=1/200

15 AW 階 1 室名 単楽屋1・2・3・4 金属室・ミーティングルーム 5楽屋1・2・3・4・座形1・2・温湯室・自販機コーナー4 数量 24

形式 ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ○はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ○すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上 ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ○熱溶着 ・その他（ ） ○ガラス種別（ FL厚6 ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 70 ═ 特殊枠 ・フラットバー（・ステール ・ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒引 ・グレモン締り ・その他引

※ ・特注品 ・（ ）同等品

錠前形式 ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番引 ・その他引 ※（ ）同等品

遮音仕様 ・A-T ・SA-T ・その他（-タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV（V-タイプV））

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒ

16 AW — 廊下5

階: 1 | 室名: 廊下5 | 数量: 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ◯アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ・その他（ AL厚2 0フラッシュ内部GW充填 ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: ㎜ | 枠見込: 100 ㎜ | 特殊枠 | ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示 ※（電動（駆動装置露出仕様） ）同等品

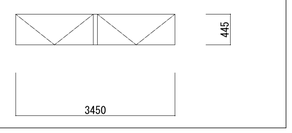
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・�position調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 | A3:S=1/100



19 AW — アトリエ トップライト

階: 2 | 室名: アトリエ トップライト | 数量: 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ◯はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ◯アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ◯熱溶着 ・その他（ ） ◯ガラス種別（ FL厚8+AS+NP厚6 ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: ㎜ | 枠見込: 100 ㎜ | 特殊枠 | ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示 ※（ ）同等品

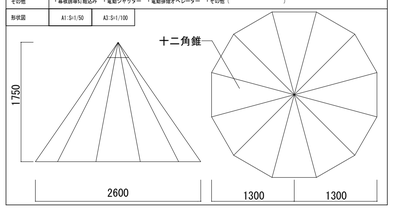
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 | A3:S=1/100



1 SSD — 風除室1

階: 1 | 室名: 風除室1 | 数量: 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ◯その他（ 引き分け ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ◯ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ◯その他（ 3S ） ◯ガラス種別（ T厚12、FL厚15 ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 40 ㎜ | 枠見込: 100 ㎜ | 特殊枠 | ◯フラットバー（・スチール ◯ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ◯本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

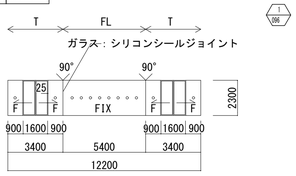
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ◯G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/200 | A3:S=1/400



1 SSD

2 SSD — 風除室1

階: 1 | 室名: 風除室1 | 数量: 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ◯はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ◯その他（ 引き分け ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ◯ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ◯その他（ 3S ） ◯ガラス種別（ T厚12、FL厚12 ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 40 ㎜ | 枠見込: 100 ㎜ | 特殊枠 | ◯フラットバー（・スチール ◯ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ◯本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

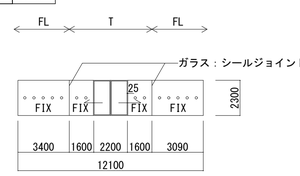
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/200 | A3:S=1/400



3 SSD — 風除室2

階: 1 | 室名: 風除室2 | 数量: 1

形式: ・片開き ◯両開き ・引違い ・片引き ◯はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ◯ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ・その他（ ） ◯ガラス種別（ T厚12、FL厚12 ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 50 ㎜ | 枠見込: 100 ㎜ | 特殊枠 | ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ◯本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ） ◯ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示 ※（電動 ）同等品

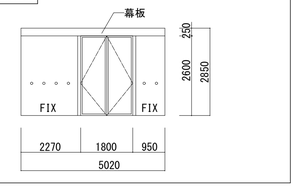
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ◯A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/100 | A3:S=1/200



5 SSD — 風除室3

階: 1 | 室名: 風除室3 | 数量: 1

形式: ・片開き ◯両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ◯ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ・その他（ ） ◯ガラス種別（ T厚12、FL厚8 ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 60 ㎜ | 枠見込: 70 ㎜ | 特殊枠 | ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ◯グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ・◯ ユニオン T610 ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ◯サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ） ◯ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ◯フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示 ※（ ）同等品

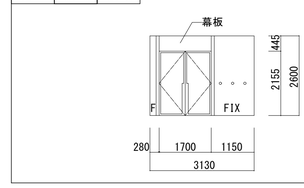
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 | A3:S=1/100



7 SSD — 風除室4

階: 1 | 室名: 風除室4 | 数量: 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ◯はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ◯その他（ 引き分け ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ◯ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ◯鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ・その他（ ） ◯ガラス種別（ T厚8、FL厚8 ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 50 ㎜ | 枠見込: 270 ㎜ | 特殊枠 | ◯フラットバー ◯スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ◯グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ◯（ ユニオン T7610 ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ◯本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ） ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示 ※（ ）同等品

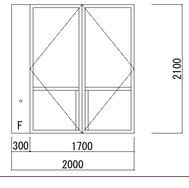
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ◯G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 | A3:S=1/100



9 SSD — 風除室5

階: 1 | 室名: 風除室5 | 数量: 1

形式: ・片開き ◯両開き ・引違い ・片引き ◯はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ◯ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ・その他（ ） ◯ガラス種別（ T厚12、FL厚12 ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 60 ㎜ | 枠見込: 120 ㎜ | 特殊枠 | ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ◯グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ◯（ ユニオン T610 ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ◯本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

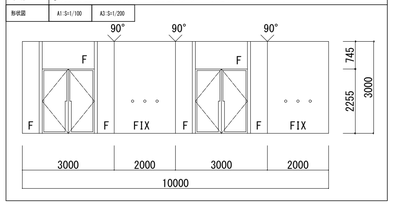
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ◯G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/100 | A3:S=1/200



10 SSD — コリドー

階: 1・2 | 室名: コリドー | 数量: 2

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ・その他（ ） ◯ガラス種別（ T厚12 ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 60 ㎜ | 枠見込: 115 ㎜ | 特殊枠 | ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ◯グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ◯（ ユニオン T61 ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ◯本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ◯サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ） ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ◯フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他※（ ）同等品

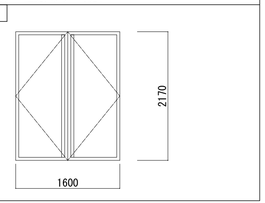
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ◯D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 | A3:S=1/100



11 SSD — テラス1・2

階: 1・2 | 室名: テラス1・2 | 数量: 2

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ・その他（ ） ◯ガラス種別（ T厚12 ・日射調整フィルム ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 60 ㎜ | 枠見込: 100 ㎜ | 特殊枠 | ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ◯グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ◯（ ユニオン T61 ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ◯本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ◯サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ） ◯ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ◯フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他※（ ）同等品

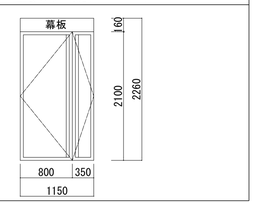
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ◯D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 | A3:S=1/100



13 SSD — 階段6

階: 2 | 室名: 階段6 | 数量: 1

形式: ◯片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ◯ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ◯B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ◯その他（ 化粧FB ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 60 ㎜ | 枠見込: 100 ㎜ | 特殊枠 | ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ◯レバーハンドル ◯ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン締り ◯その他※ 握り込み引手

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ） ◯ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ◯丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示 ※（ ）同等品

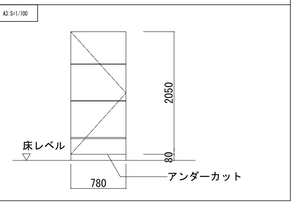
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 | A3:S=1/100



14 SSD — テラス1 脇スロープ

階: 1 | 室名: テラス1 脇スロープ | 数量: 1

形式: ・片開き ◯両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ◯ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ・その他（ ） ◯ガラス種別（ T厚12、FL厚8 ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 60 ㎜ | 枠見込: 70 ㎜ | 特殊枠 | ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ◯グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ◯（ ユニオン T610 ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ◯サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

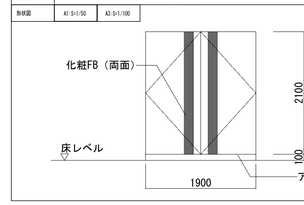
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 | A3:S=1/100



1 SD — ホワイエM1

階: 1 | 室名: ホワイエM1 | 数量: 2

形式: ・片開き ◯両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ◯鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ◯その他（ MP ） ◯ガラス種別（ T厚12（塩ビフィルム貼） ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ◯不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 50 ㎜ | 枠見込: 270 ㎜ | 特殊枠 | ◯フラットバー ◯スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ◯グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ◯（ ユニオン T7610 ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ◯本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ） ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示 ※（ ）同等品

遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ◯G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 | A3:S=1/100

1 W6

2 SD — 事務室

階: 1 | 室名: 事務室 | 数量: 1

形式: ・片開き ◯両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ◯鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ◯その他（ MP ） ◯ガラス種別（ 合せガラス FL厚8 + アクリル樹脂厚2+FL厚8 ）

法規制: ・甲防 ◯乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 50 ㎜ | 枠見込: 100 ㎜ | 特殊枠 | ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ◯グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ◯（ ユニオン T61 ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ◯本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ◯サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ） ◯ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ◯フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示 ※（ ）同等品

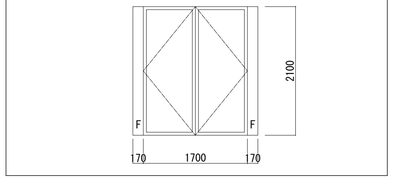
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ◯G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 | A3:S=1/100



3 SD — 事務室, 廊下1・2・4

階: 1 | 室名: 事務室, 廊下1・2・4 | 数量: 3

形式: ・片開き ◯両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ◯鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ◯その他（ MP ） ◯ガラス種別（ T厚6（塩ビフィルム貼） ）

法規制: ・甲防 ◯乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 45 ㎜ | 枠見込: 250 ㎜ | 特殊枠 | ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ◯レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン締り ・その他※

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ） ◯ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ◯フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示 ※（ ）同等品

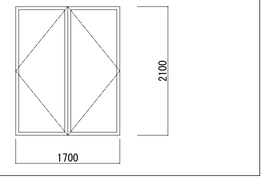
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ◯D ・E ・F ◯G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 | A3:S=1/100



5 SD — 風除室6

階: 1 | 室名: 風除室6 | 数量: 2

形式: ・片開き ◯両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ◯鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・HL ・鏡面 ・SOP ・B－A-E ・塩ビシート貼り ・熱溶着 ◯その他（ D P ） ◯ガラス種別（ T厚12、FL厚3 ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extra常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉 厚: 40 ㎜ | 枠見込: 150 ㎜ | 特殊枠 | ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン締り ◯その他※

※ ・特注品 ◯（ ユニオン T610 ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ◯シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ） ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示 ※（ ）同等品

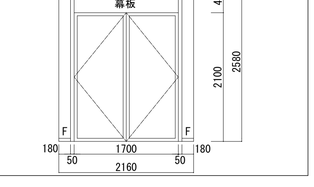
遮音仕様: ・A-T ・SA-T ・その他（・タイプI ・タイプII ・タイプIII ・タイプIV・タイプV ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ◯G

付属金物: ◯フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ◯幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 | A3:S=1/100



6 SD — 廊下6

階

3S SS — 2・PH — 空調機械室3, 階段室1・2 階段室3 — 5

形式: ○片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ○鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ○その他（ D P ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ○常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: 45 ㎜ / 枠見込 120 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ○グレモン錠り ・その他※ ラッチボルト ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ○ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ○シリンダー ○サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ○ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

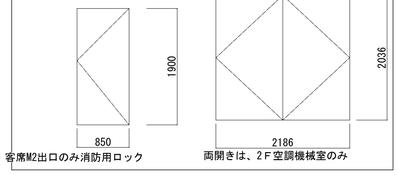
遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ○タイプⅠ ○タイプⅡ ・タイプⅢ・タイプⅣ・タイプⅤ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・�position調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 / A2:S=1/100



客席M2出口のみ消防用ロック

両開きは、2Ｆ空調機械室のみ

3S SD — 1 — 舞台M, 搬入口M — 1

形式: ○片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ○鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ○その他（ D P ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: 50 ㎜ / 枠見込 200 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ○グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ○シリンダー ○サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ○ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

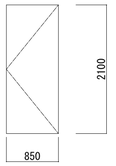
遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

くつずり: ・A ・B ・C ○D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 / A2:S=1/100



5S SD — 1 — 空調機械室2・6 — 2

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ○鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ○その他（ D P ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: 45 ㎜ / 枠見込 180 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ○グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ○シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ○丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

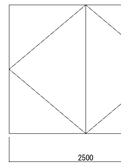
遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ○タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

くつずり: ・A ・B ○C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ○フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 / A2:S=1/100



7S SD — 6 F — 空調機械室・ファンルーム — 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ○鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ○その他（ D P ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ○甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: 45 ㎜ / 枠見込 115 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ○グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ○シリンダー ○サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ○ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

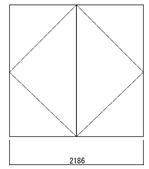
遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ○タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

くつずり: ・A ・B ・C ○D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: S= 1:50



1 AG — PH — チャンバー — 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ ガラリ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ○熱満電着 ・その他（ ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: ㎜ / 枠見込 70 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

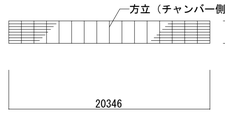
くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 / A2:S=1/100

有効開口率 35%



2 AG — 1 — 光庭 — 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ ガラリ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ○熱満電着 ○その他（ FB10x80@60 ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: ㎜ / 枠見込 100 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

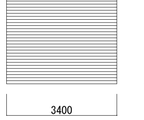
くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/100 / A2:S=1/200

有効開口率 35%



3 AG — 1 — 空調機械室2 — 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ ガラリ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ○熱満電着 ・その他（ ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: ㎜ / 枠見込 70 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

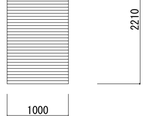
くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/100 / A2:S=1/200

有効開口率 35%



4 AG — 2 — 空調機械室3 — 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ・その他（ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ・その他（ ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: ㎜ / 枠見込 70 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

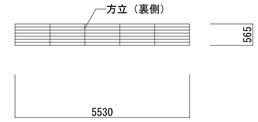
くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/100 / A2:S=1/200

有効開口率 35%



5 AG — 2 — サブホール上手側舞台 — 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ ガラリ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ○熱満電着 ・その他（ ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: ㎜ / 枠見込 70 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

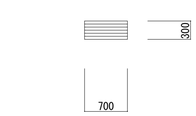
くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 / A2:S=1/100

有効開口率 35%



6 AG — 3 — チャンバー — 2

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ ガラリ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ○熱満電着 ・その他（ ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: ㎜ / 枠見込 70 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/100 / A2:S=1/200

有効開口率 35%



7 AG — 1 — 会議室 — 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ ガラリ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ・その他（ ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: ㎜ / 枠見込 70 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

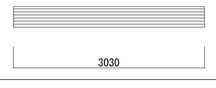
くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 / A2:S=1/100

有効開口率 35%



8 AG — 1 — ラウンジ, 風除室4 — 2

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ ガラリ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ・その他（ ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: ㎜ / 枠見込 100 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

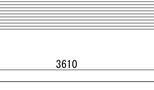
くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 / A2:S=1/100

有効開口率 35%



9 AG — 1 — 空調機械室7 — 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ ガラリ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ・その他（ ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: ㎜ / 枠見込 70 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

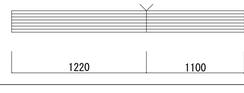
くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 / A2:S=1/100

有効開口率 35%



10 AG — B1 — 中央監視室 — 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ ガラリ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ・その他（ ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: ㎜ / 枠見込 70 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

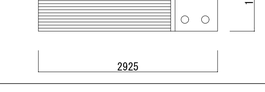
くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 / A2:S=1/100

有効開口率 35%



11 AG — 1 — 自販機コーナー4 — 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ ガラリ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ・その他（ ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: ㎜ / 枠見込 70 ㎜ / 特殊枠 ・フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

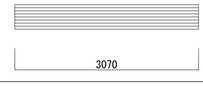
くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図: A1:S=1/50 / A2:S=1/100

有効開口率 35%



12 AG — 1 — アーティストロビー — 1

形式: ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ ガラリ ）

仕上: ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・鏡面 ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ・その他（ ） ・ガラス種別（ ）

法規制: ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・extinguishing ・熱感常閉 ・煙感常閉 ・常時施錠

扉厚: ㎜ / 枠見込 70 ㎜ / 特殊枠 ○フラットバー（・スチール ・ステンレス）

把手: ・握玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒※ ・グレモン錠り ・その他※ ※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式: ・ケースロック ・本締錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）

開閉: ・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン （キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉: ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ） ・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連続丁番※ ・その他※（ ）同等品

遮音仕様: ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

くつずり: ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物: ・フランス落し ・錠位調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり） ・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他: ・幕板請承け組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状

13 AG 屋外機置場

数量 1

形式
- ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し
- ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター
- ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ ガラリ ）

仕上
- ○鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・錆面
- ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ○熱満電着 ・その他（ ）
- ・ガラス種別（ ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・提感常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 70 ═ 特殊枠 ・フラットバー（-スチール -ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒出 ・グレモン錠り ・その他出

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式 ・ケースロック ・本錠錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）
・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ）
・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示
※（ ）同等品

遮音仕様 ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

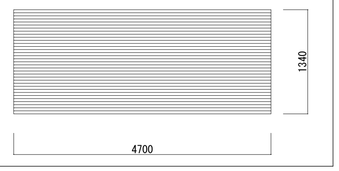
付属金物 ・フランス落し ・振仕調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり）
・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承灯組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

改修内容

形状図	A1:S=1/50	A2:S=1/100

有効開口率 35%



14 AG 2

数量 1

形式
- ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し
- ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター
- ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ ガラリ ）

仕上
- ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ○アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・錆面
- ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ○熱満電着 ・その他（ ）
- ・ガラス種別（ ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・提感常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 70 ═ 特殊枠 ・フラットバー（-スチール -ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒出 ・グレモン錠り ・その他出

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式 ・ケースロック ・本錠錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）
・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ）
・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示
※（ ）同等品

遮音仕様 ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

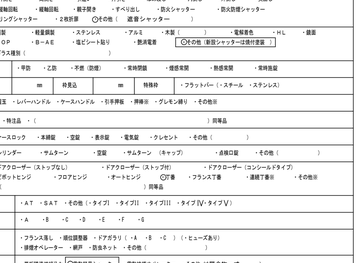
付属金物 ・フランス落し ・振仕調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり）
・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承灯組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

改修内容

形状図	A1:S=1/100	A2:S=1/200

有効開口率 35%



1 SS 搬入口M

数量 1

形式
- ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し
- ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター
- ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ 遮音シャッター ）

仕上
- ○鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・錆面
- ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ○熱満電着 ・その他（ ）
- ・ガラス種別（ ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・提感常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 ═ 特殊枠 ・フラットバー（-スチール -ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒出 ・グレモン錠り ・その他出

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式 ・ケースロック ・本錠錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）
・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ）
・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示
※（ ）同等品

遮音仕様 ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

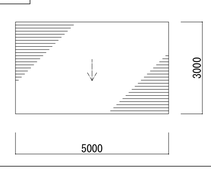
くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・振仕調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり）
・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承灯組込み ○電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

改修内容 ○無線信号装置（発信・受光・受信機）一式取替、シャッター点検開閉。

形状図	A1:S=1/100	A2:S=1/200



2 SS 1

数量 1

形式
- ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し
- ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター
- ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ 遮音シャッター ）

仕上
- ○鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・錆面
- ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ○熱満電着 ・その他（ ）
- ・ガラス種別（ ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・提感常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 ═ 特殊枠 ・フラットバー（-スチール -ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒出 ・グレモン錠り ・その他出

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式 ・ケースロック ・本錠錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）
・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ）
・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示
※（ ）同等品

遮音仕様 ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

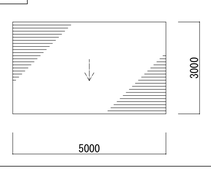
くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・振仕調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり）
・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承灯組込み ○電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

改修内容 ○無線信号装置（発信・受光・受信機）一式取替、シャッター点検開閉。

形状図	A1:S=1/100	A2:S=1/200



3 SS B1 熱源機械室１

数量 1

形式
- ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し
- ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター
- ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ 遮音シャッター ）

仕上
- ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・錆面
- ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ○その他（ DP ）
- ・ガラス種別（ ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・提感常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 ═ 特殊枠 ・フラットバー（-スチール -ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒出 ・グレモン錠り ・その他出

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式 ・ケースロック ・本錠錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）
・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ）
・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示
※（ ）同等品

遮音仕様 ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

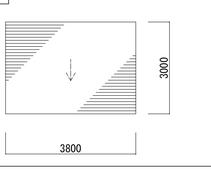
くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・振仕調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり）
・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承灯組込み ○電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

改修内容 ○無線信号装置（発信・受光・受信機）一式取替、シャッター点検開閉。

形状図	A1:S=1/100	A2:S=1/200



4 SS 階 1 室名 搬入口S

数量 1

形式
- ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し
- ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター
- ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ 遮音シャッター ）

仕上
- ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・錆面
- ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ○その他（ DP ）
- ・ガラス種別（ ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・提感常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 ═ 特殊枠 ・フラットバー（-スチール -ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒出 ・グレモン錠り ・その他出

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式 ・ケースロック ・本錠錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）
・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ）
・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示
※（ ）同等品

遮音仕様 ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

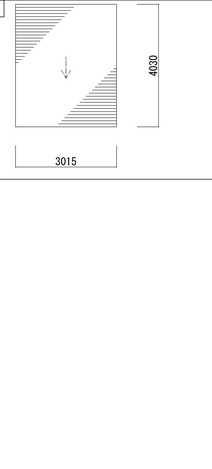
くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・振仕調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり）
・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承灯組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

改修内容 ○無線信号装置（発信・受光・受信機）一式取替、シャッター点検開閉。

形状図	A1:S=1/100	A2:S=1/200



6 SS 階 1 室名 搬入口S

数量 1

形式
- ・片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し
- ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター
- ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ 遮音シャッター ）

仕上
- ○鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・錆面
- ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ・その他（ ）
- ・ガラス種別（ ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・提感常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 ═ 特殊枠 ・フラットバー（-スチール -ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒出 ・グレモン錠り ・その他出

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式 ・ケースロック ・本錠錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）
・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ）
・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示
※（ ）同等品

遮音仕様 ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

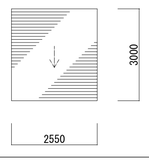
くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・振仕調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり）
・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承灯組込み ○電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ 付属金物一式 ）

改修内容 ○無線信号装置（発信・受光・受信機）一式取替、シャッター点検開閉。

形状図	A1:S=1/100	A2:S=1/200



7 SS 階 1 室名 搬入口S

数量 1

形式
- ○片開き ・両開き ・引違い ・片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し
- ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター
- ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ 遮音シャッター ）

仕上
- ・鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・錆面
- ・S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ○その他（新設シャッター は後付塗装 ）
- ・ガラス種別（ ）

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・提感常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 ═ 特殊枠 ・フラットバー（-スチール -ステンレス）

把手 ○框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒出 ・グレモン錠り ・その他出

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式 ○ケースロック ・本錠錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）
・シリンダー ・サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ○ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ）
・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ○丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ・その他示
※（ ）同等品

遮音仕様 ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ・タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

くつずり ・A ・B ・C ・D ・E ・F ・G

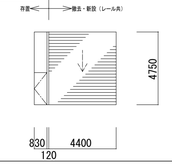
付属金物 ・フランス落し ・振仕調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり）
・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ・その他（ ）

その他 ・幕板請承灯組込み ○電動軽量シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他 付属金物一式 ）

改修内容

その他 ○ルール・外付ボックス・無線信号装置（発信・受光・受信機）一式取替

形状図	A1:S=1/200	A3:S=1/400



1 SDM 階 1 室名 コリドー

数量 1

形式
- ・片開き ・両開き ・引違い ○片引き ・はめ殺し ・内倒し ・外倒し ・突出し
- ・複軸回転 ・複軸回転 ・親子開き ・すべり出し ・防火シャッター ・防火防煙シャッター
- ・リングシャッター ・2枚折扉 ○その他（ 吊戸 ）

仕上
- ○鋼製 ・軽量鋼製 ・ステンレス ・アルミ ・木製（ ） ・電解着色 ・H L ・錆面
- ○S O P ・B－A E ・塩ビシート貼り ・熱満電着 ・その他（ ）
- ○ガラス種別（ FL 厚10 ）○日射調整フイルム

法規制 ・甲防 ・乙防 ・不燃（防煙） ・常時閉鎖 ・提感常閉 ・熱感常閉 ・常時施錠

扉厚 ═ 枠見込 ═ 特殊枠 ・フラットバー（-スチール -ステンレス）

把手 ・框玉 ・レバーハンドル ・ケースハンドル ・引手押板 ・押棒出 ・グレモン錠り ○その他出 脱込引手

※ ・特注品 ・（ ）同等品

鍵形式 ・ケースロック ・A錠錠 ・空錠 ・表示錠 ・電気錠 ・クレセント ・その他（ ）
・シリンダー ○サムターン ・空錠 ・サムターン（キャップ） ・点検口錠 ・その他（ ）

開閉 ・ドアクローザー（ストップなし） ・ドアクローザー（ストップ付） ・ドアクローザー（コンシールドタイプ）
・ピボットヒンジ ・フロアヒンジ ・オートヒンジ ・丁番 ・フランス丁番 ・連結丁番示 ○その他示
※（ ハンガーレール ）同等品

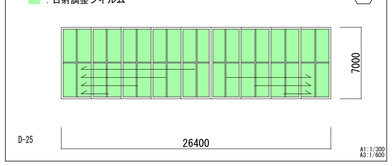
遮音仕様 ・A T ・S A T ・その他（・タイプⅠ ・タイプⅡ ○タイプⅢ ・タイプⅣ・タイプⅤ）

くつずり ・A ・B ・C ○D ・E ・F ・G

付属金物 ・フランス落し ・振仕調整器 ・ドアガラリ（ ・A ・B ・C ）（・ヒューズあり）
・排煙オペレーター ・網戸 ・防虫ネット ○その他（ 附属金物一式 ）

その他 ・幕板請承灯組込み ・電動シャッター ・電動排煙オペレーター ・その他（ ）

形状図	A1:S=1/300	A3:S=1/600



凡例
- ：外部枠部シーリングのみ更新する建具を示す。
- ：改修+外部枠部シーリング更新する建具を示す。
- ：撤去・新設+外部枠部シーリング更新する建具を示す。

※ [ ] は改修内容とする。

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計 埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉

印

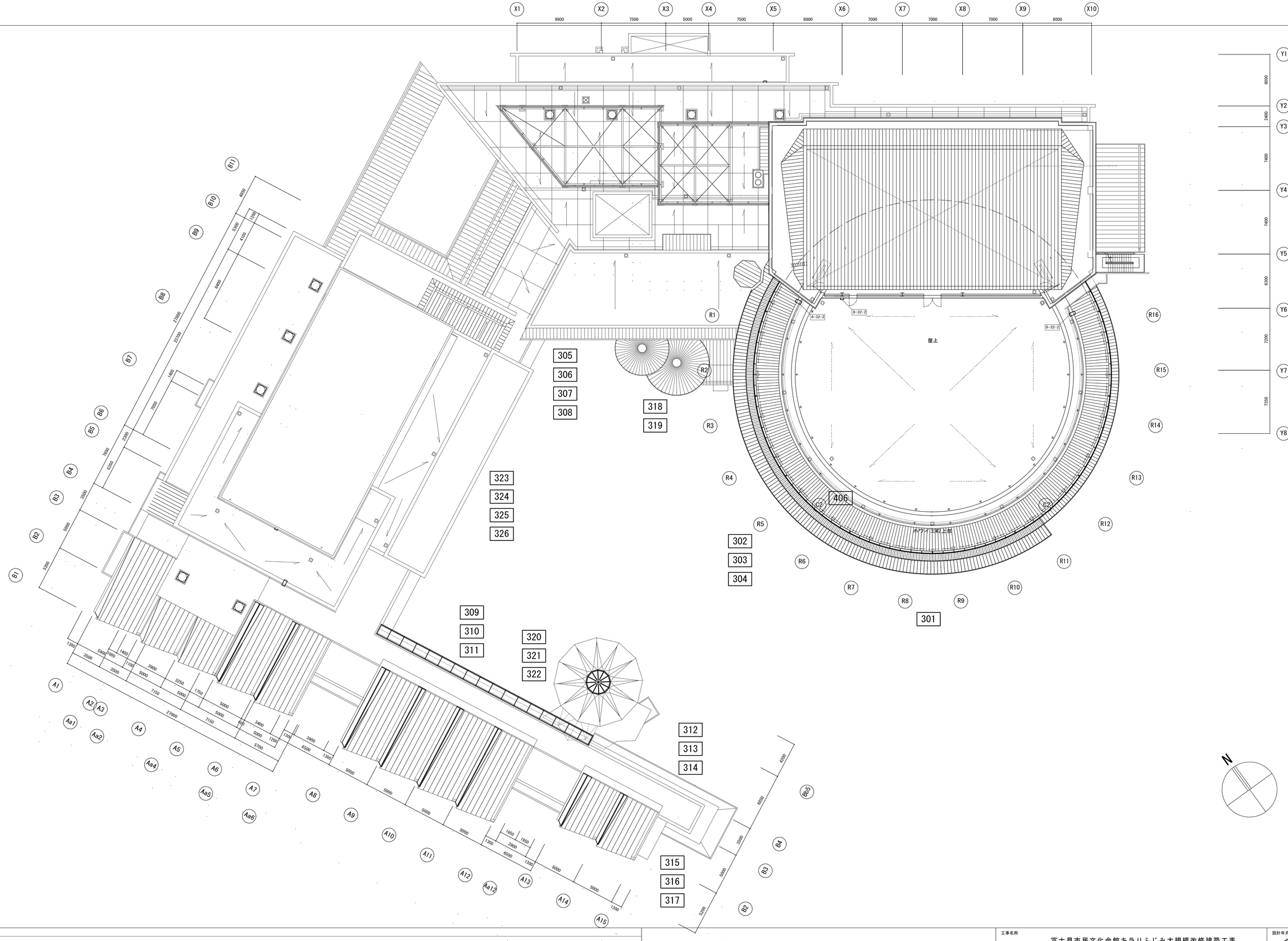
工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月 令和６年６月

図面名称 外部建具改修（8）
建具表５（改修）

縮尺 A1:1/図示 A3:1/図示

図面番号 A-091



記事		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月	
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 外部建具改修 （9） シーリング配置図（参考写真 配置図）	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号 A－092

■参考写真：305 （エントランスロビー廻り　カーテンウオール　ACW-2）



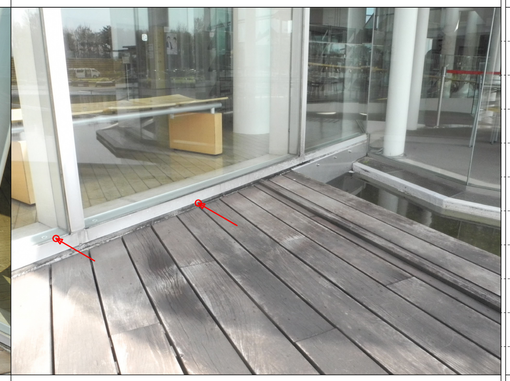
■参考写真：306 （エントランスロビー廻り　カーテンウオール　ACW-2）



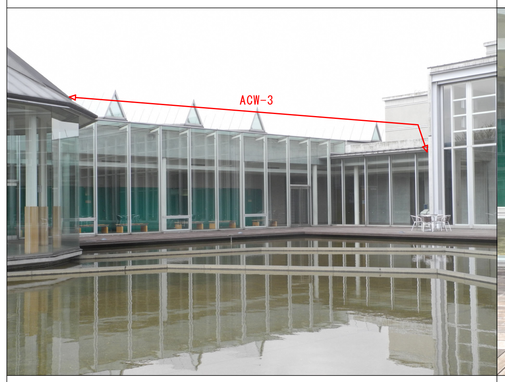
■参考写真：307 （エントランスロビー廻り　カーテンウオール　ACW-2）



■参考写真：308 （エントランスロビー廻り　カーテンウオール　ACW-2）



■参考写真：309 （コリドー廻り　カーテンウオール　ACW-3）



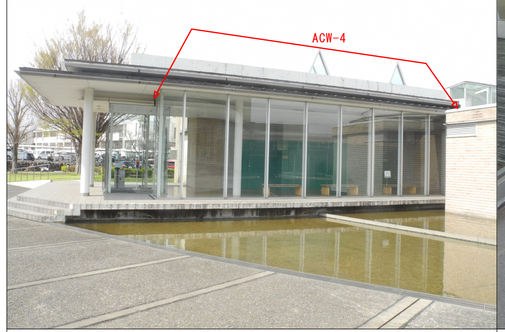
■参考写真：310 （コリドー廻り　カーテンウオール　ACW-3）



■参考写真：311 （コリドー廻り　カーテンウオール　ACW-3）



■参考写真：312 （展示室前廻り　カーテンウオール　ACW-4）



■参考写真：313 （展示室前廻り　カーテンウオール　ACW-4）



■参考写真：314 （展示室前廻り　カーテンウオール　ACW-4）



■参考写真：315 （風除室 5 廻り　カーテンウオール　ACW-5）



■参考写真：316 （風除室 5 廻り　カーテンウオール　ACW-5）



■参考写真：317 （風除室 5 廻り　カーテンウオール　ACW-5）



■ 特 記 事 項

①工法はシーリング再充填工法とする

②打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地はPU-2

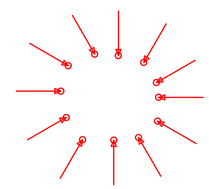
③伸縮調整目地、その他の目地はMS-2

④タイル目地はPS-2

⑤ガラスシーリングはSR-1

■ 凡　例

：シーリング箇所を示す



300-CW系

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉
印

工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
設計年月	令和6年6月
図面名称	外部建具改修（10） ｶｰﾃﾝｳｵｰﾙ廻りシーリング１
縮尺	A1:1/5 A3:1/10
図面番号	A-093

■参考写真：301 （ホワイエ廻り　カーテンウオール　ACW-1）



■参考写真：302 （ホワイエ廻り　カーテンウオール　ACW-1）

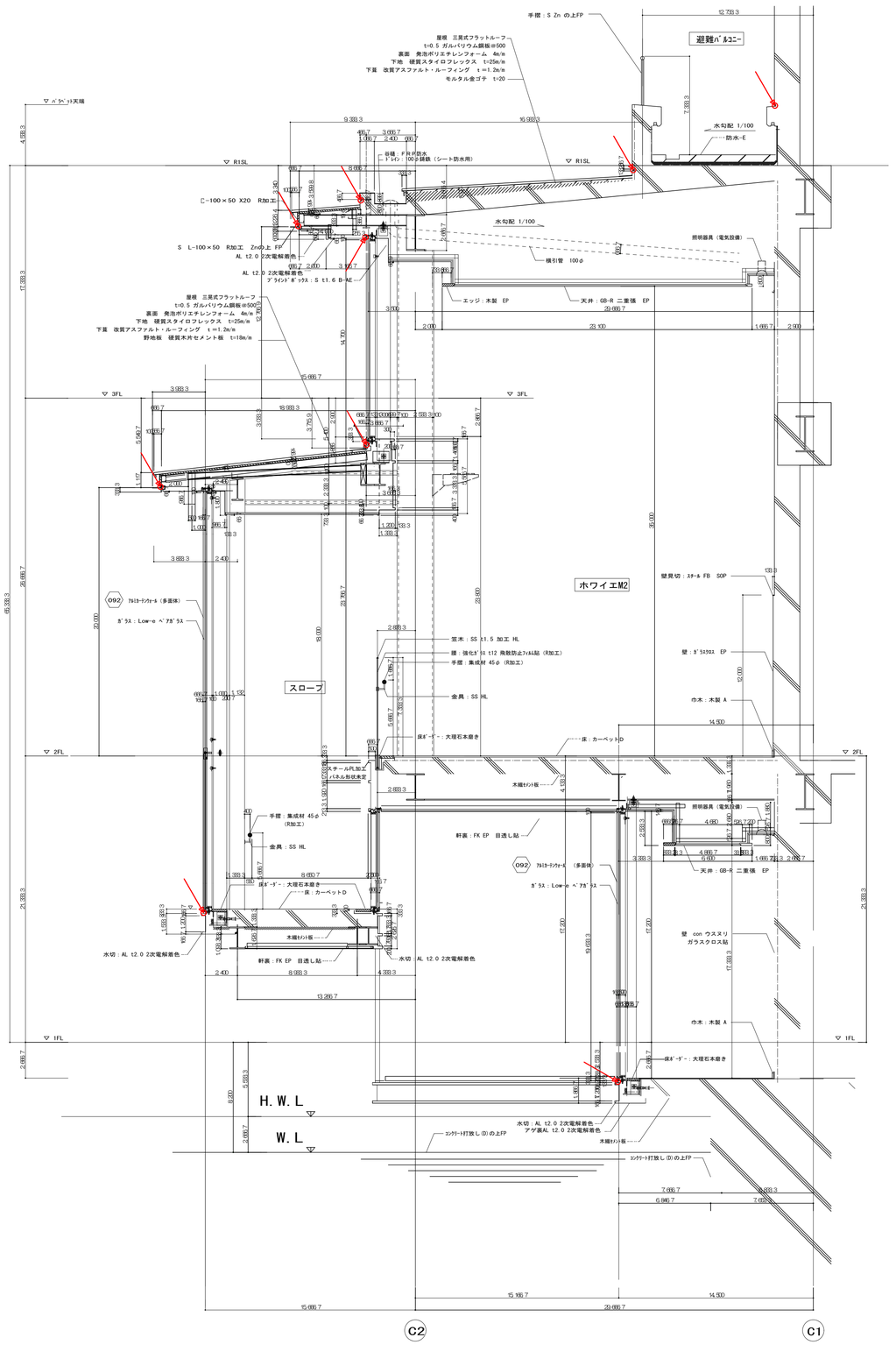


■参考写真：303 （ホワイエ廻り　カーテンウオール　ACW-1）



■参考写真：304 （ホワイエ廻り　カーテンウオール　ACW-1）





■ 特 記 事 項

①工法はシーリング再充填工法とする

②打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地はPU-2

③伸縮調整目地、その他の目地はMS-2

④タイル目地はPS-2

⑤ガラスシーリングはSR-1

■ 凡　例

：シーリング箇所を示す

300-CW系

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

工事名称：富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

図面名称：外部建具改修（11）
カーテンウオール廻りシーリング２

縮尺：A1:1/5　A3:1/10

図面番号：A-094

■参考写真：320 （アトリエ廻り　スチールサッシュウオール　SSW-3）



■参考写真：321 （アトリエ廻り　スチールサッシュウオール　SSW-3）



■参考写真：322 （アトリエ廻り　スチールサッシュウオール　SSW-3）



■参考写真：323 （コリドー廻り　スチールドアウオール　SDW-1）



■参考写真：324 （コリドー廻り　スチールドアウオール　SDW-1）



■参考写真：325 （コリドー廻り　スチールドアウオール　SDW-1）



■参考写真：326 （コリドー廻り　スチールドアウオール　SDW-1）

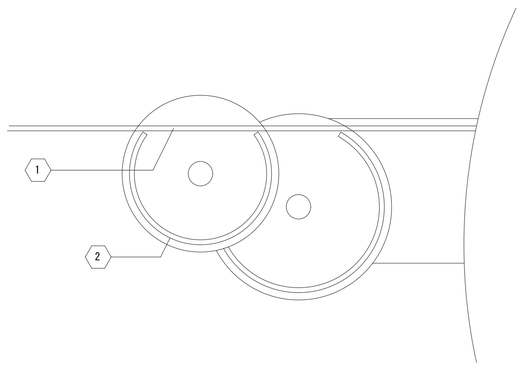


■参考写真：318 （市民ラウンジ廻り　スチールサッシュウオール　SSW-2）

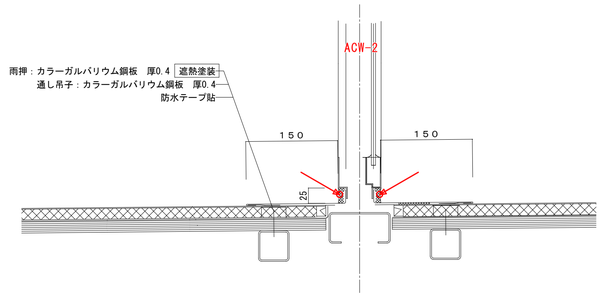


■参考写真：319 （市民ラウンジ廻り　スチールサッシュウオール　SSW-2）

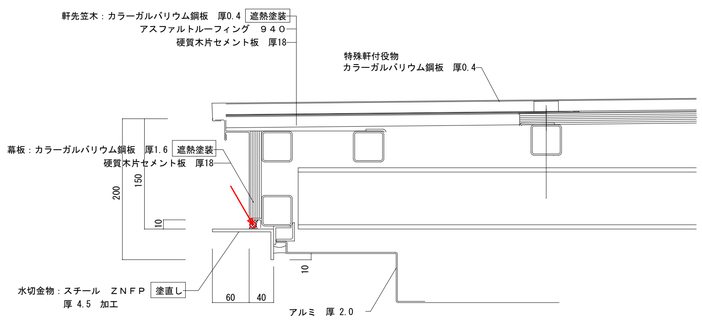




1



2



■ 特 記 事 項

①工法はシーリング再充填工法とする

②打継ぎ目地・ひび割れ誘発目地はPU-2

③伸縮調整目地、その他の目地はMS-2

④タイル目地はPS-2

⑤ガラスシーリングはSR-1

■ 凡　例

：シーリング箇所を示す

300-CW系

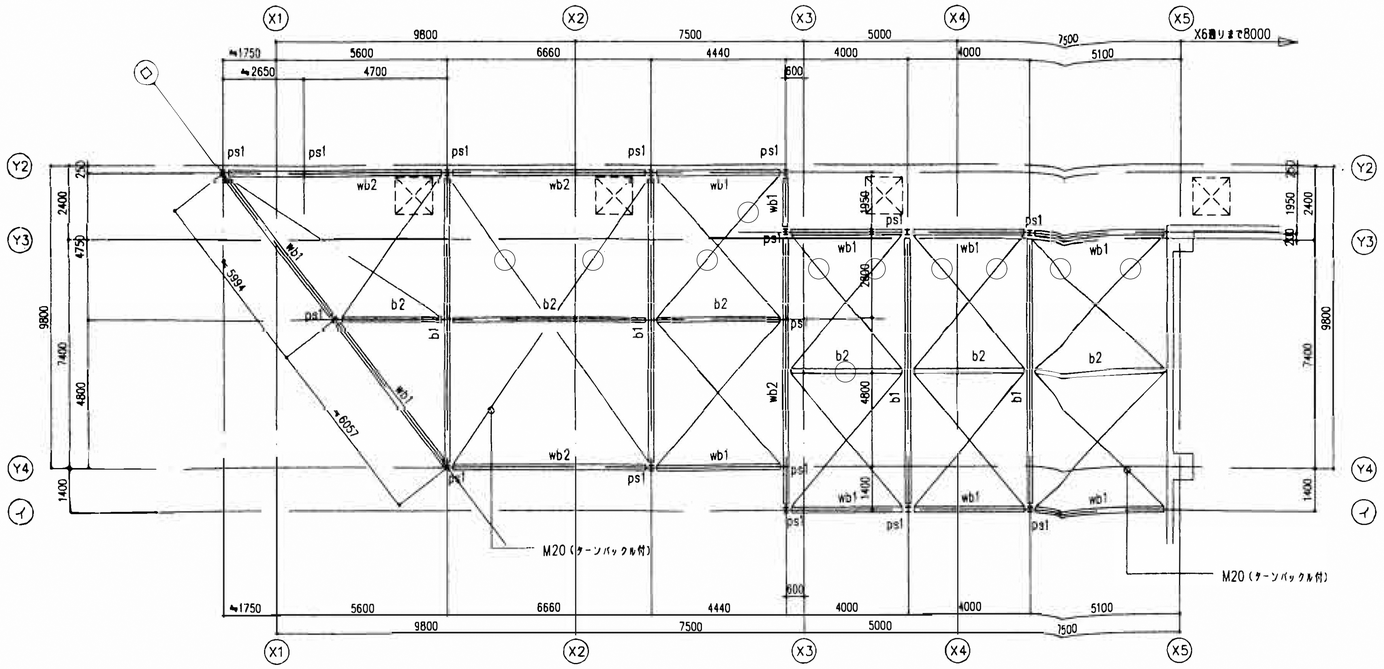
記事

株式会社 綜企画設計	埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印

富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月：令和6年6月

図面名称	縮尺	図面番号
外部建具改修（12） ｶｰﾃﾝｳｵｰﾙ廻りシーリング３	A1:1/5 A3:1/10	A-095



目隠し壁伏図　1/100

部材リスト

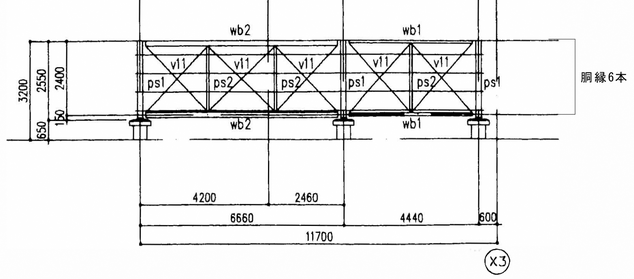
符　号	サ　イ　ズ	継手及びベースプレート
ps1	H－175 x 175 x 7.5 x 11	B.PL-16　A.BOLT 2-M20
ps2	H－150 x 75 x 5 x 7	PL-6　HTB 2-M16
wb1	H－175 x 90 x 5 x 8　（横使い）	PL-6　HTB 2-M16
wb2	H－175 x 175 x 7.5 x 11（横使い）	PL-9　HTB 2-M16
b1	H－175 x 90 x 5 x 8	PL-6　HTB 2-M16
○ b2	C－150 x 75 x 6.5 x 10	PL-6　HTB 2-M16
○ 水平ブレース	M20（ターンバックル付）	PL-9　HTB 1-M20
軸ブレース　V11	M20（ターンバックル付）	PL-9　HTB 1-M20
V12	L－75 x 75 x 9	PL-9　HTB 5-M16
胴縁	C－100 x 50 x 20 x 2.3 @600	



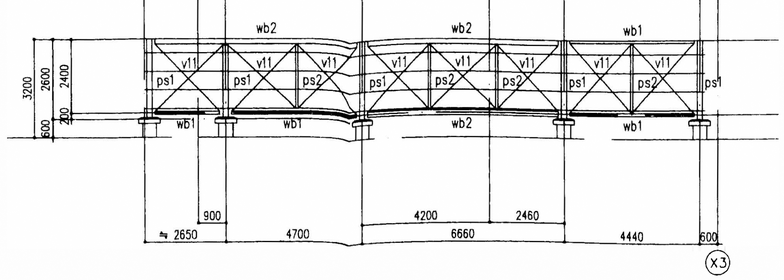
■参考写真-1



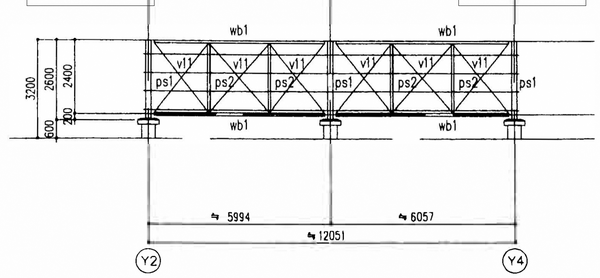
■参考写真-2



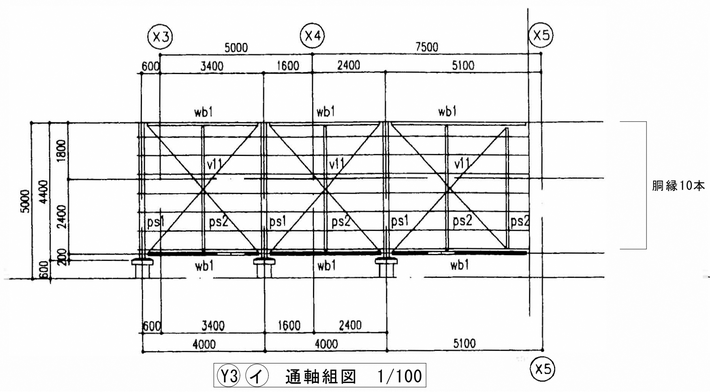
Y4 通軸組図　1/100



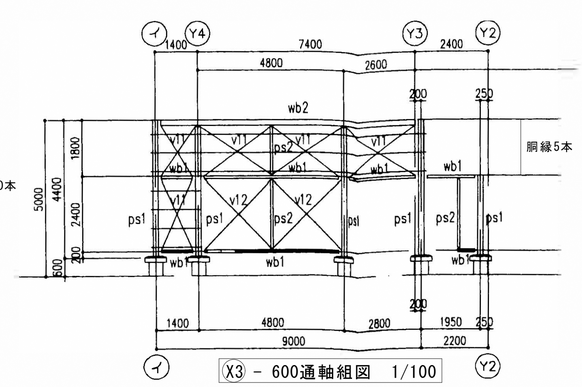
Y2 通軸組図　1/100



□ 通軸組図　1/100



Y3 イ 通軸組図　1/100



X3－600通軸組図　1/100

■ 特 記 事 項

①既設胴縁材は亜鉛メッキ仕様である錆が散見され塗装改修をおこなう	⑦　胴縁にアルミ製ルーバーを取付ている鉄骨ビスは撤去、新設
下地調整：RB種	新設鉄骨ビス：SUS製ワッシャー付き
DP1級塗　工程B種	⑧　胴縁をアングルピースに留めてあるボルト、ナットは撤去新設
胴縁改修範囲は20+50+100+50+20	強度区分4.8　亜鉛メッキ仕様
②機械器機入替えの為、水平はブレース取外し再取付	
③機械器機入替えの為、小梁取外し再取付	■ 凡　例
④　HTBは撤去、新設	○　小梁、水平ブレース取外し再取付
⑤　アルミ製ルーバーは取外し再取付	

記事

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（4）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉　印

工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
設計年月	令和6年6月
図面名称	空調熱源機更新に伴う屋上機械置場改修 外部改修詳細図（機械置場目隠 鉄骨塗装改修）
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図面番号	A－096

カスケード改修内容

凡　例

改修内容：面積：822.96㎡（1段～4段全て）
・水抜き
・既存CON洗出し仕上ｔ100撤去
・ひびわれ調査
・ひびわれ補修
・水張り試験・確認
・CON洗出しｔ100仕上新設
・水張り

排水溝A:巾200深さ80：18.46m
・SUSグレーチング取外し
・内部清掃
・SUSグレーチング再取付

排水溝B:巾300深さ610：48.51m
・SUSグレーチング取外し
・内部清掃
・SUSグレーチング再取付

排水管　ＶＰ　250　95m　洗浄

ラグーン浚渫工事内容

凡　例

池排水口　コンクリート製
・外形900角（内形600角）深さ850
・グレーチング蓋SUS製
計１ヶ所　改修

吐出口1～3　コンクリート製
・外形750角（内形450角）深さ750
・グレーチング蓋SUS製
計４ヶ所　改修

堆積汚泥撤去範囲
・深さ約1m（平均堆積深さ50ｃｍ想定）
泥水量想定＝1,265㎡×平均H0.5m＝632.5m³（含水量99%）
乾燥後、含水率（85%）にすると6.2618×50＝313.09m³

池排水桝～ラグーンポンプ桝間　排水管　200VP　清掃

ラグーン浚渫方法

ラグーンの水抜き後3ヶ月乾燥放置。
乾燥後重機にて汚泥を撤去、ダンプカーに積込・運搬する。
汚泥運搬先は市指定場所に荷下ろしとする。

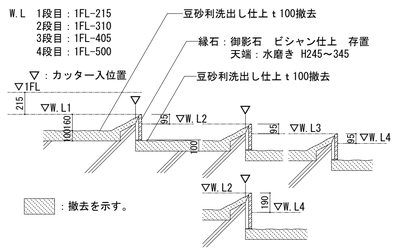
※特記事項
・アスファルトコンクリート3,670㎡のうち、400㎡を補修する。
・仮囲いの支柱穴（Φ100）は、320箇所を補修する。

市民文化会館

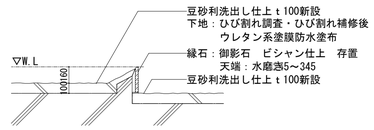
排水溝A
排水溝B
カスケード
1段
2段
3段
4段
-215
-310
-405
-500
ラグーン
吐出口1
吐出口2
吐出口3
排水管：200VP 34m
吸排車搬出ルート
汚泥給排水車配置位置
余吐出口　1ヶ所
外形2500×1300（内形900角×2）深さ970、1370
グレーチング蓋SUS製　内部清掃
ラグーンポンプピット　1ヶ所
外形1500角（内形1200角）深さ2050
グレーチング蓋SUS製　内部清掃
IP-11
IP-12
IP-17
水路
既存石積
WL=5.85
底4.43
WL=6.07

記事		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称 カスケード・ラグーン改修（1）外構平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200
				図面番号 A-097

既存詳細図　S:1/30

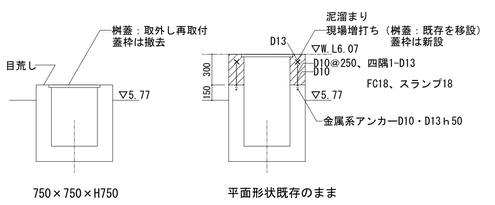


改修詳細図　S:1/30



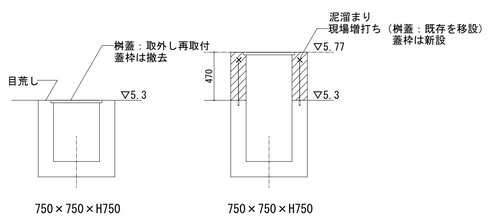
吐水口1　S:1/30

既存　　改修



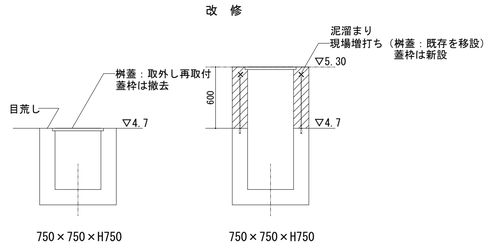
吐水口2　S:1/30

既存　　改修



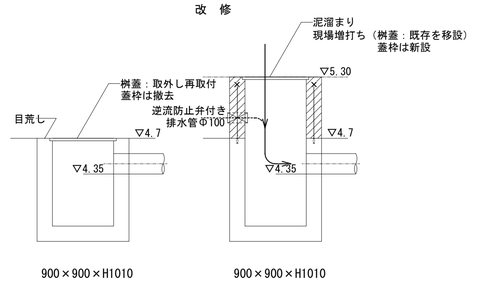
吐水口3　S:1/30

既存　　改修

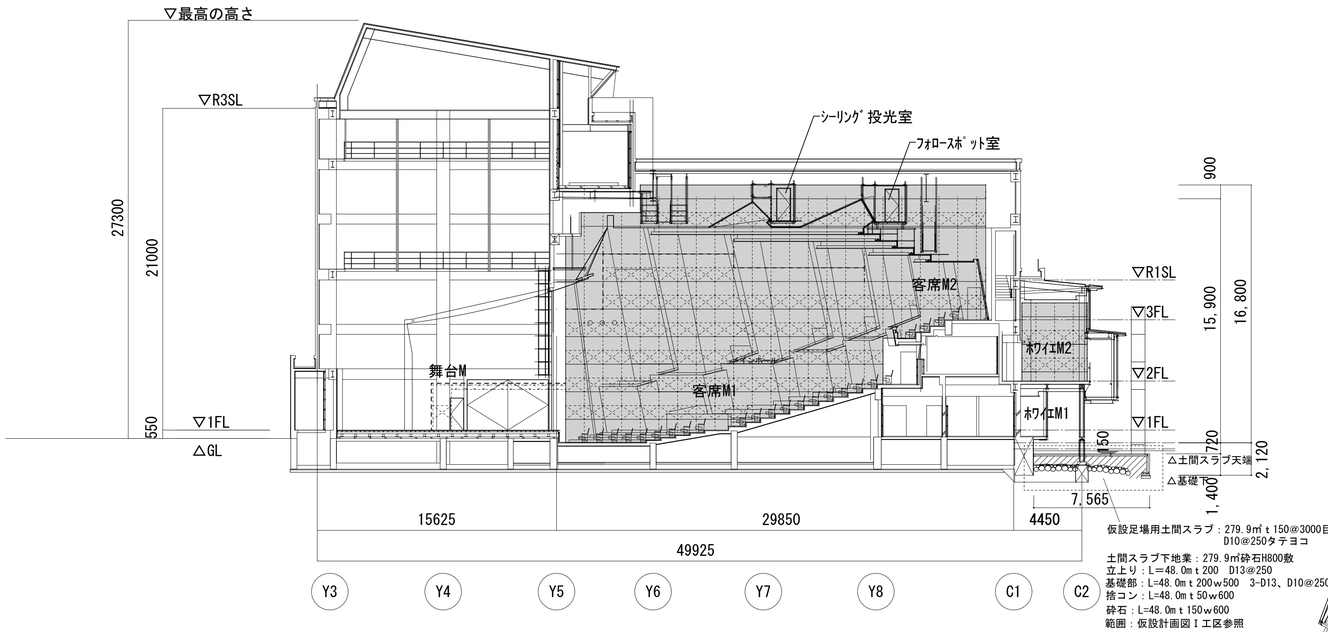


排水口　S:1/30

既存　　改修



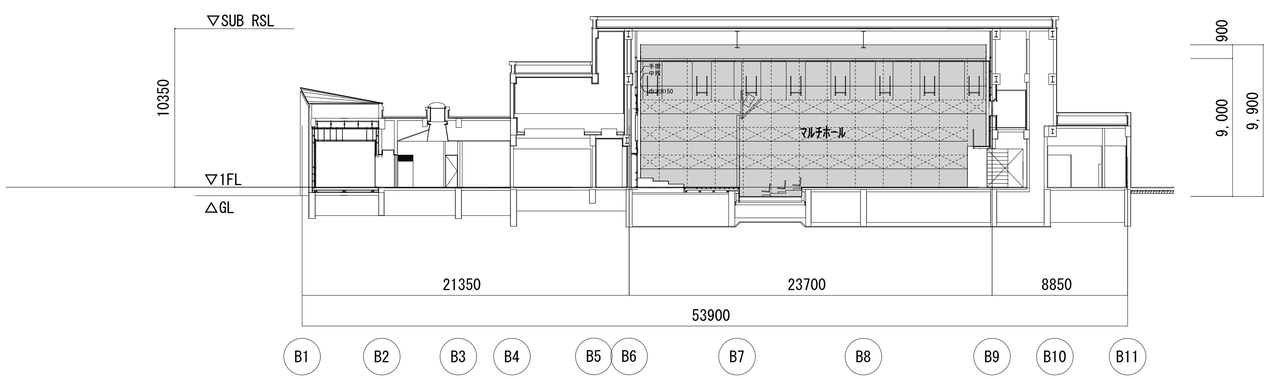
記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	令和6年6月
	印　・　・	図面名称　カスケード・ラグーン改修（2） 外構詳細図	縮尺　A1:1/30　A3:1/60
			図面番号　A-098



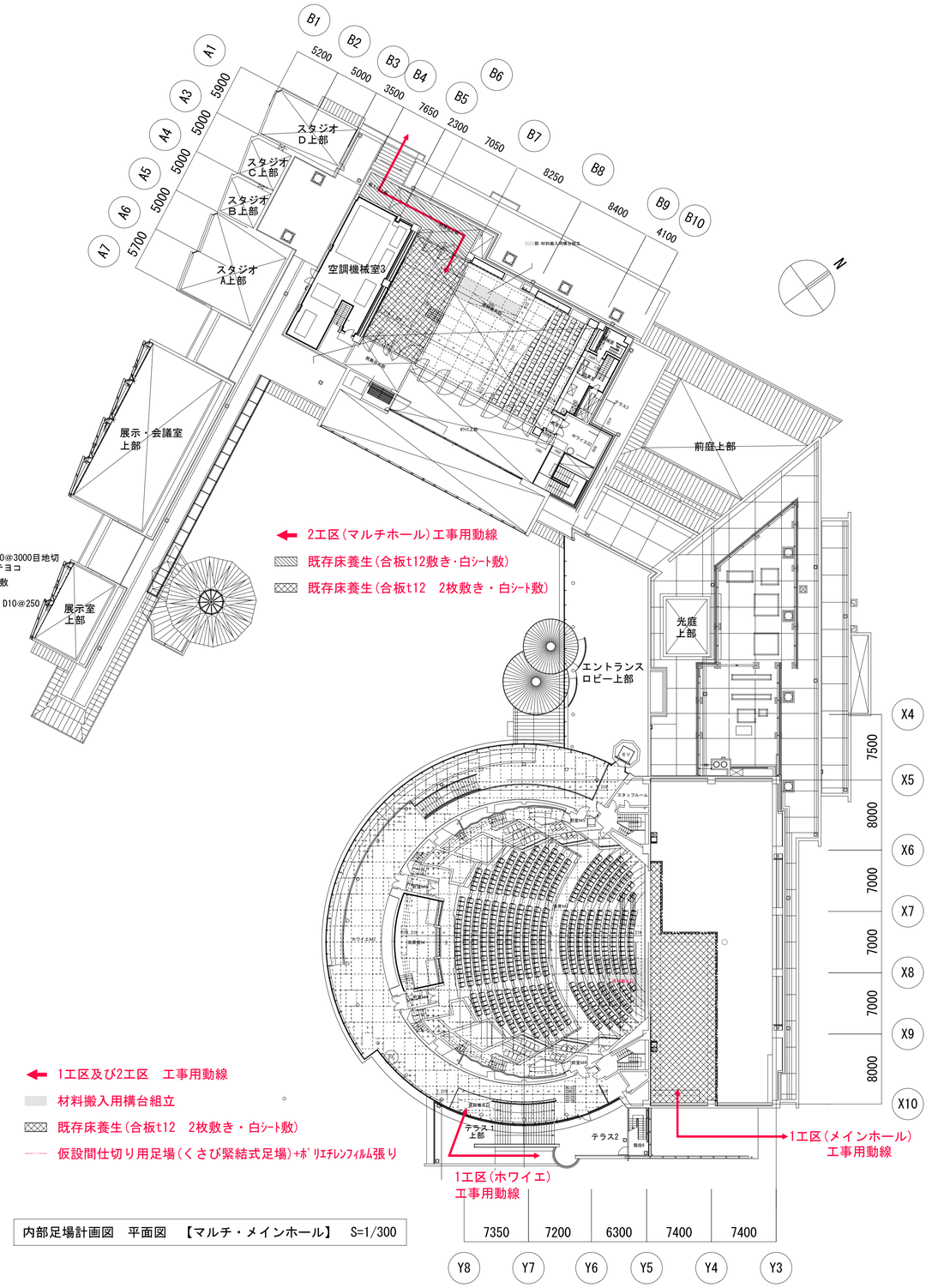
内部足場計画図　断面図　【メインホール・ホワイエ】　S=1/200

ホール仮設計画概要

・くさび緊結式足場(手摺先行方式)にて作業用構台を組立する。作業の進捗状況に応じ　随時盛替えを行う。
・くさび緊結式足場の直下は、特記無き限り 合板t12敷き・白シート敷きとする。
・舞台の床は、特記無き限り　白シート敷きとする。
・客席の固定椅子は、白シートのガムテープ留めとする。
・メインホール、ホワイエ、マルチホールの壁面・カーテンウォール面はポリエチレンフィルム等で養生を行う。
・メインホール天井内のシーリング投光室、フォロースポット室はポリエチレンフィルム等で養生を行う。
・建物内仮設間仕切り・密封室は内部仮設計画図参照。



内部足場計画図　断面図　【マルチホール】　S=1/200



1工区及び2工区　工事用動線
材料搬入用構台組立
既存床養生(合板t12　2枚敷き・白ｼｰﾄ敷)
仮設間仕切り用足場(くさび緊結式足場)+ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ張り

内部足場計画図　平面図　【マルチ・メインホール】　S=1/300

記事		業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	図面名称 【参考図】 仮設計画概要図	縮尺 A1:1/200・300 A3:1/400・600
		印		図面番号 —

Ⅰ　工　区

【工事期間】令和７年12月～令和９年５月　１８か月

仮囲い：B型バリケードH=1.8m　W=1.8m　684m　設置期間12ヶ月（一部盛替えⅡ工区へ：139m　期間5か月）
ゲートA（搬入用）：アルミキャスターゲートW6.0　設置期間12ヶ月
ゲートB（搬出用）：アルミキャスターゲートW6.0　設置期間12ヶ月
通用口：鋼製片開きドW0.9×H2.0（設置期間仮囲いに同じ）
くさび緊結式足場（手すり先行足場）建地幅900
交通誘導員　２名　20人工/月×12ヶ月　合計480人工

足場Ⅰ・J・Kは隔離養生（負圧不要）を行う。
工事車両動線
職員動線
敷鋼板W1500×L6000×ｔ22　31枚　設置期間：12か月

記号	区分色	区分	長さ（m）	高さ（m）	掛け面積（㎡）	
A		Ⅰ	87.8	4.93	432.9	
D		Ⅰ	33.7	5.00	168.5	
E		Ⅰ	44.3	3.20	141.8	
F		Ⅰ	36.5	2.00	73.0	
G		Ⅰ	43.8	4.85	212.4	
H		Ⅰ	118.7	7.45	884.3	
＊ I		Ⅰ	37.8	3.52	133.0	隔離養生範囲
J		Ⅰ	56.1	7.33	411.2	
＊ K		Ⅰ	59.0	4.22	249.0	
L		Ⅰ	36.8	7.71	283.7	
M		Ⅰ	32.6	5.50	179.3	
N		Ⅱ	21.9	15.70	343.8	
＊ O		Ⅰ	12.5	11.80	147.5	
P		Ⅰ	10.8	6.13	66.2	
Q		Ⅰ	15.5	3.25	50.4	
R		Ⅰ	55.2	4.60	253.9	
＊ AH		Ⅰ	11.7	1.92	22.5	
＊ AI		Ⅰ	14.2	2.88	40.90	
合計					4,094.30	

区分	区分内容	掛け面積
Ⅰ	高さ12m未満	3，750.50㎡
Ⅱ	高さ22m未満	343.80㎡

室内足場　4m以上
くさび緊結式足場（手すり先行足場）建地幅900
長さ26.5　高さ5.5　掛け面積145.75㎡
設置期間　２か月

室内足場　4m未満　脚立足場
掛け面積150.0㎡

■＊印：既設金属屋根上に立つ足場をします。
竪葺きにの馳せ間にスタイロホーム厚40敷き込みの上、足場足元に足場板を設ける。

■外部足場下の植栽の撤去・張替。
1. 熊笹：146.99㎡
2. 芝：84.36㎡
3. 植栽（低木）：14.03㎡

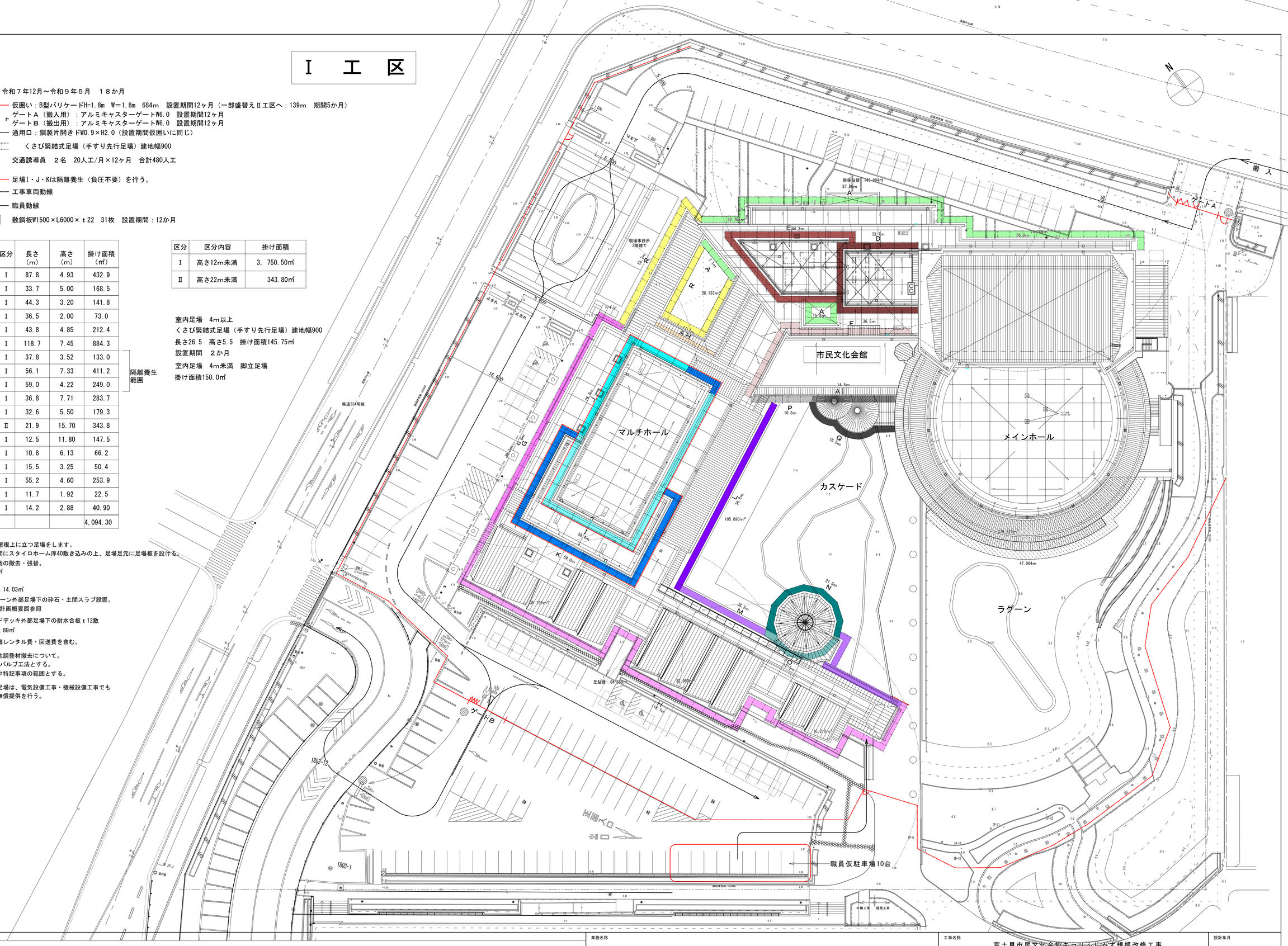
■ ：ラグーン外部足場下の砕石・土間スラブ設置。
仮設計画概要図参照

■カスケードウッドデッキ外部足場下の耐水合板ｔ12敷
1. 耐水合板：105.89㎡

■足場架けに揚重機レンタル費・回送費を含む。

■外壁仕上塗材下地調整材撤去について。
1. 隔離養生+ＡＧバルブ工法とする。
2. 隔離養生は図中特記事項の範囲とする。

■内部足場・外部足場は、電気設備工事・機械設備工事でも使用するため、無償提供を行う。



記事				
	業務名称	工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉	印	図面名称 【参考図】全面仮設計画図（Ⅰ工区）	縮尺 A1：1/300 A3：1/600
				図面番号 —

Ⅱ　工　区

【工事期間】令和７年12月～令和９年５月　１８か月

仮囲い：B型バリケードH=1.8m　411m（内盛替え139m）　設置期間5ヶ月

ゲートＡ：アルミキャスターゲートW6.0　設置期間5ヶ月
ゲートＢ：アルミキャスターゲートW6.0　設置期間5ヶ月
ゲートＣ：アルミキャスターゲートW3.6　設置期間5ヶ月

通用口：鋼製片開きドW0.9×H2.0（設置期間仮囲いに同じ）

くさび緊結式足場（手すり先行足場）建地幅900
足場B・C・S・T・U・Vは隔離養生（負圧不要）を行う。
交通誘導員　２名　20人工/月×5ヶ月　合計200人工

敷鋼板W1500×L6000×ｔ22　18枚　設置期間：2か月　＋　31枚　設置期間5カ月

外部シャッター交換用
高所作業車　800kg　2台　2日

記号	区分色	区分	長さ（m）	高さ（m）	掛け面積（㎡）
B		Ⅰ	30.8	4.70	144.8
C		Ⅱ	56.0	17.58	984.5
＊ S		Ⅱ	9.4	12.13	114.0
T		Ⅲ	1.80	22.45	40.4
＊ U		Ⅱ	13.0	16.75	217.8
V		Ⅰ	9.0	11.97	107.7
W		Ⅰ	66.9	7.69	514.5
X		Ⅰ	25.9	5.10	132.1
Y		Ⅰ	13.0	2.20	28.6
Z		Ⅰ	13.6	6.60	89.8
ＡＡ		Ⅰ	34.6	7.93	274.4
ＡＢ		Ⅰ	9.1	10.70	97.4
ＡＣ		Ⅰ	7.6	9.35	71.1
ＡＤ		Ⅰ	7.2	8.11	58.4
ＡＥ		Ⅰ	7.1	6.15	43.7
＊ ＡＦ		Ⅰ	58.9	2.77	163.2
ＡＧ		Ⅰ	106.3	5.53	587.8
合計					3,670.2

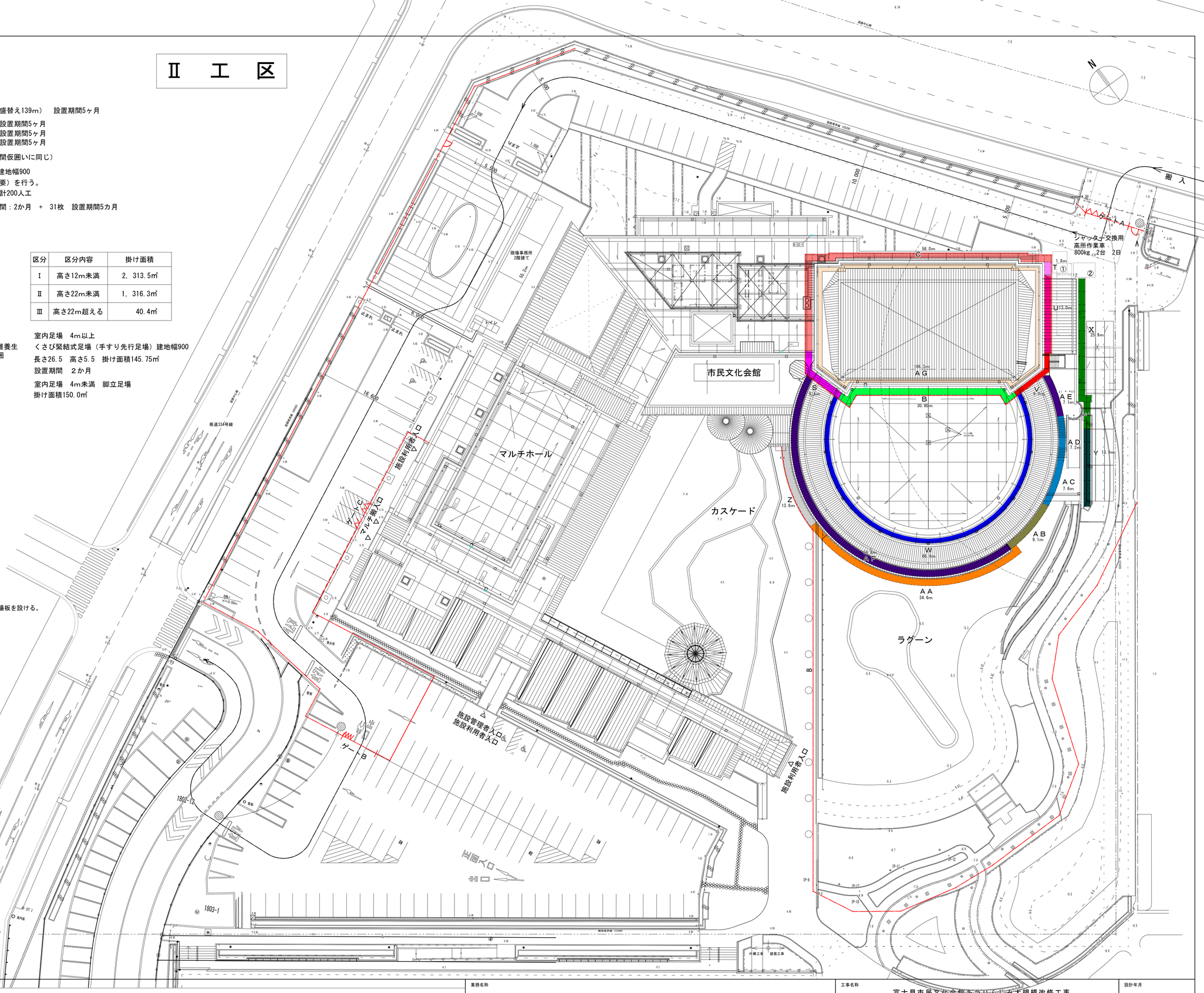
隔離養生範囲

区分	区分内容	掛け面積
Ⅰ	高さ12m未満	2，313.5㎡
Ⅱ	高さ22m未満	1，316.3㎡
Ⅲ	高さ22m超える	40.4㎡

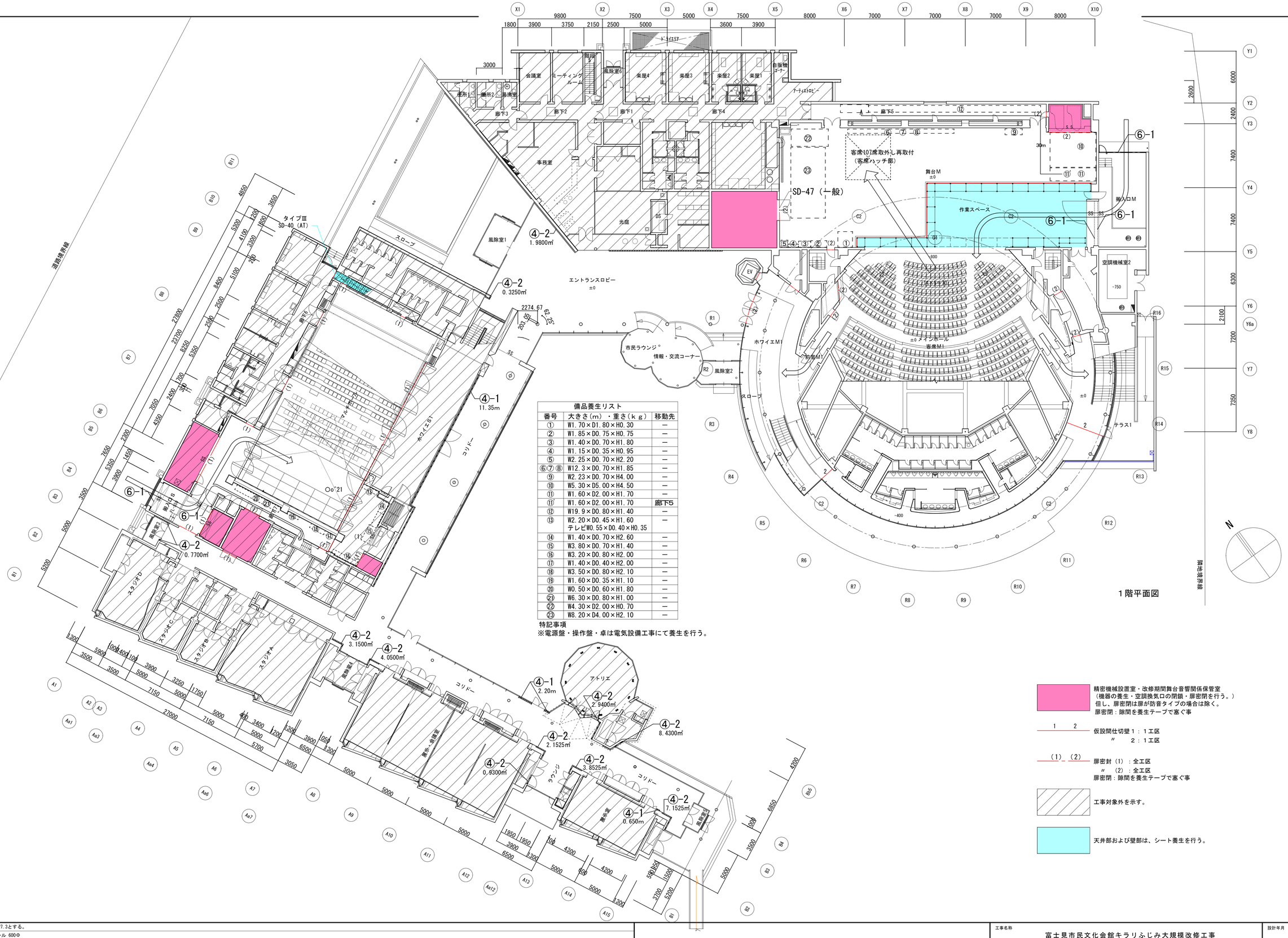
室内足場　4m以上
くさび緊結式足場（手すり先行足場）建地幅900
長さ26.5　高さ5.5　掛け面積145.75㎡
設置期間　２か月

室内足場　4m未満　脚立足場
掛け面積150.0㎡

■＊印：既設金属屋根上に立つ足場をします。
　竪葺きにの馳せ間にスタイロホーム厚40敷き込みの上、足場足元に足場板を設ける。
■外部足場下の植栽の撤去・植替え（同種）。
　1. 植栽（低木）：8.4㎡
　2. 樹木剪定（高さ15m）：3本
■足場架けに揚重機レンタル費・回送費を含む。
■駐車場等のアスファルト舗装は仮設仮囲い控柱補修を見込む事。
■外壁仕上塗材下地調整材撤去について。
　1. 隔離養生+ＡＧバルブ工法とする。
　2. 隔離養生は図中特記事項の範囲とする。



記事					
	業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事	設計年月
	株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印	図面名称	【参考図】 全面仮設計画図（Ⅱ工区）	縮尺 A1:1/300 A3:1/600
					図面番号 ―



備品養生リスト		
番号	大きさ(m)・重さ(kg)	移動先
①	W1.70×D1.80×H0.30	—
②	W1.85×D0.75×H0.75	—
③	W1.40×D0.70×H1.80	—
④	W1.15×D0.35×H0.95	—
⑤	W2.25×D0.70×H2.20	—
⑥⑦⑧	W12.3×D0.70×H1.85	—
⑨	W2.23×D0.70×H4.00	—
⑩	W5.30×D5.00×H4.50	—
⑪	W1.60×D2.00×H1.70	—
⑪	W1.60×D2.00×H1.70	廊下5
⑫	W19.9×D0.80×H1.40	—
⑬	W2.20×D0.45×H1.60 テレビW0.55×D0.40×H0.35	—
⑭	W1.40×D0.70×H2.60	—
⑮	W3.80×D0.70×H1.40	—
⑯	W3.20×D0.80×H2.00	—
⑰	W1.40×D0.40×H2.00	—
⑱	W3.50×D0.80×H2.10	—
⑲	W1.60×D0.35×H1.10	—
⑳	W0.50×D0.60×H1.80	—
㉑	W6.30×D0.80×H1.00	—
㉒	W4.30×D2.00×H0.70	—
㉓	W8.20×D4.00×H2.10	—

特記事項
※電源盤・操作盤・卓は電気設備工事にて養生を行う。

精密機械設置室・改修期間舞台音響関係保管室
（機器の養生・空調換気口の閉鎖・扉密閉を行う。）
但し、扉密閉は扉が防音タイプの場合は除く。
扉密閉：隙間を養生テープで塞ぐ事

1 2 仮設間仕切壁 1：1工区
〃 2：1工区

(1) (2) 扉密封 (1)：全工区
〃 (2)：全工区
扉密閉：隙間を養生テープで塞ぐ事

工事対象外を示す。

天井部および壁部は、シート養生を行う。

記事
基準IFL＝TP7.3とする。
マンホール 600Φ

株式会社 綜企画設計 埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （4） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉

印

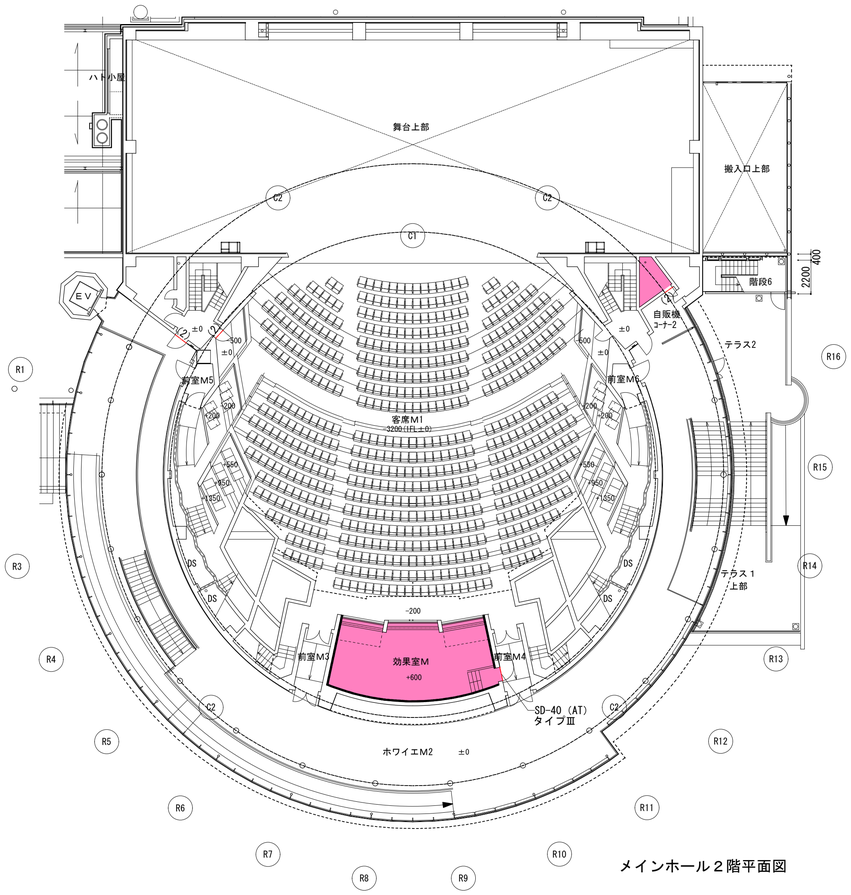
工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事

設計年月

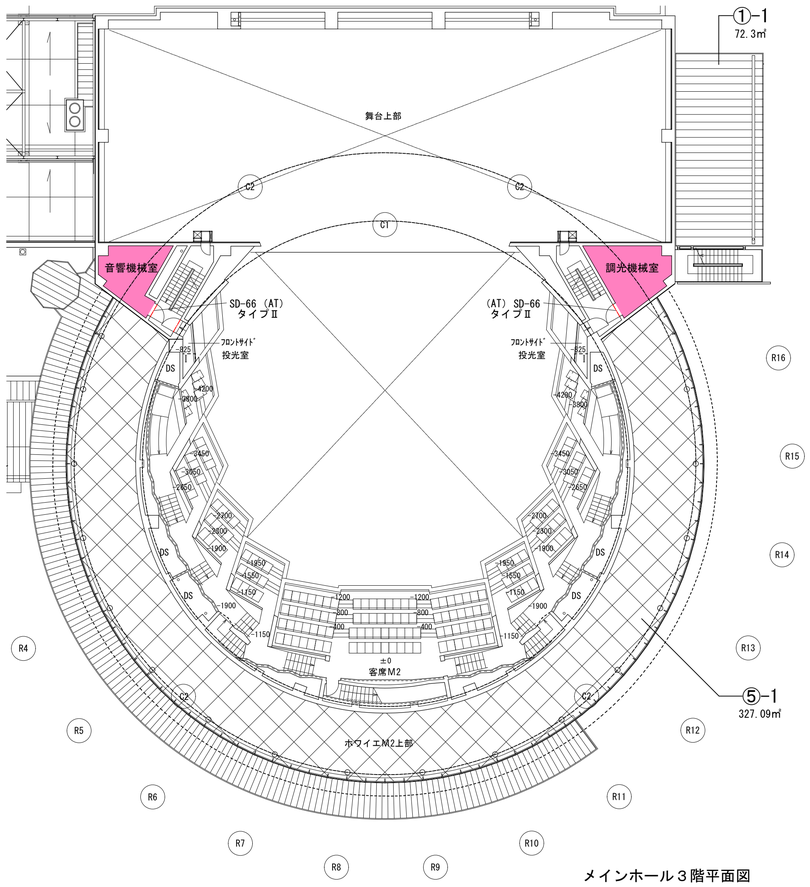
図面名称 【参考図】 内部仮設計画（1階）

縮尺 A1:1/200 A3:1/400

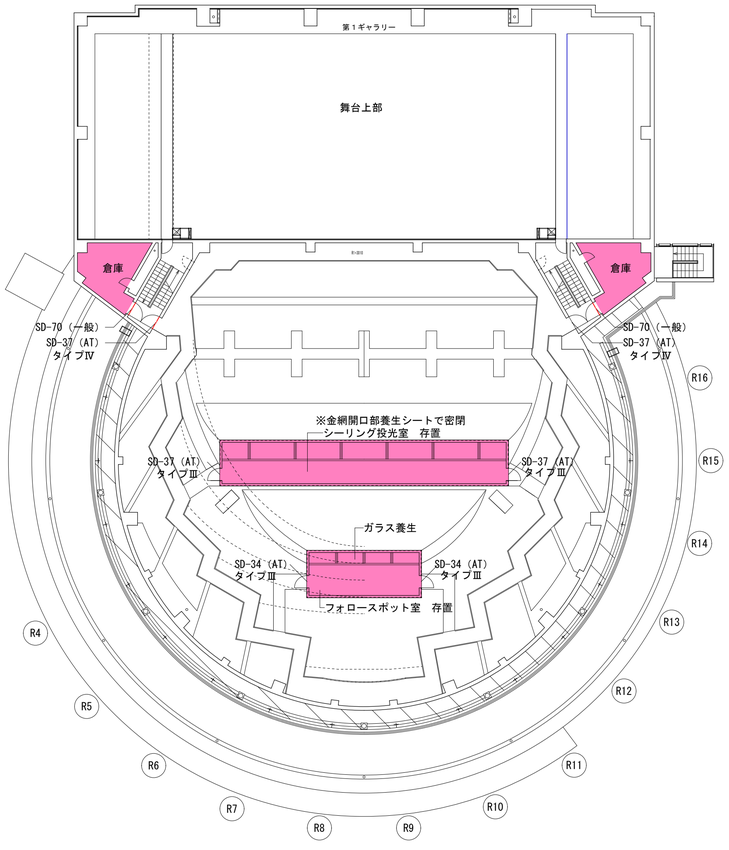
図面番号



メインホール２階平面図



メインホール３階平面図

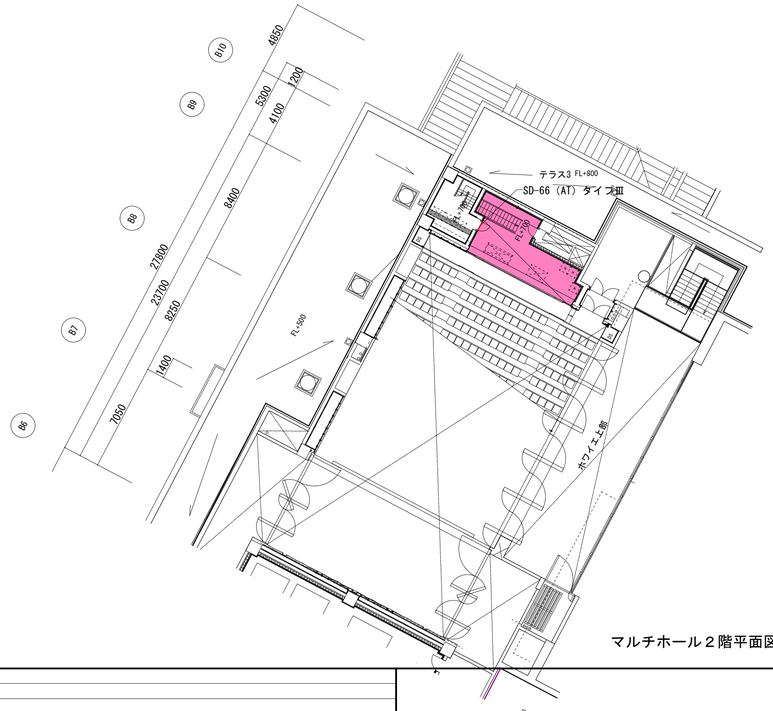


メインホールシーリングレベル平面図

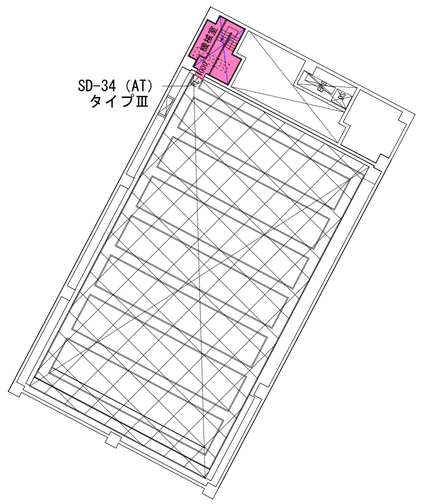
精密機械設置室・改修期間舞台音響関係保管室
（機器の養生・空調換気口の閉鎖・扉密閉を行う。）
但し、扉密閉は扉が防音タイプの場合は除く。

1　2　仮設間仕切壁１：１工区
〃　２：１工区

(1)　(2)　扉密封（1）：１工区
〃　（2）：２工区



マルチホール２階平面図



マルチホール天井平面図

記事		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修工事	設計年月	
	株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （４） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 【参考図】 内部仮設計画（2階～シーリングレベル）	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	図面番号

第１章　工 事 概 要

１．　工事件名　　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

２．　工事場所　　埼玉県富士見市大字鶴馬地内

３．　工事規模　　・延べ面積：　7358.58m²
・建築構造：　鉄骨鉄筋コンクリート造、一部 鉄骨造、鉄筋コンクリート造、
地下 3階、地上 1階、塔屋 2階

４．　工事範囲　　本工事は、「富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事」に関するものである。

５．　工事計画　　本工事は、既存の天井に対して部材を改修することに依って天井の耐震性の向上及び構造の改善を図るもので、既存躯体との接合が極めて重要である。また、この施工は限られた場所で行われるもので、一般の建築工事とは施工方法等相当異なる面がある。よって、設計の主旨及び最終的な建物の状態を十分理解した上で工法を選び、施工計画をたてなければならない。
特に次の点に十分注意すること。
ａ）躯体寸法、階高寸法その他は実測による。
ｂ）新設部と既存部材との定着を十分行う。
ｃ）騒音、粉塵及び汚染などの支障を及ぼす範囲を出来るだけ小さくする。
ｄ）仕上げ及びコンクリート等の撤去に際しては最小限必要な範囲とし残りの部分を傷めないように十分に注意する。
ｅ）既存配管、配線及び器具等を十分に調査し、損傷を与えないように注意する。
ｆ）施工に先立ちの施工計画書を作成し、承諾を得ること。
各試験は試験方法、及び結果報告を遅滞なく行うこと。
なお、施工計画書は工事種目別ごとに作成すること。

６．　工事内容　　本工事は、原則的に特定天井を主な対象に、天井落下対策(耐震化)工事を行うものである。

第２章　総　則

１．　適用範囲　　本工事は、設計図及び本特記仕様書に基づくものとし、これらの記載なき場合は、次に定める優先順位の仕様書に拠ることとする。
（１）質問回答書
（２）設計説明書
（３）特記仕様書
（４）設計図
~~（５）東京都建築工事標準仕様書~~
（６）日本建築学会標準仕様書　ＪＡＳＳ６　鉄骨工事
（７）公共建築改修工事標準仕様書(最新版)（国交省大臣官房　官庁営繕部）
（７）建築物解体工事共通仕様書(最新版)（国交省大臣官房　官庁営繕部）
（８）建築工事標準詳細図（国交省大臣官房　官庁営繕部）

２．　疑義又は軽微な変更　　なお、図面と仕様書との内容に相違があった場合や不明な箇所が生じた場合は、すべて監督員との協議に拠るものとする。

第３章　仮 設 工 事

１．　施工内容　　ａ）工事期間中に建物外部の一般使用が考えられるため、工事箇所周囲に仮囲を設け工事関係者以外の工事箇所立入りを防ぎ安全を図る。また、工事関係車両及び一般使用者との出入口を明確に分ける。

ｂ）増設部材の周りには、本足場を設けて施工性の向上と安全性の確保を図る。

２．　施工上の注意事項　　仮設工事は次の各項に留意して行うこと。
ａ）既存部材の仕上材及び器具類に損傷を与えないよう十分注意すること。なお、解体時は防音シート等にて養生し、ブレース搬入後はシート等にて養生する。
万一損傷した場合には同等品にて復旧する

ｂ）近隣住民に配慮し、騒音対策として防音パネルを設置する必要のある時は、本設計図に係わらず適宜設置すること。

第４章　撤去・改修工事

１．　撤去工事の施工内容　　ａ）鉄骨補強材の増設に伴い、これらの増設部材が設置される構面内の既存仕上げ・躯体の撤去と土間等の一部を撤去する。
ｂ）増設部材と接する既存コンクリート面は十分に目荒らしを行う。
ｃ）塗り仕上げまたはこれに準ずる仕上げ材、及び躯体を撤去する場合は、カッターで切込みを付けてから撤去する。
なお、躯体を撤去する場合は両面からカッターで切込みを付けてから撤去する。
ｄ）発生材の処分に際しては、廃棄物の処理に関する法律に準拠する。

２．　修復工事の施工内容　　ａ）天井仕上げ
１）別途意匠図による。

３．　撤去工事における注意事項　　ａ）既存の躯体状態を確認し、監督員に報告し、補修方法を提案し承諾を受けた上で決定すること。

第５章　鉄骨造補強工事

１．　材　　料　　（１）使用材料及びメーカー指定
ａ）鉄骨等
１）一般構造用圧延鋼材　ＳＳ４００（ＪＩＳ　Ｇ　３１０１）
２）一般構造用軽量形鋼　ＳＳＣ４００（ＪＩＳ　Ｇ　３３５０）
３）一般構造用角形鋼管　ＳＴＫＲ４００（ＪＩＳ　Ｇ　３４６６）
４）高力ボルト　Ｆ１０Ｔ（ＪＩＳ　Ｂ　１１８６）
Ｓ１０Ｔ（トルシア形高力ボルト　認定品）
５）金属アンカー　ＳＷＲＣＨ６Ａ（ＪＩＳ　Ｇ　３５０７）
６）その他　ＪＩＳターンバックル筋かい（ＪＩＳ　Ａ　５５４０）
ｂ）防錆塗料
鉄骨部の錆止め塗装は、ＪＩＳ　Ｋ５６７４　鉛・クロムフリーさび止めペイントとする。
なお、モルタルやコンクリートに接する部分には塗装しないこと。

（２）試験・確認等
ａ）すみ肉溶接及び完全溶込溶接の自主検査
１）外観検査及び超音波探傷試験（完全溶込溶接のみ）によるものとし、方法及び合否判定は自社基準による。検査は下表を対象とする。

ｂ）すみ肉溶接及び完全溶込溶接の受入検査
１）外観検査及び超音波探傷試験（完全溶込溶接のみ）によるものとし、方法は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査基準・同解説」による。合否判定は原則として７．２・１（１）「溶接部引張力が作用する場合」による。検査は下表を対象とする。

	溶接場所	製作工場		第三者機関	
		外観検査	超音波探傷試験	外観検査	超音波探傷試験
すみ肉溶接	工場溶接	１００％	—	３０％	—
	現場溶接	１００％	—	１００％	—
完全溶込溶接	工場溶接	１００％	１００％	３０％	３０％
	現場溶接	１００％	１００％	１００％	１００％

ｃ）高力ボルト締付け施工方法の確認
１）トルシア型高力ボルトの場合
工事場に搬入されたボルトは工事場の施工条件に見合った条件下でボルトに導入される張力がJSSⅡ09の規定値を満足しているか確認検査を行う。呼び径毎1製造ロット5セット(JASS 6)とする。
２）高力六角ボルトの場合
呼び径毎に代表の1ロットから5セット(JASS 6)のボルトを試験する。軸力計にてボルト張力の平均値が規定値を満足することを確認する。

ｄ）トルシア型高力ボルトの締付け検査
目視によって行い。ピンテールの破断と1次締付けた後にマークのずれによって本締め完了を確認すると共に、マークのずれによって共回り・軸回りの有無、ナット回転量、余長のいづれについても異常の認められないものを合格とする。

ｅ）高力六角ボルト締付け検査
１）締付け完了後適合検査を行う。

【a.トルクコントロール法による場合】
1次締付けの後につけたマークにより共回りの有無、ナットの回転量及び余長を目視検査し、いづれも異常が認められないものを合格とする。ナット回転量が著しくばらついているボルト郡では、その郡全部のボルトについてトルクレンチを用いてナットを追い締めすることにより、締付けトルクの適否を検査する。

【b.ナット回転法による場合】
aと同様、1次締付けを行った後に付けたマークを用いてナット回転量を目視によって検査する。ナット回転量120±30°の範囲にあるものを合格とする。

２．　施工内容　　（１）既存躯体の実測とスミ出し
（２）部品取付部（既存梁等）の研磨及び清掃
（３）鉄骨部品の加工
（４）既存部材へガセットプレート等の取付
（５）鉄骨部材の組立

３．　施工上の注意事項　　（１）鉄骨の加工に先立ち、既存躯体の寸法等の実測を行い工作図及び現寸図を作成し、承諾を受ける。
（２）鉄骨の加工組立は国土交通大臣の認定（建築基準法第６８条の２６）によるMグレード以上の工場とする。
（３）溶接施工管理技術者及び溶接技能者は、技術者資格及び技量資格を有するもので、証明書その他必要な資料を監督員に提出して承認を受けた者とする。
（４）鋼材の溶接部分については、日本建築学会の鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査基準（ＪＩＳＺ３０６０）に規定する検査を行う。
（５）検査機関は原則として（社）日本溶接協会によるＷＥＳ８７０１（溶接構造物非破壊検査事業者の技術種別基準）の認定検査機関とする。検査者は（社）日本非破壊検査協会により工事に対応した資格を有するものとする。
（６）設計図書で特記なき限り、鉄骨の継手は国土交通省住宅局建築指導課監修「ＳＣＳＳ－Ｈ９７ 鉄骨構造標準接合部 Ｈ形鋼」による。
（７）鉄骨の建方には揚重機を用い、つり上げて搬入した後、設置位置につり込み仮止めする。
（８）防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
（９）錆止めペイントは、鉛やクロムなどの有害重金属を含まないものとし、日本塗料工業会自主規格（ＪＰＭＳ２６）認定品とし、工場２回塗りとする。
(10) 現場における高力ボルト接合部及び、接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、２回塗りとする。搬入及び建方時における塗装の剥離部分は、状況に応じてタッチアップを行う。

第６章　鉄筋コンクリート造工事

１．　あと施工アンカー（金属系アンカー）工事

（１）一般事項
ａ）施工管理技術者
ア　あと施工アンカーの施工には、工事内容に相応した施工の指導を行う施工管理技術者を置く。
イ　施工管理技術者は、あと施工アンカー工事の施工等に係る指導及び品質管理を行う能力のある者とし、これらを証明する資料を提出し、監督員の承諾を受ける。

ｂ）技能者
あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験及び技能を有するものとし、これらを証明する資料を提出し、監督員の承諾を受ける。

ｃ）せん孔機器
せん孔に使用する機械は、アンカーの種類、径、長さ、施工条件等を勘案し、適切な機械を選定する。

（２）金属拡張アンカーの仕様は、次による。
ア　引張耐力、せん断耐力は、下記による。

径	引張耐力	せん断耐力	備考
~~φ13~~	~~6.9kN~~	~~27kN~~	~~-~~
φ16	8.6kN	41kN	-

イ　アンカー本体の径及び埋込み深さは、下記による。

径	埋込み深さ	有効埋込長	備考
~~φ13~~	~~5da以上(65mm以上)~~	~~4da以上(52mm以上)~~	~~-~~
φ16	5da以上(80mm以上)	4da以上(68mm以上)	-

ウ　アンカー本体のねじの公差域クラスは、JIS B 0209-1（一般用メートルねじ―公差―第１部：原則及び基礎データ）の「12.推奨する公差域クラス」で、おねじの場合は８ｇ以上、めねじの場合は７Ｈ以上とする。
エ　アンカー本体のねじの有効長さは、ねじの呼びの1.2倍以上とする。
オ　アンカー本体の表面処理は、JIS H 8610（電気亜鉛めっき）の２級以上とする。
カ　アンカーのセット方式は、本体打込み式改良型とする。
キ　接合筋の種類、径及び長さは、下記による。

接合筋の種類	接合筋の径	接合筋の長さ	備考
SR295	φ13	-	-
SR295	φ16	-	-

ク　アからキ以外は、アンカー製作所の仕様による。

（３）せん孔
ａ）せん孔は、既存骨組みに有害な影響を与えないように行う。
ｂ）埋込み配管等の探査の範囲は、全てとし、方法は、特記による。
ｃ）埋込み配管等に当たった場合は、直ちにせん孔を中止し、監督員に報告し、指示を受ける。
ｄ）あと施工アンカーのせん孔時に鉄筋に当たった場合は、せん孔を中止し、取付に有効で、かつ、耐力上支障のない部分にせん孔位置を変更する。使用しない孔は、モルタル等を充填する。
ｅ）せん孔された孔内に水分があることが確認された場合は、監督員に報告し、指示を受ける。
ｆ）せん孔された孔は、所定の深さがあることを確認する。
ｇ）せん孔後、切粉が残らないようブロア、ブラシ等で孔内を清掃する。

（４）金属系アンカーの固着
ア　作業に用いるハンマー、打込み棒、締付け用具等の固着工具は、アンカーに対して適切なものとする。
イ　打込み方式のアンカーは、所定の位置まで打ち込む。
ウ　締付け方式のアンカーは、所定の締付けトルク値まで締め付ける。

（５）確認試験
あと施工アンカーの施工後の確認試験は、特記による。特記が無ければ、引張試験及び打音検査とし、次による。試験後は、試験成績書を監督員に提出し、承諾を受ける。
ａ）１ロットは、一組の作業班が１日に施工したアンカーの確認強度及び径ごととする。
ｂ）試験の箇所数は、１ロットに対し３本とし、ロットから無作為に抜き取る。
ｃ）試験方法は、確認強度まであと施工アンカーを引っ張るものとする。また、判定基準は確認強度を有する場合を合格とする。
なお、確認強度は、特記による。

径	確認強度	備考
~~φ13~~	~~4.6kN~~	~~-~~
φ16	5.7kN	-

ｄ）ロットの合否判定は、ロットの全ての試験箇所が合格と判定された場合に、当該ロットを合格とする。
ｅ）不合格ロットが発生した場合の処置は、次による。
ア　直ちに作業を中止し、欠陥発生の原因を調査して、必要な改善措置を定め、監督員の承諾を受ける。
イ　不合格ロットは、残り全数に対して試験を行う。ただし、試験方法及び判定基準は、ｃ）による。
ウ　試験の結果、不合格となったあと施工アンカーは、監督員と協議を行い、再施工する。
ｆ）打診検査は、合格と判定された箇所の打音を参考に全数行い、異常音が認められた場合は、抜取試験を実施する。

（６）不合格あと施工アンカーの再施工
不合格となったあと施工アンカーは、その至近の位置に再施工する。再施工を行ったあと施工アンカーは、全数施工確認試験を行い、その記録を監督員に提出し、承諾を受ける。ただし、試験方法及び判定基準は、「６．１．（５）確認試験　ｃ）」による。

２．　モルタル圧入工事　　Fm = 30 N/mm²

３．　気温によるコンクリート強度の補正値

補正値 (N/㎟)	３Ｎ	６Ｎ
ｺﾝｸﾘｰﾄの打ち込みから28日までの期間の予想平均気温θの範囲	8≦θ	0≦θ＜8

記事		業務名称	工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
		株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉	図面名称	標準図１
		印　・　・	縮尺	A1:－ A3:－
			設計年月	令和6年6月
			図面番号	S-00-1

構造関係共通図（1）

（鉄骨基準図）

1　一般事項　　（適用事項は○印で示す）

①　技術関連図書（最新版）

1．　日本建築学会　建築工事標準仕様書　ＪＡＳＳ６　鉄骨工事
2．　日本建築学会　鉄骨工事技術指針　工場製作編
3．　日本建築学会　鉄骨精度測定指針
4．　日本建築学会　高力ボルト接合設計施工指針
5．　日本建築学会　鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説
6．　日本建築学会　鋼構造設計規準
7．　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　建築工事共通仕様書
8．　建設省住宅局建築指導課　ＳＣＳＳ－Ｈ９７　鉄骨構造標準接合部　Ｈ形鋼編

②　製作工場は、下記のいずれかで工事監督員の承認した工場とする

1	国土交通大臣認定工場	グレード	S	H	M	Ⓡ	J
2	指定工場	指定工場	（指定工場名　　）				

注）グレードの適用範囲

Ｊグレード　1．鉄骨溶接構造の3階以下の建築物（延べ面積５００㎡以内、高さ１３ｍ以下かつ軒高１０ｍ以下のもの）
　　2．４００Ｎ級鋼で板厚１６㎜以下の鋼材通しダイヤフラム（開先なし）は４９０Ｎ級鋼で板厚２２㎜以下ベースプレートは４９０Ｎ級鋼で板厚５０㎜以下
Ｒグレード　1．鉄骨溶接構造の5階以下の建築物（延べ面積３０００㎡以内、高さ２０ｍ以下のもの）
　　2．４００Ｎ及び４９０Ｎ級鋼で板厚２５㎜以下の鋼材通しダイヤフラム（開先なし）は板厚３２㎜以下ベースプレート及びGコラムのパネル厚肉部は板厚５０㎜以下
Ｍグレード　1．鉄骨溶接構造の４００Ｎ及び４９０Ｎ級鋼で板厚４０㎜以下の鋼材通しダイヤフラム（開先なし）は板厚５０㎜以下ベースプレート及びGコラム及びＳＴコラムのパネル厚肉部の板厚が５０㎜を超える場合、５０℃の予熱を行う
Ｈグレード　1．鉄骨溶接構造の４００Ｎ、４９０及び５２０Ｎ級鋼で板厚６０㎜以下の鋼材通しダイヤフラム（開先なし）は板厚７０㎜以下
Ｓグレード　1．全ての鉄骨溶接構造

③　鉄骨工事着手前に提出する書類
■ 認定書の写し　■ 工場製作要領書　■ 工作図　■ 溶接工事作業計画書

④　使用鋼材

鋼　板	□ＳＮ４００Ａ	□ＳＮ４００Ｂ	□ＳＮ４００Ｃ
	□ＳＮ４９０Ｂ	□ＳＮ４９０Ｃ	□
	■ＳＳ４００	□ＳＭ４９０	
Ｈ　形鋼	□ＳＮ４００Ａ	□ＳＮ４００Ｂ	
	□ＳＮ４９０Ａ	□ＳＮ４９０Ｂ	
	■ＳＳ４００	□ＳＭ４９０	
形　鋼	■ＳＳ４００		
鋼　管	□ＳＴＫＮ４００Ｂ	□ＳＴＫＮ４９０Ｂ	□ＳＴＫ４００
角型鋼管	□ＢＣＲ２９５		
	□ＢＣＰ２３５	□ＢＣＰ３２５	
	■ＳＴＫＲ４００		
軽量形鋼	■ＳＳＣ４００		
床　鋼板	□デッキプレート	□ｈ＝５０	□ｔ＝１．２　□塗装
	□合成スラブ用デッキ	□ｈ＝７５	□ｔ＝１．６　□Ｚ１２
		□ｈ＝	□ｔ＝　□Ｚ２７
その他	□		
高力ボルト	■ＳＴ１０Ｔ	■Ｆ１０Ｔ	□Ｆ８Ｔ
	（Ｆ８Ｔは溶融亜鉛めっき高力ボルト）		
ボルト	■中ボルト		
アンカーボルト	■ＳＮＲ４００Ｂ	□ＳＮＲ４９０Ｂ	
	□ＳＳ４００		
スタッド	□φ１９　ｈ＝１４８㎜		
ブレース	■　ＪＩＳブレース		
錆止め	■　ＪＩＳ　Ｋ　５６７４　工場　回塗り（現場タッチアップ１回塗り）		
	■　溶融亜鉛めっき		

⑤　監督員に検査事項を連絡し、確認を受けるもの
■ 現寸検査　□ 組立検査　■ 製品検査　□ 建て方検査

6．　鉄骨工事完了後監督員に提出するもの
■ 鋼材規格証明書（実物又は裏書きミルシート）
■ 高力ボルト規格証明書
■ 防錆塗料成分証明書
■ 中間検査において製作工場が求められる書類（特記による）
　溶接接合部の検査報告書　■ 外観検査　（１００%）
　■ 超音波自主検査　（１００%）
　■ 超音波第三者検査　（　３０%）
・　現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと
・　第三者検査機関とは、建築主、工事監督員又は工事施工者が受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう
■ 工程写真　■ 鋼材　■ 開先形状　■ 組立状況
■ 塗装状況

7．　現場建方時に製作工場名表示看板を掲げる事

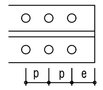
2　縁端距離及びボルト間隔等

（1）縁端距離及びボルト間隔

縁端距離及びボルト間隔は、表２．１による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に３本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。
また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表２．１　縁端距離及びボルト間隔　（単位㎜）

ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M6 M12 M16 M20 M22	40	60
M24	45	70

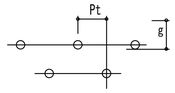


（2）千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔

千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表２．２による。

表２．２　千鳥のゲージ及びボルト間隔　（単位㎜）

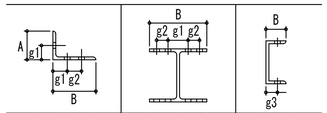
ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔 Pt	
	ねじの呼び	
	M12,M16,M20,M22	M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	－	40



（3）形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表２．３による。

表２．３　形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径　（単位㎜）



A又はB	g1	g2	最大軸径	B	g1	g2	最大軸径	B	g3	最大軸径
45	25		12	100	56		16	50	30	12
50	28		16	125	75		16	65	35	20
60	35		16	150	90		22	70	40	20
65	35		20	175	105		22	75	40	22
70	40		20	200	120		24	80	45	22
75	40		22	250	150	40※1	24	90	50	24
80	45		22	300	150	70	24	100	55	24
90	50		24	350	140	90	24			
100	55		24	400	140		24			
125	50	35	24							
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

※1　千鳥打ちとした場合

（4）摩擦面の性能及び処理

(1)　JIS形高力ボルト又はトルシア形高力ボルトを使用する場合の摩擦面は、次による。

ア　摩擦面は、すべり係数値が0.45以上確保できるよう、ミルスケールをディスクグラインダー掛け等により原則として添え板全面の範囲について除去した後、一様にさびを発生させたものとする。ただし、ショットブラスト法またはグリットブラスト法により摩擦面の表面粗度を50μmRz(JIS B 0601(製品の幾何特性仕様(GPS)ー表面性状：輪郭曲線方式ー用語、定義及び表面性状パラメータ)による。)以上確保でき、監督員の承諾を受けた場合には、さびの発生を要しない。

イ　摩擦面には、鋼材のまくれ、ひずみ、ディスクグラインダー掛けによるへこみ等がないものとする。

ウ　すべり係数試験の実施、試験の方法及び試験片の摩擦面の状態は、特記による。

エ　フィラープレートは、鋼板とし、アと同様に処理する。特に、フィラープレートを溶接により部材に取付ける場合は、さびの発生等摩擦面の状態を確認してから行う。

オ　ボルトの頭部又は座金の接触面に、鋼材のまくれ、ひずみ等がある場合は、ディスクグラインダー掛けにより取り除き、平らに仕上げる。

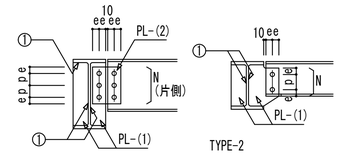
3　継手規準図、その他

(1)　ボルトピッチ(P)　、ボルト穴径・最小縁端距離　(㎜)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離 (e)				ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	32	45	60	70

［注］　(1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
　　(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
　　(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

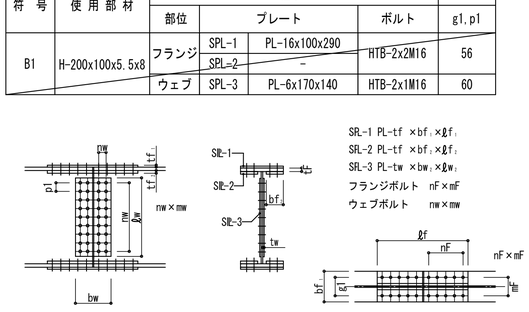
(2)　ピン接合梁継手リスト



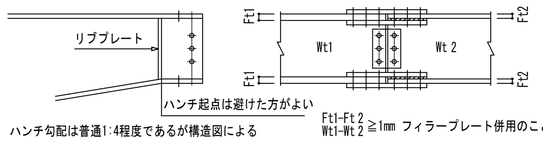
符　号	タイプ	部　材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
B1	2	H-200x100x5.5x8	PL-6	－	2-M16
B1	2	H-200x100x5.5x8(VV33フレーム)	PL-12	－	2-M22
B2	2	H-194x150x6x9	PL-6	－	2-M16
B2	2	H-194x150x6x9(VV33フレーム)	PL-12	－	2-M22
B3	2	H-148x100x6x9	PL-6	－	2-M16
B4	2	H-150x150x7x10	PL-9	－	2-M16
B5	2	H-294x200x8x12	PL-9	－	2-M20

●梁剛接合リスト

符　号	使用部材	継手				
		部位	プレート		ボルト	g1,p1
B1	H-200x100x5.5x8	フランジ	SPL-1	PL-16x100x290	HTB-2x2M16	56
			SPL-2	－		
		ウェブ	SPL-3	PL-6x170x140	HTB-2x1M16	60



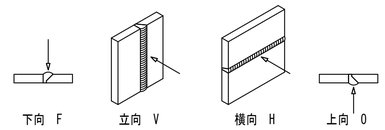
(3)　ハンチ部の継手



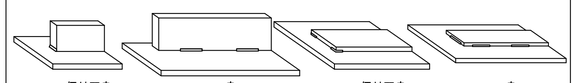
4　溶接一般事項

(1)　材料及び検査
　(a)　構造設計仕様による
　(b)　適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
　(c)　社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
(2)　工作一般
　(a)　鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督員の承諾を得る
　(b)　鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
　(c)　高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする
(3)　高力ボルト接合
　(a)　本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

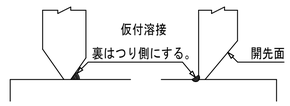
(4)　溶接接合
　(a)　溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適応するJIS Z3801（手溶接）又はJIS Z3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする
　(b)　溶接機器
　　（イ）　交流アーク溶接機　300A～500A　　（ニ）　炭酸ガスアーク半自動溶接機
　　（ロ）　アークエアーガウジング機（直流）　（ホ）　溶接電流を測定する電流計
　　（ハ）　サブマージアーク溶接機一式　　（ヘ）　溶接棒乾燥器
　(c)　溶接方法
　　アーク手溶接　(MC)　　ガスシールドアーク半自動溶接　(GC)
　　セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接　(NGC)　　アークエアーガウジング　(AAG)
　(d)　溶接姿勢



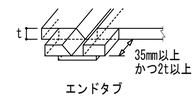
(e)　組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
　（イ）　仮付位置
　　組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



（ロ）　完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



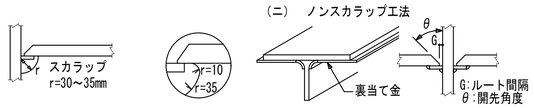
(f)　溶接施工
　（イ）　エンドタブ
　Ⅰ）　完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
　Ⅱ）　エンドタブの材質は、母材と同質とする
　Ⅲ）　エンドタブの長さは、MC：35mm以上、NGC、GC：40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする



　Ⅳ）　プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る

（ロ）　裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする
（ハ）　スカラップ　半径30～35mmと、10mmのダブルアールとする。但し梁成がD=150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする

（ニ）　ノンスカラップ工法



（ホ）　裏はつり
規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監督員の確認を励行し、部材に確認マークをつける
（ヘ）　現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行なう

(5)　塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は塗装をしない

記事

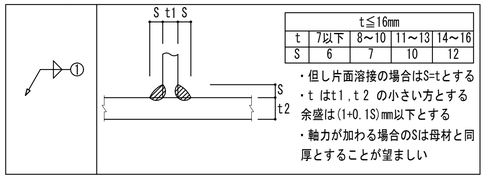
業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
			設計年月　令和6年6月
株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士 樋口 勉		印　・　・	図面名称　標準図２
			縮尺　A1:－　A3:－
			図面番号　S-00-2

構造関係共通図（2）

（鉄骨基準図）

5　溶接規準図　　（注）　f：余盛　G：ルート間隔　R：フェース　S：脚長　　（単位 mm）

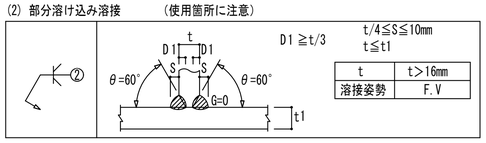
(1) 隅肉溶接



t≦16mm				
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

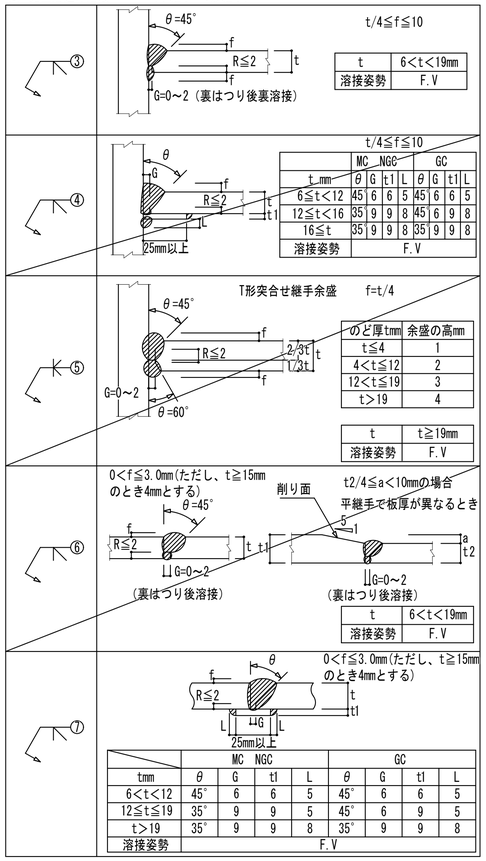
・但し片面溶接の場合はS=tとする
・t はt1，t2 の小さい方とする
余盛は(1+0.1S)mm以下とする
・軸力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい

(2) 部分溶け込み溶接　　（使用箇所に注意）



t	t＞16mm
溶接姿勢	F.V

(3) 完全溶込み溶接　　（平継手　T形継手）



t	6＜t＜19mm
溶接姿勢	F.V

	MC　NGC				GC			
t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t＜12	45	6	6	5	45	6	6	5
12≦t＜16	35	9	9	8	45	6	9	8
16≦t	35	9	9	8	35	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

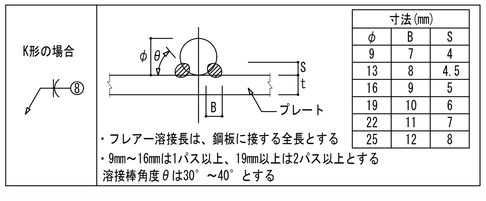
のど厚tmm	余盛の高mm
t≦4	1
4＜t≦12	2
12＜t≦19	3
t＞19	4

t	t≧19mm
溶接姿勢	F.V

	MC　NGC				GC			
tmm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6＜t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
t＞19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

(4) フレアー溶接

K形の場合



寸法(mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

・フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする
・9mm～16mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする
溶接棒角度θは30°～40°とする

●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱(KJ/cm)	パス温度差(℃)
400N級鋼	JIS Z 3211,3212,3214	40以下	350以下
	YGW-11,15		
	YGW-18,19		
	YGA-50W,50P		
490N級鋼	JIS Z 3212,3214	40以下	350以下
	YGW-11,15	30以下	250以下
	YGW-18,19	40以下	350以下
	YGA-50W,50P		

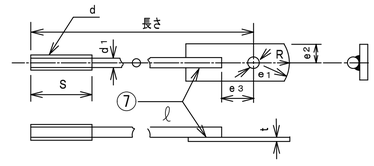
6　鉄筋ブレース　（ＪＩＳ規格品とする…ＪＩＳ　Ａ　５５４０…１９８２／５５４１・５５４２…２００３）

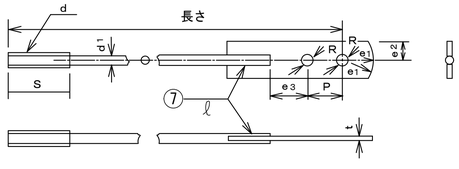
（a）　羽子板ボルト

ねじの呼び（d）		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	M27	M30	M33
軸径d1	最　大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99	24.99	27.67	30.67
	最　小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77	24.77	27.42	30.42
調整ねじの長さ	S	100	115	125	140	150	165	175	200	200	225
取付ボルト穴径 許容差＋0.－0.5mm	R	13.0	17.0	17.0	21.5	21.5	23.5	21.5	21.5	23.5	23.5
はしあき（最小）(2)e1		35	40	45	50	50	55	50	50	55	55
切板製	へりあき（最小）(1)e2	22	28	28	34	34	38	38	45	45	50
	板　厚　t	6	6	6	9	9	9	9	9	12	12
平鋼製	へりあき（最小）(1)e2	19.0	25.0	25.0	32.5	32.5	37.5	37.5	45	45	50
	板　厚　t	6	6	6	9	9	9	9	9	12	12
ボルト端から取付ボルト穴心のあき（最小）e3		47	52	59	66	66	73	70	72	83	90
溶接長さ（最小）ℓ		40	50	55	60	75	85	85	90	95	110
(2)取付ボルト	種　類	ＪＩＳ Ｂ １１８６　２種高力ボルト（Ｆ１０Ｔ）又は ＪＩＳ Ｂ １１８０　中８ｇ１０．９									
	ねじの呼び	M16	M16	M16	M20	M20	M22	M20	M20	M22	M22
	本　数	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2

注　（1）　e1、e2 が確保されていれば形状は自由でよい
（2）　羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする

羽子板ボルト





7　補強鉄骨部材

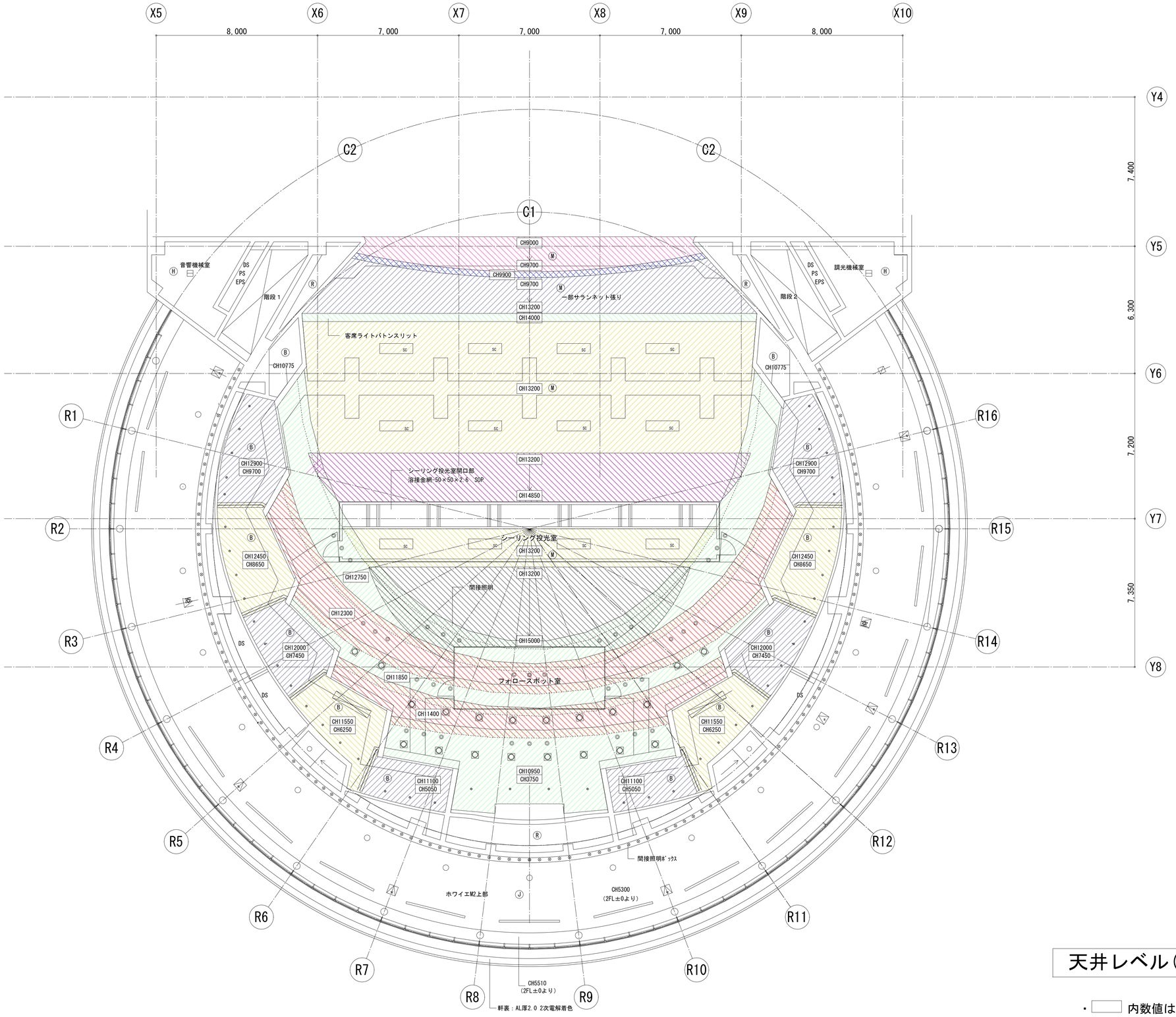
補強部材

・構造図による

符　号	鉄骨種別	部材寸法	端部(ピン接合)	材料強度	備　考
－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－



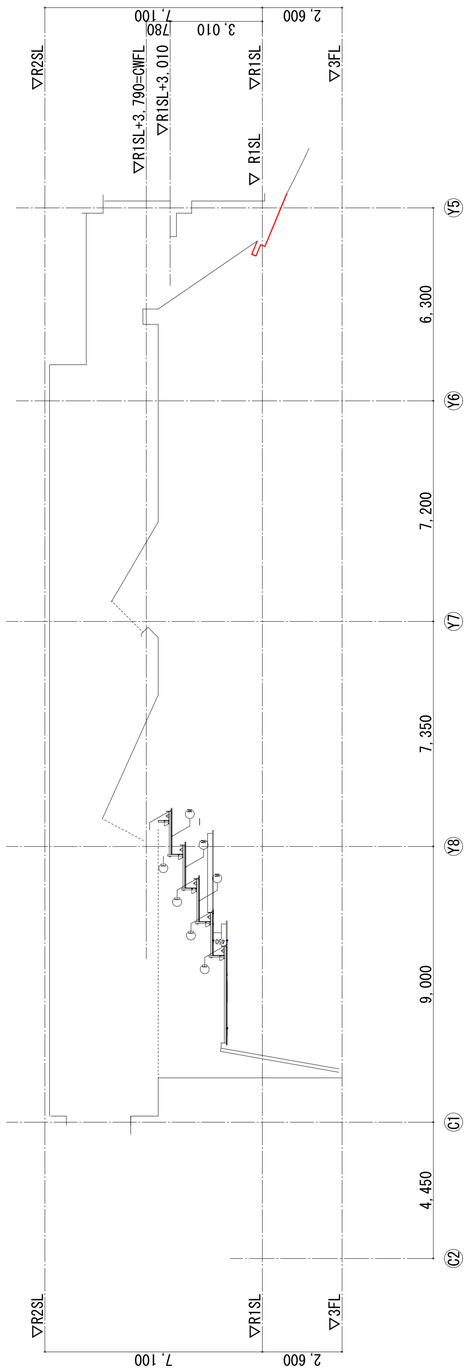
記事		業務名称		工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉	印　・　・	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	令和6年6月
				図面名称：標準図３ / 縮尺：A1：－ A3：－	図面番号：S-00-3

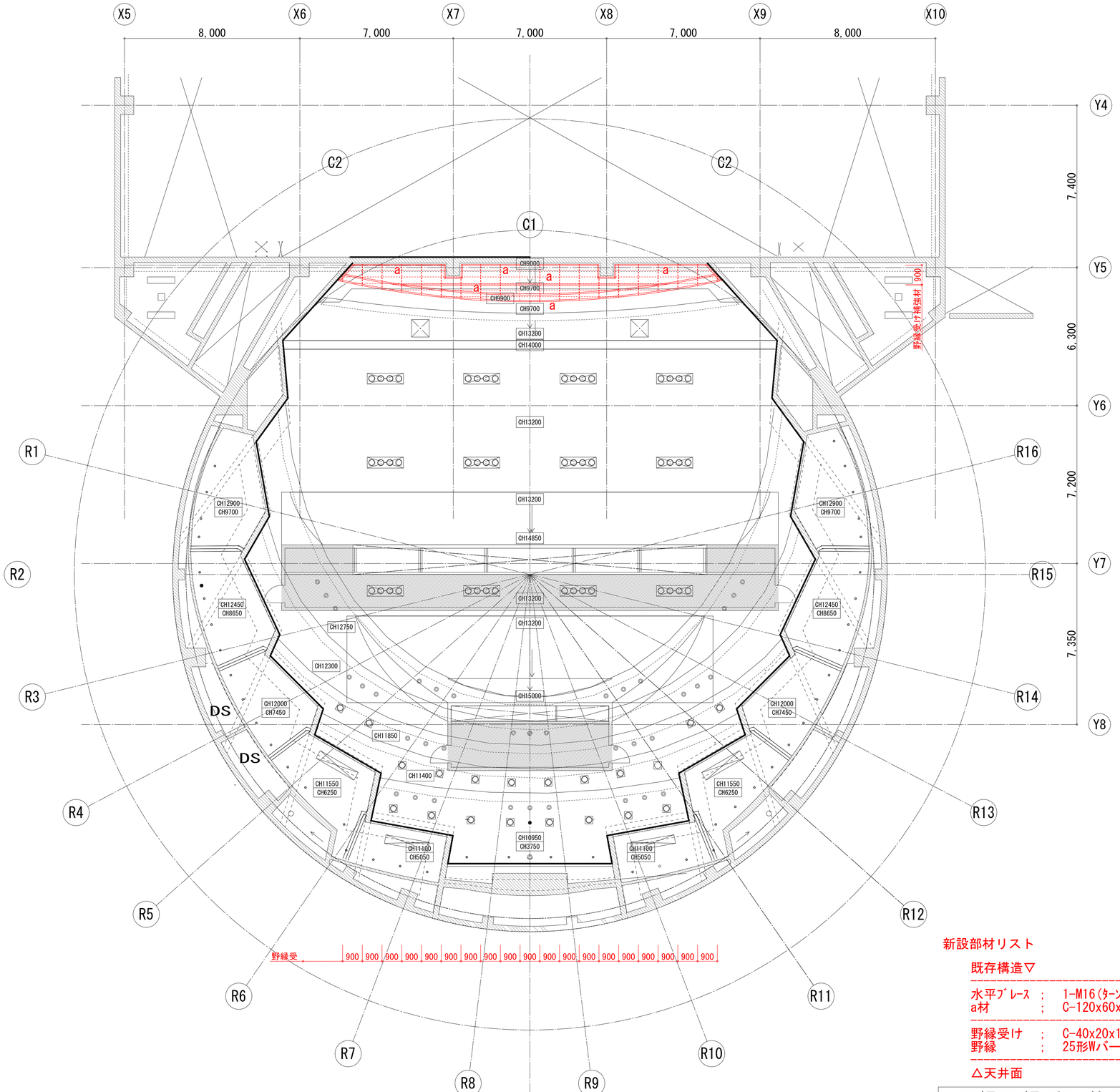


天井レベル（メインホール）

・□ 内数値は、舞台面±0からのレベルを示す。

記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 メインホール 天井レベル図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 S-01





新設部材リスト

既存構造▽

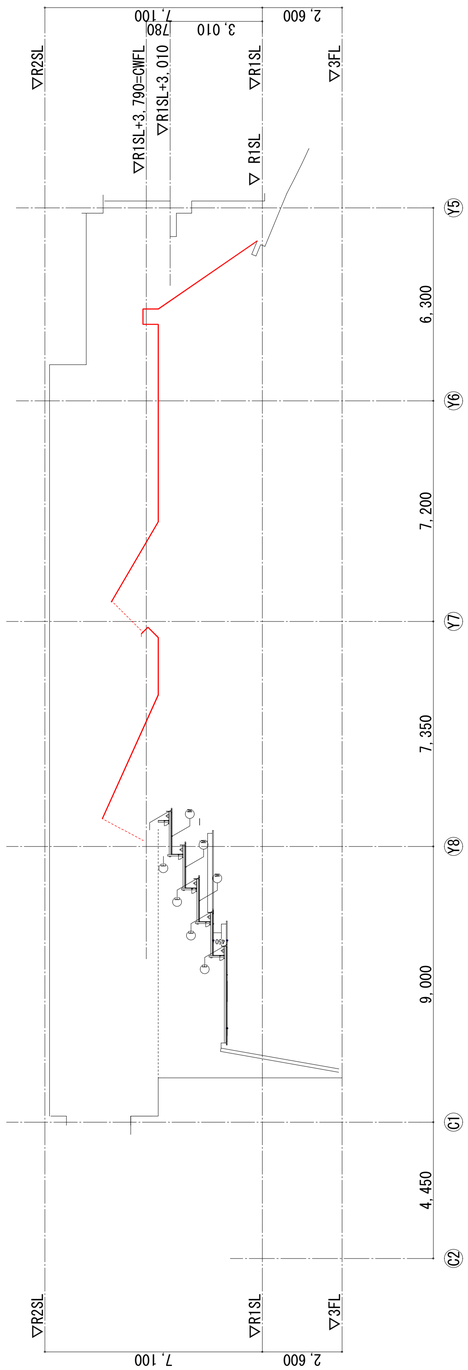
水平ﾌﾞﾚｰｽ ； 1-M16(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付きJIS規格品)
a材 ； C-120x60x20x3.2 @1200以下(PL-4.5、2-M12)

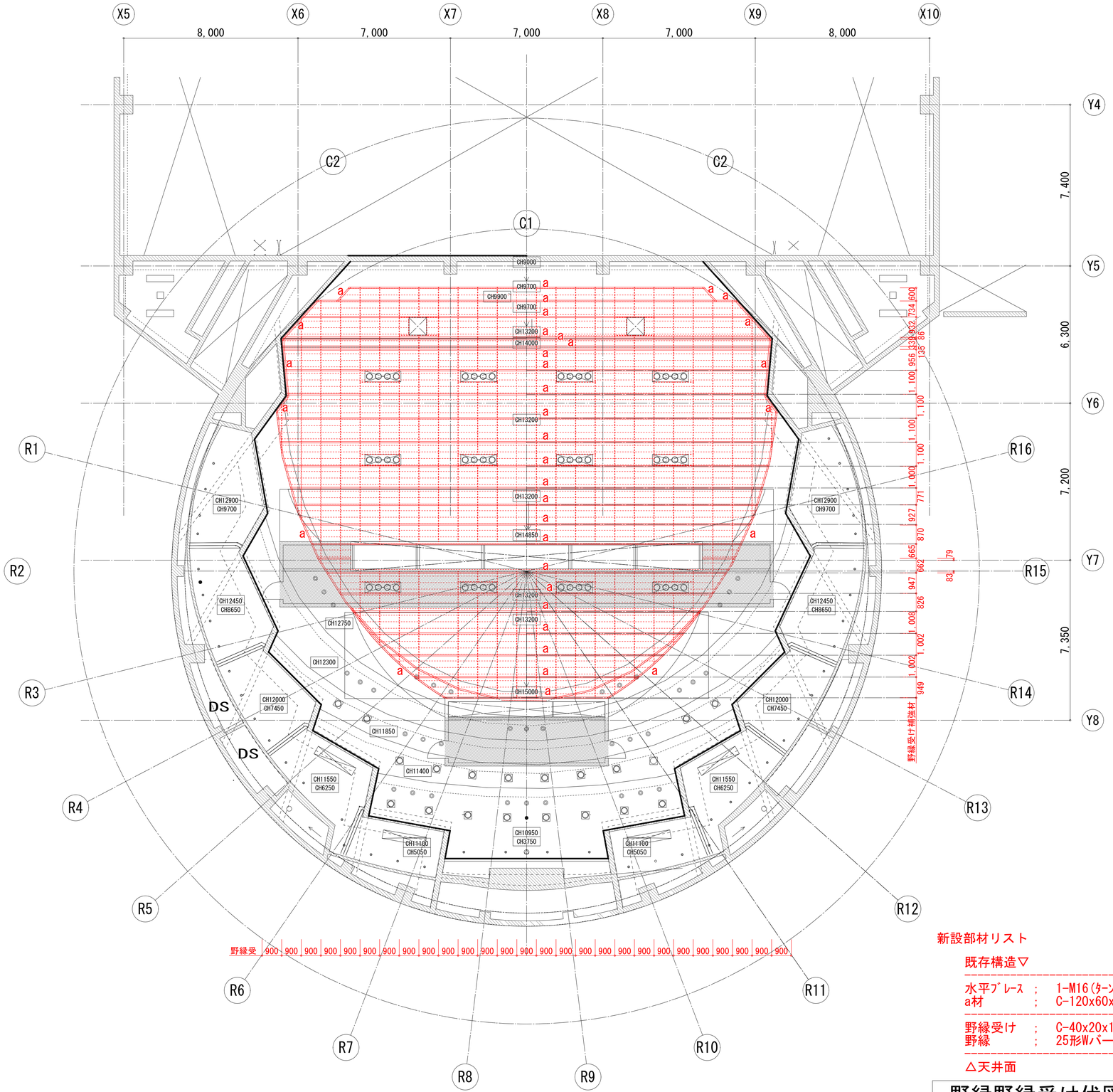
野縁受け ； C-40x20x1.6 @910以下(PL-4.5、ビス)
野縁 ； 25形Wバー25x50x0.5 @303以下(耐震クリップ)

△天井面

野縁野縁受け伏図(メインホール) 8-1

記事					
業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月	令和6年6月
株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称	メインホール 補強伏図(野縁野縁受け図1)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 S-02





新設部材リスト

既存構造▽

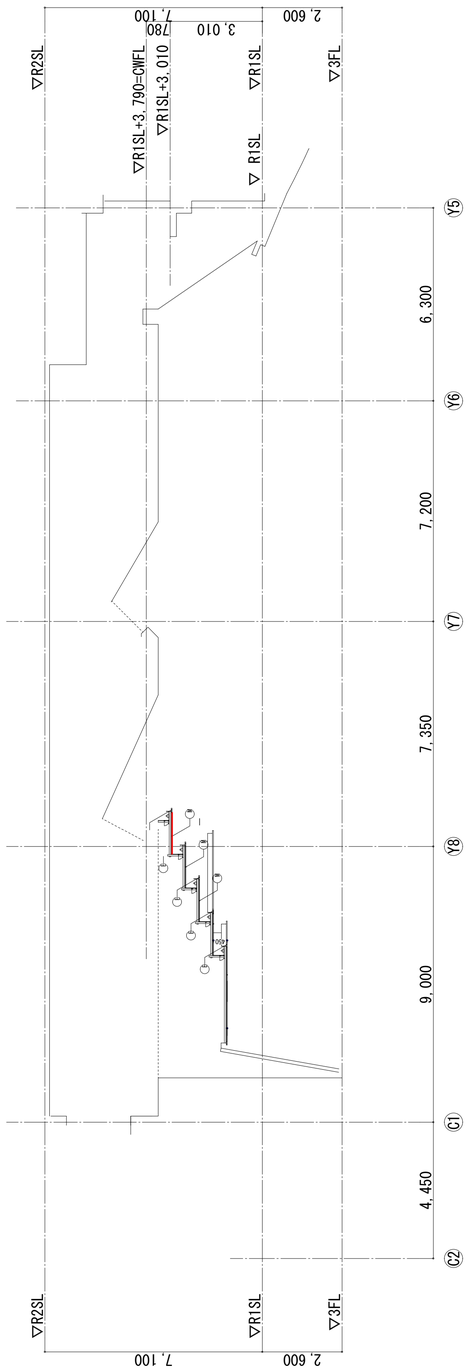
水平ﾌﾞﾚｰｽ ； 1-M16(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付きJIS規格品)
a材 ； C-120x60x20x3.2 @1200以下(PL-4.5、2-M12)

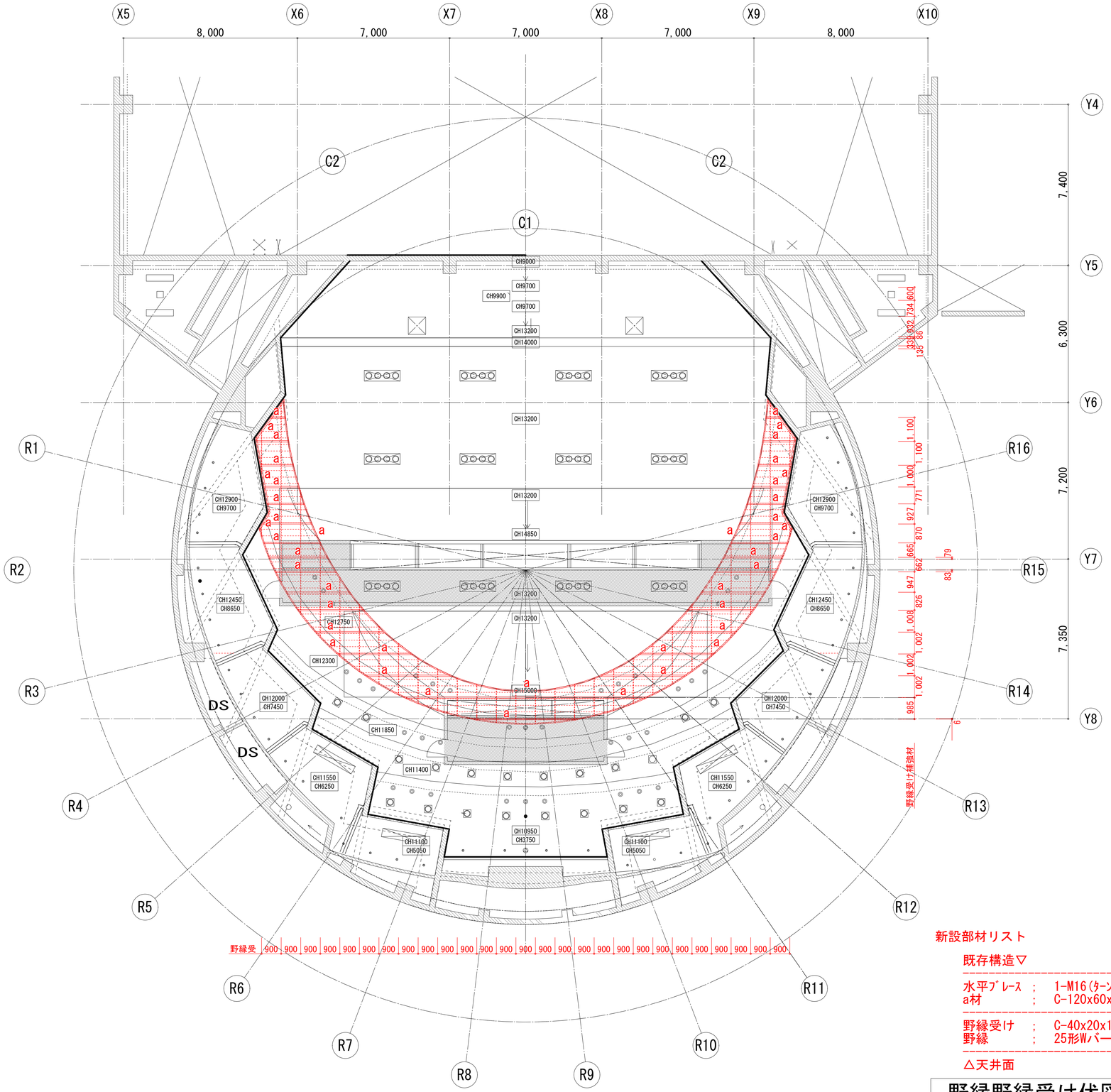
野縁受け ； C-40x20x1.6 @910以下(PL-4.5、ビス)
野縁 ； 25形Wバー25x50x0.5 @303以下(耐震クリップ)

△天井面

野縁野縁受け伏図(メインホール) 8-2

記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 メインホール 補強伏図(野縁野縁受け図2)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 S-03





新設部材リスト

既存構造▽

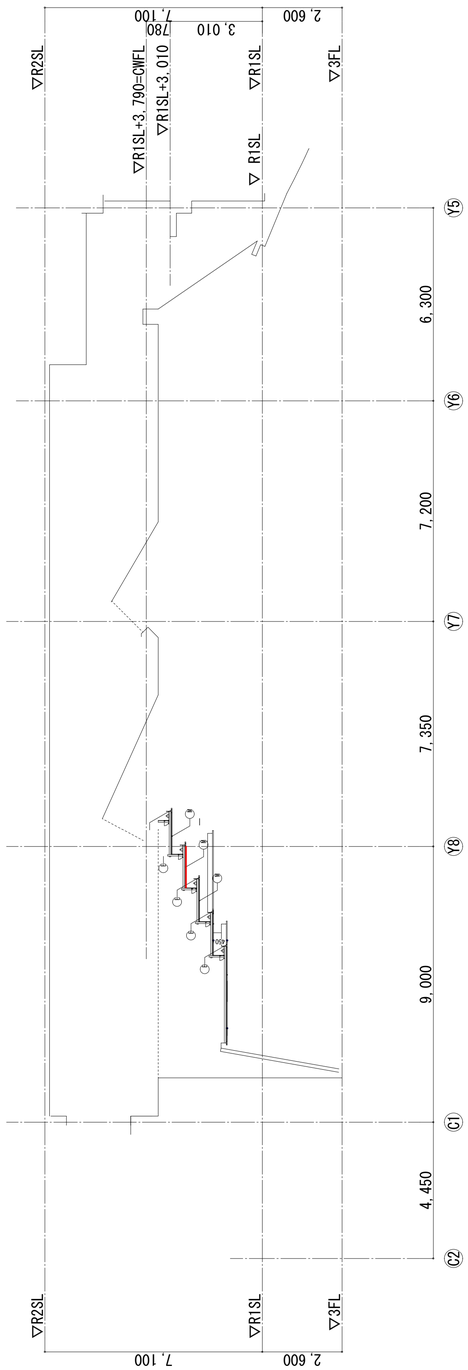
水平ﾌﾞﾚｰｽ　；　1-M16(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付きJIS規格品)
a材　；　C-120x60x20x3.2　@1200以下(PL-4.5、2-M12)

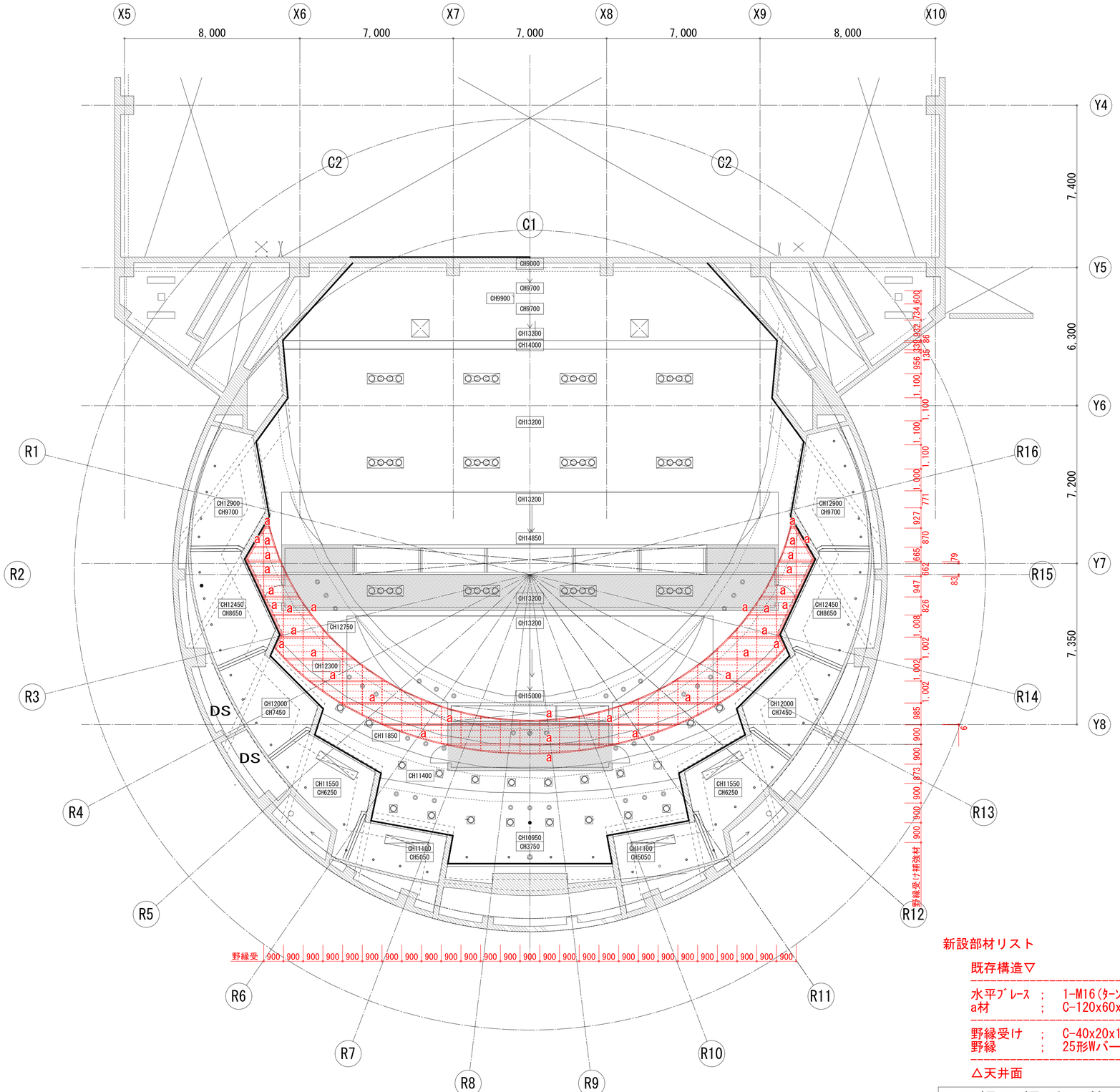
野縁受け　；　C-40x20x1.6　@910以下(PL-4.5、ビス)
野縁　；　25形Wバー25x50x0.5　@303以下(耐震クリップ)

△天井面

野縁野縁受け伏図(メインホール) 8-3

記事		業務名称		工事名称	設計年月
		株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号　一級建築士(大臣) 第289686号　管理建築士 樋口 勉	印	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	令和6年6月
				図面名称：メインホール　補強伏図(野縁野縁受け図3)	縮尺：A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号：S-04





新設部材リスト

既存構造▽

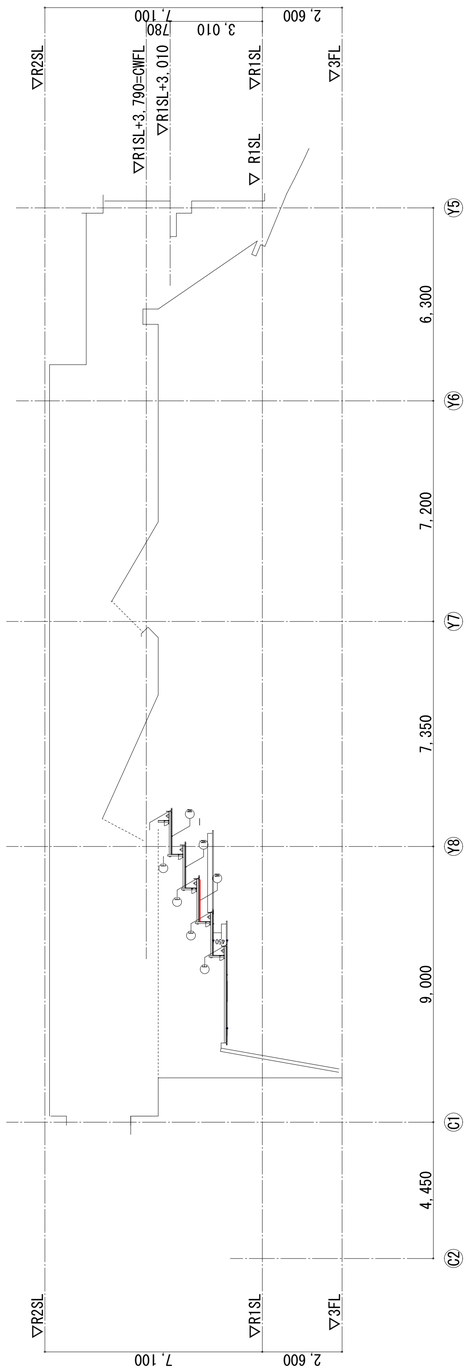
水平ﾌﾞﾚｰｽ ； 1-M16(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付きJIS規格品)
a材 ； C-120x60x20x3.2 @1200以下(PL-4.5、2-M12)

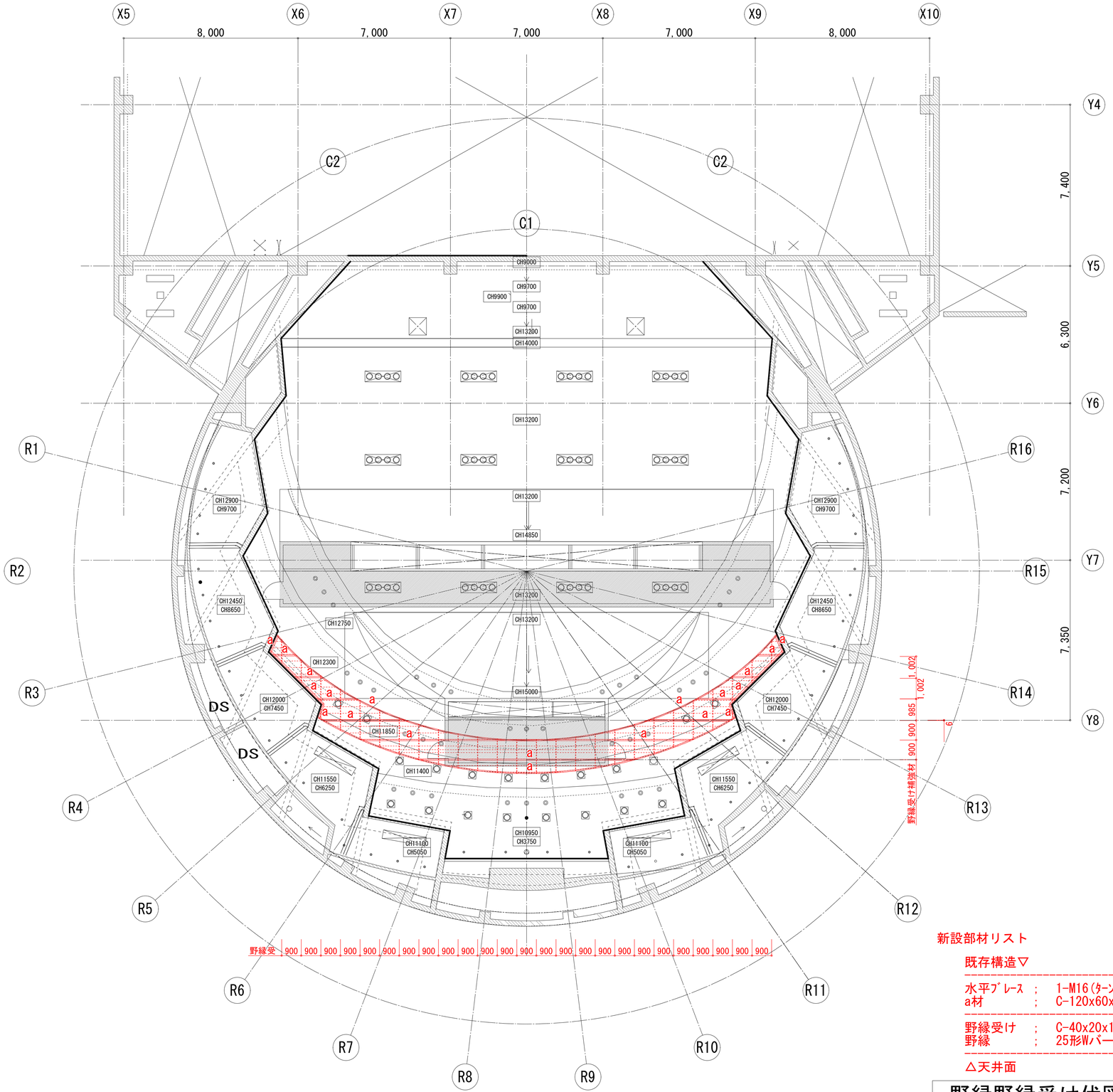
野縁受け ； C-40x20x1.6 @910以下(PL-4.5、ビス)
野縁 ； 25形Wバー25x50x0.5 @303以下(耐震クリップ)

△天井面

野縁野縁受け伏図(メインホール) 8-4

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 メインホール 補強伏図(野縁野縁受け図4)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 S-05





新設部材リスト

既存構造▽

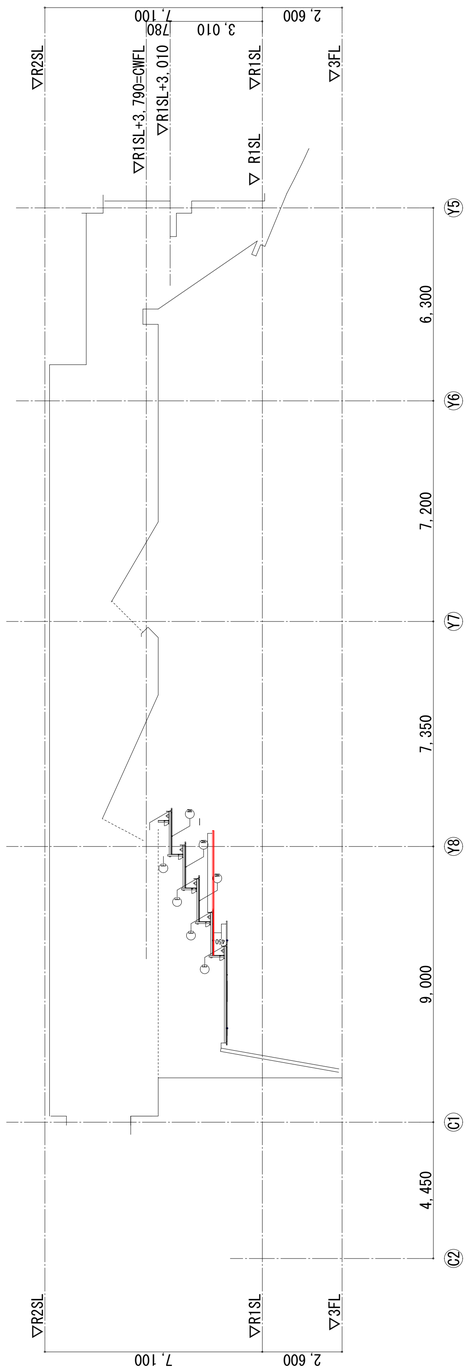
水平ﾌﾞﾚｰｽ ； 1-M16(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付きJIS規格品)
a材 ； C-120x60x20x3.2 @1200以下(PL-4.5、2-M12)

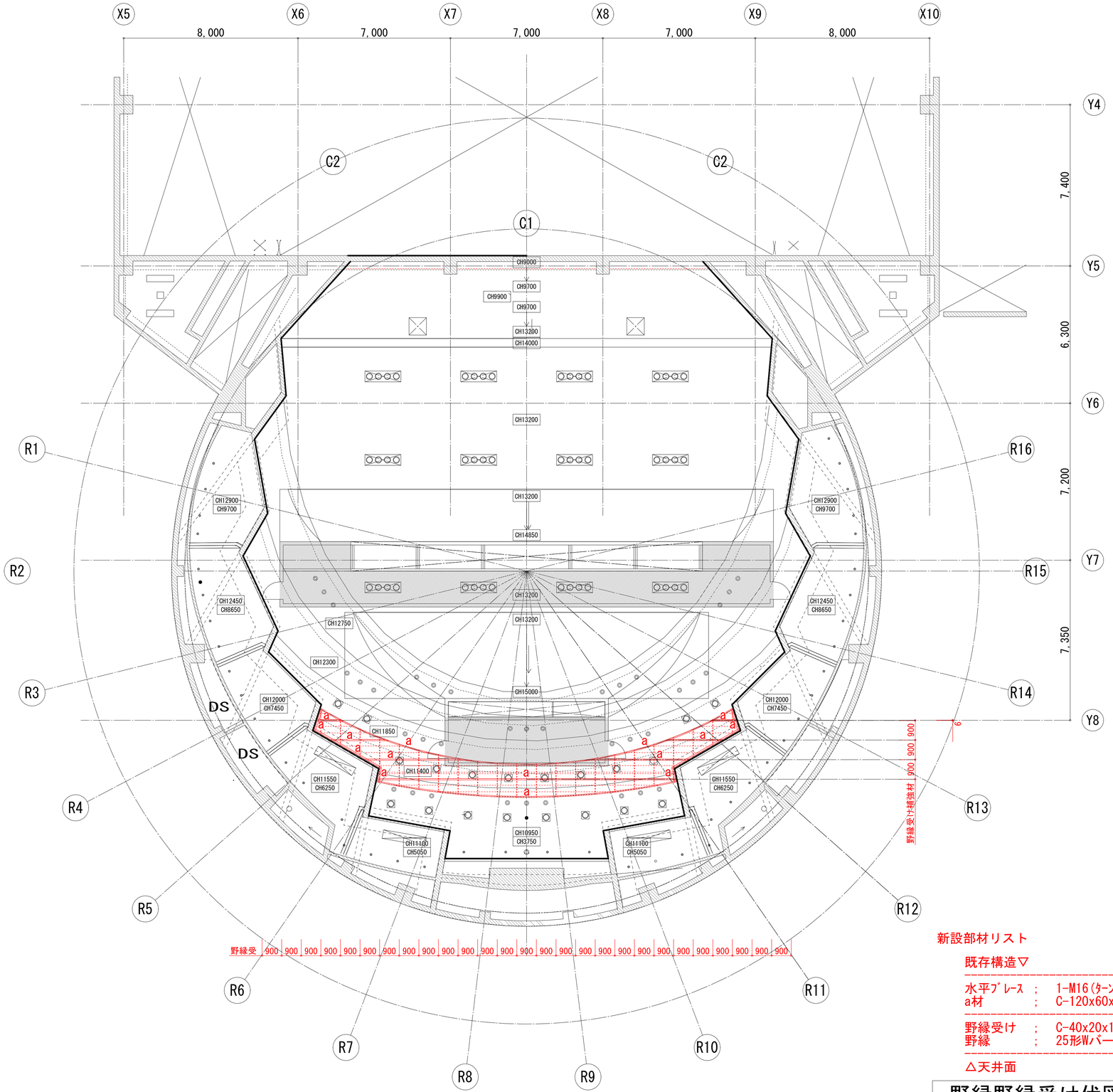
野縁受け ； C-40x20x1.6 @910以下(PL-4.5、ビス)
野縁 ； 25形Wバー25x50x0.5 @303以下(耐震クリップ)

△天井面

野縁野縁受け伏図(メインホール) 8-5

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 メインホール 補強伏図(野縁野縁受け図5)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 S-06





新設部材リスト

既存構造▽

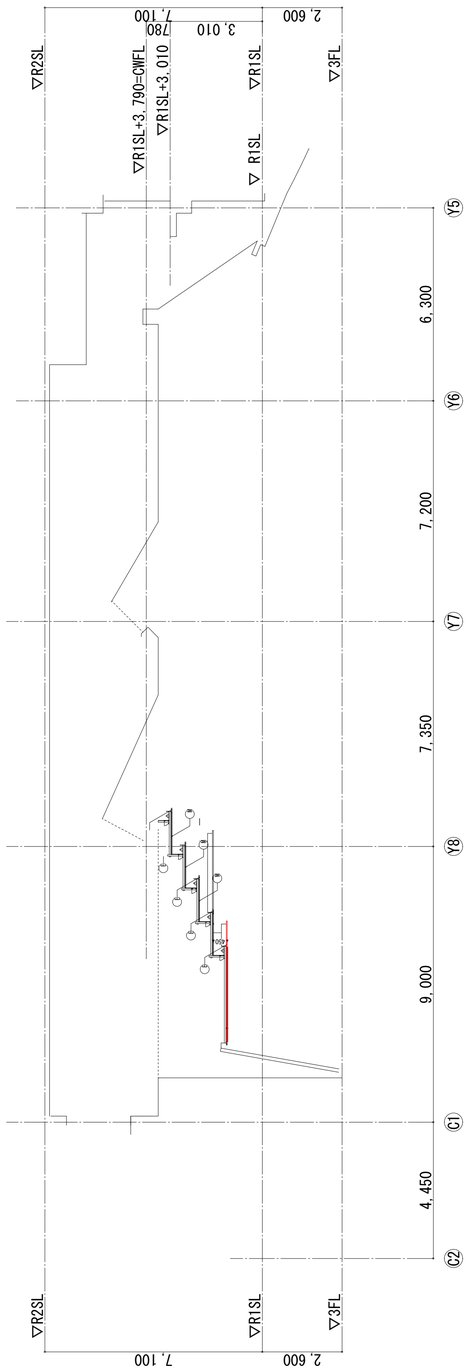
水平ﾌﾞﾚｰｽ ； 1-M16(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付きJIS規格品)
a材 ； C-120x60x20x3.2 @1200以下(PL-4.5、2-M12)

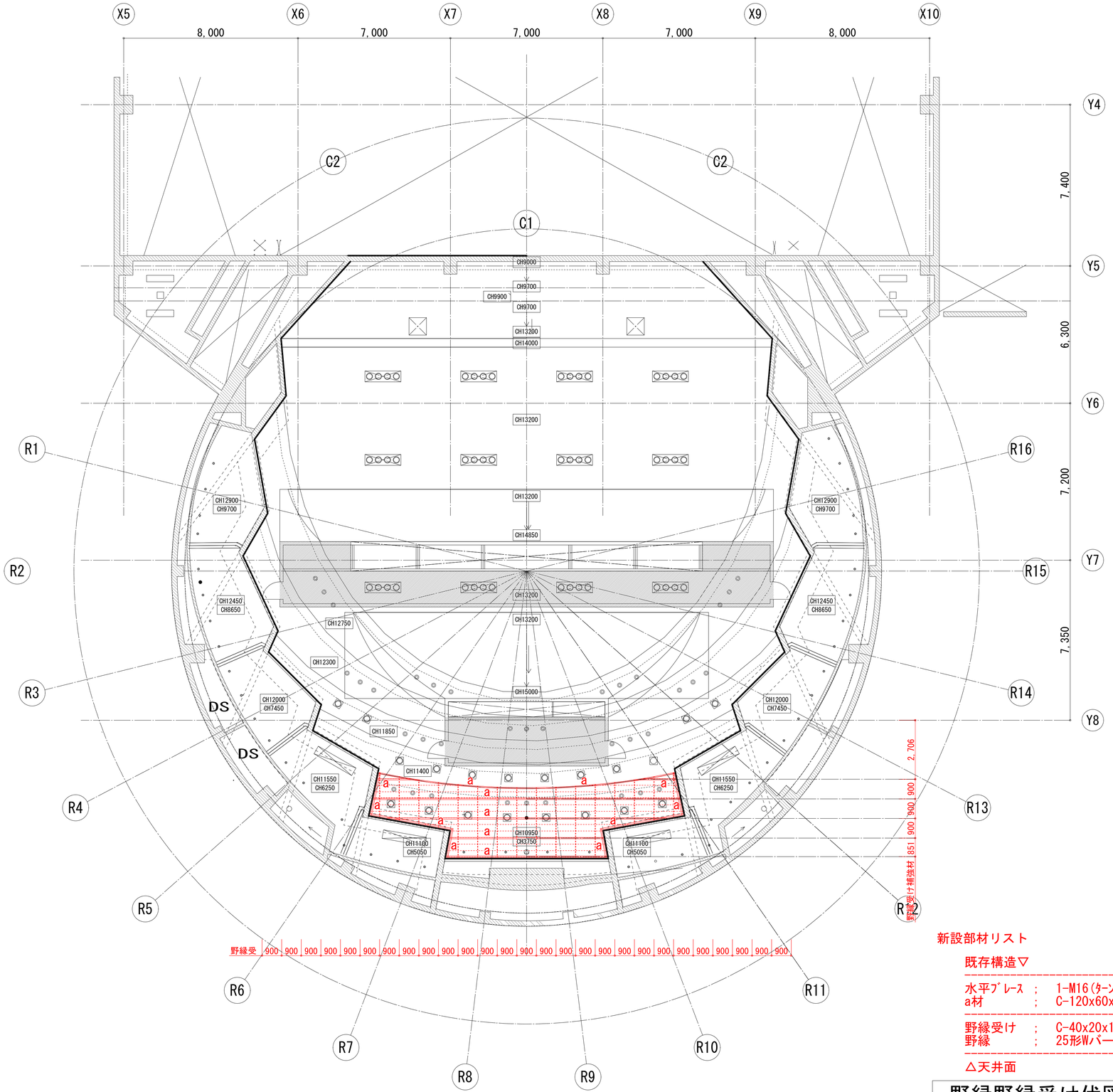
野縁受け ； C-40x20x1.6 @910以下(PL-4.5、ビス)
野縁 ； 25形Wバー25x50x0.5 @303以下(耐震クリップ)

△天井面

野縁野縁受け伏図(メインホール) 8-6

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 メインホール 補強伏図(野縁野縁受け図6)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 S-07





新設部材リスト

既存構造▽

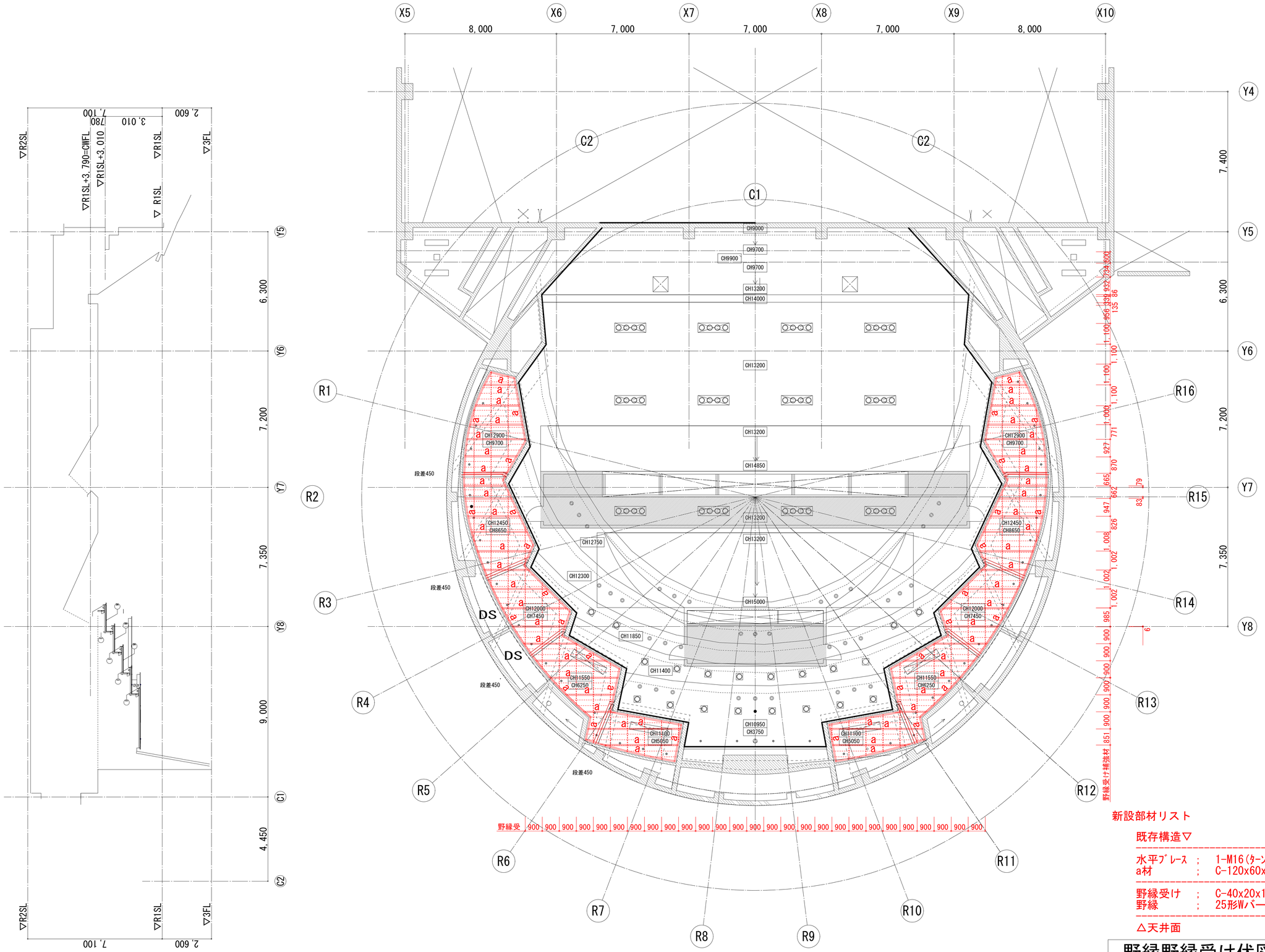
水平ﾌﾞﾚｰｽ ； 1-M16(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付きJIS規格品)
a材 ； C-120x60x20x3.2 @1200以下(PL-4.5、2-M12)

野縁受け ； C-40x20x1.6 @910以下(PL-4.5、ビス)
野縁 ； 25形Wバー25x50x0.5 @303以下(耐震クリップ)

△天井面

野縁野縁受け伏図(メインホール) 8-7

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 メインホール 補強伏図(野縁野縁受け図7)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 S-08



新設部材リスト

既存構造▽

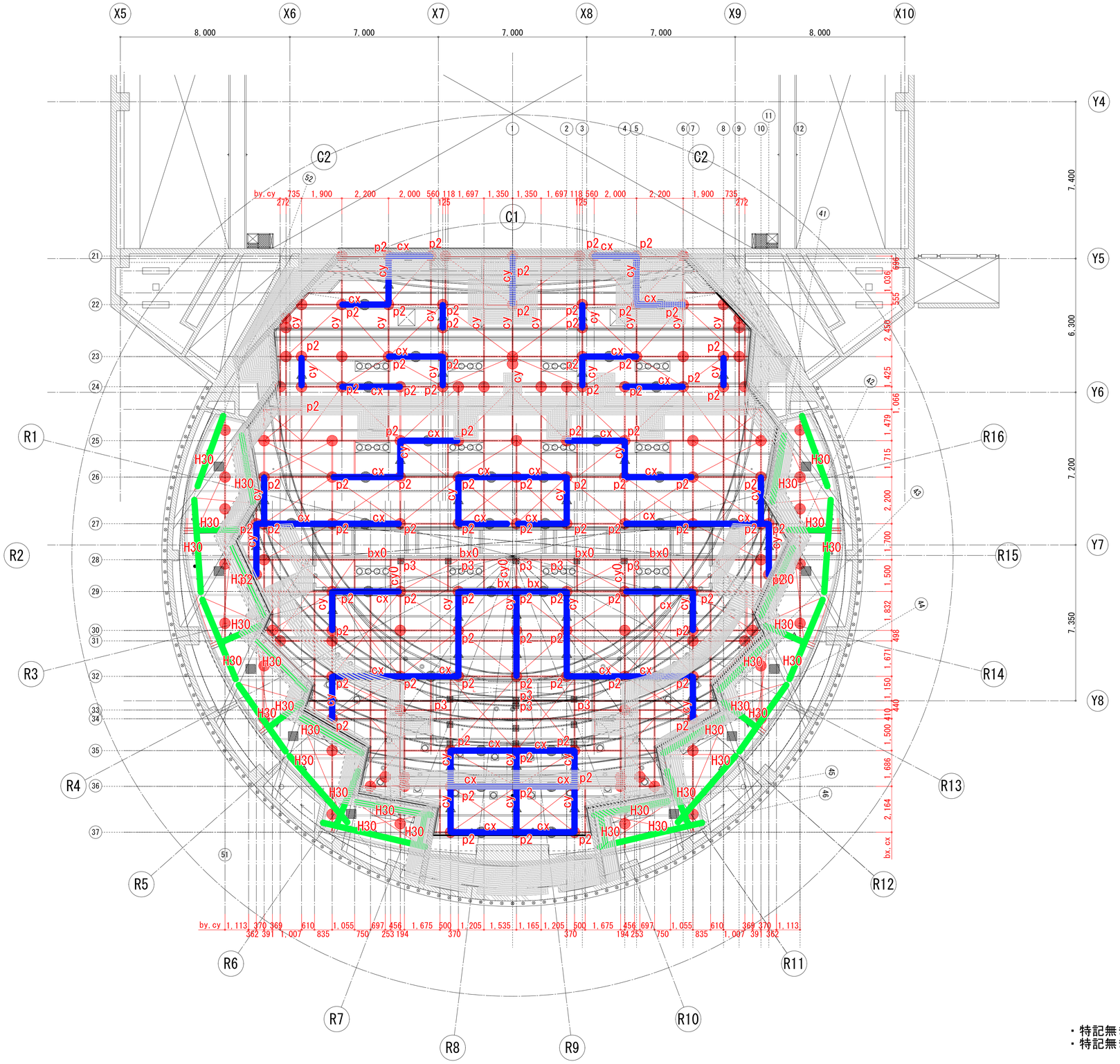
水平ﾌﾞﾚｰｽ ； 1-M16(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付きJIS規格品)
a材 ； C-120x60x20x3.2 @1200以下(PL-4.5、2-M12)

野縁受け ； C-40x20x1.6 @910以下(PL-4.5、ビス)
野縁 ； 25形Wバー25x50x0.5 @303以下(耐震クリップ)

△天井面

野縁野縁受け伏図(メインホール) 8-8

記事	業務名称	工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 メインホール 補強伏図(野縁野縁受け図8)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 S-09



新設部材リスト

既存構造▽

吊材(p1材) ； H-100x50x5x7(PL-6、2-M12(HTB))
吊材(p2材)； H-150x75x5x7(PL-6、2-M12(HTB))（鉛直ブレース架構）

by材 ； H-100x50x5x7(PL-6、2-M12(HTB))
cy材 ； H-150x75x5x7(PL-6、2-M12(HTB))(cy0材も同等)

bx材 ； H-100x50x5x7(PL-6、2-M12(HTB))(bx0材も同等)
cx材 ； H-150x75x5x7(PL-6、2-M12(HTB))
a材 ； C-120x60x20x3.2 @1200以下(PL-4.5、2-M12)
水平ﾌﾞﾚｰｽ ； 1-M16(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付きJIS規格品)

野縁受け ； C-40x20x1.6 @910以下(PL-4.5、ビス)
野縁 ； 25形Wバー25x50x0.5 @303以下(耐震クリップ)

△天井面

● 鉛直ブレース
Vx1、Vx2 ； X方向鉛直ブレース 20構面以上をバランスよく配置
斜材M22(JIS規格品) 下弦梁H-150x75x5x7 (cx材) (PL-6.0,2-M12(HTB))
（高さ3500mm以上となる場合は中間梁を設ける）

▲ 鉛直ブレース
Vy1、Vy2 ； Y方向鉛直ブレース 20構面以上をバランスよく配置
斜材M22(JIS規格品) 下弦梁H-150x75x5x7 (cy材) (PL-6.0,2-M12(HTB))
（高さ3500mm以上となる場合は中間梁を設ける）

● P柱 p1 H-100x50x5x7（鉛直ブレース架構はH-150x75x5x7(p2)）
■(L-75x75x6(p3))

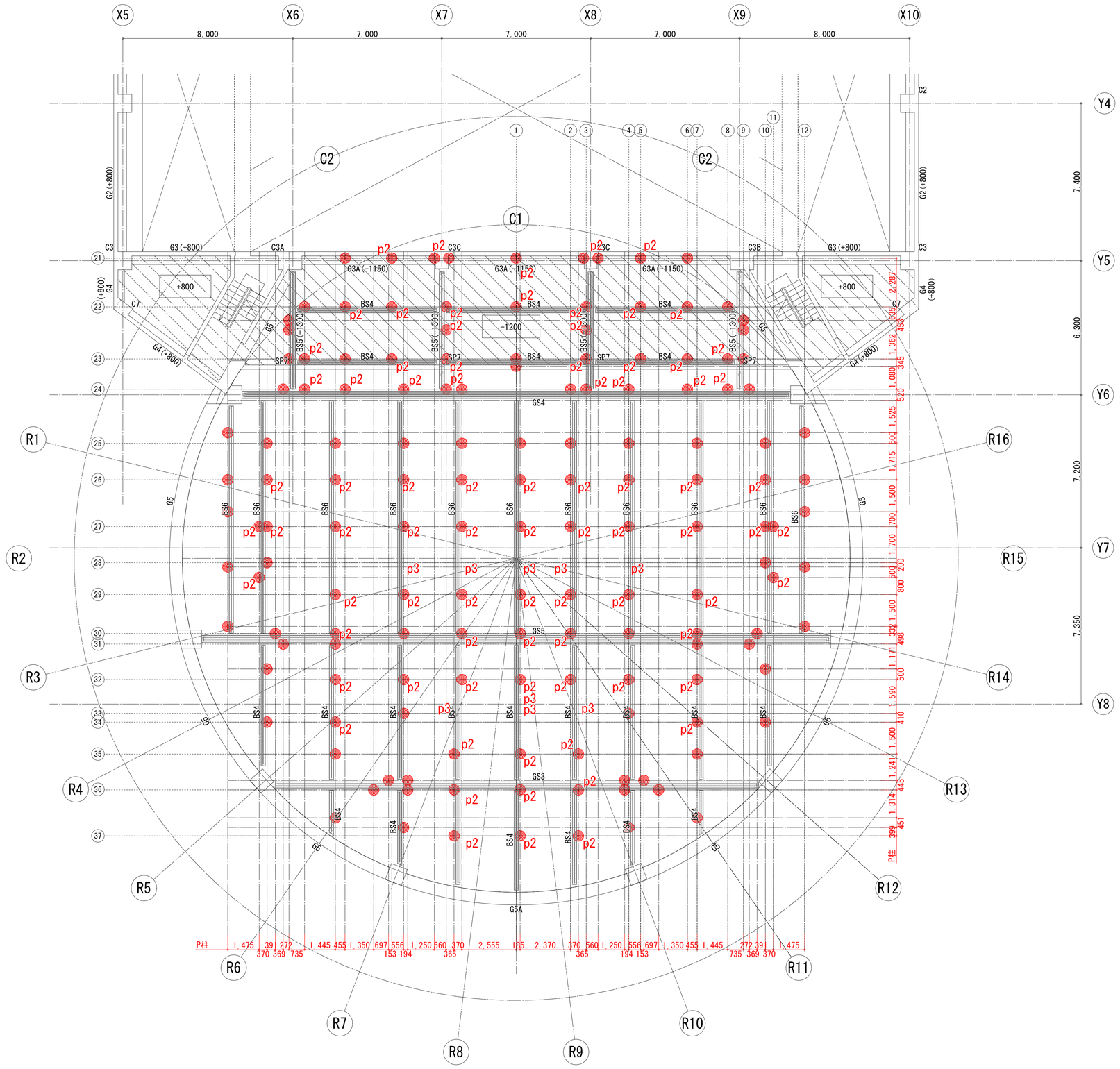
♦ 鉛直ブレース
V01; H30(H-300x150x6.5x9)下鉛直ブレース
斜材M22(JIS規格品) 下弦梁H-100x50x5x7(PL-6.0,2-M12(HTB))
吊材(p1材) ； H-100x50x5x7(PL-6、2-M12(HTB))

■ 鉛直ブレース
V02; 既存小梁B1(250x500)下鉛直ブレース
斜材M22(JIS規格品) 下弦梁H-100x50x5x7(PL-6.0,2-M12(HTB))
吊材(p1材) ； H-100x50x5x7(PL-6、2-M12(HTB))

・特記無き梁は、by材(Y方向),bx材(X方向)を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

補強図(メインホール)

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印 ・ ・	図面名称 メインホール 補強伏図(補強材)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 S-10



新設部材リスト

既存構造▽

吊材(p材) ； H-100x50x5x7(PL-6、2-M12(HTB))
吊材(p2材)； H-150x75x5x7(PL-6、2-M12(HTB))（鉛直ブレース架構）

by材 ； H-100x50x5x7(PL-6、2-M12(HTB))
cy材 ； H-150x75x5x7(PL-6、2-M12(HTB))

bx材 ； H-100x50x5x7(PL-6、2-M12(HTB))
cx材 ； H-150x75x5x7(PL-6、2-M12(HTB))
a材 ； C-120x60x20x3.2 @1200以下(PL-4.5、2-M12)
水平ﾌﾞﾚｰｽ ； 1-M16(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付きJIS規格品)

野縁受け ； C-40x20x1.6 @910以下(PL-4.5、ビス)
野縁 ； 25形Wバー25x50x0.5 @303以下(耐震クリップ)

△天井面

● 鉛直ブレース
Vx1、Vx2 ； X方向鉛直ブレース 20構面以上をバランスよく配置
斜材M22(JIS規格品) 下弦梁H-150x75x5x7 (d材) (PL-6.0,2-M12(HTB))
（高さ3500mm以上となる場合は中間梁を設ける）

▲ 鉛直ブレース
Vy1、Vy2 ； Y方向鉛直ブレース 20構面以上をバランスよく配置
斜材M22(JIS規格品) 下弦梁H-150x75x5x7 (d材) (PL-6.0,2-M12(HTB))
（高さ3500mm以上となる場合は中間梁を設ける）

● P柱 p1H-100x50x5x7 （鉛直ブレース架構はH-150x75x5x7(p2)）

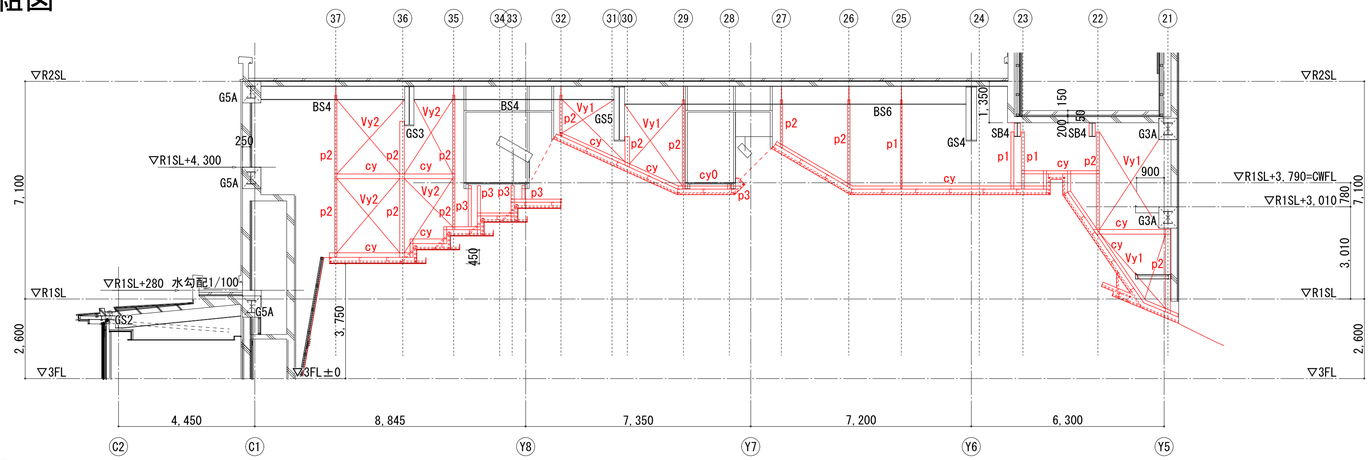
◆ 鉛直ブレース
V01: H30(H-300x150x6.5x9)下鉛直ブレース
斜材M22(JIS規格品) 下弦梁H-100x50x5x7(PL-6.0,2-M12(HTB))

■ 鉛直ブレース
V02: 既存小梁B1(250x500)下鉛直ブレース
斜材M22(JIS規格品) 下弦梁H-100x50x5x7(PL-6.0,2-M12(HTB))

補強図(メインホール)

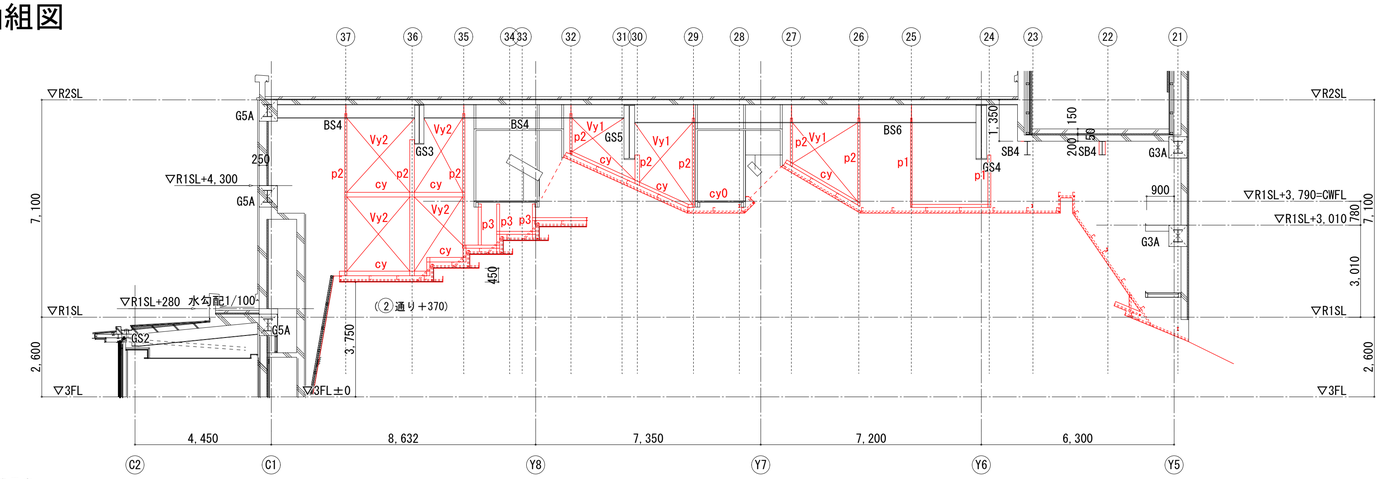
記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月	
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 メインホール 補強伏図(補強鉛直材)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 S-11

① 通り軸組図



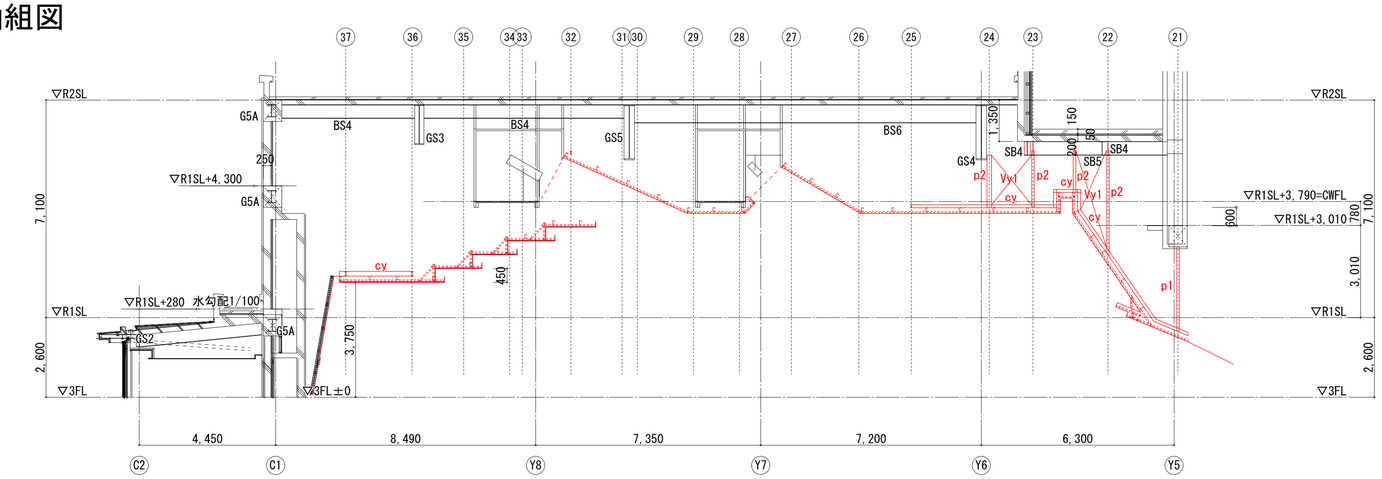
・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

② 通り軸組図



・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

③ 通り軸組図

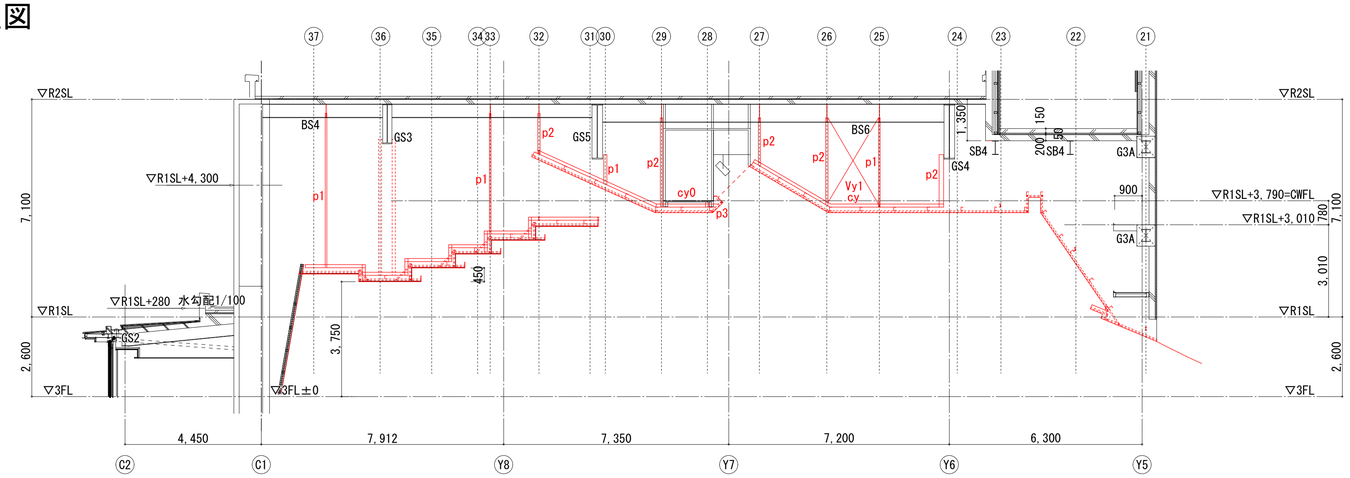


・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

補強軸組図(1)（メインホール）

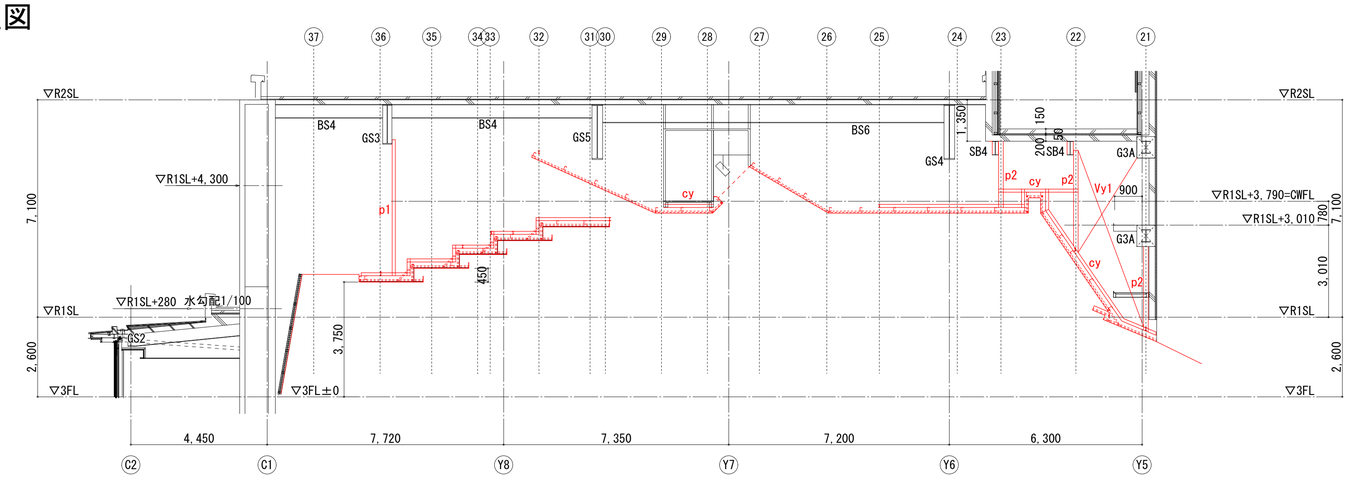
記事	業務名称	工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月	令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 メインホール 補強軸組図（１）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 S-12

④ 通り軸組図



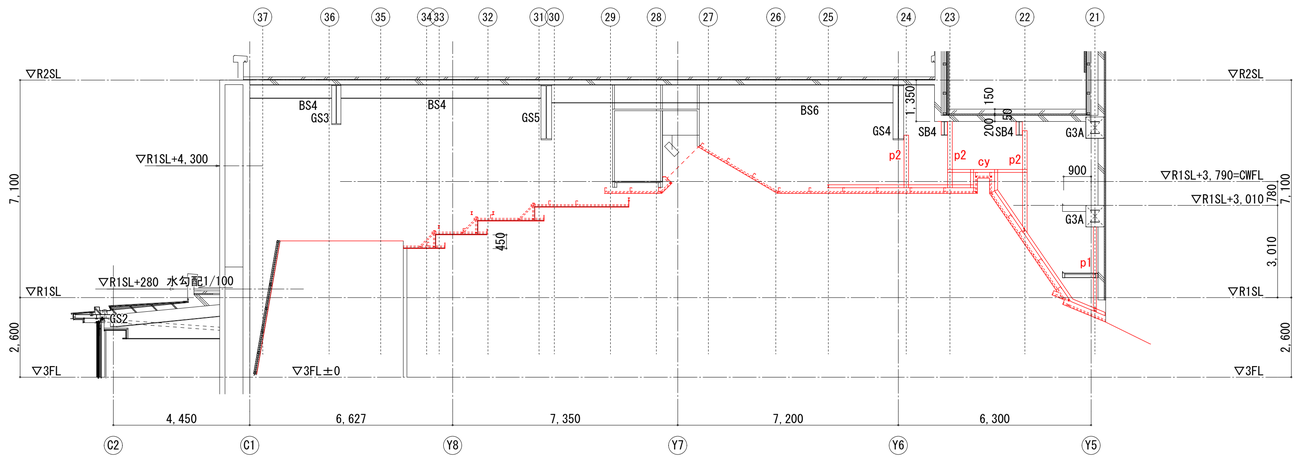
・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

⑤ 通り軸組図



・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

⑥ 通り軸組図

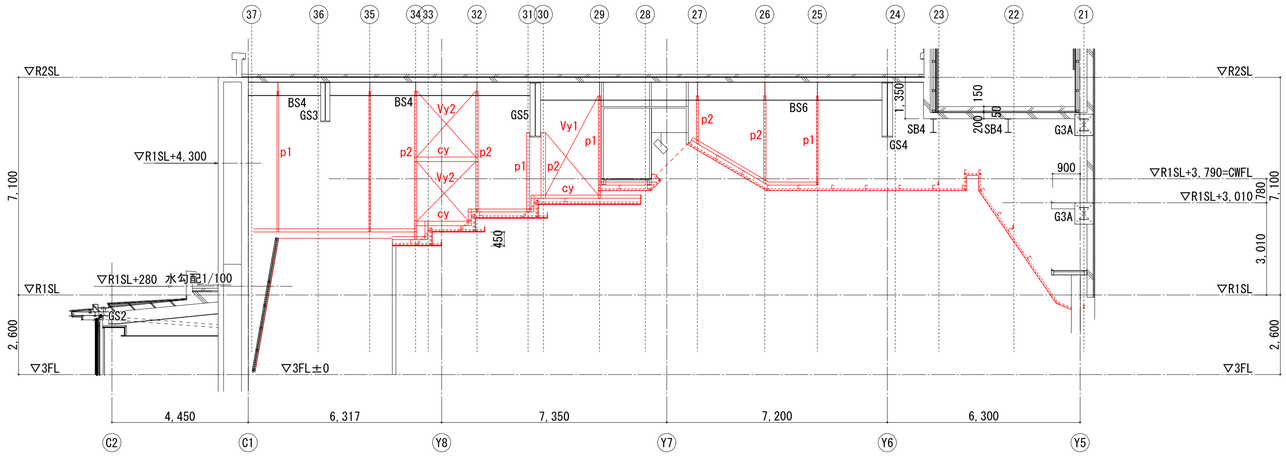


・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

補強軸組図(2)（メインホール）

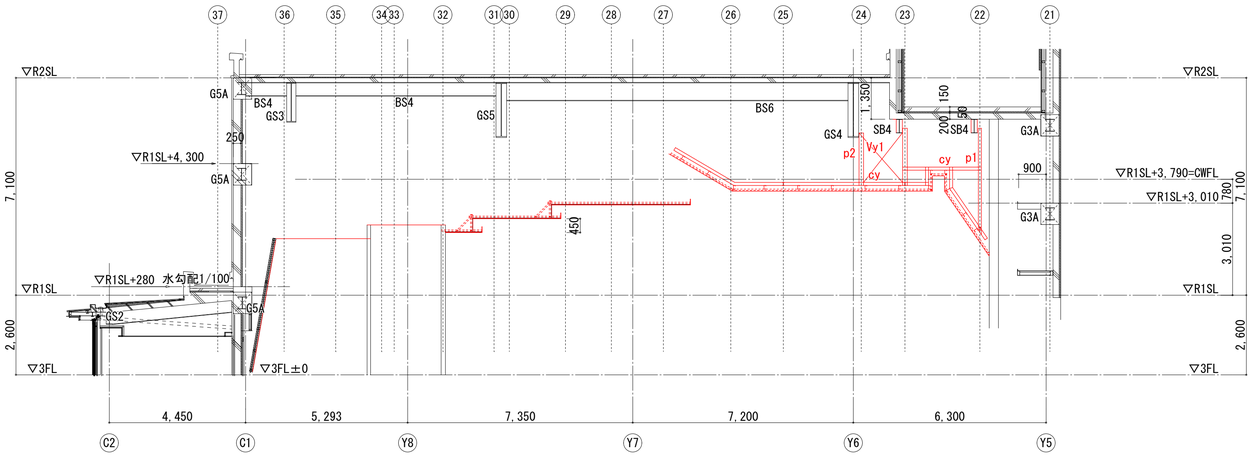
記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月	
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 メインホール 補強軸組図（２）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 S-13

⑦ 通り軸組図



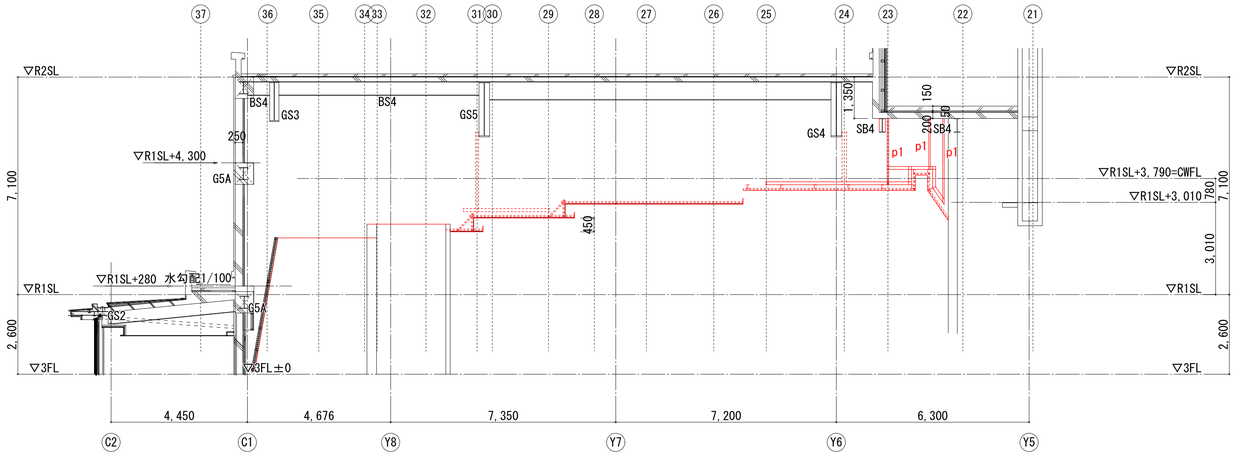
・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

⑧ 通り軸組図



・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

⑨ 通り軸組図

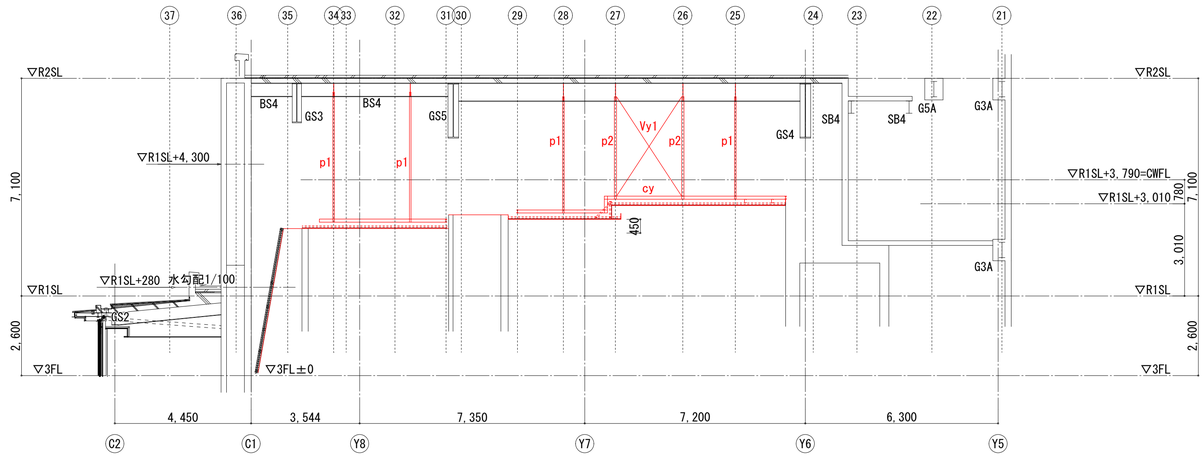


・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

補強軸組図(3)（メインホール）

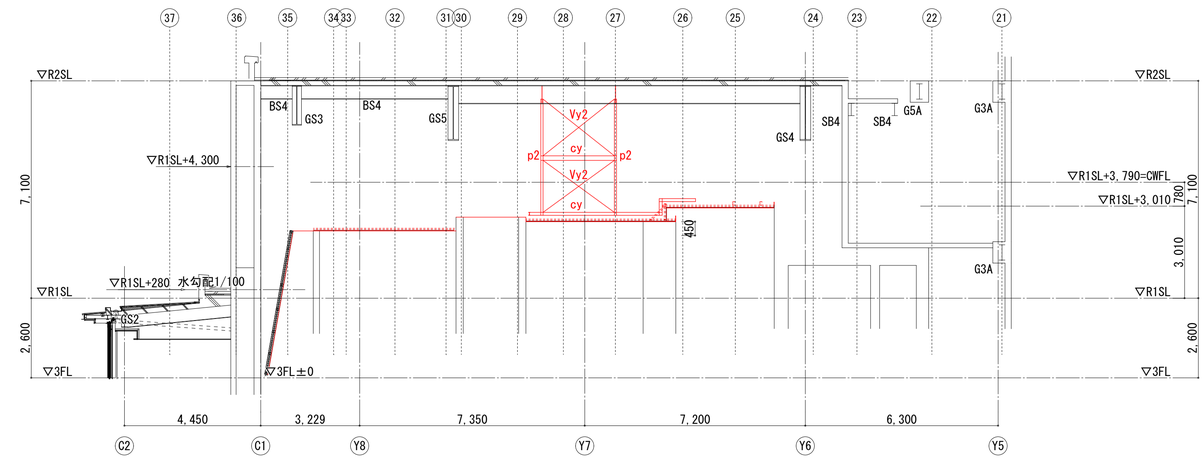
記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月	令和6年6月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	図面名称	メインホール 補強軸組図（３）	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
			印			図面番号	S-14

⑩ 通り軸組図



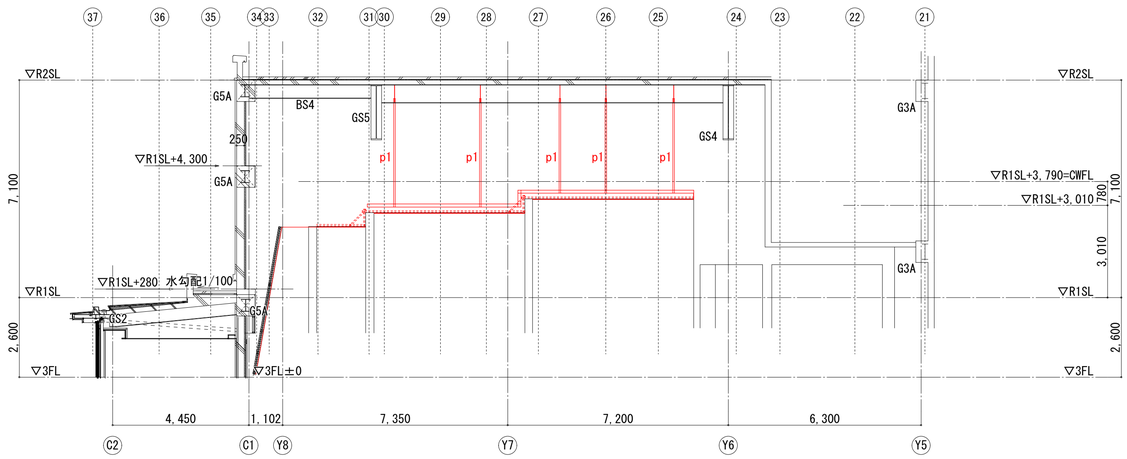
・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

⑪ 通り軸組図



・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

⑫ 通り軸組図

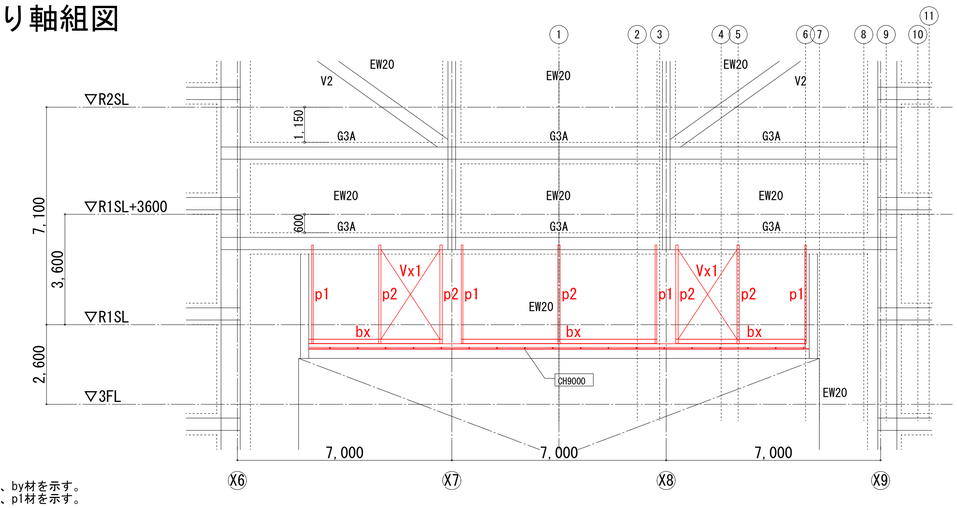


・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

補強軸組図(4)（メインホール）

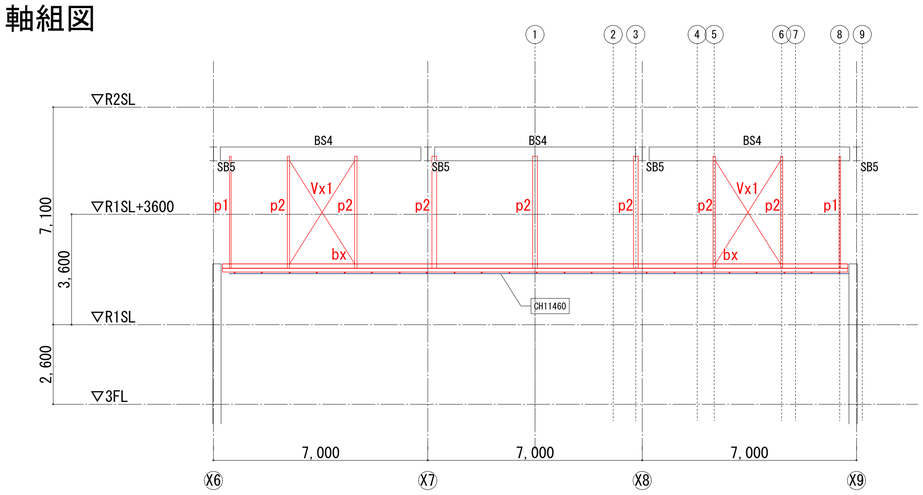
記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 メインホール 補強軸組図（４）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 S-15

21 通り軸組図

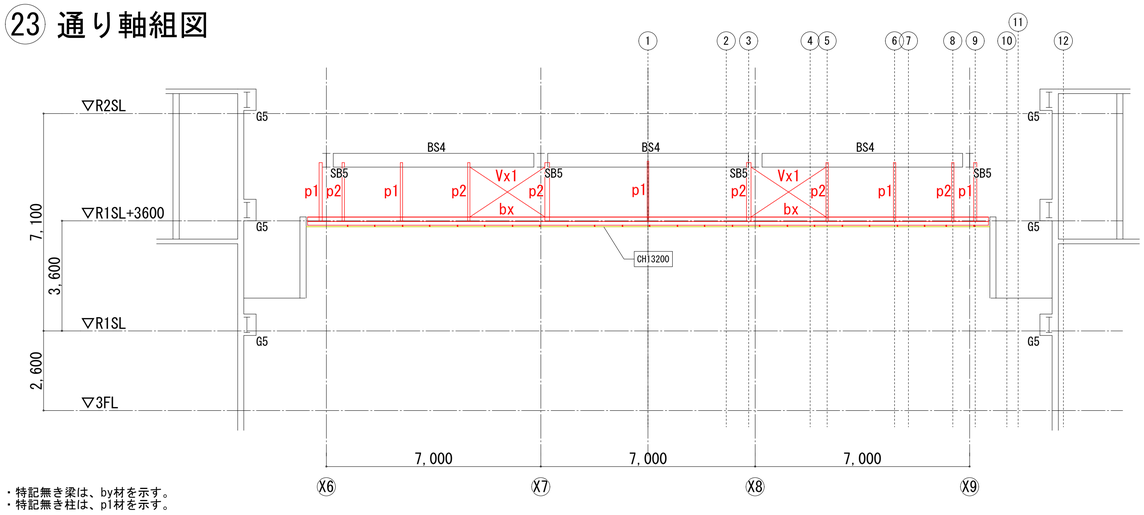


・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

22 通り軸組図

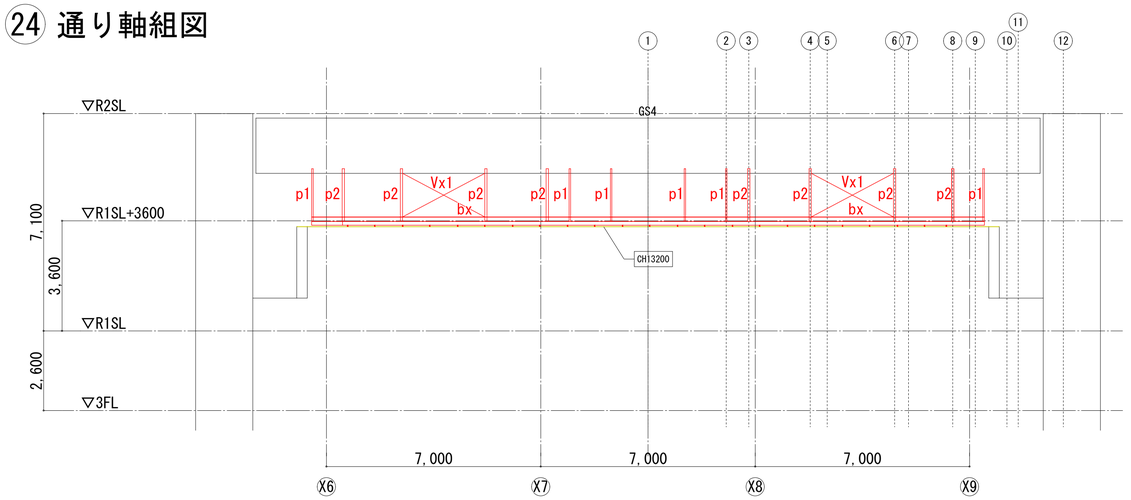


23 通り軸組図

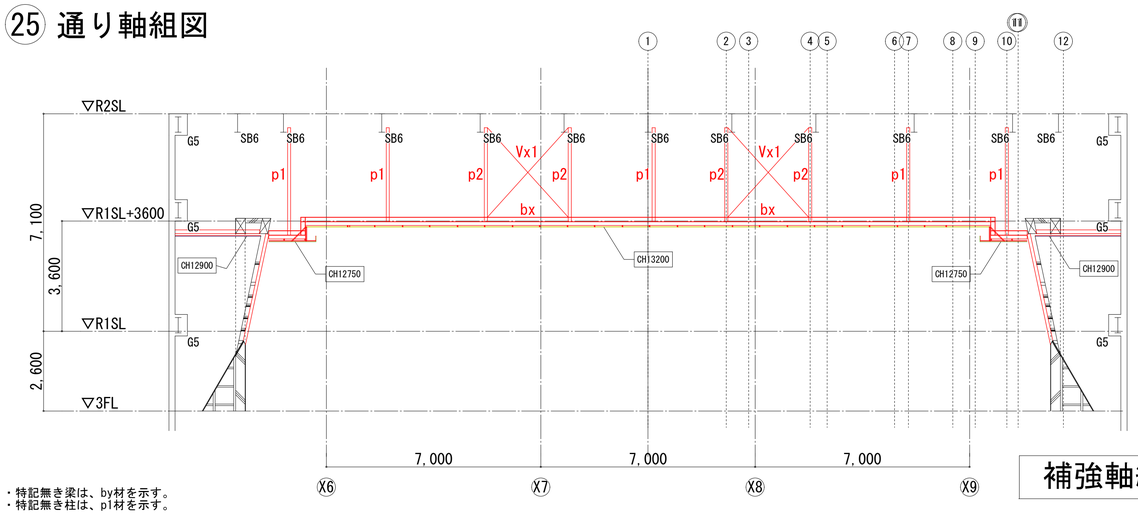


・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

24 通り軸組図

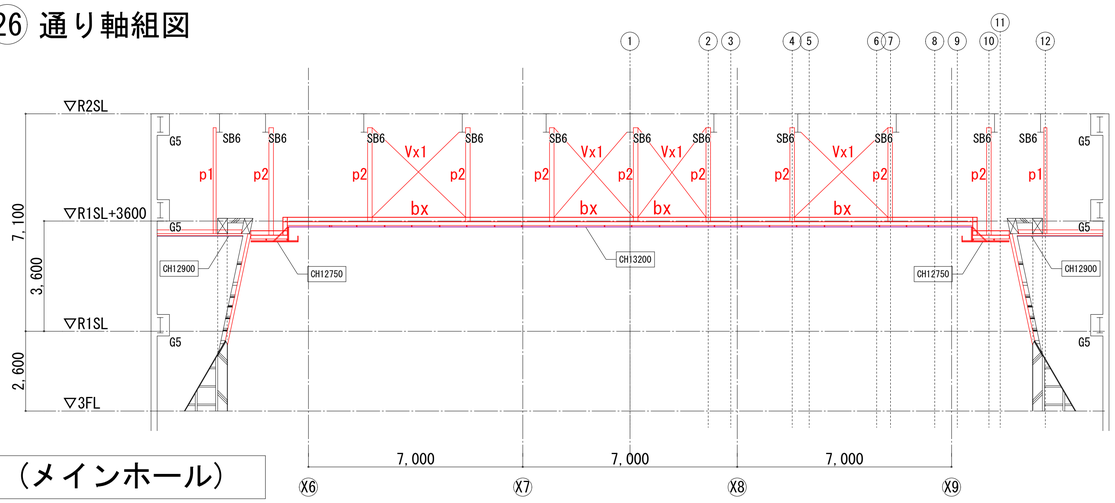


25 通り軸組図



・特記無き梁は、by材を示す。
・特記無き柱は、p1材を示す。

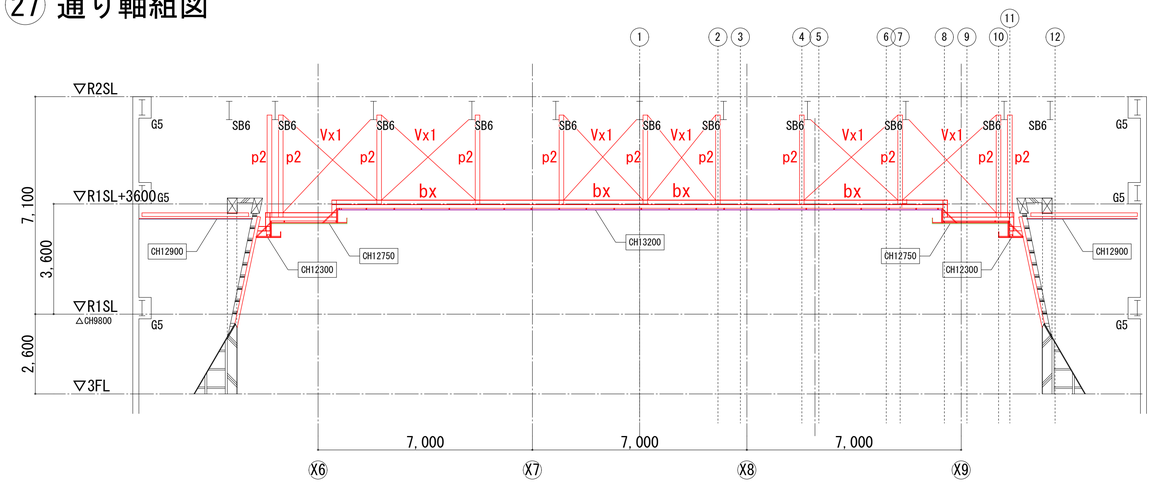
26 通り軸組図



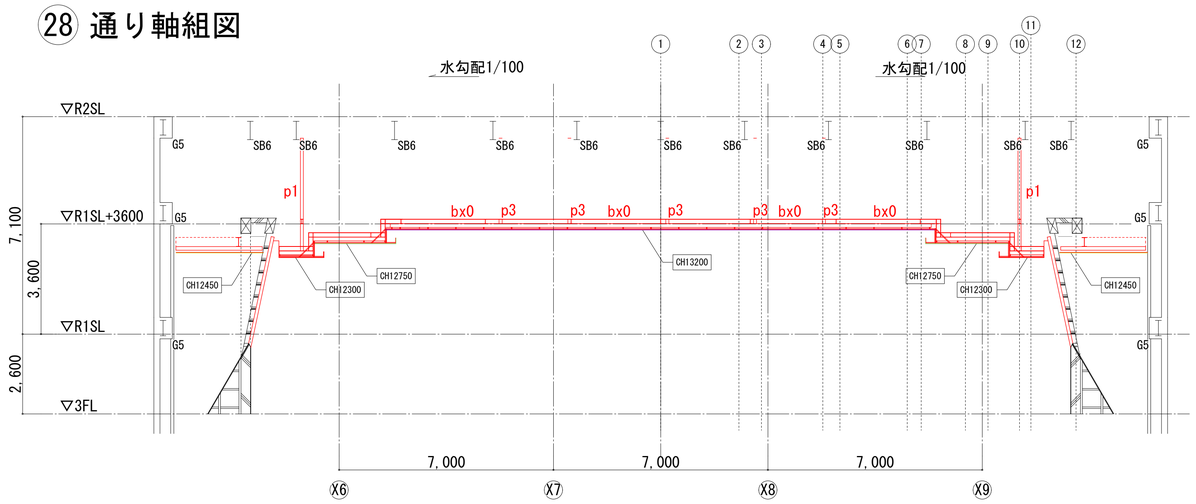
補強軸組図(5)（メインホール）

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉 印	図面名称 メインホール 補強軸組図（５）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 S-16

㉗ 通り軸組図



㉘ 通り軸組図



㉙ 通り軸組図

㉚ 通り軸組図

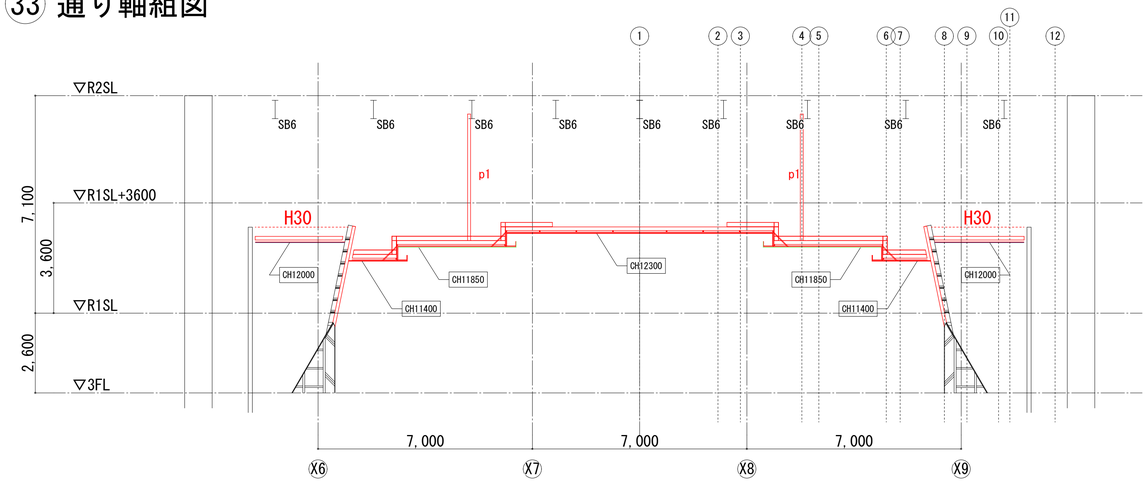
㉛ 通り軸組図

㉜ 通り軸組図

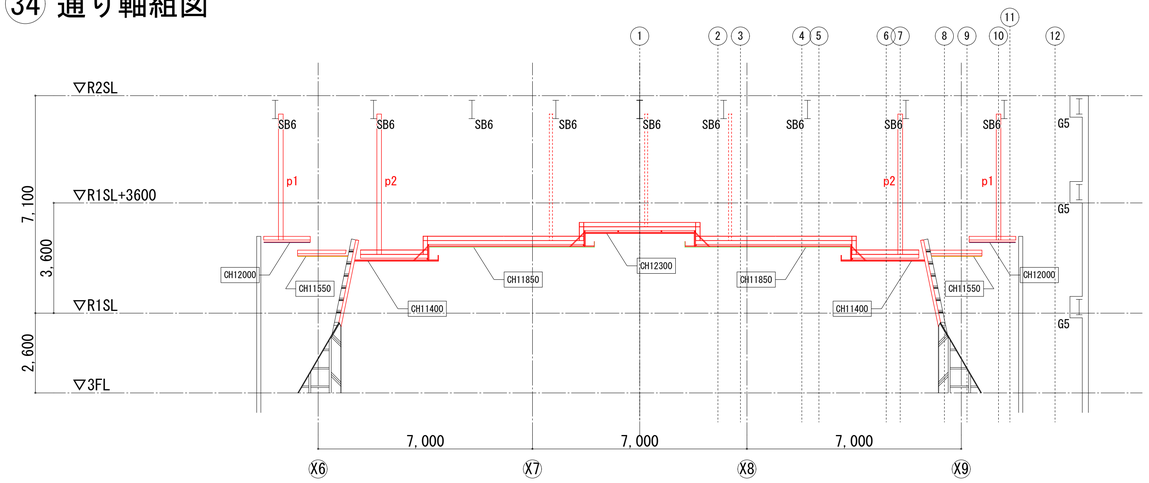
補強軸組図(6)（メインホール）

記事	業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 メインホール 補強軸組図（６）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 S-17

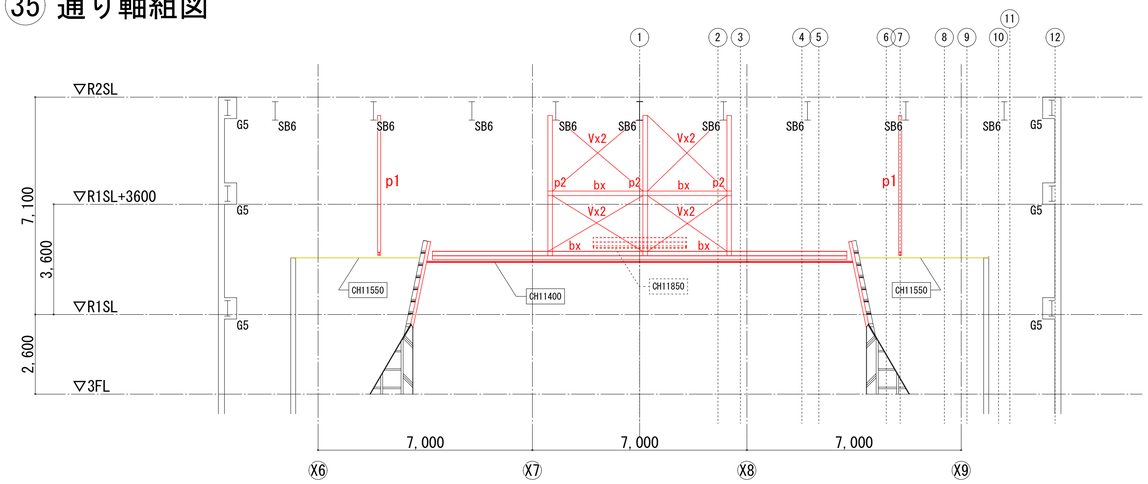
㉝ 通り軸組図



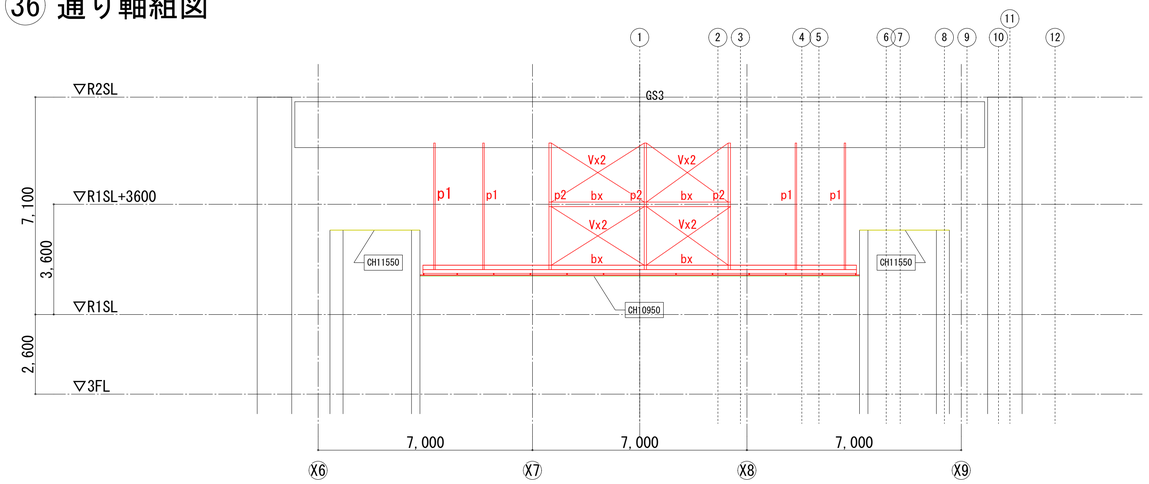
㉞ 通り軸組図



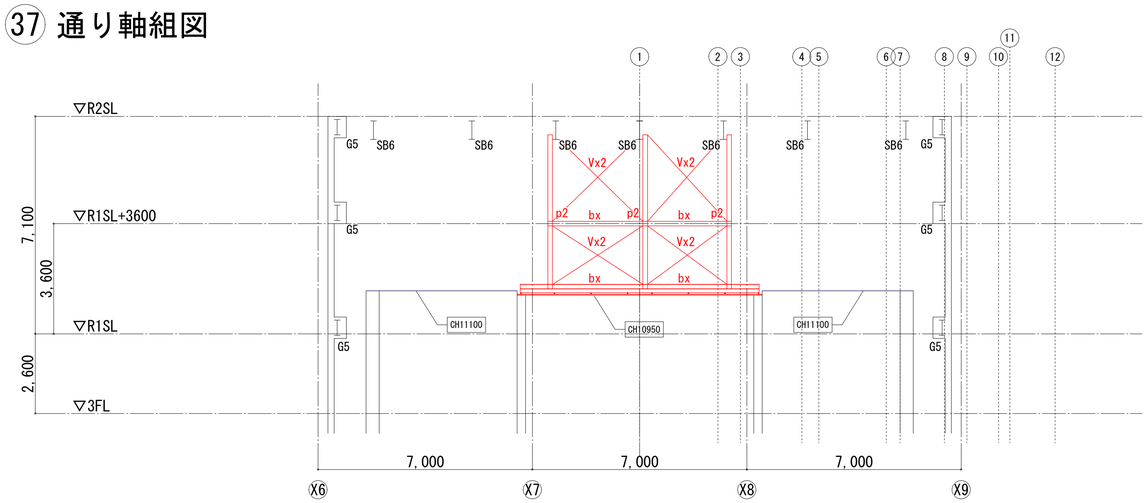
㉟ 通り軸組図



㊱ 通り軸組図



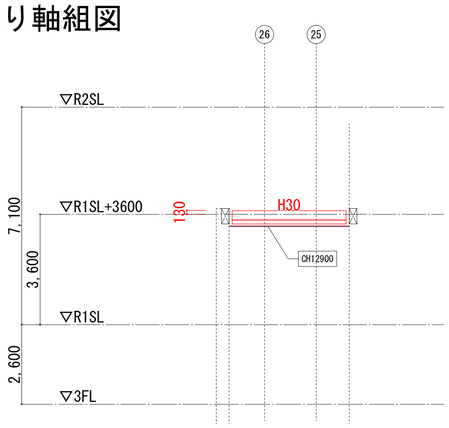
㊲ 通り軸組図



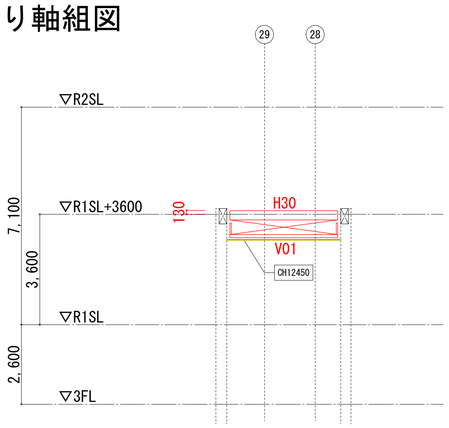
補強軸組図(7)（メインホール）

記事		業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	
		図面名称	メインホール 補強軸組図（７）	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
		設計年月	令和6年6月	図面番号	S-18

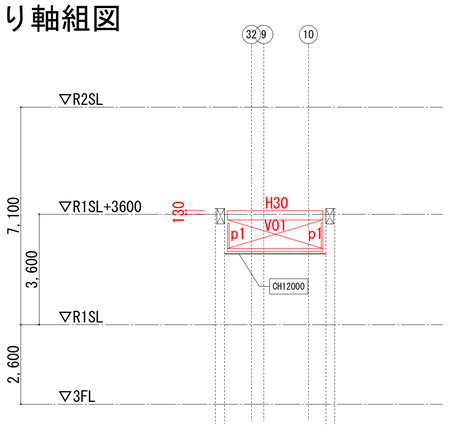
㊶ 通り軸組図



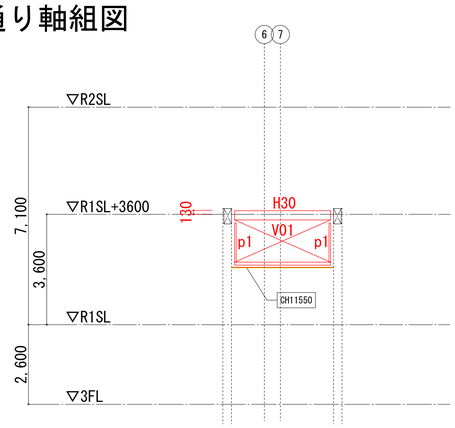
㊷ 通り軸組図



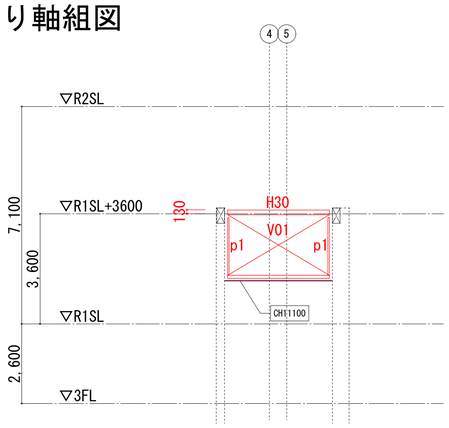
㊸ 通り軸組図



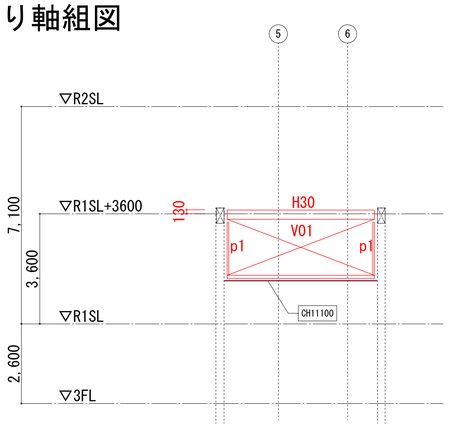
㊹ 通り軸組図



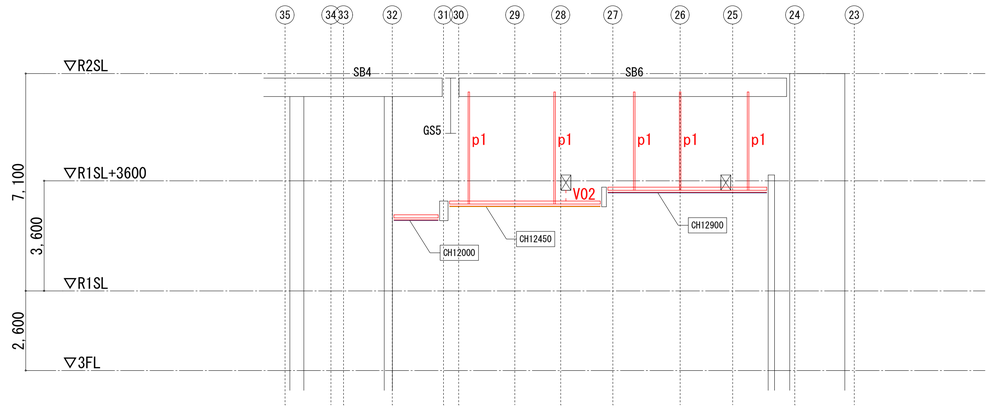
㊺ 通り軸組図



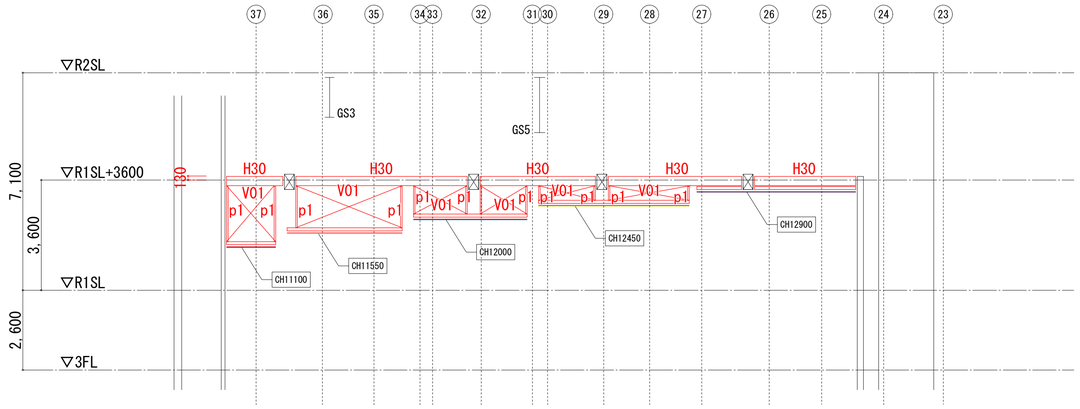
㊻ 通り軸組図



㊶ 通り軸組図



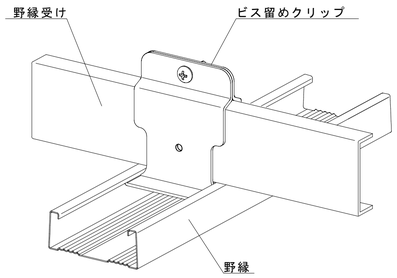
㊷ 通り軸組図



補強軸組図(8)（メインホール）

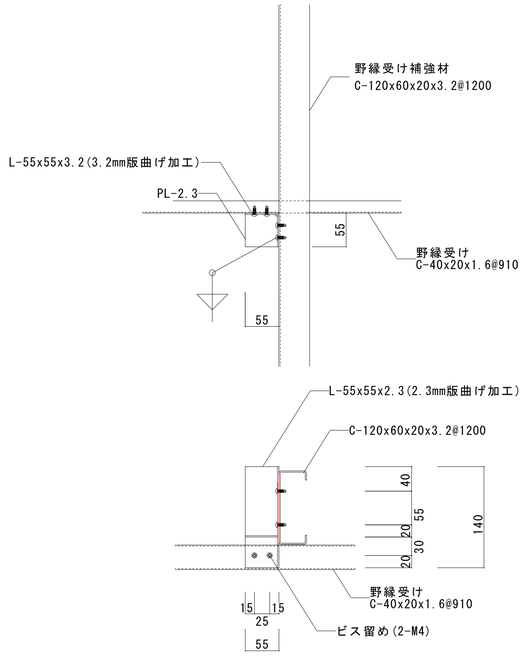
記事	業務名称	工事名称	設計年月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	令和6年6月
	印 ・ ・	図面名称 メインホール 補強軸組図（８）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 S-19

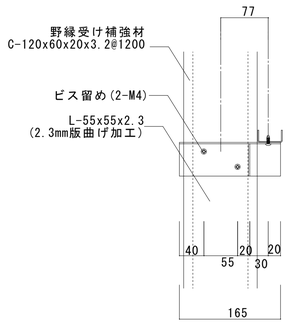
野縁、野縁受け接合



一般部の例図

野縁受け、C-100x50x20x3.2@1200の接合

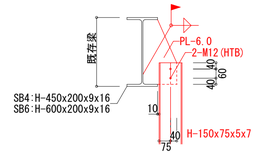


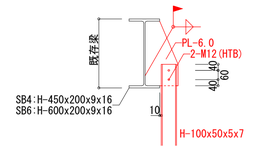


C-120x60x20x3.2@1200材と野縁受けの接合

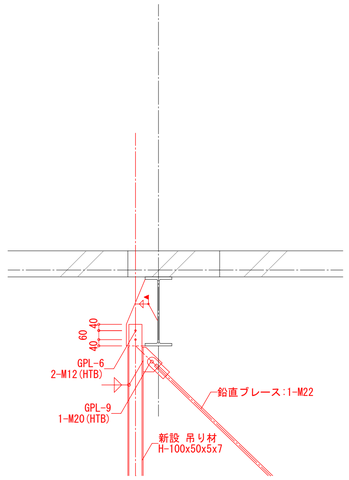
1. PL-3.2を折り曲げ加工して製作すること
2. 折り曲げr=2.5tとすること
3. ビス留めのヘリアキは15mm確保すること
4. ビス留めの間隔は25mm以上とすること
5. ビスはM4以上とする

吊り材

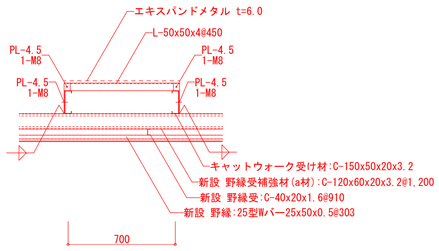




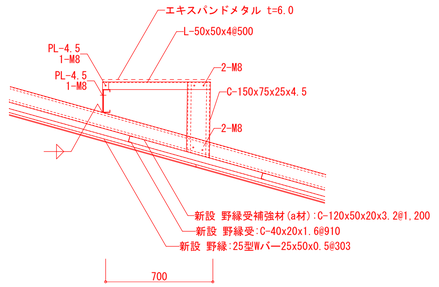
鉛直ブレース接合部



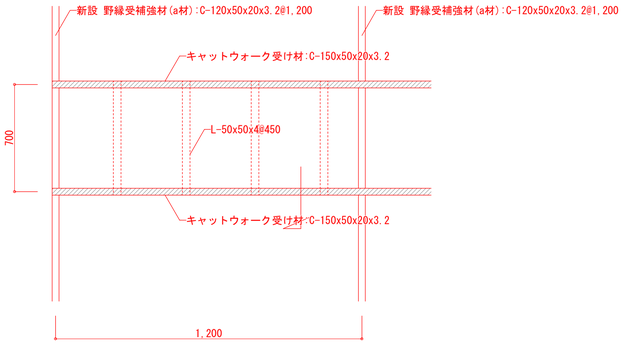
置きキャットウォーク



点検用キャットウォーク

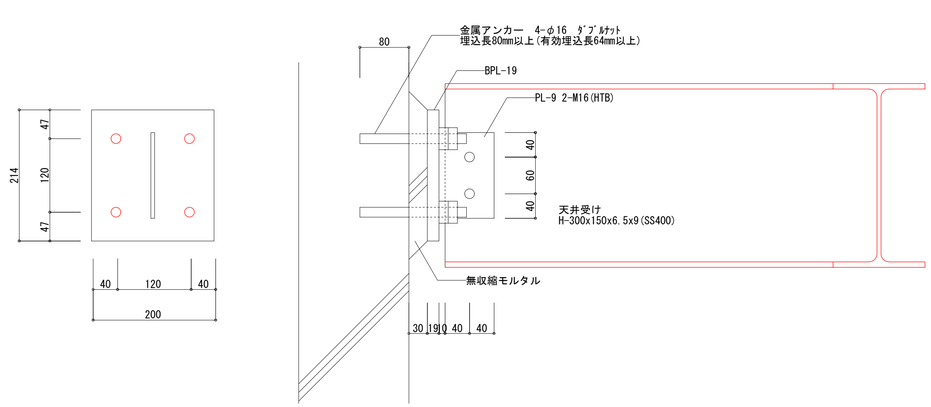


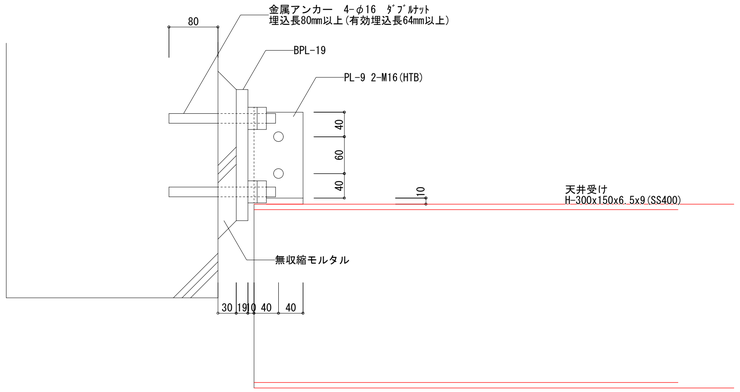
点検用キャットウォーク(勾配部)



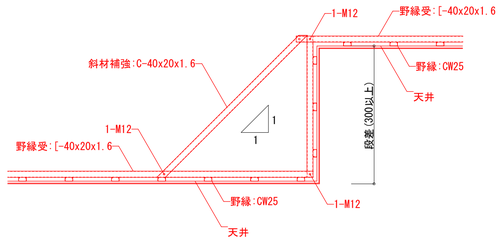
記事		業務名称		工事名称		設計年月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第9524号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		令和6年6月
			印 ・ ・	図面名称	縮尺	図面番号
				メインホール 詳細図(1)	A1:1/100 A3:1/200	S-20

ホール外、廊下範囲　鉄骨材と躯体の接合詳細図(金属アンカー)

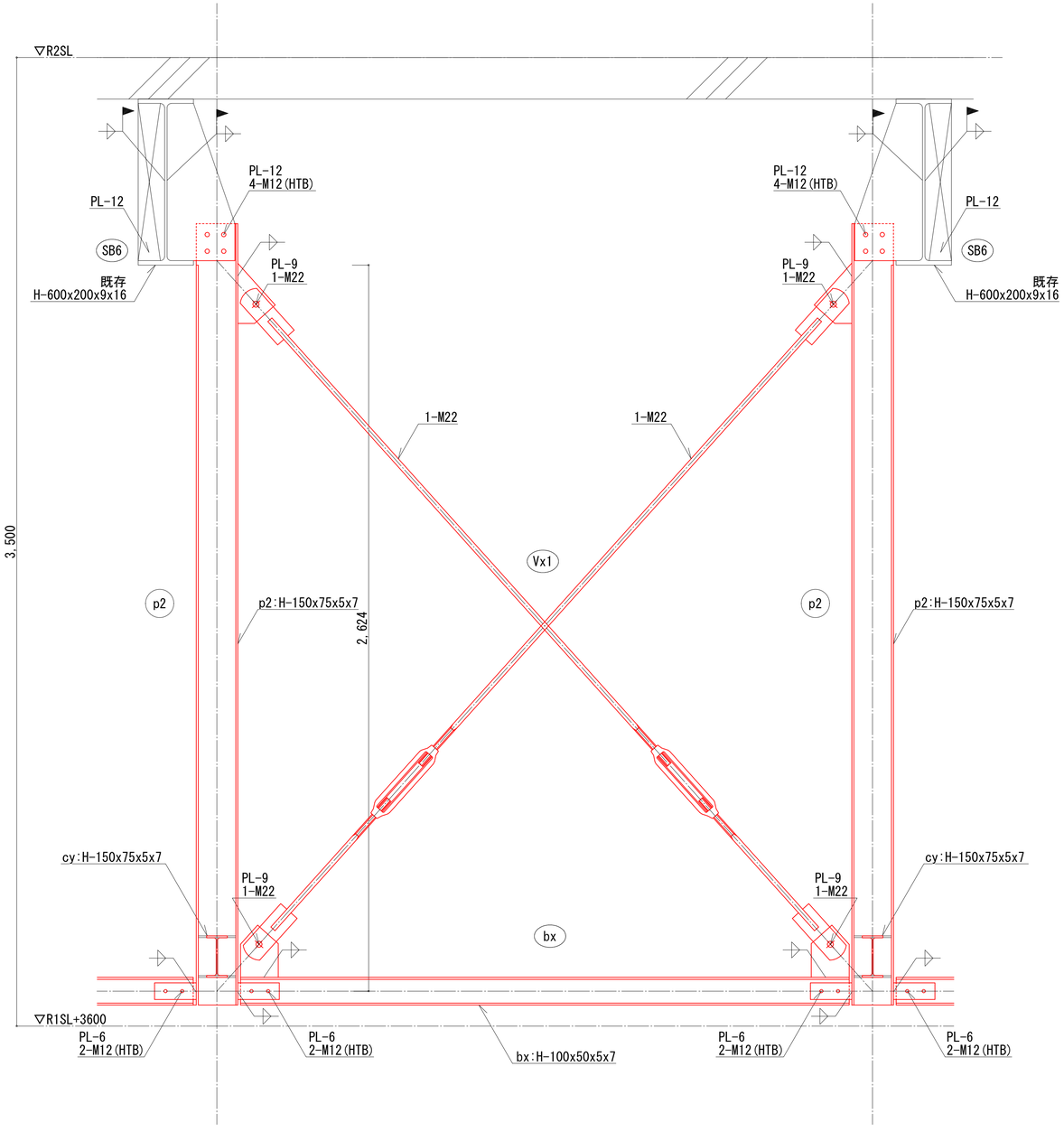


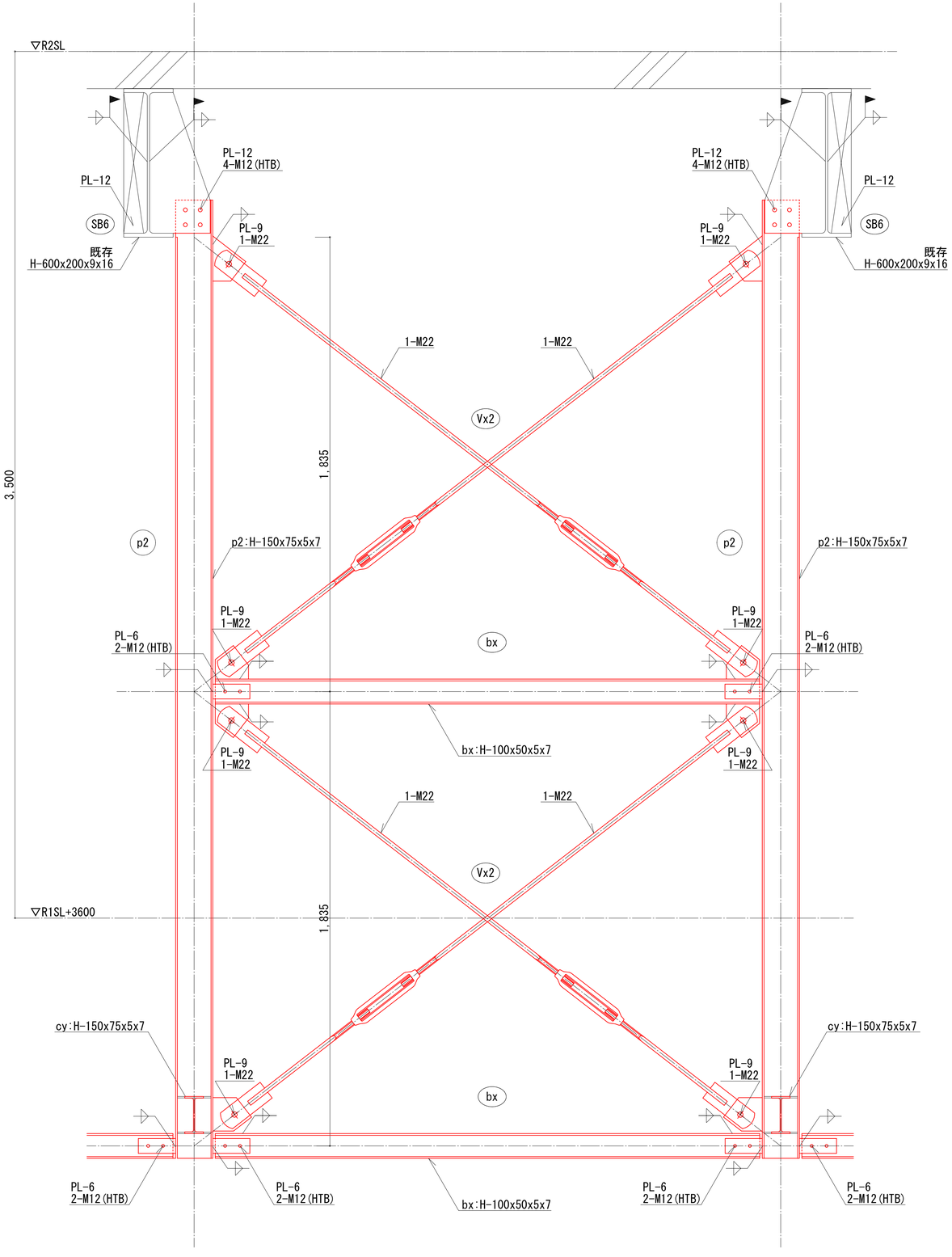


段差要領図



記事		業務名称	工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (3) 第９５２４号 一級建築士(大臣)第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 メインホール　詳細図(2)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 S-21





記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口　勉

印

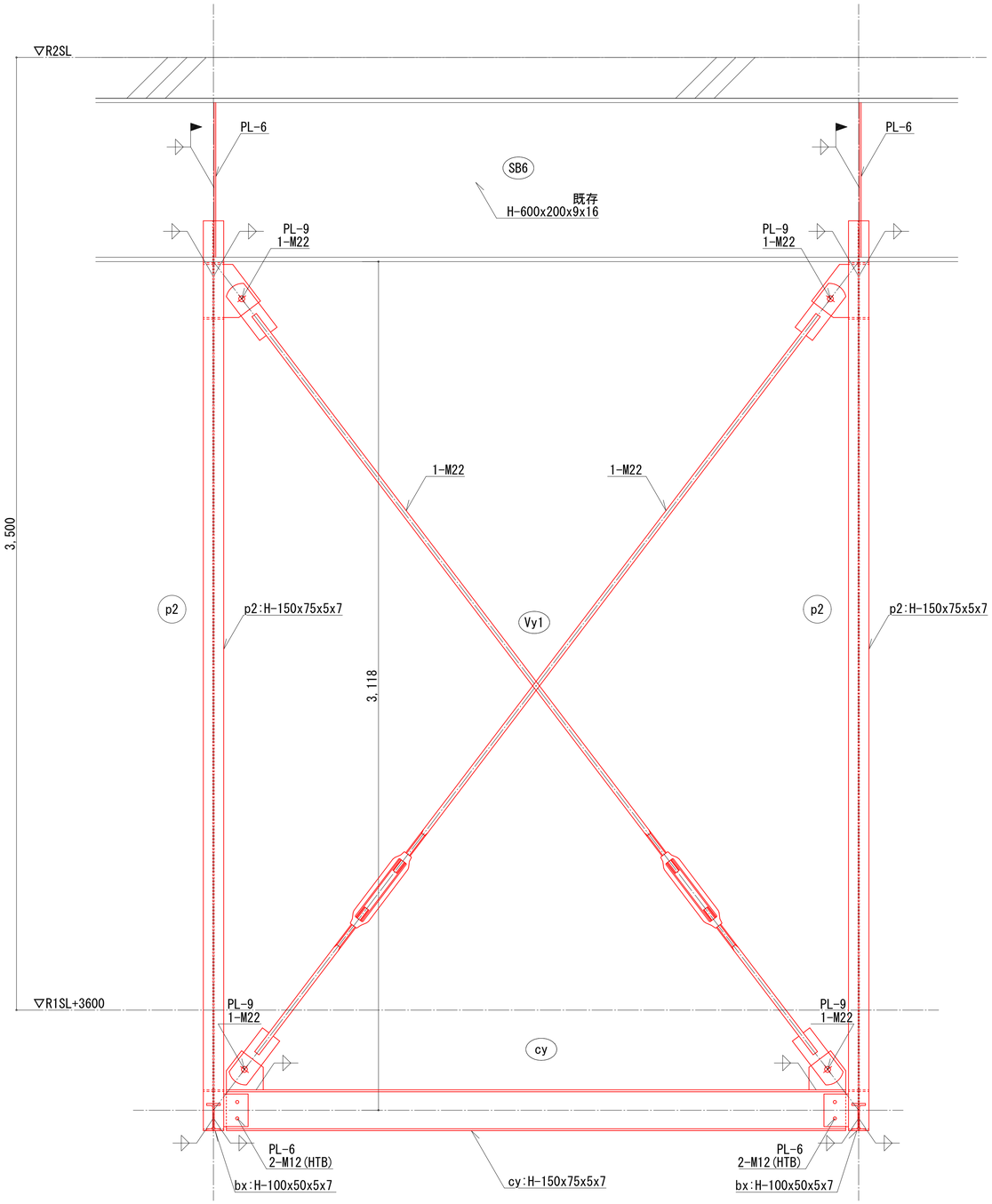
工事名称
富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

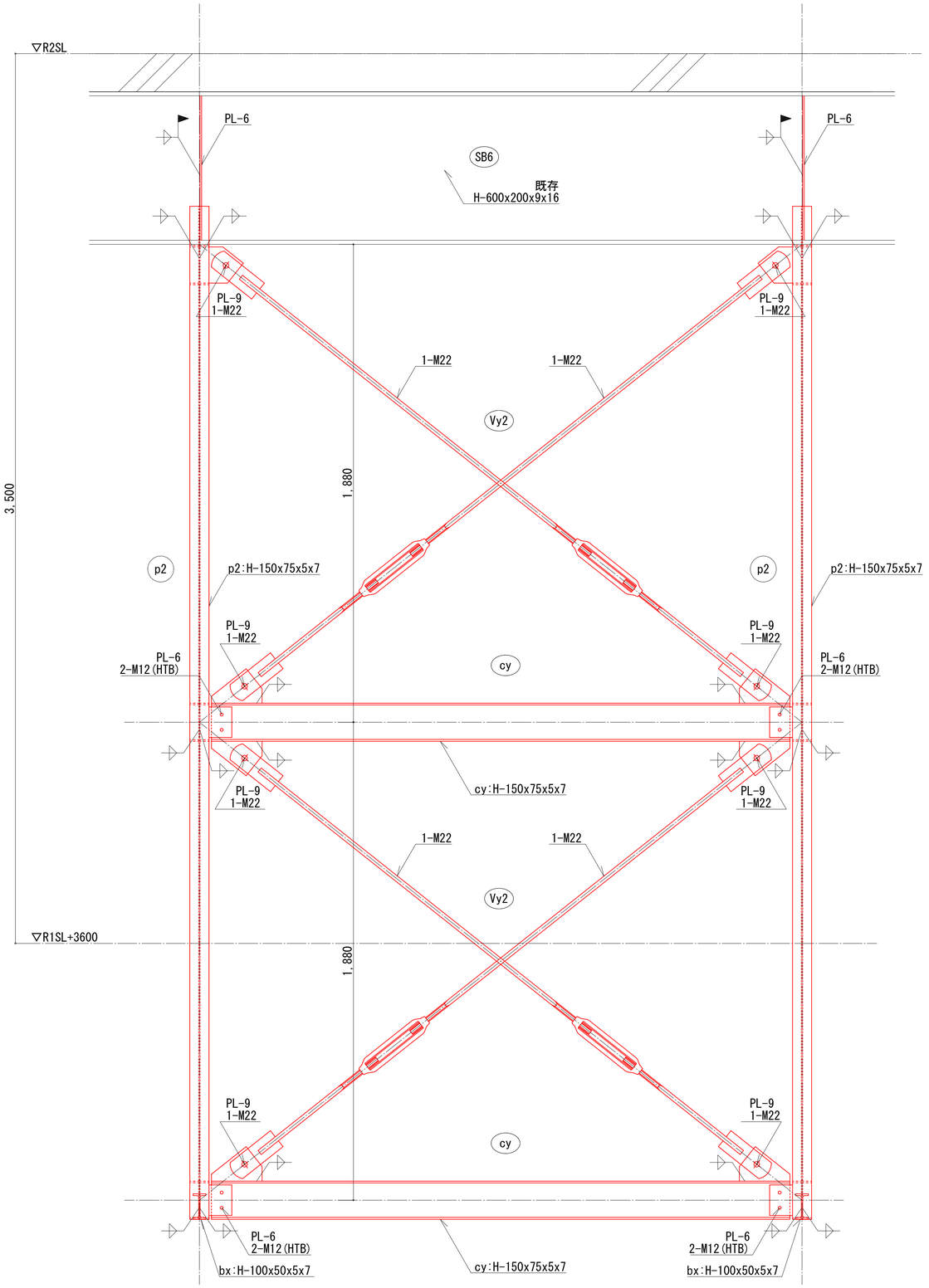
図面名称
メインホール　詳細図（３）

縮尺
A1:1/10
A3:1/20

設計年月
令和6年6月

図面番号
S-22





記事

業務名称

株式会社 綜企画設計 埼玉支店
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号
一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉

印

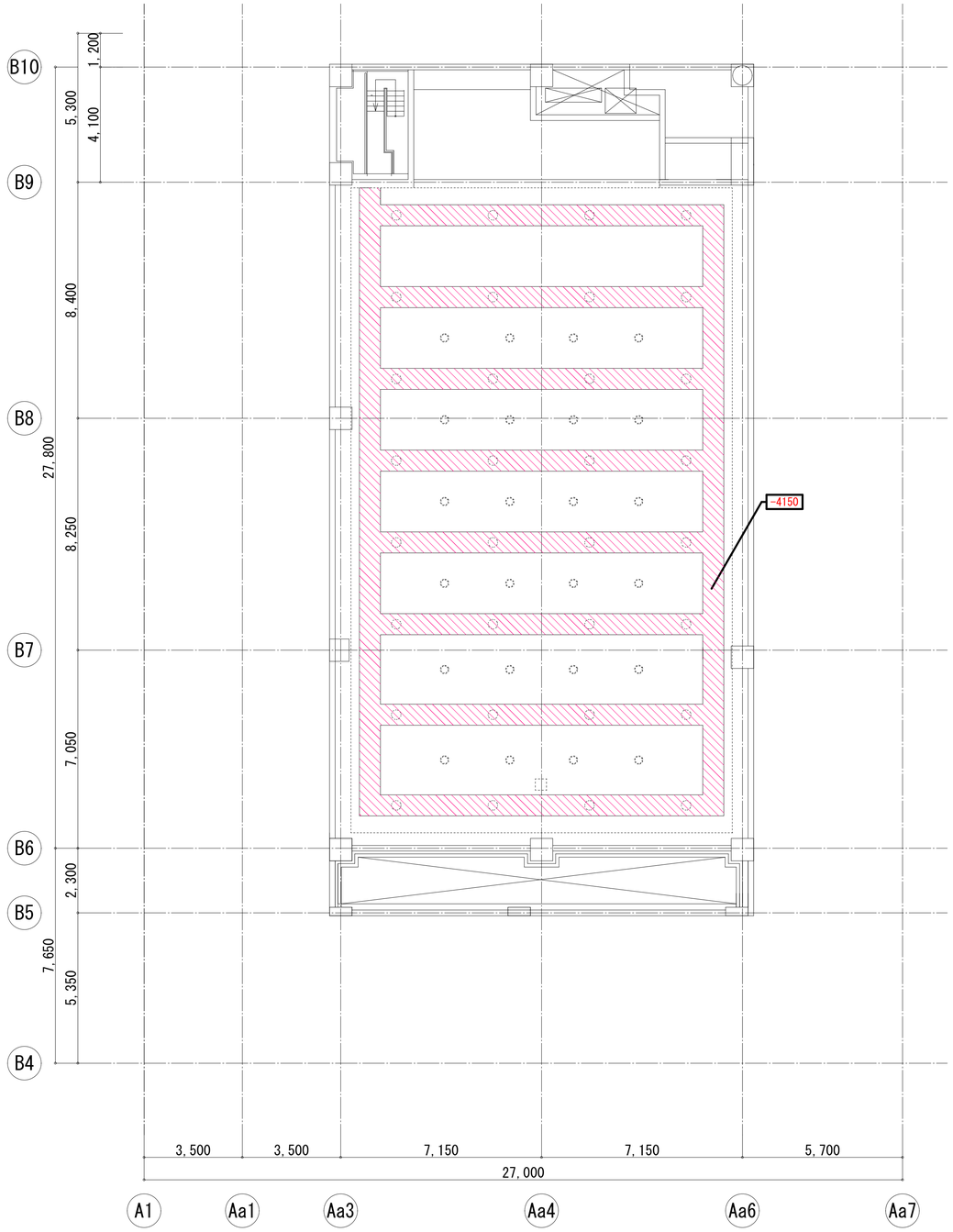
工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

設計年月 令和6年6月

図面名称 メインホール 詳細図（４）

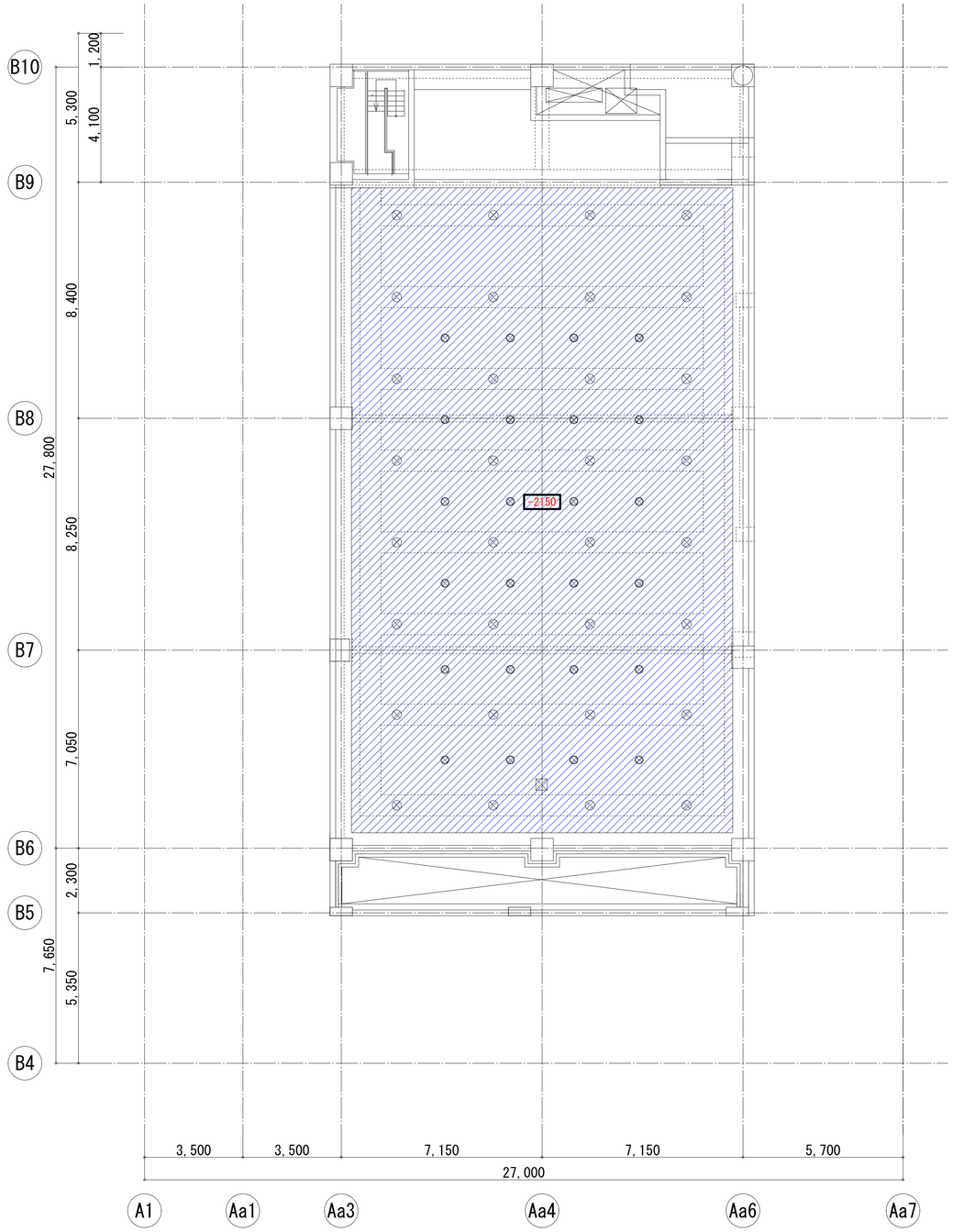
縮尺 A1:1/10 A3:1/20

図面番号 S-23



キャットウォークレベル（マルチホール）

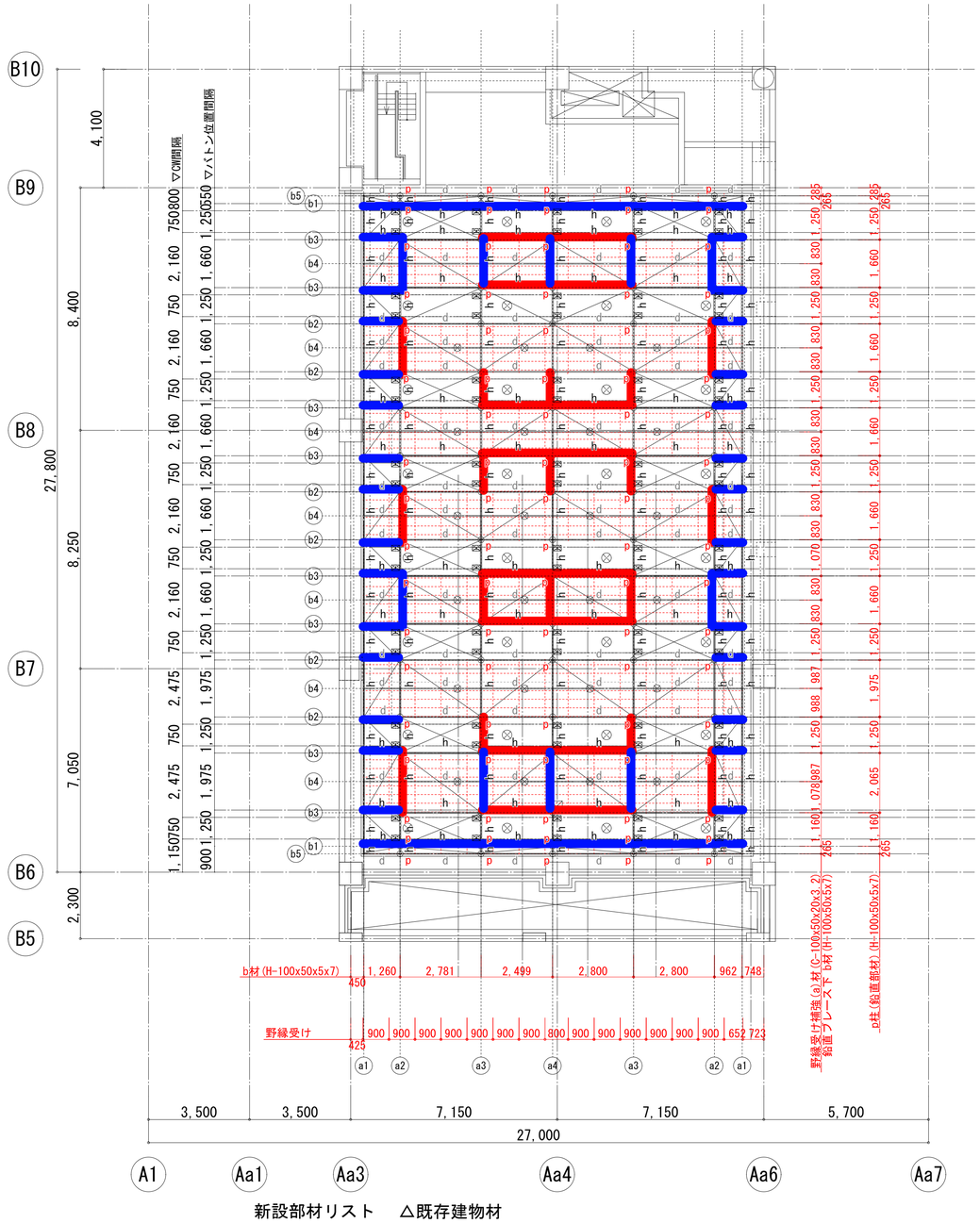
・ □ 内数値は、SB RSLからのレベルを示す。



RFL天井レベル（マルチホール）

・ □ 内数値は、SB RSLからのレベルを示す。

記事		業務名称	工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印 ・ ・	図面名称 マルチホール 天井レベル図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 S-31



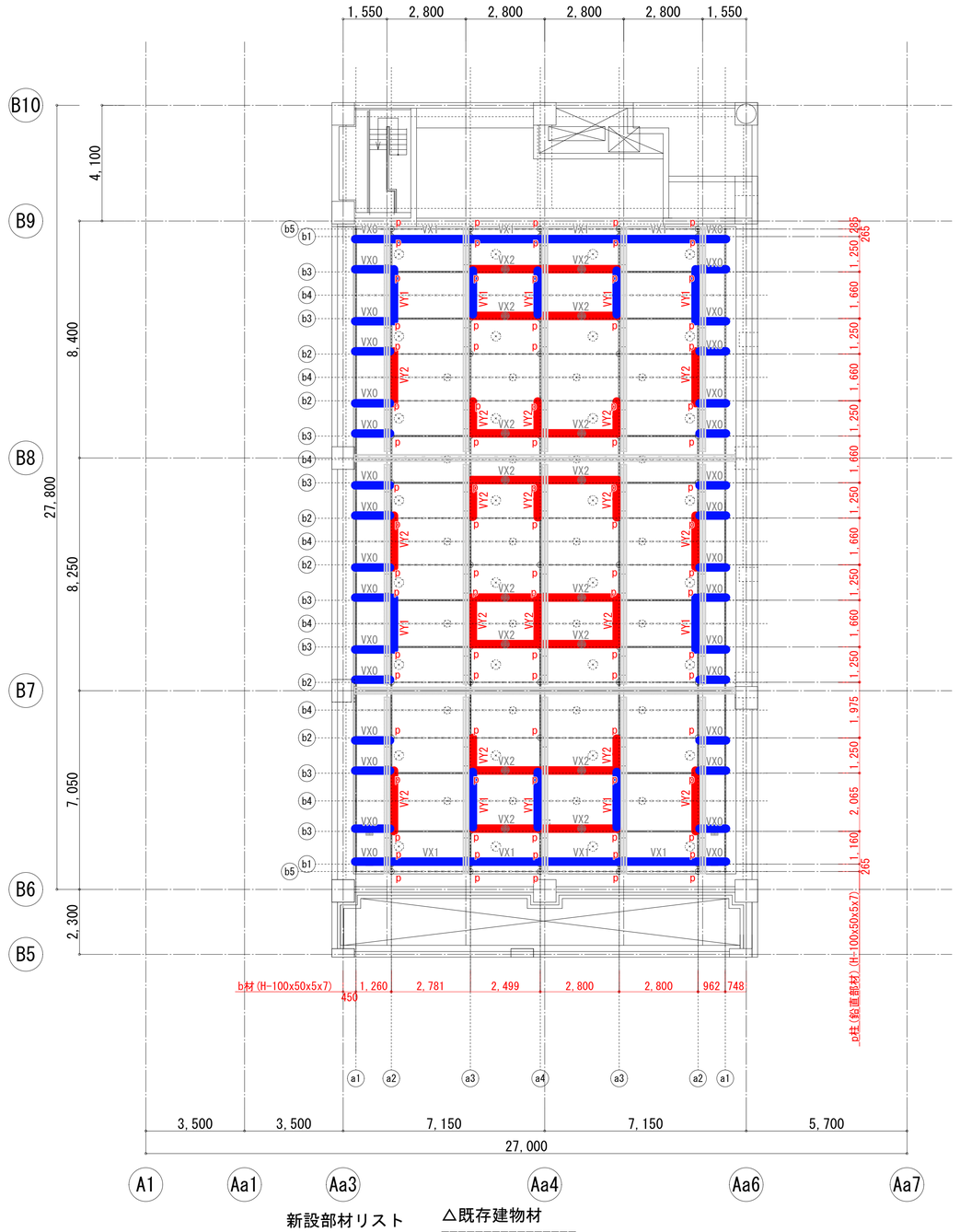
新設部材リスト　△既存建物材

e 吊材(p材)　；　H-100x50x5x7(PL-6、2-M12(HTB))

水平ﾌﾞﾚｰｽ　；　1-M16(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付きJIS規格品)
h材　；　H-100x50x5x7(PL-6、2-M12(HTB))
野縁受け補強材(d)　；C-100x50x20x3.2　@1250以下(PL-4.5、2-M12)

野縁受け　；　C-40x20x1.6　@910以下(PL-4.5、ビス)
野縁　；　25形Wバー25x50x0.5　@303以下(耐震クリップ)

△天井面



新設部材リスト　△既存建物材

e 吊材(p材)　；　H-100x50x5x7(PL-6、2-M12(HTB))
鉛直ブレース　1-M16(JIS規格品)　(X、Y方向、各17箇所以上)
■→VX0;X方向(長期用)　▲→VX1;X方向(片方掛け)　●→VX2;X方向(両方掛け)
▲→VY1;X方向(片方掛け)　●→VY2;X方向(両方掛け)

水平ﾌﾞﾚｰｽ　；　1-M16(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付きJIS規格品)
h材　；　H-100x50x5x7(PL-6、2-M12(HTB))

記事

業務名称

株式会社 綜企画設計　埼玉支店　一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号　一級建築士（大臣）第289686号　管理建築士　樋口 勉

印

工事名称　富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事

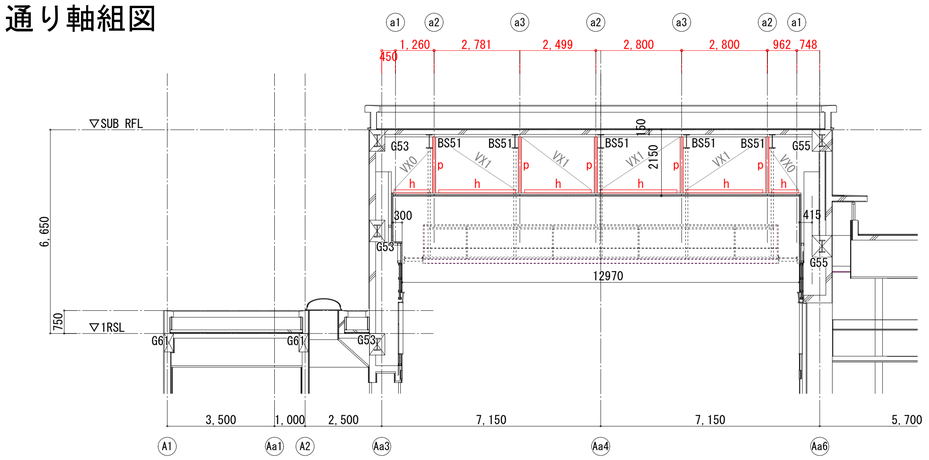
設計年月　令和6年6月

図面名称　マルチホール　補強伏図

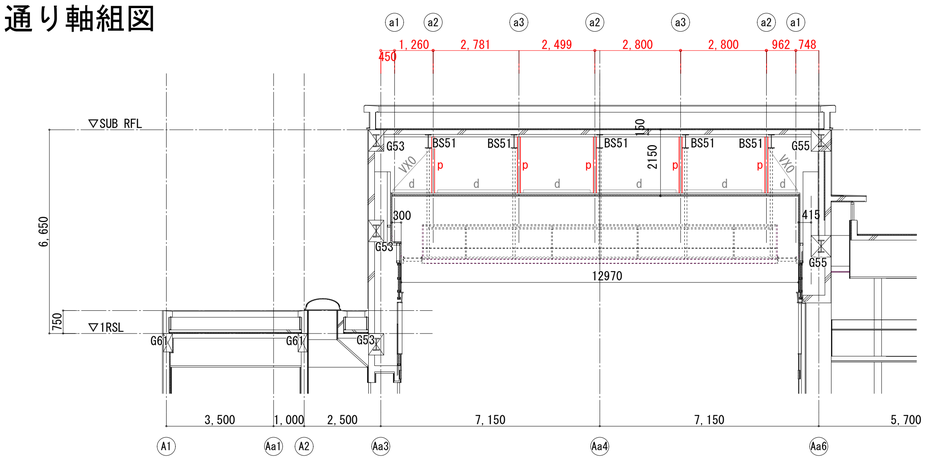
縮尺　A1:1/100　A3:1/200

図面番号　S-32

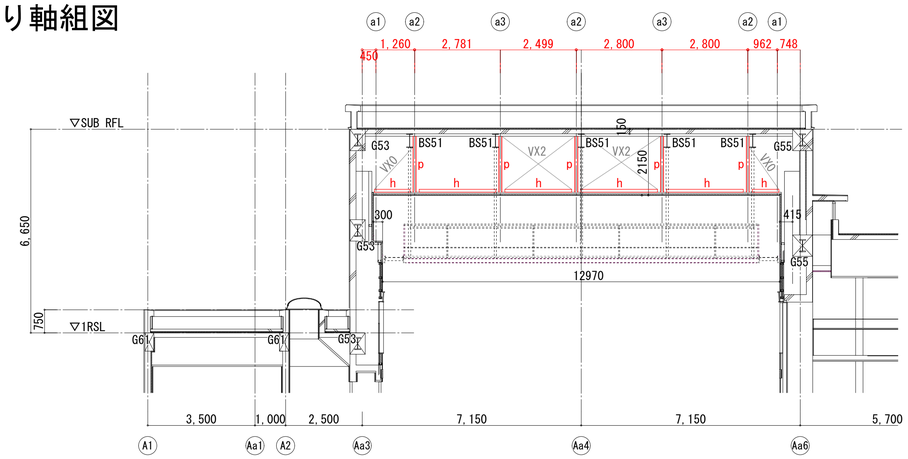
b1 通り軸組図



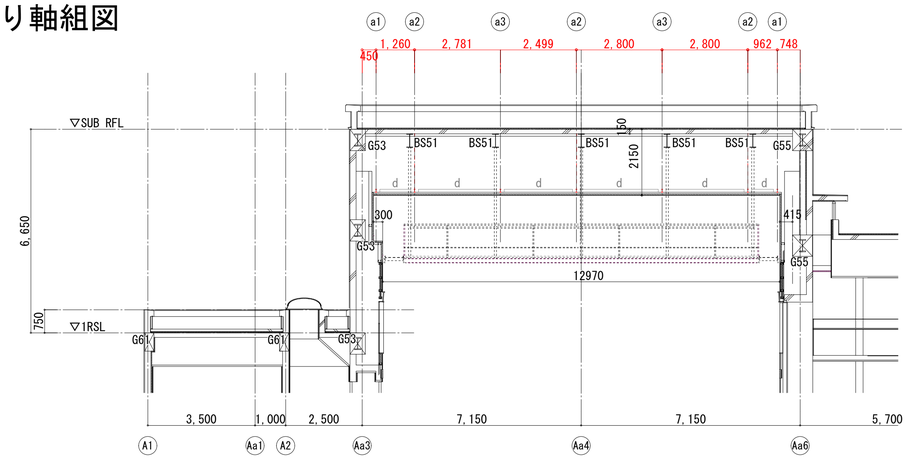
b2 通り軸組図



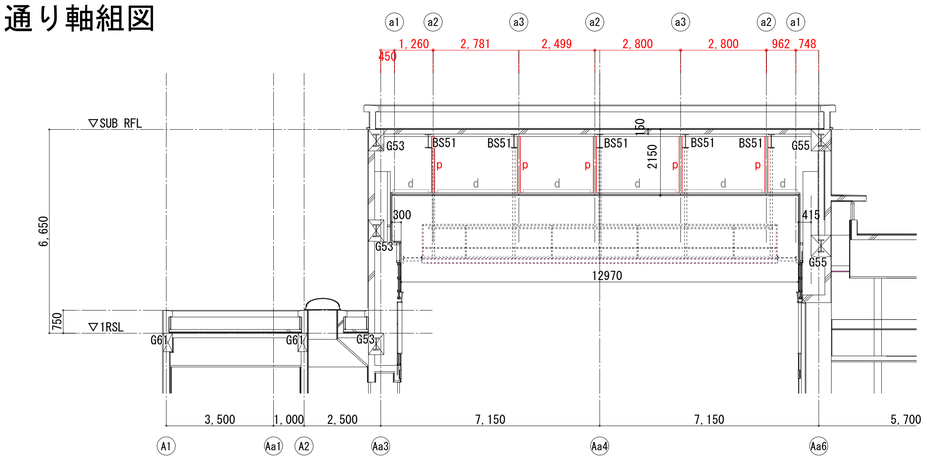
b3 通り軸組図



b4 通り軸組図



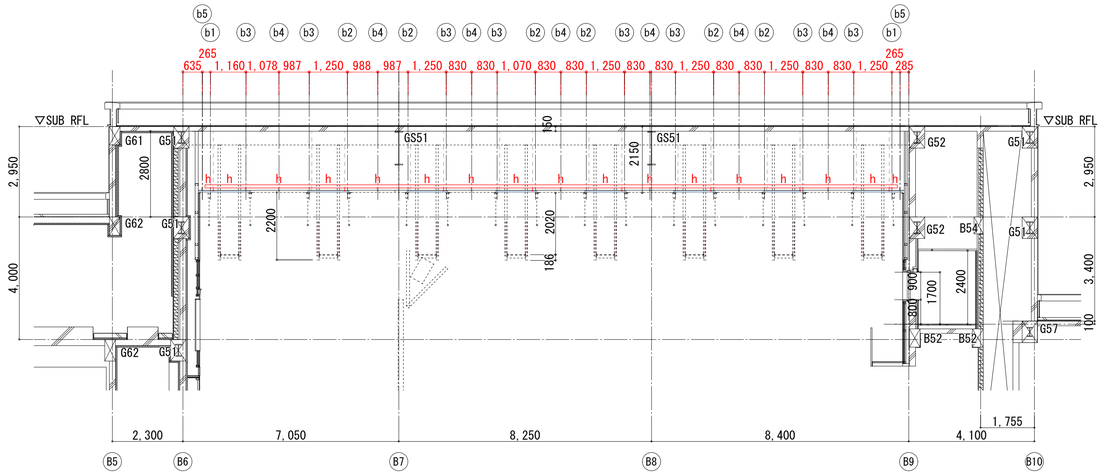
b5 通り軸組図



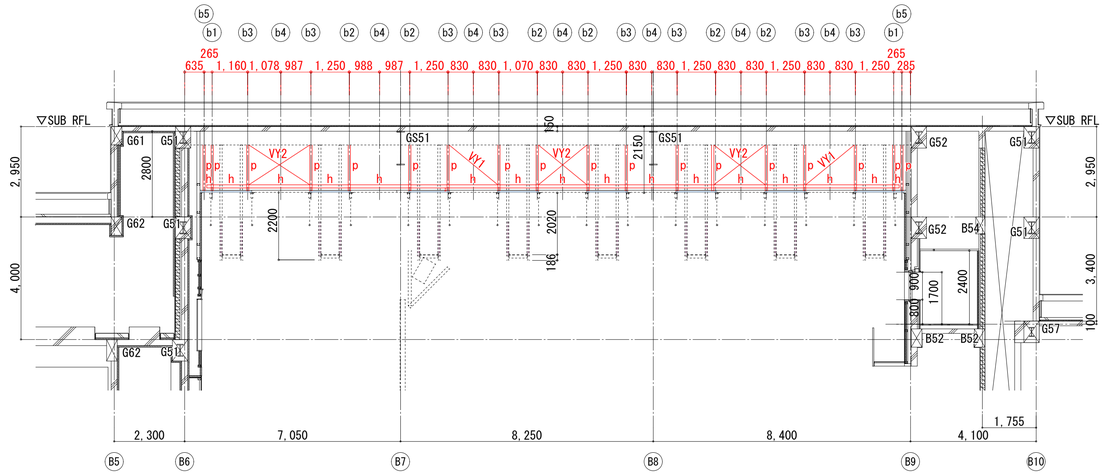
補強軸組図(1)（マルチホール）

記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （３） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 マルチホール 補強軸組図（１）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図面番号 S-33

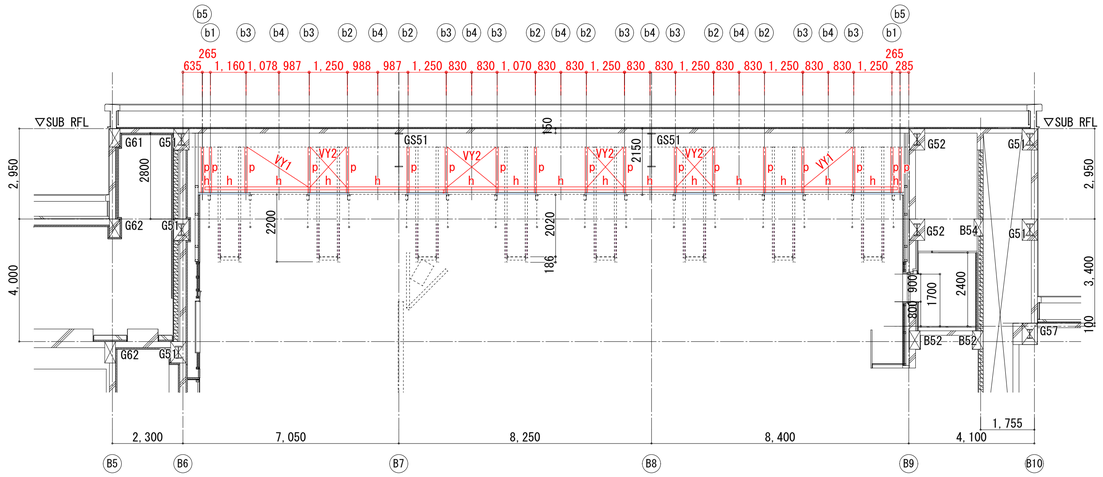
a1 通り軸組図



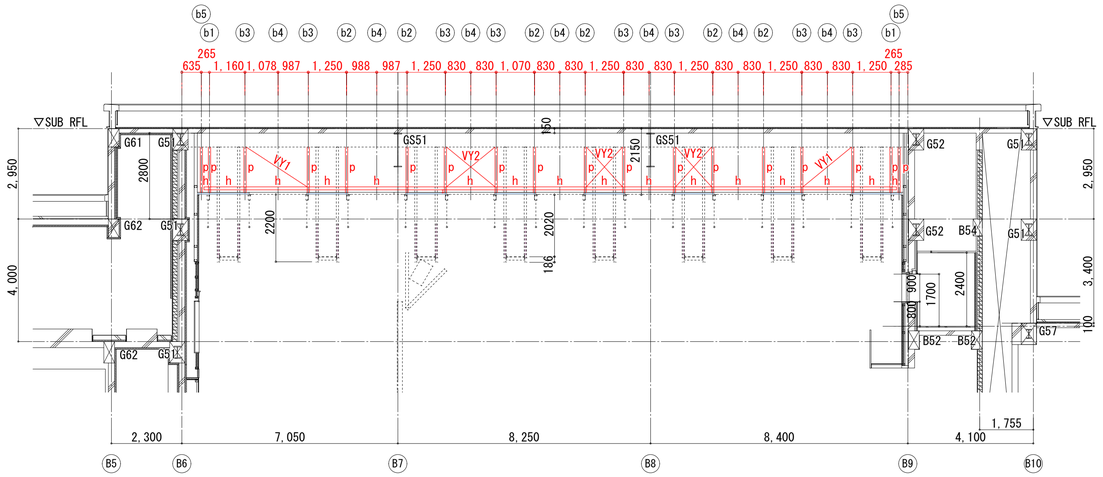
a2 通り軸組図



a3 通り軸組図

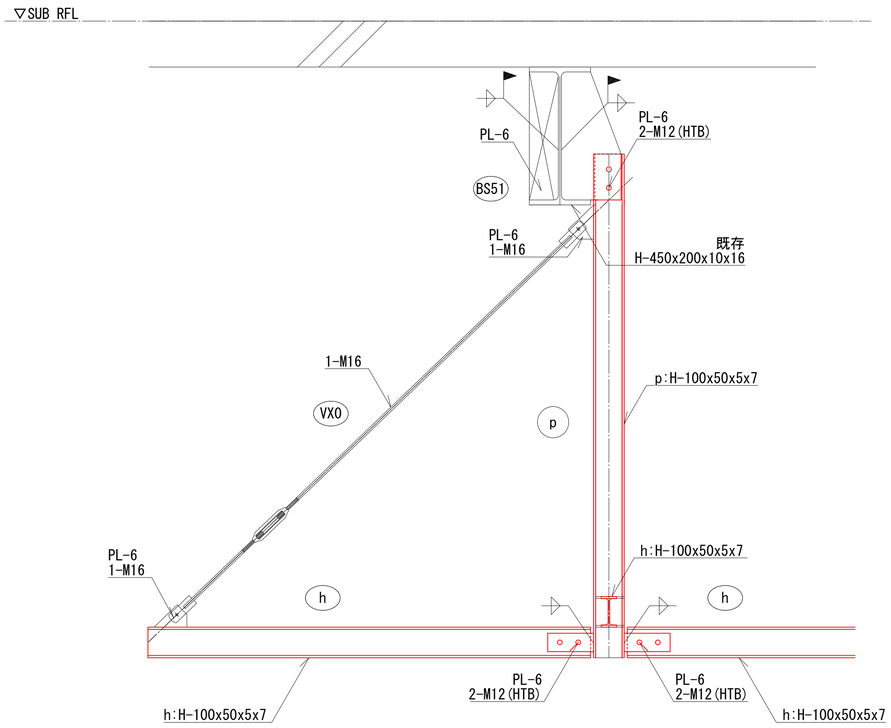


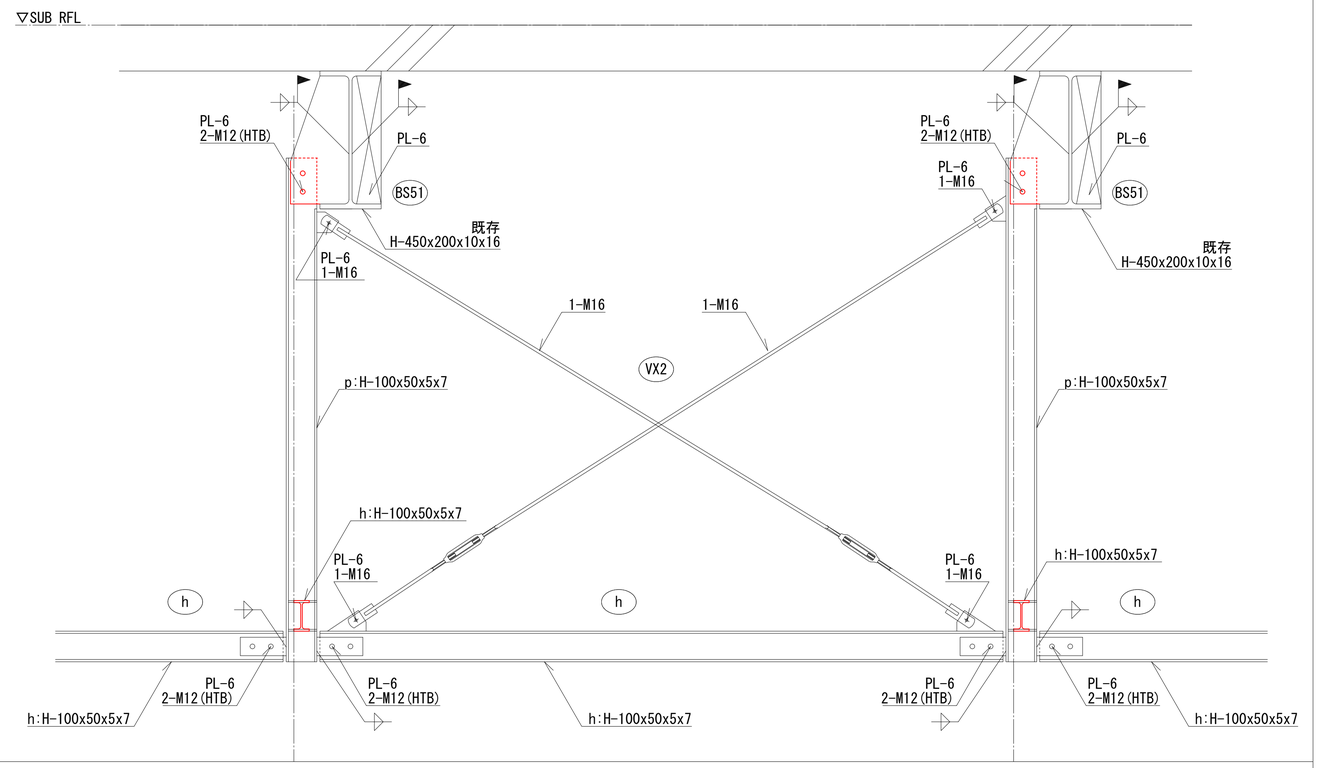
a4 通り軸組図

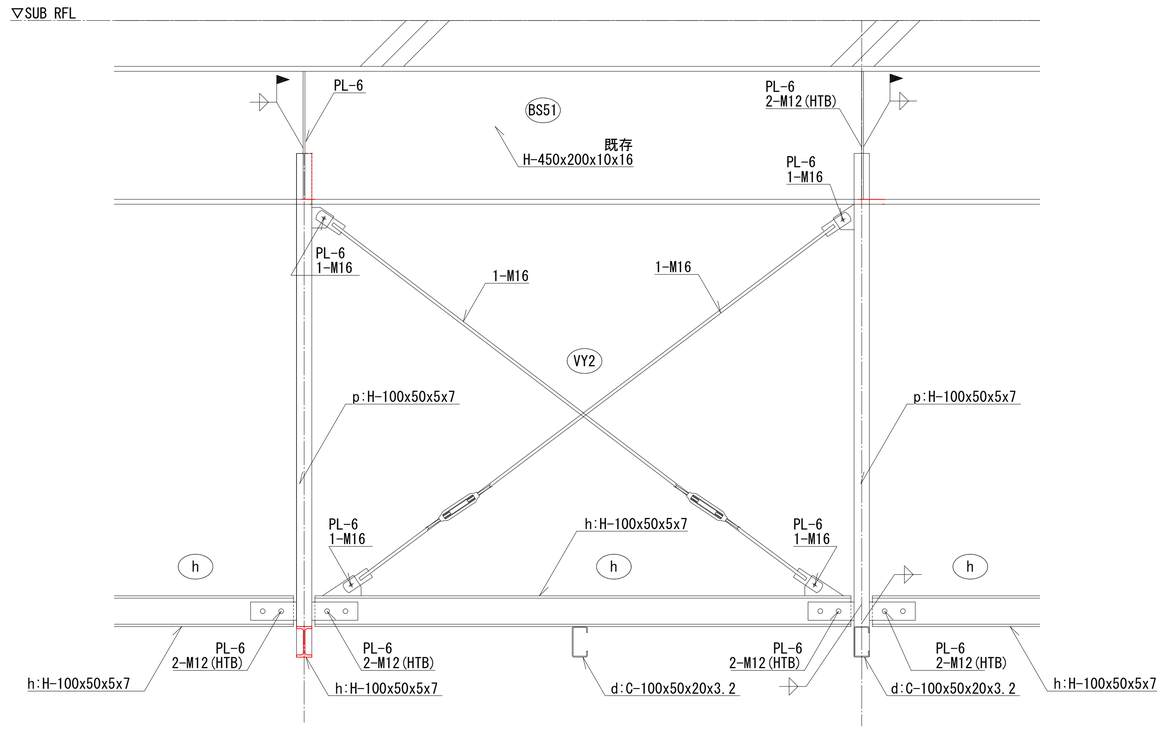


補強軸組図(2)（マルチホール）

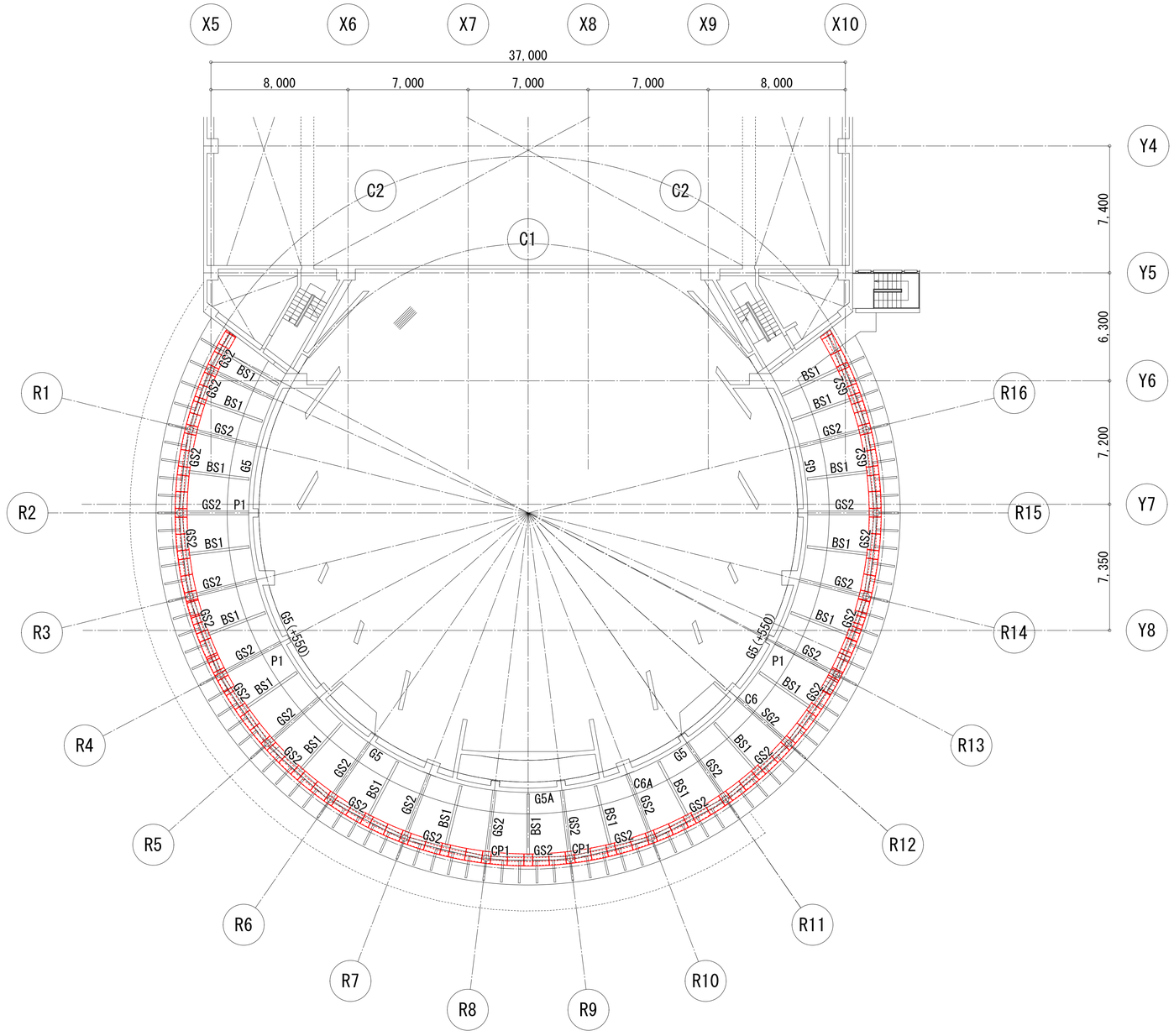
記事		業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月 令和6年6月
		株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録（3）第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	図面名称 マルチホール 補強軸組図（２）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200
		印	・ ・		図面番号 S-34



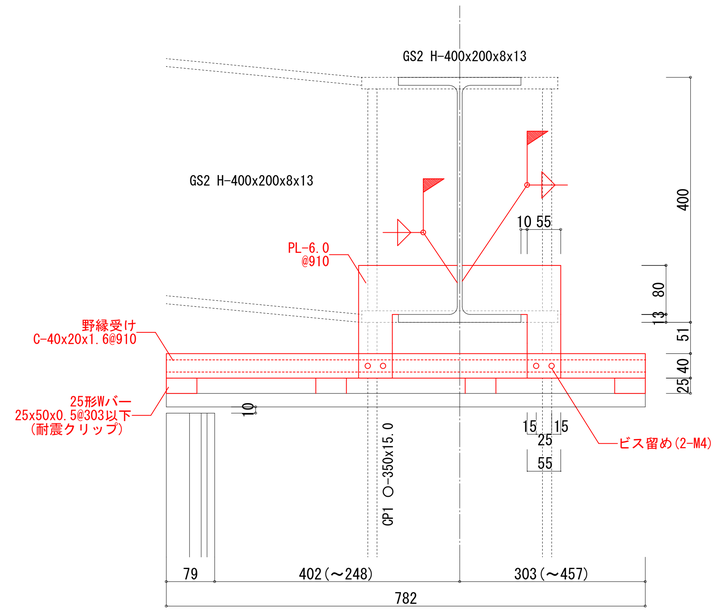


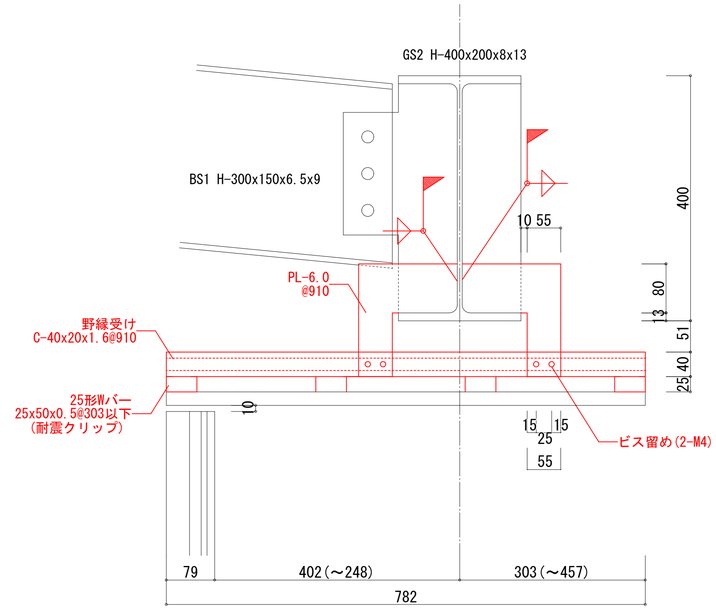


記事	業務名称		工事名称 富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事		設計年月 令和6年6月
	株式会社 綜企画設計 埼玉支店	一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称 マルチホール 詳細図	縮尺 A1:1/10 A3:1/20 / 図面番号 S-35



ホワイエ天井補強範囲





詳細図

新設部材リスト

既存構造▽

野縁受け　；　C-40x20x1.6　@910以下(PL-4.5、ビス)
野縁　　；　25形Wバー25x50x0.5　@303以下(耐震クリップ)

△天井面

記事					
業務名称		工事名称	富士見市民文化会館キラリふじみ大規模改修建築工事	設計年月	令和6年6月
株式会社 綜企画設計 埼玉支店 一級建築士事務所 埼玉県知事登録 （3） 第９５２４号 一級建築士（大臣）第289686号 管理建築士 樋口 勉	印	図面名称	ホワイエ天井補強図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 S-41